

昭和十九年十一月一日(水)
第三二二七號

同盟通信

海外電報

(251)

ソヴェト政府は再び横紙破りの外交行動に出て十一月一日から米國政府の音頭取りでシカゴに開催される反樞軸國際航空會議への出席を拒否した、理由はスペイン、ポルトガル、スイスの「ソ聯に對して非友誼的な」中立三ヶ國が同會議に招請を受けてゐるからといふにある

ダンバートン・オークス會談が米英兩國對ソ聯の對立によつて遂にお流れに終つたことはわれわれのまだ記憶に新しいところだが、今またソ聯の思ひがけない行動によつて折角の反樞軸新會議の影が極めて薄いものとなつた、狼狽した米國當局はとつてつけたやうにスペイン、ポルトガル、スイス三國の將來の世界航空界において占める地位がソ聯のそれよりも重要であること



を強調してゐるが、北方航空路の異常な發展が豫想される將來の國際航空において、歐亞兩大陸にまたがるソ聯の地位が如何に重要であるかは敢て斷るまでもあるまい、たとへそれを度外視するとしても反樞軸陣營の大國たるソ聯の不參加は昨年の反樞軸勞働會議の例に徴するまでもなく、今回の會議の意味を大半喪失せしめてしまつたといつていいであらう、何故ならばもろの反樞軸國際會議の最大の目的は協議事項そのものよりも、反樞軸陣營の固き團結ぶりを世界に誇示せんとする宣傳におかれてゐるからである、この見地からすればソ聯は反樞軸秩序の破壊者である反樞軸陣營の固き結束ぶりを最大限に誇示せんとする米英兩國にとつては、兩國の立場には殆んど何らの顧慮をも拂はず遠慮會釋もなく思ひのままの獨自外交を續けるソ聯の態度は迷惑千萬といふよりも、如何にも面憎きものとして映つてゐるに違ひない、所詮ソ聯と米英との關係は水と油との關係以外の何物でもない

【目次】

重慶政權に對する「最後の警告」……………二五五〇

スチルウエル召還は軍閥の要求……………二五五一

ソ聯の不參加に米狼狽……………二五五二

イラン政情不穩……………二五五三

英労働黨中央から退陣……………二五五四

英仲仕罷業……………二五五五

十九機に一機の割で空輸……………二五五六

ソマールランド華府に着任……………二五五七

米海軍兵員損害七萬……………二五五八

【米 國】スチルウエル召還の原因……………二五五九

英、ソに採炭機供給……………二五六〇

労働罷業状況……………二五六一

工場事故数……………二五六二

【重 慶】スチルウエル更迭に沈黙……………二五六三

……………二五六四

【英 國】イングラント東南軍管區を廢止……………二五六五

……………二五六六

……………二五六七

……………二五六八

……………二五六九

……………二五六〇

……………二五六一

……………二五六二

……………二五六三

……………二五六四

……………二五六五

……………二五六六

……………二五六七

……………二五六八

……………二五六九

……………二五六〇

……………二五六一

……………二五六二

……………二五六三

……………二五六四

……………二五六五

……………二五六六

……………二五六七

……………二五六八

……………二五六九

……………二五六〇

……………二五六一

……………二五六二

……………二五六三

……………二五六四

……………二五六五

……………二五六六

……………二五六七

……………二五六八

……………二五六九

……………二五六〇

……………二五六一

……………二五六二

重慶政權に對する「最後の警告」

(リスボン三十日發) 重慶派遣米軍司令スチルウエル大將の召還については種々の觀測が流布されてゐるが、米國政府筋では三十日に至り

一、極めて最近スチルウエルが大將に榮進した點からみても明らかな通り決して左遷乃至譴責の意味ではなく、大統領ルーズヴェルトも召還と同時に同大將が他の重要任務に就くことを發表してかかる誤解を避ける意圖であつた

一、重慶軍制の改善については既に再三警告してゐるが、スチルウエル大將の召還は米國政府最後の警告でありこの「新たな政治的軍事的危機」の解決は今や専ら重慶政權の善處に俟つ

との強硬な意向を表示するに至つた、APのワシントン支局長ジョン・ハイタワーは以上米國政府筋の意向を反映し三十日次の通り報道してゐる

重慶内部の刷新と關聯

スチルウエル大將がワシントンに召還された結果重慶政權は新たな軍事的政治的危機に突入するに至つた、情報によれば今後三、四週間に重慶政權が下さねばならぬ決斷の如何によつて今後における重慶政權の戦争努力の運命が極らう、米國政府では蔣介石がこの上遅滞なく軍事並びに政務を整頓出来るだらうことを希望してゐるが、必ずやるだらうといふ本當の確信は殆んど持つてゐない、スチルウエル大將の召還は二十八日に發表され陸軍省では同大將が新たな重要任務に就くだらうと述べてゐる、今回の措置は重慶軍統帥部の完全な刷新、次いで重慶軍の改組を企圖して米國政府が種々努力したが、所期の目的を達成出来なかつた事實と直接關聯してゐる

警告に耳を蔽ふ重慶軍

反樞軸軍の戰略は太平洋を過ぎ比島を経て支那の海岸線に到達することを前提とし究局においては米國の補給と技術的訓練とで支那の人的資源を武装するのが目的だ、しかし以上の目的が實現するまでは支那の前進空軍基地から日本軍に壓迫を加へる他はなく、しかもこれらの基地は重慶軍の手で防衛して貰はねばならない、最近日本軍の攻撃により米軍並びに重慶軍はこれら前進基地の内

最も優秀な數基地から撤收するの已むなきに至つた、重慶政權の情勢は十一月中旬國民黨中央執行委員會が開催される際に決定的段階に到達しよう唯一政黨の統制機關として執行委員會は最も有力な政治機關だ、最近參政會は蔣介石その他の要人を攻撃し、重慶軍の狀態劣惡を指摘し現在の軍政當局を非難した、以上の批判は過去二ヶ年に亘り重慶を訪問した米人専門家のみるところと全く一致してゐる、重慶軍の兵士は勇敢で粘り強く忠誠だが「すべて餘りにも多くの場合に」最高司令官が無能無力しかも改善に關する外部からの示唆に對しては耳を蔽ふて一切取合はないといふ非難だ

重慶政權の決斷に俟つ

二十八日夜陸軍省からの發表直後ニューヨークで重慶の一人人は蔣介石がスチルウエル大將の召還を要求したと言明したが、米國政府筋ではルーズヴェルトは同時にスチルウエル大將が新しい要務につく旨を發表し譴責の意味で同大將を召還するのではないことを判つきりさせるつもりであつたと洩してゐる、極く最近スチルウエルが大將に昇進したばかりではないか、その上重慶政權の内に直接通曉してゐる或る權威筋では

後任のウェデマイヤー少將がどんな考へを持つてゐようとも、蔣介石が何らか革命的な刷新を斷行出来ない限り、今までにスチルウエル大將がやり遂げた以上のことを實現することは出来まい、今となつてはすべては重慶政權の決斷に俟つばかりだ」と述べてゐる

スチルウエル召還は軍閥の要求

大の衝動を捲き起し各紙共筆を揃へてあれこれと憶測に耽つてゐるが、大體重慶の要求によるものといふ點に意見の一致をみてゐるやうだ、ニューヨーク來電によれば素破抜き記事で有名な米國新聞記者界の利けるドルー・ピアソンは二十九日つぎの通り報じてゐる

スチルウエルの召還は重慶軍閥の要求によるためだ、彼等は反樞軸軍がビルマ公路を啓開出来ぬのに業を煮し、スチルウエルの責任を問ふたのだ、スチルウエルは酷い癪癪持で重慶ばかりでなく英軍當局との間にも始終ごたごたが絶えなかつた、彼は英軍が東亞戦を早く片付けることに何等の關心をも示さずに、専ら印度の紛擾を鎮壓することに精力を費してゐると、むきつけに公言して英軍當局から敵視されてゐた

同盟通信

海外電報

(第三種郵便認可)

ソ聯の不參加に米狼狽

(リスボン三十日發) ワシントン來電 反樞軸諸國及び中立國を含む國際航空會議は米國の音頭取りで十一月一日からシカゴで開催されることとなつたが、ソヴェト政府は米國政府からの招請を拒否して三十日右會議への不出席を通告し來つた、右に關し國務次官ステチニアスは三十日次の通り發表した

ソヴェト政府が航空會議に出席出来ないことは遺憾千萬である、ソ聯は會議不出席の理由としてソ聯に對して非友誼的なボルトガル、スペイン、スイスの三中立國が同會議に出席する點をあげてゐるが、米國政府としては今後ソ聯との間には二國會談によつて將來の民間航空問題を協議したいと思つてゐる

ソ聯今回の行動によつてダンバートン・オークス會議で決定された反樞軸聯盟案の前途を氣遣ふ向もあるやうだが、ボルトガル、スペイン、スイスの三國には反樞軸聯盟案は提示されてゐないからソ聯としても國際機構問題をめぐつての反樞軸會議の開催には何ら反對しないだらう一方航空會議不参加のソ聯の通告はワシントン政界に甚大な衝撃を與へた模様で、ソ聯が米國政府からの招請狀をうけた當時にはスペイン、ボルトガル、スイスの三國も當然招請されてゐることを知つてゐた筈であり、従つてソ聯が何故會議開催の直前に至つて急に出席を拒否してきたかその意圖の捕捉に悩んでゐるが、更にソ聯がスペインを非友好國として挙げたのは諒解出来るとしてもボルトガル、スイス兩國をスペインと同様に扱つたことに對して多大の驚駭の色を示してゐる

イラン

(リスボン三十日發) テヘラシ來電によれば、ソ聯、イラン兩國關係の惡化に伴ひテヘラン市民二萬名は三十日イラン首相モハメッド・サエドの辭職を要求する示威運動を開始、軍需工場を除く全工場労働者が行進に参加し、政府は軍隊を出動せしめて解散に努めたといはれる

英労働黨

(ストツクホルム二十九日發) ロンドン來電 英副首相アトリ、労働相ベヴィン、内相

モリソンの三労働黨出身戰時内閣員は労働黨全國執行委員會委員の地位を辭した旨二十八日發表された

英仲仕罷業

(ストツクホルム二十九日發) 英國ブリストルの港灣アゾンマス及びボーティスヘッドの仲仕四千五百名は去る二十五日賃金値上を要求して罷業に入り、會社側と組合幹部の交渉開始に伴ひ一旦罷業を中止したが、ロンドン來電によれば會社側、組合幹部間の賃金協定に不服を唱へて二十七日罷業を再開、二十九日に至つて當局は遂に軍隊の出動を求めて貨物の積み卸しを行ふに至つたといはれる

十九分に

(リスボン二十八日發) ニュヨークからのUP電報によれば米國北大西洋空輸司令部は二十七日大西洋横斷空輸の狀況に關し次の通り發表したといはれる

米國の空輸部隊は目下十九分に一機の率で大西洋を横斷してをり九月中には米國から二千九百人の旅客を歐洲各地向けに、また歐洲からは戰傷兵二千七百名を運搬した、その他重要軍需物資の空輸量は百六十萬封度に達した

ソマーヴィル

(リスボン二十九日發) ワシントン來電 前東洋艦隊司令長官大將サー・ジェムズ・ソマーヴィルは二十九日ワシントンに到着した、英國海軍省首席代表として海軍大將サー・パーシー・ノーブルに代り米英統合參謀本部に出仕する

米海軍兵員

(リスボン二十八日發) ワシントン來電 海軍省は開戰以來の海軍海兵隊、沿岸警備隊

の損害が七萬七十三名に達した旨二十八日發表した、内譯次の通り

戰死	二八、〇〇〇名
戰傷	二八、〇八四名
行方不明	九、五〇九名
俘虜	四、四八〇名

【米 國】

スチルウエル召還の原因

(リスボン三十日發) ワシントン來電によればスチルウエルの罷免は彼が永らく東南アジア反樞軸軍副司令官兼在印緬支米軍司令官の地位にあつたためばかりでなく、米國の大將として司令官の任を罷免されたのは今次の戦争で彼が初めてのためワシントンではかなりの衝動を起してゐるといはれる、スチルウエル罷免の原因については色々の解釋が行はれ、第一には彼の指揮する北ビルマ攻勢に重點を置く問題につき彼とマウントバツテン以下の英軍側首脳部との長い間の確執によるものとされ、第二には彼と在支第十四航空部隊司令官シエンノート少將及び在印第十航空部隊司令官ビツシエル代將兩者との間の確執も傳へられてゐるが、第三に注目すべきはスチルウエルと重慶との對立が重要な原因として指摘されてゐること、これには二つの解釋があり、一は蒋介石の要求によつてスチルウエルが召還されたと解するに對し他は米國が重慶への腹いせに自ら呼戻したのだと解してゐる

即ち右につきUP通信のワシントン電は次の通り報道してゐる

確聞するにスチルウエルの罷免は蒋介石からの直接の要求によるものだといはれ、蒋介石が斯かる措置を要求したのは指揮問題の根本的な概念及び極東の戦争を如何に指導すべきかについてスチルウエルと意見を異にしたためだといはれる

一情報によるとスチルウエルは彼が現在蒋介石の指揮下に作戰してゐる重慶軍を含む全軍指揮の任に當るべきことを要求したといはれ、スチルウエルは重慶軍が現在よりも一層効果的な戦闘組織に結合出来ると信じてゐたといふのである、若しこれが事實だとすれば、スチルウエルの要求はこれまで不満に堪えかねてきた重慶をして遂に彼の召還を要求せしめるに至つたものに相違ない、そしてこれには反樞軸が重慶に大量の軍需物資を補給する能力がないことに對する重慶首脳部の不満が背景をなしてゐる、スチ

ルウエル退陣の他の原因は彼が中國人を二十五年前に取扱はれたやうに取扱つたことにもあるこれに對し、AP通信のニューヨーク電報は反對の解釋として次の通り報道してゐる

スチルウエルの退陣につき一部の支那通は重慶政權が重慶軍をもつと有効な戦闘軍隊に再編成することに失敗したので、米國はこれに對してスチルウエル召還の形で公然と重慶の横面を毆つたものだと解釋してゐる、蒋介石が共產黨の利用について措置をとるべきこと及び彼自身の重慶軍に對してもつと有効な統率力を備へるやうに督促されてゐたのは隠れもない事實だ

英ソに採 (リスボン二十七日發) 英國新聞「フアイナシヤル・ユーズ」紙のワシントン電は次の通り報じてゐる

ジョン・ルイスを會長とする米國炭坑労働者組合の機關紙は英國及びソ聯からの採炭機械注文は將來米國の炭礦業に大きな影響を與へるだらうと述べ、英國及びソ聯から受けた採炭機械の注文は非常に多く、もしこれを全部引受けると米國の製作會社は一九四五年から向ふ五ヶ年以上にわたつて、これが製作に忙殺されなければならぬこととなるだらうと述べてゐる

政府並びに産業權威者の報告を基礎にした米國石炭業界の見解によれば英ソ兩國の炭坑がこの最新式の設備を有するに至れば米國の炭坑業を脅すに至るだらうといはれる

労働罷業 (リスボン二十八日發) ワシントン來電「労働長官パーキンス」は二十八日次の通り發表した

九月中に發生した罷業件数は三百九十件に及び参加労働者は總計十八萬五千名に達した、八月の罷業件数は四百八十五回、参加人員十九萬名であつた

工場事故 (チューリッヒ二十七日發) ロンドン來電によれば目下英國本國のブラックプールで開催

されてゐる労働組合會議で米國の労働代表は次の數字を發表したといはれる

開戦以來工場事故によつて軍需労働者で死亡した者三萬七千名、負傷して不具者となつた者二十一萬九千名、負傷したが労働に差支へない程度に恢復した者四百五十萬名である

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【重慶】

スチルウエル

(リスボン三十日發) 重慶來電

更迭に沈黙

電 東南アジア反樞軸軍副司令官兼在印緬支米軍司令官スチルウエルのワシントン召還につき重慶軍當局は正式の發表を行はず、單に次の通り公表した

蔣介石はアルバート・ウエデマイヤー少將を支那戦域の參謀長に任命し、ダニエル・サルタン中將を印度を基地とする重慶軍全部隊の指揮官に任命した

【英國】

イングランド東

(リスボン二十九日發) ロンドン來電

南軍管區を廢止

陸軍省はイングランド東南軍管區を十二月一日以後東部軍管區に合併する旨二十九日夜公表、新東部軍管區司令官には前北アイルランド駐屯英軍司令官カニンガム中將を任命、前東部軍司令官アングダーソン中將は東アフリカ軍司令官に轉出した

ホーム・ガード

(ストックホルム二十八日發) ロンドン來電

事實上解體

政府は護國軍がもはや現役に準ずる勤務を行ふことを必要としなくなつた旨二十七日決定した、その結果護國軍は来る十一月一日から豫備役となり、十二月三日全國に亘つて豫備役編入閱兵式を舉行する豫定である

顧維鈞

(リスボン二十九日發) ロンドン來電

ロンドン歸任

大使顧維鈞は八月以來ダンパイトン・オークス會議の重慶首席代表として米國に滞在してゐたが、二十九日ロンドンに歸任した

ロンドンの倒壊

(ストックホルム二十九日發) ロンドン來電

家屋十萬九千

イネスト・ブラウンは二十八日の下院で、開戦以來のドイツ軍の爆撃によつてロンドン市内だけで十萬九千の家屋が破壊されたほか、損害を被つた家屋は更に多數に上り、住宅を失つた人は五十萬名に達すると言明した

印緬戦線

の損害

(リスボン二十八日發) カンダイ來電 東南アジア反樞軸司令部は二十八日印緬戦線における英軍の損害を次の通り發表した

一、昨年十月十五日以降本年九月三十日までの英第十四軍の損害總計二七、一〇〇

一、スチルウエル麾下に編入された英第六師團の損害二、六九三

一、本年三月以降九月三十日までの英空挺部隊損害總計三、七一一

【カナダ】

英帝國航空會議終る

(リスボン二十八日發) モントリオール來電 聯邦民間航空會議は二十三日來モントリオールで開催され、印度、濠洲、ニュージールランド、カナダ、ニューファウンドランド、南ローデシア各自治領代表出席し、民間航空規定に關し協議を遂げたが、「國際安全保障並びに航空發達を目的とする國際航空管理機構」の即時設立及び英帝國連絡航空路の早期開始の二項目を満場一致をもつて採擇、二十八日閉會した

【亡命政権】

米の反對が

(ストックホルム二十九日發) 英首相チャーチルは二十七日下院におけるモスクワ會議の報告演説で、間接にミコライチク政権に對しソヴェト政府との間の意見の喰ひ違ひを是正するやう要求したが、ロンドンからのUP電報は袋小路に追ひ詰められたミコライチク政権の窮境を二十九日次の通り報じてゐる

亡命ポーランド政権はソ聯の領土要求を拒絶して英國を怒らすか、ソ聯の要求する條件に膝を屈してソ聯の屬國と化するかの關頭に立ち、恐怖と懊惱の日を送つてゐるやうだ、ミコライチク政権はチャーチルの報告演説によつて今更ながら事態の重大なことを認めたわけだが、一部は國境問題に關するソ聯の要求を支持するチャーチルの態度に憤慨しながらも、僅かにルーズヴェルトがソ聯側の要求受諾に反對することを最後の頼みの綱としてゐる

【ドイツ】

軍事訓練所

總監察官

(ベルリン二十八日發) ドイツ青少年指導者アックスマン氏は今回エーリッヒ・ベールンフエンガー陸軍中佐をヒトラー・ユーゲントの軍事訓練所總監察官に任命して、ドイツ青少年の軍事豫備訓練を統一的に強化することとなつた、ベールンフエンガー中佐はヒトラー・ユーゲントのなかで長らく幹部として指導的地位を占めてゐる青年將校であり、開戦以來數々の戦場で歴戦の功を現はして柏葉劍付鐵十字騎士章を總統より授與されてゐる、このやうに生粹のヒトラー・ユーゲント出身者であり、しかも實戦の經驗に富む現役將校が軍事訓練所總監察官に任命されたことはドイツの首脳部が青少年の軍事豫備訓練を如何に重視してゐるかを示すものであつて、最後の決戦段階に對處する最も重要な措置の一つであることを物語つてゐる、軍事訓練所總監察官は今度新しく設けられた地位で、ドイツ全國數百ヶ所にあるヒトラー・ユーゲントの軍事訓練所を統一的に指導し、組織強化を計らうとする目的の下に設けられた

北伊の匪團

掃蕩戰々果

(ベルリン二十九日發) 總統大本營二十八日公表「ドイツ軍偵察部隊は北部イタリアで蠢動を續ける匪團に對し奇襲掃蕩戰を行ひ、次の戰果を収めた

遺棄死體

捕虜

その他兵器多數を鹵獲

被占領地區に

ドイツ新聞

(ベルリン二十七日發) 現在反樞軸軍が占領してゐるドイツ西部地區ではドイツ人が新聞を入手出來ぬので今回宣傳省では各種政治記事を盛つた「フエルキツシエ・ベオバハター」の縮刷版を飛行機で上空から撒布することになつた、型は二十一糎×十四糎の四頁版で、創刊號第一頁のトップは「國民突擊隊」結成に關するヒトラー總統布告並びに論說「奪還を期して」等があり、他の頁には東プロイセンにおける突擊隊大會席上

のヒムラー内相の演説、ロメル元帥戰死並びに臺灣、沖航空戰における米國艦隊の大敗北、ハンガリア政變などの報道のほか漫畫なども載せてゐる

【イベリア】

反フランコ統一

戰線を結成

(ベルリン二十七日發) ロンドン亡命スペイン本部の發表によれば亡命スペイン人各團體はフランスのツールーズにおいて會議を開催し、共産黨をも含めて各政派を打つて一丸とする反フランコ統一戰線を結成することを決議したといはれる

西舊政府軍

首腦暗躍

(リスボン二十七日發) パリからのロイター電報によればスペイン舊政府軍首腦五名は二十六日夜バリにおいて秘密會議を開催、如何なる政綱のものにせよ、スペイン共和政府樹立の際には協力して支持する旨の協定を締結したといはれる

共産黨

領袖を逮捕

(マドリード二十七日發) スペイン警察當局は内亂當時から搜索中の共産黨領袖アントニオ・ビネロ・ベレスを逮捕し殺人犯として起訴した旨二十七日發表した

西外務次官

更迭

(マドリード二十八日發) スペイン政府は外務次官バン・デ・ソラリスを大使に任命した旨二十八日發表した、ソラリスの次官退任の原因はホルダーナ外相との個人的不和にあると見られてゐる

【東南歐】

勅裏切軍に

政治委員制

(リスボン二十七日發) ソフィア來電によればブルガリア二十七日ブルガリア軍隊に政治委員制を實施する旨布告したといはれる、右は赤軍の政治委員制と類似のもので政治委員は軍人としての階級を有せず軍司令官、師團長、聯隊長の目付役をつとめるものである

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【フランス】

佛西國境

事件解決案

(リスボン二十九日發)「ニ
ューズ・クロニクル」紙バリ
特電によればド・ゴール政權
は佛西國境紛争解決の方法としフランス國內軍及
びスペイン共和軍に國境より十九キロ以外の線に
撤退を命じ同時に目下スペイン共和軍が占據して
ゐる南佛所在のスペイン領事館を明渡し「正當
な官憲」に引渡すことをスペイン共和軍に命ずる
に決した

國內の

治安收らず

述べた

(リスボン二十七日發)バリ
來電Ⅱド・ゴールは二十七日
外人記者團と會見、次の通り
フランスの國內治安はいまだ確立されるに至ら
ずマキ匪團による暴行、竊盜は日夜頻發してゐ
る、またフランス中部特にロリアン、ロシエル
サン・ナゼール地方にあつては十分な兵力と兵
器を具備するドイツ駐屯軍が自己防衛を續けて
ゐる

パリに中立

國特派員

(チューリッヒ二十七日發)反
樞軸軍司令部は今回中立國特
派員のバリ駐在を許可するに
決定したが、條件として、電報はすべてロンドン
經由とし英國情報局で檢閲する方針と解される

ド・ゴール陸相

財政監察官兼任

(リスボン二十八日發)バリ
來電Ⅱド・ゴール政權は陸相
アンドレ・ディーテルムに財
政監察長官を兼任させることとなつた旨二十八日
發表した、ディーテルムはドイツ軍の南佛占領に
先立ちヴィシー政府の下にあつて、その監察官の
役を勤めてゐた

【北歐】

瑞典も

ド・ゴール承認

府として承認した

スエーデン政府

の協力を要請

(ストックホルム二十七日發)
スエーデン政府は二十七日ド
ゴール政權をフランス臨時政
府として承認した
(ストックホルム二十九日發)
亡命ノルウェー外相トレグレ
リーはスエーデン政府の招請

に應じ、法相テルジエ・ウオルドを同伴二十八日
ストックホルムに到着したがスエーデン外相クリ
スチアン・グエンテル博士は二十九日リー外相を
訪問種々協議を遂げた、赤軍のノルウェー進駐に
伴ひ亡命ノルウェー政權はスエーデン政府に對し
ノルウェー人避難民の保護を要請するため、右使
節團を派遣したと見られる

共産黨

議員を復権

(ストックホルム二十九日發)
ヘルシンキ來電Ⅱフィンラン
ド國會は二十九日ソ芬兩國の
戰端開始に當り除名された六名の共產黨議員を復
權させる旨決議した

【軍事情報】

獨新兵器

(ベルリン二十八日發)ドイ
ツ科學者陣は今回闇黒の中で
「猫の眼」劑
の眼」劑の發明に成功し既にその大量生産が開始
されたといはれる、新藥劑は「ノクタンB」と稱
せられ、目に注射すると網膜は赤外線を感知出來
るやうになり、夜間戰國機乗りたちは闇夜にこれ
までより三倍の距離から敵機を發見出來るやうに
なるわけである

獨軍のガラ

ス製地雷

(ストックホルム二十七日發)
「スヴェンスカ・ダグブラデ
ット」紙ロンドン電によれば
ドイツ軍は西部戰線において效果的新型地雷を使
用してゐるといはれる、新地雷はボール紙及びガ
ラスをもつて作られ、點火裝置までガラス製だか
ら現在の探知器は役立たないといふ

米軍の新

ロケット砲

(リスボン二十八日發)ボス
トン來電Ⅱボストン地區軍需
監理官陸軍大佐シートは二十
七日次の通り言明した
米國陸軍軍需局はバズーカ砲より大きい新ロケ
ット發射器を製作した、この第十二型四・五吋
ロケット發射器は爆破力においては一〇五耗高
性能砲彈に匹敵し、あらゆる種類の地上目標物
に對して使用される、新發射器は一人で携行し
三脚に載せるが、この砲架の二脚は固定して第
三脚のみが調整される、發射器の重量は二十二
封度、ロケット彈は三十八封度だ、これを數基
並べて遠くから間接操作で齊射することも可能
である

ド・ゴール承認問題論議

井上 勇

慌しき承認

英・米・ソ聯三國は、カナダ、濠洲、ブラジル、ヴェネズエラも驛尾に付して十月二十三日遂にド・ゴール政權をフランスの臨時政府として正式に承認した、重慶も越えて二十四日同じ手續きをとつた旨發表した、同時に、概ねブローニーヌからアルデンヌ縣に至り、ナンシーに出てロース河谷をマルセイユに下る以西の地域即ち全フランス本土の約三分の二は軍事地域から除外されて「内部地帯」ゾーン・アンテリユールと命名、臨時政府の行政地域として返還された、勿論、この地域内に散在する戦鬪區域、軍需補給地區は別である

米國々務次官ステチニアスの二十三日の聲明によれば、米國のフランス臨時政府承認は「フランス人自らがその國の行政を掌る可きであり、フランス國民解放委員會の名で知られてゐる組織が當然、フランスの法律と秩序確立の任に當ることを米國政府は常に期待してゐた」が故ださうであるが、同時に「能ふだけ早い時期において國民の意志表示を求めんとするフランス當局の意圖は種々な機會において知悉されてゐる」ことを想起したりなどしてゐる、承認と同時にアメリカがフランスの對獨降伏以來凍結してゐるフランス銀行の在米預金九億弗及び一般私有資産一億弗も凍結を解除されるに至らうと新聞はつたへた

英國政府は「現在の諸狀況」に鑑みフランスの「現存行政機關の承認」を適當とするに決定し、「今後はこの基礎の上に立つてフランス臨時政權を取扱ふ」ことを同じ日に發表した

ソヴェト政府は如何なる事由に基いて承認したか明らかでないが、モスクワ・ラジオは、米英兩國と時を同じくして、ド・ゴール政權をフランス臨時政府として承認したこと、アレキサンダー

・ボゴモロフをパリ駐在ソ聯代表に任命したことを併せ發表した、米國が既に米國代表としてパリにあるゼファソン・カフエリを改めて大使に任命するに決したに反して、ソ聯がド・ゴールとはアルジェ以來の因縁であるボゴモロフに「公使」の肩書のみしか與へなかつたことは、彼の貫祿の問題は別として、相當興味あるスペキュレーションの對象でなくもない、英國はダフ・クウバアを任命するといふ

果して終止符か

ワシントン電が宣傳するが如く、この承認が、長きに亘る論争に終止符を打つた」ものであるかどうか、「フランスと聯合諸國との關係の基礎が完全に變化した」ものかどうかは相當問題であるが、ただド・ゴールが今までの、單なる事實上のフランス政治の指導者の地位から、少くとも反樞軸諸國にとつては、フランス國首席、フランス政府首班に向上したことのみにいひ得よう

ロイターの外交記者で、元パリ支局長だつたランドオル・ニールが「この承認によつて、英佛間に新しい密接な諒解の途が拓かれる」ことを希望し、「英國は夙に承認手續をとるべきであつたに拘らず、今日まで承認がのびのびになつたことについては、英國政府は合衆國及びソ聯と共同歩調をとりたいためだつたと、いひわけしてゐるがそれは何等辯解にはならない」と政府の頂門に慣合ひの一針を刺して「もつともド・ゴール政府を承認する時が來たか來ないかの決定はアイゼンハウアーの胸の内にあつた」と態よく責任は米國に轉嫁してゐる

とまれ、ド・ゴール政權の承認が急轉直下實現したのは十四日のド・ゴールのラジオ放送演説の藥が利いた結果であることはいふまでもなく、英國政府は不承認問題を繞つて、ド・ゴール政權の外交乃至はフランスの輿論が急速度に、反英米的に轉回せんとする氣配を見せ、まかり間違へば英國が戦後外交の基幹として、赤色勢力の西漸を喰止める防波堤たらしめんとする西歐聯合案が水泡に歸する惧れを示し始めたのに周章して、アメリカ政府を説得したものであらう

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ド・ゴールの脅しの利目

十月十七日ロイター、パリ電によれば「十四日のド・ゴールのラジオ聲明は、フランスの世界における地位、その將來の外交政策についてフランス言論界に大波瀾を捲起した」といふが波瀾を起したのはロンドンの方が深刻だつたのだ、一般の氣受は大満足といふところだ、演説の中で最も重大な點は、勿論西歐諸國の目下のフランスに對する態度の冷淡が、はたして世界の自由のために適切であるか否かは將來が決するだらうといふ點だ、現在の西歐聯合を密接にする上において聯合國の今の態度は妥當かどうかと疑問を投げかけた點だ

フランス人はいま、現在の反獨聯合がフランスの外交政策の基礎として最善のものとどうか疑問をもつてゐる、勿論フランス人を反獨的でないものは極めて少なく、ドイツに對しては最上級に苛酷な平和條件を課すべしとは一般の感情だが、同時に一部有識フランス人は反獨外交政策といふものが果して、フイジカリーに可能であるかどうかに疑問をもち、その證據として、ドイツの將來の處理案についても、フランスは除け者にされて米・英・ソ聯の三國のみで討議されてゐるではないかと指摘してゐる、彼らの立論によれば、フランスの將來の外交政策は、不可避免的に、来る可き平和協定でドイツがどうなるかによつて決定されるものだといふ、ドイツが徹底的に壓迫されて、フランスが強國となるための凡ゆる機會と條件とを與へられるものとすれば、フランスの外交政策の基調の問題は解決されるが、米英の政策がドイツは弱く、フランスは強く決するかどうかは、今なほ疑問だと解してゐる

フランス人の一部の意向を代表するものとして社會黨の書記長ダニエル・メイエが「ボビュレル」紙に執筆した聲明を擧げることが出来る、メイエはドイツの處理方法として(一)ドイツの鑛業、製鐵、製鋼、化學工業の國有化と(二)學校の教科書を國際的に管理することを提案し、ドイツから凡ゆるフアシズムの痕跡が除去されたならわれわれはドイツに手を差し伸べてこれを共和的革命的國家となし、他の國と平等の權利を與ふべ

きであると主張してゐる

英國にとつての鬼門

ロンドンの言論界は、ソ聯の西歐進出の脅威を胸に秘めつつ、西歐聯合の結成を心焦りつつ、この突如としたド・ゴールの疍癩玉の破裂に、周章よく能はないものがあつたが、彼らの不満は、やり場に窮して、米國への外れ弾となつて飛んだ、即ち、ド・ゴールが立腹したのは、アメリカが對ド・ゴール方針を早く決定しないからであり、米國のために英國の遠大な計畫が晝餅に歸する危險にさらされるに至つたといふのである、英國自身としては米國の同意がなくては、單獨でフランス臨時政府を承認するわけにはゆかないといふのである、ところで、アメリカは選舉が済むまでは「かかる重大案件」を決定することはないといふのがまた、「タイムズ」を初めとしての英國言論界の觀測だつたのであるから、大英帝國の外交は進退兩難に陥つてしまつたわけだ、かつて、アルジェでジロー追出しの喜悲劇を上演した際、苦汁を嘗めた經驗のある英國にとつては、ド・ゴールは一つの鬼門である、この際、再び同じ問題で米國の氣嫌を損ねることを欲しない氣持は十分諒解出来るが、ド・ゴールにしてみれば、英國のあまりの意氣地なさには不貞腐れてみたくなつたのであらう、便々といふ便りを待つてをれば己れの政權が赤い嵐に吹きとばされる、吹き飛ばされる位なら、身を挺して嵐に乗つてみようとも考へたわけだらう、そして、その脅しが百パーセントに利いたのが今度の承認だつた

米國の物惜しみ外交

さて、アメリカは一應英國のいひ分に聞いて、ド・ゴール政府を承認したのであるが、こと米國に關する限り、對佛關係は何らの進展をも示してゐないのだ、まづ北阿の問題である、英國は承認をまづ與へて近東その他の懸案を解決しようと餌時外交であつた反して、アメリカは「デーク・アンド・ギブ」の物々交換外交を試みようとしてゐた、それが、現在の「諸狀況」に押されて、イギリスに追隨することになつたので後口はよからう筈もなく出来るだけ早く選舉を行ふ意志があるといふフランス當局の公約に信倚してなどと、物欲しさうな條件を付してゐる

一體、その選舉とは何であるか、主として各縣の縣會議員選舉である、勿論市町村の選舉も含まれてゐるが、ド・ゴールはこの選舉を來る二月に行ふと十月六日の閣議で決定した、民主國流の解釋に従へば、これはフランスが民主政治に還る第一歩であるが、この選舉の實行は少々容易な業ではない、第一は戰禍によつて多くの市町村では選舉人名簿が紛失してしまつてゐる、一九四〇年以來、戰爭の煽りを喰つて人口は極度に移動してゐる、軍隊または勞働者となつてドイツに滞留中のものが數百萬人にのぼつてゐる、それに問題は欲せざるに與へられた婦人參政權の結果、新たに登録すべき數百萬人の婦人有權者名簿の調製の仕事である、現在の混亂から判斷すれば、來年の二月の間に合ふかどうかさへ疑問なのだ、その縣會議員がすんで上下院議員の選舉といふことになれば、話は大分先のことになる

米國がフランスの選舉に特に關心を示してゐるのは、この選舉によつて、フランスに保守自由主義政府の出現に希望をかけてゐるのである、承認はしたが、ド・ゴールが失脚して、より親米的な政府が出現することを待望してゐるのが米國の肚なのだ

ドイツ側の見解

ド・ゴール政權の承認にたいするドイツ側の見解は二十四日DNBが代表した形で發表してゐる反樞軸國はド・ゴール政權の承認によつてフランス國內の日々に昂る混亂狀態の責任を回避せんと欲したものだ、ロイター通信のいふ「英佛間に新しい密接な諒解の途が拓かれる」とは一九四〇年夏チャーチルによつて主張された英國の案を再生せしめんとする英國の意圖の再確認にほかならない

と、この承認を解してゐる、一九四〇年のチャーチルの案とは英佛合邦案である、ドイツ側はフランス國內のマキ團の跳梁、飢饉等は聯合國にとつては手もつけられぬ難關であり、あつさりこれをド・ゴールの責任に轉嫁したにすぎないとみてゐるわけだ

「ロンドン・タイムズ」は二十四日の社説で、「聯合國今回の決定はド・ゴールの權威に、新しい力を加へたものであり、特にド・ゴールが現

在、フランス國民にたいして最大の結合と規律を要求しなくてはならない立場にある際、最も機宜に適つた措置だつた、臨時政府は今後、新しい自信をもつて國家再建の問題に専念出来るだらう」といひ、「マンチエスター・ガーディアン」も同じ日「承認を漕ぎつてゐる限り聯合國はフランス國內の出來事について責任を負はねばならず、フランス國內の民主的感情を英國は扼殺したといふ批難を蒙る危険な立場におかれる」と論じてゐるのは、ドイツ側の見解を裏書きするものだ、ソ聯が同時に承認手續をとつたについてはDNBはモスクワの希望するところは、自己の特殊利益の推進であり、そのことはボゴモロフが、民主化したフランスに希望をかけ、フランス國民を砲彈の補給源として動員することをド・ゴール政府に希望する演説を行つてゐるについても十分推知出来る

と述べてゐる
いづれにしても、「承認」の一言でフランスの國內事情も、國際關係も根本的に改善または變化する筈もなく、第一、三分の二「内部地帯」としてド・ゴールの行政下に返却された領域も、これは補給地帯、これは戰區區域と控除して行けば三分の一にも足りない怖れがあり、しかもその三分の一のまた大部分がマキ團の手中にあるといふことになれば、臨時政權の勢威の及ぶ範圍は幾何ぞやと疑つて見度くなるのが現實の姿なのだ

英國の焦躁昂まる

國際關係についても、イギリスはとも角「フランスの領土の保全を保障する」と屢々聲明してゐるが、米國は未だ嘗てこのやうな聲明をしたことはない、ロイター通信は二十四日「重慶もフランスの領土保全については英國ほど態度が明白でない」と暗に、重慶が佛印の失地回復を目論んでゐることを暗示してゐるが、その英國が、着々としてシリア・レバノンに既成事實を作りつつあるのであるから、フランスたるものは晏如たり得ないことは同じことだ、ロイターはド・ゴール政權陸軍省が十月二十三日發表した極東勤務兵の募集、二十四日植民省が公表した同じく極東勤務の從軍醫師、看護婦の募集をもつて「骸骨部隊を編成して、太平洋作戰に参加したといふ口實を作るため」と冷笑してゐるが、ド・ゴール政權は米英には氣兼ねして、専ら帝領回復を佛印に表象化しようとしてゐるのは事實だ

ド・ゴール政權は日佛協定に基く佛印共同防衛條約は勿論、一九四一年の泰佛印國境協定も、これを承認しない立場をとり「フランス帝領の眞珠」と彼等が呼稱する佛印の回復を聲を大にして叫びつつある、その狙ひは、アメリカおよびイギリスをしてフランス帝領の保全を保全せしめんとする間接射撃の意味が多分に含まれてゐるとみる方が正しいやうだ

音頭取りは英國

却説、承認發表に先立つて二十日同盟ストックホルム支局は次のやうなフランスを中心とする英國の動きを打電してきてゐるが、一應今回の承認に當つての英國の態度を要約してゐると思はれるので紹介しておかう

英米はド・ゴール政權を近く承認するかも知れぬが、英・米・ソ三國の同時承認となるかどうかは疑問だ、英國が單獨で承認することもまた米・英兩國の外交政策の統一を破ることになるので、これまた英國が敢へてなし得るか否かは疑問である、ルーズヴェルトは速急に臨時政權を承認する意志を最近表明したが、それが選舉前に決行できるかどうかはあやしいと消息筋は考へてゐる、しかし、英國は、輿論の傾向から判斷して、フランスとの特殊關係に鑑み、まかりちがへば單獨承認をやるかも知れぬ氣配を示してゐる、英國のこの氣配の中にはフランスが米國の資本主義に支配されようとしてゐる事實に對する焦燥が觀取される、同時にフランス國內の赤色勢力の伸長も英國としては見逃し得ずド・ゴールとソ聯との關係が日に日に稠密になりつつあることも、英國は不安の眼をもつて眺めてゐる、英國は地理的にのみ考へても、フランスの事態に最大の關心を持たざるを得ないのだ、十四日のド・ゴール演説以來英國の對佛輿論は一層尖鋭化してきたのも無理はない、「タイムズ」の如きは、場合によつては英國は單獨でド・ゴール政權承認の必要があると主張し、それは、英國にとつて特殊利害關係を有する聯合國諮問會議にフランスを加入せしめる不可缺な前提だと主張してゐる、「ニュー・ステーツマン・アンド・ネーション」誌は「英國がフラ

ンス輿論を刺戟するがごとき政策をとり、英國の外交は米國への追隨以外にはないがごとき印象をフランスに與へれば、フランスは大陸プロツクに走つて、英國は除け者にされる惧れがある」とまで論じてゐる

かうした觀測から判斷しても、今回の承認が、イギリスの音頭取りの下に行はれたことは一應結論しておいてよいやうだ



ド・ゴール政權承認に關する

ステチニアス聲明全文

米國政府はド・ゴール將軍の指導の下にパリに設立されたフランスの事實上の權威當局をフランス共和國臨時政府として本日承認した、この意味の通牒を本日臨時政府宛送達した、臨時政府が受諾すればゼファソン・カフエリ氏がフランス駐劄大使の責に任ずる筈である、今回の米國政府の措置は大統領及び國務長官によつて、しばしば公に言明され來つたフランスに對する米國の政策と調和するものである、國務長官が一九四四年四月九日の演説中で述べたごとく、フランス人自らが、彼らの國の行政を掌るべきであり、米國政府は當時フランス國民解放委員會の名の下に知られてゐる組織が、法律と秩序との確立の任務に當ることを期待してゐるとは常に大統領及び國務長官の思念するところであつた、この政策に従つて聯合軍最高指揮官とド・ゴール將軍を首班とする事實上のフランス當局との間に、フランスの民政事項の管掌及びその他關係事項に關する協定が成立した

「内部地帯」の設定

民政事項協定に規定された手續きに準據してパリを含むフランスの大部分をいれて「内部地帯」の設定をみた、協定の定むるところによれば、内部地帯においては、その領域の行政行爲、それに伴ふ責任はこれ全くフランス官憲の所管するところとなつてゐる、今日、フランス國民の廣汎な大多數は自由である、彼らは目下パリに運營されつつあり、フランス國內の敢爲なる抗戰諸勢力の代表を抱擁して改造強化された行政機關が政府としての責任及び義務を擔當することに對する希望を最近しばしば披瀝する機會を有した

フランスの戦争捕虜及びドイツへの移出者の歸國を待つて能ふだけ早い時期において國民の意志表示を求めんとするフランス當局の意圖は種々な機會において知悉されてゐる、適法に選出された代表の行爲を通じてフランス國民の意志表示がなされるまで、フランス共和國臨時政府は戦争を最後の勝利まで完遂し、フランス復興の基礎をおく努力において合衆國政府の引續き、全的、友好的協力を期待してよろしい

旅券 交附規定

フランス國と聯合國遠征軍最高軍司令部との協定により、パリを含むフランスの重要な部分が「**南部地帯**」と宣言されたに鑑み、國務省はアメリカ市民で（一）彼等のフランスに在ることが直接、間接に軍事努力に寄與し、または（二）彼等がフランス國內の旅行を欲する目的が戦争によりて阻害された經濟またはその他の活動を回復しもつて國家利益に寄與しまたは（三）彼等のフランスに赴くことがかの國の再建を實質的に援助することを立證する適當な證明を提示する場合は旅券交附願を受理するであらう

フランスに在ることが直接間接に軍事努力に寄與すると思考する者は、願書提出に當り、フランスに赴くことが如何なる方法において戦争努力に寄與するかを説明した政府内の適當なる省または機關からの書翰を添付しなくてはならない、アメリカの實業團體を代表する者は該團體がフランスに從前支店または分店を有してゐたこと、或ひは該團體が戦争によつて中絶するまで、定期的にフランスに代表者または代表者達を派遣してゐた事實を立證しなくてはならない

フランスに自身の職業を設定してゐた職業人で戦争の結果生じた諸條件に基いてかの國を退去した者は、彼等が從前フランスにおいてその職業に従事してゐた事實を立證する満足なる證據を旅券下附願と共に提出せねばならない

しかし、目下合衆國とフランス間の運輸便宜は極めて貧弱であり、合衆國の當該官憲は現在この機能が増大されるなどの見透しを何等有してゐないことは明白に諒解されねばならない、その故に

アメリカ市民で上記分類の一に該當すると思考する者は、フランスへ來往する運輸の方法について自身締結した取極めにつき國務省に申告しなくてはならない、フランスの「**内部地帯**」に對しては軍許可證は必要としないが、右地帯に入ること欲するアメリカ市民は何人も、アメリカ旅券の上フランス査證を取得しなくてはならない

デュウイの戦後問題演説

共和黨大統領候補デュウイは十月十八日「ヘラルド・トリビューン」紙主宰のラジオ討論に参加し放送演説を行つたが、その全文は次の通りである

ロボット爆彈の恐怖

例年喫緊の問題について議論を圖はすこの討論會に今回参加させて頂くのは寔に愉快この上もない、今日當面する世界の急務は何といつても將來の戦争の防止であらう、第三次世界大戰を勃發させてはならぬといふ一點では誰もが同一の意見を抱いてゐると思ふ、つまりわれわれは將來起りさうな戦争を起らぬやうにしなければならぬのである

よしんばこの點について眞珠灣以後ほんの僅かでも疑念が残つてゐたにしても、ドイツが最後の足掻きとして報復の盲爆に使ひ初めたロボット爆彈はこの疑念を一掃したであらう、この野蠻行爲は空しく實を結ばなかつたが、將來を警告する役には立つた

一九四一年十二月七日數隻の空母から放たれた日本飛行機のためにわれわれは眞珠灣で痛烈な打撃を喫した、もしもわれわれが世界の平和を確保してをかねならば、次の一戦はわれわれの前哨基地に對する奇襲といふ形ではなく、幾千哩の彼方から突如として飛來し米國の大都市に死と破壊を齎らすロボット爆彈によつて始められるであらう今度の戦争の始まる前から地球の表面は飛行機といふものの出現によつて狭められてゐたが、ロボット爆彈はこの世界をさらに一層小さなものとした

ロボット爆弾のお蔭で、一つの侵略國が假令世界のどんな片隅にでも現れれば、われわれは絶えずその國からの砲撃の脅威に曝されるであらう、萬一第三次大戰が勃發すれば、米國は開戦の瞬間から前線となるであらう、これは机上の空想ではなく現實である

戦争防止の機關

米國人は一人残らず以上の事實から必然的に引出される結論を學ばねばならなく、この教訓を忘れてはいけない、われわれは二度と再び世界に戦争を勃發されるといふ危険を冒してはならない、すべての自由を愛好する國々と共に米國もまた今回は危うく難を免れたが、もう二度とかういふ危い橋を渡つてはならない、何が何でも戦争はもうこれでおしまひにしなければならぬ、この目的のために米國は率先して將來の戦争を防止する機關の建設に努めねばならない、世界の事件に米國が介入することに關し或種の人々は敗戦主義的な態度を持してゐるが、私はかういふ人々には少からずうんざりしてゐる

彼らのいふところをきいてゐると、諸君は米國がこれまでつと——少くとも數年前までは——なんら外交の手腕を揮つたことがないやうに感ぜられるであらう、けれども實際は獨立戦争當時ベリジャン・フランクリンがフランス國王を誘つて米國を支援させた事例を初め、米國史上には多數の外交的勝利と國際的業績が見られる、國家創業の時代に在つてすら、米國は時として自分の軍事的力量を遙かに超えた精神的勢力を振つた——降つて近年になると米國の歴史は有能な國務長官が國際的協力的基础擴大のためとつた一聯の輝しい外交的措置で鏤められた——これら偉大な國務長官の名前を數へ上げる時、ブレイン、ヘイ、ルートヒューズ、ケロッグ、スチムソンを落すことは出来ない、これらの名前は善隣政策、對支門戸開放政策、平和會議、日本海軍を劣勢に制限した軍縮會議、戦争を非合法化したパリ條約、國際裁判所、侵略の成果不承認の政策、その他國際協力の基礎を擴大する多くの政策と結びついてゐる

共和黨を自畫自讀す

以上すべては米國並びに他國を尊敬をもつて扱ふ人々のなし遂げた業績である、そしてただ今名前を挙げた國務長官はすべて共和黨に屬してゐた以上の業績を初めその他數知れぬ業績が完成したのは、國務長官以下の正式外交官を通じて外交を進める大統領の下においてであつた、これらの大統領は大統領であると同時に出しや張つて國務長官の代りも勤めようとはしなかつた、米國國民に事情を知らせその判斷に従ふ代りに自分の個人的意志で外交を行はうとはしなかつた、もし將來恒久的平和の實現に成功しようと思ふならば、一つの黨派或ひは一人の個人にこの事業を獨占させてはならない、全國民の力を發して事業を進めねばならない(この間相當本文の脱落あり)

ルーミアニアの場合

ルーミアニアを見よう、一九四四年九月十二日同國との平和關係を再開する協定が成立した單なる軍事的休戦協定ではなく、將來のルーミアニア國境を畫定する協定であつた、ヨーロッパで一番扱い難い二つの地域ベッサラビアとトランシルヴァニアの問題を處理し、經濟問題にも觸れた、さてこの協定を交渉し調印したのは誰であらうか、米英ソ三國政府の代表としてマリノフスキーが調印したのであつた、即ち米國をも代表するソ聯代表がこの協定に調印したのである、調印の翌日國務長官はモスクワから協定の内容を報せて來るのが遅れたので檢討を加へる時間がないとの理由で、協定に對する見解の發表を拒否した

以上は大統領が個人的秘密外交によつて無理矢理に外交を進める場合どんな事態が起るかを示すほんの數例に過ぎない、この結果今日われわれはポーランド、フランス、ドイツ、ルーミアニアその他の歐洲各國に對する米國の政策がどうなつてゐるか知らない、さういへば南米あるひは支那に對する政策すら知らないのである、米國の輿論は無視され無力である

しかもこれらの障壁を乗り越えてわれらは勝利への道を戦ひ進んでをり、將來戦争の再發を防止する國際組織に米國を参加させるであらう、且つこの事業に成功するであらう、何故ならこれに關する限り米國的な遣り口を守り、この重要問題を當然處理する責任のある國務省にすべてを任せてゐるからだ

われわれの前途に横はるこの大事業を進める上の原則については既に過去において何回も意見を發表したし、特に六週間ばかり前には詳細な見解を明かにしておいた、これについては二つのはつきりした任務がある、一つは戦争終了の方法に關する當面の問題で、日獨兩國が降伏した場合どんな風に扱つたらよいかといふことであり、他の一つは平和の組織といふ長期の問題である

戦争處理の問題

第一の任務は主として戰勝者の仕事である、これには米英ソ支の四大國が緊密な協力を續けることが必要である、フランスその他領土はドイツに占領されても國民は勝利のために戦つた國々もまた發言權を與へられねばならない、日獨兩國は徹底的に敗北せしめると同時に完全に武裝解除すべきである、前からいつてゐる通り、ドイツには自國の航空機工業の所有を禁じ、ドイツ重工業の中心地ルール地方の全部を國際管理とする必要が起るかも知れない、その外戦争犯罪人は位の下を問はず正義の審判に附さねばならぬ、戦争は損な仕事だといふことを日獨兩國國民の肝に銘じさせねばならぬ

國際平和組織の建設

第二の主要任務、即ち國際平和組織の建設は戦争の終了を待たず始められねばならぬことをここに繰り返し切言したい、この問題は出来るだけ早く解決されねばならない、平和組織の輪郭はすでに明らかにされてゐるが、世界の平和を愛好するすべての國から成る總會とほとんどいづれも開會し迅速な行動がとれる小規模な理事會が必要であらう

國際組織は必要とあらば武力の行使によつて軍

事的侵略を防止乃至阻止し得ねばならない、更に補助機關として國際裁判所を付加して國際間の紛争處理に當らせたらよからう

以上は本質的にはダンバートン・オークス會議の提唱するところと同一である、同會議によつてわれわれの仕事は順調に滑り出したが、要するに問題に手を着け始めたに過ぎず、今後まだなすべき重要な仕事は澤山残つてゐる、骨子については意見が一致したにも拘らず、今後解決すべき問題で短氣のあまり衝突が生ずるとすれば、これに勝る悲劇はあるまい

すでにダンバートン・オークス會議の仕事を徹底を缺くといつて攻撃する人が現れてゐるし、一方では行き過ぎだつたといつて同じやうに猛烈な非難を加へる人もゐる、兩極端論は双方とも的外れてゐる、大切なのは第一歩を踏み出したといふことである、政府と議會、三大國のみならず平和組織の成功に必要な約六十の國々の意見が一致することによつてのみ、この事業が完成することを忘れてはならない、將來時期が來たらではなく今直ちに世界の小國を一人前の仲間としてこの仕事に参加させることが絶対に必要であらう、結局成功を永續させるには世界の輿論を味方になければならない、正義のない力はその場限りのものである、小國にどんな待遇を與へるかば文明の良心の試金石であるから、これらの小國を是非とも最初から仕事に十分参加させねばならない

失敗の危険

われわれにとつて破局的な事態の起る二つの場合が考へられる、一つは數人の個人的支配者が秘密會議によつて將來の世界平和を形成しようとする場合であり、他の二つはこの事業に参加する國のうちどれかが個人的野心によつて對立するグループに岐れる場合である、われわれは將來の侵略を阻止し平和を維持する能力を毀損するやうな制限を附することなしに、この世界的組織に参加する權利を確保して置かねばならない、すべてに最初から完璧を期するならば必ず大きな禍をまねく人間の進歩といふものはそんなものではない、しかもこの問題は人間性に深く根ざした問題である

どんな困難が現れてもわれわれ兩極端論者のために目標を見失つてはならない、われらはロボツト爆彈の慘害をまざまざと想ひ起すことが出来るが、この記憶こそ世界の何處の國も最早侵略に對して安全であり得ないことを示してゐる、これからはどんな國も金城鐵壁とはいへない、最早自分らが平和を愛好するからといつてそれだけで安心してはゐられない、國際平和組織が將來の戰爭を防止するには二つの團結が必要である、一つは反樞軸國の團結であり、ひとつは米國國民の團結である

國內統一の必要

われわれは現在成功裡に仕事を進めてゐる、米國國民一億三千萬に満足を與へ、更に約六十の外國と協定を結ばうといふのであるから、誰もが希望通りのものを得ることは出来ないのはわかり切つてゐる、人間が各主義主張をもつてゐるのは當り前だが、誰か一人でも自分の思ふ通りにならないければ手を引くと言ひ出したら、何も出来なくなるであらう、さうなれば人類始つて以來最も悲惨な事態とならう

ハル國務長官は最も米國的方法で民主共和兩黨の參加してゐる上院委員會と着々仕事を進めてゐる(電文二行不明)忍耐と叡智にたより、國民の決意を十分發揮せしめるならば、すべての問題は結局解決すると確信する

われわれは偉大な第一歩を踏み出したが、今後努力を重ね目標を達成せねばならない、人々が末永く獻身的に支持し得るやうな組織を作るため、人々を引張りだし彼等と協力せねばならない、今日の米國國民は米國史上空前の犠牲を拂つてゐる或る者は永久に拭ふことの出来ぬ傷痕を持つて歸つて來るであらうし、或る者は行つたまま歸つて來ないであらう、かういふ悲劇を繰り返してはならない、戦死者の死を無駄にしてはならない

前途の大事業のために國內に清新明朗な統一を保たねばならない、この統一こそ疲弊して世界に恒久的平和を齎す事業の指導者となる資格をわれわれに與へるところのものである

デユウイ、統制經濟を支持

英紙「オブザーヴァー」

ワシントン特派員九月二十四日發

米國大統領選舉戰の最近の發展中最も注目される現象は、戦後も米國國民の經濟生活を政府による廣汎な統制の下におくデユウイが段々はつきり支持し始めたことで、工業、農業、財政、勞動など種々な分野に亘つてデユウイは米國經濟制度の自由な活動に政府の手で、ある程度の干渉を加へるやう主張したが、これはフーヴァーの保守的な經濟政策の冒瀆とすらいへることで、共和黨の歴史に未だ曾てない話であつて、デユウイ中部及び太平洋岸の遊説旅行でこれまで述べたことを仔細に分析すると次のやうな要點が得られる

- 一、失業の防止については政府が全面的に責任を負はねばならぬといふ議論を承認する
- 一、ニューディールと共に開始された失業保險、養老年金、最低賃金法のすべてを存続せしめる
- 一、極端な物價の高低に對し農民を保護する
- 一、勞動階級がこれまでに獲得したすべての社會的特權を引續き保持せしめ、團體交渉に關するすべての既得權を完全に擁護する
- 一、老大な國內資源の開発を積極的に參加させる
- 一、いはゆる國家統制經濟を實施してゐる多くの外國と競争するため、米國政府は外國貿易にも干渉する必要がある
- 一、「勞働する男女の賃金を磨り減らして景氣循環の影響を緩和する政策に反對の社會的見地」を支持する

デユウイは米國の國家經濟が最早政府統制から解放され得ないことを認め、舊式で野蠻で「生馬の目を抜くやうな競争の時代は永遠に去つた」といふ見解をとる、デユウイが當選した曉には共和黨内に可成りゴタゴタが起るのを覺悟せねばなるまいが、以上の點についてはデユウイの意見が變化して來た事實は、米國國民が一般に舊來の共和黨の經濟的自由放任主義に嫌らぬやうになつてをり、しかも共和黨全體は兎も角としてデユウイ自身はこの傾向に氣がついてゐることを示してゐる

昭和十九年十一月二日(木)
第三二二八號

同盟通信

海外電報

(252)

【目次】

スチルウエル旋風

二五六四—二五六五

蔣介石との衝突を確認

二五六五

ウエデマイヤー軍慶着任

二五六五

ガウス大使の更迭を否定

二五六五

ガウス大使辭表を提出

二五六五

【米 國】

混沌たる大統領選舉戰

二五六六

更に民需生産を擴大

二五六六

リベリアへ調査團派遣

二五六六

陸軍航空隊技術訓練司令死亡

二五六六

シエンノート新司令官を代行

二五六六

【重慶政權】

罷免問題で新たな危機

二五六七

【北 歐】

瑞典、中立維持を闡明

二五六七—二五六八

【ソ 聯】

「アラウダ」波政權を攻撃

二五六八

【亡命政權】

カーゾン線に同意か

二五六八

イラン政府毅然たる態度

二五六八

【特 輯】

空軍ロケット時代

二五六九—二五七二

【資 料】

空の破壊兵器

二五七三—二五七五

燃料問題を繞る英葡關係

二五七五

數字から見た戦時下の米國

二五七六—二五七七

獨軍またまた新兵器

(ベルリン三十一日發) ドイツ軍當局は東プロイセン戦線のドイツ軍が新型の機雷を使用してゐる旨三十一日發表した、新型機雷の性能の詳細はまだ明らかにされてゐないが、従来の機雷よりも遙かに強力な爆發力を有するばかりでなく、磁氣探知器によつても所在を發見されぬ特性を有し、赤軍を大いに悩ましてゐると傳へられる



最近ギリシヤの遊撃隊EAM、ELAS兩團體とブルガリア軍の衝突事件が勃發し、事態收拾のためブルガリア共産黨の首領でコミンテルンの大立物デIMITROFが乗り込んだと傳へられるが、ギリシヤの犠牲においてブルガリアにおける共産勢力の強化を圖る意圖は見え透いてゐる、ドブルジャ地方を繞るルーマニアとブルガリアの争ひは前者に軍配が上ることは當然豫想されるが、ソ聯が以上の混沌たる國境争ひを巧みに利用して、バルカン諸國を衛星國の地位に固く縛りつけようと努めてゐることはいふまでもない、タイムズ紙はギリシア、アルバニアを英國の勢力圏と主張してゐるが、最近兩國內における共産勢力の急激な擡頭は、以上の兩國に對するソ聯の方針をそのまま物語るものだ

モスクワ會談ではバルカン問題に關し、何一つ決定をみなかつたと信する十分の根據があるが、英ソ利害關係の交錯といふこと以上に問題を複雑化してゐるのはバルカン諸國の國內情勢と國境争ひだ、目下の焦點をなしてゐるのはトラキヤを繞るブルガリア、ギリシヤ、トルコの争ひ、マケドニアを繞るユーゴスラヴィア、ブルガリアの對立、ドブルジャを繞るルーマニア、ブルガリアの論争だ、ブルガリアに對する反樞軸の休戰條約にはトラキア、マケドニア兩地方におけるブルガリア占領軍の引揚げを規定してゐるが、赤軍と協力するブルガリア軍の處理については全然觸れてないから事態に何等の變化もないとみてよからう、ブルガリアは立場を有利に化すためブルガリア、ユーゴ聯邦案を提唱してマケドニアの共同管理を主張してゐるが、情勢をさらに困難にしてゐるのはマケドニア國家主義分子の獨立運動だ、トラキア地方では

スチルウエル旋風

米蔣抗爭の内面暴露

(リスボン三十一日發) 重慶駐屯米軍總司令スチルウエル大將の辭職に關聯し米國政府は三十一日遂にAP、UP各通信社を通じ一切の經緯をぶちまけ蔣介石の面子を全く蹂躪する措置に出るに至つた、まづAPはニューデリー特派員プレストン・グローヴァーの名で次の通り報道してゐる

スチルウエル大將召還は東洋以外では起り得ない戰略と外交との結びつきに基く事態だ、今日に至つて初めて檢閲を通つた詳細を傳へることが出来るのだが、ことの起りは二ヶ月前ハーレー少將とドナルド・ネルソンが重慶に到着した當時に遡る

蔣を脅かす

米軍の統帥部においては東亞反攻の戰略を急遽全的に樹てなほす方針のもとに、兩人に老大な權限を賦與、日本軍との戦ひにおいて米軍との協力を増大するといふ確固たる公約を重慶政權から得て來るやう依頼した、APの確聞するところによれば米國政府は事實上重慶政權に對する支持を撤回すると威嚇し右公約を蔣介石から取付けたと傳へられる、同時に誤解を避けるため正確に報道するならば、米國政府は最後の瞬間幾分態度を緩和し、蔣介石の面子を立て且つ懷柔策としてスチルウエル大將を重慶から引揚げることと同意した、米國政府は國共の合作により重慶軍と中共軍とが協力して日本軍に對し抗戦することを要求、ハーレーとネルソンとは重慶政權が延安政權との間に和解出來ぬことについて米國政府が痛く失望してゐる旨を指摘した

米政府の要求

米國政府の要求條項は

一、蔣介石が重慶國民政府を改組し反動的妨害的排外的な分子を罷免すること

一、獨りビルマ戰線だけでなく他の戰線でも日本軍に對する重要作戦に關しては、米軍の將官を

重慶軍の司令に任命すること

等である、以上の條項は「極めて力強く」蔣介石に提示され時には大統領ルーズヴェルトから態々特別な親書まで送つたこともあつた、交渉の過程において屢々「嵐の場面」が展開された、蔣介石は中支那の主要戰線における重慶軍司令部の一部が必ずしも有能ではなかつたことを間接に認め、他の條件には同意したが豫想通り國民政府(内閣)の解體乃至改組を拒否した

UPの報道

またUPは大東亞戰爭の當初スチルウエル將軍とビルマ戰線から敗走千里行を共にし、その後重慶に駐在最近ニューヨーク本社へ歸つたダレル・ペリガンの次の記事をバラ撒いてゐる

スチルウエル大將の召還は東亞反攻作戦の遂行につき、ワシントンの高官と蔣介石との間における深刻な龜裂が最高潮に達した現れだ、ルーズヴェルトは今回スチルウエル大將を召還するに當り紛争は未解決のままとし重慶軍の徹底的改組と日本軍に對する抗戰強化によつて蔣介石が自らの立場を事實によつて立證するかどうかは全く蔣介石の決斷次第だと下駄を預けてゐると解される、スチルウエル大將の召還と同時に重慶駐劄米國大使ガウスも辭表を提出してゐる、ガウスは久しい以前から重慶政權に對する「强硬」政策を主張して來たが、スチルウエル大將の召還は重慶における米國の地歩を根柢から覆へしたとの考へだ、八月ハーレー少將とネルソンとが蔣介石と會見した際支那戰線の戰況についてはルーズヴェルトが重大な懸念を抱いてゐる旨を述べ

第一、支那戰線で入手出來る一切の武器並びに補給を最も效果的に配分するためスチルウエル大將を支那における反樞軸軍全體の最高司令に任命すること

第二、重慶軍統帥部におけるダラ幹老朽を整理し效果的な戰闘單位に改編する見地から重慶軍を徹底的に刷新すること

第三、いはゆる共產軍との間に共同戰線を布き戰爭努力を統合すること

等を要求した、特にハーレー少將とネルソンは共

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

産軍が重慶軍將領の指揮を受けないといつてゐるのだから重慶軍と共產軍との合作には外人を最高司令に任命する他はない旨強調した、蒋介石は以上の見解に同意したがスチルウエル大將を最高司令官に任命するとの發令が仲々出て来ない、九月下旬には蒋介石はルーズヴェルトに對しスチルウエル大將に全幅の信頼をおく旨特に申し送つてゐる、ところがスチルウエル大將が愈々自分の計畫を實施しようとしたところ蒋介石の考へが變つて來たらしい、十月十五日乃至十六日蒋介石は激怒して電報をルーズヴェルトに打ち

第一、反樞軸艦隊がビルマ南部に進撃した場合初めてビルマ北部に作戰を起すのに同意したのに、スチルウエル大將は以上蒋介石の意向を全く無視してビルマ北部の作戰を開始した第二、支那奥地の空軍基地喪失はスチルウエル大將が十分武器を重慶に輸送出来なかつた結果である

との理由をあげ同大將の罷免を要求した、蒋介石はスチルウエル大將が退けば重慶の戦争努力改組は蒋介石自身で斷行する旨を送りルーズヴェルトは

希望に基きてスチルウエル大將は引き揚げる、しかし同大將に對する非難は一顧にも値ひしない、當初スチルウエル大將が實施するやう委嘱された改組を遂行する責任は今度は蒋介石の負擔するところだ

と返電した、そこでルーズヴェルトはスチルウエル大將に歸國を命令したが、出發に先立ち蒋介石は同大將に重慶最高勳章を授け度い旨を申出で、同大將は公式なお茶の會を最後に蒋介石と別れた

蒋介石との衝突を確認

(リスボン三十一日發) ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは三十一日の新聞記者團會見で次の通り言明した

余は如何なる人と雖もスチルウエルの召還問題を政争の具に供し得るとは考へない、スチルウエルはたしかにその任務を立派に果したが、ただ一つだけ失敗した、それは蒋介石と衝突したことである、勿論蒋介石は重慶政權の元首であ

り、また重慶軍の最高指揮官である、もし余が米國に散在してゐる英國の將校を好まないならば、余は早速チャーチルに話しをつけてその英國將校を本國に召還して貰ふだらう、これは當然のことであり、蒋介石とスチルウエルとの問題もこれと同様である、スチルウエルは米國に歸る筈であり、彼の階級にふさはしい新地位が與へられるであらう、支那の共產黨問題はスチルウエルの召還とは全く關係ない、また過般のネルソン、ハレーの重慶訪問もこれとは全然關係なく現にハレーは依然として重慶に留まつてゐる

ウエデマイヤー

重慶着任

(リスボン一日發) 重慶來電 〃スチルウエルの後任とし支那戰域參謀長兼在支米軍司令官に新任されたアルバート・ウエデマイヤー少將は三十一日空路重慶に着任した、飛行場到着に際し重慶軍參謀長兼軍政部長何應欽、外交部長宋子文、英國首相重慶駐在代表カートン・ド・ワイアード中將、米國大統領特使ハレー少將、在支米軍參謀長ハーン少將等が出迎へた

ガウス大使の

更迭を否定

(リスボン三十一日發) スチルウエルの罷免に關聯して、米國の重慶駐劄大使クラレンス・ガウスの罷免も話題に出てゐる模様で、ワシントン來電によれば國務次官ステチニアスは三十日の記者團會見で「スチルウエルの召還に伴ひガウス大使も更迭されるか」との質問をうけたのに對し「そのやうな更迭について考慮は拂はれてゐない」と答へ「かかる問題についてなにも知らない」とも答へたといはれる

ガウス大使

辭表を提出

(リスボン一日發) スチルウエル罷免の原因が重慶に對する米國の政治外交問題を含む關係上、スチルウエルと共に蒋介石との外交折衝に當つて來た重慶駐劄米大使クラレンス・ガウスの去就は注目されてゐたが、UP通信ニューヨーク電によれば、ガウスはスチルウエルの召還後に遂に辭表を提出し「スチルウエル大將の罷免は重慶における米國の地位を甚だしく弱化した」と語つたといはれる

混沌たる大統領選挙戦

兩者の勢力正に伯仲

(リスボン三十一日發) 大統領選挙戦を一週間の後に控へて選挙戦は今や白熱點に達したかの觀あり、四期當選の野望を全うせんとする民主黨のルーズヴェルト、雌伏十二年政權を獲得せんとする共和黨デュウイとの間に火花を散らす最後の決戦が展開されてゐる模様だ、さきに全米にわたる遊説旅行を終つたデュウイは選挙の歸趨に支配權を握る東中部のいはゆる樞要州に運動の主力をおきほとんど連日の如く演説してゐる、これに對してルーズヴェルトは民主黨候補を受諾した當時には「選挙運動は行はないであらう」と大見得を切つたにも拘らず、選挙期日が切迫するやこの廣言は全く忘れ去つたかの如く猛烈な選挙運動に乘出し去る二十一日のニューヨークにおける演説を皮切りにフィラデルフィア、シカゴなどで演説、續いて来る四日にはボストンで再び選挙演説を行ふこととなつてゐる、勝敗の豫想については民主、共和兩黨ともにそれぞれ自黨側に有利な皮算用に耽つてゐるが、最も不偏不黨の政界消息筋は現在のところ兩者の勢力は正に伯仲とみ、選挙期日が切迫してゐるにも拘らずその歸趨について豫斷を下し得ない點では未曾有の接戦を演じた一九一六年の選挙以來のことだと述べてゐる、かくてルーズヴェルト、デュウイ兩者のいづれに凱歌があがるにしてもその差は極めて僅少で稀にみる接戦を演ずることはほぼ確實とみてよからう

投票數の寡多が問題

ルーズヴェルトの強みは依然として米國民の間に大戰の最中において國家の元首、陸海軍最高指揮官の更迭を行ふことは米國のために不利だとの氣持ちが強く働いてゐる點にあり、民主黨側もこれを十分に認識してゐるので所謂「中流に馬を變へる危険」を前回の選挙の時以上に強調してゐるこれに對しデュウイの有利な點は米國民が十二年にも亘る長いルーズヴェルトの治世の後、更に同じ政權が今後四年も續く時は米國の民主政體が殆んど名のみとなり事實上ルーズヴェルトの獨裁政治と化することを恐れてゐるところにあり、更に

この恐怖とは別に米國民が相當ルーズヴェルト政權に飽きて來てゐることも見逃せない、今年の選挙で特に注目すべき點は投票數の相當の減少が豫想されることで、これは不在投票を認めない各州の市民で軍隊に召集された者或ひは軍需産業勞働者として他州に移住した者が相當の數に上つてゐるためだが、例へば出征將兵に對しては特に將兵投票法が成立してゐるものの將兵一千百萬中の有權者約四百萬のうち現實に投票權を行使し得る者は二百萬以下と推定される、出征將兵をはじめ棄權を餘儀なくされる者の大部分は勞働者その他下層階級で、これは大體ルーズヴェルト支持層である、されば投票數が四千五百萬以上ならばルーズヴェルトの當選確實、四千萬を割る時は却つてデュウイに凱歌があがるだらうとの觀測も行はれてゐる

更に民需

(リスボン三十日發) ワシントン來電 戰時生産局は先週

生産を擴大

中に全國三百三十八工場に對して民需生産再開の許可を與へた、この結果現在までに民需生産の開始を許可された工場の数は一、千二百七十八社に上り生産許可額は二億二千萬弗だが、うち五千七百萬弗が本年第四半期中の許可額である

リベリアへ

(リスボン三十日發) ワシントン來電 米國務省は三十

調査團派遣

日次の通り發表した
米國はリベリア國內西アフリカ海岸に港を開設する方針だが、各港灣開設に關聯しゴム栽培並びにオリブ油の生産實情を調査するため近く調査團がリベリアに赴く豫定である

陸軍航空隊技術

(リスボン二十九日發) ワシントン來電 陸軍航空隊技術飛行訓練司令官少將ウォ

訓練司令死亡

ルター・リードウィーヴァーは二十八日死亡した

シェンノート

(リスボン三十一日發) 重慶來電 スチルウェルの罷免に伴ひ少將アルバート・ウェ

新司令官を代行

マイヤーが新たに在支米軍司令官兼支那戰域參謀長に任命されたが、軍當局は第十四航空部隊司令官シェンノート少將が先任最高級官としてウェデマイヤーの着任まで臨時に在支米軍司令官の任に當ることになつた旨明かにした

【重慶政權】

罷免問題で新たな危機

(チューリッヒ三十一日發) スチルウエル召還の理由については東南アジア軍司令部内における英國側首脳部との意見対立及び重慶の内政干渉特に重慶軍の指揮權を要求し、國內戦線の統一を目的とする國共和解につき強硬な要求をしたことが蒋介石の反撥を買つたためであるといふ點に大體一致してゐるが、スチルウエルの身の振り方につき米陸軍省當局が「新しい重要任務につく豫定だ」と言明したあとからワシントン及びカンデイの一部消息筋では米軍が將來支那大陸沿岸に上陸作戰を行ふ機會が到來した場合にはスチルウエルがこの地上部隊の作戰指揮に當るかも知れないといふ勝手な臆測を下してゐる

以上の點につきスイス通信社のニューヨーク電報は

ホワイト・ハウスではスチルウエル召還につき補足的な説明を加へることを拒絶してをり、陸軍省は蒋介石が支那の戦局が危機に直面した結果スチルウエルの召還を要求したものだと思つて、これを拒絶した

と報道してゐる

いづれにせよスチルウエルの罷免により東南アジア軍司令部の擔當する戦域における米軍と反樞軸軍の體制に重大な變化を起したことは否定出來ず、またAP通信のワシントン電報はスチルウエルの召還によつて重慶は新しい軍事的及び政治的危機の渦中に眞逆様に投げ込まれるに至つたと述べ、更に次の通り附言してゐる

米軍當局では望みはかけてゐるものの蒋介石が重慶の軍事、政治問題を遲滞なく秩序ある状態に置き得ることに確信は寄せてゐない

太平洋戦争における最高戦略はここ數週間に支那で生起する事態に依存してゐる

これに關聯してワシントンの消息筋では蒋介石とその政權が今直ぐに解決しなければならぬ三つの大問題があることを指摘し、その一は戦争指導を改善する第一着手として先づ重慶軍を改革すること、第二に戦局の發展に備へて重慶と中央との

關係を確立することであり、第三は蔣政權が國民ともつと緊密な接觸を獲得する基礎を擴大することだとしてゐる

【北 歐】

瑞典、中立維持を闡明

(ストックホルム三十日發) スエーデン政府は三十日上下兩院においてスエーデンの外交政策に關する政府宣言を發表、スエーデンの中立維持決意を闡明した、右宣言は午前十一時半上院においてハンソン首相、下院においてはキュンダー外相によつて同時に發表されたもので、フィンランドの戦線脱落とそれに伴ふ赤軍のノルウェー侵入等北歐情勢に著しい變化が生じてゐる折柄、スエーデン政府今回の外交政策闡明は各方面の注目を惹いてゐる、宣言の要旨は次の通りである

反樞軸の壓迫を指摘

國際情勢に大きな變化が齎されてゐるにも拘らず、スエーデンは依然、中立政策を維持する決意である、何故ならばスエーデン國民は中立維持をもつて國家の重要權益を保護するための當然にして且つ必要な基礎だと考へてゐるからである、更にスエーデンは自國の生産設備が戦争によつて破損されることなく戦後の再建に役立ち得ることを希望する、交戦各國のスエーデンとの通商は極めて僅かな量に縮減されてをりスエーデンは些かも戦争の長期化には影響を與へてゐない、バルチック海が戦鬭水域と化すに及びスエーデンは自國の領海を外國の商船に對して閉鎖するのやむなきに至つた、かくてスエーデンはドイツ及びドイツを経由しての他國との交換物資の大半を奪はれることになつたわけである、しかしながら對獨輸出の減少が反樞軸國の壓迫にも由るものであることを認めざるを得ない、球軸承の對獨輸出の全面的停止は最も重要でこの輸出の制限によりスエーデンの經濟界は悪影響を蒙つたが、さればといつて西歐諸國との通商増大によつて以上の悪影響が償はれたわけでもない、隣邦フィンランドは現在極めて困難な情勢にあるのみでなく前途もまた多難である、スエーデンはフィンランドとの連帶關係を喪はず出来るだけフィンランド國民を援助したいと庶幾してゐる

孤立状態をも覺悟

一方またスエーデンは戦争の最終段階において恐らく自國が全面的孤立状態に陥ることを覺悟しておかねばならない、従つて戦後外國との通商關係を出来るだけ早く回復しスエーデンの輸出市場を見出すと同時に、原料並びに製品の輸入を圖らねばならない、しかしてこれがための諸外國との交渉は今日既に必要なのである、輸送問題については中立國としてのスエーデンの地位に注意を拂はねばならぬ、避難民の問題については寛大な政策をとる、ただ違法行爲をなし責任を逃れるためにスエーデンに入國しようとする者に對しては入國を拒否するだけである、過去數週間來約二萬八千名の避難者がフィンランドから到着したが、一般的に問題はうまく解決することが出来た、いはゆる國際安全保障組織に對してスエーデンは大國間の協力が世界の平和維持に貢獻しよう并希望してゐる小國の權益と正當な權利とに對する尊重と合致し得るか、どうかに一切は懸つてゐるとの見解を抱いてゐる

【ソ 職】

「ブラウダ」波政權を攻撃

(モスクワ三十日發) ルブリン政權は過般來赤軍占領地域内のポーランドにおいて農業改革を大々的に實施、地主の土地を沒收して農民に分配してゐるが、二十九日の「ブラウダ」紙は社説において以上の問題を採り上げ、ミコライチク政權に地主的反動の烙印を押して痛烈に攻撃した、モスクワ會談以來ソ聯言論界がミコライチク政權に對する攻撃の火の手を一段と強化したことは注目すべき現象である、「ブラウダ」紙社説の要旨次の通り

ロンドンの反動的亡命政權は彼等が獨立ポーランド國家の利益を保護してゐるかの如き印象を米英兩國に與へようと努めてゐるが、實際にはポーランド大地主の利益を保護してゐるだけだ、彼等がカーゾン線以東の地域を要求してゐるのはウクライナ、白ロシアの數百萬民衆を奴隸と化すポーランド大地主の政策に追隨してゐ

るのであり、ポーランド大地主の權利を主張することによつて數百萬の農民を奴隸と化す政策を支持してゐるのである、ポーランド解放地域ではすでに歴史的意義を持つ農業改革が實施され、農民に對して土地が分配されてゐる、亡命政權は蜂の巢を突いたやうに騒ぎ立てた、彼らは農業改革によりポーランドのパン達が立場を失ふことを恐れ、新聞やラジオを通じて熾に不平を零してゐるのだ

【亡命政權】

カーゾン線に同意か

(ストックホルム三十日發) ロンドン來電亡命ポーランド政權は三十日午前緊急閣議を開催、首相ミコライチクからモスクワ會談の經過を聴取し對策を協議した、UPの報道によれば亡命政權も四圍の事情に鑑み、カーゾン線を東部國境線として認めることに觀念してゐるが、レンベルグだけは是非保有したい意向であり、その他統合政權における椅子の振り當てについても可成り議論が残されてゐるので、方針を決定するのは週末と見られる

【西 亞】

イラン政府

毅然たる態度

(リスボン三十日發) テヘラン來電イラン政府が石油利權に關するソヴェト政府の交渉入りを拒否した結果タス通信社は頻りにイラン國內の政情不安を傳へてゐるが、イランの「パルス」通信社は三十日次の通り述べてゐる

イラン政府が國家本位の立場から石油利權の交渉を拒否したが今や右決定を覆すためイラン國內で示威運動や不安が組織化される至つた、しかし政府は治安維持のため斷乎取締る方針である

事態の重大化とともにテヘラン駐劄英國公使サー・レーダー・ブラードはイラン首相モハマド・サエドと會見したが、更に三十日重ねて會談した



空軍ロケット時代

武井 武夫

ドイツ軍の流星彈攻撃が始まつた時から、航空機がプロペラで飛ぶだけでなく、噴射推進による時代がいよいよやつて来たといふことが強く感じられた、噴射推進式航空機は決して新しい發明ではないが、それが實用化され、本格的生産に入つたのは極く最近のことで、飛行機ではなくとも流星彈がその魁だともいへないことはない、これは總てロケット兵器の發達の流れから必然的に生れたのであり、米・英・獨とも殆んど時期を同じくして噴射推進式航空機に關する發表を行つたのは興味深い、現在戰場に姿をみせてゐるのはドイツ空軍のメツサーシュミット機のみであるが、近い將來に敵味方の噴射推進機が高速を競ふ時代が来るのは必定であり、航空機搭載ロケット彈の大量使用と相俟つて世界の空には空軍ロケット時代が現出されよう、ここには最近入手した資料をもつて各國の噴射推進航空機の現狀を概観してみたい

ドイツ空軍機先を制す

噴射推進發動機は燃燒用酸素を大氣からとるで、液體酸素や固體酸素源を利用するロケットとは嚴密には區別さるべきだが、一般には簡單にロケット推進と稱され、それを利用する航空機も俗にロケット機と呼ばれてゐる、米軍航空隊邊りでは早くからベルP 59 エアコメット等の名稱も生れてゐたが、まだ試作機の範圍を出てゐない模様で大量的に戰線に現れたといふ話を聞かない、これに對しドイツ空軍は流星彈に引續きメツサーシュミット一六三型戰闘機、メツサーシュミット二六二型双發爆撃機シュワルベと續げさらに新銳ロケット機を繰りだして世界をあつといはした、その効果がどう現れるかは今後の問題だが、それが敵側にとつて大きな衝動だつたことは新聞雜誌の報

道をもても明かだ、たとへば次のやうな記事がある

「デーリー・テレグラフ」紙十月三日附 ドイツは明

かに空軍の華々しいカムバックに乗り出した模様で、その希望は新銳噴射推進邀撃戰闘機による本土防空と反樞軸軍交通線に對する戰闘爆撃機攻勢にかけられてゐる、彼らはこの噴射推進の戰闘機と戰闘爆撃機にその有する一切を注ぎ込んでゐるらしい、ところがその計畫は英空軍爆撃隊並びに米第八航空部隊によつて妨げられ、兩部隊の爆撃は長期に亘つてドイツの生産計畫を甚だしく阻害した、それにも拘らず、ドイツ空軍がオランダ上空で使用するロケット戰闘機の數は増加する一方だ、幸にしてわれわれはこのことあるを豫期してゐた、この戰闘機は大して縦舵性がなくスピットファイアーやムスタングは容易にその内懷に入ることが出来る、ドイツ軍はドイツ上空におけるわが空軍の優勢に挑戦し效果的な防空陣を張るに足るロケット戰闘機隊を揃へようとしてゐるが、われわれにもロケット戰闘機の生産計畫がないわけではない、事實若干のロケット機は既に對流星彈作戰に出動して相當な成績を收めてゐるのだ

右の記事にみる通り敵はドイツ空軍の噴射推進式戰闘機乃至戰闘爆撃機の威力を認めまいとしつつも自軍の噴射推進式戰闘機を云々することによつてその關心を暴露してゐる、だがこれは實は航空機そのものの發達における一つの趨勢なのであつて、好むと好まざるとに係りなく噴射推進式航空機は航空戰術をも一變させようとしてゐる

獨新銳機の威力

ではドイツ空軍の新銳機はどんな威力をもつてゐるか、ME一六三型については既に何度も紹介されてゐるが、「シュワルベ」機については十月六日附「デーリー・メール」紙に初めて目撃談が掲載されてゐる、その記事によるとME二六二型は低翼單葉の双發戰闘爆撃機で、噴射推進裝置は兩翼下面のナセル内にあるらしい、垂直尾翼及方

向舵は單式で全體の形狀はスピットファイアーより大きい加減だといふ、現在英空軍の戰術攻撃隊はオランダ並びにベルギーの基地からドイツ軍の補給線攻撃を行つてゐるが、この部隊のホーカーテンペスト機が時々ドイツの噴射推進機に遭遇するやうだ、一方米第一軍の戦線でも第九航空隊の戦闘爆撃機隊がしばしば噴射推進戦闘機に出會ふといはれる、比較的詳しい報告記事が十月三日附「デリー・スケッチ」紙にでてゐるから、次に譯出しよう、筆者はベルギーの第二戦術航空隊基地にゐる同紙従軍記者だ

「ベルギー前進基地にて」 地上戦闘の上空におけるドイツ軍新兵器は時速五百哩の噴射推進式戦闘機で、速度においては英軍の最高速機も凌駕するが、操縦においてはさうも行かない、この噴射推進式戦闘機は逐次その数を増しつつあり、操縦士たちの話によると二十機位の編隊に出會ふこともあるといふ、ドイツ軍が長い間噴射推進式航空機の生産に力を注いでゐたといふことには十分證據とするに足る事實がある、即ち、最近五ヶ月間に英國がスピットファイアー戦闘機の改良型を製作した上に「テンペスト」戦闘機まで出したのに對して、ドイツ空軍のメツサーシュミット一〇九型やフオッケウルフ一九〇型には全然改良の跡がみられなかつた、ドイツは恐らく全力を噴射推進航空機に注いでゐたのだ、來年にもなればドイツ軍の噴射推進航空兵力は相當なものになるだらう、既にドイツ空軍は最新のME二六二型を地上部隊攻撃に使用してゐる、これは五百封度位の爆弾を二個搭載し、水平速度は五百哩時に達するといはれる、もう一つはME一六三型單發戦闘機だが、この方にはまだこの基地の部隊は遭遇してゐない、しかし操縦士たちはドイツ軍戦闘機隊はこの新機種が多數配屬されてゐると信じ、いつかはこれと戦闘を交へることになるだらうと考へてゐる、空軍代將ラッセルは前進基地でかう語つた

俺は今日をはじめて双發の噴射機をみた、その後尾にとりついた時はもう追ひついたぞと思つてかなり好い氣持だつた、ところが照準が定つて發射鉤に指をかけた途端に、煙がバツと出たか

と思ふともうゐなくなつてゐるんだ、あんな早い代物はみたことがない、まあ五百哩時は十分越すな

こんなわけだから直線飛行は文句なしだが、急上昇とか旋回となると減茶々々になる危険が多分にある、單發戦闘機の方がこの點を見事克服してゐるかどうか疑問だ

以上の基地電でみると英軍にとつて新戦闘機の對抗策はまだ摸索時代を出てゐないやうだが、同時に彼らが噴射推進機の縦舵性を論じてゐることも、航空機そのものを問題とする前に技術的な解決があるのではないかと誰しも考へつくにちがひない、これについて同じくベルギー前進基地の「タイムズ」紙記者はつぎのやうに述べてゐる

「恐るべき將來性」 今の所この双發機は殆んど脅威だとは言ひ得ない、だが、現在まであまり効果を發揮してゐないのは、ドイツの操縦士に殆んど音波速度で飛翔するこの航空機の取り扱ひに關する經驗が不足してゐるからだ、經驗を積めば大敵になる可能性がある、それだけに英空軍にも噴射推進式航空機があるといふ最近の當局の發表はその存在を知らなかつた連中にとつて嬉しい話だつたにちがひない、噴射推進機が遠からず戦争においても民間航空においても大きな役割を演ずるだらうとは専門家の一致して認める所だ、ドイツ空軍は最初ME二六二型も戦闘機にする積りだつたらしいが、電撃空襲を行つて邀撃される前に歸つてこようといふ目的で最近では爆撃機として使用してゐる、しかも近頃はフオッケウルフ一九〇型戦闘機に直衛されてゐたといふから上とか背後から急に英空軍の快速戦闘機に襲はれる可能性を考慮してゐるのだらう、確かにドイツの噴射推進機は水平飛行並びに上昇には高速度を示すが、急旋回はどうも巧く行かないやうだ、ME一六三型は米軍のムスタングやサンダーボルトに撃墜されたといふが、これは明かに操縦士の經驗不足のためだ

英空軍の噴射推進式戦闘機

かうして噴射推進式航空機の將來は光明に充ちてゐるとすれば、各國ともその研究並びに製作に力を入れてゐるのは當然だが、英國の新聞記者が頻りに繰返してゐる英空軍の噴射推進機とはどんな飛行機か、實はその詳細は判つてゐない、ただ英國空軍省當局から九月二十七日次のやうな發表があつたのみだ

英空軍の噴射推進式航空機は流星彈邀撃に使用され成功を収めた、この航空機並びにその發動機の詳細に關してはなほ祕密を守らなければならぬが、この研究に従事せる英米兩國の科學者、技術者、工員は大いにその仕事を誇つてしかるべきである

但しこの發表において流星彈邀撃戰の最大の殊勳者は最新型スピットファイアー(十四型か)とテンペスト機だつたといつてゐるから、噴射推進式航空機は恐らく試作機だけだつたとみられる、とにかくこの發表に活氣づいた英國各紙は噴射推進發動機に關する記事などを盛んに掲載し始めた、たとへば十月三日附「デーリー・テレグラフ」紙はかう述べてゐる

英國のトムソン・フーストン株式會社は一九三六年一月空軍代將ウイットルとの關係を生じて以來發動機の發達に精力を注ぐやうになり、一九三七年四月には最初の推進式發動機が完成して同社ラグビー工場で試験運轉を行つた、この發動機は四回製作され改良され、一九四一年五月にはグロスター航空機會社の製作した機體に据ゑつけられて處女飛行に成功した、米國製噴射推進航空機が初めて飛んだのは一九四二年のことだ、ウイットル代將は十月二日王立航空學會から最高功勞章たる金牌を贈られた

このウイットルの噴射推進發動機は、米英兩國の噴射推進航空機に共通のものらしい、今まで米國で噴射推進發動機の大量生産が始まつたといふ報道が繰返され、ジェネラル・エレクトリック社の名が喧傳されてゐたにも拘らず、詳しい事情は餘り傳へられなかつた、ところが十月二日の「デーリー・エクスプレス」紙にはニューヨーク電としてジェネラル・エレクトリック社當局の發表が掲

載されてゐる、それによると英國で發明された噴射推進式航空機用タービンは米國で設計され製作されてゐたが、このことは二年半の間祕密に附せられてゐたのだといふ、一九四一年七月十六日同社の副社長ムーアはワシントンからの電話で、新しい祕密裝置を研究するために英國に派遣する技師が入用だと聞かされた、そこで選ばれたのがシヨルツだつた、この男はロンドンで噴射推進裝置をみせられたが、ノートもスケッチも許されなかつた、直ぐクリツパー機で米國に歸る豫定だつたが、途中ドイツの間諜がある地方を経由しなければならなかつたからである、シヨルツに續いて今度は英國からウオーカー、バツゾーニ、キングの三技師が渡米し、ジェネラル・エレクトリック社構内の古い建築物の中で仕事に着手した、この建物は日夜嚴重な警戒の下にあつた、かうして隱密裡に米英共同の發動機研究は續けられたわけだ

米國は試験時代か

反樞軸軍にロケット機があると發表されたのは本年初頭だつた、だが當時は英空軍も米軍航空隊も練習のための噴射推進式航空機の生産に着手する豫定だといはれてゐた、但し米國には噴射推進戰鬥機中隊が少くとも一個中隊はあるといふ、米陸軍の噴射推進式戰鬥機はベルのエアコメットだがその性能は少しも分つてゐない、ただ發表に際して發動機といふ言葉を複數で現してゐた所からエアコメット双發だとみられてゐる、海軍でも最近實驗機の引渡しが始つたといふが、恐らく發動機は同一なのだらう

發動機はジェネラル・エレクトリック社の床面積六十萬平方呎といふ大工場で生産されてゐるがそれだけでは間に合はず、他の大會社(多分フオード)とも生産契約を結んだといはれる「ニューズ・クロニクル」紙ワシントン電によればタービンの燃料はパラフィン或ひはガソリンで、前者は大氣中での點火性が少いといふ、全速期中には排氣の炎が全然みえず、タービンが完全に働くまでは三十秒位しかからないさうである

米國のロケット利用で注目すべきは海軍機の離艦裝置だ、これは風の弱い時、比較的大きな荷重と高い速度で離艦する補助手段として使用される

正式には「ロケット補助離艦装置」と呼ばれ、爆発物としてはコーダイトを充填してゐる、このロケットは胴體の兩側に一組づつ取り付けられ、各組は一本乃至四本のロケット骨から成る、この本数は航空機の型や荷重の大小によつて異なるわけだ、離艦に當つて始動は全然普通だが、風速などを計算に入れた圖表によつて定められる最適點に達した時ロケットに点火する、ロケットは全部同時に發火する、コーダイトが全部燃焼するまで四秒位の間、これによつて補助上昇力が得られるのである、ロケットとその装置架は離艦後投下される、このロケットは一九四三年三月以後潜水艦攻撃機リードファイツシュが小型空母から飛び立つのに使用されてゐる、このロケット原理を更に進めることは勿論可能で、P25「ミツチエル」中型爆撃機よりもつと大きな爆撃機さへ大型艦隊空母からなら飛べることになるかもしれない結果、海軍機は現用のものより遙かに重いものが使用されることになりさうだ

その後の流星彈

最後に空軍ロケット時代の先驅者流星彈について一言する必要がある、ドイツ軍の流星攻撃は基地が失はれても熄んではゐない、ハインケル一型をもつて有効距離の上空まで運び、そこから發射するのである、だが條件が困難だけに發射彈数は減り同時に撃墜される率も高くなつたと推定される、殊に英空軍はモスキート夜間戦闘機に特殊の航空機探知器を裝備し、流星彈及び親飛行機ハインケル一型を攻撃して相當な戦果を擧げてゐるといはれる、しかしながら基地を奪はれてからもドイツ軍が報復攻撃を續行してゐることは反樞軸軍にとつての驚異であり、脅威であらうドイツ軍はいかなる苦境に立ち難關に直面しても必ず創意と工夫により新しい道を開拓して行く、この科學的な粘りが常識的には疾に崩壊してゐる筈のドイツ軍戦力を未だに維持し、決戦の機會と戦局轉換の可能性とを國境線の内側に残してゐるのである、十月七日附「ニユース・クロニクル」紙は流星彈の新攻撃に關し次のやうに論じてゐる

南イングラントに向つて流星彈を發射するハイ

ンケル一型一型の乗員は發射に際して實に大きな危険を冒してゐると考へられる、地上施設から流星彈を發射する時でもその危険は極めて大だとされ、機械を始動する最初の火花はコンクリート防禦塔内から間接点火装置によつて與へられる位だ、航空機から流星彈を發射する場合の説明として最も理窟に合つてゐるのはドイツ軍がやはり間接点火装置を使用してゐるといふ見方であらう、恐らく、流星彈は始動火花が發する前に母機を離れ、相當な距離になつてからスイッチを切つて電線で点火するのちがひない、この方法によれば、航空機は速度が流星彈に與へる初速は、推進機構が完全な運轉を開始するまで彈體を空中に保つには十分である、専門家の中には流星彈が飛び出してから暫くはラジオで操縦されるのだと信じてゐる者もある、十月五日の夜、ハインケル一機は流星彈發射後哨戒夜間戦闘機のため海中に撃墜されたが、戦闘機操縦士の言によれば「そこいらをうろつきまはつて」ゐた所をやられたのだといはれる、この事實はラジオ操縦説を或る程度裏書してゐるともみることが出来る

かうしたドイツ人の粘りは、新兵器にたいする期待をいよいよ大ならしめる、ただ新兵器の單位的威力と戦争における價值とを混同することは極めて危険である、流星彈は敵の制空圏内に平氣で飛んで行く、だが一日三百發の流星彈は三千機の爆撃機による絨氈爆撃のごとき破壊力は持たない、新鋭シュワルベ機が快速を誇つても機数が餘り隔つてゐては敵機の行動を阻害することすら出来ない、地上の新兵器とされてゐる對戦車ロケット彈の類も、火炮の劣勢を補ふ代用品にすぎないといへば酷評にすぎないだらうか、現實は苛酷なものだ、奇蹟的な新兵器による戦局の大變化は希望すべきことでなく、國民の基本的な戦争努力の結集こそ一見奇蹟のごとき成果を齎らすのである、空軍ロケット時代は新型衣裳のコンクールではない、質が若干落ちようとも時期が少し位遅れようとも、デッキリ構へて一舉に大量のロケット機を送り出さうとする反樞軸軍の企圖にたいしては十分すぎる位の警戒が必要なのではあるまいか



空の破壊兵器

比島海戦以後、敵の太平洋攻勢はその政略的色彩も濃厚になつて段々強引の度を加へてゐるやうだが、この形勢は日本本土に對する戰略爆撃の強化といふ方面にも影響する可能性が多分にある、成都飛行場の空襲は第二十航空隊の本據に打撃を與へ、B 29超重爆多數を撃破したが、航空機は補充し得るものであり、飛行場は修理すれば再び使用することが出来る、しかも敵の長距離爆撃の基地は成都ばかりではあるまい、アリユーシヤン基地もサイパン基地も決して超重爆の基地として不適當だとは斷じられないのである、超重爆の數もB 29「超要塞」が月産百十機といはれ、B 32「ドミネーター」の方は日産十四機といはれてゐる、してみれば敵は既に相當數の超重爆機を用意してゐるとみななければなるまい

敵の戰略爆撃が本格化し、その爆撃範圍が九州だけでなく本土各地に擴がるとなると、防空對策も愈々完全にしなければならぬ、敵が使用する空の破壊兵器も日本に對しては特に新しいものを出すことがないとはいへないが、現在彼らはいかなる種類のもを有するか、それを検討してみよう、空から敵が使用する破壊兵器の第一は爆彈である、現在日本の直接の敵は米國であるから、まづ米國の爆彈から並べよう

米國の爆彈

米國の爆彈については、少し古いが昨年十二月號の「インターナショナル・エヴィエーション」誌に次の通り述べられてゐる

一、破壊爆彈

普通破壊爆彈は五十乃至五十五パーセントの炸藥を有し、百封度爆彈は一階乃至二階の建築物その他非武装目標物に使用され、二百五十封度爆彈は大建築物及び非武装船舶、五百封度爆彈は鐵道施設、橋梁或は輕装甲船舶、千封度乃至二千封度の爆彈は堰堤の爆破或ひは巡洋戰艦乃至戰艦の攻

撃に使用される

徹甲彈は三十二パーセントの炸藥を有し、重量は五百封度及び千封度の二種だが、これが使用されるのは普通破壊爆彈で貫徹力の不十分な場合である

徹甲彈はこれは五パーセント乃至十二パーセントの炸藥を有し、重量は六百封度から千六百封度まで六種類ある、直撃でなければ効果がないから一般には使用されない

薄殼爆彈は炸藥は七十七乃至八十パーセント、主として爆風に効果があり、専ら集團建築物の破壊に使用される、俗に「ブロック・バスター」といはれる最大のものは重量四千二百封度のうち三千三百六十二封度までが炸藥である、この最大の薄殼爆彈の効果は時として過大評價されることもあるが、實際は二千封度二個の方が四千封度爆彈一個よりも破壊力は大きい、但しもつと小型の薄殼爆彈の詳細は不明である

水壓爆彈は重量の七十乃至七十五パーセントが炸藥で、殼は非常に薄く、周圍の水壓により水力信管をもつて爆發を起す、爆彈の効果は水中の爆波によつて得られる、潜水艦に對しては彈丸形が使用され、大きさは三百二十五封度と六百五十封度がある

二、榴散爆彈

これは重量二十乃至三十封度、鋼鐵の圓筒からなり、炸藥を充填した周圍には斷面に矩形の鐵棒が捲きつけられてゐて、爆發するとそれが重量三分の一オンス位の斷片一千乃至一千五百個となつて飛散する、瞬發信管は中空爆撃に使用され、低空爆撃においては斷片による航空機の破損を豫防するために落下傘附で短延期信管が使用される、時限信管付の單發または多發榴散爆彈を堅固な敵航空機編隊に對して使用する場合もある

三、化學爆彈

重量は約百封度で薄い鋼鐵の殼に包まれ、用途に應じて焼夷劑、發煙劑、或ひは惑亂殺傷劑の如き各種化學藥品が入つてゐる

四、練習用爆彈

重量百封度で通常は砂が詰つてゐる

五、貫徹計測爆彈

大小さまざまあつて訓練並びに投彈實驗に使用される、米英兩國の航空部隊が使用する爆彈は決して同じ形ではなく、米國の爆彈が箱狀の尾翼をつけてゐるのに對し英國の爆彈は圓筒狀の風翼を有する、米國式は旋回しないので爆破範圍は狭いといはれる、瞬發、時限、水壓などの各種信管については詳細を述べることは出来ないが、水壓信管の場合には六吋乃至二十四吋の「觸角」が付いてゐることがある

英國の爆彈

英空軍のアヴロ「ランカスター」やハンドレページ「ハリファックス」のごとき四發重爆が東亞の戰場に直ちに出現することは考へられないが、少くとも爆彈だけは珍しいものがあれば東亞でも必ず使用されるとみななければならない、英國の爆彈で有名なのは俗に六トン爆彈といふ一萬二千封度の爆彈だが、最近英國空軍省の發表したところによると、從來の一萬二千封度爆彈より遙かに強力な「地震爆彈」といふのが出來たといはれる爆風だけで物凄い破壊力を發揮するらしいが、何といつても重量が重すぎるから、日本本土の爆撃にはまづ出現することはあるまい

ところで「エンジニア」誌八月二十五日號には英國の新型焼夷彈のことが出てゐるが、これは重量三十封度、主な内容物はメタンの加壓ガソリン溶液である、落下は落下傘によつて調節され、彈着時の速度を減するやうになつてゐる、この爆彈は尾部から長さ約十五呎、中二呎の焰を吹き出す爆彈の長さは約二十一吋、直徑は五・五吋であるこの焼夷彈は航空機生産省並びに治安省の長期間にわたる共同研究の所産である、リーヅ大學もこの研究には參加した、生産並びに充填はICI株式會社が引受けた、彈着に際しては爆彈の雷管が導火藥に火を點じ、これが中央の管を通じてテルミットを燃焼せしめ、その熱によつて内部の氣壓が上る、氣壓が或る程度まで上るとガソリンがゴム管を通じて排出口から調整室内に噴出し、パラシュート容室の底にある孔から外部に噴き出される、排出口を通る時ガソリンは横孔から噴出する

テルミットの焰によつて點火される、かうして放射される火焰は二分間燃え續ける

原子爆彈

最近ドイツの新兵器として原子爆彈が云々されてゐるが、實現が可能であるとすれば、米國邊りでも早速眞似をしないとはいはれない、これについては十月三日附の「デイリー・メール」紙にストックホルム電として掲載されてゐるが、その爆發力はちよつと「冷凍雷電」に似てゐるといふ、ストックホルム方面の反樞軸側消息通はこれがすでに實驗的には相當多數作られてゐるとみてゐるやうだが、戰局を轉換するほど大規模な生産はまだ始められてゐないといふ評判だ、こんな説が起つたのはデンマーク領のヴァイルノホルム島から八十哩距つた地點で奇怪な爆發が認められた時以來で、この爆發が原子爆彈によるものだといふことになつた、ストックホルムでAT爆彈と呼ばれてゐるこの新報復兵器は非常に複雑な機構を有するといはれる、その原理はといへば彈丸が目標物に到達した時に電撃によつて原子を破壊するのである、AT爆撃の効果は極めて強大だといはれるが破壊の衝撃が吸収され緩和されるために極めて範圍が狭い、種々の情報から見るとAT爆彈研究の中心地は北ドイツの可成り廣い地域を占め、海岸地方からメツクレンブルグ方面まで使用されてゐるといふ、この研究には爆彈による事故が相當頻繁に起り、數百名の従業員の生命も犠牲になつたと信ぜられてゐる、かうした事故が起るところから考へてみると、この爆彈の研究における難關は相當丈夫でしかも軽い殻を工夫するといふ點にあるとみられてゐる

ロケット彈

米國の航空機はロケット彈を盛んに使用してゐる、殊に海軍はロケット彈に力を入れ、現在消費する火藥の大半をロケット彈に使用してゐるといふが、現在ロケット發射裝置を有する航空機は極めて多く、陸軍の双發戰闘機はどの機種もロケット發射裝置を有するものがある模様で、艦載機も殆んど全部がさうである

發射裝置は發射管三本を組み合せた「第十型」で、使用される「第八型」ロケット弾は長さ四呎八吋、重量は四十封度弱だといふ、將來戰爆連合の編隊が爆撃に來れば、ロケット弾を地上目標物に對して使用する可能性は極めて多い、米國が流星彈を使用するらしいといふ話は最近段々具體的になつてきたが、現在はフォード邊りで作つてゐるといふことしか判つてゐないので、發射法その他についても船からか地上からか諸説紛々として斷定を許さない、中立國筋の無責任な情報に暫く無視するとしても、成行を警戒してゐる必要はあらう

燃料問題を繞る英葡關係

「アイリツン・プレス」紙

九月二十三日附

戰時中も石炭を供給

ポルトガル首相アントニオ・デ・オリヴェイラ・サラザール氏の禮讀者はエールにも少くないが、彼等は皆サラザール首相の政治理論に注意を奪はれてゐて、同首相が取扱はなければならぬ諸問題の實際的な面には注意を拂ふものは殆んどない、これは寔に遺憾なことであるといふのは、ポルトガルの經濟問題はわが國のそれと軌を一にしてゐるものが少くないからである、例へば、ポルトガルには石炭はないが、水力電氣資源は、よしその開發は未だほとんどその緒についてゐないにしても無盡藏にある、ポルトガルはその國土もわが國よりは遙かに大きく、その人口も二倍もあるが、わが國のシャノン計畫に比すべきものは全然なくその動力の七〇パーセントは今なほ外國から輸入した燃料に依存してゐる有様である、しかし明かに今次の大戦中に得た教訓によつて、サラザール政府は今や國內水力電氣開發八ヶ年計畫に着手せんとして着々その準備を進めてゐる、しかるに面白いことには、來週ロンドンにおいて開催されることになつてゐるリスボン市街電氣軌道會社の會長が發表した聲明書はポルトガルの燃料問題と周圍の輸送問題とに關聯して興味ある側面觀を提供してゐる、この英國が所有してゐる會社はリスボ

ンの市街電車を經營してゐるのだが、その取締役會長の聲明によれば、英國は戰爭中もポルトガルに對し絶えず石炭を供給してゐたもので、その結果リスボンをあり得べかりし慘禍から救つたのだといふのである

燃料の海外依存を脱却

更にその聲明のいふところによれば、ポルトガル當局は同會社に對して電車の代りにバスを使用するやう要求したもののやうである、しかるに同社は少數のバスを試験的に提供するに止まり、同社取締役會長はポルトガル當局の方針に反對を表明し、リスボン市の道路には電車の方が適してをり、更にバスを使用すれば運賃を引き上げる必要を生じようと述べた、しかも彼は同時に必要なだけの石油燃料は提供してもよいと附言してゐるのである、またポルトガル政府の水力電氣開發計畫に關しては、この取締役會長は、バスは國外から輸入する石油で運轉せねばならぬ以上、同計畫はバスの車臺數を増加せんとするポルトガル當局の目的と明らかに背馳するとの見解を表明してゐるしかしサラザール政府が意圖するところは、明らかにポルトガルをして石炭、石油の何れにせよ、海外から輸入する燃料への依存關係から脱却せしめるにある、今次の戰爭中大體においてポルトガルは交戰國の双方と通商關係を維持し得る地位にあつたが、ポルトガルはいつもその葡萄酒、果實その他の產物を外國の如何なる物資と交換すべきか、その選擇の自由を持つてゐなかつたやうである、しかもポルトガルは農業においても工業においても頗る進歩がおくれてゐる、先づその開發を圖らなければならないのであつて、その當然の歸結としてポルトガル政府は國內に最高度の自給體制を確立することを企圖せねばならない立場にある、従つてサラザール首相はわが國の政府がやつてゐると同じやうな線に沿つてポルトガルを指導してゐるのである、しかし單にリスボン市街電氣軌道會社がその總會をロンドンにおいて開催するといふ一事のみによつて判斷しても、わが國とポルトガルとの間にはなほ若干の距離のあることは明白である

數字から見た

戦時下の米國(下)

「ウォールストリート・ジャーナル」紙
八月十一日

小賣業の好景氣

米國內における小賣業は依然好景氣を持続してゐるが、商務省は十日次の通り發表した

一九四四年上半期における國內の小賣商賣上總額は三千二百萬弗に達し、一九四三年の最高記録より更に八パーセントの増加を示した、現在の調子が維持されれば一九四四年末には總額六千七百萬弗となる見込だが、平時の最高記録、一九二九年の四千八百萬弗に比し一千八百六十萬弗の激増振りである、利益が最も大きかつたのは食糧、衣類などだったが、持久品の購入においても弗の取引高は依然上昇の一途を辿つてゐる

國民所得の増加

八月十二日

米國商務省は七日次の通り發表した

一九四四年初頭五箇月間における國民所得は合計六百二十一億八千百萬弗の巨額に達したが、一九三九年並びに一九四三年の同期と比較すると次の通り(單位百萬弗)

一九四四年	六二、一八一
一九四三年	五五、五一九
一九三九年	二八、一四三

個人所得についていふと一九四四年五月一箇月分合計は百二十二億七千七百萬弗で、同年四月及び一九四三年五月に比較すると次の通り

	(單位百萬弗)
一九四四年五月	一一、二七七
一九四四年四月	一一、四七三
一九四三年五月	一一、二五二

一九四四年に至り所得が増加したのは、主として農村所得額の上昇に起因してゐるが、陸海軍將兵並びに家族に對する支拂の増加も國民所得増額の一因となつてゐる

「デリー・メール」紙ワシントン特電

八月十七日

穀類收穫高

戰時食糧局長官マーヴィン・ジョーンズは十六

日次の通り發表した

一九四四年の小麥收穫總高は從來の最高記録よりさらに一億ブツシエル方の増加を示すと豫測される、玉蜀黍の收穫も總計三十億ブツシエル近くに達する見込みで、大豆並びに馬鈴薯についても豐作が豫想されてゐる、但し馬鈴薯の收穫高は一九四三年に比し幾分少いかもしれない

「ファイナンシャル・タイムズ紙」八月廿三日

鋼塊及び鋼鐵鋸の生産高

戰時生産局の鋼鐵部長ジョーン・ホイッティングは二十二日次の通り發表した

反樞軸諸國の軍需生産用鋼鐵は圓滑に供給されてゐる、米英兩國間には、英國が米國に向けて一月平均一萬トンの鋼鐵鋸を送る旨の協定があるが、共同の戦争を遂行するために英國における鋼鐵鋸壓延施設を出来るだけ利用する企圖にほかならない、一方米國は英國に向けて今日も從來通り鋼鐵鋸以外の鋼鐵半製造品を月々數萬トンづつ送つてゐる、一九四四年一月から七月までにおける米國の鋼塊生産高は合計五千二百四十七萬二千八百八十五トンに達し、鋼鐵鋸の生産高は一九四二年以來一月平均百萬トン以上に達してゐる

「ウォールストリート・ジャーナル」紙
七月八日

鋼鐵業の人手不足

戰時生産局は過般鋼鐵業委員會と協議會を開いたが、戰時生産局次官チャールス・ウイルソンは工業界の領袖に對し次の通り通告した

現在鋼鐵生産高は能力の九四・三パーセントにしか達してゐないが、まことに憂慮すべき事態である、陸海軍の鋼鐵需要が益々増大してゐる今日何を措いても鋼鐵の増産を期さなければならぬ、ユナイテッド・ステート・スチール會社社長フエアレス並びにその他の鋼鐵會社當局は大要次の通り答辯した

生産量の減少は、主として勞働力の不足に起因してゐる、鋼鐵業では現在五萬人の勞働者を必要としてをり、人手不足を補ふために政府當局に對し一層の協力を要望する次第である、ウイルソンが指摘した通り現在では生産能力の九四・三パーセントしかないが、ここ暫らく減退の一途を辿つて來た結果で、五月中旬には見積り能力の九十九

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

パーセント生産してゐたのに對し、六月下旬には九五・七パーセントに激減した、ノルマンディ上陸作戦の経験から、或ひはその他の必要から、立てられた軍需生産計畫一即ち、重無蓋貨車、戰車海軍並びに商業用船舶、重砲、彈藥、爆彈等の生産一においてさへ多分に滯滞の惧がある

石油の貯藏量減少

七月十一日

米國內における七月一日現在の石油貯藏量は二億二千八百四十一萬一千バレルで、一九二二年一月三十一日現在の二億二千八百八十萬バレル以來の減少ぶりだが、貯藏量は四月下旬以來ずつと減少の一途を辿つてゐた、最大の原因は軍隊からの石油精製品の需要激増にあるといはれるが、六月二十五日から七月一日までの一週間に對して石油貯藏量の減少が最も著るしかつたのは米國の中央部、太平洋岸の中央部、並びにカリフォルニア州である、特にカリフォルニア州においては七月一日現在二千九百九十四萬九千バレルに過ぎず、僅か一週間に十一萬バレル方減少した、なほ同州における六月三日現在の貯藏量は二千三百九十二萬三千九百バレルだつた

リスボン九月九日發ワシントン來電

陸軍の復員計畫

陸軍省は今回復員計畫を樹立、ドイツ軍の降伏を待つて陸軍兵員七百萬名の一部を復員するに決定したが、現在歐洲の前線にある軍隊は、日本に對する作戦を開始するために反樞軸軍が集結を完了するまで現在の戦線に止まることとならう、東亞に向けて軍隊、軍需品、並びに飛行機を輸送するための準備は既に済々進められてゐる、復員は個人々々の事情を考慮して實施されよう、一方海軍省は最近次の通り發表した

海軍は日本に對する戦争において決定的な役割を演じなければならぬので復員を始めるわけには行かない、却つて必要に應じ有效兵員の増加を圖るかもしれない

六月の造船高

海軍委員會は六月中における造船高を次の通り發表した

合計一四五隻(一、三七九、九九四重量トン)
内譯特殊船 二八隻

リバーティ型 五五隻
ヴィクトリー型 一五隻
C1型 一三隻
沿岸航海用貨物船 八隻
コンクリート貨物船 二隻
標準型油槽船 二〇隻
コンクリート曳船 四隻

一九四四年上半期の造船高は合計八百六十四隻、總トン數八百六十二萬七千五百五十一トンに達した

「ニューヨーク・タイムズ」紙五月二十二日上陸用舟艇の生産狀態

戰時人的資源委員會は二十二日次の通り發表した

上陸用舟艇の生産は四月には三十五パーセントの増産を示し、八萬隻建造計畫は豫定より二パーセントだけ進むに至つた、生産量が三月に比し非常に増加してゐるのは、主として職業紹介所の勞働者募集運動に起因してゐるが、戰車並びに上陸用舟艇の供給が計畫以上に進捗したのは四月が始めてだつた、四月中に生産された上陸用舟艇は十五種に分類出来るが、豫定の生産量に達しなかつたのは二種だけで、しかも豫定よりやや遅れたに過ぎない、從業員名簿によれば、主として或ひは全面的に上陸用舟艇の生産に従事してゐる三十四會社における從業員數は三月の十六萬五百名に比し、四月には十六萬六千四百名に達した、今後六ヶ月には僅か一萬四千名をこそ増員すれば間に合ふと見積られてゐるが、大半は七月一日以前に雇ひ入れなければならぬまい

「ニューズ・クロニクル」紙九月一日七箇月間の罷業狀況

勞働省の發表によれば、一九四四年一月から七月までの米國における勞働罷業の件數は一九四三年同期に比し増加してゐるが、一九四三年の罷業の方が範圍も廣く、遙かに苛烈だつた、兩年の比較を表に示すと次の通り(但し一月から七月まで)

項目	一九四四年	一九四三年
罷業件數	三〇三件	二二四一件
罷業者數	約百萬名	百萬名以上
喪失勞働日數の平均	四日	七日

昭和十九年十一月四日(土)
第三二三〇號

同盟通信

海外電報

(253)

【目次】

互相關連の足並亂る

二五七八

イランの交渉拒否の理由を闡明

英國政府イランを聲援

米もイラン政府を支持

米、何應欽の罷免を要求

一齊に重慶を惡罵

【英 國】

聯立内閣の繼續を要望

ソ聯の對印代表派遣に難色

重慶は四大國に非ず

流星彈の被害

ギリシヤに物資を輸送

【東 南 歐】

スロヴァキア國防軍新設

洪交戰地域管理委員任命

希政權エラス國に解散令

【中 國】

羅政權の違背行為を攻撃

【西 亞】

ソ聯、イラクとも國交開始か

【米 國】

ソ聯の不參加を重視

リベリアに經濟使節派遣か

戰後船舶處分案

太平洋機雷敷設艇除新設

比島海戰參加の敵艦

レイテ島上陸以來人員損害

【カナダ】

スチルウェル政治的に無能

【米 洲】

亞勞働組合、政府の中立を威嚇

【亡命政權】

ミコライチク赤都訪問か

波政權進退兩難に悩む

【ドイッ】

病院船、鹵獲さる

【トルコ】

トルコ共和國の目標

【印 度】

ジンナー、ニューデリー着

【特 輯】

佛西國境事件續聞

【資 料】

問題のドゴール演説

【海 外 最 近 の 諸 問 題】



イラン油田を繞る米英ソ三國の利害對立、スチルウェル大將の召還で白日のもとに暴露されたルーズヴェルト、蔣介石の葛藤と反樞軸座の茶番劇はこのところ名狂言續出だ、スチルウェル旋風の由來は半年ばかり前、蔣介石著書と銘打つた「中國の命運」が重慶版の「マイン・カンプフ」だなどと米英兩國で散散惡口をいはれた當時に溯るが、爆發しさうになつたのは八月下旬ハーレー少將、ドナルド・ネルソンが相携へて重慶に乘込んでからだ、何應欽、陳立夫、陳果夫等蔣介石子飼ひの要人を或は「老朽(デドウツト)」とけなし或は「排外派」と稱して臍首を要求し、支那戰線の統帥權を「ヴィネガー・ジョー」に一任すること、國共の合作を實現すること等々の難題を吹きかけた譯だ、東亞の實情を知らぬヤンキーが恰もバナマや精々アルゼンチンを脅かすつもりで勝手な文句を並べたのだらうが、蔣介石は容易に屈伏しない、黨中央執行委員會の祕密會で十月中旬一、スチルウェルの召還、一、貸與物資の管理權を蔣介石に一任すること、國共合作には米國の容喙を許さずそれが嫌なら重慶政權は大東亞戰爭以前に立ちかへり自主獨往の道を行くと最後通牒を叩き付ける決定を表明、中央執行委員會の全面的支持のもとに外交爆彈はホワイト・ハウスの驕兒の面上に叩き付けられたわけだ、内政上にも外交上にも思ひのままに振舞つて來たルーズヴェルトは全く意外な所で強硬な伏兵に遭つて面喰つたに違ひない、初めは自發的にスチルウェル大將を召還して蔣介石の反省を求めるんだと宣傳してゐたが「ニューヨーク・タイムズ」紙のアトキンソン特派員の素破抜き記事を檢閲で押へ切れず、ルーズヴェルトの「外交的カンノサ」はかくして全世界にさらけ出されるに至つた

二五八四—二五八六
二五八六—二五八八
二五八八—二五九一

反樞軸陣營の足並亂る

イラン交渉拒否の理由を闡明

(リスボン一日發) 石油利權に關する交渉をイラン政府が拒否した結果ソヴェト政府はタス通信社その他の言論機關を動員し、モハメド・サエドを首班とするイラン内閣攻撃を開始したがモハメドサエド首相は十月三十日テヘラン放送局を通じて交渉拒否の理由を闡明、ロイター通信社は一日に至り右演説の要旨を報道してゐる

一、外國軍隊がイラン國內に駐屯してゐる限りイラン政府が利權を外國に賦與すれば利權の性質如何に拘らず、イラン國內の輿論は政府が強迫に屈したと解するであらう

一、刻下世界の經濟情勢は必ずしも明かでない
一、ワシントンにおける米英兩國間の石油會議でも石油に關する世界の情勢は明瞭にされなかつた

一、在外使臣は一人の例外もなく戦争が終らぬ限り絶対に石油利權を外國に賦與しないやう進言してゐる

以上の諸理由に基きイラン政府は石油利權に關する交渉を戦後に持越すに決定したが、右決定の故に諸外國との關係が悪影響をうける理由はあり得ない

英國政府イランを聲援

(リスボン一日發) イラン油田を繞る米英ソ三國の關係は極めて微妙な動きを示してゐるが、ソヴェト外務人民委員部のカフタラーゼ次長がテヘランにおいて公然イラン政府を攻撃したのに對し米國政府は先づテヘラン駐劄大使を通じてイラン政府の決定に全く異議ない旨を述べ英國政府もまた一日以來ロイター通信社を通じてイラン政府を聲援する報道を流布し始めた、ロイター通信社の外交記者で、英國外務省と緊密な聯絡を持つてゐるランデル・ニールはタス通信社の報道を反駁し一日次の通り述べてゐる

ソヴェト外務人民委員部の強硬な警告にも拘らずモハメド・サエド首相はあくまで石油利權に關する交渉を拒否する方針を堅持してゐる、モ

スクワ各紙の報道ではイラン現内閣は國民の支持を失つたといふがモハメド・サエド首相はイラン國會の大多數並びに全體國民の支持を受けてをり、この支持が續く限り憲法上の任務遂行を止めることは出来ぬと言明してゐる、英國筋の情報によればイラン新聞界の一部は現内閣を攻撃してゐるが、残りは依然として現政府を支持し、石油利權の拒否を理由にイラン政府との協力が出来ぬなどといふソヴェト政府のいひ分は内政干渉だと非難してゐる

エチンバラの「スコツツマン」紙も十月三十一日の紙上に社説を掲げ

現在アングロ・イラニアン石油會社はイラン國內の石油利權を享受してゐるがイラン政府は外國との新たな利權交渉を拒否した、個人乃至商社に對する利權の賦與と主權國家に對する利權の讓渡とは本質的相違あり後者は殆ど領土の割讓に異ならない、ソヴェト政府機關はアングロ・イラニアン會社は英國政府と一身同體だと稱しイラン政府の差別待遇を非難してゐるが、英國政府としてはこの際イラン政府の決定を支持してゐる旨闡明する用意が必要だ

以上米英兩國の聲援にも拘らずソヴェト政府は依然としてイラン内閣攻撃の手を緩めず、モスクワ放送局は一日次の通り放送してゐる

イラン現内閣は米英ソ三國に敵意を包藏してゐる、テヘランの週刊「マルデ・ユルット」誌は會つて米英ソ三國に對する挑發的言論を理由に發行を停止されてゐたがこの極めて微妙な際にモハメド・サエド首相の機關誌として再び發行を許されるに至つた

米もイラン政府を支持

(リスボン一日發) テヘラン來電にテヘラン駐劄米國大使ルランド・モリスは一日イラン政府に對し公文をもつて次の通り通告した

イラン政府が戦争終了まで油田の分配に關する交渉を遷延するに決定したとの通告を諒承したこの點について米國政府には全然異存がない、但し石油利權を申請した米國の商社は愈々交渉を開始される場合には右交渉に参加させてもらひたい

米、何應欽の罷免を要求

(リスボン一日發) スチルウエル大將召還に關聯しルーズヴェルトは重慶政權部内における「老朽派排外分子」の退陣を要求してゐるが、ワシントンからのUP電報はホワイト・ハウスの意向を反映し一日に至り軍政部長何應欽の名を出し同人が辭職しない限り米國と重慶政權との和協は望み得ないと稱してゐる、何應欽は北伐以來蔣介石の參謀長として全く一身同體の關係にあり黃埔軍官學校派を背景として重慶政權部内に隱然たる勢力を擁してゐるが、米國政府が同盟國の有力關係を指名して罷免を要求してゐるのは共同戦争遂行の名において重慶政權を完全に屬國扱ひするに等しいUP電報の要旨次の通り

米國政府筋の見解では支那における戦争遂行に關する紛争は蔣介石が何應欽を罷免しない限り到底片付かぬといはれる、但し何應欽が偕調と團結とに對する唯一の障碍だといふ譯ではないしかし何應欽は軍政部長兼參謀總長として恰もスチムソンとマーシャル大將との兩人の仕事を兼任してゐるのだから同人を追ひ出すことは重慶政權にとつての一大騒動に違ひない、官邊の見方では何應欽は新人を登用しない重慶政權の缺陷を一身に具現してをり、且つ國共合作への主要な障碍だといはれる

一齊に重慶を惡罵

(リスボン三十一日發) スチルウエルの米國召還によつて重慶政權對米國の深刻な相剋が表面化するや米英兩國の新聞通信はこの時とばかり重慶政權の攻撃に乗出したが、重慶の内情を多少とも知りながら今まで檢閲その他の事情でこれが發表を抑へられてゐた米英新聞通信記者は一齊に米英對重慶相剋の内情をぶけかけ、重慶政權に對して口ぎたない惡罵をあげせかけてゐる、例へばニューデリー駐在のAP通信特派員プレストン・グロウアは三十一日次の通り報道した

米國政府は重慶の協力に満足せずこの結果ルーズヴェルトはさきにネルソンとハーレーとを派

遣して重慶政權の反樞軸軍に對する協力につき確たる契約を得んとした、蔣介石は嫌々ながら米國のこの要求に應じたが、米國に抑へつけられて面目を失墜したのを取り返すため後になつてスチルウエルの召還を要求した、召還要求に當り蔣介石はスチルウエルに對する具體的な非難箇條をあげてゐるが、米國側ではスチルウエルの召還はこの非難とは關係ないといつてゐる蔣介石の羅列した非難事項は軍機のためまだ發表されてゐない、事實過去數年間に亘り重慶政權は内部分裂の危機線上を彷徨してゐたといふことが出来る、これが何故米國民に報道されなかつたのであらうか、第一は重慶政權の檢閲制度のためである

第二は米國政府が重慶の混亂はやがて是正されるだらうと思つてこれを伏せておいたからである、しかるにこの混亂は益々ひどくなり遂に今回のスチルウエルの召還にまで發展するに至つた、すでに昨年初頭のことである、重慶からニューデリーにやつてきたある男が余に對して、「これは實際にみなければ到底信じられぬことだが」と斷つて次のやうな驚くべき事實を語つた

「米國の重慶向武器貨與品は將來の國內戰に供へて對日戰には使用されず貯藏されてゐる、大體百萬の重慶軍は對日戰を他所に共產軍に備へて北支方面に配置され、共產軍と小競合ひを演じてゐる、支那戰線の多くの戦場で重慶軍は日本軍に對し名目的な抵抗を行つてゐるに過ぎない一方重慶政權の有力者は金融、爲替市場を操作して私腹を肥やしてゐる有様だ、われわれはこれらの事實を知つてゐたが今まで報道出来なかつた」

一方ロンドン駐在のAP記者ツバイン・ワイアントも三十一日次の通り報道してゐる

蔣介石によつて率ゐられてゐる國民黨政權は對日戰よりも將來の不可避的な國內戰の敵となるべき八千萬に上る支那共產黨員との戰に備へてゐる、余は約二年にわたり從軍した結果、蔣介石らの最大の關心事は中國共產黨を撃破するにあるとの確信をえた、重慶には言論も報道の自由もない、否いいものは何もないといへる

【英 國】

聯立内閣の繼續を要望

チャーチル戦局樂觀を戒む

(ストックホルム三十一日發) 最近國民の間には性急な戦時體制解消論が擡頭し政界筋にはまた聯立内閣の解體、即時總選舉執行の要求が有力化して微妙な動きを示してゐるがロンドン來電によればチャーチルは三十一日下院における現議會の會期一ヶ年延長に關する法案の第二讀會に當り特に戦局の樂觀論を戒め次の通り述べたと傳へられる歐洲戦局が何時終了するかを勿論豫言することは出来ない、戦争は來年夏の初めまで持越すかもしれない、さらに日本軍に對する戦ひについては歐洲戦争後さらに十八ヶ月を保障しなければならぬので戦争は一九四六年の終りまで續くことを覺悟しなければならない

軍事上の見地からいつても歐洲戦争が來年の復活祭前に終了すると考へることは到底出来ない西部戦線においてはドイツ軍はオランダ戦線並びにモゼール戦線において猛烈に反撃してゐるイタリア戦線においても戦闘は最も頑強に續けられしかも天候は悪化するに到つた、東部戦線においては戦局は北段並びに南段で最も活潑であるが、何分にも距離が非常に遠く、幾多ドイツ軍の防禦陣地を襲撃し突破しなければならぬ、従つてドイツ國內の状態がはつきりしないうちに限在の政府機構を解體することは誤つた措置だと斷言して憚らない、かりに現在の機構を無理に解體する人々があるとすれば彼らの責任は極めて重大であり、全國民はかかる行動を極度に嫌ふであらう、勿論今後二年乃至三年現在の議會を續けて行くことは重大な憲法無視に違ひないが、もし聯立内閣に参加してゐる各政黨が日本軍との戦争が片付くまで聯立内閣を繼續することに同意しなければ歐洲戦争の終了によつて總選舉を執行する時期が定らう、しかし現状からみて大まかにいつて今後七ヶ月乃至九月月の間總選舉が執行される見込はない、歐洲戦争が片付いても日本軍との戦争は相當長期に

亘ることを覺悟しなければならない、専ら軍事的見地から日本人の戰意破壊乃至戦力打倒を考へれば歐洲戦争の終了後十八ヶ月を必要とするであらう

ソ聯の對印代表

(ストックホルム三十一日發)

派遣に難色

ロンドン來電ニ藏相ジョン・アンダーソンは三十一日下院において印度に對するソ聯外交代表派遣に關する勞働黨議員ドビーの質問に答へ次の通り言明した印度に對するソヴェト政府の外交派遣については政府は何らの措置もとつてゐない、印度政廳は通例外國と外交代表を交換してゐないが、もしソ聯が代表の派遣が望ましいと考へるならば正式に希望を表明してくるだらう

重慶は四

(ストックホルム三十一日發)

大國に非ず

ロンドン來電ニ週刊紙「ソフイア」は三十一日評論家フェルディナンド・トーヒイの要旨左の如き重慶政權論を掲げてゐる

重慶政權がほんとうに世界四大國の一つだなどと考へてゐるならば、まことに笑止千萬なことといはねばならぬ、余は最近のダンバートン・オークス會談に重慶政權が米英ソ等に伍して参加したのをみて夢でもみてゐるやうな不思議な感じを受けたが、これは米國の要求によつたものだからだ、米國共和黨上院議員チャンドラーによると英國首相チャーチルは會で彼に對して重慶政權の現状をもつて何故同政權を反樞軸の四大國の一つに加へる必要があるのかその理由がわからないと述懐したさうだが、英國國民のうちにはチャーチルと同意見のものが非常に多いだらう、反樞軸聯盟案によると重慶は米英ソ三國と共に常任理事國となつてゐるが、余の意見ではフランスこそ重慶に代つて常任理事國となるべき國家である、米國の評論家ガンサーは「重慶は國家に非ず」といつてゐるしまた米國の外交政策協會は「重慶軍が弱いのは米國からの援助が少ないからではなくて、寧ろ軍隊指揮の混亂、將領間の不和、徴兵方法に對する一般民衆の不滿、軍首腦の腐敗、軍需生産動員の失敗に歸せらるべきだ」と論じてゐる、重慶のインフレは今や名狀すべからざる災厄を重慶民衆に撒きちらしてゐるが、これはすべて現政權の失敗に歸せらるべきである

かかる政權を世界の一流國に列せしむべきであらうか、これをもつて重慶民衆に關する親切と解すべきであらうか、重慶政權が最大の混亂状態にあり、將來どうなるか誰も豫測出来ない今日、米英ソ三國と同一の發言權を與へたところで何の意味があらう、何故米國がかかる政權の御機嫌に熱中してゐるかに關しては相當の理由がなければならぬ、米國商務省は「支那四億五千萬の民衆はなんでも欲しがつてゐる」と發表したが、これこそ米國が重慶をおだてあげる理由である、即ち米國は將來支那を米國商品に對する大きな市場にせんとしてゐるのだが、重慶を一流國として扱ふことは正に悲劇である、反樞軸國が重慶に對して不當な好待遇を與へてゐるにも拘らず、重慶は果してこれに對して少しでも感謝の意を表してゐるであらうか、蔣介石が最近双十節の際に發した聲明において彼は反樞軸國のことについては一言も觸れなかつたではないか

流星彈の被害

(リスボン三十一日發) ロンドン來電ロイター通信社は三十一日次の通り報道してゐる

過去四週間にドイツ軍の流星彈攻撃によつて正したロンドン市内の崩潰家屋は八十萬戸に上つてゐる

ギリシヤに物資を輸送

(リスボン三十一日發) ロンドン來電ロイター通信社は三十一日次の通り言明した

政府はギリシヤ政權の要請に基き、バルカン地方救済のために西亞に準備してゐる英軍貯藏物資の中から食糧、醫療品、及び生活必需品を一ヶ月六千トンギリシヤ本國に輸送することに決定した、これら物資は英軍管理の下に反樞軸救済復興委員會によりギリシヤ國民に配給される

【東南歐】

スロヴァキア

(ベルリン三十日發) プラチスラヴァ來電スロヴァキア

國防軍新設

情報局はスロヴァキア國防軍

「ドモブラナ」が新に編成されドイツ軍と協力して反共產戦線に活躍中である旨三十日發表した

洪交戰地域

管理委員任命

(ベルリン三十日發) プダベスト來電ハンガリア政府はラティスラウス・エンドレ氏をハンガリア交戰地域管理委員に任命した旨三十日發表した

希政權エラス團に解散令

(リスボン三十一日發) アテナ來電によればギリシヤ政權は三十一日「エラス」遊撃團に對し即時解散を命じたといはれる、原因は不明だが、マケドニア問題を繞つてユーゴーとの紛争が傳へられる折柄、エラス遊撃團が最近チトー軍との合流をほめかしたためと解される

【ソ聯】

羅政權の違背

行爲を攻撃

(ストックホルム三十一日發) モスクワ來電政府はタス通信を通じてルーマニア政府の休戰條件違背行爲を痛烈に非難して三十一日次の聲明を發表した

ルーマニア軍は戰爭中多數の機械をウクライナ及びベツサラビアから運び去つたが、休戰條件には以上の掠奪した機械の返還が規定されてゐるにも拘らず、ルーマニア政府は隱匿を事として返還しようとし、またルーマニア政府は休戰條件に規定されてゐる國家機關の肅清を怠つてゐる、ルーマニアでは戰爭責任者のほか五百名のファシストが逮捕されたが、鐵衛團の一味は依然國家機關の要職を占めて反ソ行動に努めてゐる實狀である

【西亞】

ソ聯、イラク

とも國交開始か

(リスボン三十日發) バグダットの「アル・ビラド」紙の報道によればソヴェト政府は今回ロンドン駐劄大使館を通じてイラク政府との間に國交開始に關する豫備交渉を終了したといはれる

ソ聯の不參加を重視

(リスボン三十一日發) ソヴェト政府は一日から開催される反極軸航空會議に突然不參加を聲明したが、ワシントン來電によれば米國政府はソ聯今回の行動を頗る重大視してゐるものの如く大統領ルーズヴェルトは三十日突然國務次官ステチニアス及び目下歸國中の駐ソ大使ハリマンを白聖館に招致して會談したといはれる。ハリマンはこれがため滯米豫定を繰上げて至急モスクワに歸任、ソ聯政府との間に米ソ航空會談開催の可能性を協議することとならうとの觀測も行はれてゐるが、三十一日の英國新聞ニューヨーク並びにワシントン電はソ聯の不參加問題を一齊にとりあげて報道、「デイリー・テレグラフ」紙は

ソ聯の出席拒否により航空會議出席の英國代表は會議の前途を早くも悲觀するに至つた、何故ならソ聯が一枚加はらなくては國際航空に關する各國の諒解が無意味になつてしまふからだと報じ、また「デイリー・メール」紙も次の通り述べてゐる

ソ聯の不參加決定は各國代表をひどく狼狽させてゐる、ソ聯が何故今度の會議に參加しないかその理由についてはソ聯は將來「航空孤立政策」の採用を意圖してゐるのではないかととの觀測がある、即ちソ聯はその廣大な領域にソ聯のみの航空網を張り、外國機の領内飛行は一切許可しない方針をとるのではないかと見られる、この場合に北方航空路の開拓を目指してゐる米國及びカナダは深刻な影響をうけることとならう

リベリアに

經濟使節派遣か

(リスボン三十一日發) 米國政府は西亞に對して經濟侵略の魔手を延ばしつづける様子でワシントン來電によれば國務省並びに外國經濟院は三十日次の共同聲明を發表したといはれる

米國政府は近くリベリア共和國のため同國內に海港を構築する豫定であるが更に椰子油、ゴム等の増産並びに米國が必要とするその他の資源開發に當るため近く經濟使節團を派遣すること

となつた

戦後船舶

處分案

(リスボン三十日發) ワシントン來電ニ戰時動員餘剩資材處分局の新設によつて從來の餘剩物資處分局長官を辭することとなつたクレイトンは三十日戰爭中に大量生産された米國商船隊の處分につき次の通り述べた

米國が戦後に餘剩船腹を抱へるに至ることは必至であり、この餘剩船腹は戰爭によつて多數の船舶を失つた國々に賣却すべきだらう、一九四五年の世界船腹量は九千五百萬重量トンに達すると推定されるが、このうち米國のみでその半分以上の五千六百五十萬トンを占めることとならう

太平洋機雷

敷設艇隊新設

(リスボン三十日發) 眞珠灣來電ニミッツ司令官は太平洋戰における機雷の敷設艇の重要性に鑑み、今回太平洋艦隊内に機雷敷設艇隊を新設、司令官に少將アレキサンダー・シャープを任命した旨三十日發表した、シャープは太平洋戰に参加する前は大西洋艦隊特務部隊司令官であつた

比島海戰

參加の敵艦

(リスボン三十日發) ワシントン來電ニ海軍省は最近のフィリピン沖における海戰に参加した艦隊の主力艦名を次の通り發表した

戦艦ニウエスト・ヴァージニア、メリーランド、テネシー、カリフォルニア、ペンシルヴァニア以上の五戦艦は眞珠灣空襲の際いづれも大小の損害を受けたがその後修理を終り再就役したものである

航空母艦ニレキシントン、ワスプ、ホーネット

以上はいづれも日本軍によつて撃沈された空母の名前をとつた新空母である

レイテ島上陸

以來の人員損害

(リスボン二十九日發) マツカーサーはレイテ島上陸以來一週間の人員損害を二十九日二千百六十名と發表した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【カナダ】

スチルウエル (リスボン三十一日發) ヴァンクーヴァー來電ニ歸國中の重政治的に無能慶駐劄大使オドラムは三十一日ヴァンクーヴァーでスチルウエル召還問題につき次の通り言明した

スチルウエルの召還によつて東亞の事態は大いに改善されよう、スチルウエルはたしかに第一級の軍人だが、ただアイゼンハワーやマツカーサーのやうな政治的才能を缺いてゐる

【米 洲】

亞労働組合、政府の中立を威嚇 (リスボン三十一日發) サンチャゴ來電によればラテン・アメリカ労働者聯盟書記局は

アルゼンチン統一労働組合幹部會が三十一日アルゼンチン全土の總罷業を發令した旨同日發表したといはれる、罷業の理由としては政府の反民主主義的行動とドイツに對する協力關係に抗議するためと稱してゐるが、アルゼンチン統一労働組合幹部會が米國に使喚されて労働者を利用して政府の中立政策を脅かさんと圖つたことは明瞭だ

【亡命政権】

ミコライチク

(ストックホルム三十一日發) ロンドン來電によればミコライチクは三十一日亡命ポーランド政権側の態度が決定次第再びモスクワを訪問スタールン議長と會見する豫定といはれる

波政権進退

兩難に悩む

(ストックホルム三十一日發) ロンドン來電によればモスクワ會談において英ソ兩國から護歩を迫られた亡命ポーランド政権首相ミコライチクはロンドン歸還後大統領ラチエヴィチ、ポーランド國民會議領袖及びポーランド地下組織のロンドン代表と會見、モスクワ會談の経緯を報告すると同時に亡命政権の立場を詳細に説明したといはれるが、更に連日閣議を開催、窮境打開に必死と傳へられる、モスクワ會談以來亡命政権内部

の気分は極端に非觀的で、ソ聯に泣きついて亡命政権の面子を救へるなら救ふべきだと主張する讓歩派とカーゾン線をあくまで拒絶してポーランドの主權と獨立を主張すべきだと主張する強硬派の二派に分れ、ミコライチクも右すべきか、左すべきかの方向に迷ひ、殆んど匙を投げてゐる形だ、但し讓歩派もソ聯に讓歩した結果、果してどの程度まで報はれるかといふ問題については大いに疑問としてゐるが、強硬派も讓歩派もソ聯の要求するレンベルグをポーランドの生命線として死守する點では意見の一致をみてゐる

【ドイツ】

病院船

鹵獲さる

(ベルリン三十日發) 病院船「チウエビンゲン」號及「フレンブルグ」號はアドリア海を航海してゐたが十月二十七日以來杳として消息を絶つに至つた、軍當局では兩船ともはつきり赤十字の標識をつけてゐたにも拘らず英國艦隊のため鹵獲されたものとみてゐる

【トルコ】

トルコ

共和國の目標

(リスボン三十日發) アンカラ來電ニトルコ大統領イスメット・イノニューは三十日トルコ共和國建國記念日に當り次の通り述べたトルコ共和國の主目標は正義の模範たらしめ各國民をして各その所を得しめる新秩序の建設に關聯し課せられる任務を遂行するにあり、われら國民はこの用意を常に整へてゐねばならない

【印度】

ジンナ

ニューデリー着

(リスボン三十一日發) ニューデリー來電によればインド回教徒聯盟總裁ジンナは三十一日ニューデリーに到着した、訪問の理由は明かにされてゐないが、ガンジー翁との會談物別れの後だけに、その動靜はインド各派の關心を集めてゐる

佛西國境事件續聞

井 上 勇

佛西國境のその後は、なんら安定を取戻してゐないやうである、パリからもマドリッドからも隔絶したピレネー山系一帯の情勢は今や全く暗黒の幕の内につつまれて、實情については、時折り閃光を發する各國からの斷片的ニュース、それも多くは「旅行者の話」の取次ぎによつて判斷するほかはない、スペイン政府は二十日佛西國境の閉鎖を布告すると共に、アンガイでは國際橋の交通を遮斷し、イルン、アンガイ間の鐵道も不通になつたとツールーズ・ラジオは報じてゐるが、このツールーズ放送なるものが曲者で、スペイン國民聯合最高會議の本部はここにあり、スペイン關係のあらゆるデマの根源地になつてゐる、目下南フランスでスペイン領事館の機能を維持してゐるのはリオン領事館のみで、他は悉くスペイン共和軍の手に押へられてをり、勿論ツールーズの領事館もその例に洩れてゐない、スペイン・マキ團はフランス解放に一役買った代償に、マキ側で占領してゐる領事館を正式領事館として承認せよと、ド・ゴール政府に要求してゐると外電はつたへてゐるが、領事館の正式承認などはおよそ意味のないことで、スペイン・マキ團の總本部國民聯合最高會議をスペイン亡命政權として承認せよといふ意味なのであらう、ツールーズでは彼等は四つのホテルを占領して、これを本部として祖國侵入作戰を練つてゐるとDNBはマドリッドから報じてゐるが、これも事實ではあらうが詳細は判明せぬ

國境の戰闘

UPの二十四日付バルセロナ電によれば、スペイン共和軍は、四日間に亘つてスペインの北東國境アラシの溪谷で二尺に餘る白雪を鮮血に染めつつフランコの正規軍と戦ひ四ヶ村を占領したが、

二十三日までに三千人の死傷者を出したといつてゐる、フランス側の情報では共和軍はフランス國內軍から譲られた……といふよりもフランス國內戰當時米英から供給された機關銃、迫撃砲、小銃等をそのまま自分のものにして、スペイン國境に押寄せたらしいので裝備も馬鹿にはならぬらしい現在の戰闘はどの程度に行はれてゐるかはつきりしないが「ヒット・アンド・ラン」式の小競合ひではないかと思はれる、占領したといふ四ヶ村はレリダからの二十四日付AP電によれば正規軍のために直ぐ奪回され、マキ團は四百八十名の捕虜を出した、AP電は正規軍が續々同溪谷に入り込み目下は掃蕩戰が行はれてゐるといつてゐる

一説によるとツールーズの南西スペイン領内の山中市カネヤド、ヴィエラなどはゲリラ部隊が占領してゐると傳へられ、また正規軍によつて奪還されたとも報じられてゐる、その以前十月四日ナヴァラのロンカ溪谷に侵入したゲリラは、その後のマドリッド情報では六日間の掃蕩戰の結果、五百と三百の二群合計約八百名の侵入軍の大半はフランヒストのため捕虜になつたさうである

捕虜の告白によれば「フランスの解放の仕事は済んだので、今度は祖國スペインの解放にとりかつたわけだ」と豪語してゐる

トランスオツエアンのマドリッド電によるとフランス南西境タルブ、ビアリツツ、バイヨンヌ、シブウルヌ、サン・ジャン・ド・リュス、カンボポー等の町にも相當數のゲリラ部隊が集結して、マドリッド進軍を準備してをり、形勢は決して樂觀を許さないやうだ

ツールーズ・ラジオはスペイン國內いたるところに反亂が起りつつあり、今にもフランコ政權が崩壊するやうなデマ宣傳を繰返してゐるがロンドンの官邊はゲリラ隊の活動や、スペイン内部の情勢を輪をかけてみることは禁物であると戒しめてゐる、DNBなどは反つてカタローニヤ、ナヴァラ等スペイン國境の地方では、一般住民が共產ゲリラ隊の挑發に憤激して、續々討伐隊に志願してをり、或ひは共產匪を追拂つてみせるから武器を貸下げるとと士氣大いにあがつてゐる旨を報じてゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

色とりどりの観測

マドリード政府は二十五日フアランへの政治會議を開催したやうであるが問題は勿論、佛西國境方面の不穩に關聯したものとみるのが至當であらう、同時にスペイン政府當局談として發表されたところによると「スペイン國民はスペインの内政及び西佛國境地方の情勢に關しての種々な煽情的な噂について驚くよりも寧ろ興味を感じてゐる」とのことであるが、同時にベルリン外務當局は、「國境方面の事態は極めて重大と考へざるを得ない、ソ聯はスペインについても活動の自由を確保しようと努めてゐるらしい」と語つてゐる。

ロサンゼルス放送が、マドリードの新聞論調として二十六日報じてゐるところによれば、スペイン各紙は「ソ聯の手先がスペインに革命を誘致し、フランコ政府の倒壊を企ててゐる」と公然書立てゐるといはれ、形勢は笑つてすまずほどには樂觀的ではないやうだ、同じ放送によればフランスにあるスペイン・マキ團はその數既に五萬に達し共和國時代の元スペイン首相フアン・ネグリン・サンチアゴ・キロガの二人は近くロンドンからパリに乘込んで、叛軍の指揮に當るともいはれ、メキシコからはこれも元首相のデイエゴ・バリオが既にフランスに乘込んでゐるといはれる、フランス國內軍にはヴィラルベなどといふスペインの將軍も參加してゐたが、最近ではヘラ空軍大將を初め更に四名の將官連がパリに乘込み、十月二十六日には將官會議を開いてスペイン共和政府ができた場合の椅子の割當まで協議したと傳へられ、左翼革命も船頭少なき嘆きだけは解消したやうだ、ニューヨークにゐる元バスク自治政府の首相デ・アギーレは同じ日「スペイン國內には革命機運が漲り、二百萬のバスク人はフランコ政權打倒の狼火があがるのを今か今かと待つてゐる」とみてきたやうな演説をした。

パリから吠える

パリの抗戰運動機關誌「レジスタンス」は「われわれはマドリードを解放すべき首都のリストの中に入るべきだ、フランコ、アントネクの名前はム

ツツリニ、ヒットラーの名前と同様である、コンドクトールとかカウディオなどを入れる世界はも最早存在しない」といひ「フラン・チラル」はスペイン國境戦はいまの一つの解放戦だと氣勢を擧げてゐるが、他國の内政干渉が好きなアメリカも黙つてはゐず、ニューヨークのラジオ解説者レイモンド・グラハム・スウィングは「聯合國はスペインの共和軍を援助すべきである」と主張しUPを初め左翼傾向の新聞、通信もまた、フランコ政府罵倒の火蓋を一齊に切つてゐるとドイツ海外通信は報じてゐる。

ロンドンからの報道

UPはスペインの國內不安を報ずるに最も熱心であるが、その二十五日のロンドン電はアスツリア、トレド、アングルーシア、レオン各地に一齊に反亂が起り「いくつかの人の住んでゐる地方」が既に解放されたと告げ、同じ日のツールズ・ラジオの取次ぎをして、カタローニアのレリダ、バスクのナヴァアラ地方では再び戦鬭が始つたといつてゐる。

ドイツ海外通信が十月二十五日傳へる「ロンドン・タイムズ」の記事によれば、つぎのやうなことになる。

南佛ガスコニニ、ペアルン、特にオロン地方のスペイン共和軍の活動は目覺ましい、スペイン共和軍はフランス國內軍の内部に所謂「自治」部隊を作つてをり、これはフランス政府の頭痛の種になつてゐる、スペイン義勇軍の大部分は、無政府主義者團體の黨員で、フランス側指揮者の命令は聞かず、聯合國がフランス國內軍に空中補給した武器を横取りしてゐる、フランス國內軍と武力衝突することも稀れではない武器はスペイン國內からも供給されてゐるやうだ、裝備もフランス國內軍より良く、兵員も彼等の方が多い、彼等は國境の地域を各所で占領して屢々ビレネーを越してスペイン側の溪谷地に侵入してゐる、南佛各地では道路を抑へて、歩哨を立て、時にはフランス將校にまで身分證明書の提示を要求してゐる、バイヨンスのスペイン領事館も彼等が占領したが、いまでは元の家は引越してその向ひに居を占め、屋上にはスペイン共和國の旗を飄してゐる、彼等の希望はいづれ解放軍を組織してスペインへ進撃を始めることだ。

フランスとソ聯

マドリッド十月二十八日電では、フランス政府代表は目下フランコ政府代表と國境で會合して、治安回復の方途を協議してゐるといはれるが、スペイン軍をフランス國內に入れることは、ド・ゴール政府の「權威」が許すまいし、さりとて自分でわが家の掃除するだけの實力もなしでは話は仲まどまるまい

佛外相のジョジュ・ピドオは二十八日聲明を發して「佛西兩國政府間には「デ・ファクト」の關係はあるが、未だ相互に正式承認の關係はない、マドリッドには一九四三年、ジロー將軍が解放委員會議長時代アルジェから送つた代表團がゐるがこれがいまのところフランスを代表してゐるかたちだ、北阿からスペイン通過してフランスに歸らうとしたフランス人をスペイン政府が監禁したので、その始末のために代表を送つたわけだつた、フランス國內のスペインの利益保護にはヴィシー時代からの領事館がそのまま残つて、その任に當つてゐる」といつてゐるが、ジローは追出したし領事館はマキ團占領されてゐるし、兩國關係は「デ・ファクト」の承認以下で、交渉するにも兩國關係がこの程度のつながりでは天井からの眼藥にもならない譯である、いづれ佛西國境事件も、兩國間で片付かないならば列強の干渉は必然でソ聯が若し八年前の色氣を再び出せば、英國でも黙つてみてゐるわけには行かなくなるであらうし、フランスの赤化がスペインに波及するとなれば、西歐聯合どころではない、ここでソ聯と英國との利害關係は正面衝突の危機にさらされ、ドイツどころではなくなるわけだ、ソ聯が果して瑞典紙のいふ如くスペインに今關心を有してゐるか否かは疑問であり、マキ團の活動が果して傳へられる如く實際的力を有してゐるかどうかわからないが、當分佛西國境は注目を要するであらう、己れに出たものは己れに歸るといふ事が眞理ならば、この大戦はスペインで片がつかないとは誰も保証しないであらう



問題のド・ゴール演説

十月十四日放送

反樞軸諸國及びフランス陸、海、空軍の努力によつて、フランスの國土の大部分より敵が驅逐されて以來既に數週間が経過した、然し解放の歡喜矜りもさりながら、同時にフランスが當面する事態の困難な現實を勇氣をもつて評價し、その救済の方途を明白に測定把握することは何ら妨げないドイツを破るためにはさらに、血みどろな發奮を新たにする以外の方法はなく、フランスは、そのために能ふ限り最大の寄與をせんと欲してをり、また、それをなすことはわれわれの義務でもあるわれわれはこの戦争を續けるためには、一九四〇年の大戦闘、それに引續く四ヶ年の占領によりて課せられた困難な條件の下に戦はねばならない、われわれの港はボルドーを除いてすべて使用に耐えず、鐵道運輸組織は事實上麻痺し、工場には石炭、電力なく、鑛山は言語に絶する荒廢を示し、農業用具は既に使ひ古されて物の役に立たず、原料資材の貯藏は全く枯渇してしまつてゐる、これが今日のわれわれのバランス・シートなのだ、その上、われわれのなほ持つてゐる車輛、船舶、貯藏原料は、これを軍事目的のため、聯合國最高司令部の用に供さねばならぬ場合が屢々なのだ、フランスは今次の戦争で三十萬の國民を戦場で殺し乃至は敵のために處刑され、三百萬の捕虜を國外に持去られ、四千の橋梁は爆破された

國民の内にはわれわれの生産力復興のために聯合國は迅速有力な援助を與へるだらうと考へてゐたものがあつたが彼等は考へ違ひをしてゐたのだ、交戦國の第一任務はあくなき戦争の必要を賄つて行くことであり、そのことは、フランスにたいしても重い負荷と廣汎な問題とを賦課してゐる、且つ、われわれの聯合國のそれでは、われわれが追及しつつある敵と同じ敵と戦ひつつあるといへ、各々別箇の利害を有し、各獨自の政策を樹ててゐる、多くのフランス人は、他の列強が戦争遂行上、または平和準備に關してフランスをある意味で等閑視した扱ひをしてゐるのに驚いてゐることと思はれる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

列強のかかる態度が自由獲得の目標達成に果して資するものかどうか、全世界に亘つて數千萬人の男女が苦しみ、戦ひつゝある大目的の成就に益あるものかどうか、現在の聯合を將來も結束せしめて行くために有益であるかどうかは、將來の歴史が證明するであらう、しかし、われわれは今のところは、事態があるがままに受け入れて、各々の直面する諸々の困難に對し、何よりもまづわれわれ自らをたのまねばならぬことを認識すべきであり、フランスの偉大は過去におけると同様、將來においても他國の好意に基くものでなく、われわれ自らの奮勵努力のみから生れ出るものなることを諒解せねばならない、われわれの當面する困難は苦難に絶するものではあるが、フランス國民は決して絶望することはないであらう、われわれはこの試練を歓迎するとまでいつてもよい、この試練を通じて、われわれはフランス人の眞價をわれわれ自身と世界に顯示することが出来るからだ

フランスの任務

フランスは何をなすかをわれわれは十分に認識してゐる、敵を敗り、海外にフランスを建設すると共に、國內に再建し更新することがわれわれの任務である、何よりもまづわれわれは働かねばならぬ、そして全國民の努力によつて、國家機構の成長發展を期せねばならぬ、國の上下を擧げて各人がその正當なる責任を全面的に負擔しなくてはならぬ、過去において、敵を驅逐する目的のために正當と認められて、應變的に組織された權威といふものは、すべて廢止さるべきである、その存続は單に混亂を助長するのみである、統治する任務は政府がこれに當るべきものであり、政府の活動は一般投票によりて選舉が行はれ次第、フランス主權の代表者たちの意志によりて、規矩されるであらう、行政の任務は政府の任命する行政官が、これを受持つであらう、軍隊を指揮する權利は、所管大臣の任命する首領に專屬すべきものである、當局の權威を妨害するがごとき行動はすべて、われわれの戦争努力を阻害し、國家的結合とフランスの國際的地位の再建を妨げるものであるわれわれは少くとも國家的結合を達成しなくては

ならない、勿論、われわれフランス人は本質的に個性主義者であるが、同時にまたわれわれの經驗した不運の結果、更に分裂を來たすに至つた、しかし賤しむべき極めて少人數を除いて、大多數のフランス人は善良な誠意の持ち主である、フランスは今、見出し得る凡ゆる手と心とを必要としてゐる、フランスはその史上最大な時期に直面してをり、國民はこの時期を生き抜いて、偉大さを回復しなくてはならない

右演説の批評

「タイムズ」紙十七日社説

ド・ゴールの自信

ド・ゴールが十四日演説したところのもの大部分は既にフランス人の知悉してゐることであり残りの部分は既に想像され、乃至は推知されてゐたものであり、これを全體的に評すれば、既にフランス國內に形を取つてゐる氣分の變化に照應するものといひ得よう、解放の昂奮が去つて次に生れた新しい機運は落膽、氣落ちではなくて、寧ろ過去數年來あつた戰鬪氣分の回復であるといへよう、この新機運とこれを従前通り維持して行つてみせるといふ自信がド・ゴールの全演説を通じて暗黙のうちに示され、湧き昂がる國內の戰鬪精神の挑戰を十分成功をもつて受けて立ち得るといふのが、ド・ゴールの自信なのだ、大多數のフランス人はド・ゴールの分析してみせた聯合國間の意見相違、中央當局が聯合國から如何に冷遇されてゐるかの實情を聞いて、衝動を受けたことであらう、フランスが聯合國の結合力を過大評價してゐたとすれば、諸外國の輿論はフランスの分裂をば過大評價してゐた傾きがあるといひ得る

ケー・ドルセイの不満

ケー・ドルセイ筋では、フランスはドイツ處分條件の討議について何ら通達をうけてゐないことを重要視してをり、フランスが参加しないままに起案された如何なる決定もこれを承認し得ないといふ、ド・ゴールの度々の聲明を特に想起するやう要請してゐる

たことを確信するに至らうからだ

濠洲最近の諸問題

英本國の食糧困難

「デイリー・テレグラフ」紙特電九月七日
先般濠洲に派遣された英國食糧使節團團長アメリーは六日メルボルンにおいて次の通り述べた
反樞軸軍の進駐によつてフランスが解放されても英國の食糧問題が急速に改善されるであらうとは思はれない、ドイツが降伏した後においてさへも、主要生産國の英國向けの農産物輸出量は減少してゐるから英本國民の食糧維持は非常に困難となる模様である

酪製品

「フアイナンシアル・ニュース」紙特電
八月三十日

濠洲政廳八月二十九日の發表によれば濠洲の一九四三—四年度におけるバター生産高は同豫想量十七萬五千トンに對し、實際生産量十五萬七千トンである、そのうち英本國への輸出は一般民需用として四萬一千七百十八トンで、要求量には三千八十二トン不足してゐる

生産省に提出された一九四四—五年度の酪農品の生産豫想量並びに需要豫想量は次の通りである
生産豫想量 軍需豫想量

牛	乳(單位) (百萬ガロン)	一、〇〇〇	四一四
バター	一(單位) (千トン)	一四四	六八
チーズ	一(單位) (千トン)	三三三	
罐詰ミルク	(單位) (百萬ガロン)	六三三	

藏相の豫算案演説

「タイムズ」紙特電九月八日

濠洲藏相ジョセフ・チーフレーは七日、一九四四—五年度の濠洲聯邦豫算案を下院に提出したがその際、大要次の通り演説した

「一九四三—四年度の戦費豫算は濠貨五億四千四百萬磅で前年度に比し一千七百萬磅の減少を示したが國內の戦争努力は愈々増大し、同年度における戦費の實支出は五億四千四百四十一萬六千磅で前年度より二千八百萬磅増加してゐる

事實、臨時政府は承認の問題よりも、何故にフランスはドイツ處分案審議から除外されてゐるのかといふ問題に一層關心をもつてゐる、フランス官邊は米英政府が、臨時政府の有してゐるフランス國內の支持について疑念を抱き、臨時政府の合法性、非合法性について、法律的な誤解を抱いてゐるなどとは信じてゐない

彼等は、フランスを會議に参加させ度くないから、承認を滯つてゐるのだ、承認しない限りは、参加させない理由が正當化されるが、承認した場合は参加させない理由が成立たぬといふのが聯合國の肚だと睨んでゐるのである、それ故にこそ聯合國側の一部新聞がフランスの國內輿論の分裂、地方における攪亂的運動の報道などに殊さら重大性を付して書き立ててゐるのだと解してゐる「鬭争」(コンバ)といふ抗戦運動團體の同じ名前の機關紙は、ド・ゴールの演説批評の中でこの問題を眞正面から取上げて「フランスの友邦は、ド・ゴールの聲はフランスの聲であることを銘記すべきだ、ド・ゴールはその演説で、フランス國民は聯合國側の曖昧な態度をそのまま精神的に受諾してはならぬどころか、受諾する意志を有してゐないことを、聯合國に通告したものである、聯合國はフランスが平和會議に不必要な存在であることおよびその理由はしかじかと明瞭に告白すべきである、外國が如何考へようとフランスは少くとも幻影を抱くことなく十分生き得るだけ、今では強力であることを證明してみせるだらう」と論じてゐる

氣に病む戦後保障問題

戦後の保障問題について、フランスは聯合國の傾向がドイツに寛大なことを怖れてはゐるが、聯合國特に英國のステートマン・シツプには信頼を失つてゐない

この問題がいかなる解決を見るかは別として、フランスが、正義のため必要であると考へてゐるものを侵犯し、またはフランスの安全のため本質的であると考へてゐるものが無視された場合、フランス國民の感情は急激に変化するだらうことは確かだ、その時フランス人は四ヶ年間の努力が空に歸し、解放によつては何等約束が實現しなかつ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

同年度において濠洲が米國から借入した金額は相當額に上つてゐる。また濠洲は相互援助協定に基きカナダからも援助を受けてゐる。濠洲に派遣された米軍に對する濠洲の援助は一九四二—三年度の濠貨五千九百萬磅に對し一九四三—四年度においては一億一千萬磅となり實に戰費總額の二〇%を占めてゐる。目下濠洲は英國が軍隊の食糧として濠洲に要求した多量の食糧品確保のためにあらゆる努力を傾けてゐる。英國その他の反樞軸國が濠洲で生産した軍需品を買上げる一方、濠洲國内への輸入は重要物資のみに制限されてゐるので濠洲の財政状態は次第に改善されて濠貨五千六百萬磅の海外派遣軍軍費を支出し、なほ且つ一九四〇—一年度に濠洲が英國で起債した戰時公債英貨一千二百萬磅を償還することが出来た。一九四三—四年度の支出總額は濠貨六億八千六百五十三萬二千磅でその中戰時費は五億四千四百四十一萬六千磅を占める。同年度の歳入は三億九百三十七萬五千磅で、そのうち二億七千八百五十四千磅は稅收である。一九四四—五年度の戰時費は五億五百萬磅と算定されてをり、うち、五千三百萬磅は海外派遣軍に要する費用である。戰時費豫算の三千九百萬磅減は戰爭目的のために必要とされる主要生産事業計畫が縮小された結果であるが、また軍隊及び軍需品工場の人力の一部を英國その他の反樞軸國の要求する食糧確保の方面に振向けなければならなくなつたためでもある。

(單位千磅)

歳入	一九四三—四
稅收	三〇九、三七五
歳出	二七〇、八五四
戰費豫算	五四四、〇〇〇(一〇七減)
總額實支出	六八六、五二二
戰費實支出	五四四、四一六(二八、〇〇〇増)
豫算戰費	五〇五、〇〇〇(三九、〇〇〇減)
外相エヴァットの外交説明	

「タイムズ」紙キャンベラ特電 九月十九日
濠洲外相ハーバート・エヴァットは十九日下院において外交問題を説明、次の通り言明した

政廳は今回、既に公使館の設置されてゐる諸國特に公使館が東部のワシントンにあり全米に亘る濠洲利權管理の不可能な米國に領事館網を創設、各地方における濠洲利權を代表せしめようと計畫してゐる。歐洲諸國に對しても政廳は外交代表派遣範圍を漸次擴大する方針であるし、中東に對しても政治的代表團の派遣を考慮中である。

歐洲戰局に關しては、反樞軸軍は歐洲戰終了後もなほ太平洋戰において勝利を獲得しなければならぬから、歐洲戰の終了によつて完全な世界平和が建設されるといふ考へを流布するのは危険である、却つてその時こそ政治家は最大の技倆を發揮してあるひは歐洲戰の招來した傷を癒やし、あるひは太平洋戰の完遂を期す等の重大な任務に當てなければならぬ。將來日獨兩國との間に最終の決定的な和平を樹立するための前提として、反樞軸國が恒久的な國際安全機構を設立、もつて世界平和の維持並びに經濟、社會兩部面における福祉の増進を圖ることをわれわれは希望する。樞軸國の敗北を待つて後和平を講ずるよりも現在の段階において確實な背景の前に安全保障機構を設立その活動によつて戰後問題を處理する方が一層有效である。安全機構は十分の兵力を用ひ世界中の武力闘争を一刻も早く終結せしめるため努力すべきであるが、また一方米英ソ三國の全面的な支援なくしては到底十分な成功は望めない、かかる機構の設立のためには三國が戰爭をもつて各國の政策の手段であるとする考へ方を放棄することが必須條件であり、三國間の意見の相違を友好的に解決する方策が必要となつてくる。三國は他の小國の獨立を許すべきで、そこにおいて信頼と支援とを得るのが良策と思はれる。如何なる小國も獨立國である以上は、その相手が如何に大國であつても他國の手に自國の運命を委ねることを欲しないのである。

國內經濟の發展に言及すれば、濠洲現在の繁榮は英米兩國並びにニュージーランドに負ふところ極めて大である。濠洲の繁榮は安全保障の確立と密接不離な關係がある許りでなく、さらに積極的に國際保全を増進することによつて確保されよう。

ドイツの軍事的崩壊の後にもナチ政權機構はなほ秘密裡に存在を續けるであらうが、またベリリウム、マグネシウム、合成ゴム、眼鏡類、合成窒素劑、電氣機械その他の器具等の軍需資材並びに日用品に對するドイツの專賣權の獨占によりなほ生存し續けるに相違ない、その場合には三國政府の嚴正な國際管理が望ましく、これによつて「侵略者」ドイツの國際的專賣權獨占を分割することが出来る、前大戰及び今次大戰の二大戰爭によつて濠洲は歐洲と離れては全く生存し得ないことが明かとなつた、濠洲のなし得る仕事は、勿論休戰後の過渡的段階において設置されるであらう國際監察機關にどの程度まで參加するか、どの程度の影響力を與へ得るにかかつてゐるが、最も必要な條件は健全な政策を見極めつつ、これを明確に表現する能力である、侵略的軍事勢力國として重要な地位を占めるドイツを完全に解體させることの必要は否定さるべくもないが、ドイツ國土の分割によつて他の方面に種々の支障を來す惧れあることを考慮する必要があるし、戰爭の興奮が鎮つた後においてもなほ反樞軸國は保全機構を強化する意志を持ち續け得るか否かをよく考へなければならぬ、戰後のドイツ重工業を如何に處理するかも重要な問題である、一九三九年における工業生産力への後退位では武力主義の國ドイツは三度再起を試みるに違ひない、如何に嚴しい壓迫と拘束を受けようともドイツは他の歐洲諸國と同様最後には國力を回復して立上るに相違ない

非常大權と國民投票

「タイムズ」紙キャンペラ特電八月十九日

先般政廳は聯邦議會の戰後五ヶ年間に亘る十四ヶ條の非常大權獲得を要請、これを國民投票に付したが、カーチン政府の言明によれば、同大權は憲法中に制定された防衛權に基き政廳が戰爭期間中所有する權力を戰後においてもなほ長期に亘つて繼續せしめもつて戰爭終了後の濠洲再建を可能ならしめるため根本必須條件である、これ等十四ヶ條の大權は憲法中の三項目に基いて發動されるのであるが、政廳はこれ等を相關的なものとして扱つてゐるから一問題として考へることが出来る

即ちすべて戰後の經濟的混亂を防止するために緊要な事項である、一九四二年十二月政廳は聯邦並びに各州議會の全政黨を代表する憲法議會をキャンペラに召集したが、この際滿場一致をもつて、各州は戰爭終了後五ヶ年間戰後再建のために必要な權力を聯邦に移譲し、この期限の切れないうちに國民投票を行ひ、これによつて憲法の恒久的改正を決定するといふことになつたのであつた、憲法議會は各州が聯邦に移譲すべき十四ヶ條の大權を表に作成、これを議案として各州議會に提出したのであつたが、これを可決したのはニューサウスウェルズ並びにクイーンズランドの二州に過ぎなかつた、サウスオーストラリア並びにウェスタンオーストラリアは原案の約四分の三を承認しただけであつた、タスマニア議會は二度までも議案を全面的に否定し去つた、ヴィクトリア州はこれを可決はしたが、但し他の全州が等しく可決した時始めてその效力を發せしめるといふ條件を付した、聯邦政廳は州の大半が拒否した大權の移譲を今度は國民に對して要請してゐるのである、政廳の意圖するところは即ち戰爭終了後に来るべき失業、インフレーション、不當利得の蔓延を阻止するにある、約言すれば國內經濟の完全な崩壊を回避しようとしてゐるのである

この計畫は誠に緊要で、そのためには憲法中の防衛權によつて認められる戰時統制權を更に繼續することが必要となるが、檢事總長エヴァット博士は現在の憲法は戰爭終了の再建の基本法規としてはあまりにも不安定なものであるとの所信を披瀝してゐる、政廳が要求する大權は次の十四ヶ條に關するものである

- 一、兵員の再配置
- 二、雇傭並びに失業
- 三、日用品の組織的販賣
- 四、企業合同體、商業組合、獨占會社等をもつて一丸とする聯邦統制會社の設立
- 五、不當利得と物價
- 六、各州の特權を侵害しない範圍内における物資の生産並びに配給事業
- 七、國際爲替統制
- 八、投資と借款
- 九、航空輸送機關
- 一〇、鐵道軌道統制

一、國家事業

二、國民保健

三、家族手當

四、濠洲原住民の福祉

政府が憲法議會に提出した三ヶ條の憲法中に制定された保障は次の通りである

一、言論の自由を束縛する法令の禁止

二、現在各州の法令によつて宗教の自由が認められてゐるが、聯邦議會の法令によつても同様に認めるといふ保障

三、聯邦議會において發布された法令の再吟味
政廳が憲法議會に提出した問題の主要は戦後復興事業を六州單位で行ふか、或ひは聯邦政廳として行ふかであり、換言すれば聯邦政廳が主體となつて一つの國家政策を樹立、各州の協力を得てこれを實行に移すといふ方法を取るべきか、或ひは政治的色彩を異にする各州の制定になる相接觸する可能性の多い六州の政策によつて動かしてゆくかである、ロバート・メンジーズを首領とする政府反對黨は一九四二年十二月以來戦時内閣の官省濫設のため一般國民の政府に對する信頼の念は全く失はれたと應酬してゐるが、大權移讓問題は今や直接國民の面前に提出され、國民自身が聯邦は果してかかる十四ヶ條の大權を實際に必要とするか否かを決定しなければならなくなつた、メンジーズは戦時統制法規の大半を發動する防衛權を政府が戦後五ヶ年間保持すれば、戦時體制から平時常態への圓滑な轉換は十分可能とならうと主張、防衛權は兵員再配置の根幹であり、事實前大戦以來そのために發動されてゐたと述べてゐる

聯邦政廳に雇傭並びに失業、物品の生産並びに配給を處理する大權が附與されるならば、今まで政廳の權力を拘束してゐた制限は撤廢されることとならう、政廳としては戦後における完全雇傭を保障するであらうが、結局は各自がそれぞれ意とする職業を選択することは許されず徵用制が敷かれることになると思はれる、メンジーズは更に、反對黨が合法的な權力の發動であると認めてゐる再建事業を遂行する上に十分な權力を聯邦は現在既に具備してゐると主張し、それ以上の權力を聯邦に與へることは勞働黨政府がそれを社會主義的

目的のために使用する惧れがあるといつて強く反對してゐる、投票者の大半はかういふ反對意見を有してゐるので政府の勝利は覺つかない、反勞働黨投票者の大半は理論を離れて賛成投票、即ち勞働黨側投票とみなしてしまつてゐるし、その他はこの國民投票を民主的政府の基底を破壊する計畫とみて、現状維持、即ち各州は現在の特權を保持すべきである旨主張してゐる、しかし一九三八年メンジーズがライオンズ内閣の檢事總長として憲法改正の提出を約した際——この約束は戦争勃發のため果し得なかつたが——指摘したやうにこの濠洲國內の大問題に對する實際攻撃を撃退するには法律家の援を得て、聯邦と各州とどちらがより良い治療法を持つかのみならずどちらがより正しい醫師であるかを決することが最も必要であらう

米國の兵士對市民の反目

(ストックホルム三十日發) スエーデン新聞「アフトンブラデット」紙は米國內における兵士對一般市民の不和、殊に戦争成金との間の緊張について次の通り報道してゐる

カンサス市のノース・アメリカン航空機會社工場では、或る夕刻多數の兵士達が門から雪崩れ込んで爆撃機の生産を妨害する同工場の罷業を阻止しようとした、兵隊は罷業警備團を追拂ひ勞働組合の宣傳ビラを引き剥がしたが、附近を巡邏してゐた憲兵達はこれを見て仲裁に入らうとしなかつたといはれる、歸還兵士と一般市民との間の間隙は今や容易ならざるところまで進展し政府當局は憂慮してゐる、陸軍省もこの問題を隠さうとはせず、將校連を派遣して一般の米國市民も戦争努力に大きな貢獻をなしてゐるといふことを兵隊達に説いて廻つてゐる、しかし兵隊達は現在戦争が行はれてゐるといふことを一般市民、特に軍需産業關係の人々が理解してゐないやうにみえると主張し、更に銃後の人々は贅澤に耽つてゐると思つてゐるのでこれに憤慨してゐる、負傷兵などは本國にゐても氣樂な氣分を味へないから早く前線へ戻して貰ひたいと頼みに來る程だといはれ、新聞の論説は事態の重大さをとり上げてゐる

昭和十九年十一月六日(月)
第三二二二號

同盟通信

海外電報

(254)

【目次】

大統領選舉戰大詰へ

スチルウェル華府に到着

宋子文頻りに陳辯

英國首相らパリを訪問せん

ド・ゴールら暗殺未遂

【米 國】

損害を更に追加發表

對日戰は依然困難

ルーズヴェルト共産黨と提携

航空會議早くも暗礁に乘上ぐ

アラビアも不参加

米英ソ石油交渉

ネルソン技術家も帶同

AFL國際労働組合に参加拒否

世界海運を支配せん

軍用機生産高

太平洋の戦ひ

【カナダ】

國防相更迭

辭職の理由

【米 洲】

三國、亞の提案支持

【英 國】

イラン問題の反響

輿論調査

【東南歐】

羅政情極度に不安

羅政權改造

洪、國境閉鎖令

ミチリニ島に共産黨獨立政府樹立

ギリシャ政府の要求

【トルコ】

大統領外交政策闡明

【亡命政權】

諸政權近く瑞に移轉

瑞訪問の諸政權

【聯 邦】

加の銀鑛利權を補償

【ドイツ】

佛と俘虜交換

【新西蘭】

太平洋問題協議會開催

【イベリア】

スペイン、ハリ駐劄大使任命

【印度】

會議派領袖會議ガ翁を信任

【特 輯】

モスクワ會談では何が決まらなかったか



即ち今や第二十航空隊
は支那、印度、マリアナ各方面に基地を構へ
隨時出撃の態勢を完了したとみななければなら
ない、第二十航空隊司令は歐洲において第八
航空隊重爆機司令たりし少將ルメーであり、
ドイツに對する戰略爆撃に續名を馳せた男だ
したが、對日攻撃にも人道を無視した無差別
大規模爆撃を用意してゐるにちがひない、
ラングーン爆撃におけるB29の一機當り、爆
彈搭載量は空軍史上の新記録だつたと發表さ
れてゐる、即ち歐洲において六トン爆彈が使
用された事實を考へれば、恐らく七トンに達
するともみられる、だがそれもよし、國民の
防空態勢について兎角の批判はあるにしても
一年前とは全く違ふ、準備の進捗は彼我同様
だ、前線の戦ひと並行的にいよいよ第二十航
空隊對全國民の本格的衝突が始まつたのだ

去る一日東京上空に憎むべき偵察飛行を試
みたB29は二日トラツク島へ、三日はビルマ
の都ラングーンへと來襲した、前二者につい
てはまだ敵側の發表がないので詳細不明であ
るが、恐らくマリアナ諸島の新設基地より出
撃せるものの如く、これに對しては三日未明
わが航空部隊が痛撃を與へサイパン、デニヤ
ン兩島飛行場に合計十五箇所の火災を生ぜし
めた結果、少く共彼は出鼻を挫かれて大いに
狼狽してゐると思はれる、然しながらB29の
活動は比島の戦況や支那大陸の戦況には殆ん
ど關係なく行はれる敵の戰略攻撃である、そ
の目的は日本の工業力低下と國民の戰意喪失
により全局的な戦力を低下せしめるにある第
二十航空隊はB29爆撃を悉く統括してゐる模
様でラングーン爆撃に
ついては同司令部より
「B29爆撃隊はインド
基地より出撃してラン
グーンに白晝爆撃を加
へた」旨發表された、

米大統領

選挙戦愈々大詰へ

未曾有の白熱戦

(リスボン三日發) ニューヨーク來電 米大統領選挙戦は戦争中にも拘らず未曾有の白熱戦を演じつつ愈々最後の大詰へ迫つた、選挙を來週の火曜日に控へて民主、共和兩黨共にその努力を最後の五分間の戦ひに集結し、ルーズヴェルト、デューイ兩大統領候補はいふに及ばず、トルーマン、ブリツカーの兩副大統領候補も今やほとんど連日にわたり或ひはラヂオ放送により或ひは公開演説により選挙民に最後の訴へを行つてゐる

兩候補の演説戦

最近ニューヨーク、シカゴで重要演説を行つたルーズヴェルトは今度は最後の遊説旅行にニューヨーク、インディアナ地方に乗出すこととなりワシントンを行ふがその途次コネチカット州のブリツジポート、ハートフォード兩市、マサチューセツツ州のスプリングフィールドでも演説する豫定である、これに對しデューイはすでにボストンにおける演説を終へてアルバニーに歸還したがルーズヴェルトのボストン演説と時を同じくして四日夜ニューヨーク市マデソン・スクエアで同州四十七の選挙人投票を獲得することとなつてゐる

人身攻撃の泥試合

民主、共和兩黨候補共に最初の間は堂々たる政見の發表に終始してゐたが選挙期日の切迫と共に最近は猛烈な個人攻撃に墮落し、共和黨側がルーズヴェルトの「一千弗クラブ」事件、シドニー・ヒルマンの「CIO政治行動委員會」とルーズヴェルトとの醜關係を暴露するや、民主黨側もデューイの勞働階級に對する反動的な「恐怖政治」をあげ、更にルーズヴェルトも三日の新聞記者團會見で「最近ハルの辭職説とかスチルウエルが蔣介石に最後通牒を突きつけたとかの説がとんでゐるが、これはいづれも共和黨の陰險な選挙運動であ

る」と述べ最後の白熱戦は一方では泥試合に化したかの觀を呈してゐる

勢力正に伯仲

今度の選挙は米國の政治史の上で最も接戦を演じたとされてゐる一九一六年の選挙以來の大接戦と呼ばれてゐるだけにルーズヴェルト、デューイ兩者の勢力は正に伯仲の間にあり形勢混沌として豫想が下し難い、これを反映して十一月に入つてから相次いで發表された米國の代表的輿論調査機關の報告もそれぞれ異なつた結論に到達してゐる即ちギャラツプ調査によればデューイは二十二州で二百五十五の選挙人投票を得たに對しルーズヴェルトは二十一州で二百六票を得てルーズヴェルトが頽勢を示した

豫断を許さず

しかしニュー・ス・ウィーク誌の調査はデューイの二百五十七票に對しルーズヴェルトとが二百五十九票で僅かに優勢を示してゐる、一方一般投票の比率から見た調査ではクロスビー調査がルーズヴェルト五十二對デューイ四十八の比率を出し、フオッチュン誌の調査も五十三・五對四十六・五をもつてルーズヴェルトに有利な結果となつたが、もつとも後者は各州別選挙人投票はこれと大いに異なつた結果となるかも知れないと斷つてゐる

將兵不在投票が鍵

選挙は七日全國一齊に行はれ普通の時ならば大勢はこの翌日中に判明するのを常とするが、今年は四百萬以上に上ると推定される出征將兵の不在投票あり、選挙の結果が一方の壓倒的勝利に終る場合はいざ知らず、豫想通りの接戦を演ずる時は將兵投票の開票があるまで、即ち十一月末頃まで選挙の最終的結果が判明しないやうな場合も十分に豫想出来る、例へば兩者の勢力伯仲し選挙の結果に最も重大な影響を與へるとされてゐるペンシルヴァニア州の將兵投票が開票されるのは十一月二十二日であり、これまた軸要州の一つとされてゐるカリフォルニア州の將兵投票日は十一月二十四日となつてゐる

スチルウエル華府到着

(リスボン三日發) ワシントン來電 前重慶駐屯米軍司令スチルウエル大將は三日夜空路ワシントンに到着した、陸軍省では

スチルウエルは近く米國の軍部要人と協議した後暫く休暇をとるだらう

と洩らしたが、當のスチルウエルは「今のところ何も話すことは出来ぬ」と記者團を追拂つた

宋子文頻りに陳辯

(リスボン四日發) スチルウエルの召還問題につき重慶政權當局は梁寒操が右は單なる軍事的問題だと述べた以外は全く沈黙を守り、印緬支戦域における米軍首脳陣の更迭に關する發表に際しても故意にスチルウエルの罷免には全く觸れないといふ態度を示してゐたが、重慶來電によれば三日に至り外交部長宋子文は數ヶ月振りに私邸で外人記者團と會見し、その席上でスチルウエル召還についての米國側の臆測に駄目を押し、「スチルウエルの更迭はワシントンと重慶の關係を惡化するよりも、却つて改善した」旨を力を入れて言明し、「スチルウエルの召還は個人の問題で、何等米國と重慶の間の政策の喰ひ違ひをなすものではない」旨を繰返し強調し、次の通り言明したといはれる

余は蔣介石とハーレー、ネルソン兩特使との一切の會談に列席したが兩者は完全な意見の一致に到達した、各會談における雰圍氣は上首尾の成果を大いに期待させるものがあり、いまその「スチルウエル問題」は片附けられたのであるしかし余の豫言が當るか當らぬかは將來の事實に依存する、蔣介石とスチルウエルの衝突は長い間續いたもので、數ヶ月前に初めて危機を孕む段階に達したが、それは後に至つて鎮められるべきものに過ぎなかつた、根本的な難點はワシントンで公式に表明されたスチルウエルの廣範な政策に大して關係なく、この政策についてのスチルウエルの解釋のし方とそれを遂行する方式とにあつた

ところで宋子文は最近及び現在の交渉で討議された

諸問題の詳細を述べること避け、記者團側より國共紛争とその解決の見込みについて質問されたのに對し

この問題は中國自身が決定すべき國內問題だが他の幾多の問題と關聯して會談の俎上に乗つてくるのは當然である

と答へ、更にスチルウエルの後任ウエデマイヤー少將は重慶政權が協調の基礎に立つて處理し得る人物であることを強調し、次いでスチルウエル罷免に關聯して辭任したガウス大使につき

重慶とガウス大使との關係は敦睦を持してゐたスチルウエル問題がガウス大使の辭任に關係を及ぼしたとは考へられない

と言明したといはれる、宋子文は大統領特使ネルソンが重慶の軍需生産の改善と經濟的發展を援助するため近く再び重慶を訪問することに満足の意を表したといはれる

英國首相バリーを訪問せん

(リスボン三日發) パリ來電 英國首相チャーチル、外相イーデンはド・ゴールの招請を受諾し、十一月十一日前大戰の休戦記念日に當りバリーを訪問するに決定した、右會談において英國首相はケベック會談の經過を傳へ特に

一、フランス軍再軍備に關する米英兩國の援助
一、冬季フランス難民救済に關する米英兩國の措置

一、歐洲戦争に對するフランス軍の參畫等につき協議すると見られる

ド・ゴールら

暗殺未遂

(リスボン一日發) APパリ電によればフランス臨時政府首班ド・ゴールが一日パリ近郊の葬式に參列辭去して間もなく式場附近に爆發事件が起り一命は助かつたが暗殺未遂だとの噂が専らである、また元外相ジャン・ポール・ボンタールはロアル・エ・シエール縣の自邸で暴漢に襲撃され辛うじて一命は助つた、同人は一九四〇年のヴァイシー國民議會でベタン元帥に全權委任を反對した一人であつた

【米 國】

損害を更に

追加發表

(リスボン一日發) 海軍當局はフィリピン沖海戦の敗戦を糊塗するため例の小出し發表を行つてゐるが、パール・ハーバー來電によれば太平洋艦隊司令部は一日に至り更に海軍艦艇の損害につき左の追加發表を行つた

十月二十二日から二十七日に至るフィリピン沖第二次戦闘で第三、第七艦隊所屬軍艦數隻が損害を受けた、位しこれら軍艦の名稱及び損害の程度は作戦に支障を來す惧れがあるので現在のところ發表出来ない、即ち現在かかる發表を行ふ時は目下フィリピン水域で作戦中の米艦隊勢力並びに直ちに戦闘行爲に参加せしめ得る艦隊勢力につき敵に對し貴重な材料を提供することとなるからである

かかる發表の仕方からみて、損傷を受けた軍艦が少くとも主力艦であること、並びにその損害が極めて甚大であることは明らかだとされてゐる

對日戦は

依然困難

(リスボン一日發) ニュヨーク來電によれば海軍太平洋戰域作戦次長オーブレイ・フイツチは三十一日ラジオ放送を行ひ次の通り述べたといはれる

フィリピン沖海戦が太平洋戦の期間を相當縮めたことは事實だが、なほ米國軍の前には長い長い道程が横はつてゐる、自分は太平洋戦の前途に三つの暗い事實があると思ふ、第一は勝利を得るためには尨大な兵員と物量との犠牲を覺悟しなければならぬこと、第二は日本軍が後退すればするほど軍の補給線は延長しこの補給線を確保するためには夥しい人員と船舶とを必要とするが、これに十分な人員、船舶は歐洲戦が終了するまでは太平洋戦域に集結出来ぬだらうこと、第三には日本を撃破するためには是非日本の陸軍兵力を破砕しなければならぬがこの陸軍兵力は現在においてもすでに恐るべく強力であるばかりでなく、今後さらにこれを増強しうる

豫備人的資源を持つてゐることである

兩者勢力

正に伯仲

(リスボン一日發) ニュヨーク來電に大統領選舉戦は「ニューズ・ウィーク」が一日發表した最近の調査によれば、ルーズヴェルトは二十七州で選舉人投票二百四十九を得たに對しデューイは二十州で二百四十七を得てその差僅かに二票、兩者の勢力は正に伯仲してゐることを示した、この調査によつてその歸趨が判明しなかつたのは選舉人票數三十五を持つペンシルヴァニア州で同州が結局今次選舉の最後の決定權を持つものとされてゐる

ルーズヴェルト

共産黨と提携

(リスボン一日發) ワシントン下院の非アメリカ運動調査委員會は一日要旨左の報告を發表した

ルーズヴェルトが共産主義者と提携してゐることとは確かである、共産主義者はあらゆる手段に訴へて彼等の勢力を伸張させんとしてをリンドン・ヒルマンを委員長とするCIOの政治行動委員會もその有力な機關であるが、この委員會が大統領選舉においてルーズヴェルトのために活潑な運動を行つてゐることは周知の事實である、委員會は數々の忌むべき政治行動に出てゐるにも拘らず、ルーズヴェルト政府はこれを極力庇護してゐる

航空會議早くも

暗礁は乗上ぐ

(リスボン二日發) 米國の音頭取りで一日以來シカゴで開催されてゐる國際民間航空會議はソ聯の不參加によつてそもそもの出發からケチがついたが、シカゴ來電によれば開會二日目の二日には米國代表とカナダ代表との間に航空輸送に關する權限問題を繞り正面衝突が行はれ早くも航空會議は暗礁に乗り上げるに至つた、即ちカナダ代表ハウが經濟的通商兩分野における權限をも具備した世界を單位とする輸送機關の設定を提唱、他の英聯邦諸國がこれに賛同したに對し、米國代表パールは眞向からこれに反對、米國の主張として次の諸條項を發表した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

一、世界各國に對し航空事業における平等の權利を保證する機會を與へること

一、世界諸國間の航空路に對する取り決めを行ふ時と場所を定めること

一、航空技術部面における新たな國際的協調の基礎をつくりあげる時と場所を定めること

アラビア
(リスボン一日發) ワシントン來電 國務省は三十一日次の通り發表した

政府は一日からシカゴで開催される國際航空會議に反樞軸、中立諸國五十五ヶ國に對して招請狀を發したが現在まで何等の回答に接しない國はエル・サルヴァドル、グアテマラ、サウジ・アラビアの三國である、この他ソ聯はすでに不参加を通告し來つてをり、航空會議は結局五十一ヶ國代表參加の下に開催されることとならうしかしサウジ・アラビアの不参加はパレスチナに對するユダヤ人移住問題で米國の態度に憤慨してゐるためとされてゐる

米英
(リスボン二日發) ワシントン來電 國務次官ステチニアスは二日の新聞記者團會見で次の通り言明した

政府はイランに限らずあらゆる石油利權問題解決を戰爭終了まで延期する方針を支持する、米英ソ三國間には斷續的に石油問題に關する交渉が行はれてゐるが、三國の正式石油會議が開かれるかどうかはまだ決定してゐない

ネルソン
(リスボン三日發) ワシントン來電 白雲館當局はルースヴェルト及びネルソンの會談後に次の通り發表した

ネルソンは大統領の代表として重慶の戰爭努力強化を目的とする措置につき蔣介石と仕事を續ける筈である、しかし軍需生産部を組織して重慶の軍需生産額を増加するため彼は事業の補佐役として、軍需生産局行政官でワルウオース製作會社理事長ハワード・コンレイ及びアルコーンに關する技術専門家オイゲン・スタリンドス並びにジョーンズ・ラヴリン製鐵會社の冶金技術家アルバート・グラハムを長とする五名の

鐵鋼専門家を伴つて重慶に赴くことになつてゐる

AFL 國際勞働組合に参加拒否
(リスボン二日發) エキスチエンジ通信のニューヨーク電報が二日報する所によれば、

勞働組合總同盟(AFL)は明年一月ロンドンで開催される國際勞働組合會議にソ聯が參加することを楯にとつて參加を拒否することに一決したと傳へられる、但し産業別組織會議(CIO)は代表を派遣する意向を洩らした

世界海運を支配せん
(リスボン二日發) ニューヨーク來電 海運界の重鎮バジル・ハリスは二日次の通り述べた

戰後において米國海運界はリパテイ船だけでも二千三百隻の大商船隊を擁することとならう、米國は將來二十年間にわたり一隻の商船を建造しなくても十分その海運の需要を満たし得るばかりでなく、外國に對して數百萬トンの商船を賣却することが出來よう、米國に次ぐ海運國となるのは英國だらうが、その所有トン數では米國は英國の三倍もの勢力を持つこととならう、かくて米國は世界の海運界に覇を唱へるだらう

軍用機生産高
(リスボン一日發) ワシントン來電 戰時生産局は一日一九四〇年七月一日以來本年九月三十一日までの飛行機生産高を次の通り發表した

爆撃機	七四、九五三
戦闘機	七〇、六二七
輸送機	一七、五九二
海軍偵察機	二、三四五
練習機	五四、六四二
通信機	一〇、七八五
その他	一、四五九
合計	二三二、四〇三

當局が生産飛行機の具體的機種別内譯を發表したのは今度が最初である

太平洋の戦ひ

敵宣傳の一例

(ストツクホルム一日發) 歐洲における戦局の進展とともに對日反抗を焦る敵米國は大統領選舉戦を目前に控へ、遮二無二わが内郭線深くつきすすまうと努めてゐるが、週刊誌「タイム」は過般行はれた臺灣爆撃をとりあげ、成果の支離滅裂に終つたことには一言もふれず、いかに手際よく作戦が遂行されたかを得々とのべ、もつて敵側戦力の誇大宣傳をはかつてゐる、「タイム」の報道次の通り

帝國領に入れるハルゼー

日本本土の南方關門並びに太平洋最西端に當つて、ウイリアム・ハルゼーの米國第三艦隊は前古未曾有の力と勢ひをもつて爆撃し作戦した、日本の諸島嶼並びに大堡壘臺灣に對する攻撃は「比島奪還作戦の序曲」として敢行された、絶對的なまでに叩かれた日本は俄然作戦に乗り出した、眞珠灣當局は臺灣沖に大海空戦が行はれてゐる旨を言明した、もし日本水上部隊が出撃することになれば、この戦ひは決定的な海戦に發展するにちがひあるまい、一方第三艦隊の大規模な襲撃は、凡ゆる點よりみてマツカーサー比島歸還に對する準備に協力する空中戦の「耳をも聳するクライマックス」となつた、その初まりは一見無關係のやうな數週前から各所における連絡遠距離作戦である陸軍中將ジョージ・C・ケニー麾下極東航空部隊はセレベス並びにボルネオの航空基地及び石油補給地に對する爆撃を着々強化し、少將ウイリス・H・ヘイルズの第七航空隊は小笠原並びに火山列島を粉碎、シエンノート航空隊は臺灣を爆撃してをり、パラオ諸島には米軍が上陸した、準備の先頭を承つたハルゼーの第三艦隊はミンダナオ島並びに比島中部に熾烈極まる打撃を與へ、マニラ灣の船舶や港灣施設にまで二回に互り攻撃を加へたとして先週第三艦隊が北方に方向を轉するや、その方圖は明らかとなつたのである

内線水域へ

米國の次の侵攻目標は比島だが、その前に今一

個所日本軍を徹底的に叩いて置かなければならぬ重要な地域があつた、それは本土から琉球、臺灣を経て南方ルソン島に至る島花彩、即ち東支那海と南支那海を通る列島背面の水路である、ハルゼー艦隊並びにマーク・A・ミツチャーリ麾下の空母艦隊は熾烈且つ完全なる作戦行動をもつてこれを叩いた、その規模は老ミツチャーリの指揮下に各自獨立の機動戦隊を有する五人の提督があるとの海軍省の發表でも窺ふことが出来る

ケニーの空軍が南方においてセレベス、ハルマヘラ、ボルネオの油田バリツクパパン、比島南部の補給中心地ザンボアンガ等を叩く一方太平洋艦隊所屬の戦艦分遣隊は東京東南方千百哩強の面積僅か七百四十エーカーといふ南島島に向つて出撃した、マーク・A・ミツチャーリに對する一日の艦砲射撃により二ヶ所の飛行場は使用に堪えなくなつたのである

大 空 襲

艦隊は颱風の裾に隠れて潜入した、ハルゼーが本土南方二百七十哩の琉球まで内懷深く送り込んだのは麾下艦隊の一部に過ぎなかつた、ミツチャーリ機動部隊の「ヘルキャット」「アヴェンジャー」「ヘルダイヴァー」等は同諸島を縦横に四日間に入り延千五百機の襲撃を行つた、その主要目標は宮古島並びに沖縄島であり、同地方は悉く爆撃目標のみをもつて覆はれてゐたのである、ミツチャーリの収めた戦果は極めて大きく、敵は明らかに不意をうたれたらしい

九月九日及び十日の第一回マニラ空襲の後、髪を後に撫でつけ、カーキ色のシャツを着たハルゼーは目を繰り上げた感謝祭の晩餐會で幕僚を旗艦に招待した、晩餐の間一時間かそこらは彼の人生も平穩無事にみえたが、同時にそこには不安といふか、とにかくちりちりと動くものがあつた、かくてブル・ハルゼーは既にアナポリス兵學校當時からフルバックとして示したあのスピードと正確さをもつて日本の内線水域に艦隊を突入せしめたのである

同盟通信

海外電報

(第三種郵便特認)

次の日機動部隊の一隊はルソン島北部のアパリ即ち一九四一年十二月の敗北當時の日本軍の上陸地點に對して一編隊を出撃せしめた、これは小規模ではあつたが極めて破壊的な効果があつた、更にその翌日ハルゼー艦隊の主力は日本本土外郭における最強の基地臺灣を攻撃した、この時も日本側は寢耳に水だつた、艦載機隊はその日の午後までに多數の航空機を撃墜破し、爆撃機隊は飛行場造船場その他を急襲して撃沈せる船舶も多數に上つた

反撃

この頃までに日本は漸く反撃に轉じた、それまでは米國の艦船は一隻も損害を蒙つてゐなかつたが太陽が臺灣のぎざぎざの山蔭に沈む頃、日本の航空部隊はミツチャーの機動部隊を發見した、米海軍の公報は日本の攻撃を退けたと報じてゐるが、いつものやうな水上艦艇に損害なしといふ確言は與へてゐない、その夜から翌日にかけてハルゼー並びにミツチャーは戦場を死守した、航空隊は臺灣の支那海岸を爆撃し續けた、翌日からさらにその翌日に至るも第三艦隊は依然爆撃機を撃退つしつ、臺灣の目標場に爆弾の雨を降らせた、十四日にはB29の大編隊が、巧みな協力攻撃をもつて恐らく百機以上を西支那の成都附近の基地から出動させた、二日後には再びB29の攻撃が繰り返された、しかも失はれたB29は僅か二機に過ぎなかつたのである

その間にハルゼーとミツチャーの部隊は南方に進撃し、ミツチャーは比島水域から再びアパリ並びにマニラ灣周邊の飛行場に對して襲撃を加へたこの一週間の日本機の損失は數百機に上つた、ハルゼーとミツチャーの背後には堂々たる勝利が輝いた、比島はほとんど航空機の増援を斷たれ、日本の補給施設は廢墟と化した、しかし南方の失はれた諸島嶼の間には更に大きな歴史的事件が待ち受けてゐたのである

【カナダ】

國防相

(リスボン二日發) オッタワ

更迭

來電内閣は海外派遣軍の徴兵制問題を繞り難局に直面してゐたが、二日遂にこの問題で國防相ジエム

ス・ラルストンが辭職し、前海外派遣軍司令官、大將アンドリュ・マクノートンが後任國防相に任命された

辭職の理由

(リスボン二日發) 國防相ジエムス・ラルストンの辭職については種々の噂が流布されて真相把握に困難を感じるが、オッタワからのAP電報は徵集兵の海外派遣問題に關し首相マツケンジー・キングと意見の衝突を出したためとみて二日次の通り報じてゐる

國防相ラルストンは徵集兵の海外派遣を強硬に主張してゐたが政府が國內情勢を顧慮して拒否したのに抗議して辭表を叩きつけたといふのが真相であらう、七萬を算へる本國防衛軍の使用問題はここ數年來重大問題となつてゐたもので一時はマツケンジー・キング内閣の危機すら傳へられてゐたが政府は徵集兵は志願せぬ限り海外に派遣せぬことに一決した、その結果海相アングス・マクドナルドも恐らくラルストンと歩調を合はせて辭職するものとみられてゐる

【米州】

三國亞の提案支持

(リスボン一日發) ボゴタ來電アルゼンチン政府はさき提議の開催を提案したが、コロンビア政府はこの提案に關しヴェネズエラ、エクアドルの兩隣接國と協議の後一日左の聲明を發表した

コロンビア政府はアルゼンチン今回の提案を歓迎する、コロンビア及びヴェネズエラ兩國政府は既に以前にもアルゼンチンと他の米洲國との間に發生した困難除去のため協力の用意あることを明らかにしておいた、米洲諸國は現在多くの解決を要すべき問題を持つてをり、この際汎米外相會議の開催は米洲平和のために有益である、この理由によりコロンビア政府はアルゼンチンの提案を受諾する用意がある

なほヴェネズエラ、エクアドル兩國もコロンビア政府と同様の意志表示を行つたといはれる

【英 國】

イ ラ ン

(ストックホルム一日發)石油

問題の反響

權利問題を繞るソヴェト、イラン政府支持を俟つて愈々錯雜化するに至つたが、過去半世紀間イランを事實上の屬國と化してきた英國がソ聯の進出を不快視してゐることはいふまでもない、たとへば「エコノミスト」誌がソ聯はイラン政府がソ聯向け米國軍需品の輸送をサボつてゐるのは一九四二年の協定に違背するものだと言エド首相を攻撃してゐるが、恐らく戦後北西部イランに軍隊を進駐しておく口實だらう

と一矢報いてゐるのも經濟界の對ソ氣分を代辯するものと思はれるが、肝心のイラン政府が武器貸與物資の輸送を如何にして等閑に附してゐるかにつては全然真相が判明しない、いづれにしてもイラン政府がソ聯の石油利權要求を拒否したため腹いせにソ聯が難癖をつけたことは容易に想像されるが、「サンデー・タイムス」紙はイラン情勢に關して次の通り報じてゐる

イランには親ソ新聞が二十ばかりあるが、これがサエド首相の決定を非民主主義的と稱して集中攻撃を加へてゐる、ソ聯の宣傳はソ聯の増大する要求に反對するものは何によらず反民主主義的とファシスト的の烙印を押して片付けてしまふことだ、いづれにしてもソ聯はテヘランにはゆる自由戦線を結成して、地方まで運動を擴大してゐるからサエド内閣の崩壊は自然の勢であらう、もしもサエドが飽くまでも頑張るならばエジプトのやうな王宮からのクーデターが行はれるかも知れない、イラン問題は所謂「問題」といふべき性質のものでなくソ聯がでつち上げたものだけにサエド首相の立場は一段と困難だ

輿 論 調 査

(ストックホルム二日發)在英ギヤラツプ輿論調査支所は英國の輿論動向をみるため「戦後どんな政府を最も望むか」及び「戦後新政

府の首班としてたれが最も適任か」の二問につき輿論を調査してゐたが「ニューズ・クロニクル」紙は十月二十三日の紙上で次の通り結果を報道してゐる

戦後どんな政府を最も望むか

聯 立 内 閣 三十五パーセント

勞 働 黨 二十六

保 守 黨 十二

自由黨及び労働黨 六

自由黨 四

自由黨及び保守黨 三

態度未定 十四

注目すべきは労働黨だけと自由黨との提携を合すると全體の三十二パーセントを算し、聯立内閣に次いで第二位を占めてゐること、下層階級と青年層は概して聯立内閣を望まず、労働黨内閣は希望してゐるが大部分は態度が決つてゐないことに注意に價する

新政府の首班として誰が最も適任か

チャーチル 二十四パーセント

イーデン 二十一

アトリイ 七

クリツプス 六

モリソン 三

ベヴィン 二

シンクレヤー 一

シンウエール 一

ウールトン 一

その他(一パーセント以下のもの)六

態度未定 二十八

後者の調査で注目すべきことは態度未定が大きな比率を占め、前者の二倍に當つてゐること、更に第一位と第二位が保守黨員によつて占められ労働黨員は多くの者が選に挙げられてゐるが、比率がすくないことも興味ある現象だ

またチャーチルは戦時内閣の首班としては九十四パーセント近くの投票を得たのに對し、戦後の首相としては二十四パーセントに激減してゐることも意味慎重である

【東南歐】

ルーマニア政情
極度に不安

(リスボン一日發) ルーマニア政權の危機は首相サナテスコの内閣改造によつて一應事態が彌縫された模様だが、ブカレスト來電によれば改造に先立つ二十九日ルーマニア民主主義プロツクはブカレストにおいて示威運動を開始、七萬名の民主主義分子が参加して王宮の門前その他市内の要所で街頭演説を行ひ現政權の即時總辭職を要求したと傳へられる、他方一日のモスクワ放送はルーマニア左翼ブルジョア黨たる國民ザラニスト黨を痛烈に攻撃して

國民ザラニスト黨はサナテスコ政府の危機を激化せしめ、民主主義聯合政權の樹立を妨害するため全力を盡してきた、ルーマニア民衆は内閣改造による生活條件の向上を待望してゐるが、ドイツに對する戦争は等閑に付され、輸送機關と軍隊に對する補給組織は最惡の條件下にあり政府の危機は既に一ヶ月間に亘つて續いてゐるが、國民ザラニスト黨は奸策を弄して新たな困難の發生に努めてゐる

と聲明、内閣改造の即時斷行を強硬に要求した

羅馬尼亞
政權改造

(リスボン一日發) サナテスコを首班とするルーマニア裏切政權の休戰條約違背行爲に對するソ聯の痛烈な攻撃とルーマニア國內各派の勢力争ひに端を發する政情不安はサナテスコの内閣改造によつて一應梟となつた模様で、ブカレストからのUP電報によればサナテスコは一日國民自由黨員四名、國民農民黨員五名の外民主主義プロツクの代表六名からなる新内閣を組織するに成功したと傳へられる、新閣員の顔觸れは未だ不明だが、共產黨領袖パトラスカスがカパトルナの辭職以來空位となつてゐた法相の椅子に就き、外相プツエヌトは留任、マニウ、ブラチアヌの兩者は無任所相として入閣したと傳へられる

洪、國境
閉鎖令

(ブダペスト二日發) ハンガリー内相ガボールヴァナ少將は二日旅行者に對し國境を閉鎖する旨發表した、但し同措置は國境閉鎖後に手交される旅行免狀乃至許可書の所持者には適用されない、なほその他の國境運輸は從來通り行はれる

ミチリニ島に

(リスボン三十一日發)

ドイツ軍撤收後アテネ市を初めギリシヤ各地に共產黨の蠢動が傳へられてゐるが、UPアテネ電によればエーゲ海ミチリニ島の共產黨はパレンドオ政權に對抗して三十一日同島内に獨立政府を樹立したと傳へられる

ギリシヤ

(リスボン一日發) アテネ來電によれば、ギリシヤ政權首相パンドレオは國家保全の見地からアルバニア南部のエピルス地方北部並びにブルガリアの北部トラキア地方の領有を必要とする旨一日力説したといはれる。

政界方面の觀測によれば、以上パンドレオの言明は曩にチトー並びにブルガリア政府がマケドニア南部及びトラキア東部地方に對する野望を表示したのに對する對抗措置とみられてゐる

【トルコ】

大統領外交

(リスボン一日發) 大統領イスメット・イノニューは一日國會開會式に當り外交政策を

政策を闡明

闡明して次の演説を行つた

第一次、第二次大戰間に緊密の度を増した米國との友好關係及びドイツとの外交關係斷絶は既に所期の實を結ぶに至つてゐる、ソ聯との關係は友好條約の線に沿つて進められてゐるが、將來も以上の關係が維持されることを切に希望する、フランスとの關係も將來一段と緊密化することを信じて疑はない、隣邦諸國を喜んで現在の苦難から救助する積りな、バルカン諸國に對しては全力を盡して友好關係の維持に努めるが國際安定の基礎たる國際組織に加盟を希望する國に對しては如何なる敵意も抱いてゐない

【亡命政權】

亡命諸政權近く

(ストツクホルム一日發) ロンドン來電によれば亡命ノルウェー政權は英ソ兩國並びにスウェーデン政府の承認をえて近くストツクホルムに移轉する豫定といはれる

瑞 訪 問 の

亡命諸政權

(ストツクホルム一日發) 「ストツクホルム・チドニンゲン」紙は一日の紙上で亡命ノルウェー外相リーおよび法相ウオルドのスウェーデン訪問について次のやうに報じてゐる

ギェンター外相の招待で亡命ノルウェー外相リー並びに法相ウオルドはスウェーデンを訪問、目下滞在中であるが、討議すべき問題が多いので兩名の滞在は多少長引くだらう、國王グスタヴ五世の開いた晩餐會の席上にはモスクワ駐在亡命ノルウェー政權代表ベツク・フリスマ男も出席したが、リーおよびウオルドは出發前辱されてゐた如くヘルシンキ並びにモスクワをも訪問するものとみられてゐる

【ソ 聯】

加 の 銀 鑛 利 權 を 補 償

(リスボン二日發) ソ聯に對するベツアモ地方の割讓に伴ひ同地方ニツケル鑛に對するカナダの利權處理が問題となつてゐるが「タイムズ」紙は十月二十日以上に關し次の通り報じてゐる

英國、カナダ、ソ聯三國政府はベツアモ地方におけるカナダの銀鑛利權補償問題につき過般來交渉を進めてゐたが、二十日圓滿妥結をみ、次の内容の議定書が正式に發表された

「フィンランドが舊ソ聯領土ベツアモ地方をソ聯に返還し、同地方における銀鑛の所有權がソヴェト政府に移つた結果、ソヴェト政府はカナダのモンド・ニツケル會社及び國際ニツケル會社に對する補償としてカナダ政府に二千萬米弗づつ六ヶ年間に亘つて支拂ふことを約した、支拂に當てる米弗は純金一オンスにつき三十五弗の割で計算される」

【ド イ ツ】

佛 と 俘 虜 交 換

(ベルリン二日發) 當局は二日獨佛間の俘虜交換に關し次の通り公表した

ドイツ重傷兵並びに醫療隊員九百名はこの程フランスよりドイツ國境都市コンスタンスに到着した、一方ドイツ側に收容されてゐたフランス重傷兵八百八十名及び醫療隊員二十五名も交換のためスイスに送られた

【新 西 蘭】

太 平 洋 問 題

(リスボン二日發) ウエリントン來電ニ據るに濠洲及びニュージーランド兩國の太平洋問題協議の會談は一日ウエリントンにおいて開催された、右會談においては國際經濟組織殊に太平洋經濟組織問題が協議される筈だが、開催に際し首相フレザーは太平洋における兩國の提携の必要を強調した

【イ ベ リ ア】

ス ペ イン、バ リ

駐 割 大 使 任 命

(マドリード三十一日發) スペイン政府はド・ゴール政權をフランス臨時政府として正式に承認、從來、フランス解放委員會に對するスペイン代表であつたアントニオ・サングロニツ氏をそのまま新大使に任命する旨三十一日發表した、同外務省は更に、ボノミ政權の前マドリード駐割代表、パウルク・カルボリーの後任としてガラライがマドリード駐割大使に任命された旨發表した

【印 度】

會 議 派 領 袖 會 議

ガ 翁 を 信 任

(リスボン一日發) ボンベイ來電によれば印度國民會議派領袖會議は三十一日各派代表二百三十名出席の下にボンベイで開催されたが、席上各代表はガンディー翁を信任、過般のボンベイ會議におけるガンディー翁の態度を承認したといはれる、今回の領袖會議は一九四二年八月以來初めてのもので會議派は今後も英國人より印度を去れといふ「八月の決議」を維持することに決定したといはれる



モスクワ會談では何が

決まらなかつたか(上)

原子林二郎

モスクワ會談ものわかれ

モスクワ會談に關するチャーチルの下院報告(十月二十七日)を仔細に検討するならば、われわれは會談の二大課題たるポーランド、バルカン問題に關しチャーリン、チャーチル兩者側に意見が纏つて事態が會談以前よりも改善された徴候をみるゝことが出来ぬばかりでなく、新たな問題と新たな係争點を生じて結局物別れに終つたといふ印象を受けざるを得ない、勿論モスクワ會談を通じて英ソ兩國の利害が具體的な形で真正面から衝突し、兩者の意見對立を調整する途が遂に閉ざされたと考へることは行き過ぎでもあり、希望的觀測に墮するものだが、チャーチルが下院報告において「種々事情を異にし、利益を異にする米英ソ三國の關係が確固たる基礎の上に維持されてきたことは不思議な位だ」と率直に告白してゐることはモスクワ會談の雰囲気そのまゝ傳へるものといへよう

モスクワ會談が決して成功とはいへぬことは、會談終了後のソ聯言論界の論調でも明瞭だ、勿論ソ聯はあらゆる機會を捉へて米英ソ三國の協力關係を謳歌してきたし、今回のモスクワ會談でも英ソ友好關係を強調することを忘れてゐないが、それにも拘らず「ブラウダ」、「イズヴェスチャ」兩紙のやうなソヴェト政府の擴聲器が、英ソ兩國間に蟠まる意見の對立を明らかに認めてゐることは注目されてしかるべきことだと思ふ、兩紙の論調を紹介すればつぎの通りである

「イズヴェスチャ」紙十月二十一日社説「戰友關係の強化」

ドイツの作戰は常に敵國間に不信の種を播くことにあつた、ドイツは對ソ戰開始當初、米英ソ三

國間に不信の種を播かうと圖つたが失敗に終つた今回の會談は英ソ關係を強化するばかりでなく、米ソ關係を改善するための重要な新布石である、英ソ兩國の指導者は不斷に會見して相互の經驗を語り合ひ、相互間の諒解を一層緊密化することに成功してゐるのだ、モスクワ會談では極めて重要な政治、軍事上の諸問題が討議され、英ソ兩國間の諒解は著しく深められた、その意味で今次會談の意義を過大評價することは不可能な位である

周知の如くポーランド問題は英ソ兩國の意見が全く一致しない代表的な問題だ、ドイツの新聞は以上の意見の喰ひ違ひをすくなくからず利用してきたが、英ソ兩國代表は困難なポーランド問題でも共通の言葉を見出すことができるのだ、モスクワ會談においてはポーランド問題は最後の解答を得ることはできなかつたが、會談に關する公報によれば事態改善に大きな成功を収めた模様で、同問題は近く満足すべき解決をみるに至ると考へてよからう

東南歐洲は歐洲の火藥庫といはれてをり、最近種々の問題につき英ソ兩國間に意見の齟齬が発生した、ドイツは東南歐洲問題に關しロンドンとモスクワの間に楔を打ち込む機會を求めたが、モスクワ會談はドイツに計畫の徒勞に過ぎぬことを示すに餘りあるものがあつた、會談に當つてはルーマニア、ブルガリア、ユーゴスラヴィア、ハンガリー、ギリシャ等の諸國に纏る問題につき詳細に討論され、ドイツをできるだけ早く撃破し、東南歐洲諸小國を脅威しないやうにするため、一切の問題に關し完全な意見の一致をみた、なほモスクワ會談においては戰後組織の問題についてもあらゆる角度から検討された

「ブラウダ」紙十月二十一日社説

ポーランド問題が極めて重要な意義を有することとは明瞭だ、過去二十五ヶ年間ポーランドの反動主義者は危険な政策を弄んでポーランド問題の解決を妨害した彼等はポーランドの指導的地位を占めて國策を決定してきたのである、ソヴェト國民はポーランドがソ聯侵寇の廻廊の役割を果してきたことを知つてゐる

今世紀間ドイツは前後二回に亘つて西方からソ聯に侵入したが、ソヴェト國民はポーランドが將來二度と再びドイツ乃至その他の西歐隣國の新たな企圖に對し、廻廊の役割を果さぬことに深甚な關心を示すのも蓋し當然のことであらう、従つてウクライナ、白ロシア兩共和國に對する侵攻計畫を永久に棄て去つた自由にして強力且つ民主主義的なポーランドの存在が絶対に必要である、かかるポーランドのみが封建的な地主の抑壓から民衆を解放し、農民に土地を與へることができるのであり、かかるポーランドのみがソヴェト聯邦の西部國境を脅かす基地とならずに、強力且つ平和な歐洲の基石となり得るのである、亡命ポーランド政權とポーランド國民解放委員會との間にはかかるポーランドを樹立するために交渉が進められてきたが、現在も縣案の問題につき商議が続けられてゐる

その意味でルブリンの機關紙「レーチ・ポズポリータ」の主張は關心に値する、即ちミコライチクが始めてモスクワを訪問した時にはワルシャワ蜂起が發生し、二度目にはポーランド解放地域において白色テロが横行した、およそ思慮ある程の者は亡命ポーランド政權がかかる遣り口をもつてして何等なる目的をも達成できぬのみか、かかる態度を一擲しない限り遂には責任を負はねばならなくなることを理解できる筈だ

議題のいろいろ

モスクワ會談の議題については種々の意見がみられるが、會談に關する公報やチャーチルの下院報告でもみられるやうに、第一にポーランド問題第二にバルカン問題、第三にドイツ政策と西歐洲一般問題が主として討議されたことは疑問の餘地がない、勿論チャーチルは英軍參謀總長サー・アララン・ブルック、戦時内閣軍事顧問イズメーを帶同して行つてゐるから、軍事問題も討議されたことであらうが、ソ波紛争の解決とバルカン係争の妥結を希望してゐたことは、イーデンがハーヴェー・アナン、ハード等の外務省バルカン専門家の群を率ゐてゐることも明瞭である、このことは英國が何よりもまづソ聯との不和を惧れ、能ふ限

りの譲歩を取つてもソ聯の好意を贏ち得ようとする焦慮を示すものであり、ソ聯に對する英國の立場を裏書きするものだ、英國新聞界は長い間英ソ兩國間の不調に觸れることを避けてきたが、ワルシャワ蜂起を繞るソ波紛争の激化と、赤軍の東南歐進出に伴ふバルカン情勢の複雑化は遂に英國言論界をして、英ソ關係の調整を積極的に要望せしめねばやまぬ事態まで立ち至らせた、例へば英國言論界において「タイムズ」紙と共に主導的地位を占める「マンチエスター・ガーディアン」紙は十月十一日モスクワ會談開催中に「英國とソ聯」と題する社説を掲げ、歐洲全般の問題における英ソ兩國の深刻な對立を大膽率直に指摘すると同時に、以上の困難な事態を改善するため現實糊塗的な樂觀を一擲して積極的な協調政策をとれと要請してゐる

「英國とソ聯」

同紙の論調は英ソ關係の現段階を知る上に極めて重要であるから、つぎに要旨を抜き書きしよう「最近英國下院で行はれる外交演説は、戦後歐洲における英國政策の基調たるべき英ソ提携關係に關し全然觸れることを回避してゐる、英國外交史上戦後をも含む提携を歐洲大國と約したのはこれが最初のことだが、現在米英兩國間の協力と同程度の提携が英ソ兩國間に實現されてゐるといひ切ることが出来るだらうか、英ソ兩國はドイツを徹底的に擊破するといふ大目的に則つて提携したのであるが、ドイツとの戦ひに勝ち、新たなドイツの侵略行爲を阻止するためには、英ソ兩國は結びついて行くであらう、しかしながら以上のことは兩國の提携にとつては極めて薄弱な根據に過ぎない、英ソ兩國の意見齟齬（紛争ではない）は周知の事實であり、ポーランド問題を契機として明白に具體化した、しかるにユーゴスラヴィアを除いて歐洲のあらゆる問題に關し、英ソ兩國の足並みが揃つてゐないことはあまり知られてゐない、米英兩國は甦生フランスの事態に内心危惧を抱いてゐるが、ソ聯は憂慮すべきなものをもつてゐない、ソ聯はフランコ政權をヒットラー政權の廻し者だと考へてゐるが、チャーチル首相はフランコ政權の友情を露骨に讚美してゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ソ聯はバドリオ政權を抜打的に承認してイタリアと結びついたが、チャーチル、ルーズヴェルトはスターリンに相談を持ち掛けもしないでイタリア政策に關する共同聲明を發表した、英國はギリシアにおける壓制の尻押しをして、その完全な領土主權の回復を要求してゐるのにたいし、ソヴェト政府は國王のことなど齒牙にもかかず、ブルガリアのエーゲ海進出計畫に別して反對もしてゐない様子だ、英國はトルコに優しい言葉をかけてゐるが、ソ聯はトルコの經歷を意味暗にけなし續けてゐる

また赤軍のハンガリー領進出に伴ひ、ハンガリー問題が激化し、英ソ兩國は再び意見の喰ひ違ひを發見するであらうことは容易に想像されるところである、ソ聯は恐らくハンガリーに民主政體の樹立と土地改革案の實施を望むであらう、チェツコスロヴァキアに關してさへ英ソ兩國の見解は完全に一致してゐるやうに思はれず、僅かにユーゴスラヴィアに關してのみ一致した態度が見受けられるが、それは意見の一致といふよりはむしろ「休戦」といつた方がはつきりする位だ、英國はベタール國王の政權を承認し、英ソ兩國はチトーの國民會議を支持してゐる、ソ聯はベタール亡命政權の非を鳴しはしないが、融合しようといふ氣配も一向にみえない

以上の事態は英ソ兩國の恒久且つ安定した提携の記録といふ譯には行かない、それは宿怨の紛争の記録でないまでも、協力に失敗した記録だ、今は英ソ兩國の政治家達が表面は酷く派手で樂觀的な言辭を弄することをやめ、じつくりと腰を落着けて、地道に協力提携して行くべき時ではなからうか、ソ聯がポーランド問題における英國の利益を無視した場合、われわれは非を鳴らしても差支へないが、それだからといつてわれわれがフランス、スペイン、イタリア、トルコ、ハンガリー問題におけるソ聯の利益を看過してよい筈がない英ソ兩國の新たな友好關係には依然もやもやした疑惑の雰圍氣がつきまとつてゐるが、かうして疑惑を一掃することは英ソ兩國の義務である、恒久的なソ聯の友情を贏ち得るためにはソ聯の利益を無視したり、ソ聯の要求にしかめつ面をしながら服

従したりしないで、英國が米國と協力してゐると同じ調子で、具體的な形でソ聯と協力する決意を示すことだ、即ちソ聯にたいして英國の利益を率直に示すと同時に、ソ聯の利益をも尊重しなければならぬ、その意味でチャーチル、イーデンのモスクワ訪問から多くのことを期待してよからう會議が成功するとすれば、それは率直明快な態度のためだ、勿論英ソ關係の前途にはすくなく障礙物があるだらうが、恐れて引返すよりは思ひ切つて跳び越すことだ

暗礁に乗り上げる

以上のやうな英國言論界の希望と期待の帆をあげて、チャーチル號はモスクワ會議に乗り出したが、會議は初つばなからポーランド問題でしげを喰ひ、バルカン問題で暗礁に乗り上げ、輿論の期待を裏切つて散々の態でロンドンに歸航したことはもはや疑を容れる餘地がない、以上問題毎にモスクワ會議の舞臺裏を覗いてみよう

カトウイン森の慘劇を形式的にはソ波紛争の口火を切つた事件とみるならば、ワルシヤワ蜂起は紛争を最高潮に押し上げた最重要事件とみることが出来る、カトウイン森の慘劇が現實の事件かどうかは今日に至るも明らかにされてゐないのがワルシヤワ蜂起は現實の事件であり、ソ波紛争における英國政府の占めてゐる立場が明かにされた點で恐らく畫期的意義を有すると稱しても過言ではあるまい、元來ソ波紛争は舞臺の上ではソヴェト政府とロンドンのミコライチク政權との對立として現象したが、實際には舞臺裏で糸を引く英國政府とソヴェト政府の係争とみられてきたし、事實一定の時期まではさうでもあつた、しかるにモスクワのお手盛りでできた第二インターナショナルの殘黨からなるルブリンのポーランド國民解放委員會の登場によつて役者が揃ひ、ソ聯は舞臺表から退いてルブリン對コライチク政權の紛争として表面の形をとつたが、結局はポーランドにおける利益を繞る對立と解されてきた

スイス、スウェーデン等の中立管の觀測電も殆んど例外なく以上の立場を採つてをり、例を擧げる追のないほどで、「ダゲンス・ニューヘテル」紙の如きはポーランド問題は「英ソ兩國の對立激化に基く第三次歐洲大戰の種子を胚胎してゐる」と極言してゐる位だ、ポーランド問題を繞る英ソ兩國の第三次歐洲戰といふ考へ方は如何にも突飛で面白いが、常識で考へても問題が英ソ兩國の死命を制する程重大だとは考へられぬから、この問題は素通りするとしても、果してポーランド問題が英ソ兩國の正面衝突を惹起してゐるかどうかといふことの方がより問題視すべきではなからうか

第二のサイクス・ピコ協定

筆者の考へではポーランド問題は英ソ兩國政府間に關する限り第二のサイクス・ピコ協定の一部をなすものだ、振り返つてチャーチルが本年二月二十二日下院でポーランド問題に關し何といつたかを想起してみよう、チャーチルは「ポーランド國境線に關してはテヘラン會談において、東部の喪失に對して他の地域から代償を與へることに決定をみた」と言明したが、このことはポーランドの將來の國境線がテヘラン會談において諒解濟となつてゐることをしめす以外のなものでもない但し、英ソ兩國の意見が齟齬してゐる點は、東部國境線即ちカーゾン線の畫定を即時實現するか否かにある、第二にソ聯はルブリンのポーランド國民解放委員會をポーランドの臨時政權として正式に認めてゐるのに對し、英國はミコライチク政權を依然として承認してゐることだ、しかしながらロイター電報によればイーデンはソヴェト政府にルブリン、ミコライチク兩政權を打つて一丸とする新政權の樹立を提案し、ソヴェト政府は原則的には以上の提案を受諾したといはれるから、この點でもさしたる喰ひ違ひはない譯だ、更に最も問題となつてゐる一九三五年のピウスズキー憲法の廢棄とミコライチク政權内におけるラチキエヴィツチ、ソスノコフスキー等の反ソ分子一掃の件も英ソ兩國間に諒解をみてゐると考へられる節がある、かうしてみるとポーランド問題に關しては英ソ兩國政府間にはさしたる齟齬があるわけでない

明確に對立してゐるのはソヴェト政府の方策と英國輿論といふことになる

英國輿論の動向

ポーランド問題に對する英國輿論の動向を示す一例として財界筋の見解を代表する「エコノミスト」誌の論調を擧げよう、同誌は十月六日號でワルシャワ蜂起問題について次の通り論じてゐる
ワルシャワの愛國者達は己れの血潮によつてロンドンのミコライチク政權に對する忠誠を誇示した、ワルシャワの叛亂はロンドンにおける超黨派的ポーランド政權が眞に民衆を代表するものであることを實證するとともに、ソヴェト政府の尻押しするポーランド國民解放委員會が如何に些々たる政治力しかもつてゐないかを物語るものである、ワルシャワ蜂起は單なる小軍事集團に局限されるものでなく市民全體が蹶起したのである、解放委員會は驚愕のあまり最初は蜂起の事實を頭から否定したが、以上のことがソヴェト政府にとつて大きな教訓となるであらうことは疑問の餘地がない、もしソ聯がポーランド民衆の理解を望むならばミコライチク政權に對する態度を改めねばなるまい、ロンドンのポーランド人はソ聯との協調政策を眞に妨害するものを除かうと異常な努力を拂つたが、驚いたことにはこの協調的態度が不當で冷淡な答をもつて報ひられたのである

ソ聯の尻押しする解放委員會の連中はワルシャワ蜂起を機會にミコライチク政權と蜂起の指導者で新任ポーランド軍總司令官のボール事コモロフスキー中將を攻撃し始めたが、委員會の首腦部はボール將軍の軍隊を反樞軸の保護下にある武装兵力として正式に承認した米英兩國政府の聲明の要點を呑み込んでゐないやうだ、解放委員會はボール將軍が蜂起の時期を誤つて多くのポーランド民衆の生命を危殆に瀕せしめたと稱して軍法會議をもつて脅してゐるが、この喜劇じみた脅迫の背後にソヴェト政府が糸を引いてゐるのであらうか？ もしも事實とするならば結果は明瞭である、即ち反樞軸の一國が敵にはあくまでも遵守せよと要求する半面、自ら交戰國の權利を侵害してんとして恥ぢないことになる、ソヴェト政府は解放委員會の輕蔑すべき行動から手を引くべきだ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便特種可)

さもないと評判を悪くして、結局反樞軸陣營に楔を打ち込まれることになる、ドイツはまだ征服されてゐない、戦争は恐らく冬を越すだらうかかる重大時局に際し反樞軸陣營内に深刻な溝を造つて喜ぶ反樞軸國が果してあるだらうか？

兩政權の關係

「エコノミスト」誌はルブリン政權が民衆の支持を得てゐないことを當然の前提としてミコライチク政權を辯護してゐるが、ポーランド國民解放委員會に屬するポーランド「解放」軍の兵力が各派遣軍隊及び住民の参加を得てすでに百萬の大軍となつてゐることは「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙も證明してゐるところであり、ミコライチクの政黨たるポーランド農民黨がルブリン政權に参加してゐることも同政權が民衆の支持を受けてゐることを肯定する材料とならう「デーリー・ヘラルド」紙の報道(十月七日附)によればポーランド農民黨はルブリンに大會を開催し、ミコライチクその他在外の農民黨員に對し「即刻祖國に歸つてポーランド民主主義の建設に参加せよ」といふ指令を出すことを決議したといはれるが、同紙は一介の政黨が一國の總理に指令を出すなどといふたわけた話があらうかと驚いてゐるがこれはミコライチク政權が民衆から切り離されてゐることを實證するものでなからうか？

以上に述べたことから次の結論が出て来る、ポーランド問題に關してはスタールリン、チャーチル兩者間に原則的な諒解が成立してをり、モスクワ會議に於ては如何にして英國の輿論を刺戟せずミコライチク政權を譲歩せしめるかが最大の目的であつたとみることも出来る、今回の會議にミコライチク、ルブリン兩政權を参加せしめたことは英國の考へだと一般にいはれてゐるが、ポーランド問題に關する交渉もその結果も全然判明しない會議が不調に終つたことは公報の内容でも想像されるが、何等かの決定に達したならば、ミコライチクは亡命政權から全權を附與されてモスクワに乗り込んだのであるから、「ロンドンに歸つて相談して」といふやうなことはなく、直ちに發表されてよい筈だ、交渉の動きについてはスウェーデン紙「ダゲンス・ニユヘテル」のロンドン特派員

が十月十九日次の内容の觀測電報を打つてゐる
ロンドン政界はモスクワ會議でポーランド問題が解決されなかつたならば、もはや解決の途は永遠に閉されるだらうとみて會談の動向を凝視してゐるが、交渉の第一歩は國境線の問題であらう、東部國境線がカーゾン線に沿ふことは各方面とも異議のないところだが、問題は西部國境線だ、ルブリン政權は西部國境線を東プロイセンも含めオーダー河の線まで擴げることがを要求したといふことだがソ聯が以上の要求を支持したかどうかは全然判らない、判つてゐるのはポーランド西部國境線の問題は米英ソ三國の商議によつて決定されるべきだといふ見解を持してゐることだけだ、他方ミコライチクは國境線畫定は媾和會議の時まで繰り延べられるべきだと主張して譲らなかつたといふことだ

新統一政權の問題

次に問題となるのは新統一政權樹立の問題だがこのことは去る八月末スタールリンの手許に届けたソ波紛争解決に關する覺書にもふくまれてゐる通りミコライチクは原則的には反對しなかつたやうだ、但し新政權の閣僚の椅子を兩政權がどの比率で占めるかといふ點で袋小路に行き當つた様子でスイス紙「バーズラー・ナハリヒテン」のロンドン特電(十月十九日附)によれば、ソヴェト政府は兩政權が仲良く同數の議席を占めることを提案したが、ミコライチクは新政權の椅子の半ばをルブリン分子が占めることになれば、嘗つて多數黨であつた農民黨、社會民主黨は少數黨となつてしまふことを理由に、ソ聯側の提案を拒否したといふことである、以上の報道の眞偽のほどは判然としないが、恐らく最大の難點は憲法の問題であらうモスクワ會議でもソヴェト政府はミコライチク政權に一九三五年のフアシスト憲法を即時廢棄して一九二一年の民主主義憲法をとれと要求したことであらうが、ミコライチクは一九三五年の憲法を廢棄することは亡命政權そのものの基礎を解體を意味する建前から、憲法問題は戦後の國會召集まで延期することを依然強硬に主張したことだけは確實だ、従つて憲法問題が解決しなければ新統一政權の樹立も不可能で、前掲「バーズラー・ナハリヒテン」紙の報道は怪しくなる

昭和十九年十一月七日(火)
第三二二三號

同盟通信

海外電報

(255)

石油利権を繞るソヴェト政府とイラン政府との紛争は愈々米英ソ三國の葛藤に發展しさうな形勢だ、東歐洲とバルカン地方とをソヴェト政府に譲つた英國も、印度への關門たるイランについては簡単にソヴェト政府の進出を認めることは出来まいし、石油帝國主義を振り翳さず米國としても、イラン北部へのソヴェト政府の進出を何とか喰ひ止め度いところだらう、タス通信社や「トルード」紙のイラン内閣攻撃に對し英國は流石に老獪だ、ロイター通信社を通じてモハマド・サエド首相に遙かに聲援を送り、米國政府は露骨にテヘラン駐劄大使を通じて全面的支持を表明した同大使の通告とソヴェト言論機關の主張とを對照すれば全くの正面衝突だ、無事收まる譯はないのだが「イズヴェスチヤ」紙がイラン



國內駐屯の米軍を引合に出したのはハル國務長官も面喰つたらう「ソヴェト聯邦への貸與物資輸送に當てるためだ」といふ國務省筋の釋明は考へやうによ

つてはクレムリンに對する辛辣な皮肉ともこれよう、米國言論界の反響がみものだが、ロンドン來電によれば「タイムズ」紙も社説でイラン石油問題を取上げ「米英兩國の先例に倣つてロシアが中東の石油資源に關心を示すのに不思議はなく、戦争が済むまでソヴェト政府がイラン政府との交渉を俟たねばならぬ理由もない、しかし問題はソヴェト政府が一向米英兩國と相談して呉れないことだ、三國の利害關係ある事件については一方的乃至双務的行動は止めて三國が充分協議しなければ將來重大な紛争が持ちあがらう、どうしても米英ソ三國間の交渉でイラン油田問題を片付けねばならない」と述べてゐる、しかしイラン北部の油田が三國の問題だといふ前提にソヴェト政府は同意しない

次

【目次】
米軍の駐屯は如何
ソ聯、スイスの申入れを拒絶
ルーマニア新内閣成立 二六〇六

【米 國】
飛行機生産を減少
陸軍航空兵力を發表
太平洋戦争は持久化せん
スチルウェルと蔣の對立意見
召還は敗戦を象徵
ルイブヴェルトに選舉權なし
全世界ユダヤ人會議
對佛軍艦讓渡
開樞軸航空會議議長決定
反戰以來の兵員損害
デトロイトにまた罷業
聯邦通信委員長辭職
食糧供給狀況
婦人警備隊豫備軍
全國的な煙草不足 二六〇七

【英 國】
艦船建造高
「タイムズ」米英の調停を要望
スペインと空路開通 二六一〇

【フランス】
降伏調印者捕縛さる
ドロワイヤ氏も逮捕
【南 伊】
ム統帥の私財を沒收
軍票三百四十八億リラ 二六一〇

【東 南 歐】
羅裏切政權日本と隣交
羅政情不安
洪、ユダヤ人の財産沒收
勃陸相策參謀總長
勃的地位に變化なし
勃元外相自殺 二六一一

【北 歐】
芬共産黨の要求
芬、ソ聯に船舶十萬トンを移讓 二六一二

【西 亞】
イラン政情不安
イラン石油利権國際問題化せん 二六一一—二六一二

【澳 洲】
新西蘭と會議 二六一二

【重 慶】
軍需生産半年で増加
米國製の武器で桂林を守備 二六一三—二六一七

【特 輯】
モスクワ會議では何が決らなかつたか(下) 二六一三—二六一七

【資 料】
カナダの近況 二六一八—二六一九

米軍の駐屯は如何

ソ聯紙イランを攻撃す

(ストックホルム五日發) イラン政府が石油利權に關するソヴェト政府の交渉申入れを拒否したのに對し、テヘラン駐劄米國大使が以上の措置を全的に支持する旨特にイラン政府に通告したことはクレムリンに對する辛辣な皮肉と解されるが、ソヴェト政府機關「イズヴェスチヤ」紙は四日の紙上において何等條約上の根據なしに米軍がイラン國內に駐屯してゐるのは主權と獨立との侵害ではないかと眞向から極め付けてゐる、米國大使の通告は從來ソヴェト聯邦内では報道されなかつたやうだが、モスクワ來電によればイズヴェスチヤ紙は次の通り述べてゐるといはれる

不平等な待遇

イラン首相モハメド・サエドを支持するセード・シヤ・エド・デンは或る外國の手先となつて暗躍する老獪不逞の政黨人だ、同人の主宰する「テード」紙によれば米國大使は首相サエドに書面を送り戦争が済むまで外國に一切利權を與へないといふイラン政府の決定は主權國として當然の措置であり米國民の間では遺憾とも思つてゐなければ失望もしてゐない旨通知したといふが、イラン北部の油田利權に關する問題が持上つてもイラン國の獨立を侵害しようなどと考へてゐる國はどこにもない、ところがエド・デンの新聞は「イラン政府と何ら同盟條約の無い他國の軍隊がイラン領土内に駐屯してゐる事實とイランの主權獨立とをどう調整するか」といふ問題について、全く沈黙を守つてゐるのは何故か、イラン政府が同盟條約を締結してゐるソ英兩國の他に米軍がイラン國內に駐屯してゐる、しかも米軍の駐屯は何等條約上の根據に基づかぬことは周知の事實である、更に英國はイラン南部に龐大な石油利權を保有してゐるが、條件が非常に有利なのにイラン政府がソヴェト政府の利權交渉を拒否したのは何故だらうか、イラン政府はまた米國の商社に對しても直に利權を賦與したではないか

米、白を切る

タス通信社も同時に長文記事を出しイラン内閣を攻撃してゐるが、公然米英兩國を引き合ひに出したのは初めてのことでモスクワのUP特派員は「イズヴェスチヤ」紙とタス通信社はイラン政府並びに首相モハメド・サエドに對し長文且つ辛辣な攻撃記事を掲げてゐるが、米軍の駐屯を引き合ひに出したので既に「意趣深い」紛争に全く新しい要素が入り込むに至つたと報道してゐる、一方ワシントン來電によれば米國國務省筋では

米軍がイランに駐屯してゐるのはソヴェト聯邦向け貸與物資の傳達に當るためだと白を切つてゐるといふ

ソ聯、スイスの

申入れを拒絶

イス政府は過般來ソ聯政府に對し外交關係樹立の申入れを行つてゐたが、モスクワ放送によればソ聯政府はスイス政府が過去久しきにわたり反ソ的且つ親樞軸的政策を遂行し來つたとの理由で四日右申入れを拒絶したといはれる

ルーマニア新内閣成立

(リスボン五日發) ブカレスト來電「ルーマニア新内閣は四日成立したがその顔觸れば次の通り

首相	首相代理	外相	文相	陸相	内相	藏相	厚生社會事業相	國民經濟相	農相	勞働相	社會保險相	交通事業相	公共事業相	企業相	少數民族相	教育相	
コンスタンチン・サナテスコ	ペトロ・グロ・ザ	ルクレティオ・パトラスカノ	コンスタンチン・ヴイソイア	ゲオルゲ・ボツブ	コンスタンチン・ブラチアノ	ニコライ・エネスコ	ミハイル・ロミンセアノ	ダニエル・ダニエロポロ	ヤウレル・レウコテイア	イオン・クビツア	ロタル・ラダカノ	ゲオルゲ・ニコラウ	ゲオルゲ・ゲオルギオ・デイ	ヴァイルギル・ソロモン	ゲオルゲ・ボテイノ博士	ラデスコ・ラコスタ	ステファン・ヴォイタ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【米 國】

飛行機生産を減少

(リスボン四日發) ワシントン來電によれば、米國政府は世界各戦域における米軍飛行機の損失が豫想より低かつたのに鑑み、來年度の飛行機生産目標を本年度の十萬機より更に二十五%少くし七萬五千機とするに決定したといはれる。但しB29並びに大型輸送機一種類の生産は増強されることとならう。

陸軍航空兵力を發表

(リスボン二日發) ワシントン來電。米陸軍航空本部は十月三十一日現在の米國陸軍航空兵力を次の通り發表した。

一、現有飛行機總數

七萬五千

内 譯

△第一級戦闘用飛行機

二萬三千

豫 備

六千

海外にて戦闘に従事

一萬二千

海外交戦地區に輸送中

一千二百

乗船港へ輸送中

八百

海外へ送る輸送基地に輸送中

四百

機種變更その他若干の調整を要するため修理工場にあるもの

八百

戰略豫備

一千

△第二級戦闘用飛行機にして現在海外にある輸送並びに貨物用飛行機

二千五百

△海外戦闘地域にある軍隊並びに貨物輸送機

五千

△通信、連絡用輕飛行機

二千

△米本土防衛航空部隊(人員並びに貨物輸送機を含む)

四萬

目下航空隊修理工場にあるもの

五千

訓練用雜型飛行機

二萬三千

一、現在不足してゐる飛行機は輸送機のみで、このため當分商業航空會社に輸送機の返還は行はれない。

一、現在海外にある第一級並びに第二級戦闘用艦船三百隻は歸國後陸軍航空隊の所屬となる筈である。

太平洋作戦は持久化せん

(リスボン三日發) ニューヨーク來電によれば臺灣沖航空戦でわが航空部隊によつて散散に打ち叩かれた米國太平洋第五十八機部隊司令官ミツチエルは三日サン・デイエゴの海軍基地に歸還したといはれる。彼は今後の太平洋戦が持久戦に陥る可能性あることを強調して大要次の通り述べたと傳へられる。

太平洋水域では何分にも補給線が伸びきつたため米國軍の進攻作戦は今後今までよりその速度が遅くならう、補給線の整備が了しない限りその進撃を緩めるより仕方がない。

スチルウエルと

蔣の對立意見

の通り報道してゐる

スチルウエルを突如として召還したことは、數ヶ月以前既に極めて不満足だと判定された支那の情勢に關心の焦點を投ずるに至つた、先週末における米支各界の雰囲気は戦友の互ひの不満を反映した、支那側では戰略論で取返しのかぬ意見相違のため、また物資援助の不充分に對する示威手段として、蔣介石がスチルウエルの召還を希望したのだと言明してゐる、これに對して米人側では、スチルウエルの召還は、ルーズヴェルトが蔣介石政權に對して重慶軍改革の能力なく、また延安の中共との和解到達に失敗したとの烙印を押したものだとして述べてゐる、ルーズヴェルトは數多くの使節を重慶に派遣し、副大統領ウォレスも重慶訪問中に國共兩者間の調停に力を盡した、しかし重慶の檢閱當局は一時期緩和した延安からの報道を再び禁止する一方蔣介石のもとにある軍事委員會は共產地區への一切の訪問を禁止した、米人筋では共產軍が對日戦争に投入されてゐるとは認めてをらず、また桂林航空基地喪失の原因を蔣介石の態度に歸し、またスチルウエルは東部支那の米軍航空基地の地位を脅威してゐる日本軍の攻勢に對して地上部隊が單獨で抵抗し得ると主張したに對し蔣介石は空軍が十分でなくては駄目だと考へてゐたものであるとしてゐる。

召還は敗 戦を表徴

(リスボン二日發) ニュー
イーク來電「ニューヨーク・
タイムズ」紙は一日の社説で

「支那の對日戦争」と題し次の通り論じてゐる

重慶の對日戦は重慶政權といはゆる中國共產黨間の不和及び蔣介石と彼の一部將領間の不和によつて力をそがれ、また蔣介石自身は關係ないが防止することの出来なかつた腐敗、及び日本軍に對し空陸による統一結束した重慶軍の戦ひを全面的に指揮する權能をスチルウエルに委託することを好まず遂にこれを拒否したことによつて削減されるであらう、米國は戦ひに負けたとして重慶の國民も、蔣介石がスチルウエルの召還を強制した時に戦ひに負けたと言へるかも知れない、これが實情であり、そしてそれは深刻なものであるが、判定を下してふ前にわれわれは別の事實を考慮すべきである、それは蔣介石が一九四一年に、そして恐らくその後にも和平に誘惑を感じはしたが、兎も角も七年以上にわたつて日本との和平を拒否したことでありまた重慶の抗戦は効果を殺いではゐたが大きな日本軍の部隊を支那に釘付けにしてゐたことでもなければ、米國は他の何處かでこの兵力と戦はねばならなかつたであらう、また重慶の國民は港灣や鐵道を切離され、あるひは占領され東部の各街道は日本軍に支配され、工業は奥地へ數百里も追ひ込まれ、人命は惡疫と戰禍に奪はれたが屈しなかつた、米國は重慶國民に對してこの負債を支拂ふことが出来ないのである

ルーズヴェルト
(リスボン一日發) ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは三十一日の新聞記者團會見でふと口を迂らし「自分はある州の選舉の結果について二十五仙の賭をしてゐる」と述べたが、これが遽かに大問題となつた、ルーズヴェルトの選舉區はニューヨーク州だが、同州の檢事總長ゴードスタインは最近ニューヨーク州市民で選舉に賭をした者からは選舉權を剝奪すると言明したこの適用を受ければルーズヴェルトは當然選舉權を失ふわけだが、ゴードスタインは今までのところ右に關して意志表示を避けてゐる

全世界ユ

グヤ人會議

(リスボン三日發) ニュー
イーク來電「全ユダヤ人會議は
きる十二月からアトラン
ツク・シテイで開催されるが反樞軸九ヶ國代表二
十四名は三日すでに同地に到着した、會議は一週
間に亘り三十八ヶ國代表二百五十餘名が参加する
豫定である

對佛軍

艦讓渡

(リスボン三日發) ワシント
ン來電によれば米國海軍は最
近フランスの下・ゴール政權
に對して相當多數の軍艦を讓渡し、その數は護送
用艦艇十一隻(そのトン數一萬一千三百トン)百
トン級の驅潜艇二十一隻、掃海艇二十隻、曳船六
隻に達してゐるといはれる

反樞軸航空

會議議長決定

(リスボン三日發) シカゴ來
電「一日からシカゴで開催さ
れた反樞軸航空會議は二日米
國務次官補アドルフ・バールを正式議長に、また
重慶及びフランス代表を副議長に任命した、會議
は更に臨時航空評議會設立、多邊の航空協定、技
術航空路の四委員會をも組織した

開戦以來の

兵員損害

(リスボン二日發) ワシント
ン來電「米國の戰時情報局は
二日開戦以來の陸海軍兵員の
損害が合計四十八萬七千六百九十二名に達した旨
發表した

陸軍

戰死

八〇、六六六 戰傷 二二九、二二二
行方不明五三、六二二 捕虜 五三、六二二

海軍

戰死

二八、二三一 戰傷 二八、四四一
行方不明 九、四二一 捕虜 四、四七八

デトロイト

に又罷業

(リスボン三日發) デトロイ
ト來電「オハイオ州トレドの
自動車工業労働者約三百五十
名の罷業を聲援するためデトロイト地區の機械工
教育聯盟所屬労働者一萬八千名以上が三日から罷
業を開始した、罷業は二十三軍需工場に及び、こ
れ等工場は即日完全に操業不可能となつたものあ
り、一部操業を續けてゐるものも半身不隨の状態
に陥つてゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

聯邦通信委

員長辭職

(リスボン三日發) ワシントン來電 聯邦通信委員長ジェームス・フライは来る十一月十五日をもつて辭職する旨二日發表した、フライは過般來共和黨議員連から非常に猛烈なる攻撃を受けてゐた

食糧供給

(リスボン三日發) ワシントン來電 外國經濟院長クロリーは三日本年一月以降九月までの武器貸與に基づく對外食糧供給狀況につき要旨左の報告を發表した

一、本年九月月の武器貸與食糧輸出額は去年同期に比し若干減少した

一、武器貸與食糧輸出の殆んど全部は依然として英ソ兩國に向けられ、英國に對してはその全消費額の約十パーセントを供給してゐる

一、英帝國からの食糧逆貸與も巨額に上り、例へば南及び西南太平洋水域の米國軍が消費した食糧の九十パーセントまでが濠洲及びニュージランドの供給したものである

婦人警備

隊豫備軍

(リスボン一日發) ワシントン來電 米國海軍省は一日次の通り發表した

沿岸警備隊豫備軍の婦人將校訓練計畫は十二月五日をもつて終了するがこの結果「スパー」(沿岸警備隊豫備軍)の將校總數は九百二十一名となる、「スパー」の幹部將校は元オハオイ州ラファイエットのパーデュー大學女子部長だつた海軍大佐ドロシー・ストラットンである

全國的な

煙草不足

(リスボン三日發) ニューヨーク來電によれば全國的な紙巻煙草不足の結果、米國主要都市の婦人連や女學生までがパイプ煙草を喫み出したといはれる、煙草製造業者の説明によれば大衆煙草が軍隊方面に配給され、他は闇市場に流れこんでゐるためといはれるが、政府當局は本年度の煙草作は豐作だからこの不足は間もなく緩和されるといつてゐる

【エール】

「世界國家」の提唱

(ストックホルム二日發) ダブリン來電 エール首相デ・ヴァレラ氏は二日ダブリンのトリニティー大學で講演を行ひ、現在反樞軸諸國が提唱してゐる各種の戰後世界安全保障機構案すべてを否定し、ヴァレラ氏獨自の「世界國家」の創設を主張次の通り述べた

國際聯盟が失敗したのは聯盟創設後、幾許もなくして諸大國が専ら自國の主張を通さうとし、相互協力の必要を忘れたためであつた、従つて刻下の重大時期に際し聯盟は平和維持に關し全く無力となつてゐる有様だ、さりとて現在及び今後當分の間は眞の平和を保證し得る機構を創設することは不可能だ、しかし右に對する唯一の解決案は全世界を打つて一丸とする「世界國家」を創設することだと思ふ、かかる新機構は小國家群にとつて、今日までに提案された諸案よりも遙かに優るものであらう、即ち現在提案されてゐるやうな大國による獨裁によつては決定的平和が保證されるわけではないのだ

【英國】

艦船建造高

(リスボン一日發) ロンドン來電 海相アレキサンダーは下院における船舶問題に關する討議に際し次の通り言明した

開戰當時から昨年十二月までの間に戰艦、巡洋艦、海防艦、驅逐艦、潜水艦等六三四隻、トン數にして一、一八三、五〇一トンの各種艦艇を建造し、一九四〇年より一九四三年の四年間に四、四一五、六六九トンの船舶を建造した、現在のところ未だ政府は新造並びに修理に關する統制措置を必要と認め今後優先建造に着手すべき船舶の種類、英國、反樞軸、中立各國船主に對する造船施設の割當等の問題に關する諮問機關として造船委員會を設置することに決定した

「タイムズ」米英の

(ストツクホルム三日發)

調停を要望

イラン石油問題を繞るソヴ

エト、イラン兩國政府間の紛争は、米英兩國のイラン政府支持を俟つて漸次米英兩國對ソ聯の紛争として表面化してゐるが、タイムズ紙は三日の社説において米英兩國政府による紛争調停の必要を力説、ソ聯の專横な遣り口を裏から非難して次の通り述べてゐる

ソ聯の石油利權要求に對してイラン政府は戦後まで決定を延期する方針をもつて答へたが、ソ聯が戦後まで問題の解決を待てぬ理由はない筈だ、しかるに米英兩國に相談を持ち掛けずにイラン政府に強壓を加へ、あくまでも要求の貫徹に努めてゐる、もしも將來問題が重大化するならば、それはソ聯對イランの問題に止まらずに米英ソ三國の問題と化す、惧れが多にある、いづれにしてもソ聯今回の措置はモスクワ宣言の精神に全く反するが、イランの危機を救ふため米英兩國政府はよろしく調停に乗り出すべきだ

スペインと

(リスボン三日發)「サンデ

空路開通

「タイムズ」紙十月二十二日報道ロンドン、マドリ

ド間の空路は二十三日から開通されるが使用機は十五乃至二十人乗りのボーイング双發「ダコタ」輸送機で兩地點を六乃至七時間で飛翔する、なほ空路が完備すれば一週三回就航となる豫定である

【フランス】

降伏調印者

(マドリド二日發)パリ來

捕縛さる

電によれば一九四〇年六月ドイツ當局とパリ降伏協定を調

印したアンリー・デント將軍はこの程ルノーブルにおいてド・ゴール政權官憲により逮捕され、パリに護送されたといはれる

ドロワイヤ氏

(リスボン三十一日發)パリ

も速捕

來電に前に世界航空競技大會で名聲を博したミセル・ドロ

ワイヤ氏はドイツ軍と協力したとの理由でド・ゴール政權により逮捕された

【南伊】

ム統帥の

(リスボン二日發)ローマ來

私財を沒收

電にボノミ政權は今回反樞軸軍占領地域にあるムツソリー

ニ統帥及びその家族の邸宅初め全財産を沒收したただトルロ別荘のみは沒收されてゐないが、これは既に反樞軸軍當局によつて占領使用されてゐるためである

軍票三百

(リスボン三日發)ミラノ來

四十八億リラ

電にボノミ政權の藏相マルセ

ロ・ソレリは三日反樞軸軍が現在までにイタリア占領地域で三百四十八億リラの軍票を流通させた旨發表した、右軍票には「イタリア發行」の文字が印刷されてゐるから米英兩國は軍票の償還をイタリア政府に押し付ける意圖とみられる

【東南歐】

羅寡切政權日本と斷交

(ベルリン三日發)ルーマニア裏切政權は日本との外交關係を斷絶する旨二日發表した

羅政情

(リスボン四日發)ルーマニ

不安

ア裏切政權に對するソ聯の攻撃とサナテスコ政府を繞る國

内紛争は愈々激化し首相サナテスコは遂に辭職するに至つたが、ブカレスト來電によれば國王ミハイ一世は四日夜サナテスコに對し新内閣の組織を命じたと傳へられる

洪、ユダヤ人の

(ベルリン三日發)ブダペス

財産沒收

ト來電にハンガリア政府は三日、國內のユダヤ人に對し日

用の家具類並びに二週間分の食糧、燃料のほか、地所財産をすべて國庫に沒收、戰禍救済及び傷兵保護に充當する旨布告を發した

洪陸相兼

(ベルリン三日發)ブダペス

參謀總長

ト來電にハンガリア軍代將フエケテ・ハルミ・セイドネル

氏は三日陸相兼參謀總長代理に任命された

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

勃の地位に 變化なし

(ストツクホルム一日發) ロンドン來電ニ英國外相代理リチャード・ローは一日下院において休戰條約成立後のブルガリアの地位に關する質問に答へて次の通り言明した

休戰條約締結後といへどもブルガリアの地位には些かの變化も生じない、米英ソ三國はブルガリアを依然「共同交戰國」として認めてゐない

勃元外相 殺 (リスボン三日發) ソフィア來電によればブルガリア元外相にして前ブカレスト駐劄大使であるイヴァン・ボボフは最近ブルガリア人民法廷から審理のためソフィアへ歸還するやう要求されてゐたが、三日ブカレストの病院内で自殺したといはれる

【北 歐】

芬共産黨の要求

(チューリツヒ三日發) 「ノイエ・チューリツヒアー・ツァイツング」紙ヘルシンキ特電ニ再び合法的組織となつたフィンランド共産黨は一日最初の公開演說會を開催、六千名の聴衆が參集した、演說では黨綱領の細目は解らないが次の諸項目を要求した

- 一、政治警察の廢止
- 一、政府部内におけるファシスト分子の肅正
- 一、癡兵聯盟の結成禁止
- 一、戰爭責任者の審問と處罰

芬、ソ聯に船舶 十萬トンを移讓

(ストツクホルム三日發) ソ芬兩國間の休戰條件に關聯し「アフトン・ブラデツト」紙は三日次の通り報道してゐる

- 一、フィンランド政府はソヴェト聯邦に對し一九二〇年以後の建造にかかる比較的新しい船舶登録總トン數十萬トンを移讓する

一、ソヴェト政府は一九三八年當時の相場で代償を支拂ふが當時に比べれば現在では船舶の値段は倍になつてゐる

【西 亞】

イラン 政情不安

(リスボン四日發) イランの對ソ石油利權讓渡交渉の拒否に伴ふソ聯との國交關係の緊張によりイランの政情は極度の不安に陥つてゐる模様だが、テヘラン來電によるとモハマド・サイドの率ゐる現政府はこの問題のために辭職するのではないかといはれる、政界不安を反映してイラン議會は最近日に二回宛會議を開き、一方政府の召還命令に接して急遽テヘランに歸還したロンドン、アンカラ、モスクワ駐劄の三大使は四日王宮に會合して重要報告を作成したといはれる、また石油交渉のためテヘランに乘込んだソヴェト外交人民委員部長カフタラーゼ氏は依然としてテヘランに留まつてをりイラン政府を壓迫して飽くまでその目的の貫徹を期してゐるやうだ、石油利權問題ではソ聯の強硬な態度に對し米英兩國はイラン政府の立場を支持してをり、この結果米英對ソ聯の對立を招來した形だが、モスクワ來電によると、四日のソヴェト政府機關紙「イズヴェスチア」は「イランには米國の軍隊が駐屯してゐるがこれはイラン政府の同意を得たものでない」と述べ米國攻撃に乘出したと傳へられる

イラン石油利權 國際問題化せん

(ストツクホルム三日發) 英國新聞界はイラン石油利權問題に關してはタイムズ紙を除き論評を回避し、専らモスクワ、テヘラン情報を掲載してお茶を濁してゐるが、英國政府としてはソ聯乃至イランからの調停要請を俟つて徐ろに動き出さうといふ態度を採つてゐる模様で、寧ろ利權問題の決定を戰後まで持ち越すといふイラン政府の方針を支持してゐることは明瞭に窺はれる、英國のかうした態度は

- 一、半世紀に亘つて支配を擅にしてゐたイランに對するソ聯の進出を喜ばぬこと

一、英國は既にイランにおいて多數の石油利權を手に入れてゐるから、今回のソ聯とイランの紛争に全然影響されぬこと

の二事實を反映するものとみられるが、テヘラン

【濠洲】

新西蘭 (リスボン三日發) ウエリントン來電「濠洲並びにニュージーランド兩國代表は三日ウエリントンにおいて會議を開催、太平洋方面國際安全保障機構の設立を協議したが、あらゆる點について兩國の意見は一致したと傳へられる、これに關し濠洲陸相フランシス・フォードは二日夜ラジオを通じて「會議は相互の完全な協調と理解の下に進行し満足すべき結果を収めた」と述べてゐる

【重慶】

軍需生産
半年で増加

(リスボン四日發) AP通信のワシントン來電によれば、米國政府當局筋では前軍需生産局長ドナルド・ネルソンを主班とする七名の米國専門家が「重慶の軍需生産部」を設置するため

來電によればソ聯はイラン北部における石油の完全支配を策してゐる模様で、既に地質調査隊を派遣して油田脈の踏査を鋭意進めてゐると傳へられ以上の立場から出發する英國政府の氣乗り薄な調停が功を奏するかどうかは大いに疑問とされてゐる、またソヴェト政府としても英國が蔭に廻つてイランの輿論を焚きつけ、サエド政府を支持させようと努めてゐることを知つてゐるだけに、さなきだに發言權を喪つた英國政府の調停に輕々しく應ずるとは思はれず、恐らく石油利權問題はソ聯イラン間の「私事」として「謝絶」する位が落であらう、他方米國もイランに石油利權を持つてゐるため、ソ聯、イラン兩政府の石油紛争に多大の關心を示してゐるが、政界では寧ろソ聯と英國の對立とみてその政治的影響を危惧、米國政府の介入を要望してゐる向もあるやうだ、以上の氣運は過般のサウヂアラビアにおける油田開發問題に關する論争にも明確に反映し、米國が西亞に進出すれば將來英國とソ聯を相手に闘かはねばならぬから米國は出来るだけ早く西亞から手を引くべきだといふ議論がひと頃有力となつてゐたこともある、しかしながらスヴェンスカ・ダーグブラデツト紙のニューヨーク電報によれば、米國政府は以上の「孤立主義」的見解を排して、ソ聯と英國の紛争であればこそ擴大すれば米國も必然的に捲き込まれるから、強硬に介入すべきだといふ態度を採つてゐるといはれ、イラン問題を繞り米英ソ三國間に一波瀾が捲き起されるのは必至の勢にあるかかる事態にあつてソ聯も米國の干渉を豫想して豫防線を張つてをり「戦争と勞働階級」誌は十一月一日號で

サエド首相の態度は同政府に對するイランの協力を全く不可能としてゐるが、それにも増して問題なのは米國が世界石油資源の五十五パーセント、英國が二十七パーセントを領有してゐるのに對し、ソ聯が僅かに十一パーセントしか有してゐないことだ

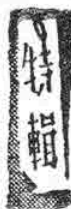
と述べ、イラン石油に對するソ聯の進出を當然の權利として主張してゐることは注目し値する

國が蔣介石に對して重慶が對日反攻に乘出し得る一切の機會を與へる用意あることを示したものと解釋され、スチルウエル及びガウス大使の退陣と援助の増加によつて蔣介石は米國と協調し蔣の必要とする物資援助をうけるであらうと報じてゐるなほネルソンは近くワシントンを出發するが重慶滯留は短期間で一行のうち軍需生産局長コーンレイが一行の活動を指揮する筈といはれる

米國製の武器で

桂林を守備

(リスボン四日發) 重慶の特派員は三日前線からの報道として、桂林に持込まれた米國製の武器が市外の高地と城外の守備に重要な役割を果してをり、その中には對戰車砲、野砲、山砲、火焰放射器、迫撃砲等があり、重砲も使用してゐると傳へてゐる



モスクワ會談では何が
決まらなかつたか(下)

原子林 二郎

今後に来るもの

モスクワ會談におけるポーランド問題を繞る交渉が結局不調に終つたことは略々確實だが、以上のことから一つの新たな事態が発生してゐることは看過出来ない、即ちモスクワ會談を機會に英ソ兩國政府は交渉の表面から退き、今後はルブリンミコライチク兩政權が直接交渉する地位に立つたことだ、モスクワからのAP電報が十月二十一日報するところによれば、ルブリン政權側の代表として汎スラヴ聯盟副議長のヴィラノフスキーがロンドンに乗り込むこととなつたといはれるが、以上が僅かなりとも事態の改善を意味するかどうかは疑はしい

バルカン問題

英のバルカン分割案

赤軍ルーマニア進撃に續くブルガリア占領、ユーゴスラヴィア、ハンガリアにおける作戦の勃發は再びバルカン問題を舞臺の前面に押し出した現段階においてバルカンを依然「歐洲の火藥庫」とみて英ソ軋轢の活舞臺とすることは多少氣がひけるが、すくなくとも英ソ兩國の關係に新たな問題を提供してゐることだけは事實だ、ポーランド問題を第三歐洲大戰の種子を胚胎するものと論じて大向ふを煽り立てた例の「ダゲンス・ニユヘテル」紙は、ここでも第三次大戰の勃發を憂慮してをり、スイスの「タート」紙のごときは「バルカン問題は英ソ兩國の戦闘をもつて解決されよう」と論じてゐるが、われわれはもうすこし頭を冷してからモスクワ會談を通じてバルカン問題を検討せねばなるまい

赤軍のバルカン進出は必然的な事態の進行とはいへ、英國政府を極度に狼狽させたことは事實だ、赤軍のバルカン進出後問もなく、地中海の英軍司

令部がユーゴスラヴィア上陸作戦開始のデマを麗々しく戦況公報で發表し樞軸側のもの笑ひの種となつたりブルガリアの降伏後、慌ててギリシアアルバニアに上陸して軍事上の fait accompli を設定しようと焦つたことは、以上の事實を明白に裏書するものだ、チャーチルが匕首を懷中にして意氣込んでモスクワに出掛けたかどうかは別としても、バルカン問題が恐らくモスクワ會談における最大の論争點であつたことは容易に想像される、蓋し英帝國の生命線たる地中海ルート、西亞印度の事態にすら重大影響を及ぼすものはバルカン問題であるからだ

「タイムズ」紙の社説

バルカン問題に對する英國の態度を最もよく表現したものは、モスクワ會談中に發表された「タイムズ」紙の社説「バルカン島嶼圖」(十月十三日附)である、長文のものが左に要旨を紹介しよう

英國首相チャーチルのモスクワ訪問は、軍事情勢の發展に伴ひバルカン問題に關しスターリン議長と直接話し合ふ必要が生じた時を狙つて行はれた、反樞軸軍のアルバニア、ギリシア上陸は、今次戦争勃發以來初めて英ソ兩國が同じ戰場において戦ふことになつたことを意味する、その結果英米ソ三國提携の基礎に基き統合作戰指導機關が必要となつたことはいふまでもない、バルカン解放の政治的意義は重大且つ緊急だ、一九四二年の英ソ條約の精神に基くならば、バルカン政治情勢の錯綜對立は兩國政治家にとつて克服し得ぬ困難ではない

バルカンにおける英ソ兩國の利益が兩極に立ち一方の地歩の強化は必然的に他方の地歩の弱화를招来するといふ物の考へ方は、現實に根差した論理ではなく、今日では時代錯誤の譏りを免れない、バルカンにおける英國の主な利害は友好的なギリシア、トルコを前提とする東地中海中東の補給線の安全である、ソ聯の主なる利害は國境の安全であり、その限りに對してルーマニア、ブルガリア、そして恐らくハンガリア、ユーゴスラヴィアをソヴェト安全體制に收めようと試みるのも蓋し當然であらう

以上の政策には何ら不都合なものはなく、英米兩國乃至關係各國を憂慮させるものは何一つない、ソ聯がバルカンに對する侵略的意圖を藏することを危惧する者は、去る六月のルーマニアに對するモロトフ聲明、對羅休戰條件をみて安心するがよい、過去一世紀間ロシアのバルカン政策は積極的であるよりも消極的であり要するにバルカンが想定敵國の支配下に陥らぬやう努めるにあつたのだ

ユーゴスラヴィアの場合は恐らくバルカンにおける英ソ兩國の政策が決して矛盾對立してゐないことを示す最も明かな實例であらう、ドイツ勢力を驅逐するため極めて重要な役割を演じてゐるチトー一派はその政治上の傾向からしても當然ソ聯にのみ援助と支持を仰ぐべき筈であるのに、最初にチトー派と接觸をもつたのは將に英國であり、チトーがソ聯と同様英米兩國の承認と支持を求めてゐることは明瞭この上もない事實だ、チトーは戰爭中も戦後もユーゴスラヴィアの安全を確保するためには、ソ聯のみに頼つても不可能だし、英米兩國だけでも駄目だといふことをはつきりと理解してゐるのだ

ユーゴスラヴィアの場合は他のバルカン各國の場合にもそのまま當て嵌る、勿論それぞれの場合によつて重心は異なるであらう、たとへばソ聯と隣接する諸國は必然的にソ聯に歩み寄るであらうし、主として海運上の利害關係を有するギリシヤは當然英國の側へ歩み寄るであらう、しかしながら英ソ兩國の利益は平和な統一されたバルカン高度の生活水準を持し、共に英ソ安全體制の一部をなすバルカンによつて最もよく維持されるのだ、以上のことはバルカン諸國自身にとつても最上の利益である、今日までバルカン諸國は激烈な領土争ひや下らぬ猜疑心に毒されて麻のごとく亂れ、以上の混沌たる事態は大國間の競争で一段と拍車をかけられてゐた、もつとも領土争ひは將來も暫くは續くであらうが、もしも關係諸大國(といふのは現在では英ソ兩國のことだ)が歩調を合せたならば、かかる地域上の論争は解決され、大國外交の質草とならないで済むだらう

バルカン政策に關する英ソ間の協定は英ソ條約のうちに暗黙裡に含まれてゐるが、以上の政策を公式に表明することは近くアテネやベルグラードに歸還する亡命政權やブカレスト、ソフィアで目下組織中の新行政組織の仕事著しく輕減するであらう、既にギリシアEAM團に關して發生してゐる困難やギリシヤ、ユーゴスラヴィア兩國の王政に關聯する困難(同じことは將來ブルガリアやルーマニアの王政についてもいへることならう)は、將來起り得べき分裂を明示するばかりでなく、眞實のものか架空のものかは別として英ソ兩國間の意見の相違を利用しようとかかる黨派の發生を豫言するものだ從來のごとくバルカン聯邦問題についても將來見解の齟齬が發生するかも知れない、身勝手な政治屋共は自己の個人的利益のために英國乃至ソ聯の友情を利用しようとかかることも當然豫想される、かかる事態において英ソ兩國の政策が曖昧不明瞭なことほど危険なものはない

興味ある諸點

「タイムズ」紙の社説は次の諸點で興味ある問題を提起してゐる、即ち

- 一、バルカン作戦を統合するため反樞軸(といふことは英ソ兩國のだ)作戦統合本部を創設すること
- 一、ルーマニア、ブルガリア、ハンガリア、ユーゴスラヴィアをソ聯の勢力圏とし、アルバニア、ギリシヤ、トルコを英國の勢力圏とすること
- 一、ユーゴスラヴィアに對する英國の發言權を認めること
- 一、トルコのダーダネルス、ボスフォロス兩海峡に對するソ聯の開放要求に對しては完全に沈黙を守つてゐること
- 一、バルカン全土における英ソ兩國の協力を實現すること(といふことはルーマニアのプロエスチ油田に對する英國の投資を認めよといふことだ)

チャーチルがモスクワ會談でスターリンの考慮を要請したものは將に「タイムズ」紙の提案した諸點であると思はれるが、之に對してスターリンが如何なる反應を示したかは全然判らない

しかしながら想像されることは英ソ統合作戦本部の件はバルカン作戦が赤軍のイニシアチヴにおいて既に終末に近づいてゐることを理由に一蹴したことで、第二のバルカン勢力圏分割案はおそらくスターリンは原則的には受諾したと解される、しかしながら「タイムズ」紙が含みを籠めて指摘してゐるごとく、バルカン各國の國境紛争を利用して、ソ聯が自己の地歩を有利に築かうとしてゐることは容易に推測される、例へばギリシアだ「ダゲンス・ニユヘテル」紙のロンドン電報(十月十四日附)によれば、ギリシヤは

一、エーゲ海における十二の島嶼

一、アルバニア南部

一、北部トラキア地方及びマケドニア

を要求してゐると傳へられるが、エーゲ海の諸島やアルバニア南部は別として、トラキア北部地方のギリシヤにたいする割譲をソ聯が承認するかどうかは大いに疑問とされるところだ

中立筋の見解

以上の問題に關する中立筋の見解をみるに「ナチオナル・ツァイツング」紙は十月九日次の通り論じてゐる

バルカンにおける赤軍の行動をみれば、スターリンが現在の情勢を利用して「黒海の囚人」としての地位を脱しようとするのは容易に想像される、ソ聯はマケドニア假政府を樹立してユーゴスラヴィア聯邦内にマケドニア國を含めやうと企圖してゐるがこの新國家はブルガリア軍が占領してゐたサラニア附近のトラキア、マケドニア海岸からなり、同地方はギリシアが回復を要求してゐた所である、その結果必然的にギリシヤ・ブルガリア間の紛争の種となつてゐたのであるが、英國はギリシヤの要求を支持しブルガリアはまたブルガリアのエーゲ海進出はソ聯のエーゲ海進出を意味する建前から、ソ聯がトラキアをブルガリアの手中から引き離しはしまいと考へてゐる

更に以上の問題に關聯して注目すべきことは、ソ聯はブルガリアにたいしトラキア、マケドニアを

占領する軍隊の引揚げを休戦協定において要求したが、赤軍と協力するブルガリア軍はこの限りにあらずといふ特例を附してゐることだ、その結果トラキア、マケドニアのブルガリア軍は依然として踏留つてゐるが、このことは英國の勢力圏と目されるギリシアにたいするソ聯の態度を示唆するものであり、モスクワ會談では當然以上の點が問題となつたと解される、またルーマニア問題にたいする英國の「協力」についてはソ聯が外人技師並びに新聞記者のプロエスチ油田視察を峻拒したことでも明瞭である、最後にトルコ問題だが、この點については英國がモスクワ問題で意識的に觸れるのを回避したと思はれる節が多分にあるが、ソ聯が最近イラン北部の石油利權讓渡をイラン政府に要求したことから考へても、カフカース南部國境の安全のためトルコ東北部にたいしてなんらかの手を打つことは當然豫想されて然るべきだ

結局結論としていひ得ることは、モスクワ會談ではバルカンにおける英ソ兩國の問題の所在が明かされたばかりで、既に述べたことのほか、ユーゴスラヴィア、ギリシヤの王政をどうするかといふこと、ギリシアにおける共產派遊撃隊と王黨派遊撃隊の軋轢をどうさばるか、將來ハンガリアをどう處理するかといふ當面の問題については何等の決定にも達しなかつたといふことだけだ、英ソ兩國のバルカン紛争は寧ろ今後の問題だが、大勢は既に決してゐると豫言しても行き過ぎではあるまい

アメリカの反響

米英兩國の疎隔

英國言論機關はモスクワ會談がケベック會談の繼續であり、ケベック會談においてはスターリン議長が軍事上の多忙のため出席出來ず、モスクワ會談にはルーズヴェルトが大統領選舉のため出席出來ぬので、會談ではチャーチルがルーズヴェルトの代辯を勤めてゐると稱し、英國がモスクワ會談において米國の利益を無視してゐないかの如き印象を與へようと努めてゐる

しかし外電の報道を綜合すればケベック會談とモスクワ會談が全然別個のもので、後者が専ら英ソ兩國間のものであることは疑問の餘地がない、以上の事實は米英兩國間の疎隔を強調する筆者の希望の見解でないことは、多くの例を擧げて明かにし得る、たとへば「デリー・メール」紙のワシントン特電は十月十四日の通り報じてゐる

ルーズヴェルトは今朝モスクワのハリマン大使から長文の秘密電報を受取り、それを熟讀玩味してゐたため恒例の新聞記者會見に四十五分も遅刻した、しかしながら「モスクワ會談に關する感想は？」といふ記者の質問には、「なにもいふことはない」とひどく素氣なく突つ離した、また「チャーチルはモスクワ會談で米國の代辯もつとめてゐるのか？」といふ質問にたいしては曖昧な調子で「勿論チャーチル首相は米國政府のスポークスマンとして行動出来ないが、米國にとつて重要な問題に關するワシントン政府の見解をスターリン議長に披瀝することは妨げない」と答へた、ワシントンではルーズヴェルトが近い將來スターリンと樽俎交渉するといふ噂が執拗に流布されてゐるが、この問題に關するルーズヴェルトの答は「さあ、どうかね」の一天張りであつた、モスクワ會談はワシントンからみると判らぬことだらけで、孤立派の政治家や新聞記者はチャーチルとルーズヴェルト、チャーチルとスターリンとの關係が緊張してゐると稱して騒ぎ立ててゐる位だ

スイス紙の觀測

またスイスの「タート」紙は十月十二日の社説で次の通り述べてゐる

米國はバルカン勢力圏に關する英ソ密約説を憂慮の眼でみてゐるが、更にスターリンがノルウェーをソ聯利益圏内に含めやうと圖つてゐるのにたいし、英國は同國を己れの勢力圏内に收めやうと計畫してゐる事實を心配してゐる、米國はそのいづれにも反對なのだ、ルーズヴェルトはケベック會談にスターリンが参加を拒絶したことに腹を立ててゐるが、更にルーズヴェルトがワシントンを離れられぬことが判つてから始

めてソ聯がモスクワ會談の開催を承諾したと考へて不快視してゐる

「タート」紙の觀測は殊更に米ソ、米英の疎隔を強調する傾きがあり、同紙の政治的色彩からみてもその儘受取りかねるものがあるが、スウェーデンの見方はどうかといふと「スヴェンスカ・ダグブラデット」紙のワシントン電は十月十二日

米國政府はロンドンの亡命ポーランド政權の遣り口が穩當を缺くと考へて、モスクワ會談におけるポーランド問題の成行を憂慮してゐるが、米國の輿論はソ聯の線に沿つた東歐洲「新秩序」に反對で、ソ聯の戦後政策を疑惑視し、バルカンに對するソ聯の進出を不決に思つてゐる

と報じ、「ダゲンス・ニエヘテル」紙「ニューヨーク特派員」も十月十六日の通り傳へてゐる

ルーズヴェルトを除けものに

米國の輿論は一般にソ聯の歐洲政策を敵視しモスクワ會談でソ聯に引廻される英國の協調的態度を不決視してゐる、たとへばワシントンの權威筋は記者に對して次の見解を洩した、「英ソ兩國には東歐洲における米國の利害を無視し、米國を民主主義の戦ひに於る十字軍戰士と考へることを嫌ふ傾向がある、モスクワ會談は歐洲問題に關する英ソ協力の相談だ、チャーチルが特にスターリンから問きたがつてゐることは、モスクワが赤軍の成功に乗じて到るところで外交攻勢をやるかどうかといふことだ、つまりエーゴースラヴィア、ハンガリア、オーストリアを一體どうする氣だといふことを訊きたいのだ、スターリンは恐らくチャーチルにソ聯との友好關係を維持し、東歐、バルカンにおけるソ聯の政策を支持する言質を求めるだらう、ポーランド問題に關しては、それは英國の政治力といふよりは威信が問題となつてゐるのだらう、英國はソ聯も満足し、英國の威信も傷つけぬといふ巧い解決法があるならば、喜んで跳びつくに違ひない、いづれにしても米國はモスクワ會談にルーズヴェルトが参加してゐないことを特に重視してゐるやうだ

例へばニューヨーク・ミラー紙は「クレムリン宮殿の赤いヒトラー」と題する論説を掲載して「ロシアは戦後国際三和組織の一員であるといふのに、その熊の顎はポーランドとフィンランドの血に塗れ、その巨大な四肢はアラスカからドブア海峡まで伸びてゐるといふことは悲喜劇ではなからうか？」と述べてをり、上院議員レノールズは「ジャーナル・アメリカン」紙で「チャーチルとルーズヴェルト對スターリンの關係は異常に緊迫してをり、間もなく公然たる紛争にまで發展しよう、このことは米國民にとつて最も不快な經驗だ」と語つてゐる

以上の報道は一方的な觀測の匂ひが強く、多少デスクワークの疑ひがないではないにしても、米英間及び米ソ間の疎隔は別問題として、モスクワ會談を英ソ兩國だけのものと理解してゐることはモスクワ會談開催後に、米國の通信乃至新聞が盛んに大統領選舉後の三國會談開催説をばら撒いてゐる事實によつて裏書されよう

「タイム」誌のソ聯評

米國には六百萬のポーランド系市民がゐてソ波紛争の成行きに一喜一憂してゐる事實は、ポーランド問題が如何に米國にとつても重要な問題であるかを示すものだ、ルーズヴェルトも大統領選舉でこの六百萬票を失はないため慎重な態度を採り輕々しく意見を吐かないが、ソ波紛争におけるソ聯の態度は米國民の相當酷い反感を買つてゐるやうだ、その例といふ譯ではないが「タイム」誌は十月十六日號の國際欄に「犠牲」と題する論説を掲載してゐるからここに紹介しよう、勿論「タイム」誌の論調が米國民全體の見解を代表してゐるのではないが、一部にかうした見方をする者があつたことを、そのまま看過することは出来ない

ドイツ軍の威力、ソヴェトの政策と米英兩國の打算的な無關心は先週ポーランドの歴史の一章に血醒い終止符を打つた、一九三九年九月ドイツ軍が二十日間に亘る攻圍の後紅蓮の炎を吐いて燃えさかるワルシャ市を強襲した際、ワルシャワ・ラジオをポーランドの葬送曲を砲撃と爆撃の伴奏で演奏したのち、ブツツリと杜切れた

星移り月變つて先週再びワルシャワ市は死んだ六十三日間の攻圍と一屋一室を爭ふ熾烈な市街戰の後に、ポール將軍の遊撃隊はドイツ軍の軍門に降つたのである、しかしながらこのたびは空の音楽はなかつた、同様に空からこの援助も殆んどなかつたのだ、蜂起後最初の數週間はワルシャワ市から僅かに十二哩離れた地點にゐた赤軍はロンドンの亡命ポーランド政權の指揮下にある遊撃隊に援助の手を差し伸べやうとしなかつた、それどころか赤軍は遊撃隊の武装を解除しさへしたのである、前首相シコルスキの未亡人やロンドンのポーランド有力者十五名が抗議した時、チャーチルは泡を吹いて怒り、餘計なことをするなと叱り飛ばし、イーデンにミコライチクに御説教をしたといふことだ

英國空軍はイタリヤの基地から往復遙々一千七百五十哩の飛翔を敢へてして、攻圍下の遊撃隊に雀の涙ほどの軍需品を投下したが、スコットランドでのらくらしてゐるポーランド落下傘部隊は相變らず欠伸を嚙み殺してゐなければならなかつた、やがてソ聯は外國の攻撃を浴びたせいか或ひはルブリン政權の治下にあるポーランド民衆にたいする影響を俱れてかは知らぬがワルシャワに援助物資を送り始めた、だがポール將軍がポーランド政府軍總司令官に任命されると、ルブリン政權はポール將軍を犯罪者と罵り、ふん掴まへたら裁判にかけるぞと威嚇したので、ところがポール將軍がドイツ軍に降伏すると、間髪を容れずにルブリンのポーランド人達は裏切者！と喚き立てた、喜んだのはドイツだ、彼等はポーランドの友の風を裝ひ、ドイツ國內のポーランド人は上衣につけた大文字のP(ポーランド人の意味)の徽章をはづすことを許された、勿論このことはポーランドの軍事情勢にさしたる影響を及ぼしはしないが、戦争の大詰に近い現段階においてドイツにかかる戦術を採ることを許した責任は全くソ聯にあり、米英兩國も多少は責任を負はねばなるまい



カナダの近況

幽霊兵の存在

「タイムズ」紙オッタワ特電、七月十五日最近急激に増加した不自由と不幸のためにカナダが非常な苦惱を嘗めてゐるとの見方が強いが、事實カナダは元來さほど國力も豊ではなかつたし今までの産業も誇るに足るものではなかつた、今正にカナダ全土には議會といはず、新聞紙上といはず、また公私の會合を問はず、不平の聲が喧々囂々と渦卷いてゐる、次第に増大する戦争の苦痛に對する全國民の不滿のほかは何物もないといふのが現狀である、ほんの些細な刺戟によつて不滿の聲は沸起り、しかもあくまで解答を追求してやまない、現在カナダ軍が北佛ノルマンディ並びにイタリア戦線において武勳をたててをり海外派遣義勇軍の補充編成が今なほ募集されてゐるが、一方國內では海外派遣軍にも内地防衛軍同様徴兵制を施行せよと主張する論が漸く優勢になつてゐる、大戦勃發當時は自由保守兩黨員中誰一人として、「公衆の面前に立つて、カナダも米英兩國と同様徴兵制を実施すべきだと主張する勇氣を持合はせなかつた」といふ事實を、先週下院でジョージ・クルイックシャंकが指摘して人々の注意を喚起したが、政黨も國民も便宜上このことは忘れてしまつたもののやうである

また彼らはカナダ海外派遣義勇軍が海陸空軍共に全く志願兵のみによつて構成されてゐるとの理由で特別の矜をもちこれを自他共に認めてゐるといふ事實も何時の間にか見逃してしまつてゐるらしい、徴兵制によつて召集された兵員は現在七萬三千名に及んでゐるが、彼等はすべてこの西半球防衛のために國內に駐屯し、なすこともなく「幽霊兵」的存在を續けてゐるといふ事實は漸く國民の非難するところとなり或ひは彼等を海外へ派遣して戦闘に従事せしめよ、或ひは動員を解除して民間産業に従事せしめよ等々、議論はいろいろに沸騰してゐる、しかし「幽霊兵」に對するかかる

議論はいづれも自由黨派のケベック州の海外派遣軍徴兵制反對態度に對する非難を裏書してゐるのである、この海外派遣軍徴兵反對こそは、自由黨政府の人的資源政策の全般を廣汎に亘つて適用してきたケベック州の今まで堅持し續けてきた態度であることは疑ひない、しかしケベック州は徴兵制には反對しながら、少くとも推賞に價するだけの多數の義勇軍を海外へ派遣してゐるが、このことによつて自由黨派のゴッドバウト州政府に對する保守黨領袖モリス・デュプレツシス以下反對派の論難攻撃を阻止することは出来なかつた、反對派の主張はケベック州が自治權を附與されてゐながら州の權利、特權および自由を擲つて中央政府の方針をそのまま遵奉し徴兵制に反對してゐるといふのである、かかる徴兵問題を論議の中心として八月八日ケベック州の選舉が行はれるが、アデライド、ゴッドバウトを首領とする自由黨の勝利となりさうな態勢にある、自由黨は今まで善政を行つて州の繁榮を圖つて來たと主張して大いに自己辯護に努めてゐるが、確に州の繁榮が戦争のためではなく自由黨の善政に由來するといふ點においては反對黨も自由黨と見解を同じくしてゐるこれ等は現在熱心にまた時には辛辣に討論されてゐる多くの議論の中の二問題に過ぎないのであるが、これによつても、戦線から遠く離れたこの國においてすら戦争の苦痛は如何に國民の神經を惱ませてゐるかを知らることが出来る

世故にたけた老巧な議會人は戦争終了後における國內及び世界問題を如何によりよく處理するかについて、種々様々の理論や計畫の喧傳され選舉人の面前に繰展げられてゐるのに驚いてゐる

議會人は特に今まで一般に是認されてゐた戦後の財政及び政府の政策に對して懸念を抱き、この懸念はすべての政黨人の等しく感じるところとなつてゐる、國民所得が莫大な増加を示してゐるにも拘らず、國民間に焦燥感が漲り、爭論絶え間ないのはこの理由によるものであらう

しかし六十億弗といふカナダ財政史上空前の老大な本年度豫算を捻出するために國民各自の生活に切詰めるといふことは次第に困難な状態になつてゐる

今週の下院では遂にこの焦燥感に直接具體的な一つの事件に對する抗議によつて爆發した、即ち既婚者にして扶養家族のない議員は他に議員としての特權に對する支拂を受けぬ場合に、一會期につき四千弗の支給から一千三百六十四弗といふ恐しく高率な所得税を差引かれ純支給額僅かに二千六百三十六弗を得るに過ぎない、議員は自分達に直接關係ある問題を論じながら間接的には一般國民の民意を示唆してゐるのである、國民は先に募集した勝利公債に對し實に三百萬人の應募者があり、自由擁護並びに自己防衛のための今次大戦四ヶ年間に於いてカナダ經濟史上未曾有の農耕地抵當金の皆済が行はれてゐる事實には眼を閉じて、所得税大巾引上げに抗議を申立ててゐるのである

海軍の戦闘力

「タイム」誌九月十八日

國民は以前からカナダ海軍がいかに發展したかを知つてゐるが、海相アレガス・ルイス・マクドナルドは大戦勃發以來の五ヶ年間に於て、海軍がいかに大規模な且つ有效な戦闘力を備へるに至つたかについて十八日次の通り述べてゐる

「カナダ海軍は一九三九年度において僅かに軍艦十三隻と兵員一千七百名を具備するに過ぎなかつたが、開戦以來急速な進歩を遂げ、現在軍艦三百五十隻、補助艦艇五百隻を備へ、兵員總數は九萬名に達してゐる、樞軸海軍に與へた損害は單獨海戦において潜水艦十五隻、水上艦艇十二隻を撃沈反樞軸軍聯合海戦において水上艦艇二十三隻を撃沈してゐる

本年初夏以來カナダ海軍は北米英國間の護送船團の警備に當つてをり、最も大規模なのは積載量百萬トン、船舶百五十隻から成る護送船團であつた、現在北大西洋にある警備艦隊の三十%はカナダ海軍の艦艇である、カナダ海軍は小型艦艇を多く有し、艦載砲火力は小であつてもその數において優勢で、現有艦艇數は控へ目にいつて次の通りである

驅逐艦	二〇隻
フリゲート艦	四五隻
コルヴェット艦	一〇〇隻
掃海艇	六〇隻

英國は今以てカナダ乗組の航空母艦パレチャイ並びにハボブに對する所有權を所有してゐるが、先週來カナダ海軍への贈物として巡洋艦を建造してゐる、カナダ國內の造船所では更に五十隻の小型艦艇を建造中である」

鐵鋼の生産量

「フアイナンシアル・ニュース」紙

特電八月二十二日

カナダ統計局の發表によれば本年六月中の鋼塊鑄鋼並びに銑鐵の生産量は次の通り(單位トン)

鋼塊及鑄鋼	本年六月	昨年六月
鋼塊	二四〇、七五〇	一三九、五〇一
鑄鋼	二二八、七七四	
銑鐵	一一、九七六	
鐵	一六七、七八九	

なほ本年一月以降六月末現在までの鋼塊並びに鑄鋼生産總量は、昨年同期間の百四十九萬九千五百三十三トンに對し、百五十一萬二千五百八十三トンである

カナダの石油と米國の政策

「エコノミスト」誌八月五日號

カナダ鑛山資源相トーマス・クレアラは下院において次の通り報告した

「今回米國政府はカナダ西北部地方の石油資源の調査及び開發計畫に關する原案を變更した、二年後の五月に完成する豫定の第一次採油計畫はこのまま續行されるが、更に一日一萬五千乃至二萬バレルの石油をアラスカのユーコン河流域並びにカナダ西北の油田地帯から採掘する計畫については米國政府はあまり關心をもつてゐない」

米國政府が何故にこの附加案の實施を中止したかといふに主な理由は左の二つである

一、北太平洋の戦局が一變し米本土西北岸を日本軍が攻撃するだらうといふ恐れは既に消滅し、米國からカナダ西北並びにアラスカへの油槽船航路が安全となつたこと

一、カナダ西北部の石油資源開發のためには經濟的にも、また人的並びに物的資源の點からみても、現在の戦争段階においては餘りにも高價な代償を必要とすること

昭和十九年十一月八日(水)
第三二三四號

同盟通信

海外電報

(256)

目次

全米洲國、米國案を彈劾……………二六二〇

スターリン共同戦線の強化を説く……………

ルーズヴェルト蔭に冷淡……………

西亞常駐相モイン暗殺さる……………二六二一

東南アジア軍司令官改組か……………

英第十一集團軍司令官更迭……………

米國の海軍力……………

十月中造船高……………

【英 國】

輸出貿易統計を發表……………二六二二—二六二三

開戦以來の造船高……………二六二三

【特 輯】

財政・政治・國民生活(上)……………二六二四—二六二九

【資 料】

勃政府に對する休戦條件……………二六三〇—二六三三

八月中の米餘剩軍需資產……………二六三三



決定すればどの大統領候補が當選するかかわるわけだ、米國の政治史を通じ選舉人がその誓約を破つて他の候補に投票したのはたつた一人の例外があつただけだといふ、選舉人の

數は全部で五百三十一だから二百六十六を得た候補が當選したこととなる、普通の時だと選舉の結果は大體翌日中に判明する、但し今年は四百萬に上る出征將兵の投票があるから豫想通り大接戦を演ずる時は、その最終的結果は十一月末までわからないといふやうなこともあらう、樞要州とされてゐるペンシルヴァニア、カリフォルニア等の將兵投票の開票が十一月末でないと行はれないからだ

大統領選舉と同時に下院議員全部、上院議員三分の一の改選も行はれる、議會における民主共和兩黨の勢力も大きな相違がないから民主黨が大統領選舉に勝ち、共和黨が議會選舉に勝つといふやうな場合も想像される

ルーズヴェルトをも招請

(リスボン五日發) ワシントン來電。ド・ゴール政權は十一月十一日の休戦記念日に當り英國首相チャーチル、外相イーデンをパリに招請したが、さらに米國務省の發表によれば「米國民がフランス解放のために果たした役割」に對し謝意を表明したいとの觸れ込みで大統領ルーズヴェルト、國務長官ハルをパリに招請したといはれる、國務省が右招請狀を五日夜發表したことに徴すればルーズヴェルトが招請を受諾するとみられるが、國務長官ハルが招請を受諾するかどうかは同人の健康次第と解される

全米洲國、米國案を彈劾

(リスボン六日發) シカゴ來電。シカゴに開催中の反樞軸航空會議には米國代表から戦争後の世界航空統制機關とし十五ヶ國代表から成る「中間航空評議會」設置案が提案されたが、航空會議に出席してゐる米國を除く全米洲十九ヶ國代表は六日、俄然一致して米國案に眞向から反對を表明した、國際會議において米國がそのお膝元たる米洲諸國から一致して反對をうけたことは正に未曾有のこととされる、キューバ共和國代表は十九ヶ國を代表して六日米國案に對する彈劾聲明を發表したがその要旨次の通り

米國案によれば中間航空評議會の十五委員は主として大國により選定され、しかも大國代表には投票權二が與へられることとなつてゐるが、米洲十九ヶ國はかかる案は小國主權に對する差別待遇であり、國際慣習に違反するものとして眞向から反對せざるを得ない、但し米洲諸國は純粹に技術的諮問的機能發揮するにいたる中間航空評議會の設置には協力の用意あり、よつて十九ヶ國代表は米國案に對する代案として各國代表を全部網羅し、且つ各國が同等の發言權を有する十九ヶ國共同案を提出する

スターリン共同戦線の強化を説く

(モスクワ六日發) スターリン元帥は六日夜革命記念日に當りモスクワ市ソヴェトにおいて演説し次の通り述べた

一、東部戦線開始以來今や四ヶ年目に入つたが、テヘラン會議における作戦取極めに基き反樞軸軍がフランス北部に第二戦線を展開し、赤軍は呼應して今やドイツ國境線において戦ひを進めてゐる

一、安全保障機構に關するダンバートン・オークス會議の決定は聯合各國の戦線が鞏固な新たな證左である、勿論、同じ黨人の間でも意見の相違があるのだから違つた國々、違つた黨派の代表間に意見の相違があることはいふまでもないが驚嘆に値ひすることは意見の相違があるといふことではなく、相違が極めて少く且つ米英ソ三國の團結と協調によつて殆んど何時でもこの相違が克服されることである、第二戦線の展

開位大きな意見の相違はなかつたのだが、この問題も完全な意見一致の精神に基づいて結局解決された、ダンバートン・オークス會議においても同様で安全保障の諸問題が完全な意見一致の裡に解決された

一、歐洲戦線は今や終局的段階に入つたが、聯合各國としては平和と安全とを確保し將來の侵略行動を未然に阻止する必要あり、ドイツ國民に對しては軍事的にも經濟的にも政治的にも武装解除を加へるであらう

ルーズヴェルト蔣に冷淡

(リスボン六日發) 蔣介石はスチルウェル召還問題に沈黙を守つてゐたがニューヨーク來電によれば彼の五十六回誕生日に當つてAP通信社總支配人ケント・クーバーが去る一日送つた祝電に對する返電の中でスチルウェルの退陣についての最初の公式聲明をなしたの通り述べたといはれる

この問題について貴下が關心を披瀝されたことに對し謝意を表す、重慶において接受した新聞通信の報道によればルーズヴェルト大統領はスチルウェル大將の轉任につき既に十分の説明を行つた由で、それに對し余としては何も付言することはない、重慶と米國の軍事、政治、經濟的協力の有效緊密なる將來の見透しは今や頗る良好である

十一月三日

蔣介石

右の米國側報道に對し重慶よりのロイター通信は三日次のやうに報じてゐる

重慶の消息筋ではルーズヴェルトが昨年の蔣介石の第五十五回誕生日には三百二十語もの長文の祝電を送つたにも拘らず、今年の誕生日には「多幸を祈る」とたつた二語に切りつめたといふ事實は現在の重慶ワシントンの緊張した關係を最も端的に表現したものだと評してゐる

デイル (リスボン五日發) ワシントン

死 去 ン來電。反樞軸合同參謀本部

ン・デイルは貧血症のため數ヶ月前から病床にあつたが四日夜ワシントンの陸軍病院で死去した、享年六十三、彼は一九三九年今次大戰の初めには英第一軍團司令官としてフランスに渡つたがドイツ軍の電撃戦によつて英國に逃れ歸つたダンケルクの敗將でその後一九四一年までは英軍參謀總長の地位にあつた

西亞常駐相モイン暗殺さる

(リスボン六日發) カイロ來電ニ英國の西亞常駐相モインは六日午後一時頃事務所から午餐をしたためるためカイロ市内の自宅に歸り、自動車から降りて玄関前の石段を昇らうとしたところ、邸宅に潜伏してゐたエヂプト人二人のためピストル狙撃を受け、石段の上に倒れた、運轉手は自動車の車輪によりかかつて即死を遂げ、モインは直ちに陸軍病院に擔ぎ込まれ弾丸の摘出手術を受けたが頭部並びに肺の近くに弾丸が命中してゐたため遂に絶命した、享年六十四、拓相、上院總務から一九四二年八月リチャード・ケーシーの補佐役としてカイロに赴任、去る一月ケトシーがボンベール州知事に轉出した後を受け西亞常駐相に就任した

東南アジア軍司令部改組か

(ストックホルム五日發) 「ダーゲンス・ニヘター」紙は去る二日の紙上でガンディからのUP特電として次の通り報道してゐる

東南アジア反樞軸軍司令部の改組が近づいてゐる模様でこの改組でマウントバッテンは最高司令官の地位を辭任する筈である、しかしマウントバッテンは今後續けられる攻勢に當り引續き或る種の部面に責任を擔當するであらう、改組後の新司令部では英國東洋艦隊の新司令フレージャーが重要な地位につくであらう

英第十一集團

軍司令官更迭

(ストックホルム四日發) ロンドン來電ニ英軍部當局は現在までイタリア派遣第八軍の司令官であつた中將オリヴァー・リリスが東南アジア軍司令部麾下の第十一集團軍司令官に任命された旨三日正式に發表した、第十一集團軍は印緬戰線の第十四軍を含んでをり現司令官はジョージ・ギファノドフである

米國の海軍力

(リスボン五日發) 「マンチェスター・ガーデア」紙のロンドン特電によれば米國海軍省は十月

二十七日の海軍記念日に當り米國の海軍力について次の通り洩らしたと傳へられる

主力艦二十三隻、うち少くとも十六隻は太平洋に在り最新型の主力艦アイオワ號は排水量四萬五千トン、備砲は十六吋、射程殆んど十九哩の主砲九門その他總數百四十九門、殆んど「信じ難いやうな速度」と操縦性を持つてゐる他に太平洋で作戰してゐる巡洋艦は三十七隻、驅逐艦、驅逐護送艦並びに潜水艦は數百隻に達するまたロスアンゼルスからのロイター電報によれば海軍次官バードは同じく海軍日に當り米國の海軍力について次の通り述べたと傳へられる

戰國艦艇一千五百五十五隻、上陸用舟艇四萬五千隻、小型舟艇五千隻、航空機三萬四千機、内主力艦二十三隻、空母エセックス型十四隻、インデペンデント型九隻

十月 中 (リスボン四日發) ワシントン來電ニ米國海軍委員會は十月中の造船状況を四日次の通り發表した

米國各造船所が十月中に引渡しを完了した船舶は全部で百四十五隻、百三十一萬二百九十五重量トンに上り、今年一月からの累計は千三百七十八隻、千三百五十五萬五千二百七十二重量トンに達した

右百四十五隻の内譯は次の通り

一、軍用

五十三隻

半數以上が攻撃用輸送船、その他海軍輸送船、海軍油槽船、フリゲート艦、並びに陸軍輸送船

一、長距離快速船

三十隻

ヴァイクトリー型貨物船

七隻

C型貨物船

五隻

油槽船

十八隻

一、その他

リバティー型貨物船

五十一隻

沿岸貨物船

九隻

コンクリート製貨物船

一隻

コンクリート製解舟

一隻

【英 國】

輸出貿易統計を發表

(リスボン四日發) 十月二十一日の「タイムズ」紙は英國の輸出貿易に關し、次の通り報道した、英國商務省は一九四一年一月以降發表を中止してゐた輸出貿易統計表を十月二十日初めて公表したが、右發表によれば開戦後英國の輸出貿易は戦前の水準に比して激減してゐる、統計は開戦當初から一九四三年を含む期間に亘つてゐるが、一九四三年の輸出數量は一九三九年の二九%、一九三七年平均數量の二七%に過ぎない、輸出總額は一九三八年の四億七千七百五十五萬三千二百二十磅に對し、一九四二年は二億六千九百四十五萬一千二十一磅で五七%、一九四三年には二億三千二百二十二萬七千七百四十六磅で四九%に減少してゐる、但し一九四二、三年の輸出總額については、輸出價格が非常に昂騰してゐることを考慮に入れる必要がある、即ち平均輸出價格指數は一九四二年には五七%、一九四三年には七一%方の上昇を示してゐる、一九三五年の輸出價格を基準として換算すれば大體の輸出數量の比率を知ることが出来るが、右方法によると一九四二年の輸出量は僅かに一九三八年の三六%、一九四三年は二九%に過ぎない、國民所得總額に對する輸出額の比率は、一九三八年の一〇・二%に對し、一九四三年には二・八%に減少してゐる、次の表によつて各主要項目に關し一九四二、三年を一九三八年に比較すれば、その間の變動を知ることが出来るよう

輸出額 (單位百萬磅)

	一九三八年	一九四二年	一九四三年
輸出總額	四七一	二六九	二二二
食料、飲料、煙草	三五・一	一八・五	一九・〇
原料品	五六・一	一〇・二	五六・一
製品	三六五・二	二三四・七	二〇〇・四
輸出數量 (百分比)			
一九三八年	一九四二年	一九四三年	
輸出總量	一〇〇	三六	二九

輸出價格指數

	一九三八年	一九四二年	一九四三年
食料、飲料、煙草	一〇〇	三四	三三
原料品	一〇〇	一〇	九
製品	一〇〇	四〇	三一

開戦後一九四三年までに英國の海外貿易量は戦前水準の四〇%に減じてゐるが、右比率は通常貿易だけについて計算するならば更に低減するであらう、一九三九年及び一九四〇、四一年の輸出統計には、通常貿易の外に政府各機關による軍需品積出しが含まれて居り、一九三八年を最終とする戦前の數年間及び一九四二、四三年度においては除外されてゐるから、嚴密に双方を比較することは出来ないが比較出来る條件の有無は別問題として開戦後毎年の輸出統計を挙げれば次の通り

年次	輸出總額 (單位百萬磅)	一九三五年の輸出價格を基準として換算した輸出額	輸出數量 (輸出純益の國家所得に對する比率 (百分比))
一九三八	四七〇・八	三一九・八	一〇・二
一九三九	四三九・五	三九五・九	八・九
一九四〇	四一・二	三〇四・九	七・三
一九四一	三六五・四	二二六・〇	五・六
一九四二	二六九・五	一五三・〇	三・六
一九四三	二三二・二	一二〇・一	二・八

各輸出品目についてみれば、一般に輸出貨量は次第に減少してきてゐるが、原料品中減少振りの最も著しいのは石炭であり、食料、飲料、煙草のうちでは酒の輸出貨量が今なほ、戦前と殆んど同額であるのを除けば一體に激減を示してゐる、製造品目のうちで最も早く輸出減少が始まり、しかも最も減少振りの大きいのは機關車だが、早くから軍需品として使用されたからである、織物、化學藥品、金物類、陶器、ガラス製品等の輸出減少が始まつたのはそれより後のことで、今のところ著しい減少はみられない



同盟

通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

今主要輸出品について一九三八年と一九四三年との輸出額の變動を見れば次の通り

輸出額(單位百萬磅)

	一九三八年	一九四三年	増(+)/減(-)
酒	一一・四	一・八	(-) 九・六
石炭	三七・四	六・四	(-) 三一・〇
羊毛、屑毛	六・三	〇・二	(-) 六・一
鐵鋼	四一・六	六・一	(-) 三五・五
機械	五七・九	二八・〇	(-) 二九・九
電氣器具	一三・四	一一・〇	(-) 二・四
綿糸、綿製品	四九・七	三四・二	(-) 一五・五
毛糸、毛製品	二六・八	一八・五	(-) 八・三
生糸、人絹糸	五・五	一二・六	(+) 七・一
化學藥品	二二・〇	二七・五	(+) 五・五
車輛、船舶、機關車、飛行機を含む	四四・六	八・四	(-) 三六・二

同品目に關する一九四三年の輸出數量變動は次の通り

	百分比
酒	(-) 四一
石炭	(-) 九〇
羊毛、屑毛	(-) 九九
鐵鋼	(-) 九〇
機械	(-) 七一
電氣器具	(-) 五〇
綿糸、綿製品	(-) 六九
毛糸、毛製品	(-) 六一
生糸、人絹糸	(+) 一〇
化學藥品	(-) 一九
車輛(船舶、機關車、飛行機を含む)	(-) 九一

樞軸軍占領地域との交易不能のため輸出先の地域分布状態には相當重大な變動が見られるが、このことを除けば大した移動はない、ただ米國向け輸出が戦前と同様に繼續されてゐることは注目し、次の表は地域別輸出の主要な變動を示してゐる

英領諸國	一九三八年	一九四二年	一九四三年
樞軸軍占領地域	二三・四・八	一七五・二	一四九・二
	二二・九	一・七	〇

その他	二二・九	一七三・五	一四九・二
諸外國	二三六・〇	九四・三	八三・〇
樞軸國及び樞軸軍占領地域	一一四・九	一・八	〇
歐洲(一九四三年末の樞軸國或ひは樞軸軍占領地域全般を含む、但しイタリヤを除く)	一一二・〇	〇	〇

アジア	二五・八	三・五	〇
その他諸國	一一一・一	九二・五	八三・〇
地中海沿岸諸國	二七・二	二〇・七	二一・一
その他の歐洲諸國	四五・六	三五・六	二七・二
アフリカ	六三・三	五一・一	四七・六
アジア	五〇・一	二九・四	二四・〇
オセアニア	五八・一	四五・一	二〇・一
北米	四四・六	五〇・二	四三・一
中米及び西印度	九・九	八・五	七・八
南米	二四・二	二四・六	二一・三
總計	四七〇・八	二六九・五	二三二・二

開戦以來 (リスボン五日發) ロンドン來電「英國海相アレキサンダーは一日下院で歐洲戦争の開戦以來初めて軍艦並びに商船の建造トン數を要旨次の如く發表した

開戦當初から一九四五年十二月末までの四年間に英國は戰艦、巡洋艦、海防艦、驅逐艦、潜水艦を含む大型軍艦六百三十四隻、百十八萬三千五百一トンを建造したが、小型軍艦を加へれば總トン數は百六十萬トンに上る、さらに一九三九年以降四年間に至る四年間に米國の建造した商船の總トン數は四百五十萬トンで各年別の内譯は次の通り

一九三九年（九月—十二月）	
五六隻	二四、三〇〇トン
一九四〇ク	八一〇、〇〇〇ク
一九四一ク	一、一五八、〇〇〇ク
一九四二ク	一、三〇二、〇〇〇ク
一九四三ク	一、二〇四、〇〇〇ク
なほ前大戦當時一九一五年から一八年までの三年間に建造された商船トン数は三百七十七萬百七十トンである	

財政・政治・國民生活（上）

戰時英國の諸斷面

長谷川才次

英國政府は三十一億磅の在外資金を費消した上に二十億磅乃至三十億磅といはれる對外借入金が出来た、更に逆貸與を差引き武器貸與法により米國から三十五億磅、カナダ政廳からの援助六億四千七百萬磅を受けてゐるので、合計百億磅見當の海外物資と勞力とを戰爭努力に消耗した、勿論國內の物資及び勞力を極度に動員し過去の蓄積と生産力とは、舉げて戰爭遂行に傾注した

七月末までの資料を基礎に専門家が英國現在の國力に下した斷案である、以上の老大な消耗にも拘らずいかにして英國民の生活水準を維持するか英國政府と財界筋とが日夜苦慮してゐるところだニューヨークで出てゐる「ハルバース・マガジン」誌十一月號でジョン・フイツシャーが次の通り述べてゐる

今度の戰爭が終る時英國の經濟組織は血を吐いて蒼白となつてしまふだらう、戰後三年乃至四年以内に何處かへ速に輸出出来なければ、いくらもがいても元の地歩に立ち歸ることが出来ない、英國が最も假借ない經濟戰爭に訴へない限り、貿易を戰前の水準以上に増加することは出来ない、第一歩として先づ英帝國の周邊に障壁を築き、各自治領印度並びに植民地との貿易を殆んど獨占しようとする、米國人も印度の解放に對する同情と希望とを忘れ去らねばならない、印度が一度獨立すれば自由な印度は自ら工場を建設して自ら必要とする消費物資の製作に乘出し、現在英國から輸入してゐる物資を他國に求めるだらうから、英國にとつて印度市場は乾上つて了ふに違ひない、かかる事情のもとにおいて米國人が印度の獨立に「敬虔な聲援」を與へても、徒らに英國の輿論を苛ら立たせるばかりだ

英國の國力消耗は政治的にも將來國際政局に幾多の波紋を捲き起すに違ひない

五ヶ年間の戰費總計

歐洲戰爭が始まつてから去る八月まで滿五ヶ年だが、英國の大藏省が最近發表した統計を基礎に英國の戰費を検討しよう

五ヶ年間に於ける總支出は二百三十六億七千二百萬磅、うち四四・四%即ち百五億一千百萬磅稅收入で賄つてゐる、カナダ政廳からの寄與その他戰時損害基金等の項目を斟酌すれば、收入によつて賄つた額は百一十一億八千九百八十萬磅、公債で上げた額は百二十四億八千三百萬磅である、五ヶ年間に於ける借入總計は百三十億四千二百萬磅だが、内五億六千萬磅は戰前の債務償却に當てられてゐる、純借入れは開戰以來の支出會計の五一・五%に近く、開戰以來四ヶ年間の比率五四%に比し少しばかりだが減少を示してゐる、純借入れの内約三十五%は流動公債によつてゐるが、英國の内外債の概況は次の通り

一九三九年九月	一九四四年八月二十六日
流動公債	一、一六七
その他の内債	六、二〇二
外債	一、〇三二
計	八、四〇一
	（單位百萬磅）
	五、四九八
	一四、〇七八
	一、二八三
	二〇、八五九

大體五ヶ年間の戰費が二百四十億磅、英國債が戰前の八十四億磅から二百八億磅に増加したわけだが、外債が實際に三十億磅に達してゐることはすでにイングランド銀行理事ケーンズ卿が明かにし、藏相サー・ジョン・アングダーソンに續いてイングランド銀行頭取カトラー卿が、去る十月七日マシヨン・ハウスにおける演説で確認したところだ、元來入超を必要とする英國は戰前主として海外投資收入と手數料收入で賄つて來たが、海外投資額が四〇%に減少した上利潤ある投資は極く少く、その上外債三十億磅を背負込む結果、船迫運賃收入手數料保險料收入等の受取勘定を戰前の同一水準に見積り、商品の輸入超過、政府の對外支拂ひを戰前と同額と推定し、外債の元金三十億磅に對し二%、即ち六千萬磅の利息を支拂ふとして差引支拂ひ超過が年額三億一千五百萬磅に達するだらうといふのが専門家の推算するところだ

輸出貿易額激減

支拂ひ超過を賄ふには輸出貿易による他はないが現状は如何？ 一九四一年三月以來英國商務省は貿易統計の發表を中止してゐたが、最近白書で發表された所によれば英國の輸出貿易は一九三八年當時の水準に較べて半分以下に減少してゐる、一九三八年當時においては輸出額は國家收入の一〇・二%を占めてゐたが、一九四三年の輸出額は二・八%に過ぎない主な品目について白書の述べるところを引用すれば、原料品は一九四一年において三八年の數字の五分の一に四二年四三年に於ては十分の一に減少した就中、石炭の輸出は過去二ヶ年間に戦前の十分の一に激減してゐる、原羊毛の輸出は四三年には殆んどあけるに足りず、製造品目は三八年度に比し四三年には三一%に減少してゐる、四二年と四三年とを比較しても製造品目輸出量が四分の一減少してゐるが、特に織物類の輸出減退が著しく、綿製品は四三年において戦前の三分の一毛織物並びに梳毛織物は五分の二に減退してゐる

次に白書に基いて各國向けの輸出額を戦前と比較しよう

輸出先 一九三八年

一九四三年

(單位千磅)

エール國 二〇・二八二 一一・五九七

英領印度 三三・七六五 一七・七四九

濠洲 三八・一六五 二六・九三三

カナダ 二二・五三〇 二二・一五〇

白書は結論として「英國の輸出貿易は一九四四年においても更に減少してゐるが、今後人的物的資源の解放によつて英國の輸出貿易を戦時下現在の水準に比し五〇%増加することは、英國が債務に應じ生活水準を維持して行く上に絶対必要である」と述べてゐる

經濟移行の四段階

開戦以來英國の經濟が平時態勢から戦時態勢に移行するには大體四段階を経てゐるといふのが専門家の見方だ、第一期は「商賣は平常通り」(Business as usual) と云ふ正統派の考へ方に基く

施策期ところがダンケルクの敗退後第二期の統制期に入つた、國內においては軍需工業の擴張、勞働力の動員、貿易については自由貿易主義に基く輸出第一主義から輸入第一主義に移つた、ついで一九四一年三月米國政府が武器貸與法を實施し、英國内では一九四二年四月戦時生産省が出来て、軍の統帥部と聯絡し需要供給の優先を決定し、且つ直接産業を指導するに至つたのが第三期、爾後現在まで統制組織が完成した時期が第四期である

恩義の押賣り

輸出の減退は以上自由放任政策から高度の戦時統制經濟に移行した過程における當然の犠牲にほかならないが戦争の危険を脱したと考へてゐる英國の指導層は早くも將來における經濟的地歩を確保するため、着々手を打ち始めた、マンシヨン・ハウスの蔵相とインランド銀行頭取の演説が正にそれだ「ダーゲンス・ニヘター」紙のロンドン特派員が十月七日蔵相サー・ジョン・アンダーソンの演説について傳へるところは次の通り

マンシヨン・ハウスの演説で蔵相があげた三ヶ條は特に財界政界の注意を惹いてゐる第一に英國は英帝國內の特恵を除き差別的貿易政策を採用得ないこと、第二にブレトン・ウツツの通貨協定を支持し、第三に債權各國に對し英國の背負ひ込んだ戦債を普通商業上の債務と見做さないやう要請した、ロンドンにおける封鎖資金に關する蔵相の言明に徴すれば英國が將來直ちにこれらの資金を解放はしないだらう、封鎖資金を持つてゐる主な國々は反樞軸各國並びに各自治領だから蔵相は特に以上英國の債務がすべて戦争の結果なる點を指摘し「同盟各國は英國に對し道義上の債務を負ふてをり、この債務を支拂ふ最善の方法は引續き英國を信賴することだ」と述べた

ロイター通信社のシテイ記者の報道によれば蔵相とインランド銀行頭取の極めて重要な演説の基調は「英國民が戦争遂行に努力したと同様の決意をもつて生活標準の改善に努力奮闘し、且つ債權各國——磅勘定の所有各國——が英國との利害の一致を認め戦争といふ一層苛烈な試煉を経た信頼を維持しさへすれば英國人は自らの途を切り拓くことが出来、既に三十億磅に近付いてゐる戦債を何とか仕拂ふことが出来よう」といふ點だ

イングランド銀行頭取カーター卿は「代償を願みず國力をあげて戦争遂行の一點に傾注した結果、英國はあらかじめ戦後における輸出能力の少からぬ部分を費ひ盡して了つた、しかし冷靜な確信あり、外債の多いのに當惑はしない、英國は今日依然として世界最大の輸入國、従つて世界最善の顧客であり、今後も引續き以上の地位を維持しようロンドンが世界の商業金融上に占める地歩は獨特であり、英國人の技術的な才能は他に比類がない戦後數年間英國の輸出貿易收入の過度な部分が戦債の償却に振り向けられるやうなことがあれば、英國が債權各國並びに世界の他の國々からの輸出を買ひ入れる資金がそれだけ減少するわけだ」と述べた

藏相も同じ意見を開陳し、債權各國が「無理をいはず戦債を通常の商業債務として扱はぬやう」要請し、英國は各國の必要とする物資を生産して債務の償却に應ずることが出来るが、それには時間がかかるし、債權各國が現實に即した政策をとることが必要だと指摘した、戦時における磅勘定について英國政府が完全に責任を負ふ旨當局が言明したのは歴史的な重要性を帯びてゐる、勿論何人も英國が債務の償却を怠るとは考へてゐないが「マンチエスター・ガーデアン」紙は「債權各國においても今回藏相などの言明したところが英國政府に残された唯一の方策ではないことを十分承知してゐて貰ひ度い、今や英國政府は債務の償還を公約したが、その方法は英國自身の決定に俟たねばならない、今回の決定は今後數ヶ年に亘り英國の生活水準を支配しようが、外債の「死重」を英國の生産力と世界貿易の吸収力とに調整することが必要だ」と論じてゐる

自治領の權益は尊重

英國政府としては財政上の難關を打開するため輸出貿易の復興に全力を盡くす方針だが、貿易復興の基盤としてまづ英帝國を頼りにしてゐることはいふまでもない、しかしカナダ、濠洲、ニュージールランド等の各自治領が、少くとも軍事上においては、ロンドンよりもワシントンにより多く依存する現状において、貿易の關係においても自治

領を繞る米英兩國の關係はオツタワ會議當時のやうに簡單に英帝國特惠制度の確立を許さうにもない、十月十日勞働黨のエドワーズ議員は下院で「現在米國と各自治領との間に數百萬磅に上る長期契約が締結されやうとしてゐるが英國からの同様な買入れ契約については商務省が政策を缺き便宜も提供しないので全然話合ひも出来ないことを商相は承知してゐるか」と質問し、商相ヒュー・ドールトンは次の通り答辯してゐる

「ノー・サー英本國の製造業界が各自治領並びに屬領における將來の顧客との間に戦後の契約について討議することはならぬ妨げない、最も多くの場合確固とした約束をしたり引渡し期日を決めることは出来まいが當局としては業界が着々交渉を開始することを切望してゐる、戦時産業に優先權を與へるのは勿論だが、その他では製造業界に便宜を提供し、海外への旅行についても許可を與へるやうにしてゐる、大體政府としては戦後輸出を量的に戦前に比し少くとも四〇%増加することを目標としてゐる」

通貨協定に難色多し

ブレトン・ウツズの會議で出來た通貨案に對し英國政界並びに財界筋が寧ろ白眼視してゐるのも全く戦後の經濟戦争を豫想してゐるからに他ならない「デイリー・エクスプレス」紙は九月廿八日「保守黨内のミッドランド地方選出議員團は、ブレトン・ウツズの通貨政策につき政府に對し緊急動議を提出するに決定した、議員團は院内で會議を開催、右通貨政策が戦後英國の輸出貿易に悪影響を與へるのではないかとの意見を開陳、特に金本位制への復歸は英國が將來世界市場で當然のわけ前を占めるのを阻害するのではないかとの考へが頻りに出たが、結局會議で以上のやうな建議案を提出するに決定した」

恐らく以上の決定に従つたのであらう、通貨政策委員會の委員長ブリスビー・シンウエル等の各議員が署名して、十月十一日英國下院に次の決議案が提出された

「戦後の復興並びに商業政策の主要方針が反樞軸各國において討議決定されるまで、英國政府は如何なる國際通貨協定にも参加せざるべきものと下院は思考する」

藏相サー・ジョン・アングダーソンの演説についても磅貨圈を維持する氣かどうかが重大問題になつた様子で、同じくブリスビー議員は十日藏相との間に次のやうに應酬してゐる

「磅貨圈の維持が依然政府施策の目標だが磅貨圈に關し差別的な通貨取極めが出来てゐないのに藏相は如何にして現在ロンドンに保持されてゐる磅勘定を處理する方針か」

藏相の答辯「質問の前半に對する答へは肯定的である、後者については戦後の過渡期間並びに戦争に由來する國際債務との關係において必要且つ適切な取極めと英國その他各國政府の施策を振り向けるべき最終的な目標との區別を銘記することが必要である、現在ロンドンで保有されてゐる磅貨勘定の問題は明らかに前者の範疇に屬する、私見によれば何等かの差別的通貨取極めがなくとも磅貨圈を維持することには何ら困難がないと思ふ政府は差別的商業並びに通貨取極めに反對だが、あらゆる種類の清算、支拂協定、一括買入れ契約並びに輸入統制は以上の差別的取極めに含まれてゐない」

副首相アトレーもまたマンシヨン・ハウスにおける藏相の演説につき、その後下院で次の通り釋明してゐる

「藏相は米英兩國間の相互援助協定では國際商業におけるあらゆる形式の差別待遇除去に努力することになつてゐる旨を述べたが、右取極めには英國政府が英帝國特惠制度の撤廢を公約しないとの條件がついてゐる、英國政府の政策は右協定の字句精神に基いて遂行されてゐる」

鋼鐵輸入は現金支拂

貿易政策に關聯して米英兩國間の利害對立が漸く表面化出し、イングランド銀行の理事ケーンズ卿は九月上旬以來ワシントンに乘込んで米國政府當局と交渉を重ねてゐるらしい、米英兩國關係の一斷面として九月二十四日の「サンデー・タイムズ」紙に出てゐる經濟部長の記事を次に掲げよう「英國の製鋼業界に先週末武器貸與取極めで米國から鋼鐵を輸入する戦時の體制は取止め、今後鋼鐵の輸入には現金で支拂ふべきだとの意見が有力

化するに至つた、英國現在の外國爲替事情を考へれば随分思ひ切つた提案とみえようが、武器貸與制を繼續すれば戦後英國の貿易が阻害される惧あり、最近までは英國の生産力は必然的に擧げて戦争の遂行に傾注されてゐたので、貸與協定によつて英國が困難を受けたことは殆んどなかつた、然し今日においては軍需生産が緩和され出し、輸出貿易の復興が愈々急務となるに至つた、ワシントンからは武器貸與條項に基き供給されると同様の資材が英國國內市場向けの生産に振り向けられてゐるかとの照會がくると聞いてゐるが、かかる照會を出すのは一九四一年三月の協定を餘りに廣義に解釋し過ぎた結果ではないか、かかる懸念が米國內に持上るのはこれらの資材が米國で不足を告げてゐるのと、英國の製造業界が政府から無料で貸與物資の供給を受けてゐると一般に考へられてゐる結果だらう、しかし實際には英國政府は貸與物資につき業界に支拂はせてゐる」

ケーンズ卿訪米の反響

ケーンズ卿の使命は武器貸與協定その他あらゆる角度から米英兩國將來の經濟關係を調整するにあるが、次にロンドン各紙の報道を掲げよう

「ニューズ・クロニクル」紙ワシントン特電十月六日

「ケーンズ卿は米國政府筋と目前並びに戦後の經濟諸問題につき討議するため約一週間前にワシントンに到着した、検討されてゐる主題の正確な本質は明らかにされないが、武器貸與制度並びに國際貿易の通路を再開するため、米英兩國がとり得る措置を含んでゐることは確かだ、米國民は世界最大の債權國としての立場を従来よりもよく自ら認識し、且つ一度復興が始めれば反樞軸各國特にロシアが米國に出す注文が莫大なことをも承知してゐる、ケーンズ卿が米國代表と各國の必要とするところに検討を加へ政策を練り出せば、次ぎは國際會議で戦後の國際貿易をより強固な基礎に据えることが企圖される段取だ」

「デイリー・メール」紙ワシントン特電「ケーンズ卿

は國際經濟參謀本部の設置につき米國代表と協議する豫定だ、既に通貨會議石油會議で始められ、今後また海運關稅戰後の貿易等の會議で検討される事業を調整するのが參謀本部の任務だ、最近米英兩國が戰後の貿易について衝突しさうな傾向が顯著になつたので、米國政府筋でも財界筋でも少からず不安を感じてゐたが、ケーンズ卿の來訪並びに使命を聞いていづれも満足してゐる經濟上の諸問題を各々個々の國に任せて置けば將來戰爭の種を蒔くに等しいが、消息筋の情報ではスターリン議長もこれ等經濟問題の嚴重な國際管理案に賛成だといふ、國際會議にはすべての反樞軸各國が招請されやうが、安全保障の分野におけると同様如何なる組織が出来る場合でも米英ソ三國が常設執行機關として支配的な立場を占めよう、米英ソ三國がその國境線内に世界の重要な原料資源の壓倒的比率を収めてゐる結果である」

「タイムズ」紙ワシントン特電十月七日「ケーンズ卿

のワシントン訪問並びに貸與協定の存続に關する討議については米國新聞界は殆んど報道もせず社説で批判も加へてゐないが、ルーズヴェルト大統領がレオン・クロリーへの書面で説明した戰略問題よりも一層大きい諸政策が現在検討されてゐると解される、當局筋の意見ではないが、情報によれば貸與制度は主要戰鬪の終了後も暫時繼續され、乃至軍當局が一定の機能と「アンラ」その他の諸機關に移讓出来ると思ふ時期まで繼續されるだらうといはれる、したがつて貸與制度の決濟はそれまでは絕對必要といふわけではなく、結局政治問題として取扱はれるだらうが準備工作は何といつても必要だ、米國民が貸與制度全體を戰爭努力に對する米國の寄付と考へるのを期待するのは蟲がよすぎるが、萬一さうなつた場合でも未だ使つてゐない資材、裝備食糧不動の資本施設乃至建造物をどう處分するかの問題は残らう協定第七條によれば貸與制度の決濟は一般の貿易の重荷とならぬやうな方法によらねばならず、恐らく他の諸問題と一緒に取り上げられよう、國際經濟統計局長マフリーも最近の論文で「基金と銀行とは米國

將來の貿易に關する諸問題に僅か部分的な解決を與へるに過ぎない、全的解決には目前の施策としても長期に亘る企劃としても

一、輸入を高度に且つ安定した水準に維持するため、米國內において高度且つ安定した經濟活動を維持する事

二、輸入税その他貿易の障壁を更に低減すること

三、新たに大規模に海外に投資すること

等をあげ、時にブレトン・ウッズの協定と併行して關稅障壁の思ひ切つた削減につき同様の集團協定を締結すること」を主張してゐる

「フアイナンシャル・ニューズ」紙十月九日「ケーン

ズ卿は歐洲戰爭後における貸與制度の運営、特に米英兩國の輸出政策に關聯する諸問題について討議するためワシントンに赴いた、討議の剪頭に出てくる問題は現在禁止されてゐる輸出貿易を米英兩國が一部復活する場合の指導原則に關する取極めだ、今度の交渉で輸出貿易の復活が促進され英國內における民需物資の生産が増加されることとならう、米國もまた逆貸與で利益を受ける筈だ、協定が出来れば、米英兩國は貸與物資の助けによつて製作された品目を「一定の條件並びに保障條項」のもとに輸出する自由を認められよう、世界戰爭の終了後貸與制度を繼續するかどうかの問題も現に米英兩國政府間で検討されてゐるが、最近米國政府の一高官は貸與制度は平時の機構として企圖されたのではなく、戰後に延長されないと述べたが、何れにしても米國議會がかかる問題を検討することとならう」

高價な犠牲、逆貸與

歐洲戰局に關する米英兩國の根據ない樂觀がアルンヘムにおける英軍空挺師團の全滅以來吹き飛ばされて了つたことはドイツ宣傳相ゲッペルス博士が端的に指摘してゐる通りだが、かかる希望の觀測に基づいて貸與制度を繞り米英兩國が早くも經濟戰爭の前哨戰を演じ出したのは面白い、英國經濟界の智慧袋ケーンズ卿が國際金融經濟についてはお坊ちゃん米國人を如何なる論理でちよるまかすかわからぬが愈々勘定を拂ふ段になつて米英兩國が可成り細いことをいひ出したことは明らかだ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

一例として歐洲侵攻作戰に關する逆貸與として英國の戰時生産省が九月二十四日發表した數字を掲げよう

「歐洲侵攻作戰の用意に英國の各鐵道會社は米軍に對し五千以上の特別列車を貸與し、人的資源と資材の豫備力がぎりぎりのところから米軍のために、價格にして約五千萬磅の新たな建物を建てた平均四萬人が二十五ヶ月間右建築計畫のために働き、一九四三年一月の絶頂期間には五萬六千人の勞働力を使つてゐる、一九四四年一月から六月までの半年間に三千七百六十四本の特別列車が米軍の兵站器材の輸送に當つたが、車輛にして五十八萬三千五百二十五輛だ、愈々上陸作戰を決定するに當つては、米軍を運ぶためだけに五月と六月とで更に特別列車一千五百三十一本、車輛七萬五千六百六十六輛を動かしてゐる、イギリス海峡を通じて兵站器材を輸送するためだけに米軍に對し列車渡し用汽船五隻、起重機五十臺、浮きドック五隻應急用列車九本、移動工場八工場を提供した

裝備としては小銃彈一千四百十二萬發、手榴彈二十八萬二千箇、民間から徵發し上陸作戰用に合計一萬三千九百四十五平方呎の裝甲板で加工した自働車八百七十一輛、六封度對戰車砲百二十一門三七耗MX五シトリル・ジョンズ砲八十六門、九種探照燈七十臺、照明彈三萬箇等を米軍に用立てた南部軍地區では英米軍の出港地域が交錯してゐたので双方の兵站修理班が一體となつて働いた、フランス戰線では破壊された各港灣の修理のために米軍に對し二千百十隊の架橋隊を提供し、シエールブル港では英軍の工兵隊並びに英人と英國の施設ばかりで出来てゐる輸送淺濶會社が米軍の指揮のもとに主として修理に當つた、フランス戰線の傷兵を後送するのに全く英人だけで組織した病院列車十九本、病院船五隻を提供した、侵攻作戰の開始に先立ち英本國は全く米軍の宿營地と化した、六月三十日まで陸軍省は米軍用の新建物建築費として四千九百十八萬四千磅を支出した、使用した資材はすべて十五萬トン、他に六百十萬平方呎の土地を民間から徵發して米軍に提供した、米軍に對する兵站補給のため、六月中旬一萬六千七百人の英國人が兵器廠その他で働いてをり、六

月から七月にかけて米軍がフランス戰線に出勤した結果、英國人三千人を他の緊急な戰時勞務から引き抜いて補充に當てた」

ロシヤに對する

クレデットの賛否兩論

將來の市場として米英兩國が目をつけてゐる重要な地域がソヴェト聯邦だ、目下頻りに英ソ兩國間に交渉が進められてゐる様子だが、商務次官エリス・ウォーターハウスは十月三日下院で「ソヴェト代表との間における貿易に關する交渉では商社乃至當該工業部門間の同様の會談については未だ交渉の經緯を悉く報告出来る時期には達してゐない、交渉は目下進捗してゐるが、英國がロシヤから買はうとしてゐる品目の眞先きに木材があげられてゐる」

と述べてゐるに過ぎない、勿論ソヴェト聯邦に市場を求めやうとすればクレデット供與が問題になるわけだが、八月下旬「デイリー・エクスプレス」紙が「戰後ロシヤにクレデットで物資を賣るのに賛成か？」といふ質問を提起して英國内の輿論を調査したところ、賛成七四%、反對一一%、分らない一五%といふ結果を示したといはれる、勿論男女の別なく政黨に拘らず調査したわけだが共產黨員が九〇%までクレデット提供に賛成したのが目立つただけで、他は政黨別による意見の相違など全然なかつた、變はつてゐるのは共產黨員の内三%が反對、七%が分らないといふ回答をしてゐることだ、保守黨では反對一五%自由黨では一三%が反對、分らないといふ比率が一番多いのが聯邦黨で二四%、賛成の論據はロシヤの戰爭努力に對する同情か、商賣上の打算が一番多く、反對の理由で一番多いのはロシヤは老大な天然資源を保有してゐるので、戰後は英國よりも暮し向きが樂になるに違ひないといふ考へだ

その後ソヴェト聯邦のバルカン地方進出で英國人の考へが餘程變つて來たと想像されるが、イングランド銀行頭取の豪語にも拘らず、財政上における英國の地歩が第一次大戰以後に較べて著しく悪くなつてゐることは蔽ひ難い



勃政府に對する休戰條件

ブルガリア代表外相スタイース、藏相ストアース、無任所相テルペンエフ、同ベトコフは去る十月二十六日から二十八日までクレムリン宮において、モロトフ外務人民委員、モスクワ駐劄英國大使クラーク・カーなど米英ソ三國代表と休戰協定について協議したが、二十八日に至り三國の提出した休戰條件を受諾、第三ウクライナ戰線軍最高司令官トルブーヒン聯邦元帥及び地中海方面反樞軸軍參謀長陸軍中將ジェームス・ガンメルが米英ソ三國の委任に基づき、十九條からなる協定に調印した

ソ聯政府の戰利品と化す

右協定成立に關しDNBのストックホルム電報は

ブルガリア政府に對する米英ソ三國を初め反樞軸諸國政府の休戰條約に關し「ブラウダ」紙は三十日の紙上で短評を試みたが、ソヴェト聯邦以外の反樞軸國には一言も言及してをらず、以上の事實に徴してもソヴェト聯邦政府が今回のブルガリア休戰を單にソ勃兩國間だけの事柄と見做してゐることは明らかだ

と報じてゐるが、ブルガリア國內には既に早くから赤軍が進駐、全ブルガリア軍が赤軍第三ウクライナ戰線軍最高司令官トルブーヒン聯邦元帥の指揮下に入り、一月あまり前にブダペストの國際消息筋も米英兩國政府は再びソヴェト聯邦政府に讓歩、ブルガリアとは休戰協定を結ばずにブルガリアをそっくりソヴェト聯邦政府に提出するに違ひないと觀測してゐた程でブルガリアにおけるソヴェト聯邦政府の勢力増大及びブルガリア全國の急速な赤化は衆目の認めるところであつた、今回の休戰條件を契機にブルガリアの赤化に一層拍車がかけられるであらうことは疑問を容れないが、右休戰協定に關しドイツ政府筋は三十日次の通り見解を漏らしたといはれる

ブルガリア政府に對する反樞軸國政府の休戰條件は、さきにフィンランド、ルーマニア兩國政府が止むなく受諾した休戰條件と同様苛酷且つ無情といはなければならぬ、金額は明記してないが、一定の賠償金支拂ひ、赤軍司令部に對するブルガリア軍の引渡し、全輸送機關の讓渡、赤軍司令部の必要とする軍費負擔等何れもブルガリアの自主獨立權を全面的に剝奪するしるしである、今回の休戰條件を受諾した結果ブルガリア政府は最早自發的に行動する自由を失ひ、事に赤軍司令部の命令に従ふ外なくなつた、ソヴェト聯邦政府並びに米英兩國政府に依頼し、せめて名ばかりの獨立だけでも維持しようとしたブルガリア政府の企圖は失敗に終り、獨立を維持するどころか、却つてソヴェト聯邦政府の戰利品となつてしまつた、ブルガリアの運命はここにはつきりと定まつた、即ち、ブルガリアはボルシェヴィズム一色で塗られるだらう、しかして今回の休戰條件は同計畫を急速に實現するための手段なのである

型破りの協定

更に三十日附の「アウスランツ・インフォルマツイオンス・デイーンスト」紙は

今回の休戰協定は相互に殆んど一發も射ち合つたことのない國々の間で締結されたが、この點全く型破りな協定である

と述べて今回の休戰を繞る特異な事情を指摘、ブルガリア軍は嘗つて反樞軸空軍がブルガリア領内を爆撃した折、邀撃して撃退したが、それ以外には現在ブルガリア政府に休戰條件を命令してゐる米英ソ三國軍に對し何等戰鬪行動をとつたことはなく、従つて反樞軸軍はブルガリア軍からは殆んど何の損害も蒙つてゐない、却つてブルガリアこそ反樞軸軍の爆撃及び赤軍のブルガリア進駐により甚大な損害を受けた、今回の休戰條件が據つて立つところのかかる事實を考へると米英ソ三大國政府が一小國ブルガリア政府に押しつけた條件が如何に不均なものであるか一層はつきりとして來る

と休戰條件の苛酷を憤つてゐる

休戰協定の正文

一方はアメリカ合衆國、ソヴェト社會主義共和國聯邦並びに聯合王國各政府、他方はブルガリア政府との間における休戰に關する協定

ブルガリア政府はアメリカ合衆國、聯合王國、並びにソヴェト社會主義共和國聯邦各政府が、ブルガリアと交戰状態にある反樞軸各國すべての利益を代表提示した休戰條項を受諾す、上述の基礎に基づき赤軍最高司令部代表ソヴェト聯邦元帥フエドル・I・トルブヒン及び地中海方面反樞軸軍最高司令部代表陸軍中將J・A・H・ガンメルは一方において反樞軸各國すべての利益を代表するアメリカ合衆國、聯合王國、並びにソヴェト社會主義共和國聯邦各政府によつて十分な權限を付與され、他方ブルガリア政府代表は正當な全權を保持し次の條件に調印した

第一條

A ブルガリア軍は一九四四年九月九日ソヴェト社會主義共和國聯邦に對する軍事行動を停止し一九四四年九月七日にはドイツ國との關係を斷絶したが、その他の反樞軸各國に對しても軍事行動を停止する

B ブルガリア政府並びに軍司令部はブルガリア領土におけるドイツ國の武裝兵力を武裝解除し且つ俘虜として引渡すことを公約する、更にブルガリア政府はドイツ國並びに衛星各國の市民を抑留することを公約する

C ブルガリア政府は反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の指導の下に、反樞軸司令部が定める地上海上、並びに空中兵力を保持し、且つ提供することとを公約する、かかる兵力はあちかじめ反樞軸關係各國の承認を得てからでなければ、反樞軸各國領土内では使用しない

D ドイツ國に對する軍事行動が終焉を告げた曉には、ブルガリア軍もまた反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の監督の下に復員し、且つ平和状態に復歸する

第二條

ブルガリア政府當局は直ちにギリシヤ、ユーゴ

1 スラヴィア兩國の領土から、一九四一年一月一日現在ブルガリアの國籍にあつたブルガリア人を撤退し、且つギリシヤ、ユーゴスラヴィア兩國の領土をブルガリア國に併合あるひは結合するに關聯した法律上並びに行政上の規定を撤回するための手段を講ずる

第三條

ブルガリア政府は軍事情勢に基づき必要とする場合、赤軍その他反樞軸各國に對しいづれの方角たるを問はず、ブルガリア領土内において移動する自由を與へる、ブルガリア政府は右移動に對し陸上、水上、並びに空中における自國の交通機關をもつて、且つ自らの經費において出来る限りの援助を與へる

第四條

ブルガリア政府は直ちに反樞軸軍俘虜並びに抑留市民を悉く釋放する、追つての沙汰があるまでブルガリア政府は自身の經費においてすべての反樞軸軍俘虜、抑留市民、罷免された人々、避難民及びギリシヤ、ユーゴスラヴィア兩國市民に對し十分な食糧、衣服、醫療、衛生上の諸要求、並びにこれらの人々がそれぞれ自國に歸還するため

第五條

ブルガリア政府は市民權並びに國籍に關係なく反樞軸各國のためにする諸活動乃至反樞軸各國の主張に對する同情、または人種的起原或ひは宗教の故に監禁されてゐる一切の人々を即時釋放し、以上の理由に基づくすべての差別的法制並びに諸制限を撤廢する

第六條

ブルガリア政府は戰爭犯罪人の逮捕並びに審問につき協力する

第七條

ブルガリア政府はブルガリア領土内において、反樞軸各國に對する敵對宣傳を遂行してゐる政治的、軍事的、非軍事的、或ひはその他のファシスト的形態の諸組織を、ヒトラー支持たると支持たならざるとを問はず、すべて即時解散、且つ將來においてもかかる諸組織の存在を許さないことを公約する

第八條

定期並びに不定期文獻のブルガリア國內における印刷、輸入、配布、演劇並びに映畫の上映、放送局、郵便、電信、電話の運営はすべて反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の合意に基づいて遂行する

第九條

ブルガリア政府はギリシヤ、ユーゴスラヴィア兩國を含む反樞軸諸國及び市民の財産をすべて返還し、更にギリシヤ、ユーゴスラヴィア兩國を含む反樞軸諸國が戦争により蒙つた損失並びに損害に對しては追つて決定される如く賠償する

第十條

ブルガリア政府はブルガリア國內における反樞軸諸國並びに反樞軸諸國民の一切の權利及び利權を復舊する

第十一條

ブルガリア政府は反樞軸管理委員會の指示する期間内に、戦争中反樞軸諸國の領土内から撤去した國家、公共並びに協同組合各組織、企業、團體乃至個人、市民等に所屬する一切の有價物件並びに資料例へば工場並びに工業所施設、機關車、鐵道の車輛、トラクター、自動車、歴史的記念物、博物館内の貴重品その他の物資は完全に良好な保存状態において、ソヴェト聯邦、ギリシヤ、ユーゴスラヴィア兩國、あるひはその他の反樞軸諸國に返還することを公約する

第十二條

ブルガリア政府はブルガリア領土内に存在するドイツ國並びに衛星各國の一切の軍需器材、及びブルガリア水域に碇泊するドイツ並びに衛星各國の艦隊の艦船を反樞軸軍（赤軍を含む）司令部に鹵獲品として提供することを公約する

第十三條

ブルガリア政府はドイツ、ハンガリア兩國に所屬し、乃至兩國人もしくは兩國の領土内、または兩國によつて占領されてゐる地域内に居住する人人に所屬する貴重品、通貨、その他、いかなる形式の財産の輸出または没收も反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の許可なくしては、これをしないことを公約する、更にブルガリア政府は、反樞軸軍管理委員會の指示する方法に従つてかかる財産を保

障する

第十四條

ブルガリア政府は、現在何人の處分權限に屬するとを問はず、反樞軸各國に現在または嘗つて所屬し、現在ブルガリア諸港灣に所在する船舶を、ドイツ、ハンガリア兩國に對する戦争期間中、反樞軸各國の全般的利益のために、反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の供用に供することを公約する、爾後これらの船舶はそれぞれ所有主に返還するものとす、右資産を反樞軸軍（赤軍を含む）司令部に引渡す瞬間まで、資産に對するあらゆる損害並びに破壊に關しては、ブルガリア政府が全面的に實質的責任を負ふ

第十五條

ブルガリア政府は反樞軸軍（赤軍を含む）司令部が、その機能を遂行するにあつて必要とするブルガリア通貨を定期的に支拂ひ、必要ある場合反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の發令する指令に基づき物資（燃料、食料等）諸施設、及び諸勞務を提供する

第十六條

ブルガリア商船はブルガリア水域におけると外國水域におけるとを問はず、反樞軸各國の全般的利益に使用するため、反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の運営支配をうけるものとす

第十七條

ブルガリア政府は媾和條約の締結まで反樞軸軍（赤軍を含む）司令部が發令する指令に基づき、必要に應じブルガリア領土内における工業上、輸送上の諸機關、通信機關、發電所、公共事業並びに同施設、貯藏燃料及びその他の物資の使用を保障する

第十八條

媾和條約の締結まで反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の全般指導と命令との下に、反樞軸各國を代表して今回の條項の履行を統制し、且つ管理するために、ブルガリア領土内に、反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の代表を會長とし、赤軍司令部代表及びアメリカ合衆國の代表を交へた反樞軸管理委

員會を設置する、休戦協定が有効になつてからドイツ國に對する軍事行動停止までの期間には、反樞軸管理委員會は反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の全般的指圖を受けるものとす

第十九條

本條項は署名の瞬間より效力を發生する、各英語、ロシア語、及びブルガリア語をもつて四通を作製し、英語並びにロシア語を正文とす、一九四四年十月二十八日、アメリカ合衆國、聯合王國、ソヴェト社會主義共和國聯邦各政府の權威により並びにブルガリア政府の權威によつてモスクワにおいて調印する

附屬文書

アメリカ合衆國、聯合王國、並びにソヴェト社會主義聯邦各政府及びブルガリア政府の代表は次の通り意見一致せり

一、右休戦條項第九條に關聯し、ブルガリア政府はブルガリア軍の侵入によつて被害を蒙つたギリシヤ並びにブルガリア兩國領土内における入口を救済するため、即時一定量の食糧を提供するものとす、送達されるべき各生産品の分量に關しては、以上三箇國政府の間の同意により決定され、ギリシヤ及びユーゴスラヴィア兩國が蒙つた損失並びに損害に對するブルガリア政府の賠償の一部と見做す

二、第十二條において使用された「軍需器材」なる言葉は、軍事的と非軍事的とを問はず、敵の軍隊及び軍隊を構成する兵員が所持し、使用し或ひは使用せんとしてゐた物資及び裝備を一切含むと見做さるべし

三、休戦條項第十四條に基づいてブルガリア政府が讓渡した反樞軸軍(赤軍を含む)船舶の反樞軸軍(赤軍を含む)司令部による使用、及び以上船舶を所有主に返還する期日の問題は、關係反樞軸各國政府並びにソヴェト聯邦政府との間で協議、解決されよう

四、休戦條項第十五條を適用するに當り、ブルガリア國內における聯合王國並びにアメリカ合衆國各政府代表の必要に應ずるため、聯合軍(赤軍を含む)司令部は更にブルガリア通貨、補給物資、勞務その他に關し、臨機應變の處置をと

るやう手配する

(註) 右附屬文書は、一九四四年十月二十八日、以上三箇國各政府代表モスクワ駐劄アメリカ合衆國代理大使ジョージ・D・ケナン、ソヴェト社會共和國國務人民委員第一次官アンドレイ・ヤヌアリエウイチ・ヴィシンスキー、及びモスクワ駐劄英國大使サー・アーチボールド・クラーク・カイによりモスクワにおいて調印されたり

八月中の米餘剩軍需資産

「ファイナンシアル・ニューズ」紙

十月十一日特電

前米國餘剩軍需資産處分局長官クレイトン言明
八月中に政府の四機關によつて處分された餘剩軍需資産は二千七百八十一萬五千弗に達し、七月に比して一千百三十六萬弗の増加を示してゐる、この八月の數字のうちには他の政府機關に賣拂つた資産三百二十六萬二千弗が含まれてゐる、資産額を各處分機關別にみれば次の通りである

總額 二七、八一五、〇〇〇弗
內譯

復興金融會社	一七、九五四、〇〇〇
財務省	九、〇六八、〇〇〇
戰時食糧局	五六三、〇〇〇
海軍委員會	二三〇、〇〇〇

處分された資産は全餘剩資産の約七・四%であつた、また處分された資産は原價の七二%の價格で賣拂はれた、陸軍省の發表によれば同省の現在保有する餘剩軍需資産一億三千萬弗のうち主な品目は航空機用タイヤ、自動車部品、建築資材、鋼鐵罐、金物類などである、政府機關は六億九千百萬弗の軍需資産のうちどれだけを餘剩といひ得るか目下考慮中であるが、そのうち、三億九千七百萬弗は陸軍省の資産であり、残りの二億四千四百萬弗は國防工場建設會社の資産である、この資産の大半が處分機關に廻されるならば餘剩軍需資産と認められるものはほとんど十億弗に達するものと見られてゐる

昭和十九年十一月九日(木)
第三二三五號

同盟通信

海外電報

(257)

【目次】

大統領選舉投票開始	二六三四
重慶の内政干渉を許さず	二六三五
英本國の軍管區改編	二六三五
モイン事件にチャール聲明	二六三五
モイン暗殺の目當は英政府	二六三五
流星彈攻撃を懸念	二六三五
【反樞軸陣營】	
三國油田會議開催か	二六三六
援ソ物資ダーダネルス經由	二六三六
フランス軍引揚げか	二六三六
米軍戰術航空隊を新設	二六三六
伊戰線の反樞軸軍損害	二六三六
【重慶】	
軍需工業計畫の實行	二六三七
【英國】	
西葡瑞を除外せよ	二六三七
輿論は武力行使を支持	二六三七
【米國】	
最後の選舉豫想	二六三八
ルーズヴェルト訪歐せん	二六三八
國際通商會議	二六三八
ネルソン、佛ソ兩國も訪問	二六三八
【米洲】	
米洲ブロックを結成	二六三八
【ソ聯】	
機關紙、ルーズヴェルト支持	二六三八
食糧極度に不足	二六三八
【スイス】	
ソ聯の一號に政界衝動	二六三八
佛西兩國から隔離	二六三八
【北阿】	
エヂプト政府聲明	二六三九
暗殺犯人はユダヤ人	二六三九
【ドイツ】	
歐洲内郭要塞は不動	二六三九
【西亞】	
紛争解決に代表派遣	二六四〇
イラン政府の危機具體化	二六四〇
【東南歐】	
休戰協定の不履行を責む	二六四〇
【特輯】	
財政・政治・國民生活(中)	二六四〇—二六四三
【資料】	
英白銅貨協定全文	二六四四—二六四六
米國議會制度改革問題再燃	二六四六—二六四七



六日夜モスクワ市ソヴェトで行はれたスターリン議長長の「十月」革命二十七年記念演説で特に注目を惹くポイントが二つある、一はドイツに對する政策だ、昨年の革命記念演説ではスターリン議長は「ドイツ國防軍を完全に殲滅することはソ聯の任務でないが、ヒトラーの軍隊を殲滅することは赤軍の任務である、ドイツ國民を殲滅することは出来ないが、ヒトラー一味を殲滅することは出来る」と言明、ナチと一般ドイツ國民とを明確に區別する態度を明らかにして各方面に多大の反響を捲き起したが、今年の演説では軍事、政治、經濟的にドイツを完全に武装解除する必要を強調して、對獨政策に大轉換を示した、即ち以上の主張はヒトラー政權の完全変除ばかりでなく一步進んでドイツそのものの國家的存在を許さぬといふことで、米國のモーゲンソー案と全然軌を一にするものである、米國の「タイム」誌などはソ聯がドイツを米英に對する「逆防疫線」と化するため、強力なドイツを希望し、寛大な媾和を意圖してゐると取沙汰してタス通信に猛烈な竹箒返しを喰つたが、スターリン議長長の演説にみられる限りでは、ドイツ全國民は最後の主張たる人間の權利を擁護し中世紀的支配に抗してあくまで戦ひ抜かなければなるまい、スターリン議長によればソ聯國民がドイツを憎惡するのは「人が狼を殺すのは、狼が灰色だからでなく、羊を喰ひ殺すからだ」といふことだが、どちらが羊でどちらが狼であるかは時が解決するであらう、スターリン演説で注目すべきもう一つのポイントは獨ソ開戦以來初めて日本を公然と「侵略國」呼ばはりして、ドイツと同じ取扱ひをする必要を示唆したことで、これまたソ聯對日政策の大轉換を意味するものといへよう

大統領選舉投票開始

(リスボン七日發) ニューヨーク來電ニ大統領選舉投票は東部戰時標準時七日午前六時から東部諸州を皮切りとして全米にわたり開始された、この日ロツキー山地方の一部が豪雨に見舞はれてゐる以外は全米を通じて好天候が報ぜられ、投票者の出足よく、ニューヨーク市のブロンクス、マンハッタン地區では午後三時までに登録有権者の六十五乃至七十パーセントまでが既に投票を終つた、小選舉區のうちでは早くも登録有権者全部が投票をなし結果の判明したところがあるが、現在までのところ大體民主、共和兩黨の地域的勢力に應じた結果を示し、例へば民主黨の地盤たる南部ノース・カロライナ州の一選舉區では全有権者の投票二十一票が悉くルーズヴェルトに投ぜられたのに對し、共和黨の勢力が強いマサチューセツツ州の一選舉區ではデュウイが二十八票を得たのに對しルーズヴェルトは八票を得たに過ぎない

一方ルーズヴェルト、デュウイの兩候補は六日夜前者はニューヨーク州ハイド・パークの私邸から、後者はアルバニーのニューヨーク州知事官邸からそれぞれラジオを通じて最後の簡單な選舉民への懇へを放送したが、七日にはルーズヴェルトはハイドパークの選舉區で彼の一票を投じ、またデュウイは七日正午過ぎニューヨークに至り彼の選舉區で投票を終へた後「ルーズヴェルト・ホテル」で選舉の結果を待つてゐる、選舉は各地戰時標準時午後九時をもつて大體終了する筈である

重慶の内政干渉を許さず

(リスボン七日發) スチルウェル將軍の召還については米國の新聞界は元重慶特派員を總動員して米國に有利な報道を頻りに流布してゐるが、重慶政權は一切の論評を抑へ黙殺の態度を示してゐる但し七日に至りロイター支局長趙敏恒は内政干渉を斷乎拒否する蔣介石の決意を傳へ次の通り述べてゐる

重慶政權は今回の事件について一切の解釋、論評を差止め完全な沈黙を守つてゐる、スチルウェル將軍の出發前も米國政府が同將軍の召還を發表

した後も米國各紙が種々臆測を掲げた後も終始一貫以上の方針を堅持して渝らない、戰爭してゐながら論争に耽つても何等得るところがないといふのが重慶の立場だ、従つて重慶各紙は全然批判を加へず當局も共同會見で何遍質問が出ても一切言明を拒否してゐる、ただ外交部長宋子文が重慶政權の立場を闡明しただけだ、具體的な意見の相違や個々の事件を報道出來ぬので米國の新聞界で傳へられたところに對して満足な方法で應酬することは出來ないが一般的な背景を傳へれば情勢を理解するのに役立つだらう

蔣介石の考へと行動とは日本軍に對する抗戰と戰後中國を世界的強國とするといふ支配的政策を基調としてゐることは何人も否定出來ぬところだ米國人に對する蔣介石の感情は當然あくまで友好的で時にあまりに友好的だと非難される位だ、何時でも米國人と協力する用意あることはビルマ地方における重慶軍をスチルウェル將軍麾下に入れ支那における米軍を援助するため例へば飛行場の建設とか住宅、食糧、情報の提供等に重慶政權並びに各地方の政權が出来るだけの便宜を圖つてゐることでも知れよう、更にビルマ公路を初め西南支那の公路輸送を監督するために米國人の顧問を任命し共產地區には米軍の代表が駐在するのを許してゐる位だ、しかし同時に蔣介石は原則上の問題では一步も譲らない、中國の内政に對する外國の干渉企圖は絶対に容認しない、勿論友好的な忠告や建設的批判を容れるに吝でないが、外國からの壓迫には形式の如何を問はず、絶対に屈服しない

中國の完全な獨立と失地の回復が然らずんば無といふ蔣介石の立場には妥協の餘地がない、共產黨との關係について種々批判をきくが蔣介石は極めて明確に中國には一政府一軍隊が存在するだけで別個獨立の政權乃至軍を許さぬといふ態度だ、米國人が自國內で容認しないことを重慶に押しつけようとしてゐるのを重慶は嫌惡してゐる、米國人は共產黨に對し重慶の指令に聽従することを勸告せず却て重慶を攻撃してゐる、かくては共產黨を煽てて國共の合作を阻害するにほかならない嚴格にいつて、重慶政權は民主主義ではない、し

かし目下訓政期にあることは重慶の自ら認めるところである、國民の大半が目に一丁字なく國土の大半が占領されてゐる際一夜にして徹底的な變革を遂げることがどうして出来ようか、三ヶ月前蔣介石は檢閱を緩和したが外國からの非難の波狀攻撃は中國人の感情を害したに過ぎない、重慶政權が反動化してゐるとの非難が當つてゐるとすれば責任の大半は外國の批判に歸せられねばならない

英 本 國 の (リスボン六日發) ロンドン
來電 英國陸軍省は十月三十
日次の人事異動を發表した

中將 ケネス・アンダーソン
任東アフリカ方面軍總司令
中將 アラン・カニンガム

任東部軍管區司令

少將 バックナル

任北アイルランド地區司令

陸軍省は右人事に關聯しさらに次の通り發表した歐洲大陸に對する順調な攻撃開始に由來する戰略的諸條件の變化及び司令部人員節約の必要に鑑み、陸軍最高會議は英本國內各軍管區の編成替を決定した、就中、東部軍管區及び東南部軍管區を統合して東部軍管區とし、十二月一日から實施する、東南部軍管區は元來、英本國に對するドイツ軍侵入の脅威急迫下に創設された、南部軍管區はオルダーショット地區をその管下に吸收する、更に各軍管區の從屬の司令部の數も相當削減する

モイン事件にチャーチル聲明

(ストツクホルム七日發) ロンドン來電 英國首相チャーチルは七日下院においてモイン暗殺事件に關し次の通り聲明した

モインの暗殺に關しては犯罪の背後關係を突き止めその動機を知る手掛りとなるやうな情報はまだ公式には受けてゐない、エジプト政府の聲明によれば犯人はエジプト人でないといふことだが、犯人並びに最近エジプトを訪れた外國人の身許を徹底的に調査する手筈となつてゐる

モイン暗殺の (リスボン七日發) エキスチ
目當ては英政府 エンジ通信のカイロ電報は英
西亞常駐相モインの暗殺事件
に關し七日朝次の通り報じてゐる

モイン卿の暗殺は彼個人を狙つたとみるよりは寧ろ英國政府を對象としたものと解すべきであらう、犯人は慎重に準備を進めてゐた様子で、數日來モインの官邸を監視し、五日の夜には既に邸内に忍び込んで潜伏してゐたものと思はれる、二名の暗殺犯人は兇行後匿しておいた自轉車に跳び乗つて逃走を企だて、銃聲を耳にした英國救護自動車の運轉手が行手を遮切つたが失敗に終つた、しかしながらエジプト人の警官が自動自轉車で追跡し、ナイル橋の數歩手前で漸く犯人を取り押へることが出来た、群衆は犯人を私刑にしようとして試みて擧めいたが警官隊が到着して群衆を鎮壓大事に至らずに済んだ、當局は既に犯人の訊問を始めてゐるが、犯人が頑強に口を噤んでゐるため、いままでのところ兇行の動機も、もしありとすればその背後關係も全然判明しない

流星彈攻撃を懸念

(リスボン七日發) ワシントン來電 米國陸軍省並びに海軍省は七日夜共同で次の聲明を發表したフランス北岸並びに低地國における基地破壊の後にもドイツ軍が英本國に對し流星彈攻撃を加へてゐる現狀に鑑み、ドイツ軍が米洲に對しても流星彈攻撃を加へることが出来るかどうかとの問題が提起されるに至つたが右攻撃は全く可能である、或ひは沖合に碇泊する潜水艦から流星彈を發射することも出来ようし大西洋を過り潜水艦で操作される長距離爆撃機の挺身的片道飛行で流星彈を發射することも出来よう、更にカタパルト使用の飛行機母艦を利用し發射することも出来るかと考へられるから米軍においては米洲に對する流星彈攻撃に備へ相當の防衛策を用意した、もつとも流星彈攻撃は米國民の戰爭努力を一段と刺戟強化するだけで軍事上には大した効果はあるまい

【反樞軸陣營】

三 國 油 田

會 談 開 催 か

(ストックホルム五日發) ロンドンのUP電報によれば、英國政府はイランの石油利權問題を繞る紛争處理のため米ソ兩國との會談を要望してゐると傳へられるが、「タイムズ」紙も三日の紙上に社説を掲げ「イラン政府の疑念を深めることなしに紛争を處理するため」米英ソ三國の交渉を主張してゐる

援ソ物資ダー

ダネルスを経由

(ストックホルム五日發)「ニューズ・クロニクル」紙のニューヨーク特電によれば、モスクワ會談の結果、米英兩國からソヴェト聯邦への援助物資は今後イラン經由を取止めダーダネルス海峡經由に決定したといはれる、右決定に基きソヴェト政府はオデツサその他黒海の各要港の施設修理に着手してゐるが、米英兩國政府もトルコ政府と交渉を開始してゐる

フランス軍

引 揚 げ か

(マドリッド六日發) マドリッド外交界の消息によれば、ド・ゴール政権は、フランス國內の治安維持といふ緊急な必要を理由にイタリア戦線に参加してゐるフランス軍を解放するやう反樞軸軍最高司令部に要請、反樞軸軍は既に右の要求を容れたと傳へられる

米軍戰術航

空 隊 を 新 設

(リスボン六日發) パリ來電 反樞軸軍最高司令部は六日米佛兩國聯合の戰闘機隊、爆撃機隊並びに中型爆撃機隊をもつてフランス駐屯米軍戰術航空隊を新設する旨發表した、航空隊司令官には第九陸軍航空部隊司令官少將ラルフ・ロイスが任命されたが、同隊はデヴァース麾下の第六軍に協力する豫定である

伊 戰 線 の 反

樞 軸 軍 損 害

(リスボン四日發) ローマ來電 地中海方面反樞軸軍司令部は四日の戦況公報において反樞軸軍が五月十一日カッシーノ作戦開始以來、現在までに合計十一萬六千五百五十名の死傷者を出した旨發表した

【重 慶】

軍需工業計畫の實行

ネルソン再度訪問の使命

(リスボン七日發) ワシントン來電 前軍需生産局長官ドナルド・ネルソンが再度重慶を訪問する使命につき「ワシントン・ポスト」紙は左の通り論じてゐる

重慶の經濟的窮境は日本の嚴重な封鎖と鰥昇りのインフレーションの結果深刻となつてゐるが全く絶望といふわけではない、重慶は長い歴史で再三示した通り回復力を持つてゐるだけでなく、その經濟の原始的な性格はもつと高度に工業化された國家なら崩壊してふ様な衝擊に對して對應することに役立つてゐる、しかし支那の經濟的後退は同時に物質的に戦争努力を妨げた、かくて重慶がネルソンの重慶復歸を要請し彼は重慶の軍需工業の發展を援助するため専門家の一團を帶同することになつたのは意を強くする措置だ、これは蔣介石側が重要な事項について米國の勸告と援助とを受け容れる用意のあることを示唆するのみでなくネルソンの側では重慶に屬する重要な原料資材、工作機械その他の必要物を注入することが甚だしく掣肘を受けてゐるにも拘らず、重慶の軍需工業は擴張が可能だといふ信念を持つてゐることを示すものだ、重慶の軍需生産は官僚的隘路の除去や技術上の簡單な改良によつてさへも、五十パーセント擴張が可能だと推定してゐる

専門家筋では重慶の鐵鋼生産は技術の改善で恐らく二十パーセント擴張出來るとみてゐる、重慶の總生産額は米國に比べて未だ小さいが、この擴張は軍隊にとつて大いに利益とならう、重慶軍は海外から送り込まれねばならぬ重砲が不足してゐるのみでなく、自軍の需要に十分な量を生産し得る筈の小型武器の十分な供給さへ不足してゐる状態だ、彼の新しい使命はこの計畫を實行に移すことに違ひない

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【英 國】

西 葡 瑞 を 除 外 せ よ

(ストツクホルム六日發) ロンドン來電「ソヴェト政府はさきに目下米國のシカゴで開催されてゐる反樞軸航空會議にソ聯に非友誼的なスペイン、ポルトガル、スイス三國が出席してゐるとの理由でその参加を拒否したが、六日の下院で一議員から「ソ聯の参加を實現するために、右三國を航空會議から除外しては如何」との提案が行はれた、これに對し副首相アトリーは「航空會議の招請國は米國だから、かかる措置は米國政府のとるべきことだ」と答辯した

輿論は武力 行使を支持

(リスボン六日發) ロンドン來電「ニューズ・クロニクル」紙十月三十日號は次のやうに報じてゐる

「戦後反樞軸諸國は侵略國に對して武力を行使すべきか否か」といふ質問で英國社會各層の輿論を調査したところ、これに對する解答は、賛成七十七%、不賛成十%、未決定十三%となつた、しかしして男女別では賛成、男八十四%に對し、女七十%で女性の武力を嫌ふ傾向を示してゐる、貧富の別では、上層階級に賛成者が多く下層階級に少ないが、これは下層階級が武力行使に反對してゐるといふわけではなく、意見の決定しない者が多いためである、次に「英國は武力行使を單獨に決定する自由を保持すべきかあるひは他國と協議の上採決すべきか」といふ質問に對しては、自由を保持せよ二十三%、協議せよ六十三%、未決定十四%となつた

【米 國】

最 後 選 舉 豫 想

(リスボン六日發) ニューヨーク來電「大統領選舉はいよいよ明七日に迫つたが、六日に發表された各種の輿論調査はいづれもルーズヴェルトが優勢を示した、即ちギャラップの調査によればルーズヴェルト五一・五、デュウイ四八・五となり、また「フオーチュン」誌の調査によればルーズヴェルト五三・五、デュウイ四六・五を

示した、更に「ニューヨーク・タイムズ」紙の調査によるとルーズヴェルトが選舉人總數五百三十一のうち三百三十二を得ることとなつてゐる

ルーズヴェルト

(リスボン六日發) ワシントン來電「米國政府は五日ド・

訪 歐 せ ん

ゴール政權が大統領ルーズヴェルト及び國務長官ハルに對しパリを訪問するやう招請した旨發表したが、政界消息筋はハルはいざ知らずルーズヴェルトはこの招請を受諾してフランスを訪問することとなるべく、彼はこの機會を利用して歐洲各地をも訪問、更にスターリン議長及びチャーチルとも會談することになるだらうと觀測してゐる

國 際 通 商 會 議

(リスボン六日發) ニューヨーク來電「國際通商會議は十日からニューヨークで開かれるが、五日バラグワイ政府が参加を決定したので參加國は五十二ヶ國となり代表三百五十餘名は將來の國際貿易について討議する豫定である

ネ ル ソ ン

(リスボン六日發) 「デイリ

佛ソ兩國も訪問

ー・エキスプレス」紙ワシントン電によれば、ルーズヴェルトの特使として再度重慶を訪問する前軍需生産局長官ドナルド・ネルソンは重慶訪問の途次フランスとソ聯を訪れることになつた、その任務の一部はフランス、ソ聯等について工業上の調査をして大統領に報告することにあるといはれる

【米 洲】

米洲ブロックを

(リスボン六日發) シカゴ來電「反樞軸航空會議出席の米

結 成

洲十九ヶ國代表は一致して米

國提案の「中間航空評議會」設置案に反對を表明したが、これ等諸國は航空會議において今後共同動作に出るため十九ヶ國代表からなる團體を組織總裁にはメキシコ代表フエドロ・チャバ、副總裁にブラジル代表ハーネマン、書記にキューバ代表ルイス・マチヤドを任命した、この團體は既に米國案に代る彼等自身の「中間航空評議會」案を會議に提出する旨聲明を發してゐるが、マチヤドの發表によればこの代案は十九ヶ國政府の承認を得るため既に各國の首都に發送されたといはれる

【ソ 聯】

機關紙、ルーズ

ヴェルト支持

(モスクワ六日發) ソヴェト政府機關新聞「イズヴェスチヤ」紙は六日米國大統領選舉に關し次の論文を掲げた

今回の米國大統領選舉でルーズヴェルトの當選は略々確定したと見てよからう、なぜなら選舉戰の經過がはつきりと示したやうにデユウイは米國民の支持を受けてゐないからだ、デユウイはハミルトン・フィッシュとかジェラルド・スミスとか米國の敗北主義者や孤立主義者とは全く關係ないことを頻りに強調したが、デユウイの支持者、財政援助者達がフアシストの同情者であることは隠れもない事實だ、共和黨は形勢の非なるを見て、共產黨によつてデユウイの暗殺計畫が企まれたとの噂を流布したといはれるが、これこそ最後の土壇場に迫つてからの共和黨の卑劣な「陰謀」である

食糧極度に

不足

(リスボン六日發) ワシントン來電「米國戰時食糧局次長ラルフ・オルムステッドは最近英ソ兩國の食糧事情を視察して歸米したが、六日次の通り述べた

ソ聯の食糧事情は信じられぬほど困難であり、ソ聯は歐洲戰終了後少くとも三ヶ年は米國からの食糧輸入を必要としよう、殊に明年は船腹の許す限り米國の全輸出食糧をソ聯に供給しなければならぬかも知れぬ

【スイス】

ソ聯の一蹴に

政界衝動

(チューリッヒ六日發) ソヴェト政府が國交確立に關するスイス政府の申入れを一蹴したことは、スイス政界筋に深刻な衝撃を與へ新聞界は六日の紙上に一齊に論評を加へてゐるが「ノイエ・チューリッヒアー・ツァイツング」紙はソヴェト政府今回の措置によつて東方の怪物と殘りの世界との關係形成が極めて深刻な問題と

なつたことが確認されたと述べてゐる

佛西兩國

から隔離

(チューリッヒ六日發) フランス駐屯米軍司令部は郵便物を積載したスイスの貨物自動車及フランスを通過してスペインに入國しようとしたのを拒否したが、「ジュルナル・ド・ジュネーヴ」紙の報道によれば米軍は今回スイス・スペイン兩國間の運輸一切を當分の間禁止するに至つたと傳へられる、ドイツ軍の撤收後スペイン、スイス兩國間の鐵道が再開されて以來、最初のスイス輸出品四百五十トンを積載した貨物列車は米軍の指令によつて國境都市ベルガルドで停滯、スペイン向け貨物を積んだ貨物自動車四臺もフランス國境に停滯してゐる、スイス政府は禁令解除を期して米軍司令部と交渉したが效なく、一時的にせよスイスはイベリア地方から完全に孤立し、大陸以外とスイスとの運輸連絡は一切杜絶するに至つた、米軍はベルフォールに對する攻勢開始の準備として軍機保持の見地から以上の措置をとるに至つたと解される

【北 阿】

エジプト

政府聲明

(リスボン六日發) カイロ來電「モイン狙撃事件の報道を接受するとともにエジプト政府は六日夜緊急閣議を開催、閣議後首相マヘール・パシヤは陸軍病院にモインを見舞つた、同時にカイロ放送局から

犯人二名は平服を纏ひ拳銃を所持してゐたが警官隊が現場で逮捕した兩人ともエジプト人でないと特に發表した

暗殺犯人は

ユダヤ人

(リスボン六日發) 英國西亞常駐相モインの暗殺犯人の國籍、犯行の動機、背後關係等についてはいまだ正式發表は全然なく一説にはエジプト人ともいはれ一切が謎に包まれてゐるが、カイロ來電によれば英中東軍司令官バーナード・バイヴェットは六日犯人がユダヤ人である旨明かにしたといはれる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【ドイツ】

歐洲内郭要塞は不動

(ベルリン六日發) 新聞長官代理ヘルムート・ズンダーマン氏は六日外人記者團との會見席上、歐洲戦局の現状を説明し、歐洲内郭要塞の防禦態勢はすでに完璧であり、絶対に反樞軸軍の侵攻を許さぬ旨次の通り述べた

反樞軸側の發表によれば、反樞軸軍は本年中に戦争のけりをつけるはずであつた、しかるに彼らの計畫は實現せず、彼らの攻勢はドイツの國境で膠着した、他方ドイツ國內では偉大な軍事的、政治的及び組織上の強化工作が採用されドイツの抵抗力を強化した、最近までドイツの支配下にあつた廣大な地域が敵の手に委ねられたが、ドイツは歐洲内部の防禦に十分な兵力を擁してゐる、各戦線におけるドイツ軍部隊の頑強な抵抗によつてドイツは「時」を稼いだが、この時こそドイツにとつて決定的重要性を有してゐる、この時を利用して數百萬の國民突撃隊が訓練され、兵器の技術的改良が完了した、反樞軸の秋季攻勢はいまや終りに近づきつつある、勿論、反樞軸は冬季攻勢を企圖するだらうが、その成果はこれまでの諸攻勢の結果と異なるところはないであらう、反樞軸は冬季攻勢の後に春季攻勢を、更にその後にもいくつかの攻勢を續けるかもしれないが、いづれにせよ反樞軸軍はドイツ國內において不屈の防禦力が増大してゐる限り、歐洲内部要塞が粉碎乃至征服されることは決してないといふ結論を見出すであらう

【西 亞】

紛争解決に

代表 派遣

(リスボン五日發) テヘランからのタス電報が報ずるところによればイラン政府はソヴェト政府との石油紛争を解決するためモスクワにパネー・ザンド將軍及び外務次官ホマイ・ウンヂヤの兩代表を派遣するに決定したといはれる

イラン政局の

危機具體化

(リスボン六日發) 油田を繞るソヴェト、イラン兩國間の紛争は更に深刻化しパルス通信社の報道によれば米英大使は相次いで首相モハメド・サエドを訪問し、また國會は會期を繼續して交渉経緯につき報告を受けてゐると傳へられるイラン北部地區においては各紙とも内閣の總辭職を要求してゐるがサエド首相は依然強硬な態度を堅持してゐる様子だ

【東 南 歐】

休戦協定の

不履行を責む

(リスボン五日發) ブカレスト來電に休戦協定履行監視委員會の副委員長ヴィノグラドフは四日に至りルーマニア政府に次の覺書を提出した

休戦協定の調印以來ルーマニア政府が各條項の効果的履行を開始するに必要な時日は既に経過したが、かかる措置が未だ全然とられてゐないのはルーマニア政府において休戦諸條項を履行する意思がない結果と解する他はない、ルーマニア政府が遅滞なく公約を履行する措置を講ずることを要求する

覺書は各條項についてルーマニア政府の不履行を責め

一、在留ドイツ人、ハンガリア人の抑留が手緩いこと

二、在留ロシア人のソヴェト聯邦歸還を阻害してゐること

一、第八條に基づきドイツ人、ハンガリア人の所有財産を沒收することになつてゐるが、ルーマニア政府の措置が不徹底なため貴重な資産が國外に逃避してゐること

一、賠償支拂ひについては十月下旬委員會の警告があるまでルーマニア政府が何等の措置をも講じなかつたこと
等を指摘してゐる

財政・政治・國民生活(中)

——戰時英國の諸斷面——

長谷川才次

政界一大轉機に直面

英國政界が今故チエムバーレン首相挂冠當時に似た一轉機に當面してゐるらしい、ロイター通信社は最近週間政局欄でつぎの通り報道してゐる「政治的噴火の鳴動がここ數週間逐次強くなり、英國の聯立内閣機構が近く崩壊するのではないかを想はせる、戰爭に勝つたといふ氣持と總選舉熱に浮かされて政黨の大同團結は非常のやむを得ない事態で、平常時における英國の政治哲學からは許されぬとの意見が漸次有力化するに至つた、總選舉となれば保守黨、自由黨、勞働黨の三巴戰となるだらうが、革命的な政綱が出て來さうにもない、各派とも目下提出されてゐる一大社會改革案を自黨のお手柄として宣傳するに違ひない、在野勞働黨は保守黨の領袖に戰後經營の能力なしと斷定し、いよいよ總選舉となれば勞働黨が勝利を収めるばかりでなく、下院に過半数を制して後繼内閣を組織することとなると確信してゐる、自由黨は政權を當てにしてはゐないが大いに立ち直ることが出來ると期待してゐるらしい、國際的の觀點からすれば總選舉の主要題目は英國の輸出貿易回復と新市場の開拓だ、今度の戰爭が終了する場合英國には生産力以外殆んど何らの資産も残らない戰爭で英國は米洲における資産を蕩盡して了つたいはゆるみえざる輸出は今やみえぬばかりでなくさはることも出來なくなつて了ひ、逆に有力な債權各國を相手にしなければならぬ」

總選舉氣構へ濃厚

總選舉氣構へがチャーチル首相の施策にたいする不満を反映してゐるのか乃至實質的にどの程度まで根強いかははつきりしないが、「エコノミスト」誌やその他英國新聞界最近の報道には政局の

轉機が案外間近に迫つてゐるのではないかと想はせる點が多い、順序として「ニューズ・クロニクル」紙ギャラツプ輿論調査所の結果をつぎに掲げよう

「ドイツ軍が敗退するや否や總選舉を施行するか日本軍が敗れるまで待つか」といふ全くの皮算用を基礎とした質問だが、回答のうち二八%まではドイツ軍が敗退した時と述べ、五七%までが日本軍も敗れた時、残り一五%はわからないといふ返事だ、大體中産階級以上が早く總選舉を希望してをり、即ち上流層では三八%までが歐洲戰爭が片付き次第總選舉を主張してゐるに反し、一般層での比率は二五%となつてゐる」

歐洲戰爭についても最近では年末までに片付くなどといふ考へが米英兩國内でも段々流行らなくなつてゐるのだから、以上輿論調査の結果だけでは總選舉が間近といふ結論はでて來ないが、機運としては總選舉氣構へが非常に濃厚だとみて差支へないやうだ、可成り煩雜に亘るけれども九月以降總選舉に關する英國言論界の主な報道を次に紹介しよう

「エコノミスト」誌九月九日號「次の選舉」「歐洲戰

争が片付けば總選舉を果して施行するか、何時施行するかといふ問題が直ぐ起つてくるといふのが一般人が共通に考へてゐるところだ、しかし各地方自治體に對しては内務省は年内に總選舉はないといふ想定で仕事していいと通告してゐる、しかし總選舉を施行するかどうかを決定するのは内務省の權限ではないのだから、かかる通告は少くとも驚いた話だといへよう、歐洲戰爭が終れば副首相アトリーその他勞働黨出身の閣僚が依然聯立内閣に留任してしかるべきや否やを勞働黨にお伺ひを立てねばならぬのだが、唯今の徴候ではかかる許可はでさうもない、しかし反對に憲法上からいつて、かく急激に議會を解散することが必要か乃至望ましいかを決定するのは首相の決定するところであり、且つ専ら首相だけの決定に俟たねばならない、ところがチャーチル首相は民意を問ふ各派共通の題目として「いいホームと就業」といふ看板を掲げてゐるから、政黨政派に捉はれない總選舉を早く施行せねばならぬやうに思はれる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便特許受)

チャーチル首相は明らかに以上の政綱が、いづれか聯立内閣によつて實施されるのを豫想してゐる、しかし問題は現在の聯立内閣が、假りに新議員によつて新鮮味を加へたとしても陣笠組に保守黨の勢力が大きい状態で、かかる政綱を遂行するのに果して適當してゐるかどうかだ、不幸チャーチル首相はあまりに強く保守黨に結びついてゐるので、總選舉となれば端的且つ有意義な政黨の線で總選舉が施行されずに、最も苛烈な政争となる惧れが強い、何れにせよ歐洲戦争がすみ次第總選舉が施行されさうな公算だ

「エコノミスト」誌九月十六日「勞働黨と聯立内閣」

歐洲戦争が終りに近づくとともに總選舉並びに各政黨間の關係について勞働黨が如何なる態度をとるか、頻りに臆測が流布されるに至つた、アトリ1副首相は去年の勞働黨大會で、黨出身の閣僚は聯立内閣に留任するか否かについて黨の決定に従ふ旨を公約し、總選舉の問題がもち上がるとともに特別黨大會を開催して決定をくだす旨を述べた一方モリソン内相は英帝國勞働黨會議において日獨兩國に對する戦争の不可分を説き勞働黨が各派聯立内閣に参加するに至つた當時の事情と理由とを述べてゐる、しかし勞働黨が入閣した當時、日英兩國は戦争關係に立つてをらず、一九四〇年ボーンマスにおける黨大會が代表の入閣を承認した際にはドイツ軍のことだけしか考へてゐなかつた黨大會では黨出身閣僚の脱退を要求する意見が強硬に主張されようが、勞働黨としては結局離婚を急ぐより聯立内閣にしがみつくのではないか

「サンデイタイムズ」紙九月廿四日 議會は火曜日

再開されるが總選舉の陰影が政界の一切を蔽ふてゐる、しからば總選舉は何時執行されるか、恐らく來年の春とならう、歐洲戦局の現状を考慮に入れ、解散から總選舉まで八週間の期間を見積らねばならぬから、一番早くて來春だ勞働黨が獨立した政黨として選舉戦に臨むことは疑ひを容れない各派は九ヶ年間選舉なく五ヶ年間の戦争で、選舉運動の人員もすつかり貧弱になつて了つたので早くも舞臺裏で黨組織の強化に着手した

在野各派の不満昂まる

「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙のロンドン特電は九月二十七日に至り、勞働黨は獨立の政黨として選舉戦に臨むに決定したと報道してをり「タイムズ」紙によれば自由黨もまた十月五日次の聲明を發表したと傳へられる

「自由黨がその獨立を維持する決意については過去において明確な聲明が出てゐるが、次の總選舉における黨の意圖について時々質問が出るので、黨本部においては

次回の總選舉に當つては他の黨派に對し何等公約もなく完全に獨立に出来るだけ多數の自黨候補を立て、黨独自の政綱を提示する方針である旨發表した」

即ち自由黨出身の閣僚は黨を離れて獨自の行動をとれば別だが、舉國一致内閣が選舉民に訴へる如何なる政綱にも参加せず、總選舉後の聯立内閣結成についても入閣を公約しないとの立場をとるわけだ、もつともアーネスト・ブラウンを首班とする國民自由黨は一九三一年九月以來の保守黨の協定を維持し、兩黨が相對立する候補を押し立てないだらう、したがつて自由黨兩派が合流する見込みはない

勞働黨とともに野黨に廻つてゐる聯邦黨は十月七日黨大會で、百七十五票對十九票で、勞働黨が聯立内閣を去ることを條件に同黨に合流を申込む決議案を採擇した、もつとも歐洲戦争が片付かなければ總選舉はなく、總選舉が執行されるまで勞働黨は聯立内閣に止まるのだから、理論的には聯邦黨の決議は無意味だが、聯立内閣の内部においても、保守黨出身の閣僚と勞働黨出身とが漸次折合ひが旨く行かず、外交並びに通商政策について「マンチェスター・ガーディアン」紙などが頻りに政府を攻撃してゐるところからみて、在野各派のチャーチル首相に對する不満が段々結晶し始めたといふのは見當違ひであらうか

「モルゲンチドニンゲン」紙のロンドン特派員は次の通り報道してゐる

「英國の財界筋には輸出貿易の不振について久しい間不満が鬱積してゐたが、この不満から内閣危機が持ち上るかも知れない、自由黨の機關「マンチェスター・ガーディアン」紙は最近商相ヒュー・ダルトンを痛烈に攻撃し、英國が時期を失せず世界市場に活躍出来るやう輸出計畫を樹てなかつたと扱き下ろした、同紙によれば一九三八年當時年額四億七千百萬磅に達した英國の輸出貿易は一九四三年には二億三千二百萬磅に減少したといふが國內において我慢出来る生活標準を維持するには獨り戦前の貿易水準を取戻すばかりでなく、更に五〇%増加せねばならないといふのが同紙の主張だ、かかる批判が一般化する場合には獨り聯立内閣に脅威を與へるばかりでなく、米英兩國關係の急所ともいふべき輸出競争に觸れるので、米英兩國の關係にも甚大な影響を及ぼさう」

都市計畫法案に内情暴露

聯立内閣の内情を暴露したのが都市計畫法案を繞る保守黨と労働黨との抗争だ、事件の経緯を説明するために十月七日付「デイリー・テレグラフ」紙の報道を次に引用しよう

「チャーチル首相は十月六日下院における都市計畫法案の討議に突然乗出した、法案は爆撃を受けた地域並びに人口過剰地區の再建を目標としてゐるが、閣僚の間に重大な意見の対立が起り、戦時内閣は六日午前特別閣議を開いた位だ、強制徴發した土地の賠償金査定方法について意見の相違が起つたわけだ、法案では賠償に當つて一九三九年當時の時價を標準にしてゐる、保守黨は一九三九年の時價では足りないといふことが證明されるが開戦以來著しく値段が上つてゐる場合には、一九三九年當時の時價を超えた賠償金を支拂ふことを主張したが、労働黨議員團は一九三九年の時價は最高限だ、しかし必ずしも最低限度ではないと全く反對の意見を固執して、下院で同法案について重大な黨派間の争ひを誘致し、ひいて法案が否決されるかも知れない形勢となつた、勿論さうなれば聯立内閣今後の存立が危殆に瀕するわけだそこで閣議では妥協の餘地がないかを検討した

のだが、労働黨出身の閣僚は一九三九年の時價を天井値とする原則から、重要な離脱をすることに強硬に反對し、議院の廊下での情報では萬一さういふことに決れば労働黨出身の閣僚は辭職するだらうといふことであつた、そこでチャーチル首相が下院に出席し、法案のうち賠償に關する條項を一應削除し、後でゆつくり妥協案を練つて別個の法案として提出することを提案した」

聯立内閣の終焉説有力

十月六日から週末にかけてチャーチル首相の案を中心に揉みに揉んだらしい、一時は内閣改造説まで出た位で、十月九日付の「デイリー・メール」紙は次の通り報道してゐる

「政府の部内と部外とを問はず、聯立内閣の生命が漸く終焉に近づいてゐるとの觀測が有力だ、政府は週末にかけて被爆地帯の土地並びに住宅賠償案について頻りに妥協工作に努めたが、今日何とか妥協が出来るだらう、萬一妥協が出来なければ労働黨は問題の即時解決を要求してゐるので事態が紛糾しよう、首相は舉國一致の政策のために戦つてゐるが、かかる考へ方はもう人氣を失つて了つた、總選舉を前に自黨の政黨について宣傳するため、労働黨出身の閣僚は何時でも弊履を棄てるやうに内閣を去るだらうし、保守黨議員の多數はもうこれ以上妥協するのを好まない、もつともチャーチル首相は總選舉を希望せず、労働黨が内閣を去れば保守黨と政黨以外の政治家で新内閣を組織する意向だ、元陸相ホア・ベリーシヤなど内閣改造の場合に入閣を希望してゐる一人だ」

十月九日日曜日も拘らず、英國下院は緊急會議で一應都市計畫法案の第二部を一應削除するに決定した、月曜日に下院が開會されたのは過去五十年間に四度目のことだといふから、情勢が如何に重大であつたかが窺はれよう、結局賠償額査定條項については各派協議會を開催し審議の結果アトリイ副首相が次の和協案を下院に提示した

土地並びに建物の賠償額査定に當つては一九三九年の時價によるといふ原則を維持するが、一定の建物並びに農業上の資産については三〇%までの増額を認める

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

和協條項については十月二十日英國下院で野黨から修正案がでたが、修正案は三百二十四票對五十八票で葬り去られ内閣の危機は一應解消した

暗流中に論争の波紋

しかし英國政界の底流が決して穏かでないことは十月二十六日の下院に保守黨のキンテン・ホツグ等約二百五十名の議員が「海外派遣兵士の服務年限を三ヶ年に限定する」旨の動議を提出、チャーチル首相との間に可成り辛辣な應酬を繰返へしたことから推察できるやに思ふ、ロイター電報によれば以上の動議にたいし、チャーチル首相はつぎのやうに強い言葉で議員連の不用意を叱責してゐる

かかる動議が提出されたのをみて頗る遺憾である、かかる動議に英國の戦争努力に對し明確に有害だと思ふ、かかる動議を提出するに先立ち何故責任ある閣僚の意見を徴さなかつたのか些か驚いた、今戦局は最も苛烈な段階に入つてゐる、今回の決議案の趣旨を實現するのは何人も希望するところに違ひないが、この際から大規模な兵員の除隊を行へば戦争を長引かせ、戦争努力を最高潮に維持しておかねばならぬ際に却て努力を弱化することとならう、したがつてかかる動議の提出により兵士達が間違つた希望を抱く恐れあり、余の友人諸君がかかる決議案と絶縁するやう希望する

ところが労働黨の閣將アヌーリン・ベヴァンなどは老首相の繰り言などでんで相手にしない

首相がただ今無必要な警告において指示した一切の考慮は、二百五十名の議員が十分考へた上で動議を提出したのだから御放念願ひ度い、從來何遍も下院でこの問題を討議するやう試みたが、結局唯一つ残された手段として今回の措置に出たので、印度ビルマ戦線における兵士の氣持は十分考慮してゐる

と應酬し、ホツグもまた

首相の言葉を批判するのは差控へよう、しかし決議案の狙ひは兵士の間に間違つた希望を起させることではなく、家族や親戚を満足させるや

うな趣旨の言明を求めるにある

と述べ、労働黨のブカナン議員も首相は議員に御説教する前に、閣僚のたれかが少し利巧にかつ品位ある態度に出れば、かかる動議の提出は避けられたのではないかを反省して貰ひ度い

と詰めより、チャーチル首相も散々の態度

資金融通も頭痛の種

政局の不安——といふ言葉が強ければ政情の變調が由つて來るところは色々あるだらう、ソヴェト政府の外交進出に對する懸念から住宅難燃料難は生活の實情に至るまでいくらでも數へ上げることができが、社會保險制度の資金を一體どこから捻出するかが英國人の頭痛の種になつてゐるとは、次のロイター電報が明示してゐる通りだ「今度英國議會の會期では僅か數週間に、從來いづれの會期においてもみられなかつた位多數理想主義的社會法案が審議された、次の會期では或る議員がいつた通り「此等一切の讚美すべき計畫の實施に必要な資金を英國が如何にして支拂ふかを決める」こととならう、總選舉で他の分野では各派色々違つた政綱をもちだすだらうが、輸出貿易をとり戻し、五〇%だけ新市場をみつけることが喫緊の要所だといふ點については下院の各派とも完全に意見が一致してゐるといつて過言でない、事態は不安を醸してゐるなどといふのは生やさしいひ方だ、戦争自體のために英國の輸出貿易が半減されたばかりでない、戦争終了の曉には英國は全く一變した國際貿易關係に直面しよう、一例をあげればカナダは過去五ヶ年間にできた大なる戦争機構を平時生産に振り向けやうと企圖してをり、若し戦争努力に近いやうな規模で運営されることになれば、カナダは英本國にとつて恐るべき貿易上の競争相手とならう、印度に對しても約十億磅の債務をしかも印度が自力で生産できる消費品目ではなく、特別の資本貸財によつて償還しなければならぬ、その結果印度の工業は自然の行程において英本國にとつて新たな競争相手とならう」



英白通貨協定全文

「ファイナンシャル・ニューズ」紙十月六日附

英國、ベルギー兩政府間に締結された通貨協定の内容左の通り

第一條

第一項 ベルギー・フラン、磅の換算率は一磅につき百七十六・六二五ベルギー・フランとす

第二項 本換算率（以上公定換算率と稱す）は兩締約國間相互の協議後に非ざれば、その何れか一方によつて變更せられざるものとす

第三項 兩締約國はその管轄下にあるすべての領域において、公定換算率をもつて兩國間の關係に關聯あるすべての取引の基準としこれが使用を實施するものとす

第四項 英蘭銀行及びベルギー國立銀行は、それぞれ兩國政府の代理機關として、兩銀行の統制する市場において認可さるべき公定換算率以上或ひは以下の最大差額を相互の協定により定むるものとす

第二條

第一項 英蘭銀行は英國政府の代理機關として、ベルギー貨幣地域の居住者が、該地域において施行せられある爲替取締規定により、英國貨幣地域の居住者に對しなすことを許可せられたる支拂に要することあるべき磅を

一、英蘭銀行の對ベルギー國立銀行第一勘定に公定換算率をもつて繰入れらるべきベルギー・フラン（ただし該勘定の貸方殘額が右繰入れにより最高八億八千三百十二萬五千ベルギー・フラン以上に増加せざるものとす）を見返りとして若しくは

二、英蘭銀行の對ベルギー國立第一勘定の貸方殘額がブリュッセルにおいて八百（原文のまま）ベルギー・フランに達したる場合

ベルギー政府の代理機關たるベルギー國立銀行に對し賣渡すものとす

第二項 ベルギー國立銀行はベルギー政府の代理

機關として、英國貨幣地域の居住者が該地域において施行せられある爲替取締規定によりベルギー貨幣地域の居住者に對しなすことを許可せられたる支拂に要することあるべきベルギー・フランを

一、ベルギー國立銀行の對英蘭銀行第一勘定に公定換算率をもつて繰入れらるべき磅（但し該勘定の貸方殘額に加ふるに締約國政府が本協定の效力發生の當日において、ベルギー貨幣地域の居住者が所有せる磅の純額に相當せるものと認むることに同意したる追加額の合計額——以下電文缺——）を見返りとして、若しくは

二、ベルギー國立銀行の對英蘭銀行第一勘定の貸方殘額が五百萬磅及びこれに加ふるに在ロンドン英蘭銀行においてベルギー國立銀行の名において控除せられたる金を見返りとして（一）において述べたる追加額の合計額に達したる場合英國政府の代理機關たる米蘭銀行に對し賣渡すものとす

第三項 ベルギー國立銀行は常時その對英蘭銀行第一勘定に十萬磅を下らざる殘高を保有するものとす

第四項 英蘭銀行は常時その對ベルギー國立銀行第一勘定に千七百六十六萬二千五百ベルギー・フランを下らざる殘高を保有するものとす

第五項 本條の定むるところに基きブリュッセルにおいて控除せられたる金は、英蘭銀行において自由に處分し得、また輸出し得るものとす

第六項 本條の定むるところに基きロンドンにおいて控除せられたる金は、ベルギー國立銀行において自由に處分し得、また輸出し得るものとす

第三條

第一項 英蘭銀行は隨時ベルギー國立銀行にたいし該銀行の保有する磅殘高の全部若しくはその一部を見返りとして公定換算率においてベルギー・フランを、若しくはロンドンにおいて英蘭銀行が控除すべき金を賣渡す權限を有するものとす

第二項 ベルギー國立銀行は隨時英蘭銀行にたいし該銀行の保有するベルギー・フラン殘高の全部若しくはその一部を見返りとして、公定換算率において磅を、若しくはブリュッセルにおいてベルギー國立銀行が控除すべき金を賣渡す權限を有するものとす

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

第四條

第一項 英國政府はベルギー貨幣地域の居住者が

一、ベルギー貨幣地域外の居住者に譲渡し、若しくは

二、英國貨幣地域の居住者に支拂をなし、若しくは

三、ベルギー貨幣地域英國貨幣地域外の諸國の居住者に對し、本協定第八條第三項において考慮せられたる諸取極めにより英國政府によつて認可せられたる限度において譲渡する
目的をもつてするその手持ちベルギー・フランの使用を制限せざるものとす

第二項 ベルギー政府は英國貨幣地域の居住者が

一、英國貨幣地域外の居住者に譲渡し、もしくは
二、ベルギー貨幣地域の居住者に支拂をなし、もしくは

三、英國貨幣地域ベルギー貨幣地域以外の諸國の居住者に對し、本協定第八條第三項において考慮せられたる諸取極めによりベルギー政府によつて認可せられたる限度において譲渡する
目的をもつてするその手持ちベルギー・フランの使用を制限せざるものとす

第五條

第一項 ベルギー國立銀行が磅以外の英國貨幣地域通貨を、該通貨が法貨たる諸國における諸支拂に充當する目的をもつて、必要とする限度において、ベルギー國立銀行は磅支拂を見返りとして英國銀行を通じ右通貨を購入するものとす

第二項 英國銀行がベルギー領コンゴ・フランをベルギー領コンゴ及びブルアンダ・ウルンディ委任統治領における諸支拂に充當する目的をもつて必要とする限度において、英國銀行はベルギー・フラン支拂を見返りとして、ベルギー國立銀行を通じ右通貨を購入するものとす

第六條

兩締約國政府は資本取引を各政府の諸政策の範圍内に限定するため相互に援助する目的をもつてしかして特に直接且つ有用なる經濟上乃至商業上の目的に寄與するところなき兩國政府地域間の取引を防止する目的をもつて協力するものとす

第七條

ベルギー國立銀行の保有する磅はすべて英國銀行によつて同意せられたる限りにおいてのみ保有せられ且つ投資せらるるものとす、しかして英國銀行の保有するベルギー・フランはすべてベルギー國立銀行によつて同意せられたる限りにおいてのみ保有せられ且つ投資せらるるものとす

第八條

第一項 本協定の有効期間中において兩締約國政府が一般的國際通貨協定に加入する場合は、兩締約國政府は必要となることあるべき一切の修正をなす目的をもつて本協定の諸條項を再審議するものとす

第二項 本協定が有效なる限り、兩締約國政府は諸情勢に應じ必要な融通性をもつてこれが適用に協力するものとす

英國銀行、ベルギー國立銀行は、各その政府の代理機關として本協定より生ずる一切の技術上の諸問題に關し連絡を保ち、且つ兩地域に關係ある爲替統制諸事項につき緊密に協力す

第三項 機會ある毎に、兩締約國政府は他の關係諸國の同意を得て

一、英國貨幣地域居住者の手持ちベルギー・フラン、及びベルギー貨幣地域居住者の手持ち磅を英國貨幣地域及びベルギー貨幣地域以外の諸國居住者に對する當座諸支拂に使用し得、または
二、英國貨幣地域及びベルギー貨幣地域以外の諸國居住者をして、その手持ち磅をベルギー貨幣地域の居住者に對する當座諸支拂をなすために使用せしめ、またその手持ちベルギー・フランを英國貨幣地域の居住者に對する當座諸支拂をなすために使用せしめ得るやう努むるものとす

第四項 兩締約國政府は各自單獨に第三國と如何なる貨幣關係をも締結し得るものなりと雖も、兩締約國政府はその一方の貨幣關係が他方の利益に影響ある場合は常に連絡を保つものとす

第九條

本協定の目的のために

米國議會制度改革問題再燃

「エコノミスト」誌九月二十三日號

すつと以前から米國で論議されてゐた議會制度改革が最近數箇月戰時下の重壓の下に再び問題となつてきた、そして上院が上下兩院から成る議會制度改革調査特別委員會設置の共同決議案を通過し下院に廻附した事實によつても知られる通り、少くとも上院では多少の進歩の跡がみられる、上院で同決議案に反對した議員が一人しかなかつたことは、米國議會自身すら改革の必要を感じてゐる證左であらう、勿論米國が英國式の議會制度を採用するなどは誰も考へてはゐないが、現在三權分立の原則によつて餘りにも完全に分離してゐる立法と行政をもう少し緊密に結び付ける方法がある筈だといふ見解が相當廣く行はれてゐるやうだ、恐らく一般に豫想してゐたところは反對に議會と大統領の間の溝は戰爭を通じて狭まるどころか逆に廣められた、既に二年前大統領はそれまで議會に有してゐた絶對多數を喪つたが、最近では上下兩院とも共和黨と民主黨保守派に完全に牛耳られるやうになつた、今では大統領の議會に送る勸告は戰爭と戰爭經費に直接關係あるものを除けば悉く無力だ、例へば今年の夏議會で戰後問題の法案が盛んに論議された時も政府は少くも相談を受けなかつた、大統領は何の提案も行はず、新聞會見でも戰後問題の法案についての質問に答辯を避けたが、これは自己の述べる見解が無視される可能性があるのを承知してゐたからであらう

政府と議會が協力して行動し得るのは外交の分野だけであつた、國務省は上下兩院の外交委員會と事實上の同盟を結んで來た、上院外交委員會は絶大な權力を握つてゐるが、議員連の心理をよく知つてゐるハル國務長官は、同委員會の小委員會と絶えず連絡して、自分の採らうとする政策の大體の方向を支持させるやうに仕向けた

第一項 英國貨幣地域なる表現は英本國において實施せられある爲替統制諸規定により、時々これに附與せらるる意義をもつものとす

第二項 ベルギー貨幣地域なる表現は本協定第十條の定むるところに従ひ、左の諸領域を包含するものとす

ベルギー、ルクセンブルグ、ベルギー領コンゴ及びルアンダ・ウルンディ委任統治領

第三項 英蘭銀行、ベルギー國立銀行間の諸取引は英國貨幣地域、ベルギー貨幣地域間の諸取引と看做さるるものとす

第四項 右に表示せる兩地域のうちその一地域内の一領域の政府によつて取極められたる諸取引は該地域の居住者によつて取極められたる諸取引と看做さるるものとす

第十條

本協定はその調印後十四日後に非ざれば、ベルギー領コンゴ及びルアンダ・ウルンディ委任統治領には適用せざるものとす

右期日をもつて、一九四一年一月二十一日調印の英國・ベルギー財政協定は兩締約國間にその效力を失ふものとす

第十一條

本協定の調印と同時に一九四〇年六月七日調印の英國・ベルギー財政協定は廢棄せらるるものとす、且つ、該協定によつて生じたる殘高は、本協定第四條の定むるところに従ひ使用し得るものとす

第十二條

本協定は相互の協議後再審議並びに調整を受くべきものとす、その調印の日をもつて效力を發生するものとす

右期日以後は一締約國は隨時他の締約國にたいし本協定終結の意思を通告し得、しかして本協定は右通告の日以後三ヶ月をもつてその效力を失ふものとす

本協定は兩締約國政府が別に同意するに非ざれば、その效力發生の日以後三ケ年にして終結するものとす

十月五日於ロンドン

兩者の間には良好な關係が保たれたが、勿論それだけではことが速かに運ぶ筈がない

特別委員會の研究課題

一方議會内では當の外交問題こそ重大な紛争の種の一つであつた、條約の批准には上院に絶對的な權限があり、下院は何等の發言權も持つてゐない、將來下院が議會制度改革調査特別委員會設置の共同決議案を通過するやうな場合には、上院の條約締結權がまづ問題になるであらう

現在上下兩院とも條約の承認には三分の二の賛成投票を要する規定があるが、憲法改正による規定廢止を提唱する決議案が數種類出てゐる、一例を挙げればテネシー州選出民主黨下院議員ブリストは上下兩院の過半数の賛成投票によつて條約を批准せしめる決議案を起草した

「戰爭を開始するには兩院の過半数で足るのに三分の二がなければ戰爭を正式に終結出来ない」のは矛盾撞着だといふのが彼の主張である、民主共和兩黨の全國大會でも、成功はしなかつたが黨の決議として三分の二制度廢止の支持を表明する試みがなされた、もつともこれは當然のことだが上院の壓倒的多數はかかる改革には反對のやうだ

現在提唱されてゐる特別委員會が當然考慮するであらうし、また既に可成りの支持者もある今一つの提案は英國議會制度に範を取つたものだ、テネシー州選出民主黨議員キークウヴァーの決議案は大統領の内閣の閣員を議場に出席させてこれに質問を發し得るやうにすることを提唱する、彼の提案は一、二年前議會と政府の對立が甚しく、議員が口を開けば「官僚」を攻撃した時代に多數の支援者を得てゐた、キークウヴァーは閣員自身が公開の議會で定期的に報告を行ひ國民に物事を知らすべきだといふのだ、現在ハル國務長官は上院外交委員會との懇談によつて議會とよく連絡してゐたが、彼の提供するのは少數だが「有力な」グループに對する祕密の情報といふ點で満足すべきものとはいへない、かういふ情報は國民にまでは達しないから、國民が政府の政策を十分諒解し受け容れる準備が出来てゐないのに突如として政府の和平案を突き付けられる惧れがあらう

情報蒐集方法の検討

特別委員會が研究すべき第三の問題は、議會が情勢について、自ら情報を蒐集する手段に今一度検討を加へることである、最近政府が自己の行動について詳細な報告を行ひながら結果、議會は時として重要政策の決定についても何も知らされぬ場合がある、更に議會が必ずしも常に一定の問題に關し利用し得る専門家の意見や勸告を入手する方法をよく知つてゐるとはいへない、現在議會が定給を支拂つて傭つてゐる技術家は法案起草掛りと共同租稅委員會が使つてゐる租稅問題の専門家に止る

故參議員によつて構成されてゐる既存の恒久的委員會が勢力と重要性において特殊の問題の調査に設置された特別委員會に劣る場合が最近よくある、後者のうち最も有力なものの一つは上院の國防計畫調査委員會で、一般に戰事調査委員會と呼ばれてゐる、その他現在花形の特別委員會として戰後經濟政策及び計畫に關する上下兩院の委員會が數へられるが、これらはかなり保守的な委員會である、上院委員會は將來の計畫に關する政府の機關である國家資源計畫委員會を上院が廢止したことについてする輿論の非難に應へて設置されたものだ、上下兩院の委員會は双方とも最近數ヶ月間に議會で問題となつた戰後問題に關する三個の重要法案、すなはち契約中止法案、過剩戰時財産法案、復員産業再轉換法案の討議に重要な役割を演じた、兩院委員會は双方とも多數の専門家の意見を徵し、就中下院委員會は米國有數の經濟専門家を招致して、産業再轉換及び戰後計畫に關する報告起草に助言を求めた

議會制度調査特別委員會設置を提唱する共同決議案は既に上院を通過し、現在下院議事進行委員會が審議してゐるが、同委員會は議會の委員會の中でも最も舊套を墨守し輩行を嚴格に守る委員會の一つであらう、同委員會が大統領選舉以前に決定を下す可能性は先づないが、もし決定を下さなければ上院は單獨行動に出るであらうし、その結果遠からず下院も輿論に動かされて上院の後に續くこととならう

(終)

昭和十九年十一月十日(金)
第三二三六號

同盟通信

海外電報

(253)

ルーズヴェルトの四選は遂に確定した、

選挙前の豫想が若干ルーズヴェルトに歩はるものの、未曾有の接戦を演ずるだらうとしてゐたにも拘らず、一旦蓋をあけてみると大統領選挙がルーズヴェルトの壓倒的勝利に終つたばかりでなく、上下兩院議員並びに各州知事選挙でも民主黨の勝利がほぼ確實である議員選挙で特に顯著な傾向は従來米國の戰時外交政策に痛烈な批判を加へ、孤立主義者として知られてゐた共和黨の大物議員が續々として落選してゐることだ

このことは果して何を示唆するか、即ち、米國民の壓倒的多數がルーズヴェルトの戰爭政策は勿論その積極的な對外干涉政策を全面的に支持してゐることを示し、現在の米國においては戰爭を中途半端で放棄せんとするやうな敗北的平和主義乃至は外國に對する干涉から手をひかんとする孤立主義のごときは全く存在の餘地なきことを物語るものだ、ルーズヴェルト政権の日獨抹殺案をはじめとする假借なき戰爭の遂行或ひは世界を米國の制壓下におかんとするその野望政策は、かくて米國民によつて全面的に支持されてゐることが疑問の餘地なくはつきりとしたのである



一部の情報のうちには激烈を極めた選挙戦によつて生じた民主、共和兩勢力間の敵意は選挙戦の終了によつて決して消え去るものではなく、また民主黨内の反ルーズヴェルト派と共和黨との合流の可能性を指摘して國內鬭争の激化を豫想するものもないではない、ただたとへ米國が今後も國內問題でいざこざを續けるとしてもこれはあくまでも對内的にとどまり、輿論の支持を確保したルーズヴェルト政権の戰爭政策は今後愈々積極化することを覺悟しなければなるまい

目次

- ルーズヴェルト四選.....二六四八
- デューイ敗北の歸.....二六四八
- ルの再選を英觀迎.....二六四九
- V二號遂に發動.....二六四九
- 例によつて揣摩臆測.....二六五〇
- スターリン演説の全貌.....二六五〇
- 獨外務當局見解を表明.....二六五〇
- 【互補輔陳覽】.....二六五四
- 三國會談ロンドンで開催か.....二六五四
- ソ聯への物資四百萬トン.....二六五四
- 世界労働會議の準備進む.....二六五四
- 【米 國】.....二六五五
- 飛行機生産近況.....二六五五
- 九月中武器生産高.....二六五五
- ステルウエル加州に到着.....二六五五
- グワテマラ承認.....二六五五
- 沿岸警備隊員を減員.....二六五五
- 新聞記者人氣投票.....二六五五
- 【英 國】.....二六五六
- 英印軍の損害の一部を報道.....二六五六
- モズレーの第一聲.....二六五六
- 軍需工場の結核患者激増.....二六五六
- 【エ ー ル】.....二六五六
- マサリツクの演説を禁止.....二六五六
- 【西 亞】.....二六五六
- テヘラン市緊急事態.....二六五六
- 【カナダ】.....二六五六
- 志願制を維持.....二六五六
- 【米 洲】.....二六五六
- 南米諸國の對米債權.....二六五六
- 【印 度】.....二六五六
- 中央立法會議食糧問題討議.....二六五六
- 【北 歐】.....二六五六
- 瑞の鐵礦對ソ輸出は虛報.....二六五六
- 芬商船の賣却を要求.....二六五六
- 【ソ 聯】.....二六五六
- 言論界、米英に逆捻ぢ.....二六五六
- 中立國に外交攻勢.....二六五六
- 【重 慶】.....二六五八
- 米、司法調査員を派遣.....二六五八
- 【泰 洲】.....二六五八
- 旱魃で凶作.....二六五八
- 【フランス】.....二六五八
- 空軍代將に無期懲役の宣告.....二六五八
- 【ドイツ】.....二六五九
- 米英兩國に重ねて抗議.....二六五九
- 殘虐行為査問委員會設置.....二六五九
- ブ上級大將に勳章授與.....二六五九
- 【亡命政権】.....二六五九
- ノルウェー外相訪ソ.....二六五九
- 波政権カーゾン線を承認か.....二六五九
- 【資料】.....二六六〇
- 戰後失業問題の解決案.....二六六〇

ルーズヴェルト四選

(リスボン八日發) ニューヨーク來電 米國東部標準時正午までに全米十三萬八百十選舉區のうち十萬四百十四選舉區の投票結果が判明したが、これによるとルーズヴェルトの獲得した一般投票は二千四十三萬四千百九十票に對しデュウイは一千七百九十九萬三千六百四十一票、選舉人全票數五百三十一票のうちルーズヴェルトは四百十二票を得ることが略々確實となり、ここにルーズヴェルトは選舉人の過半数二百六十六票を超えることに實に百四十六票をもつて壓倒的勝利を得た、これを州別にみるとルーズヴェルトの勝利がほぼ確實とされてゐるのは三十五州、そのうちには南部諸州は勿論のことカリフォルニア、イリノイ、ニューヨーク、ペンシルヴァニア、コネチカット、マサチューセツツらの樞要州を含み、これに對しデュウイの優勢なのは十三州に過ぎず、主として中西部の共和黨地盤州だ、なほミシガン、オハイオ兩州の如きはルーズヴェルトとの差極めて僅少で、最終結果では或ひはルーズヴェルトのものとなるかも知れない

議員、知事選舉も民主黨優勢

大統領選舉戦が民主黨の壓倒的勝利に終つたのに加へて上下兩院議員及び各州知事選舉でもこれまた民主黨の優勢が傳へられ、現在までに判明したところでも下院議員では民主黨二百五名の當選に對し共和黨は百十八名の當選、上院議員及び州知事選舉の綜合的結果はまだ判明しないが、共和黨上院議員五名の再選失敗は略々確實とみられ、また州知事では既に共和黨知事三名が民主黨候補に敗れてゐる、議員選舉のうち特に顯著な傾向は共和黨の孤立派議員として知られてゐる大物議員が續々枕を並べて討死してゐることで、上院議員ではノース・ダコタ州のジェラルド・ナイ、コネチカット州のジョン・ダナハ、下院議員ではニューヨーク州のハミルトン・フィッシュが落選したただこのうちにあつて政府の戦争、外交政策の痛烈な批判者として知られる共和黨婦人議員クレア

・ルースのみがコネチカット州で民主黨候補を敗り氣を吐いてゐる

デュウイ

敗北の辯

(リスボン八日發) ニューヨーク來電 共和黨大統領候補デュウイは八日午前三時十四分自己の敗北が決定的となるやニューヨーク市の「ホテル・ルーズヴェルト」からラジオを通じ左の挨拶を放送した

ルーズヴェルトの當選は今や明らかとなつた、余はあらゆる善意ある米國民と共に彼に祝辭を述べると共に米國が急速に勝利を収め且つ永續的な平和を確保するやう希望する

ルの再選を

英 歡 迎

(ストウクホルム八日發) ロンドン來電 八日の英國各紙は戰況報道をそつち退けにして米國大統領選舉の模様を大々的に報道してゐる英國民は萬一デュウイが當選するやうなことがあれば、米國の對英援助が弱化するやうなことはいかと思はれてゐただけに、ルーズヴェルトの再選確定の報を大いに歡迎してゐるが、八日の「イヴニング・スタンダード」紙はその社説で次の通り述べてゐる

米國大統領選舉の結果は正に英國民の思ひ通りとなつた、ルーズヴェルトは今やスターリン、チャーチルと共にその選舉民の意志に反するといふ心配なく世界安全保障體制の確立に邁進し得る地位が與へられた

ドイツ公使

更迭せん

(ベルリン八日發) リスボン駐劄ドイツ公使フォン・ホイニンゲン男は本省に報告のため過般來ベルリンに歸還してゐるが、ドイツ外務省當局は八日記者團との會見でリスボン駐劄公使が近く更迭する旨言明した、但しマドリッド駐劄大使デューコフ博士も同じくベルリンに歸還してゐるが、當局では歸任の時期は言明の限りでないと言へた

トルコ、ボノミ

政權を承認

(リスボン八日發) アンカラ來電 トルコ政府は八日ボノミ政權を正式イタリア政府として承認し前テヘラン駐劄公使ケマル・ヌスルをローマ駐劄大使に任命した

V 第二號遂に發動

(ベルリン八日發) 總統大本營は八日正午次の通り發表した

去る六月十五日以來極めて短期間中断した以外強度は多少違ふが大ロンドン地區は絶えずV一號の攻撃を受けたが、數週間前から右攻撃は更に著しく效果的な爆發物即ちV二號の使用によつて強化されてゐる

豫知出來ぬ

(ベルリン八日發) ドイツ軍當局は八日の公報で愈々V第

V 二 號

二號發動の事實を發表したが

當局筋ではこの驚異的新兵器が去る十月十九日イングランド南部に向け叩き込まれてゐる事實を洩らす以外一切極秘に付してゐる、V二號の製作に關係した技師連を初め大量生産に従事した多數の男女工も絶對口を緘してゐるため、V二號の構造性能等については今のところ全然分らない

ただ明白なことはフランス北岸地帯からベルギー海岸を占據したので流星彈攻撃が終りを告げると豫期してゐた英國人の目算ががらり外れて了つたことだ、V二號の目標と發射基地とはどれだけ隔つてゐるか? V二號はV一號を技術的に改善しただけか、それとも全く新しい原則に立脚してゐるか? 等々の質問に對しドイツ軍當局は一切言明を拒否してゐるが、V一號の場合と違ひV二號が近付いても目にもとまらず、耳にも聞えぬので「異常に恐ろしい爆破」前に對策を講ずることは出来ないらしい、既に中立國を通じてドイツ軍當局に入つてゐる情報によればV二號は驚くべき威力を發揮してゐることが明らかで、或ひは「何とも説明のしようがない爆破」とか「異常に強力な爆風」とかいふ言葉が最近ロンドン地區の被害に關して傳へられてゐる

被害 既

(ストツクホルム八日發) ドイツ軍が新兵器V二號を發動

に 甚 大

したのに對し英國政府は嚴重

な檢閲により被害が外國に洩れるのを阻止してゐるが最近ロンドンからの報道が流星彈による被害が甚大なことを傳へ出したのは明らかにV二號の威力を裏書してゐると見られる、第二號が最初

イングランド南部に叩き込まれたのは十月十九日と傳へられるが當時より主な報道をあげればロンドンのユーストン停車場が完全に破壊されて了ひ更にロンドン市内のカンバーウエル地區は「異常にひどい損害を受け一ブロック全體の住宅が吹き飛んでしまつた」といはれたまたロンドン南部の橋梁が全壊したと傳へられる、ユーストン驛破壊の場合にはロンドン警視廳當局もすつかり慌てた様子で付近一帯に非常線を張り被害状況を一切極秘に付したといはれる

例によつて

(リスボン八日發) ドイツ總

揣摩臆測

統大本營が果然V二號發動の發表を行つたのに對し、英國

側では慌てて宣傳戰を開始したが、V二號の正體についてはかなり迷つてゐるやうで、たとへばロンドンからの電報は

今まで英國空軍省當局はV一號飛來の發表はしたが、V二號といふことは一度もいはなかつた今日の「デイリー・メール」紙はストツクホルム電をデカデカと掲載して英國は數ヶ月來新兵器の攻撃を蒙つてゐるが、これは炸藥十二トン

を有する成層圏ロケット弾だといふと報じてをり、ロイター通信のロンドン電はスエーデンその他中立國筋の情報を綜合し次の如く觀測してゐる

V二號は強烈なロケットらしい、その有効距離は二百乃至三百哩、彈頭に一トン弱の高性能爆藥を有するといはれる、スエーデンで一個か二個發見されたことがあるといはれるが、ペーネミュンデの「秘密兵器研究所」からバルト海を越えて飛んで來たらしい、スエーデンからの情報によればV二號は長くかなり太いロケット弾だといひ、或ひは五十呎位の「空飛ぶ電信柱」で尾部に炎を曳いてをり、音より早いから耳で氣づく前に目標物に命中してゐるともいはれるドイツ、オランダ、デンマーク等の基地は英國攻撃に十分使用し得るといふ話だ、パリからもV二號攻撃を蒙つたといふ電報のきたことがあるが、これはその後否定された、とにかくこの新兵器の有効距離は凄いのらしく、爆藥が經濟搭載量になつてゐるかどうかは別な話だ

スターリン議長演説の全貌

(モスクワ六日發) スターリン元帥は第二十七回革命記念日に當り六日モスクワソヴェト大會において次の通り述べた

勝利の年

開戦第四年目は赤軍並びにわが各盟邦の軍隊にとつて決定的勝利の年度であつた、この年はドイツ軍は二正面作戦を強要され、ドイツ國境線に撃退されるに至つた、しかしながら戦争に勝つだけで十分ではない、將來戦争が出来ぬやうにすることが必要である、われ等はドイツファシストをその巢窟において撃破し近い將來ベルリン上空にソヴェトの國旗を掲げるであらう、東部戦線における相次ぐ打撃の結果ドイツ軍並びにその同盟軍百二十箇師は敗退し戦列を脱するに至つた、ドイツ軍が總動員、否超總動員の結果、今赤軍の前面に集結してゐる兵力はハンガリー師團を合せて僅かに二百四十箇師に過ぎない、うちドイツ軍は百八十個師を出でない

今回の戦争においてヒトラー總統麾下のドイツとそのファシスト軍は過去の諸戦争におけるドイツ並びにドイツ軍よりも一層強かつたことを先づ認めよう、更に今度の戦争においてドイツ軍が隷屬諸國の相當な兵力を使用することに成功したことも認めねばならない、戦争の遂行についてかかる有利な諸條件に恵まれたに拘らずドイツは今や避け難い破局の淵に臨んでゐる、ドイツの主要な敵國、即ちソヴェト聯邦がヒトラー總統麾下のドイツを追ひ越した結果にほかならない(割れるやうな拍手喝采) 過去一ケ年間ヒトラー總統麾下のドイツ軍に對する戦争の新しい要素は赤軍がも早獨力で戦つてゐるのではなくてわれ等の各盟邦の軍隊と共に戦つてゐるといふ事實である、テヘラン會談は無駄に開催されたのではない、ドイツに對し西方、南方並びに東方から相呼應して打撃を加へるといふ決定は驚くべきほどの正確さをもつて遂行された、東部戦線における赤軍の大作戦と同時に聯合軍はフランス本國に對する侵攻を開始

し、有力な包圍作戦を組織してヒトラー總統麾下のドイツに二正面作戦を強要した、われらの同盟各國はその規模と組織力とにおいて歴史上先例を見ない大量上陸作戦を遂行し、極めて容易にドイツ軍の防衛線を克服した、かくてドイツ軍は兩正面の缺の間に壓縮されるに至つたのである、豫想通り敵は赤軍と聯合軍との相呼應する打撃に抵抗出来なかつた、短時日の間に敵軍はイタリア中部フランス、ベルギー、ルクセンブルグ各國から撃退され、ドイツ國境線に押し付けられてしまつたもし歐洲に於て第二戦線が展開されずドイツ軍七十五箇師を吸収してくれなかつたならば、赤軍がかく短期間にドイツ軍の抗戦を克服しソヴェト聯邦領土外に撃退することとは出来なかつたであらう前線並びに工場におけるソヴェト國民の業績に鑑みれば、われらの國家が他の如何なる國家よりも比較にならないほど大きな活力を持つてゐることが明らかである、赤軍は今やドイツ軍よりも多數の且つつと優秀な戦車と火炮と飛行機とを保有してゐる、われらの赤軍は獨力をもつてドイツ武装兵力に對し勝利を收めたが、われらの軍需工業もまたこれに劣らない勝利を收めたのである、ソヴェト聯邦は國境線外に住んでゐる他國民の權利と獨立とを尊重し隣邦各國と平和友好裡に共存する用意を示した、これ總ての自由を愛好する國國との紐帶を愈々助長し深化する基礎である、ソヴェト國民は外國人だからドイツ人侵入者を嫌ふのではなくわが國民並びに總ての平和を愛好する人々に幾多の慘事と苦難とを齎すが故にドイツ人を嫌ふのである、「灰色だから狼を殺すのではなく羊を喰ふから狼を殺すのだ」といふ諺があるではないか(割れるやうな拍手喝采)

ソヴェト愛國主義とは

勞働者、農民諸君は祖國に對する義務を自覺し積極的に赤軍を援けて勝利獲得に協力した、ソ聯の婦人及び青少年層は工場、農村における勞働の重荷を双肩に擔ひ史上稀にみる勤勞上の功績を收めたのである、祖國の獨立と榮譽のためソ聯の婦人及び青年は勞働戦線において勇氣と英雄主義を顯現した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

彼等はドイツ侵略者から祖國を防衛してゐる父子、夫、兄弟に匹敵する功績を示した、銃後における以上の勤勞上の功績は戦線における戦士の功績と同様熱烈なるソヴェト愛國主義によつて推進されてゐるのだ、ソヴェト愛國主義の力の源泉は種族的國家主義的なものではなく、祖國に對する民衆の深い忠誠、献身であり、わが國内の全民族勤勞者の同胞愛である、ソヴェト愛國主義の中には各民族の民族的傳統及びソ聯全勤勞階級の共通の利益が固く結合されてゐるのである、ソヴェト愛國主義は各民族を分裂させるものではなく、寧ろこれを同一家族に結合させるものである、この中にソ聯各民族の日々強化される友好精神をみなければならぬ

ソ聯民族は外國内の諸民族の權利と獨立を尊重し、常に隣邦各國にたいする平和と友情のために生る覺悟を表明した、この中にわが國と自由を愛する全民族との友好關係の強化をみなければならぬ、ソヴェト國民は侵略者ドイツを異民族なるがために憎むものではなく、ソ聯及び自由を愛する全民族にはかり知れない貧困と苦痛とを與へたために憎惡するのである、ドイツ・ファシストはイデオロギー上の武器として排他的な民族論を選び、ドイツが他の隷屬民族に比し政治的にも精神的にも優れてゐると主張してゐる

獨民族精神の敗北

しかしながらヒトラー一派の説く他民族排斥政策は實際にはドイツ弱體の根源となりドイツの外交的孤立の原因となつてゐる、即ち他民族排斥のイデオロギー及び政策はヒトラーブロック潰滅の要因の一つをなすものである、ドイツ帝國主義者に對してフランス、ユーゴスラヴィア、ポーランド、チェツコ、ギリシヤ、ベルギー、デンマーク、ノルウェー、オランダ等の奴隸化された民族が一齊に起ち上つただけでなく、かつてヒトラーの家來であつたイタリア人、ルーマニア人、フィンランド人、ブルガリア人などもまた起ち上つたことは決して偶然と見做すことは出来ない、ヒトラー一派は野蠻な政策をもつて全世界の民族を敵に廻し、いはゆる選ばれたドイツ民族は全世界の憎惡

の的となつたのである、ヒトラー一派は今次戦争において單に軍事上の敗北を喫しただけでなく、また精神的にも政治的にも敗北を喫した、わが國において行はれてゐる各種族、民族の平等論、各民族友愛論はヒトラーの國家主義、他民族排斥論に對し完全なる勝利を制したのである、現在戦争が勝利の結末に近づきつつある時、ソヴェト民衆の役割は益々大となつてゐる、現在ソヴェト民衆が犠牲的精神をもつてドイツと戦ひ、歐洲の文化をドイツの破壊者から救つたことは一般の認めるところだ、この中に全人類の歴史に對するソ聯民衆の偉大なる功績がある

本年は反獨聯盟の全般的事業の勝利の年であつた、この名の下にソ、米、英三國民衆は戰鬪的聯盟を結んだのである、本年は以上三強國がドイツに對する協同行動と團結を強化した年であつた、對獨協同行動に關するデヘラン會談の決議及び決議の輝かしい實踐は對獨共同戰線強化の明白なる證左の一つをなすものである、過去の歴史に徴してみても今次の對獨共同戰線計畫ほど完全且つ正確に實現されたことはない、ソ、米、英三大強國の協同行動と見解の一致がなかつたならば、デヘラン會談の決議がかくも完全且つ正確に實現され得なかつたことは疑問の餘地なく、またデヘラン會談における決議の完全な實現が聯合國戰線の強化に役立たなかつた筈はないのである

戰後安全機構を繞る意見對立

この戰線強化の明白なる證左としてダンバートン・オークスにおける戰後安全保障組織に關する決議を擧げる必要がある、この際若干の安全保障問題に關して三國間に意見の疎隔が存在するといはれてゐる、意見の不一致は勿論他の多數の問題に關してもまた今後も生ずるであらう、不一致は同一黨内の間にも存在する、況んや異なる國家、異なる黨派の代表者の會談であれば意見の不一致は蓋し當然のことだ

意見の不一致があるといふことに驚く必要はない、反對に意見の不一致が常に偉大なる三國の協同動作と共同の精神に基いて解決されてゐるといふことに對して驚くべきである、問題は意見の不一致ではなく、それが三國共同の利益の範圍から逸脱せず、究極において共同の利益の線に沿ふて解決されるといふことである、第二戰線結成問題に關しては重大な意見の不一致があつたことはすでに明白な事實だ、しかしながらこの問題も結局友好的精神をもつて解決されたことも周知の事實である、ダンバートン・オークス會談における不一致に關しても同じことがいへる、同會談の特色は若干の不一致が明らかにされたにも拘らず安全保障問題の十分の九までが完全な共同精神をもつて解決されたことだ、以上がダンバートン・オークス會談を反樞軸戰線強化の明白なる證左の一と余が考へる所以である

共同戰線分裂の企圖

聯合國戰線強化の更に一層明白な證左として舉ぐべきは過般の英首相チャーチル、外相イーデン等とモスクワにおいて開催した會議である、戰爭の全期間に亘つてヒトラー一派は聯合國諸國を相互に反目せしめ、その間に疑惑と不信を喚起し、相互不信をもつて軍事上の努力を弱化せしめ、あはよくば相戦はしめんと必死の努力を試みたのである、かかるヒトラー一派の目的は極めて明白である、即ち彼等にとつて聯合國共同戰線より危険なものはなく、この共同戰線の破壊より大きな成功はまたないからだ、ソ英米三國の聯盟はファシスト政治家にとつてかくも恐るべきものであることは明白でありこのことはソ、英、米三國聯盟の基礎の上にあるものは偶然的な過渡的な要因ではなくて、最も重要な長期に亘る利害關係であることを意味するものである、この民主主義諸國の戰團的聯盟は既に三ヶ年に亘りその民衆の血を自由と榮譽保持のために捧げて試験に耐えて來たが戰爭が既に最終段階に入つた今日、更に試験に耐えるべきは疑問の餘地がない

獨の完全武装解除

本年は單に反獨戰線強化の年であつたばかりで

なく、またその擴大の年でもあつた、イタリアに續いてフィンランド、ルーマニア、ブルガリアが相次いで戰爭から離脱した事實は決して偶然とみるべきではない、以上の諸國が單に戰爭から離脱したばかりでなく、ドイツに對して戰爭を宣告し相次いで反獨共同戰線に参加した點に注目しなければならぬ、さらに歐洲におけるドイツの唯一の同盟國たるハンガリーも近き將來において戰爭より離脱すべきことは明白で、かくなればドイツは完全に孤立しその潰滅は不可避とならう、三國聯盟は勝利の前夜にあり、且つ勝利することは今や全く疑問の餘地がない

しかしながら戰爭に勝つことはいまだ各民族に將來の安全を確實に保證するものではない、問題は戰爭に勝つといふことだけではなく永遠といはないまでも相當長期間に亘り戰爭の發生と新しい侵略を防止するにある、ドイツの敗北後は當然經濟的にも軍事、政治的にも武装解除されるであらう、しかしドイツがこれによつて再び軍事的威力を養ふことがないと考へることは幼稚に過ぎる、われわれはドイツが前大戰後如何にして今回の戰爭の準備を進めてきたかを知つてゐる、従つて今回はドイツが再び大規模な侵略を企圖し得ないやうに方法を講じなければならぬ

日本は侵略國

由來歴史の示すところによれば侵略國、攻撃國は常に新しい戰爭に對して被侵略國、被攻撃國側よりも準備を整へてをり、被侵略國、被攻撃國側は常に戰爭準備に立ち遅れてゐるのである、現在の戰爭においては侵略國は戰爭の開始に先立つて準備萬端整つた武装兵力を有してゐたことは事實であり、また平和愛好國は軍隊の動員準備さへも整へてゐなかつたことは事實である、かの「眞珠灣事件」やその他太平洋の諸島にみる攻撃、香港シンガポールに對する日本軍の最初の攻撃の如き事實は決して偶然と見做すべきではなく、侵略國としての日本が平和愛好政策を堅持せる英米兩國よりも戰爭に對して完全な準備を整へてゐたことを示すものだ

また戦争開始後最初の一年間におけるドイツのウクライナ、白ロシア、バルト諸國に對する攻撃も決して偶然ではなく、侵略國としてのドイツが平和愛好國ソ聯よりも戦争に對する準備を整へてゐたことを證明するものである、この事實は日本人及びドイツ人の個人的素質や英米ソ三國々民に對するドイツ國民の優秀性と透徹した洞察力をもつて説明するのは笑止であり、問題は長期間戦争の準備を行つて來て戦力を蓄積した新しい戦争に興味を有する侵略國が常に新しい戦争に興味を有しない平和愛好國よりも戦争に對して準備を整へてゐるといふことである、以上の事實は明白かつ一點の疑問の餘地もない、従つて、もし現在平和愛好國が侵略を排除するに必要な特別の方法を講じなかつたならば、彼等は再び侵略の危険に曝らされるといふことを銘記しなければならぬ

侵略防止に武力機關

ドイツ側よりの新しい侵略を排除しまたは戦争が結局起つたとしても、その發端において擴大させないために如何なる方法を講ずべきかといふにこのためには侵略國の完全な武装解除のほかには次の如き唯一の手段がある、即ち

安全保障と平和保持のため平和愛好國より代表者を出して特別の組織を創設し、次いでこの組織の指導機關の命令下に侵略排除に必要な最少限度の武力を配置し、侵略の豫防排除、侵略者の處罰等に必要の場合には以上の武力を行使せしめることである、これはかの憐れな國際聯盟の再現ではない、國際聯盟は侵略防止に必要な權力も手段も有してゐなかつたが、われわれのいふ武力組織は新しい特別な全權を有する組織であつて、その命令下に平和を保持し、新たな侵略を防止するに必要な一切のものを有してゐるのである、この國際機關が十分に效力を發揮出来るかどうかといふことが問題となるがこれは對獨戦争の重荷を負ふてきた強國が協心一致の精神をもつて行動すれば必ず效力を發揮するであらう、若しこの必須條件が破壊されるならばその效力は望めない

結語

同志諸君赤軍は與へられた使命を着々と達成してゐる、赤軍は完全に愛國的使命を果し祖國を解放

した、われわれの土地は今日より永遠にヒトラーの手中より解放された、赤軍は聯合國と共にドイツ、フアシズムを撃滅するため最後の戦ひに臨んでをり、ベルリンの空に勝利の旗をかけるために最後の努力を續けてゐる、赤軍は以上の使命を極めて近い將來に完遂することが出来ると信ずべき十分の根據がある、赤軍萬歳、赤海軍萬歳、ソ聯民衆萬歳、祖國萬歳

獨外務當局、見解を表明

(ベルリン七日發) ドイツ外務當局はスターリン議長の革命記念演説に關し、七日つぎの見解を表明した

一、スターリン議長はチャーチルと調子を合せて反樞軸陣營の團結強化を説き反樞軸提携の主要任務は共同の勝利を収めるにある所以につき長廣舌をふるつたが、スターリン議長が數百言を費すまでもなくドイツ國民はスターリン議長がドイツの國家的存在を完全に破壊する決意を固めてゐる事實に疑ひを挿んでゐない、しかしながら問題はドイツを破壊しようとするスターリン議長の意志が戦ひ抜き、生き抜かうと努めるドイツ國民の意志よりも強いかどうかといふことで、以上の問題はいつれ時が解決してくれるであらう

一、スターリン議長がソ聯は反樞軸盟邦の援助なしには戦争の重荷に耐へ得なかつたかも知れないと述懐したことはソ聯の最高指導者の告白として注目に値する、果してスターリン議長が米英兩國に對する御世辭ではなしに眞實さう考へてゐるかどうかは大なる疑問だ

一、スターリン議長は今回の演説で日本を侵略國呼ばりをしたが、これは關心に價する

一、スターリン議長は他の諸國民を「解放」するソ聯の使命につき美辭麗句を並べてゐるが、彼が抽象的な言辭の煙幕を張つてゐる間に赤軍とコミンテルンは全く異つた使命を着々と實行に移してをり歐洲諸小國がスターリン議長の言葉を額面通り受取つてゐるかどうかは大いに疑はしい

一、最後にスターリン議長は米國の大統領選舉に一役買ふつもりでルーズヴェルトを盛んに擔ぎ上げてゐるが、どの程度まで選舉の結果に影響を與へるかが問題だ

【反樞軸陣營】

三國會談ロン

ドンで開催か

(ストツクホルム七日發) ス
エーデン紙「モルゲン・チド
ニンゲン」のロンドン電報に
よれば米英ソ三國首相會談は十一月下旬ロンドン
で開催される豫定といはれる

ソ聯への物資

四百萬トン

(リスボン三日發) ロンドン
來電「イラン、イラク駐屯英
軍司令部は三日米英兩國から
ペルシヤ灣經由ソヴェト聯邦に輸送された物資は
現在までに四百萬トンに達した旨發表した

世界労働會議の

準備進む

(リスボン七日發) ロンドン
來電「世界労働組合會議は明
一九四五年二月六日から十六
日まで十日間に亘りロンドンで開かれることにな
つてゐるが、それに先立ち英米ソ三國労働組合代
表よりなる準備委員會が来る十二月四日ロンドン
で協議することになつた

【米 國】

飛行機

生産近況

(リスボン七日發) 十月二十
六日の「フアイナンシャル・
ニューズ」紙は最近の米國航
空機生産状況を次の如く報じてゐる

米國航空機生産局發表の九月分航空機生産數字
は過去四ヶ年間に於ける航空工業の目覺しい發展
を示してゐる、即ち機體の重量から見た増加傾向
次の通り(單位百萬ポンド)

一九四一年 八五・七
一九四二年 一九二・六
一九四三年 七四一・八
平均重量(單位ポンド)

一九四一年 四、四四〇
一九四二年 六、一一〇
一九四三年 八、六三〇

英國のダンケルク敗退當時における平均重量は
三、〇二〇ポンドに過ぎなかつた、今回發表され
た一九四四年九月の正確な數字は一〇、三〇〇ポ
ンドであり、この數字は本年末までには一〇、五
〇〇ポンドとなるであらう、また過去數年間の航

空機工業の躍進を示す別な表を次に掲げる(一九
四二年を一〇〇とす)

生産機數

生産指數

一九四一年 一九、二九〇 二九
一九四二年 四七、八七三 一〇〇
一九四三年 八五、九四六 二五四

更に右表に興味ある脚註を付すれば、一九四二
年に生産されてゐた型を基準にするならば、一九
四三年中の生産は十二萬二千機に相當しよう、即
ち最近の製造業者が機體の重量と機型の改良にそ
の主力を集中してゐるため、生産機數は低下して
をり、例へば三月は九千百十七機、八月は七千九
百三十七機、九月は七千五百九十八機と減少した
併し重量の點からみると、五月の八千九百八十萬
ポンド、八月の七千九百七十萬ポンドに對し九月
は七千八百九十萬ポンドとなつた

九月中武

器生産高

(リスボン六日發) ワシント
ン來電「戰時生産局は九月中
の武器生産高について六日次

の通り發表した

一、生産總額は五十三億弗月初の豫定計畫に達し
ないこと五パーセント、また本年平均額よりも
二パーセント少なかつた

一、各種主要武器別に見れば、主要項目のほとん
ど全部が八月に引續き減少、しかして主要項目
のうち豫定額に達したものは一項目に過ぎない
主なるもの次の通り(豫定超過(+)不足(-))

彈 藥 (一) 一%
飛 行 機 (一) 五
通信及び電氣器具 (一) 五
戦闘用車輛 (一) 九
火砲及び發射統制器 (一) 一
その他 (十) 一

スチルウエル

加州に到着

(リスボン七日發) ニューヨ
ーク來電「スチルウエルは六
日空路カリフォルニア州のモ
ンテリーに到着した、新任務につく前暫く賜暇休
養するといはれる

グアテマラ

承認

(リスボン七日發) ワシント
ン來電「米國務次官ステチニ
アスは米國政府が過般の革命
によつて成立したグアテマラの三頭政權を同國の
事實上の政府として承認した旨發表した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

沿岸警備

隊員を減員

(リスボン七日發) ワシントン來電「海軍省は七日次の通り發表した

戦局の推移に鑑み海軍は國內各地駐屯の沿岸警備隊員の数を減少することとなつた、これによつて生じた剩員は艦艇乗組み、太平洋沿岸及び海外各基地の兵力増強に配備される筈である

新聞記者

人氣投票

(リスボン七日發) ニューヨーク來電「サタデイ・レビュー・オブ・リタラチャー」誌

は最近米國議會諸記者團六百九十六名に對しワシントンに駐在してゐる新聞記者人氣投票を行つたところ次の結果を得た

▽正確、公平、報道解説の能力において最も優れた記者 スクリップス・ハワード系のトーマス・ストークス二十五票、UP論説記者マークエス・チャイルズ二十三票

▽米國民に對して最も影響ある記事を書いてゐる者 ドルユー・ピアソン五十六票

▽ワシントン政界に對して最大の影響を與へてゐる者「ニューヨーク・タイムズ」紙ワシントン支局長アーサー・クロック五十一票、ドルユー・ピアソン三十二票

▽正確、公平、全般的の見地からワシントンよりの報道を最もよく傳へてゐる新聞「ニューヨーク・タイムズ」紙

▽その主張に最も適合するやうに報道を編輯してゐる新聞、孤立主義者ロバート・マツコーミツクの經營する「シカゴ・トリビューン」紙

【英國】

英印軍の損害の

一部を報道

(リスボン六日發) 「タイムズ」紙のキャンデイ電報は印緬戰線における英印第十四軍及び空挺部隊の損害を次の通り報道してゐる

過去十二ヶ月中に英印第十四軍が蒙つた損害は二萬七千三百三名である、右損害はスチルウエル大將に指揮が移された日以降の英軍第三十六師團の損害を加算してない、一方空挺隊が本年三月作戰を開始して以來九月三十日までの損害は三千七百十七名である

モズレーの

第一聲

(ストットホルム七日發) 英國ファシスト黨の首領サー・オズワルド・モズレーは過般解放されたが、UPのロンドン電報によれば同人は五日ハイド・パークにおいて同志とともに公開演説で出獄後の第一聲を放つたと傳へられる

軍需工場の

結核患者激增

(リスボン六日發) 十月二十日の「デイリー・メール」紙は英國の軍需工場における結核患者の發生状況を次の通り報道してゐる

軍需工場の厚生事業を擔當する醫師達はこれら諸工場における結核患者数が最近頂點に達したことに對して警告を發してゐるが、更にこの問題の解決に政府の機關が何一つ乗り出さうとしないことと一段と注意を喚起してゐる、結核による死亡率は減少したが、過去一ヶ年間に報告された患者數は一九三九年の三萬四千九百に比し、四萬二千四百五十に増加した、工場醫の言明によれば、以上は工場の燈火管制を初め諸種の勞動條件に起因するといはれる、マンチエスター地方の或る大軍需工場は過去六ヶ月間に結核患者数が四十%に近い割合で激増したとの報告を寄せてゐるが、マンチエスターの結核専門の醫長は右に關し次の通り言明してゐる

マンチエスター全市に亘り結核患者の一般的増加が見られたが、この數字が職業別でなく、家庭單位の調査に基づいてゐるため、以上の傾向が軍需工場だけにみられるものかどうかは分らない、しかし新患者の大部分は各工場で婦人勞働力の根幹をなす十六歳から二十歳までの若い女達である

【エール】

マサリックの

演説を禁止

(リスボン七日發) ダブリン來電「チエツコ・スロヴァキア亡命政權外相ヤン・マサリック博士はエール國國情研究會の招請で「戦時下及び戦後のチエツコ・スロヴァキア」に關して演説のためダブリンに到着したが、エール國政府は自國が中立國であることを理由に六日右演説を禁止した

【西 亞】

テヘラン市

緊急事態

(ストツクホルム八日發) モスクワ情報によれば、モハメド・サエド政府に對するイラン民衆の示威運動は依然として續行され、内閣瓦解の危機に伴ふ社會不安は日毎に激化してゐるといはれ、イラン政府當局は七日テヘラン全市に緊急事態を布告したと傳へられる、その結果武装巡邏と戰車隊が市内を警戒、重要交通連絡點には軍隊が出動して嚴重警戒してゐる模様で、労働組合の建物は騎馬巡査の一隊によつて取りまかれてをり、労働組合指導者二名が逮捕されたほか「フェルマン」紙は發行停止處分を受け、關係者に對する逮捕令も發せられてゐるといはれる

【カナダ】

志願制を維持

(リスボン六日發) オッタワ來電「前海外派遣軍司令官大將マクノートンは、召集カナダ兵の海外派遣を主張して容れられず二日遂に辭職し、ラルストンの後任として國防相に就任したが、六日就任後最初の演説で志願制が最もよくカナダの國情に適してゐるから今後も海外派遣の兵力は志願制に限る旨言明した

【米 洲】

南米諸國の對米債權

(リスボン四日發) ロンドン來電「エキステンジ・テレグラフ」通信の報道によれば現在南米諸國は米國に三十億弗に上る債權を持つてゐるといはれる、これらの債權の大部分は金の形態をとつてゐるが米國實業家筋ではこれを以て米國と南米諸國との間に一層緊密な通商關係を結ぶ上に好都合な手段であるとみてゐる、しかし南米諸國が米國から買ひ求めるものは先づ農業の増産を圖るための農耕機械、及び鐵道車輛、自動車、その他ラジオ・セツト、冷蔵庫等の高級品であらうと豫想されてゐる

【印 度】

中央立法會議食糧問題討論

(リスボン七日發) 印度中央立法會議は去る二日から開會されてゐるが七日から食糧問題に對する討論が始まり、食糧長官サー・スリヴァスタヴァが六日パンジャブ州閣僚並びに食糧關係官と協議するためラホールに赴いて不在のため民需供給長官が代つて議員の質問に答へたが同長官の言明要旨次の通り

現在までのところ本年末まで及び明年度どれだけの食糧が印度に輸入されるかを定めることは不可能である、余は英國政府から本年末までに八十萬噸の食糧を印度に送り更に明年度の第一四半期に三十萬噸を送るといふ公約を與へられてゐるに過ぎない

但し公約された食糧のうち既にどれだけ印度に到達したかは明かにされてゐない

【北 歐】

瑞の鐵鑛對ソ輸出は虚報

(ストツクホルム七日發) モスクワ放送は過般スエーデンから鐵鑛を輸入する途が拓けたのでレニングラードのキーロフ工場が作業を開始するに至つた旨報したが、スエーデン政府當局は右放送は事實に相違し現在までのところスエーデンはソヴェトに對し鐵鑛の輸出をしてゐない旨七日言明した

芬、商船の賣却を要求

(チューリツヒ七日發) ノイエ・チューリツヒヤー・ツァイツング」紙ストツクホルム特派員は六日次の通り報道してゐる

ソヴェト政府はフィンランド政府に對しフィンランドの所有する全商船隊の七十%を、戰爭中における價格の昂騰を無視して一九三八年年度の價格をもつて賣却するやう要請、目下交渉が續けられてゐるが、この中にはフィンランドの新造船三十%乃至四十%、十五萬トンも含まれてゐる、以上の要求に應ずることがフィンランド國民にとつて大打撃であることは勿論である

ソ 聯

言 論 界

米英に逆捻ぢ

(リスボン七日發) ソヴェト政府がシカゴで開催される國際航空會議に参加を拒否したことは米國言論界に多大の反響を捲き起してゐるが、ソ聯共產黨機關紙「プラウダ」は五日の「國際概觀欄」でソ聯の立場を辯明、次の通り論じてゐる

ソヴェト聯邦は他國の立場を言葉や聲明で判斷せず、行爲で判斷するが、外國の新聞はソ聯の國際航空會議不参加問題を論ずる際に、中立の假面を被つて實際は親ファシスト政策をとる國々の態度を言葉だけで額面通り判斷してゐるやうだ、たとへば英紙「デーリー・テレグラフ」のワシントン特派員は、ソ聯の不参加の背後に「ソ聯政策の或る種の變化」を認め、ソ聯外交政策の本體が奈邊にあるか判斷に苦しむと稱してゐる、同紙特派員によれば、ワシントン政界の一部ではソ聯がスペインのやうな國を攻撃するなら話が判るが、ポルトガルやスイスのやうな「昔からの民主主義國」を攻撃するのは、なんとでも解せぬと言つてゐるさうだ、かうした連中はフィンランドまでを「昔からの民主主義國」扱ひにして、フィンランドがドイツの最も熱心な衛星國であつたことに一向に頓着してゐない、同じやうにスイスが長い間民主主義國の假面の下に親ファシスト的反ソ政策をとつてきたことも問題視してゐないのだ、反樞軸諸國はファシズムを軍事的に撃滅するばかりでなく道義的にも政治的にも撃滅する任務を課せられてゐるが、以上の任務を完遂するためにはたとへ親ファシスト國家が中立乃至「昔ながらの民主主義」で偽裝してゐるからといつて手を控える必要は毫もない、戰爭の經驗は各國の政策が樞軸、反樞軸いづれかの陣營に奉仕してゐることを明瞭に實證してゐる

また「戰爭と勞働階級」誌は十一月一日號(二十一號)において同問題に關し次の通り論じてゐる「ニューヨーク・タイムズ」「ワシントン・ポスト」「ロンドン・タイムズ」の各紙やUP通

信はソ聯の國際航空會議不参加にわざとらしく吃驚して、あれこれと噂話に耽つてゐるが、以上の觀測は悉く事實と相違する、ソ聯がシカゴ會議に参加招請を受けた時には、中立國も參加するといふ報せを受けてゐただけで、どの中立國が參加するのか具體的には全然知らなかつたのだ、勿論ソ聯はスエーデンやトルコのやうな中立國が參加するには異議がないが、スイス、ポルトガル、スペインなどが參加するにおいては問題は當然別となる、以上の國はファシスト諸國と依然たる友好關係を維持してゐるばかりでなく、ソ聯のみとは正常な外交關係を樹立することすら避けてゐる、ソヴェト政府がかかる諸國の政府と協力するのを望まぬのは當然のことではないか、アルゼンチンは會議に招請されてゐないがソ聯は別に驚きもしなければ反對もしない、米國政府がアルゼンチンを除外することを妥當と考へてゐることをソ聯は尊重してゐるのだ

中立國に

外交攻勢

(チューリッヒ七日發) ソヴェト政府がスイス、スペイン、ポルトガル三國の參加を理由に、國際航空會議への參加を拒絶したに引きつづき、スイス政府の外交關係復活申入れを一蹴したことは、中立國に對するソ聯の外交攻勢の開始を意味するものとして各方面の深甚な關心を集めてゐるが、スイス聯邦參事會は七日會議を開催、次の公報を發表してスイスの公式態度を明かにした

スイス聯邦參事會は本年三月二十一日ソヴェト政府との外交關係復活の希望を表明したが、當時は問題が容易に解決されるものと確信してゐたのである、しかるにソヴェト政府はスイスが反ソ政策を採つてゐることを理由に、スイスの申入れを拒絶したが、以上の拒絶理由はスイス政府並びに國民のなんら關知しないところであり、ソヴェト政府もいづれは理解するであらう従つてスイス聯邦參事會はソヴェト政府との交渉中維持してきた態度を今後も堅持するであらうし、この態度はあらゆる國との友好關係を維持しようとするスイス聯邦參事會の希望を反映するものである

以上スイス政府は極めて控へ目な態度でソ聯の非を鳴してゐるが、スイス言論界は政府の外交上の敗戦を率直に認めながらもソ聯の強壓的態度を痛烈に非難「ノイエ・チューリッヒアー・ツァイツング」紙は六日の社説で

ソ聯が全く無思慮にスイスの希望を一蹴したところで、ソ聯が全世界の面前でスイスに恥を掻かしたと考へるものはあるまいが、ソ聯のいふスイスの反ソ政策云々は全く根も葉もないひ掛りだ、しかしながらもしもスイスが國內の共產主義者の活動を押へてゐるからといつてソ聯がスイスをファシスト呼ばはりするならば、それは國際的意義を持つ重要問題と化さざるを得ない、いづれにしてもスイスはソ聯の内政に對する干渉を無條件で拒否するべきだ

と論じ「ガゼット・ド・ローザンヌ」紙も次のやうな強硬態度をとつてゐる

ソ聯が以上の措置でスイスの内政を左右し、國內情勢を激化させることが出来ると考へるならば大間違ひだ、スイス國民はソ聯との外交關係復活を希望してゐるが、どんな犠牲も屈辱も敢てしてといふわけでもない、小國ですらも國家の尊嚴を守る權利がある筈だ

他方英國はソ瑞紛争を見てみない振りを装ひ専ら介入を避けてゐるが、ソ聯の遣り口を不快視してゐることは明瞭で「タート」紙のロンドン電報も次の通り報じてゐる

英國は自國と友好關係を持す中立國とソ聯との關係が悪化することを歓迎しないだけに、ソ聯のスイス壓迫を内心頗る不快視してゐる、特に英國の外交界はソ聯が東歐洲勢力圏と西歐洲勢力圏との間の緩衝地帯の役割を果すスイスとの關係を殊更に激化させてオーストリアまで觸手を伸ばす下心とみて事態を憂慮してゐる

【重慶】

米、司法調査員を派遣

(リスボン七日發) ワシントン來電 米國務省は七日次の通り發表した
判事ミルトン・ヘルミツクは重慶の法律、法規及び司法行政、特に支那に商業的權益を持つ米

國の商社に影響を及ぼす商業法規に關する一般的調査を行ふため重慶に赴く豫定である、重慶政權は米國務省に對しヘルミツクの訪問を歓迎し、同人の重慶滞留中この訪問を兩國相互の利益とするため、適切な便宜を提供する意向なる旨を通告して來た、ヘルミツクは重慶に約三ヶ月滞留の豫定である

【濠洲】

早魁で凶作

(リスボン六日發) キャンベラ來電 濠洲東部並びに南部地方の一部特にニユー・サウスウェールズ州では「二十世紀の最も悲劇的な」早魁に當面、農作物は全滅に瀕してゐるが、このため濠洲の小麥收穫は平年の三分の一、家畜飼糧は八分の一に減少する見込で、濠洲のみならず亞洲に依存してゐる反樞軸諸國の食糧事情にも重大な打撃を與へよう

【フランス】

空軍代將に無期懲役の宣告

(リスボン七日發) パリ來電 Ⅱフランス空軍代將パンサーはフランス反ソ義勇軍團を結成した廉でド・ゴール政權により反逆罪に問はれてゐたが、六日パリ法院において終身懲役の宣告を受けた、當年十九歳になるパンサーの子息も逮捕されてゐる

科學哲人逝去

(リスボン五日發) パリ來電 Ⅱ「人―不可知なるもの」の著者として知られるフランスの科學哲人アレクシス・カレル博士は五日心臟麻痺で逝去した、享年七十一、同博士はロツクフェラー研究所で醫學を專攻、一九一二年「血管の滲透並びに氣管の移種」に成功してノーベル醫學賞を授與され、一九三九年までロツクフェラー研究所で科學人の立場から人間學の研鑽を重ねたが數年前カレル研究所を設置して研究を續けてゐた

同盟通信

海外電報

(第三四四號電報)

【ドイツ】

米英兩國に 重ねて抗議

(ベルリン七日發) ドイツ政府は反樞軸軍が國際法を無視してドイツ病院船、病院列車などに對する攻撃を依然繼續してゐる實狀に鑑み去る一日利益代表國を通じて米英兩國に次の抗議文を提出した

米英兩國の飛行機はドイツ軍病院船、病院列車および中立國々旗を掲揚してゐる赤十字船に對し故意に爆撃または機銃掃射を加へること十二回に及んでゐる、右爆撃において赤十字船乗組の中立國船員多數が死傷、さらに萬國赤十字社代表の一人が負傷した

殘虐行為査問

(ベルリン一日發) 政府當局は東プロイセンにおける赤軍

委員會設置

の殘虐行為を調査するため國際委員會を創設した旨一日發表した、同委員會は東プロイセン赤軍殘虐行為査問國際委員會と稱し委員の顔觸れは次の通りである

△委員長

エストニア大學教授マエ博士(エストニア)

△委員

ペンテス・ラホ氏(スベイン)

ド・レストリニレ・ヘンドリックス氏(オランダ)

ダ)

ペトロ・アヴァンチニ氏(イタリア)

カライス氏(スエーデン)

ナイデノヴィク氏(セルビア)

ストラウドアニス嬢(ラトヴィア)

ブ上級大將に

(ベルリン六日發) ヒトラー總統はドイツ集團軍司令官ヨ

勳章授與

ハネス・ブラスコウイツ上級

大將に對し六日柏葉騎士鐵十字章を授與した

ブラスコウイツ大將は反樞軸軍が優勢な兵力をもつてフランス南部沿岸に上陸し同時にノルマンディ戰線でドイツ軍の防禦線を突破した當時フランス南部、西南部地區でドイツ軍を指揮してゐたが、同大將は巧妙な作戰をもつて敵の包圍企圖を脱しドイツ軍に數倍する優勢な敵兵力と交戦しつつ麾下の部隊を後退させドイツ軍の西部新陣地に

集團軍を合流させたのである

チエツコ國民軍

(ベルリン七日發) 赤軍の使

司令捕虜

俟によりスロヴァキア地方で蠢動を續ける叛軍に對しドイツ軍は過般掃蕩戰を續行してゐたが、七日次の通り綜合戰果が發表された

戰死

四千以上

捕虜

一萬五千以上

鹵獲乃至擊破

飛行機

二百六十七機

戰車

百四臺

裝甲列車

二列車

機關車

九十四臺

貨車

二千輛

その他武器、燃料、補給物資等多數を鹵獲
右掃蕩戰で亡命チエツコスロヴァキア政權國務相兼チエツコ國民軍司令官ルドルフ・ヴィエスト將軍も幕僚とともにドイツの捕虜となつた

【亡命政權】

ノルウェー

(ストックホルム七日發) 赤

外相訪ソ

軍のノルウェー領侵犯に伴ひソヴェト政府と亡命ノルウェー

1政權との關係は急速に親密化してゐるが、亡命ノルウェー政權外相トリグヴェ・リーはスエーデン政府との交渉を一時打ち切り七日ストックホルムから空路モスクワに向け出發した、リーのモスクワ訪問は赤軍侵攻地區における軍政、民政兩問題並びに亡命ノルウェー軍の使用につきクレムリンと協議するためである

波政權カーゾン

(ストックホルム七日發)

線を承認か

「アフトンチドニンゲン」紙のロンドン電報が七日報する

ところによれば、亡命ポーランド政權は愈々最後の臍を固めてオーデル河までのドイツ領土と引換へにカーゾン線を承認するに一決したといはれる但し以上の實現に際しミコライチク政權は米英ソ三國の確乎たる保證を希望してゐる模様だが、ルブリン政權を新ポーランド政府の基礎とするといふソ聯側の主張には依然強硬に反對してゐる



資料

戦後失業問題の解決策

前米國武器貸與長官ハリリー・ホプキンス

デイリー・テレグラフ紙十月二日號

われわれが現在の戦争を戦つてゐるのは、侵略的な外敵から自己を護るためばかりでなく、同じ位危険な内敵すなはち失業、不況、缺乏をなくすためでもある、遠からず勝利が得られるといふ確實性が增大するにつれて、幾千萬の國民男女——世界の前線で戦ひ銃後で武器を製造してゐる人々の心には不安が萌し始めてゐる「戦後自分の仕事はどうなるのだらうか」戦後大衆的失業が甞らすべき精神的頹廢や民主主義没落の危険を避けるためには、われわれは急速に計畫を樹立せねばならない

數百萬の人間が長期の失業に陥るのを防がうとするならば、われわれは過去の平時の最も景氣のよい時代の少くとも一倍半を生産しなければならぬ、そしてまた國民全部に仕事を與へるためには、われわれが生産し得るすべてのものが必要であらう、戦後消費財に對する龐大な需要の生ずるのは疑ひもない

過去暫くのところ米國における平均所得は世界最高であつたが、それですら戦前米國の世帯の三分の二は一週間に三十五弗以下の収入しかなく、三分の一の一週間の所得は十五弗以下であつた、年收五千弗以上の者は所得のある人間百人につき約一人の割合に過ぎなかつた、かかる所得の状態では満足すべき生活水準は得られない、低額収入を上げれば——これは決して不可能ではないが——國民は必要とするものを買ふことが出来る、實際國民は非常に多くのものを必要としてゐるのである

戦後米國工業の生産すべき商品が少くなるからといつて失業の發生はやむをえぬと考へる理由は少しもない、開戦當時米國の工作機械の七割以上

は二十年以上も使ひ古されてゐた、戦争に必要な施設の生産によつてこの状態は改善されたといふものの、現在なほ快適な作業と能率的な經營を行ふに足る近代的設備のない工場や建物が多々ある最早舊式になつた鐵道施設や資産も少くない、さらに米國の公共施設のうち多くのものは修理どころか更新を必要とする状態に在る

自由競争の擴大

米國工業は戦時の重税を負担してゐるにも拘らずなほ且つ龐大な餘力を有してゐる、國民全部に仕事を與へようとするなら、この餘力を用ひて復興事業と工業の擴張を實施し大量の國民需要を充さねばならぬ、自由經濟に在つては恐らく經濟活動の多少の消長は避けられぬところであらうが、だからといつて好況時における失敗と無能の累積を除くには不況が必要だと考へるならば、消極主義あるひは敗戦主義の譏りを免れぬであらう、激甚な競争は無駄の最大の敵である、急流は生命と力を創り出すが、堰き止められて澱んだ水は惡疫と腐敗の源である

政府が十分な支出をすれば失業は必ずなくなるといふことは、戦争を通じてはつきり證明されたとはいふものの失業問題の解決策としてこの方法を提唱するわけではない、當時大規模な政府の支出に依存するのは、税率を引上げ赤字を繼續させ恐らくは民間工業との競争を増大する結果に終るから、自由經濟を存続せしめる米國の方針とは合致しない、民間會社による自由雇傭、利潤、私有財産、生産の能率、能力に應じた報酬などのものは、すべて米國の生活様式の好ましい特徴であつて今後も存続させねばならない、以上の自由社會の根本的原則に合致する計畫は立案出来るし、また立案せねばならない、不況の破壊力を跳梁させ制度全體を危殆に瀕せしめるよりは、自由經濟の埒内で小規模の改革を行つた方がよい、それ故現在の制度をより能率的に活用するのがわれわれの仕事である、米國經濟の前途と永續的繁榮は何といつても自由競争の擴大と國民の生活水準の引上げに懸つてゐる

戦後自由競争擴大の方向に效果的に進むために次の提案を行ふ

一、法律制定によつて最低賃金を現行の一時間四十仙から少くとも五十仙、次いで六十仙に引上げる、實業界もこれに協力すると信ずる、米國が大體において一週四十時間制に復歸することは確實だが、これによつて賃金總額は多大の——恐らくは年々百五十億弗程度の——減少をきたすであらう

二、戦後國防公債の元利増加が並びに歸還兵に對する賜金支拂によつて政府支出の増大は必至であるから、戦前より高率の課税が必要とならう、課税は經濟への影響と睨合せて實施すべきであり、税額の査定に當つては何よりも先づ納税能力を考慮しなければならぬ

三、米國の社會安全保障制度を改革し、現在より更に完全に國民を包含し、受益額を高めると共に受益期間を延長せねばならぬ、老朽者と病弱者を引退させ青年に仕事を譲らせねばならぬ、失業の脅威が發生しさうな時には、土木事業とともに失業手当が重大不況と大量の失業を防ぐ主要な手段とならう

四、國民各層の生活水準を著しく引上げるには恒久的基礎における完全就業の實現が最も確實な方法である

しかし、失業を防止し最低賃金を引上げただけでは、多くの人間が依然として強力で潑刺たる國家の基礎となる生活必需品獲得の能力において幾分缺くところがあることにならう、それ故主として民間事業によつて貧民窟掃蕩と住宅建設を行ふ確乎たる政策が必要で、これによつて各家庭が快適な新住宅施設を入手し得るやうにしなければならぬ、同様にあらゆる所得水準にある人々に對して適當な醫療施設を與へねばならない、税制改革のうち多數のものは投資促進の目的をもつて實施されねばならない、先づ第一に超過所得税を可及的速かに改正し、企業の実際の資本消費に従つて變化するやうにすべきだ、企業が多額の資本投下を行ふ外には、資本に對する税率を現在よりもずつと低下させたらよい、高額所得者に對する個人所得税は危険を冒す勇氣を喪失せしめるほど

高率であるべきではない

對外經濟關係

對外經濟關係の分野においてはわれわれは戦後多くの困難な問題に當面するであらう、外國の潜在的需要を現實的需要に轉化せしめ得ることを考へれば、米國商品の相當な市場が諸外國に存在するわけだ、國土或ひは國土上空で戰國のあつた國は戰火の慘害を蒙つてをり、急速に復興するために外國の援助を要する、さらに世界の後進國は自國の經濟開發を促進する熱心と決意を抱いてゐる、支那は工業化によつて生産を昂めようとしてをり、印度は工業資材を求めるであらう、南米諸國もまた斷乎として工業化を促進する意向だ、世界の他の地域の生活水準の向上と生産能力の増大はわれわれ米國國民の生活水準の低下とはならぬこれまで量の點からいつても利益の點からいつても米國が最大の貿易を行つてゐたのは諸先進工業國であつた、對外貿易は往復路のやうなもので、行けば歸つて来る、われわれはそれ故更に外國に借款を與へ、外國をして米國の商品と資材を購入し得るやうにしなければならぬ、但し、これらの借款は米國で生産される食糧、商品、資材購入の支拂ひにのみ使用せしめるべきだ、さうすれば借款の一弗一仙までが米國農民、米國勞働者、米國工業の懷に入ることにならう、一九二〇年代には米國が外國政府に與へた借款が米國ではなくその國自身で消費されたことがあつたが、われわれはかかる誤を繰返してはならない

以上の提案はわれわれ日常の經濟生活に政府が現在よりも積極的に參加するのが望ましいとか必要だとかいふ意味ではない、ただ制度全體の運用がうまく行かなくなつた時には、事態を改善する方法は政府による外ないといふだけだ、われわれが進取の氣象を尊重し、自由人に相應しく考へる限り企業の自由の脅威が加へられる筈はない、もしもわれわれが戦争に使つたと同じ位の洞察、精力、頭腦を復興事業に用ひるならば、働く意志と能力のあるすべての男女に限りなく機會を與へるやうな平和の實現に失敗する筈がない

昭和十九年十一月十一日(土)
第三二三七號

同盟通信

海外電報

(259)

九月十一日米第一軍の一部隊がドイツ國境

を突破して以來既に滿二ヶ月を經過した、この間オランダに對する空挺作戰を除き西部戰線においては睜目すべきほどの變化はなかつた、八個軍團に上る反樞軸軍もオランダからフランス東部國境に至るジグフリード線の前面で足踏み状態を續け、徒らにドイツ西部要塞の防禦の固さを實證したに過ぎなかつたしかしこれを以て簡單に反樞軸軍の無力な所爲と斷することは出来ない、祖國防衛戰におけるドイツ軍の不屈の決意もさることながら第十二集團軍司令モントゴメリーによつて代表される反樞軸軍の熱柿戦法が二ヶ月の作戰停滯に少なからぬ影響を及ぼしてゐることに注目すべきである、フランス侵攻直前の對歐空



襲と同様の——規模に
おいては遙かに前者を
凌ぐ——對獨空襲が最
近連日行はれてゐると
ころからみてアイゼン
ハウアー軍の本格的攻
勢間近しとの感が深い

八日午前七時半フランス東北部のボンタ・ム
ーリンとシャトー・シャランの中間で突如パ
ットン中將の指揮する米第三軍は大攻勢を展
開、目下モーゼル河の支流セイユ河兩岸で白
熱的戰鬪が續けられてゐるが、ドイツ軍當局
では右攻勢をもつて来るべき大攻勢の前觸れ
と見てゐるやうだ、反樞軸側の諸報道はドイ
ツ側ほどこの作戰を重視してをらずパットン
軍當面の作戰目標をもつてメッツ要塞の奪取
にあると見てゐるが、北部戰區において既に
マース河南方の作戰を完了し、反樞軸軍が大
攻勢の一切の準備を終了してゐる點からみて
パットン攻勢がアイゼンハウアー攻勢に弾み
を與へないとは限らない、アルンヘム、アン
トワープ作戰で獲得した貴重な時間を浪費し
てゐなかつたことはV二號の發動で明かにさ
れたが更にドイツ軍が敵の大攻勢に如何なる
反應を示すか刮目に値する

目次

チャーチル前途多難を説く……………二六六二

現代戰の戰慄……………二六六三

物凄いV二號の速度……………二六六三

五人に爆弾一箇……………二六六三

V二號の攻撃續く……………二六六三

三頭會談開催愈々確定的……………二六六四

【反樞軸陣營】……………二六六四

三頭會談近く開催せん……………二六六四
白共產黨、政府と妥協……………二六六四

【米 國】……………二六六四

武力干渉を支持……………二六六四

【英 國】……………二六六五

西歐聯盟結成に乗出す……………二六六五

イーデン下院で報告……………二六六五

モイン暗殺者はスターン團員……………二六六五

對芬國交回復せず……………二六六五

反樞軸聯盟案をこき下す……………二六六五

【重 慶】……………二六六六

ウエデマイヤーの第一聲……………二六六六

國共和解交渉ますます困難……………二六六六

【ド イ ツ】……………二六六七

米の干渉政策を豫想……………二六六七

【ソ 聯】……………二六六七

駐日大使にレーニン勳章……………二六六七

對印外交代表を豫想……………二六六七

【ス イ ス】……………二六六七

對ソ態度愈々強硬……………二六六七

【フ ラ ンス】……………二六六七

トレーズ特赦さる……………二六六七

【東 南 歐】……………二六六七

勃、對日國交斷絶……………二六六七

チトー訪ソか……………二六六七

【北 歐】……………二六六七

ラトヴィア外相任命……………二六六七

芬兩相辭職す……………二六六七

【特 輯】……………二六六七

財政・經濟・國民生活……………二六六八—二六七五

戦局の前途多難を説く

(ストツクホルム九日發) 英國首相チヤーチルは九日マンシオン・ハウスにおけるロンドン市長の觀迎午餐會に出席し米國の大統領選舉、西部戦線の戦況等について演説したがロンドンからのロイター電報によれば演説の要旨次の通り

東においても西においても聯合軍の先鋒はドイツ領土内にあり、ドイツ潜水艦の脅威は差當り實際に取除かれてしまつた、過去一ヶ月間ドイツ潜水艦は一隻も聯合國の船舶を撃沈せず最後の日に一隻撃沈しただけである、われらの上にあれ程長い間覆ひかかり時には米英兩國の防衛組織のあらゆる注意を集中しなければならなかつたこの偉大な脅威は取除かれ逆に空中からドイツ領土に對しては火と爆彈の霰がいよいよ烈しく降下してゐる以上が一九四四年の戦果であり一九四五年内に反樞軸軍の勝利と歐洲の平和とが到來するやう全國民は男女の別を問はず一瞬たりとも努力を緩めてはならない、スタイン元帥が數日前の賢明且つ重要な演説において言及したやうに非常に正確に且つ巧みに相呼應して遂行された計畫を樹て取極めと決定とを齎したのはテヘランにおける會談であつた、更に新たに三國會談を開催すべき時機が正に到來したと敢へて言明するが今回米國における大統領選舉の結果により右會談の見透しは著しく好轉するに至つた

歐洲における二大戦

ノルマンディの戦ひの結果ドイツ軍はフランス領土から撤收し、英軍はイギリス海峡に接する海岸地帯並びにベルギー領土、オランダ領土の大半からドイツ軍を撃退するに至つた、しかしながらドイツ軍は本國に退却すると共に再び戦線を結成し、米軍が非常な力と動力とをもつて進撃したのに對しモーゼル河畔並びに附近において苛烈且つ繼續的な戦闘が展開されるに至つた、反樞軸軍は今や回復したドイツ軍の抗戦の堅固な核心にぶつかつたのである、しかしながら反樞軸軍の進撃が停頓するに至つたのは定に已むをえない、過去數

ヶ月間にわたりただ今述べたモーゼル河畔の激戦を除けば主として兵站補給並びに増援軍を注ぎ込むことが反樞軸軍最高司令部の主要な仕事であつた、しかし過去八週間乃至十週間に英軍の指揮下における反樞軸軍が二つの相當大規模な作戦に従つてゐる、最大の作戦はイタリア戦線におけるアレキサンダー將軍麾下の戦闘である、反樞軸軍はアベニン山系とゴシツク要塞線の恐しい障碍を突破しポー河の谿谷に進撃したのである、もう一つの戦争はオランダ戦線におけるモントゴメリー將軍麾下の作戦でその結果シエルド河口を啓開し近くアントワープ港を使用して反樞軸軍の北の側面の補給を改善することが出来よう、以上兩戦闘において英軍とカナダ軍は甚大な損害を蒙つた

困難は今後にあり

しかしながら以上アベニン山系並びに西部戦線における二大戦闘は今後數ヶ月間に遂行されねばならない一大作戦の序曲に過ぎないといふことをここに明確に指摘することが正しいと思ふ、われらは今やドイツ領土の玄關にありドイツ軍の死物狂ひの抗戦を粉碎するためには米英ソ三國の國力を挙げ一片の戦力をも残さずに頑張らなければならない、從來と同様余は歐洲戦局の前途に安易な觀測を傳へることは出来ない、あらゆる競争において最大の努力を傾注しなければならないのは最後の段階においてである、決して戦争努力を緩めるべき時ではない、五年間の長い戦争の後だけに随分辛いやうに思はれるだらうが、この國のあらゆる男子並びに女子は自ら如何なることをなし遂げるかを示さなければならない、前線の將兵は今までの努力に有終の美を與へ出来る限り短い期間内にこの歐洲における恐しい屠殺と破壊とを終らせるために全力を盡すことを信じて疑はない、勿論英國政府としては戦争から平和への過渡期乃至は歐洲における戦争の終了から遠いアジア大陸における日本軍と戦争への過渡期間において一切の用意を整へることは英國政府の義務であるが、最後の終結まで戦争を遂行するために全力を盡さなかつたならば、われらは決して任務を果たしたといふことは出来ない

現代戰の戰慄V二號の性能

(ベルリン九日發) ドイツ軍當局は新兵器V二號の構造については依然絶對沈黙を守つてゐるが、V一號流星彈を實戰に使用した經驗を基礎にV二號の製作には幾多の重大な改善を加へたことは明らかで、當局においてもV二號は英本國その他、「遠隔な地點」の攻撃について竿頭一步を進めたと確信の程を洩らしてゐる、V二號の威力について當局筋では九日特に

一、V二號はV一號に比べて一層大きく、且つ爆發力は遙かに破壊的である

一、V二號がV一號に比べて更に一層長距離に到達出来ることは發射時の衝撃で實證されてゐる

一、發射基地は極めて巧妙に建造されてゐるから到底見當もつけることは出来まい

一、V二號は攻撃目標を一層正確に狙ふことが出来る、V一號の經驗で目測をつけ攻撃の正確を期する特別の機械を發見するに至つたといふのもV二號の攻撃が正確なことを實證してゐる、英國からの報道によれば西部戦線の背後に一大爆發が起り反樞軸陣營内に非常な衝撃を起したといふ報道も矢張りV二號の威力を示してゐるまた、V新兵器が戦局に如何なる影響を及ぼすかを斷定するにはなほ藉すに多少の時日をもつてせねばならないがドイツ軍としては更に新たなV兵器を續々發動する方針である

物 事 い V 二 號
(ストツクホルム九日發) ロンドンからのロイター電報に

の 速 度
よればV二號俗稱「空飛ぶ電信柱」の速度は音よりも早いといはれるが、別な英國情報もV二號の飛行速度を七百哩としてをりこれも音の速度と大差なく、いづれにしても音では全然飛來を知り得ないといふので南イングランドの住民の間に大恐慌を來してゐる

五 人 に
(リスボン八日發) 英國の檢閱はドイツ軍對英空襲の報道に關して逐次緩かになつた模様でロンドンのラジオ評論者パトリック・レーシ

一は八日次の事實を發表した
エセツクス州ダートフォード地區(人口三萬、面積約三萬エーカー)に對して投下された爆彈は燒夷彈を含めて六千個を少し超える、うち五千三百六十は破壊爆彈、五十二個が爆雷、七十四個が流星彈、約四百個は榴霰彈だつた

V 二 號 の
(ベルリン九日發) 總統大本營は九日正午の公報においてV二號によつて強化されたロンドンに對する攻撃は八日來繼續されてゐる旨發表した

三頭會談開催愈々確定的

(リスボン九日發) ルーズヴェルトの四選確定の結果スタリーン議長、チャーチル首相との三頭會談が數週間内に歐洲の何れかで開催されるのは略略確定的となつた、APのワシントン特派員ハイクワは九日

ルーズヴェルト大統領は大統領選舉も終了したので數週間以内にチャーチル首相並びにスタリーン議長と會見し歐洲戦局の推進、世界新機構案について協議を遂げるだらう

と傳へロンドンからのUP電報は
外交界筋の消息によればルーズヴェルトは今後六週間以内に歐洲を訪問しチャーチル首相、スタリーン議長との間に少くとも五件の緊迫した國際政治問題につき検討を加へよう、大統領は開戦以來初めて英國を訪問し同時にド・ゴールの招請を容れてパリを訪問しよう、但し三頭が何處で會談を遂げるか正確な地點はわからないと報道してゐる

「デイリー・テレグラフ」紙外交記者は會議地點として第一に候補に上つてゐるのはロンドンとモスクワだと述べてゐるが、スタリーン議長がソヴェト聯邦の領土を立去ることが出来るかどうかは疑問だと付け加へてゐる、當のチャーチル首相も九日マンシヨン・ハウスにおけるロンドン市長の年次午餐會席上

今こそ再び三頭會議を開くべき時だと述べた

【反樞軸陣營】

三頭會談近

く開催せん

(リスボン八日發) AP通信
ワシントン特派員ハイタワ
は米國大統領選舉の結果につ
き八日次の通り報道してゐる

ルーズヴェルトの四選が決定したため、彼が近
くチャーチル並びにスターリン議長と會談を行
ふことが略々確實となつた、右會談においては
ルーズヴェルトの今後の外交政策を初め、戦後
安全保障機構の急速な具體化、戦後のドイツ處
理案等が討議されるとみられるが、なかなづ
最も重要な政治的争點は米國外交政策の根本に
觸れる問題、即ち米、英、ソ三國がどの程度ま
で利害關係を調和させる意思があるかといふこ
とだ、米英兩國政府は過去の長い經驗に基き兩
國間でこの問題を解決し得る確信を十分に持つ
てゐるため實際上は米英對ソ聯の利害對立とい
ふこととならう

スターリン議長はルーズヴェルト、チャーチル
に對し次の二つの根本問題につき回答を求める
ものと解される

一、米國政府は前大戰後と違つて今回は安全保障
機構に參畫するか

一、英國政府は歐洲でソ聯と張り合はずソ聯と協
調するものとみなして差支へないか

ロンドン來電によれば、英國政界でもルーズヴェ
ルト四選の結果三巨頭會談が當然開催されるもの
とみなし、時期は恐らくクリスマス以前であらう
と觀測してゐる、またモスクワ來電によれば、モ
スクワ各紙は選舉の狀況を刻々速報したが、市民
はルーズヴェルト優勢の報に熱狂し、ルーズヴェ
ルト四選支持の態度を公然と表明したといはれる

白共產黨、政府

と 妥 協

(リスボン七日發)「タイム
ズ」紙のブラッセル特電によ
れば、ベルギー共產黨政治局
では當分の間政府と協調することに決定したとい
はれる、右はビエロロ首相と共產黨中央執行委員
長との會見の後に決定されたもので、同會見にお
いて中央執行委員長は外相スパークの訪英に關聯
しベルギー政府が英國と一方的同盟關係に入らな
いやう首相に對して警告を發したといはれる

【米 國】

武力干涉 を 支 持

(リスボン七日發) ニューヨ
ーク來電ニ元駐英大使ジョ
ン・デーヴィスその他著名の
國際法學者、教授連によつて組織されてゐる「世
界平和機構研究委員會」は七日要旨左の聲明を發
表した

戦後の國際機構において侵略國に對し國際的な
軍事行動がとられる時、米國大統領は憲法の規
定に基づき議會の承認を経ずして、米國の軍隊
をこの軍事行動に使用し得るであらう、即ち米
國憲法は宣戰に關する議會の權限と、國際法を
蹂躪し米國の安全を脅やかす國家に對して米國
軍隊を派遣する大統領の權限との間に明瞭な區
別をつけてゐる

【英 國】

西歐聯盟の 結成に乘出す

(ストツクホルム八日發)ロ
ンドン來電によれば英國首相
チャーチルはド・ゴールの招
待に應じ外相イーデンを帶同十一日の前大戰休戰
記念日に當りパリを訪問することに略々決定した
模様だ、これを機會としてチャーチルとド・ゴー
ルとの間にいかなる協議が行はれるかは明らかで
はないが

一、フランス政府承認に伴ふ同國の歐洲諮問委員
會加入問題

二、フランス國內建設工作並びにそれに對する英
國の援助

三、フランス軍の歐洲戰及び對日戰協力問題
等の諸問題が議せられると豫想される

モスクワ會談の疲れも癒えぬチャーチルがスパ
ーク白外相を迎へた後あわだしくパリ乗込みに
決したのはド・ゴールとの緊密な提携を急ぐ英國
の特別な意圖があることは覆ふべくもない、即ち
かねて米ソ兩國の進出に備へて西歐聯盟を結成せ
んと企む英國が愈々その實現に乘出し、英佛白蘭
の四ヶ國に會談を開催すべき準備工作に着手した
とみるのが今回のパリ旅行の真相であらう

イーデン下院で報告

(ストツクホルム八日發) ロンドン來電「英國外相イーデンはモスクワ會談の歸途カイロ、アテネローマを歴訪、このほどロンドンに歸還したが、八日正午下院において次の通り報告を行つた

一、モスクワ會談についてはチャーチル首相の報告にさらに附言することはない

一、カイロには四日間滞在、新エジプト首相アメッド・マヘール・パシヤと會見した、マヘール首相は余に對しエジプト政府は一九三六年の英埃協定を遵守する意思を披瀝した、余は去る六日兎手に殲れた英西亞常駐相モインとも會つて西亞の政治並びに行政上の諸問題に關し種々協議を遂げた

一、余は十月二十六日モインとともにアテネへ飛び、地中海方面反樞軸軍總司令官サー・メートランド・ウィルソン、英國地中海艦隊司令ジョーン・カニンガム、反樞軸地中海委員會英國代表ハロルド・マクミランと共にギリシヤ政府首脳部と會見、ギリシヤの饑饉、通貨膨脹などの問題につき協議した

一、次いでイタリア戦線反樞軸軍司令官ハロルドアレキサンダーの招請を受けてアペニン戦線を訪問したが悪天候のため十分視察することが出来なかつた

以上の報告に續いて極めて簡単な討論が行はれ、保守黨議員ダンカン大尉が「ブルガリア軍はトラキア、マケドニア地方から引揚げてゐるか」と質問したに對し、イーデンは「仰せの通り撤收してゐる」と答へた

モイン暗殺者は

スタン團員

やうに報じてゐる

モインの暗殺犯人はポーランド系ユダヤ人教師アブラハム・スタンが組織した「スタン集團」と稱するユダヤ人國家主義同盟に所屬する團員でモツシ・コーエン、イザツク・サルツマンの兩名である、パレスチナ地方における警察署襲撃事件も同團員の所業なることは明かである

對芬國交 回復せず

(リスボン八日發) ロンドン來電「英國外相イーデンは八日下院において「英國政府はまだフィンランドと國交を開始するに至つてゐない、シェファードはフィンランド駐在の政治代表である」旨言明した

反樞軸聯盟案

をこぎ下す

(ストツクホルム八日發) ロンドン來電「英誌「ナインティーン・センチュリー」は過般のダンバートン・オークス會談に關し論評を加へて次の通り論じてゐる

反樞軸聯盟案は多くの點において舊國際聯盟よりも劣り、優れてゐる點は殆んどないといつてよい、凡ゆる戦争は正に大災厄である、しかしこの大災厄は、それを一般的ならしむることによつて避け得られるものではない、安全そのものが脅威される時にのみ干戈をまじへ、もしくは、他國の紛争に武力をもつて干渉するといふことは、英帝國にとつても、且つまた大小を問はずあらゆる國家にとつても重大事である、戦争には重大なものもあれば、さうでないものもある、しかし戦争絶滅こそが最重大問題であるこれはソ聯の立脚點であるらしく、且つ英國の立脚點ともなるであらう、新聯盟は、もしもダンバートン・オークスで決定された如き組織を有するものならば、歐洲の分割を恒久的なものたらしめるであらう、今次戦争は、將來東歐と中歐が西歐から切り離され非歐洲域に合併されるまでに歐洲を分裂してしまつた、これは一大悲劇である、英國及び米國では何人もこれについて明確な理解を有しない様である、これは歐洲からの分離、しかして一種の精神的追放である、かくして分界線はドイツ國を貫き、ドイツは二個の世界に分けられるであらう、しかしながら歐洲はロンドンやワシントン、モスクワで信じられてゐるよりは遙かに強固な實在である如何に弱体化しようとも、且つ長年月に亘り武装解除されようとも、結局はドイツは、歐洲大陸の分裂ゆるに以前にも増した強大な力を得るであらう、西歐諸國は歐洲の組織建設に失敗した即ち歐洲が自らを建設するに協力を與へなかつた、これはドイツにとつて好機である

【重慶】

政治問題に干渉せず

ウエデマイヤーの第一聲

(リスボン八日發) 重慶來電によればスチルウェル罷免に伴ひ在支米軍司令官兼重慶軍參謀長として重慶に着任した少將アルバート・ウエデマイヤーは七日最初の記者團會見で支那戦局の打開問題に關聯して政治問題には干渉しない意圖を次の通り表明したといはれる

着任早々の調査によれば支那戦域の情勢は有利でないやうだ、しかし希望を失つてはならない支那の戦局を安定する計畫は樹立されてをり、またサルタンの印緬戦域司令部が多くの補給物資を注ぎ込むものと期待する

われわれは支那への海上連絡が印緬地域からする現在の細い補給の流れを非常に増大するものと待望してゐる、東南アジア軍司令部は十分擴大した計畫を持つてをり若しこの計畫を強力に遂行すれば支那の戦局に大いに援助となるであらう、われわれはリバティ型船舶一隻がよく一千トンを送送することを忘れてはならない、若したとへ一日一隻乃至二隻の船が貨物を陸揚げ出来る港灣でも獲得すれば、それが如何に重慶軍に十分の裝備を施しうるかを容易に諒解出来るよう

次いで彼等は記者團より「物質的に十分の進歩をとげこの戦争における重慶の役割の重要性を増す見透しについて樂觀的か」との質問に答へて

戦争においては時間的要素が最も重要だが重慶軍が日本撃破に重要な貢獻をなしうるまでにどの位長くかかるか言明の限りでない

それよりも今直ちに解決しなくてはならぬ最大の問題は交通連絡である、われわれは戦闘に必要なガソリン補給に地上交通連絡を利用すると共に一切の努力を拂ふつもりだ、しかし當分の間は空輸だけである

次いで政治問題と戦域分擔について彼は自分は支那の政治情勢に何の關心も持つてゐない、われわれの任務の一つは日本軍を殺すことであり、自分の任務もこの目的のために反樞軸

軍と協調し完全な協力に資することである、スチルウェルを召還に導いた事情の詳細及び印緬支三地域における反撃については何も知らず、また知らうともしない、解體した印緬支地域における新しい支那戦域の範圍は支那全土及び佛印を包括し、一方泰國は東南アジア軍司令部の分擔地域に編入された

國共和解交渉 (リスボン八日發) 米國が重慶に對して延安政權との紛争解決を要求してゐたことがス

チルウェル問題によつて明かにされたが、重慶來電によれば宣傳部長梁寒操及び行政委員張平群は八日の記者團會見で、去る五月開始された和解交渉は何らの進展をみせてをらず、しかも現在では交渉を開始した當時よりも一層困難が増したことを認め次の通り言明したといはれる

國共の交渉は進展してゐない、數ヶ月前に交渉が開始された時よりも現在の方が一層困難であることは公然の祕密だ、國民參政會が任命した調査團は近く延安に赴く豫定である

【ドイツ】

米の干渉 (ベルリン八日發) 米國の大統領選舉については八日のドイツ各紙はいまだ報道してゐないが、ドイツ政府筋としては米國の戦争遂行方針變化を期待し、内心デュウイの出馬を希望してゐただけにルーズヴェルトの四選を喜ばない

氣配の窺はれるのは勿論である、殊にドイツ國民が嫌惡して止まないモーゲンソーがルーズヴェルトの傍にくつついて離れない限り、ルーズヴェルトの戦争政策及びドイツに對する政策が變化するとは豫想されない、ドイツ外務省當局は八日正午の國際記者團會見において大要次のやうに言明した

ルーズヴェルトは既にあまりにも明かなドイツの敵である、ドイツに對するユダヤ人の憎惡を代表するモーゲンソーがルーズヴェルトの傍にゐる限り米國民が全部右方針に従つて動くことを忘れてはならない、また今度の選舉で米國が益々歐洲大陸への干渉を強化することを豫想しなければならぬ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ソ 聯

駐日大使に

レーニン勳章

(モスクワ三日發延着) ソ聯最高會議幹事部會は東京駐劄ソ聯大使マリーク氏にレーニン勳章を授與、東京駐在大使館參事官アヌーロフ、第二極東局長ジェーコフ、滿洲領事ハーリン、ハルビン領事パヴリチエフ、大連領事ベトロフ、元東京駐在大使館員ザブローデン、ザベーリンの各氏にそれぞれ赤旗勳章を授與した旨三日發表した

對印外交

代表を豫定

聯が印度と直接外交關係を樹立する希望を表明してゐるとは英國下院でも問題となつたほど物議を醸してゐるが、英國月刊誌「レヴィエュー・オブ・ワールド」は十一月號で

ソヴェト政府は是が非でも印度と直接外交關係を樹立する決意を固め、既にイヴァン・マイスキー氏を印度に對する外交代表として豫定してゐるといはれる

と報じてゐる、マイスキー氏は前ロンドン駐劄大使で現外務人民委員部次長、ソ聯切つての英帝國通であるだけに印度に對するソ聯の強力な外交攻勢が豫想される

【スイス】

對ソ態度

愈々強硬

(チューリッヒ八日發) ソヴェト政府がスイス政府の國交修復要望をにべもなく撥ねつけたことはスイス言論界に深刻な憤懣の念を喚び起し、八日も引き續きスイス各紙はソ聯の高飛車な態度を攻撃「ナチオナル・ツァイツング」紙はスイスはソ聯の軍門に降つたバルカン諸國のやうな取扱ひを受けて黙つてゐるわけには行かないと論じ「ノイエ・チューリッヒアー・ツァイツング」紙も

ソヴェト政府はスイスに挑戦してスイス政府を危機に導き、左からの社會不安を勃發させようとかかつてゐると述べて、ソ聯の意圖を明るみに曝け出してゐる

【フランス】

トレーズ

特赦さる

(ストツクホルム八日發) パリ來電によればド・ゴール政府は七日附官報をもつてフランス共產黨々首モーリス・トレーズの特赦を發表した、トレーズは一九三九年大戰勃發と同時にフランスを脱走してモスクワに亡命し當時のグラデイエ内閣により脱走罪によつて六年の刑を宣告されてゐたものであるが今回の特赦によつてフランスに歸國が可能になつたわけだ

【東南歐】

勃、對日國交斷絶

(ストツクホルム八日發) ソフィア放送によればブルガリア裏切政權は八日、日本政府と國交を斷絶した旨發表したといはれる

チト

訪ソ

(リスボン八日發) ロンドン來電によればユーゴスラヴィア國民解放軍司令チトーはスターリン議長と會談するためモスクワに到着したと傳へられる

またユーゴスラヴィア駐在英國軍事使節團長代將マクレアンは八日チトー司令部からロンドンに歸還したといはれるが、マクレアンの歸國はチトーの訪ソと關聯したものと解されてゐる

【北歐】

ラトヴィア

外相任命

(ストツクホルム八日發) モスクワ來電によればV・ヴァレシユケン氏がラトヴィア、ソヴェト共和國の外相に任命されたといはれる

芬南相

辭職す

(ストツクホルム八日發) ヘルシンキ來電「フィンランド内相フラゲルホルム並びに労働相ウオーリは八日辭任したが、結局内閣が總辭職するのではないかと傳へられこの理由としては社會民主黨議員團代表タンネルと意見衝突の結果といはれてゐる

財政、政治、國民生活(下)

——戰時英國の諸斷面——

長谷川才次

樂觀論と憂鬱な現實

「われわれの間で多數は疲れてをり、少しは樂しまたいといふ氣持が段々強くなつてゐるが、今度の戰爭が始つて以來今位全力を擧げて戰爭を遂行する必要の大きい時は未だ曾つてない、現狀においてわれらの最大の敵は根據のない樂觀である、樂觀に耽る人が多すぎる、しかもドイツ軍が戰線を短縮したのは祖國防衛への第一歩であることに氣が付いてゐない、アルンヘム地區でドイツ軍が勝利を収め、目下シェルド河口で苛烈な戰鬪が展開されてゐることに徴しても情勢が變つたことは明かだ、もう一冬戰爭を覺悟することが必要である」

「ニューズ・クロニクル」紙が十月三十日の紙上に掲げた社説である、英國の指導層がソ波兩國間の紛争による戰爭理念の破綻、ソヴェト政府の進出による勢力均衡政策の終焉、並びに財政上の困難等に當面して苦慮してゐるのと同様、更に政界筋が總選舉氣構えで變調を呈してゐるのと相呼應し、英國人一般が戰爭の前途に對する樂觀氣分と石炭は足りない、住宅難だ、しかもオランダ戰線は仲々抄取らないといふ現實との間に如何にも割り切れぬ氣持に支配されてゐる、樂觀論については最近英國下院で保守黨のボワー議員は、情報相ブレンダン・ブラツケンに次の通り質問してゐる「一部の新聞が西部戰線の戰況について終始樂觀的な情報を傳へるといふ危険な方法をとつてゐるが、情報省では取締る意向はないか、しかも極つたやうに勝鬪が間違ひであつたといふ訂正が後から出て、徒らに國民を失望落膽させるばかりだ」しかし情報相は

「從軍記者も時々樂觀に墮することもあらう、いや前線の將兵達も同様樂觀氣分に陥ることもあらう、しかし情報相は

う、しかしそれだからといつて政府が編輯すれば前線報道がよくなるとか、國民の信頼を一層よく博するとは考へられない」

とあつさり逃げてゐる、十月上旬ソヴェト勞働組合の代表ヴァアリー・クズネツフ氏がロンドンを訪問し英國勞働組合代表と會談を遂げたが、十月八日共同で出した聲明のなかでも

「反樞軸軍と赤軍とが出来ただけ早く勝利を収めるやう生産増強に全力を傾倒する必要あることを今回の會議では特に注意した」

と述べてゐる、しかし樂觀氣分が八月二日のチャーチル首相の演説以來決河の勢で全國民に瀰漫し、しかも現實には英國兵が歐洲戰線からの歸休も許されぬとあつては不滿が起るのも無理はない「アフトン・ブラデツト」紙ロンドン特電に曰く「もう一冬戰爭だといふのでロンドンの空氣は寧ろ憂鬱で暗い、反樞軸軍司令アイゼンハワー大將はパリで百五十人の從軍記者を集め、戰爭はまだまだ終らず、前線においても銃後においても一段の努力が必要だと述べたが、三年半も外國に出征してゐる英國兵の歸休が一切取止めになつたことも手傳つてロンドンの空氣は益々憂鬱だ、ドイツ軍の抵抗が強化しジグフリード要塞線を北から捲き上げようとしたモンントゴメリ大將の企圖は失敗に歸したので作戦やりなほしたとの印象が強い」

ロンドンの慘狀と昨今

チャーチル首相は十月三十一日英國下院における演説で世界戰爭の前途に對する樂觀を戒め、同時に總選舉が間近いとの觀測に止めを刺した、しかし英國民の憂鬱は毎日の生活に根ざしてゐるのだから一片の演説で解消するわけはない、最近フイジー島から二年振りでロンドンに立ち寄つたマイケル・バーナツキーといふ男が十一月一日BBCからの放送で流星彈によるロンドンの慘狀を敘してゐる

「高いところへ上つてロンドンの屋根をすつと見渡せば流星彈で如何にひどい目に遭つたかが分る一九四二年ロンドンを訪問した時とは街の様相がすつかり變つて了つた、流星彈が落下した地區

を詳しく述べることは出来ないが、前には建物が立つてゐた所に大きい空き地が出来て草が生え繁つてゐるだけだ、ウエスト・エンドを通つて見ても、何れのブロックでも流星彈の痕跡を止めてゐないところは一つもない、汽車で地方に旅行したところ沿線一帯は大した損害がなかつたので、一時流星彈のことを忘れること出来たが、ロンドンで一と晩流星彈攻撃を體驗したところでは、流星彈が頭の上を飛んで行つてしまつたと分つた後でも平然と構へてゐるには相當強い心臓が必要だ」

歐洲戦争が始つてから英國人はいづれの交戦國人にも負けぬ位あらゆる辛酸を嘗めてゐる、最近燈火管制が幾分緩和され、例へば十月四日のロイター電報によれば

「五年振りで初めて、パデントン停車場は殆んど戦前のやうな明るさだ、ブラックアウトのなかを手さぐりで通る必要はもうなくなつて五十ヤード先きの人の顔がわかるやうになつた、西方行きの急行も開戦後初めて明々と燈火を付けてゐるが、他の線でも段々列車が明るくなるだらう」

といふし、十月十九日の「デリー・メール」紙によれば「五ヶ年間検閲はドーヴァー海峡の氣象通報以外、十日たたないと通象通報を一切出させなかつたが、今後英國人は二日前の通報を讀めることとならう、最もドイツ軍がフランス北岸から撤収したので、ドーヴァー海峡の氣象通報は今後逆に軍の機密になる譯だ」と傳へられる、ダンケルクの敗戦後英國内の里程標といふか道しるべの立て札が急に取除かれて少からず不便を感じたことを覚えてゐるが「タイムズ」紙の報道では内務省が一九四四年十月十日以降「道標撤去令を取消した」といふからして、少しづつ正常生活に立ちかへらうとしてゐるのだが嫌な流星彈攻撃は依然として止まない

絶えぬ流星彈攻撃

ニューヨークの週刊「タイム」誌のロンドン電報は十月二十三日の誌上で「英國の戦ひ續篇」といふ見出しで次の通り報道してゐる

「困却したロンドン」は九月に入つてほとと安堵し市民はお互に喜んで握手を交はした、カナダ軍がイギリス海峡の彼方、流星彈海岸地區を占據し、

嫌なもの(helish things)がロンドン市とその周邊に落下するのが止んで了つた、祝福された平和と安穩の數週間が続いた、ところが嫌なことがまた始つた、一體どこからだらう？ イングランド南部における流星彈の防衛隊は忽ち出所を發見した、ドイツ軍は流星彈を舊式のハインケル機やその他もう實戦には役立たぬ爆撃機に載せ、オランダ乃至ドイツ本國の基地から出撃して、夜海上から流星彈を「進空」させる、英軍の夜間戦闘機隊は地上の電波探知基地からの指導のもとに、ドイツ軍の爆撃機と流星彈との双方を邀撃してゐるからあまり澤山流星彈は落ちて来ず、この「夏の恐怖」に比べればその微か反響程度に過ぎない、しかし先週攻撃が増大し、疎開先からロンドンへ歸つてくる市民の流れは減退した」

流星彈による疎開人口については、英國の内務省は九月二十六日各地方廳に對し地域別に指令を與へてゐる、イングランド北部、西部、ミッドランド並びにウェルズ各地方から疎開した母親一萬人と三萬人の子どもたち、他にたれも付添ひのない子どもたち三萬人、總べて七萬人は漸次自宅へ歸つていいが大ロンドン地區、イングランド南部東部へは歸らぬ方がいいといふので「愈々安全となれば旅費の支給をのほか特別の手配を講ずるからそれまでは疎開地に踏み止ること、地方廳もこれ等地區への復歸は成るべく押へるよう」との指令が出てゐる、また危険視されてゐる主な地區をあげれば、ロンドンのシテイ、メトロポリタン各區エセックス、ハートフォードシャー、グラモルガンシャー、モンマスシャー等だ、以上の示達を無視し慌ててロンドンに歸つて來た連中が再びひどい目に遭つてゐるといふ譯だらう

流星彈の被害と住宅難

流星彈によつてロンドン地區その他で一體どれだけの家屋が破壊されたか、勿論正確な數字は知る由もないが、チャーチル首相の演説などから推定すれば、ガラス窓が破損した程度の輕微な損害を加算して大體百二、三十萬戸がいたんでをり、内全壊が二、三萬戸、大破が二十五萬戸見當、今までのところ修理が出来たのが百二、三十萬戸の内十二、三萬戸と見てよささうだ

勞働省のジョージ・ヒックスが下院で言明した所では、英國の建築工三十萬の内十三萬二千、即ち約四割はロンドンで修理に従事してゐるといふし、十月四日附の「ニヤ・ダーグリヒト・アレハング」紙のロンドン特電によれば、地方で三萬人の勞働者を募集したがロンドンでは住む所がないではないかといふので仲々出て来ない、結局當局としてはロンドンのホテルを徵用して勞働者を收容する他はあるまいといふことだ、もう少しロンドン各紙の報道を拾つてみよう

「デイリー・エクスプレス」紙この冬はロンドン市民にとつては仲々樂ではない、牛乳の配給は十一月五日から減するし、馬鈴薯も不足を告げるだらう、店は午後四時にしめて了ふし時々六時まで延びるだけだ、しかし一番困ることは流星彈で壊れた住宅が冬前は勿論、來年の四月までも修理出来ないだらうといふことだ、修理を要する家屋八十萬戸、しかも宿舍その他の都合で十萬人以上の勞務者を使ふことは出来ない、資材も不足だし早く日が暮れるので仕事は益々捗らない

「ニューズ・クロニクル」紙 三ヶ月前ロンドン北部で八百戸が破損したがまだ一戸も修理が出来てゐない、地下室の臺所の冷い床の上に寝起きしてゐる有様だ

「ニュー・リーダー」誌 住宅その他の必需品を求める叫び聲が英國では段々昂まつてゐる、しかも軍需工場では勞働者はもう要らないといふので減首されてゐる、民需物資の生産に振り向けられるだらうが、勞働組合代表と勞働相サー・アーネス・ベヴィンとの交渉は何等の結果をもあげなかつた、ロンドンの飛行機工場七ヶ所の代表が下院に赴き大量減首の實情を訴へた所、勞働黨のシノウエル議員は罷免された勞働者が示威運動を決定することを勧告した

獨空軍による被害狀況

以上斷片的な報道で英國人の不安の由つて來る所が略々推定出来るやうに思ふが各論に入るに先立ち一九四〇年九月以降ドイツ空軍の爆撃による英國の被害狀況を十月七日の「タイムズ」紙によ

つてお傳へしよう

ブライトン市に爆撃を受けること五十五回、被害が一番大きかつたのは一九四〇年九月十四日の爆撃で映畫館に爆弾が命中し館内その他附近の住宅で死者五十五名を出した、爆撃による死者一九八名、重傷三五七名、輕傷四三三名、全壊家屋二百戸以上、大破八九四戸

カンタベリー市に爆撃三十五回で高性能爆彈四百四十五個、焼夷彈一萬個以上を投下、死者一五五名、重傷一四〇名、輕傷二四〇名、一九四二年六月一日の各地に對する所謂「ベデカー」爆撃では高性能爆彈百八十二個、焼夷彈約八千個を投下フオークストン市に一九四〇年七月六日ドーヴァー海峡地帯で最初に爆撃を受く、死者八八名、重傷一五二名、輕傷三〇八名

ノーリツヂ市に死者三三〇名、負傷約一一〇〇名

ヤーマス市に死者二一六名、負傷五五七名
ローウエストフ市に死者二六六名、負傷六九〇名

出征兵士歸休問題

流星彈の脅威と住宅難とに次いで今英國で矢矧しい問題は出征兵士の除隊乃至歸休だ、海外服務を三年半に限定しようといふ法案も深刻な社會問題の反映に他ならない

「ニューズ・クロニクル」紙十月十日 ワンステッド・ウツドフォート、フォレストゲート、ウエストレイトン各地區の出征軍人の妻が連名で下院議員レヂナルド・ソレンセンに歎願書を提出した、陸軍軍人が歸休を貰ふ迄の期間が何故空軍の地上勤務員の場合よりも長いのか、何故氣候の悪い東亞戦線に三年以上も勤務せねばならぬのか、陸軍省に聞いて欲しいといふ譯だ、ビルマ戦線における砲手を夫と持つ或る妻君は歎願書のなかで「東亞で戦つてゐる英國兵の妻はみんな夫が三年以上東亞戦線に縛り付けられてゐるのを寔に怪しからんと思つてゐる、殊に三十五歳の男子が召集されないことには痛く不満だ、彼等が自分達の夫と入れ替ると當てにしてゐたのに」と述べてゐる

突如三十五歳の壯丁徵募問題がでてきたが、説明を加へると十月六日に陸軍省から勞働省兵員局に對し次の指令がでてゐるのだ

「今後戦局に際立つた變化が起らぬ限り、年齢の多い壯丁群は武裝兵力に必要がない、徵募通知の撤回は一九〇九年生れ乃至それ以前生れにすべて適用される」

「デイリー・メール」紙の報道によれば、三十五歳以上の召集を取止めるに至つた理由は

第一に現在歐洲の戦争を片付けるに足るだけの兵員が武裝兵力に参加訓練を了してゐること

第二に現在の戦争では機甲兵器を扱ふ訓練を受けた若い壯丁が必要なこと

第三に三十五歳でまだ召集されぬ人々は大半現に國家的に重要な任務に従事し召集延期を受けてゐる

といふ三ヶ條だ

特に印度戦線における兵員の歸休は英國内で餘程物議を醸してゐると見え、十月下旬のロンドン各紙はいづれも詳しい報道を掲げてゐる

「デイリー・メール」紙十月廿六日 英國全體を通じ一萬人餘の若い女性が子どもを産む機會が段々減つて行くので今週チャーチル首相に請願書を出し遠い戦場地域に出征してゐる既婚の男子には繼續して服務する期間を三ヶ年に限定するやう歎願することになった、本國歸休が一度もなく何年も西亞並びに東亞に出征してゐる兵士の妻君達だが、今の規定では何時夫に會へるか、全然見當がつかない、最近カイロで中東軍司令部筋で西亞戦線に出征してゐる兵士の妻がまだ子を産める年配なら優先的に本國に歸さうといふやうな口吻を洩らしたので、殆んど自然發生的に今度のやうな請願が出て來たわけだ

「タイムズ」紙ボンベール特電十月廿六日 印度省次官

ミュンスター卿は二十四日印度國境の前線に到着印度第三十三軍司令官ストツプフォード中將と兵士の福祉施策について協議した、三時間に亘る會談で從來起つた諸問題、今後英軍が深くビルマ領内に進撃するとともに起りさうな情勢について意見を交換したが、歸休、酒保、慰安、歸國、長く夫婦が別居してゐるため家庭生活に及ぼす影響等

が主な話題であつた

「マンチエスター・ガーデアン」紙十月廿五日 東南アジア戦線でマラリアや赤痢それから日本軍と戦つてゐる英國兵にとつて、チャーチル首相が彼等の有難くない立場に自ら同情し實際色々考慮してゐることは少からず慰めになるに違ひない、首相は十月二十四日下院において東亞派遣軍の福祉に關する責任の分擔が旨く仕組まれてをらず、結果も「全的に満足とはいへない」と言明した從來の過誤を公然認めたのだから、兵士達は元氣付いたに違ひないが、印度ビルマ戦線における兵士の第一の不満は全く例外的に不快且つ身體を痛めるやうな氣候のもとに久しい間島流しされてゐるといふ點だ、給與を多くし厚生年金を増加しても、三年経つたら本國に歸して貰ひたいといふ要求を撤回させることは出來まい

前大戦當時はかういふ問題は起らなかつたと思ふが開戦以來既に五年、假りに歐洲戦線が片付いても英軍の一部が復員されれば、東亞派遣軍の不満は愈々深刻化しよう、保守黨議員を含む二百五十餘名の下院議員がチャーチル首相の逆鱗に觸れるのを覺悟で出征期間制限法案を提出したのは、全く各選挙區からの切實な要求に押された結果にほかならない、「何れの日にか胡虜を平げて良人遠征を罷めん」、戦局が長引き兵力の損耗が増大するとともに本國歸休の問題が必ずや米軍の間にも持上るに違ひない

復員計畫の悩み

歸休とは別個に復員乃至除隊に關する問題はいふまでもなく歐洲戦争が近く片付くだらうとの皮算用に基づいた議論だ、先づ九月十六日附の週刊「エコノミスト」誌に掲載された「過剰兵員」と題する論文を引用しよう

「歐洲戦争が終りに近付くとともに、陸軍省、海軍省いづれも復員計畫を樹ててゐる、海軍省では日本軍との戦ひが片付くまで全然復員のことを考へてゐない、却つて來年六月までに兵員を三百四十萬に増加する目的で兵士の募集を續けよう

もつとも復員暫定案は出来てゐるが、太平洋における英國海軍の責任は嚴格に軍事上の作戰からいつても、人員器材の輸送に關しても極めて重大だから、日本軍との戦ひが片付かぬ限り右計畫を實施することは出来ない、しかし陸軍に關しては現在の全兵力を太平洋戦線に轉用することは出来ぬと思はれるから、歐洲占領軍並びに太平洋戦線の戰闘兵力に必要な部分を取除いたのも海外服務の期間、戦歴並びに子どもがあるかどうかなどを點數制で算定した上で兵員の除隊を實施することとならう、以上の基準は廣く各方面の兵士の意見を徴した結果出来上つたので、公平だといふわけで兵士の間にも評判がいい、しかし以上の條件が揃つたからといつて、必ずしもすぐ兵士が除隊になるといふわけではない、陸軍省でも太平洋戦線の輸送を第一に考慮しなければならぬから、過剩兵員の相當數は本國に歸れぬかも知れぬと特に警告してゐる」

復員計畫の細目については既に紹介すみの復員に關する白書を御覽願ひ度いが、復員に關しても矢張り印度戦線の特種事情が問題になつてゐる、十月九日勞働相サー・アーネスト・ベヴィンはリプソン議員の質問に對し「復員に當つて東南アジア軍の兵士が特に苦難に堪え忍んだといふ事情を斟酌することは出来ない、除隊は年齢と戦線の如何を問はず、服務年限によつて極らう、勿論除隊は作戦上の要求に應じて左右されるが、軍當局においても戦線の如何に拘らず兵士を解放するやう最善を盡くすであらう」と述べてゐる、さらにリプソン議員が「それでは東亞戦線の兵士達は非常に失望するだらう」とたたみかけたところ、勞働相は「東亞戦線の兵士も公正な條件で取扱はれ、年齢と服務年限とに應じ實行出来る限り本國に歸して貰へることを承知してゐる」とあつさり答辯してゐるに過ぎない

除隊兵の失業問題

次ぎに大變な取越し苦勞だが、兵士が除隊になつて本國に歸つてくる場合、失業問題が起るのではないかといふ懸念が濃厚だ、英國現在の社會相を傳へる意味でロイター電信同報のうちより二つ

三つ挿話を拾つてみよう

ウインブルドン市長は歸休兵士の援助計畫資金として二萬五千磅の信託基金募集を開始した、市長は曰く「これは市民が兵隊さん達に對し、極めて實際的な方法で有難うといはうといふ企畫だ、これは斷じて慈善事業ではない、例へば除隊になつた兵隊さんが辯護士を頼み度いといふやうなことがあれば、この基金で無料で辯護士を世話する商賣を始めようといふ歸還兵士には地方の有力な實業家が集つて種々お世話しようし、資金の必要な兵士達には無利子で商賣を始めに必要な道具その他を買ひ店を開くに必要な資金を提供する、結婚して家庭を持たうといふ兵士にはもし手に入れば家財道具その他必要品目を届けようといふ計畫だ」

ランカシャー地方のクロスビー出身のヴィンセント・ロイドは第八軍に参加してアフリカ戦線に出征し前後五回負傷してゐるが、今回ブートル町の就業裁判所に提訴し、クロスビーの會社に復職させて呉れるやうと申出でた、前のやうに防空壕を作る仕事が出来ないことは十分承知してをり且つ現に一〇〇%の傷害年金を貰つてゐるが、會社には自分に仕事を見付けて呉れる義務があるといふ言ひ分だ、しかし訴へは却下された

サザーク市コインブルック街當年三十八歳のアルバート・ジョン・スペンサーは七年間運轉手兼用達しとしてサザークのノートル・ダム修道院に傭はれてゐたが一九四〇年工兵隊に召集され先月除隊となつた、同人は一九四四年八月の市民就業法の復職條項に基き、元の仕事を取り戻し度いといふのでキヤムパーウエル勞働交換所の復職委員會に提訴した、同人の申立によれば同人には子どもが二人あり、近くもう一人が生れる豫定だ、除隊と同時に修道院に出かけて元通り仕事をさしてくれと頼んだところ、院長の童貞さんがもう仕事がなくつたといつて斷つたといふわけだ、召集される前には修道院から週三磅十志の給料をもらひ、家賃なしで住居も提供されてゐたといふのだが、一方院長の方では空襲で自動車が壊れたためもう仕事がなくつたのだと主張してゐる

結局裁判の結果修道院が敗訴、院長は十月二十三日以降週四磅でスペンサーに仕事を與へねばならぬこととなつたが、修道院は不服で控訴することだ

徴兵制を存続すべし

人的資源に關聯し「デイリー・エクスプレス」紙が前後二回輿論調査をやつてゐるが、英國人の氣持ちを或る程度反映してゐると思ふ、九月二十五日の同紙に掲載されてゐるのが「戦後徴兵制を存続すべきか否か」の質問に對する回答だ、結論としては各政黨各階層を通じて英國が二度と再び戦前のやうな不用意の状態に陥つてはならないといふ意見が壓倒的で、英國人の三分の二までは期間は或ひは戦後六ヶ月間、或ひは二年以上と色々違ふが徴兵制度の存続を主張してゐる、調査の結果は次の通りだ

存続賛成 六五%、反對三一%、分らない四%
賛成の内譯

二ヶ年以上	二〇%	二ヶ年	一二%
一ヶ年	二〇%	六ヶ月	六%

期間は分らない 三%

更に十月七日の同紙には「戦争の終了後人的資源の統制指導に關する現行制度を暫く存続させるか即時全的に撤廢するか」との設問に對する回答が掲載されてゐる

暫く存続	五九%	即時撤廢	三五%
分らない	六%		

女子徴用制撤廢は不可能

もう一つ問題になつてゐるのが女子徴用制度だ歐洲戦争が一段落したら徴用制度を撤廢するだらうかといふ問題だが「デイリー・エクスプレス」紙は十月四日の紙上で次の通り報道してゐる「歐洲戦争が片付いたら、各工場から解放されるだらうと期待してゐた婦人並びに少女達は失望するに違ひない、軍から男女兵員の除隊が始つても工業への女子徴用はその後相當期間續けられ、更に歐洲戦線が片付いた後に十八歳に達する女子は同じく各工場に徴用されよう、未婚で引越しの出来る女子は、現在の各工場から各種の工業部門に再分配されよう、當局で戦後も引き続き工場に居

残りたい女性の數を下調べしたところ、矢張り女子の徴用を存続することが必要だとわかつた、豫想に反し軍需工場に居残りを希望する女子の數は到底必要數に充たない、大半はもとの仕事に歸りたいといふ、しかし當局の方針としては、未婚の女子は一人として無爲に過ごすことを許さず、勞働交換所から綠色のカードを貰はない以上工場以外の仕事につくことを許さない、綠色の札は徴用免除に正當な理由を上げた女子に對してだけ發給されるのだが、既婚の女子については勞働省でも歐洲戦争終了後徴用を免除する方針で近く白書が發表されよう、先づ第一に解放されるのが夫が除隊になつた既婚婦人、第二が母親、それから婚約の相手を除隊になつて家庭を営まうといふ女子、家庭の責任あり乃至工場の生活で休養を必要とする女性も出来るだけ早く解放されよう、飛行機工場で働いてゐる女性の多數は他の工業部門にまはされることとならう」

東亞反攻戦に熱意なし

ダンケルクの敗戦後、一種の郷軍として英本國の防衛に任じてゐたホーム・ガーヅは八月現在で一〇八四大隊總員百七十萬一千二百八名に達し、内十四萬二千二百八名が高射砲隊に働いてゐたが前後四ヶ年に亘る任務を一應果して「現役を去る」ことになつた、事實上ホーム・ガーヅが解體されたと見て差支へあるまい

歐洲戦争が間もなく片付くといふ根據のない想定に立つて歸休だ、除隊だと騒いで議論してゐるのは如何にも滑稽だが、前後五ヶ年戦ひに疲れた英國人としては、戦後の夢に耽るのも人情の自然であらう、果してしからは英國人はどの程度まで東亞反攻作戦に熱意を示すだらうか、十月二十一日の「デイリー・ヘラルド」紙によれば、英國海軍省は東亞各地の寫眞を持つてゐる英國人に對し撮影の日附とどんな寫眞かを省內寫眞部へ通報するやう要請したといふ、勿論東亞反攻作戦の資料に使ふ考へだらうが、共產黨の機關「デイリー・ワーカー」紙は九月二十二日の紙上で太平洋の戦ひに對し英國人が熱意を缺いてゐる事實を指摘、次のやうに痛いところを突いてゐる

「太平洋の戦ひについて英國人が一般に熱意を缺いてゐることを無視することは出来ない、戦場が遠く離れてゐるやうに思はれるためばかりではない、多數の肚のうちに英國政府の植民政策について深刻な疑問が潜んでゐるのだ、折角犠牲を拂つても、續いて印度やその他植民地に自治も許さぬだらうし、經濟上の發展も圖つてやらぬのだらうとの懸念だ、政策を變更し且つ實踐してみせる以外、かかる懸念を一掃することは出来ない、もう一つの理由は服務條件だ、彈丸の他に密林戦と熱帶の太陽と幾多疾病の脅威に當面せねばならぬ兵士達に對しては十分な補償が必要だ、日本軍との戦ひについては一日一志だけ給與を増加するといふのは以上の要求が正しいことを一部承認した結果だらうが、まだまだ決して十分ではない」

勞働者の實收入

英國人の日常生活特に食糧と燃料事情を次に検討し度いと思ふが、その前に勞働者の實收入について八月三十一日附の「タイムズ」紙が報道してゐるところを紹介しよう

「勞働省の新しい調査によれば勞働者の收入水準が上つてゐることが明かだ、勞働省では半年毎に約六百萬人の勞働者について、一定の週間傭主が支拂つた實質賃金の報告を傭主から集めて調査してゐるわけだが、部門は製造工業一般、並びに主要な非製造工業の一部に亘つてゐる、最近發表されたのは一月の最終週間における週支拂ひの細目で、右週間の平均稼ぎ高と、一九三八年十月以降の増加率を示してゐる、女子の收入増加率が一段高いのは、従來男工が擔當してゐた仕事を引受けた女工の數が増加した結果だ、同時に一週間の勤勞時間も一九三八年十月に比べれば増加してゐる」(下表参照)

食糧事情危機を脱す

英國人の食糧問題はドイツ軍の潜水艦戦が衰へた結果、完全に危機を脱却したらしい、このクリスマスにはダンケルクの敗戦後ドイツ軍の上陸作戦に備へて貯藏した二萬トンの食糧を配給する豫定で、食糧相レウエリン大佐は過般下院で

「子供達はスウィート半封度、大人にはマーガリンと砂糖各々半封度宛、ブデングとケーキ用に乾燥果物などを特配し、七面鳥も去年より多く且つクリスマス前一週間は牛肉の特配をする」

と述べて英國人を喜ばせてゐる

何といつても食糧に關する英國の「危機年度」は大東亞戦争が始つてから一年半一九四二年から四三年にかけてだ、十月十二日の「タイムズ」紙によれば、英國の農務省は戦況が變つたからといふ理由で久し振りで農業並びに畜産に關する統計を發表したといふが、要旨を掲げれば次の通り「イングランド並びにウェルス兩地方における穀類收穫の全面積は一九四三年と四四年において農業統計が初つて以來の最高數字を示してゐる

	21歳以上の男工	青少年工	18歳以上の少女工	少女工	總平均
1944年 1 月 1 週間の收入	123志 8 片	46志10片	63志 9 片	34志 3 片	79
1938年10月に比し増加(%)	79	80	96	85	95志 7 片
勤 勞 時 間 {	44 年 1 月	47.1	55.2	44.6	49.2
	38 年 1 月	47.7	46.2	43.5	46.5
1 時 間 當 收 入	2 志 4.5 片	11.9 片	1 志 4.9 片	9.2 片	1 志 11.3 片
増 加 率 (%)	64	76	89	85	70

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

イングランド、ウエルズ兩地方の可耕面積はつぎのやうに増加してゐる(單位千エーカー)

三九年	八、九三五	四〇年	一〇、一三九
四一年	一一、七五八	四二年	一二、八五〇
四三年	一四、〇〇七	四四年	一四、八八五

もつとも一九四四年の分は豫想數字だ、小麥の作付面積は一九四三年の「危機年度」において三百二十七萬六千エーカーといふ最高數字を示した一九四四年の豫想數字は三百六萬六千エーカーだつぎに一九三九年と四四年との收穫比較だが、イングランド、ウエルズ兩地方について主要作物の數量をあげればつぎの通り(單位千トン)

小麥	一九三九年	一九四四年
大麥	一、五五五	二、九五九
ライ麥	七〇〇	一、五〇七
砂糖大根	三、四六九	三、七四一
馬鈴薯	三、三一二	六、七七〇

この他に燕麥が一九四四年には百八十三萬八千トンとれる見込みだ、反對に畜産は牛を除いて大體減少してゐる、イングランド、ウエルズ兩地方で牛は一九三九年の六百七十七萬頭から七百二十九萬頭に増加してゐるが、羊並びに仔羊は一千七百九十八萬六千頭から一千二百六十三萬二千頭に減少、豚も三百五十一萬五千頭から百四十六萬七千頭に、雉は五千六百四十二萬六千羽から三千百九十七萬羽に、馬は百七十萬九千頭から九十一萬八千頭に何れも激減してゐる

燃料問題に苦慮

食糧に比較して著しく悪いのは燃料の問題だ、ロイド・ジョージ少佐が數年間悪戦苦闘してゐるが事態は一向に改善されず、十月三日には下院でつぎの通り泣き言を並べてゐる

「この冬も石炭事情は決して去年より樂にはならないと思ふ、去る四月の賃金協定で石炭の増産を期待してゐたのだが、期待は外れ爾來坑夫一人當り一週間に五ハンドレドウェイト宛出炭高が減つてゐる、減産の主要原因は坑夫の缺勤が二五%増加し、且つ各地で非公式に採炭が停止されたからだ、従つて打開策は坑夫諸君の自覺に待つ他はない

ロイド・ジョージ少佐は窮餘の一策として、坑口から鐵道車輛まで石炭を運ぶ技術面に再検討を加へるため、燃料省の生産局長チャールス・レードを委員長として炭坑技術委員會を任命したり、炭坑業代表と會見して一週間十五萬トンの減産が作戦の遂行に如何に悪影響を與へるか、ロンドンその他流星彈の攻撃を受けた地區の市民に如何なる苦痛を與へるか縷々説明したといふが、未だに事態改善の見込みは立たない、その上十月十日頃からヨークシャー、ダラム、スコットランド西部などで炭坑罷業が再燃し、結局石炭一トンについて四志の値上げが避け難いのではないかとさへみられてゐる、石炭の値段は既に戦前の二倍に増加してゐるが、更に四志の値上げは一般消費層並びに工業界に可成り重大な打撃とならう

炭坑罷業について十月十二日附の「デイリー・テレグラフ」紙は次の通り報道してゐる

「既に重大化してゐる英國の出炭狀況はヨークシャー、ダラム並びにスコットランド西部の炭田における新たな炭坑爭議のため更に悪化してゐる、ヨークシャーでは炭坑夫組合がバーンズレーで特別評議會を開催した後完全な罷業乃至少くとも採炭停止が始まる形勢だ、委員長ジョゼフ・ホールは各代表とも全炭田を通じて即時採炭停止を主張その結果十五萬人の坑夫少年坑夫が罷業に入るだらうと述べてゐる、ウエイクフィールドの近くバーンボロー炭坑では一千七百名の坑夫が一週間以上互り罷業を續けてゐたが、漸く十月十一日に至つて罷業が片付いた、ダラム炭田では五百名の坑夫並びに少年坑夫が十一日罷業を開始、スコットランド西部の炭田五ヶ所では二千四百四十名の坑夫のうち半以上が非公認罷業を始めたが、組合の警告で十一日に至り一部は復業した」

炭坑夫の賃金について八月二十一日附の「タイムズ」紙に據れば燃料省ではつぎの通り發表してゐる

「少年坑夫を初め炭坑における各階級の坑夫を通じて、平均所得は現物給與を除きおよそ二十志三五片である、右數字は一九四四年三月をもつて終る三ヶ月間の統計だが、一九三九年の同期の十一志五片14に比べれば七七%の増加だ」

昭和十九年十一月十三日(月)
第三二三九號

同盟通信

海外電報

(260)

V二號の發動は再び世界に大きな衝撃を與へたが、かかる新兵器の出現は種々の示唆を含んでゐるうちに特にわれわれとして無視し得ないのは次の諸點だ

第一にV二號はドイツ軍の科學的優秀性を立證するものであり、今後なほ新たな科學兵器の連續的出現を期待せしめる

第二にV二號は從來のごとく戰略兵器としてだけでなく、前線或ひは補給基地に對して使用される旨ドイツ軍當局が言明してゐる

第三に、この種新兵器と敵兵器の比較だがV一號でもV二號でもその絶對的價値は極めて優秀であるにしても、量或ひは作戰規模を算入する時果してそれが戦局を轉換せしめうるか否かは全く別な問題となる、戰略兵器と



してのV一號は遂に米英兩國空軍の大規模地域爆撃に及ばなかつたが、V二號の場合にもそれが制空權なき英本國を攻撃してゐるといふ事實は別として、敵にどの程度の損害を與へうるかはドイツ國內の總力が熾烈なる國境線の戦ひ以外に、戰略攻撃の面でもどれ程の協力を示し得るかといふことに懸つてゐるのである

第四に考へなければならぬのは敵もロケット兵器を研究生産してゐるといふ事實であり、V二號が二百五十哩の距離から攻撃し得るといふことは、同時に米國がわが本土から二百五十哩の距離において制空園なき戰略目標物を攻撃する可能性あるを示してゐる、米國がロケット航空炸裂兵器を大量生産中であるといふことは既に諸種の情報よりみて單なる噂ではなささうだ、發射は船舶からでも航空機からでも容易である、いつ上空から敵ロケット機が舞ひ下つて炸裂しようとも驚かないだけの覺悟が肝要だ

【目次】

バリ、アントワープにもV二號……………二六七六

成層圏を飛ぶV二號……………〃

絶對に輕視を許さず……………〃

注目すべき構造と意義……………二六七七

對米流星彈攻撃開始……………〃

東西兩面て冬季攻勢開始……………〃

ハンガリア戰線活潑……………〃

イラン内閣總辭職……………〃

イラン首相遂に屈服……………〃

フィンランド内閣總辭職……………〃

【互樞軸陣變】……………二六七八

米英の重慶攻撃とソ聯……………〃

【米國】……………〃

ウオレス重慶大使か……………〃

兵員損害五十萬突破……………〃

内閣大改造か……………〃

海軍大異動……………二六七九

決定的選舉演説は議長……………〃

【ドイツ】……………〃

陸軍航空隊を改組……………〃

【ソ聯】……………〃

潜水艦生産中止……………〃

アンラを拒否……………〃

ド・ゴール政權に捻ぢ込む……………二六八〇

ヴァイシンスキー羅都に乗込む……………〃

【英國】……………〃

米航空會社長を招聘……………〃

V二號に依然頼被り……………〃

香港を放棄せず……………〃

【特輯】……………〃

西歐防禦圈結成を企圖……………〃

【資料】……………〃

スチルウェル召還問題の全貌(上)……………二六八一—八五

第一線航空機の比較査定……………二六八六—八九

カーチン執務不能

(リスボン十日發) キャンベラ來電「濠洲首相代理フランシス・フォードは十日次の通り發表した

首相ジョン・カーチンは少くとも來年一月までは政務を執ることが不可能であらう、カーチンは激務が続いたため心臓病を發し入院後病狀はよくなつたが、少くとも今後一ヶ月は絶對安靜を要し、その後も激務を避けるやう醫師から勸告をうけてゐる

アンクトワープリにもV二號

(ベルリン十日發) ドイツ軍當局は十日正午次の通り言明した

ドイツ軍はロンドンに對してだけでなくパリ市並びにアンクトワープリ港灣にもV二號を打ち込んでゐる、V一號も同時に使つてゐるがアンクトワープリでは特に港灣地區に甚大な損害を與へてゐる、反樞軸軍は多大な犠牲を敢てしてシエルド河口を啓開したがV兵器の攻撃を強化すればアンクトワープリ港灣は兵員器材の揚陸に全然使用出来ぬこととならう、V兵器を戦線に活用出来ることが初めて實證されたわけだ

成層圏を飛ぶV二號

— チャーチル下院報告 —

(ストックホルム十日發) ロンドン來電「英國首相チャーチルは十日下院においてV二號について次の通り報告した

去る二月余はドイツ軍が長射程ロケットによる英國攻撃を用意してゐる旨を下院に傳へ、さらに七日下院で愈々ドイツ軍がロケットによる攻撃を開始するかも知れないと述べたがドイツ軍は數週間前から右攻撃を開始した、ロケットはV一號と略々同量の爆薬を有してゐるが六十哩乃至七十哩の高度で成層圏を非常な速度で飛んで來るので爆破前に非常に深く土中に入り込む、従つて落下口の直接周邊にはV一號の場合より一層重大な損害が起るが、邊り一面の爆風はV一號の場合程廣い範圍に損害を及ぼさない、何分にもV二號の速度は音の速度よりも大きいから現状では頼りになるやうな且つ十分な警報を出すことが出来ない、從來一部はウォルヘレン島から發射されてゐたが同島は既に英軍の掌中に歸し他の發射地域も逐次反樞軸軍の占據に歸すると確信する、しかしドイツ軍がV二號の射程を更に擴大するかも知れず、ドイツ軍が更に後方に發射基地を移す場合反樞軸軍が直ちにこれ等基地を占據することは困難であらう、ただ今までのところ英本國におけるV二號は廣汎な地域に散り散りに打ち込んでゐる程度で、「重大な意義」はないが、ドイツ軍は英國民の戰

意沮喪を狙つてゐるので新聞その他が何らの情報をもドイツ軍に與へないやう特に注意されたい

絶對に輕視

を許さず

(ストックホルム十日發) ロンドン來電「デイリー・エクスプレス」紙はドイツ軍の新兵器V二號について十日次の通り報道してゐる
ドイツ軍は巨人流星彈V二號をもつてロンドンに強烈な破壊的攻撃を加へる方針と解される、英國人は決してロンドンに對するこの脅威を輕視してゐない、從來ドイツ技術界はドイツ軍に貢獻するところ大きく、今回出現した新兵器は英國にとつてみな大問題を提起するであらう

注目すべき

構造と意義

(ストックホルム十日發) ドイツ軍の報復新兵器V二號の問題は英國首相チャーチルの下院における言明を中心と論議の的となつてゐるが、速度が早いこと、物凄い破壊力を有するといふこと以外構造操作などについては一切判明してゐない、V二號の價值について注目すべきは從來のやうに戰略的報復兵器としてロンドン地區を攻撃する以外に目標物としてパリ並びにアンクトワープリを選び、反樞軸軍の補給基地を粉碎せんとしてゐることである、アイゼンハウアーは對獨攻勢の補給基地としてアンクトワープリの無疵の占領を重視してゐるが、V二號はこの港から大規模な兵員資材を揚陸する能力を奪つて了ふことも豫想される構造及び性能についてはチャーチルの演説並びに軍當局筋の言明を基礎にロンドンからのAP電報が次の諸點を擧げてゐる

- 一、全重量約十五トン
- 一、長さ三十乃至五十呎
- 一、直徑二呎半乃至三呎
- 一、彈頭炸藥約一トン
- 一、速度七〇〇哩時以上
- 一、有効距離二五〇哩以上
- 一、彈道頂點七〇哩以上

右のうち速度は音の速度七五〇哩と殆んど變らず、七〇哩といふ高さは成層圏である、「空飛ぶ電信柱」と呼ばれるのはその長細い形と直線的な彈道からきた感じだといふ、英國人の中には時速三千哩と推定してゐるものさへあるとAP電は傳へてゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

對米流星彈攻擊開始か

(リスボン十日發) ドイツ軍新兵器V二號の出現によつて英國全土が再び恐怖の旋風に見舞はれてゐる折柄、ボストン來電によれば同市の「トラヴァー」紙航空記者ロバート・シブレーは十日の紙上で、米國に對しても愈々どの新兵器が用ひられ初めたやうだと報じ全米に大衝動を與へてゐるといはれる、シブレーの報道要旨左の通り

去る十月二十五日朝マサチューセッツ州北部の海岸地帯で異常な震動を感じた、地震學者の意見ではこの震動は全く地震とは關係なく海上における砲撃乃至は海中での爆發によつて招來されたものだといはれるが、二十五日の朝は同方面の太平洋水域は雲が低く垂れこめ潜水艦から流星彈を發射するに絶好の天候だつたことを考慮し、愈々ドイツ軍の恐るべきV二號の對米攻撃が開始されこれが目標をあやまつて海上に落下爆發したのではないかとみられる、當事軍部筋は流星彈攻撃開始説をあり得べからざることとしてこれを信用しなかつたが後に陸海軍兩省が突然共同聲明をもつて對米流星彈攻撃の可能性を警告したのはこの事件を考慮に入れた結果とみられる

東西兩面で冬季攻勢開始

(ベルリン十日發) ドイツ軍當局十日言明「西部戦線のロレーヌ地區、アーヘン東方、オランダ、東部戦線の東プロイセン、クルランド、ハンガリアにおける新攻勢は反樞軸冬期攻勢の開始を意味する、従つてここ數日以内に極めて大規模な兵員器材による空前の激戦が展開されよう

ハンガリア戦線活潑

(ベルリン十日發) 總統大本營十日公報「一、セルビアのクマノヴォ(スコプリエ東北方)でブルガリア軍がまたもドイツ軍陣地を強襲したが阻止された、ドイツ軍擲弾兵部隊はミトロヴィッツァ(ブリスチナ西北方)の東方及び東北

方で重要高地を占領した

一、ブダペスト南方及び東南方では赤軍が多數の攻撃を加へて來たが、ドイツ、ハンガリア軍陣地の前面で崩壊した、またドイツ軍は反撃によつてメゾーコヴェスド東南方で赤軍先鋒部隊を撃退し大損害を與へた、同市東方では赤軍の壓迫が増大した

一、スロヴァキア國境で赤軍數ヶ大隊が進出を企圖したがドイツ軍は陣地前面で赤軍の攻撃を崩壊せしめた、ドイツ軍は有效な砲撃によつて兵力を展開中の赤軍部隊を四散せしめた

イラン内閣總辭職

(リスボン十日發) イラン内閣は石油利權を繞るソヴェト政府との紛争に伴ひ總辭職を噂されてゐたが、テヘラン來電によれば首相モハメド・サエドは閣僚全員とともに十日國王に辭表を提出したといはれる

イラン首相

遂に屈服

(ストックホルム十日發) テヘランからのロイター電報によればモハメド・サエドを首相とするイラン内閣は遂に總辭職したと傳へられるが、ロイター電報によればロンドン駐劄イラン大使サエド・ハサン・タキサードは十日次の通り語つたといはれる

まだ公報を受取つてゐないが從來の経緯に徴して別段驚く程のことではない、サエド首相はソヴェト新聞界の攻撃に鑑み兩國間の友好關係を維持するため國家的見地より挂冠したのだと思ふ、しかし戦争が片付くまで外人に石油利權を賦與しないといふイラン政府の方針は内閣の更迭で變るまい

芬内閣總辭職

(ストックホルム十日發) 「モルゲンチドニンゲン」紙のヘルシンキ特電によればカストレドを首相とするフィンランド内閣は十日遂に總辭職したといはれる

【反樞軸陣營】

米英の重慶攻撃とソ聯

(チエリツヒ九日發)「ガゼット・ド・ローザンヌ」紙はスチルウェル召還問題を契機として米英が突如報道機關を通じて重慶攻撃を起したことを論評して次の通り述べてゐる

ワシントンが重慶の反動分子に武器を提供し、この反動分子がその武器を中國共產黨に對して使用してゐたことにつきモスクワでは既にワシントンをいたく非難した、モスクワに着いたチャーチルはルーズヴェルトの覺書を携行し、これによつて間もなく意見一致に達した、米英は蒋介石に對して「ソ聯は大きな戰勝國となつてをり、何もしないだらうから支那におけるソ聯の勢力を容認するやうな、もつと民主主義的な政策を採用するやう」勸告することに同意したものである

【米 國】

ウオレス重慶大使か

(リスボン九日發)ワシントン來電「副大統領ウオレスは大統領ルーズヴェルトが新副大統領トルーマンと共に來る一月新任期に就任すると共に辭職することとなつたが、ワシントン政界ではルーズヴェルト當選に伴ふ内閣改造説と共にウオレスの重慶大使説が有力となつてきた、即ち重慶駐劄米國大使は過般ガウスの辭職により現在空席となつてをり、一方ウオレスはトルーマンによつて民主黨副大統領候補の地位を奪はれた後も個人的にはルーズヴェルトと袂を分たす今度の選舉運動にもルーズヴェルトを支持して一役買つてをり、更にルーズヴェルト自身もウオレスが副大統領の地位を去つた後彼に重大な地位を與へることを暗に約束してゐるので、ウオレスの重慶大使就任は極めて可能性の多いこととされてゐる

兵 員 損 害

五十萬突 破

(リスボン九日發)ワシントン來電「米國陸軍長官スチュムソンは開戦以來の米國陸海軍兵員損害が十月二十八日現在で五十萬九千九百九十

五人に達した旨九日發表した

内閣大改造か

(リスボン九日發)ワシントン來電「内務長官イツキーズは九日ルーズヴェルトの大統領當選確定と共に辭表を提出した、右は大統領が再選された場合も全閣僚が一應辭表を提出大統領はこれを却下する慣例によつたものであるが、イツキーズの場合には果して却下されるか否か疑問とされてゐる、ワシントン政界ではルーズヴェルトが當選後最初に實行するのは閣僚の大更迭で既に副大統領ウオレスがトルーマンに席を譲ることは確定してゐるが、他に辭任する可能性の強い長官としては前記イツキーズをはじめ老齡で健康の勝れない國務長官ハル並びに勞働長官パーキンス、老齡のスチュムソン等があげられてをり、殊にハルの辭職説は最も強く、既にその後任として現國務次官ステチニアスの昇格説がある

海 軍

大 異 動

(リスボン九日發)ワシントン來電「米海軍長官フオレスタルは九日の記者團會見で次の海軍人事異動を發表した

一、大西洋艦隊司令長官大將ローヤル・インガーソルは十一月十五日附で聯合艦隊司令長官兼海軍作戰部次長の資格で太平洋岸水域司令官に任命された、インガーソルは西海岸水域の海運を警護すると同時に西岸諸港から太平洋艦隊へ向けて積み出される軍需品の處理に當る

一、北方艦隊(第四艦隊)司令官中將ジョナス・H・イングラムは大將に昇進、インガーソルの後を襲つて大西洋艦隊司令長官に就任する

一、第三海軍區(ニューヨーク)司令官少將ウイリアム・R・マンローは中將に昇進、第四艦隊司令官に任命された

一、太平洋岸水域司令官中將デヴィッド・W・バグレーは中將ロバート・レ・ゴームレーの後を襲つて第十四海軍區(ハワイ)司令官に就任する

一、ゴームレーは新任務につく筈である

決定的選舉演説

(マドリッド九日發) スペイ

はス議長

ンのフアランへ黨機關紙「アリバ」のニューヨーク特派員

ルシエンテス氏はルーズヴェルト四選に關し九日次の通り報じてゐる

米國大統領選舉における最後の最も重要な選舉演説を行つたのはルーズヴェルトでもなければデューイでもなく、ほかならぬスターリン議長だ、スターリン議長は日本に言及してルーズヴェルトに決定的な票數を稼いでやつた、右の結果恩義を感じたルーズヴェルトの對ソ協力政策は一段と拍車をかけられるであらう

陸軍航空隊

(リスボン六日發) 九月一日附の「ニューヨーク・タイムズ」紙は太平洋地域における

を改組

米陸軍航空隊の改組について次の通り報じてゐる

中將ミラード・ハーモンは新設の太平洋地域陸軍航空隊司令官に任命された、太平洋地域における陸軍航空隊は今回の措置によつて單一司令部の下に統轄されることになつた、太平洋地域陸軍航空隊の作戰區域はニミツツ司令部の管轄範圍と同じであり比島東北方から日本本土に至る太平洋全域を含む、但しアリエーシヤン地域は以上に含まれない、現在ハーモン司令部には僅かに第七航空部隊が含まれてゐるだけであるが、この中には重爆、中爆、戦闘機の各隊を初め空輸並びに廣汎な補給活動が包含されてゐるしかしながら前進地域における陸海軍並びに海兵隊の基地航空隊の指揮には依然少將ヘールが當りヘールは戦闘作戰を直接指揮する

【ドイツ】

潜水艦

(ベルリン九日發) DNB報道II最近リスボン各紙に掲載されたUP電報は「ドイツが

生産中止

戦車及び砲の増産のために潜水艦の生産を中止した」と報じてゐる、DNB通信社がドイツ海軍消息筋から得た情報によるとドイツ軍は地上戦線を増強するためにかかる兵器生産分野の轉換を行つたのであり、近い將來にその効果が戦場に顯はれる筈だ

【ソ聯】

アンラ

(ストックホルム九日發) ロンドン來電IIエクステエン

を拒否

ジ・テレグラフの報道によれば

アンラ(反樞軸救済復興會議)はモスクワにその支部を設置すべく準備を進めてゐたが今回ソヴェト政府の要求によつて支部開設を無期延期するに決定したといはれる

ソヴェト政府は一九四三年アンラが設置された當時にはこれに積極的に参加、ソ聯にその支部の設置されることを歓迎する態度を示してゐたにも拘らず、今回遽かにその態度を變へて支部設置の無期延期を要求するに至つたもので、その理由は明らかにされてゐない

ド・ゴール

(ストックホルム九日發) モ

政權に捻ぢ込む

スクワ放送によれば九日ソヴェト政府はフランスにおける

ソヴェト抑留民の取扱ひにつきド・ゴール政權に次の如く嚴重抗議を行つたといはれる

ドイツ軍によつてフランスに移送された多數のソヴェト市民はフランスが反樞軸軍によつて解放された後も反樞軸國民として拘禁狀態から解放されず、ドイツ軍捕虜と一緒に捕虜拘禁所に收容されてゐるばかりでなく拘禁所の生活條件は極めて劣悪で言語に絶する場合も往々にして見受けられる、以上の事態に鑑みソヴェト政府はフランス政府に對し抗議を行つた、ソヴェト政府はド・ゴールがロンドン亡命中終始支持する態度を採り、一時は軍資金を供給してゐたとの噂もあつたが、昨年八月二十七日には率先アルジェーのド・ゴール政權を承認して外交代表を交換、本年十月には米英兩國と共に正式にフランスの臨時政府として承認した、しかしながらド・ゴールがパリ歸還後漸く假面をぬいで獨裁主義的性格を露呈しフランス共產主義運動を彈壓し始めるやド・ゴール政權に對するソヴェト政府の態度は著しく冷却するに至つたが、ソ聯今回の措置はフランスに對する政策變更の一端を窺はしむるものと解され各方面の關心を集めてゐる

ヴィンシスキー羅都に乗込む

(リスボン九日發) ソヴェト政府は過般休戰協定不履行を理由にルーマニア政權を痛烈に攻撃、遂に首相サナテスコをして内閣改造の舉に出でしめたが、ブカレスト來電によればソ聯外務人民委員部首席次長ヴィンシスキー氏は九日ブカレストに到着したといはれる、ヴィンシスキー氏は檢事總長當時トロツキー派の肅正工作に辣腕を揮ひソ聯國民の心膽を寒からしめただけにルーマニア政權側は早くも大恐慌を來してゐる模様だ

米航空會社

長を招請

(チューリッヒ九日發) 英國通信社エクスチエンデ・テレグラフのニューヨーク電の報ずるところによれば米國の航空會社「トランス・コンチネンタル・アンド・ウエスターン」社長フライは最近スターリン議長から戰後航空問題協議のためモスクワを訪問するやう招請を受けたといはれる、ソヴェト政府は最近シカゴの反樞軸國際航空會議に出席を拒否したばかりでありスターリン議長の実飛行動はまたしても米英兩國外交界に多大の衝動を與へてゐるやうだ

【英國】

V二號に

依然頼破り

(ベルリン九日發) 總統大本營の發表以來ドイツ國內はV二號發動の噂で持切りの有様で各紙とも大々的にV二號の威力を説いてゐる、勿論英國政府並びに反樞軸軍は巨大な新兵器の出現で全く戸惑ひの有様でV一號發動についてモリソン内相が英國下院で初めて發表したのと違ひ、ドイツ軍の發表が出てゐる依然頼破りだ、いづれ全國民からの非難で實情を發表するほかはないとみられるが「フェルキツシャー・ベオバハター」紙は以上英國のやり口につき今日の紙上で次の通り述べてゐる

英國政府はあらゆる手段を盡してV二號に關する情報を押へてゐるが今にも瓦壞するかのやうに宣傳してきたドイツ國民が革命的新兵器を英國に叩き込んだのだから沈黙政策の他策の施しやうがあるまい、しかし宣傳政策でV二號

の威力を滅殺することは出来ない

香港を放棄せず

(リスボン九日發) 英國首相チャーチルは昨午下院において英國がその領土の一部を放棄したり他國へ移譲したりする意圖がないことを明かにしたが、九日下院において一議員が右聲明に言及、首相代理アトリリーに對し

香港乃至英帝國のいかなる部分に對しても右聲明が適用されるのか

と質問したに對し、アトリリーは

英帝國乃至英聯邦のいかなる部分も右聲明の適用をうける

と答へたといはれる

西歐防衛圈結成を企圖

(ストックホルム九日發) 英國外相イーデンは長途の旅を終へてロンドンに歸還後六日眞先にベルギー外相スバークを招致、要談を行つた後、亡命ポーランド政權首相ミコライチク、外相ロメル、ロンドン駐劄大使ラシスキー等と長時間に亘つて會談、その後に至つて漸くロンドン駐劄ソ聯大使グーセフ氏と會見したが右は現下の英國外交政策

一、ソ波紛争の解決

一、西歐洲防衛圈の結成

に集中されてゐることを示唆するものだ、前者に關してはロンドン來電によればイーデンはミコライチクに對し國境問題に關する讓歩を高飛車に要求したが亡命政權側はカーゾン線の決定を戦後まで延期するといふモスクワ會談當時の態度をまげず結局物別れに終つたといはれる、後者についてはイーデン、スバーク會談は西歐洲諸國との交渉の實際的な第一歩と解され更にイーデンは亡命オランダ政權外相ファン・クレフェンス、ロンドン駐劄フランス大使マシグリーと會見した後チャーチルとともにパリに乗り込み、本格的交渉に移る豫定と傳へられる、英國政府筋はイーデン、スバーク會談は單に瀕踏み程度に過ぎず協定締結まで發展すべき性質のものではないと稱してゐるが、クレムリンの歐洲外交攻勢に對するマジノ線として英國を盟主とする西歐洲防衛圈を結成せんとする氣運はいまや全く蔽ひ得ない事實と化してゐる



スチルウエル召還問題の全貌(上)

藤原文雄

米軍の太平洋反攻がフィリピン的一角上陸によつて重大な段階に達し、これと呼應して東南アジアの敵反攻も雨季あけと共に漸く活潑化さうとしさらに支那大陸の戦局が日本軍の作戦進展で東南支那の敵最大要衝桂林の命脈を絶たうとしてゐる重要な時期に當り、ホワイト・ハウスは十月二十八日突如としてジョセフ・スチルウエル大將が東南アジア反樞軸軍副司令官、在印緬支米軍司令官重慶軍參謀長の要職を解かれてワシントンに召還されこれに伴つてこれまでの印緬支戦域は支那戦域と印緬戦域とに二分し、前者には東南アジア軍參謀次長アルバート・ウエデマイヤー少將、後者には印緬支米軍副司令官ダニエル・サルタン中將が司令官となり、同時にウエデマイヤーは支那戦域における參謀長として蒋介石より任命されたことを發表した、スチルウエルの罷免召還は時期が時期であり、今次の戦争で米國の大將が罷免されたのはこれが嚆矢であり、これに伴つて印緬支戦域の反樞軸軍の首脳陣と米軍自體の指揮分野に變化が起きた點で、近來にない重大事件として米國內はもとより全世界にセンセーションを捲き起ししかもこれに續いて重慶駐劄大使クラレンス・ガウスも辭職したのに輪をかけ、米英の新聞、通信ラジオはこの問題を繞つて數日間にわたり、比島の戦鬪も大統領選舉戦もそのけで騒ぎ立て、事件の容易ならざる性質を反映した

この問題について米國も重慶も極力隱蔽につとめ、言論の自由を自負する米國ですら近來珍らしい嚴重な檢閲方針をとり、重慶はさらに嚴重であつた、これについて重慶にあるAP通信の特派員ムーサが記事解禁後の十一月一日に打電した次の報道がある

スチルウエルは十月十九日午後五時にワシントンから召還をうけ、翌二十日午後將介石に正式の訣別をして二十一日飛行場に車を驅り、輸送

機で支那を去つた、重慶にゐる各新聞通信特派員はスチルウエルが出發したことを知つてゐたが、これを打電することができなかつた、記者連は二十八日ワシントンが召還を發表した時に事件の背景を打電できると期待してゐたが、重慶政府當局の檢閲はかつてみないほど米人、華人双方に對して苛酷で、APの電報は翌日になつて檢閲が終つた時には、前書きからして意味のないまでに崩されて僅か八語に削られ、米軍の檢閲が許可した無害な箇所さへ削られたこのやうにして十月二十八日ワシントンが發表するまで一般には知られなかつたわけである

事件の政治軍事的背景

これはスチルウエル一個人の問題ではなく、關係するところ廣く根ざすところ深いので、事件を通觀する前にここで先づ述べておきたいことは、米國が最近重慶及び支那大陸に對してどんな政策をとつてきたか、東南アジア乃至太平洋の敵戰略に何か根本的な問題が伏在してはゐないかの二つである

對支政策 米國が東亞から敗走した當時、或ひは太平洋の反攻にでる前には、重慶乃至支那大陸を日本の軍勢力を多少なりともここに釘付けにする消極目的に利用してゐたが、太平洋の反攻が進むにつれて支那上陸を戰略目標とし、ここを日本本土に對する大基地と化す意圖をもつていたつたそしてこの大基地化に必要な態勢は支那上陸が可能となる以前に整へておかねばならない、即ち米國にとつて嘗ては大して問題でなかつた支那の國內的問題が今や米國自身に直接深い關係を持つ現實の問題となつてきたのである、しかも支那における最近の情勢は過去七年の抗戰の結果として深刻な疲弊により軍事、政治、經濟の全分野に種々の重大な難問題が生起し、特に日本軍の四月十七日に開始された行動は河南、湖南、浙江、廣東、廣西等の東南支那の廣大な地域を席捲する事變以來かつてない大作戦に進展し、重慶軍は到るところで敗戦を重ねこのため米國が大基地化の足がかりとして先づ建設した東南支那の空軍諸基地は次に失はれ戰略計畫に蹉跌を生ずるに至つた

ここにおいて米國はまづ重慶軍の整備立直しを必要とするに至り、そのための軍制及び統師の改革並びに反共的、反米的、知目的首腦の限陣、中國の民主主義化を重慶に要求してゐた

米國は更に進んで國共（重慶延安政權）の紛争和解を強く要望した、その目的は支那の國內戰線の統一によつて從來の國共相剋即ち支那の「内亂」に向けられてゐた戰鬪兵力を浮び上らせて、これを對日戰に振り向けやうとの狙ひである、ルーズヴェルトは今春五月副大統領ウオーレスを重慶に派遣したが米國戰時情報が十一月三日、一報道として傳へるところによると、彼はウオーレスに對し特に米國軍事使節團の共產軍訪問を斡旋するやう訓令しウオーレスの交渉の結果これが實現したとして同使節團は今夏ホワイト・ハウスに對し共產軍は裝備は悪いが忠誠な部隊として約五十萬の兵力を持ち、別に現在日本軍の前線後方で活動してゐるゲリラ部隊として二百萬の準戰鬪兵力があり、これらのゲリラ部隊は日本軍の作戰に極めて精通し、共產軍と協力してゐる點を直接報告したといはれる、これに對し重慶は共產地區封鎖に第八戰區の精銳數十萬を振向けてをり、米國は國共の和解によつて以上ざつと三百萬の兵力を對日戰に投入しようとしてゐる、更に軍事使節團の共產地區訪問に當り中共支配下にある西北支那の航空關係調査を行つてをり、日本と滿洲の戰時生産に對する組織的近距離爆撃の基地としてこの方面を利用しようとしてゐるのは明瞭である、米國は更に國共の和解によつて重慶とソ聯との關係を調整し、あはよくばソ聯を對日戰に引込む誘ひ水にしたいと考へてゐる

次に米國は重慶の工業化及び戰後復興の美名のもとに支那のもつ戰爭資源を活用して支那で軍需工業をおこし、あたふ限り現地調度を實現して、米本國から地球を反周する困難長途の輸送問題を軽減すると共に、米國の巨大な軍需工業が戰後に蒙るべき恐しい反動をも緩和しようとしてゐる、ウオーレスの訪問に續いて前軍需生産局長官ネルソンが重慶で蔣介石との間に「支那の工業化につき協定に到達し」近く再度訪問するのは右の目的を實現する第一歩にほかならない、しかし工

業建設問題は未だ話合ひの緒についたに過ぎず、前述の軍制改革や民主主義化はまだ殆んど着手されてをらず、國共和解交渉も最近決裂したため、これらの點について米國の重慶非難は最近の軍事情勢惡化と共にますます強まる傾向にあつた

東南アジア戰略 次に米英及び東南アジア軍部内には從來戰略上問題があつた、それはスチルウエルがレド公路打通の陸上作戰を固執するに對し、マウントバツテンは海上作戰を主張し、これを繞つて互ひに相手の戰略を批判攻撃する傾向が英米の間にみられたが、スチルウエルの北緬作戰は未だ成功せず、その遅延に漸く非難が向けられつつある時、マツカーサーとニミッツの太平洋攻撃は遂に支那大陸への最大難關ともいふべきフィリピンに取りつくに至り、臺灣沖及び比島沖の大海空戰に受けた甚大な打撃及び今後更に蒙るべき海空軍の損害を含めこの太平洋の決戰にあたつて日本軍の強力な抵抗線を遮二無二突破の企圖を以て史上空前の大消耗戰の火蓋を切るに至つた、歐洲でも獨軍を相手の大消耗戰が続いてゐる、米國が如何に物量を誇るともこれ以上更に第三の大消耗戰と出血戰を起し、しかもそれを補給し抜く自信がありまたそれを絶対必要としてゐるだらうか、北ビルマ方面の戰況はスチルウエルが自らの指揮を召還によつて打切るまでにミートキーナまで進出し怒江戰線で騰越を奪回した重慶軍との直線距離は數十哩に接近したが地形の困難と日本軍の斷乎たる防備によつて、なほ重大な障礙に直面してゐるのが現狀だ、しかしそれが米軍の北緬作戰放棄を意味する譯ではない、ただ第二義的となつた感がある、比島の一角にとり付いた米國は北緬作戰を第二義としていよいよ太平洋からの支那大陸接近に全力を傾倒するの餘儀なきに至つたやうだ、ビルマ反攻の重點負擔を英將と改めて頼つ話合があつたのではなからうか、以上の前提をもつてスチルウエル事件のあとを追つてみよう

召還の直接原因は何か

スチルウエルの罷免はその性質が極めて重大深刻であり影響も大きいので、米國の言論界は舉げ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便執照可)

てその原因の探究を重點に種々雑多な報道論說狀況をとりまぜて連日書き立て、これに關する對外電報の分量も一つの事件に用ひた量としては近來にないもので、概して前述のやうな政治的、軍事的背景を論じ、特に重慶の國共合作失敗、軍の指揮統帥の無力、「反動的排外的老朽分子」の整理等を論じ或ひは實行を要求すると共に、召還についていづれもつともし理由をつけてゐるがハンソン・ボールドウィンはこれを評して、眞相の全貌は史家によつて明らかにされるだらうと書いてゐる、各種の觀測が擧げたものを要約する

第一 は蒋介石とスチルウエルの意見對立と反目で、その主要な理由としてUP通信は兩者の間には性格的にも、指揮問題の根本概念及び極東の戰爭を指導する方式について取返しのつかぬ摩擦があつたこと、特にスチルウエルが重慶の敗戦に鑑み蔣が實行しようとする準備してゐるよりもつと活潑な對日戰を促し、また長い間重慶の複雑な政治情勢に深く介入し、國共の和解問題につき米國の壓迫の急先鋒をなしてゐたことをあげてゐる

第二 は重慶軍の實力評價についてスチルウエルと米本國との間に見解の相違があつたこと

第三 はスチルウエルと東南アジア軍司令部内の英國側首脳部特にマウントバツテンとの間の確執をあげ、北緬作戰に重點をおく問題で二人の間に意見の對立が続いてゐたこと及びマウントバツテンが英海軍畑にたいし、スチルウエルは米陸軍畑の歩兵科出身で、極東の戰略について双方の考へに根本的な相違が、鋭く對立してゐたことを指摘し

第四 にはスチルウエルがその麾下の在支第十四航空部隊司令官シエンノート少將及び在印第十四航空隊司令官ビツシエル代將の兩者とも反目を生じてゐたことを擧げ、特にシエンノートがもつと航空戰に力を入れるべきだと主張してゐたことを指摘してゐる

第五 には米陸軍省當局がスチルウエルの身の振り方につき「重要な新任務につく筈だが、轉出先は明らかに出来ない」と言明し、ルーズヴェル

トが「彼の階級に比例した新地位が與へられよう」と述べたことに關聯して、ワシントン及びカンディの一部消息筋では米軍が將來支那大陸沿岸に上陸作戰を行ふ機會が到來した場合にはスチルウエルがその地上部隊の作戰指揮に當るかも知れないといふのである

このうち論議に最も重點のおかれたのが第一の蔣とスチルウエルの關係であるが、これには二つの相反した見解があり、ワシントン側から出たものはスチルウエルの召還は米國の重慶にたいする最後の警告だとし、これにたいし重慶側乃至在米の重慶要人筋から出た情報は、彼の召還が蒋介石の要求によつて實現したものだとしてゐる、即ちその代表的なものを擧げると米國側では十月三十一日政府筋の見解として

A、スチルウエルは北緬作戰に成功してをり、しかも僅か二ヶ月前に大將に昇進してその功績を認められてゐる點から明瞭な通り、左遷または譴責の意味ではなく大統領も召還と同時にスチルウエルを他の要職につけることを發表して、そのやうな誤解を避ける意圖であつた

B、重慶の軍制改革については既に再三警告してゐるが、スチルウエル召還は米國政府最後の警告であり、この「新たな政治的軍事的危機」の解決は専ら重慶政權の善處に俟つものであるとの強硬意見を表明し、AP通信はこれを補足して米國政府は重慶の軍統帥の完全な刷新、重慶軍の改革を企圖して努力したが、所期の目的を達成出来なかつた事實と今回の措置は直接關聯してゐると述べ、支那大陸における最近の敗戦をあげて重慶軍の無力と狀態劣惡、軍政當局及び最高司令部の無能力を指摘し、一部の支那通は重慶政權が軍隊をもつと有効な戰鬪軍隊に再編成することに失敗したので、スチルウエル召還の形で公然と重慶の横面を殴つたものだともみてゐると報道した

これに對し同日UP通信のワシントン電は一情報として、蔣とスチルウエルの意見對立のほかに重慶が對日抗戰の現段階において持つ大きな課題

即ち軍制改革、政治の民主々義化的改革、國共紛争の解決による國內戰線統一等に關してスチル

ウエルが蔣に強硬に容喙し、蔣はこれを内政干渉だとして反撥してゐたが、現在蔣の統帥下に戰闘してゐる一切の軍隊をスチルウエルの指揮下におくことを要求するに及んで、遂に取返しのかね結末を生起するに至つたものと報じ、INS通信もスチルウエルは蔣介石に對して第一に重慶軍の戰略を變更すること、第二に重慶軍と共產軍の結束を保障することを要求したと報じ、また「ヘラルド・トリビュン」はスチルウエルが重慶軍と共產軍の衝突につき蔣介石に對して酷い言葉を使ひ、統一した戰爭努力のために中共と和協すべきことを主張したが蔣はこれを拒否したと傳へ、INS通信は更に外交筋の言明としてスチルウエルとガウス大使が蔣を驅つて中共と協力させようと試み、蔣がそれに失敗したことについての議論が召還の一要素となつたもので「蔣介石の要求」で罷免されたのだと報道してゐる、更に素破抜き記者ドリユー・ピアソンの二十九日の報道は、ビルマ公路を打通出来ないのに業を煮やした重慶軍閥もスチルウエル召還を要求したと傳へてゐる米國の警告が蔣の反撥かいづれにせよ米蔣の重大な衝突を表裏兩面から表現したものに外ならない次に重慶軍の實力評價について、ハンソン・ボールドウインは十月三十日の「ニューヨーク・タイムズ」紙上で、重慶は援助さへすれば自己を保全して行かれるといふ理論についてワシントンとスチルウエルの間に意見の相違があり、スチルウエルは訓練と指揮統帥さへよければ重慶軍は使へると考へてゐるのに對し、ワシントンでは重慶は援助されても満足に己を持して行くことが不可能だといふことをますます認識しつつあると報じてゐる

アトキンソンとグロヴァの特種

米國と重慶の交渉を背景とする問題のスチルウエル對蔣介石紛争について、最近重慶から歸米した「ニューヨーク・タイムズ」重慶特派員ブルツク・アトキンソンとAP通信のニュー・デリー特派員プレストン・グロヴァの三十一日の記事は、

米陸軍省の檢閲を辛うじて通過したもので交渉の内幕を素破抜いた報道だといふので最も注目を惹いた、即ちアトキンソンは「支那の内幕」と題して次の通り述べてゐる

アトキンソン「ルーズヴェルトの特使ハーレー少將と蔣介石の間に過去二ヶ月にわたり、蔣介石の指揮下にある重慶軍の地上部隊及び航空部隊全軍の指揮權をスチルウエルに賦與し、かつ重慶の對日反攻參加を強化することにつき交渉が行なはれてゐた、蔣介石は最初スチルウエルの司令官就任を容認することに乘氣をみせたが、後に至つて彼は如何なる米人司令官の任命も承諾しないことに決定した、かくて米國側交渉代表に對する蔣の態度は強硬な敵意を含むものとなつた、十月中に開かれた國民黨中央執行委員會の私的會合で、蔣は彼に軍制及び政府の改革を迫る米國側に對し彼の最後通牒の條件を發表した、彼はスチルウエルは立去るべきこと、米國の武器貨物資の管理權は自分の掌中におかれるべきこと（註、從來はスチルウエルが掌握）中國共產黨に手を打つて支那の統一結束に資することに米國の強制を受ける筋合はないことを宣言した

蔣介石は更に「若し米國がこれらの諸點に讓歩しなければ、重慶は眞珠灣事件の以前に實行した通り單獨で日本と戰ふ狀態に復歸するつもりだ」と言明した

かくしてルーズヴェルトは蔣介石のスチルウエル召還要求を承諾し、廣大な印緬支戰域は二つに分割され、陸軍省はマウントバツテンの參謀次長ウエデマイヤー少將を在支米軍司令官に任命し、在印緬支米軍參謀長サルタン中將を在印緬米軍司令官に任命するに至つたものである

「苦蟲ジョー」ことスチルウエルは二十年以上を殆んど支那の軍事問題に獻げ、在印緬支米軍司令官及び蔣介石附の反樞軸軍參謀長として二年八月勤めた後、重慶の戰爭持續と重慶軍の戰闘能力改善に多忙で絶えず蹉跌を生じた努力に終りを告げた、スチルウエルの召還は瀕死の反民主々義政權（重慶）の政治的勝利を示すものだ、この政權は日本軍を驅逐することよりも政治的優越を維持することに一層關心を注いでゐるのだ、重慶軍の

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

援助に何も行なはれなかつた理由は、蔣介石が彼の古い反動分子の一群に戦争の終るまで権力を維持させることを決意し、戦争が終了した時に中共との戦ひを再開する意圖をもつてゐたからだ。蔣とスチウエルの根本的意見の相違はスチルエルが支那において遲滞なく日本軍と戦ふことに懸念であつたのになし、蔣は間に合はないとの見解をもつてゐたことである。

クロウアー 米國の統帥部では極東反攻の戰略を急ぎ全面的に立て直す方針のもとに、ハレー、ネルソン兩特使に廣汎な權限を與へ、日本軍との戦ひに米軍との協力を増大するといふ確固たる公約を重慶から得て来るやう依頼した、米國側は國共の合作によつて重慶軍と共產軍が協力して日本軍に抗戦すること、蔣介石が重慶政府を改組し、反動的、妨害的、排外的分子を罷免すること、ビルマ戦線のみならず他の戦線でも日本軍にたいする重要作戦には、米軍の將官を重慶軍の司令官に任命すること等を要求した。

交渉に當り在米中の孔祥熙財政部長は蔣介石に打電し、ハリー・ホプキンスが孔熙にたいし、重慶は米國の態度に恐れる理由はないと保障した旨を傳へ、蔣が若し斷乎として持ちこたへればあらゆる點で勝つだらうと報告した、この結果蔣の態度が硬化したが、この報告を知つたネルソンとハレーがルーズヴェルトから蔣にたいする強硬なメッセージを入手したことは確かで、このメッセージはルーズヴェルトが蔣を欺くことではないとしこの點で米側交渉代表を支持したものである、米國側はこの取引に當つて武器貸與の停止、第十四航空部隊の支那引揚げといふ力を持つてゐた、この結果米國は遂に重慶軍の指揮權獲得を含む協定に達したもので、蔣としては辛いことであつたがそれは一つの段階としてまた戦争に全速を保つ協調のためにしたことである、ところがその後蔣はスチルエルは立去らねばならないと宣言して米側交渉代表を驚愕させた、蔣はそこで非難事項を提出したが、その非難の性質については「安全保護」のため明らかにすることが出来ない、蔣はその後磐石のごとく動かす、米代表はこの點で屈服即ち蔣政權支持の政策に入るといふ屈服に直面の

餘儀なきに至つた、重慶で蔣は明かに面子を立て重慶の各界ではこれに敬意を示してゐるが、米人筋では屈服だとみてゐる。

以上二つの特種に加へてスチルエルと曾てビルマから敗走行を共にしたUP通信のダレル・ペリガンは三十一日の報道で、蔣介石のステルエル非難事項として第一に反樞軸艦隊がビルマ南部に進撃した場合に始めて北部ビルマに作戦を開始するのに同意したにも拘らず、ステルエルは以上の蔣の意向を全然無視して作戦を開始し、第二は在支米空軍が基地を喪失したのはステルエルが重慶軍に十分の武器を送らなかつた結果だといふ二點を擧げてゐる。

個人取引

「タイム」誌十月廿三日號

(ストックホルム一日發) 六ヶ月前、アドミラルティ諸島のモモテ飛行場を繞る戦が續けられてゐる頃、米國兵は日本のピストルを拾得した、當時は收益制度が行はれてゐて、拾つた男はこのピストルを合衆國から持つてきたウイスキー・ハコートと交換した、アドミラルティではウイスキーは將校ならば一人二弗で買へるが兵卒は一人に七十五弗ださねば買へなかつたのである、その將校はピストルを別の將校に百七十五弗で賣り拂つた、更に二回取引される中にピストルは原價僅か十八弗のウイスキー三コートで兵士の手に移つた、兵士はそれを七十五弗で賣り拂つた、すると今度はすぐ百五十五弗で水兵の手に渡り、水兵は海軍の士官にウイスキー五コートで賣却した、その週間の終りにはピストルの仲立によつてその市場に持ち込まれた酒のためにアドミラルティ諸島におけるウイスキーの値段は一本四十五弗に引下げられたかうして誰もがいい氣持になり、誰もが得をしたわけである。



第一線航空機の比較査定

元英國の週刊「エアロプレーン」誌の技術主任であり、その後ロード・ビーヴァブルックの民間航空顧問となつてゐるピーター・G・メイズフィールドといふ男がある、この男が米國の航空機工業視察から歸つて、第一線航空機の評價並びに比較のための一般的公式を樹立しようと企てた、だが航空機といふものはそれぞれ任務に應じて大小があり設計も異なる、殊に戦時であつてみれば、よほど細かく分類しない限り「世界最良の戦闘航空機」など決定し得るものではない、この點メイズフィールドも承知してゐるとみえて「今日の世界において最も傑出せる航空機」として三種を選び出した、この三種だけは直接比較し得ないといふのだ、彼の方法をみてもこの種の比較が或る程度以上無理なことは明らかだが、とにかくメイズフィールドが客觀的技術的な評價の基準を立てようとした努力は注目すべきで、從來の比較がともすれば個人的偏見や感情に左右され易いの比すれば一應新しい道を拓いたといへないこともないメイズフィールドの比較といつても、現在戦時で資料の蒐集が困難な時期にどれだけ信をおき得るかは疑問だが、新しい方法として紹介する價值はあると思ふ、ここに掲げるのはスイスのジュネヴアで發行されてゐる國際航空通信「インター・エイヴィア」二月十六日號掲載の論文で、メイズフィールドのいはゆる「最も傑出せる航空機」たる一、ノースアメリカンP51「ムスタング」二、ド・ハヴィランドDH「モスキート」三、コンソリデテドB24「リベレーター」の三種が選ばれるに至つた過程を要領よく説明してゐる、以下はその完譯である（武井武夫）

航空機の分類と必須條件

査定さるべき航空機の特長または性能は想像上

の「理想航空機」の特性や性能と比較される、この理想機は航空機工業の現在能力からみてあらゆる點で最高價值を有するとき航空機である、たとへば若し最高速度五百哩時が可能で、或る航空機が實際に四百二十哩時を出し得るとすれば、その航空機は速度性能因數は理想上の性能の七五％である、これと同じ方法を上昇率、上昇限度、航続距離等に適用すれば、或る航空機の個々の性能因數からは特別の平均性能因數が得られる、勿論比較さるべき航空機は種類と本來の使命によつて出来るだけ詳しく分類することが絶対必要でありその場合同時に理想性能條件も個々の事例において決定されなければならない、メイズフィールドはまづ戰略的陸上機、戰術的陸上機、艦載機、輸送機を區別した、この四大部門の各々は再び各種特殊任務の航空機に分類される、この種類を各自の主要條件とともに列記すれば次の通りである、

（略號 防—防禦力、距—航続距離、爆—爆彈搭載量、速—速度、舵—縱舵性、限—上昇限度、砲—火力、昇—上昇率、荷—積載量、トン哩—ガソリン—ガロン當リトン哩）

- 一、戰略作戰航空機
 - イ、長距離晝間重爆撃機 防、距
 - ロ、長距離夜間重爆撃機 爆、距
 - ハ、晝夜偵察爆撃機 速、距
 - ニ、對潛艦長距離爆撃機 距、爆
- 二、戰術任務航空機
 - ホ、低中空單發單座戰闘機 速、舵
 - ヘ、高空單發單座戰闘機 速、限
 - ト、單座戰闘爆撃機 速、爆
 - チ、單座護衛戰闘機 距、速
 - リ、邀撃機 砲、速
 - ス、夜間邀撃戰闘機 速、距
 - ル、双發攻撃爆撃機または對戰車機 砲、速
- 三、艦 載 機
 - ワ、單座海軍邀撃機 速、昇
 - カ、單發急降下爆撃機 爆、速
 - キ、單發雷爆撃機 速、舵
 - ク、海軍護衛戰闘機 距、速

四A、輸送機

レ、長距離輸送機(三千哩)	荷、トン哩
ソ、中距離輸送機(千五百哩)	荷、トン哩
ツ、中距離高速兵員輸送機	速、トン哩
ネ、單發萬能輸送機(六百哩)	離陸、トン哩
四B、飛行艇	
ナ、長距離輸送飛行艇(三千哩)	荷、トン哩
ラ、萬能水陸兩用(千哩)	荷、トン哩

比較的重要な機種のすべてを網羅する以上二十二種において、各機種性能因數を決定するため、にその主要條件を定めたのである、單座戰闘機は速度、縦舵性、上昇率、上昇限度、航続距離、火力、裝甲、整備の容易、生産原價の低廉などを必要とするが、これに對して夜間重爆撃機においては爆彈搭載量と航続距離に重點がおかれる、いづれにせよ航空作戰指導者、乗員、整備員、製作技師等の立場から同時に見て、一機種の價値を決定することこそ有益であらう、形狀を異にする航空機は、たとへ任務において一部重複することありとも比較の困難なることは明らかである、たとへばド・ハヴィランドDH98「モスキート」双發機とボーイングS14「グリッパ」四發飛行艇とを兩者が共に大西洋横斷に使用されるといふだけの理由で比較するのは全く無意味である、或ひは單發のフォッケウルフFW190と、四發のアヴロ「ランカスター」とは共に夜間爆撃に使用されるが、この二者を比較しても致し方あるまい

計算の具體例

メイズフィールドは現在まだ祕密兵器となつてゐる新型機の特性能に關する數字をも計算に使用したので、彼の結論を完全に照合することは出来ない、従つて彼の査定法については、ドイツのメツサーシュミットMe109E型單座戰闘機と一九三九年當時の他の少くとも一つは特長を有する戰闘機とを比較した實例によつて説明することにしよう

一、高度千五百呎における最高速度は一九三九年においては三六二哩時(ヴァイツカース・スーパーマリー「スピットファイア」)が最優秀で

Me109E型の最高速度は三五四哩時だからMe109E型の速度性能因數は九八・〇%となる

二、縦舵性(メイズフィールドは縦舵性の基準として翼荷重を使用してゐるにすぎない)における一九三九年の最高は四・七封度平方呎(グロスター「グラデエーター」)で、Me109E型の翼荷重は三二・一封度平方呎、即ち縦舵性因數は四五・八%である

三、五〇%出力の持續時間は一九三九年の最高が四・二時間(セヴァスキB35)でMe109E型は二・四時間、即ちその持續性能因數は五七・一%である

四、上昇初速は一九三九年の最高が四八〇〇呎分(カーチスライトCW21)で、Me109E型は三一〇〇呎分、即ち、その上昇性能因數は六四・六%である

五、火力——武裝の比較にはメイズフィールドは自ら定めた公式、即ち銃口における精力の總計に當るものを使用し、これを「銃口馬力」(m.h.p.)と稱する、この單位は五五〇呎封度秒に相當するが、これは $m.h.p. = m \cdot v \cdot r / 1100 \cdot g$ として計算された、この式におけるmは彈丸の重量(封度)、vは初速(呎秒)、rは毎秒發射彈數、gは加速度(呎秒自乗)である、一九三九年の最高は六一六m.h.p. (ハーカリー「ハリー」)で、Me109E型の火力は四九一m.h.p. だから、火力性能因數は七九・八%である

六、整備因數——整備の難易を示すために、メイズフィールドは理想機において合計二十點となるやうにして一定數の要素を選んだ、即ち單發式發動機四點、空冷發動機三點、金屬製應力外皮構造五點、木製應力外皮三點、金屬製羽布張り二點、木製羽布張り〇點、固定降着裝置二點、固定節操レバ二點、一般的整備の評判四點となつてゐる、最高二十點が一〇〇%に當る、一九三九年の最優秀機は十六點(カーチス「ホーク七五」)で、Me109Eは十一點、即ち整備因數は六八・七%だ

七、生産因數——メイズフィールドは生産原型の

製作に要する労働時間を因數とし、一九三九年の最低として五一〇〇労働時間（グロスター、「グラチエーター」を擧げてをり、従つてME一〇九E型の六六〇〇労働時間では生産因數七・五%となる

八、破損因數——航空機の破損率を示すには、メイズフィールドは合計十點の點數制を採用してゐる、これには破損率を下げる要素として次のごときものが擧げられてゐる、装甲板二點、防彈式燃料槽三點、多發式發動機三點、空冷發動機一點、設計全般一點だ、一九三九年の最高は三點（ホーカー・ハリケーン）でME一〇九E型は一點だからその破損因數は三三・三%だ

以上によりME一〇九E型の総合的價值を出すためには最初擧げた二主要條件即ち速度と縦舵性は二度づつに計算され、それに副次的諸因數の平均を加へて、この五個を平均する、これが綜合因數で、ME一〇九E型の場合は七〇・二%である

選ばれた二十二機種

以上のごとき計算法によりメイズフィールドは二十二の分類の各々において最優秀機を選び、最高理想機に對する價值を%で表した、次頁に掲げる表は特性と性能において著名な凡ゆる機種を網羅してゐる、航空工業現在の發達狀態よりみて最高價值を決定するためには、既に米英兩國において生産されてをりながらまだ戰場に現はれてゐない新型機をも考慮に入れた、この中にはボーイングの新型機B 29四發重爆撃機も入つてゐるが、B 29はメイズフィールドの方法によれば殆んど一〇〇%になりさうである

この計算並びに他の第一線航空機の査定において、メイズフィールドは果して一切の偏見をかなぐり捨て、すべての關係者より正確なりと認めらるる資料に基いて比較を行つたか——それを確かめやうとはいふまい、若干の部面において、メイズフィールドの査定法は、なほ多分に個人的判斷に委ねてゐる部分があるやうだ、たとへばまだ極めて少數の鹵獲見本しか入手してゐないやうな特

定の航空機に關し、整備施設や工具の詳細さへわかつてゐないのに飛行場での作業適應性即ち整備の難易を評價するのは困難ではないだらうか、更に簡潔を期するため、メイズフィールドは比較條件として必らずしも完全な表示物にはなり得ないやうなもの——たとへ縦舵性の唯一の基準としての翼荷重——を選んでゐるのである

方法と運用

次頁の表を検討する人は、ドイツの高性能機が一機もその機種における最高位を占めてゐないといふ事實と同時に、一見米國の戦闘機並びに爆撃機が英國機の上位にあることにも氣がつくにちがひない、特に注目すべきは、最近數ヶ月間晝間爆撃に出動するのは主として「空の要塞」の最新型B 17 Gであるにも拘らず、晝間爆撃機としてB 24の優位を斷定してゐることである、さらにメイズフィールドによれば、ノースアメリカンP 51 B、「 Mustang II型」戦闘機が米英兩國の高中空戦闘機に對し優越を持つことも驚くべきだ、しかしてまた興味を覺えるのは、ダグラスDC-4、「スカイマスター」四發長距離輸送機が、それより新しいロッキードC 69「コンステレーション」を壓して選ばれてゐることである

ピーター・G・メイズフィールドの案出した比較法は確かに長い間感じてゐた必要を満すものかもしれないが、比較した結果を示す表は若干の疑問を残してゐる、不幸にして餘りにも統計的表現の技巧性を感じしめるこの最後の査定において、果して「國家的利害」或ひは盟邦米國の意を迎へんとする希望が影響するところなかりしか、それについては全く知る術もないが、もしドイツ軍並びに反樞軸軍航空機の特性に通曉するドイツ航空機工業と専門家が時間をかけ、メイズフィールドその人の方法を使用して次表の結果を再検討するの勞を惜まないとすれば、恐らく描かれた構圖は全く書き換へられてしまふのではあるまいか

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

分 類	世界最優秀機	1943-44 %	比較されたる航空機
イ 白晝重爆撃機	コンソリデートド「リベレーター」	78.4	B17G, ランカスター, Ju88, Do217
ロ 夜間重爆撃機	アヴロ「ランカスター II」	75.2	ハリファックス, スターリング, B17G, B24J, He177
ハ 晝夜偵察爆撃機	ド・ハヴィランド「モスキート」	93.2	B26, P38J, A20, Ju88, ボルチモア
ニ 長距離哨戒爆撃機	コンソリデートド「リベレーター」	75.6	サンダランド, カタリーナ, マリーナー, ランカスター, コロナド
ホ 低中空単座戦闘機	ノースアメリカン「ムスタング II」	75.0	スピットファイア IX, Fw190, P38, Me109G, タイフーン, P39, P40
ヘ 高空単座戦闘機	ノースアメリカン「ムスタング II」	91.4	P47, スピットファイア IX, P38, Me109G, Fw190, P39
ト 単座戦闘爆撃機	ロツキード「ライトニング」	89.2	タイフーン, ウァールウインド, Fw190, P40, P51
チ 単座護衛戦闘機	リパブリック「サンダーボルト」	73.6	ライトニング, スピットファイア, タイフーン, Fw190
リ 邀撃機	ド・ハヴィランド「モスキート」	91.6	スピットファイア, タイフーン, P47, P39, Ju88, P51
ス 夜間邀撃機	同上	95.2	ボーファイター, P61, P70, Ju88
ル 双発攻撃爆撃機	ノースアメリカン「ミツチエル」	85.0	Hs129, A20, P38, ウァールウインド
ヲ 地上基地雷爆撃機	ブリストル「ボーファイター X」	90.0	ボーフォート, P38, Do217, B26, He111, ウェリントン
ワ 海軍邀撃戦闘機	スーパーマチン「シーファイア XI」	95.2	ヘルキャット, コルセア, ワイルドキャット, シーハリケーン
カ 単発海軍急降下爆撃機	カーチス「ヘルダイヴァ」	89.4	ドントレス
ヨ 単発海軍雷爆撃機	グラマン「アヴンジャー」	75.8	バラクーダ, アルバコア, ソードフィッシュ
タ 海軍護衛戦闘機	グラマン「ヘルキット」	92.8	コルセア, シーフアィア, ワイルドキャット
レ 長距離輸送機	ダグラス「スカイマスター」	91.8	コンステレーション, ストラトライナー, Ju290
ソ 中距離高性能輸送機	カーチス「コマンド」	92.3	スカイトレーン, Ju52, SM82
ツ 高速中距離輸送機	ロツキード「ロードスター」	93.2	フラミンゴ, エレクトラ, Q6, エンヴオイ, ロツキード「14」
ネ 単発近距離輸送機	ノールデエン・ネルゼマン	89.9	フェアチャイルド 82, ベラノアシニアベースメーカー, カプロ = Calli
ナ 長距離輸送飛行艇	ボーイング「クリツパー」	87.6	コロナド, マリーナー, ショート G, エクスカリバー
ラ 海軍救助水陸兩用機	ヴォート VS-43B	82.6	ワルブス, グース

昭和十九年十一月十四日(火)
第三二四〇號

同盟通信

海外電報

(261)

【目次】

ヒ總統全國民に布告	二六九〇
ドイツ全國民躍起す	二六九〇
周恩來重慶に乘込む	二六九〇
チャーチル、ド・ゴール會談	二六九〇
波亡命政権和協案を拒否か	二六九〇
ダーダネルスの國際管理案	二六九一
國共の和解は米の脅威	二六九一
眞の祕密兵器V二號	二六九二
翼のないV二號	二六九二
對策なきV二號	二六九三
放射性新兵器出現か	二六九三
獨ロケツト機眞偵察	二六九三
【米 國】	
一般投票の差は僅少	二六九四
新國際機構會議開催されん	二六九四
ウルグアイ國際機構案を提案	二六九四
米洲諸國に届す	二六九四
石油協定を攻撃	二六九五
駐印公使任命か	二六九五
海軍兵員損害	二六九五
【カナダ】	
派遣軍參謀長罷免	二六九五
徵兵制を施行せず	二六九五
陸軍の死傷五萬餘	二六九五
【スイス】	
外相辭職聲明	二六九六
【友樞軸陣營】	
ソ聯中立國に外交攻勢	二六九六
佛政權歐洲委員會に参加	二六九六
國際商業會議開く	二六九六
【ソ 聯】	
ボノミ政權にも釋放を要求	二六九七
反樞軸商業會議にも不参加	二六九七
【西 亞】	
石油政策の黒幕は米國	二六九七
イラン石油紛争の経緯	二六九七
【英 國】	
一致協力政府を支持せん	二六九八
破産を米に訴ふ	二六九八
共產黨はソ聯の手先	二六九八
「エコノミスト」誌フランクを攻撃	二六九八
【特 輯】	
獨ソ戰とソ聯の狙ひ	二六九九—二七〇三



重慶延安兩政權の和解交渉は五月以來四ヶ月半を費しながら双方の主張に根本的懸隔があるため九月に至り事實上決裂してゐた、主張の重點は延安が重慶に對し第一に民主主義を即時採用して國民黨の一黨專制を廢し、中共の合法性を認め支那の共產地方政權全部を公認し、國會の即時召集と聯合政府の樹立を斷行すること、第二は共產軍の兵力として六個軍十八個師を公認してこれに米國の對支武器貸與物資を供給すると共に共產地區の封鎖を解除することを要求したに對し重慶は第一に民主主義は既に一部採用してをり、立憲政府も戰爭後一年以内に實施の準備を進めてゐると反駁し國會の即時召集、全國總選舉の如きは支那大陸の大部分が日本軍に占領されてゐる現状では不可能だとし、聯合政府要求の如きは中共が重慶政權の顛覆を企圖するものだとして斷乎拒否し地方共產政權も大部分を認めず、第二に共產軍十二個師を公認するが條件として重慶の統帥下に隸屬すべきこと、封鎖は交渉解決と共に解除を約してあると突つばねた、この交渉の背景として注目すべきは米國が支那をして國內戰線の統一によりその全國力を對日戰に集中させると共に邊境地區を基地に利用するため民主主義の美名のもとに兩者の和解に介入重慶の譲歩を要求してゐたことで、その急先鋒たるスチルウェルが罷免されても根本政策には變りがない、延安は代表林祖涵が引揚げた後間もなく再び一黨專制の撤廢と聯合政府の樹立要求を蒸返してゐたが十一日領袖周恩來は突如米國陸軍機で重慶に乘込んだ、ニユーヨーク・タイムズは彼の使命が暫定的解決を狙つたものと觀測してゐる、成行は大いに注目されるがその結果がどうあらうとも、わが方針は巨星汪兆銘なしと雖も南京政府をあくまで強力支援しつつ國共の背後に立つ米鬼撃滅、中國復興に邁進するのみだ

ヒ總統全國民に布告

(ベルリン十二日發) ナチ黨蹶起の記念日は國民突撃隊宣誓式を舉行する都合で十二日の日曜日に持越されたがヒトラー總統は紀念式典に當り全國民に對し布告を發表し

余が生きてゐる限りドイツはボルシェヴィズムによつて席捲された歐洲各國と同じ運命に陥らないであらう

と述べ、更に

偉大なる盟邦日本は今回の戦ひの當初からこの戦争が民族興亡の戦ひであることを認め爾來眞に英雄的な勇敢さをもつて戦ひ續けてゐる

と日本國民を絶讃した、右布告はミュンヘンにおいて親衛隊總司令ヒムラー内相が朗讀し、ついで國民突撃隊の各部隊がヒトラー總統に對し忠誠を誓つた

ドイツ全國

(ベルリン十二日發) ナチ黨

民蹶起す

蹶起の記念日に當り十二日新編ドイツ國民突撃隊は全國に

亙り宣誓式を舉行したが、ベルリンにおいては宣傳相ゲッツベルス博士が突撃隊を閲兵し

全世界は今や舉つてドイツ國を地圖から抹殺しドイツ國民を以前の無力な小國の地位に陥れようとしてゐるが、今後三ヶ月以内には裝備訓練のゆき届いた幾多の兵團を内外の戦線に送る決心である

と熱辯を揮つた、ダンチヒ市では突撃隊司令シエプマン氏が閱兵式に臨みミュンヘンでは親衛隊總司令ヒムラー博士がフェルトヘルレンハルレで舉行されたナチ蜂起慰靈祭に出席してヒトラー總統の布告を朗讀したがギースラー博士、參謀總長カイテル元帥などがいづれも記念碑に花輪を捧げた

周恩来重慶に乘込む

●延安の要求を提起か●

(リスボン十二日發) 重慶延安政權の和解交渉は去る五月以來些かも進捗せず延安代表林祖涵は九月末遂に重慶を引揚げるに至つたが、重慶來電によれば延安の領袖周恩来は突如十一日米國の陸軍機に搭乗して重慶に乘込んだといはれる、スチル

ウェル事件の直後延安の報道機關が改めて重慶に對する強硬な要求を蒸し返してゐた事實からみて周恩来の使命は決裂した交渉を再開し改めて延安政權の要求を提出するためと見られる

チャーチル、ド・ゴール會談

(リスボン十一日發) 英首相チャーチル並びに外相イーデンは十一日午後パリに到着、十一日午後ド・ゴールと二時間に亙つて會談を遂げたが右會見でド・ゴールは次の要求を提出した

一、フランス新編軍隊に對し至急武器並びに裝備を與へること

一、英國と同等の資格で歐洲諮問委員會參加を認めること

波亡命政權

(ストツクホルム十二日發)

和協案を拒否か

英國首相チャーチルはモスクワから歸任した後頻りに亡命

ポーランド政權に壓迫を加へソ波兩國間の紛争解決を企圖してゐるが「ストツクホルム・チドニング」紙のロンドン特電によれば亡命政權は數次に亙る閣議の結果和協案を拒否するに決定したと傳へられる

ダーダネルスの

(ベルリン十一日發) ドイツ

國際管理案

言明した

AP通信は反樞軸諸國がダーダネルス海峡に國際管理地帯を設置する案につき目下商議中であると報じてセンセーションを捲き起したが、右商議がソ聯の提案によるものであることは明らかで、ソ聯はこの國際管理地帯の管理について決定的發言權を確保しようとしてをり、結局トルコが犠牲を拂ふことにならう、またこれに關聯して想起されるのは嘗て英紙「デーリー・メール」及び「デーリー・ヘラルド」のカイロ特派員が暴露したブルガリア、ギリシヤ兩國共產黨のバルカンソヴェト聯邦設立案である、兩國共產黨の協定によるとイスタンブールとダーダネルスは獨立自治共和國を形成し、ソ聯の支配下に置かれることになつてゐる、かくの如くソ聯は軍事的侵略を行はずして領土的野心を満足させようとしてをり、ソ聯のかかる野心は今後他の地點にも向けられよう

國共の和解は米の脅威

「タイム」論調

(リスボン十日發) スチルウェル事件に際し、言論報道機關は擧げて重慶に惡罵を集中し、特に重慶が米國の要望にも拘らず「支那の國內戦線の統一」に必要な延安政權との紛争和解に失敗したことを非難攻撃したが、重慶中央社のニューヨーク電報によれば、週刊誌「タイム」は九日發行の同誌上に「支那の危機」と題する同社主筆ヘンリー・ルースの論説を掲げ支那の中共問題を論じてゐる

兩獨裁政權の對立

米國の言論機關が從來一致して、支那の民主主義化を背景とする國共の握手を要求してゐるに際し、ルースは民主主義化を看板とする國共の和解が實は極めて危険な結果を孕むもので、米國にとつても山々しい影響を與へてゐるものであることを指摘し、國共が合體するよりも現状の方がましだと説いてゐる「タイム」の論旨次の通り

スチルウェルの召還は紛糾した一挿話として見苦しい終りを告げたが、これは根本的な情勢に起因したのではない、事實を洗ひざらひさうけ出すと眞相は重慶政權が延安政權と宣戦せざる内亂を交へてゐたもので、その重慶が支那における民主主義の最後の痕跡を保護しようとして高壓的政治を行ふ獨裁政權であるに對し、延安もまた全體的共產主義の擴大を目的とする獨裁政權である、重慶はこれと同時に日本との生死の闘争に追ひ詰められてゐるのである

ここで「タイム」誌は延安政權の新聞檢閲が重慶よりも苛酷である點を挙げ、さらに中共の嚴格な黨規、政治犯收容所、祕密警察その他延安の全體主義的な各種の特徴を指摘し米國の左翼派と自由主義派との對立に譬へてゐる、また「タイム」誌は中共黨員が書いたといふ「野生の薊」と題する一文を掲載してをり、この一文は最近中共の自己批判運動の一つとして延安の解放日報に掲載され

たが、間もなくその黨員は姿を消したと報じてゐる、ここで同誌は過去六ヶ月にわたる重慶と延安の「宣戦なき内亂」を概説し

蔣介石が重慶軍の延安封鎖を續けてゐることに對してスチルウェルその他の者が不満を表明したことは恐らく事實であらう、しかし内亂よりも封鎖の方がましだ、延安もまた戦線だからである、もし蔣介石がこの封鎖を解けば支那の全部が結局は赤色化し民主主義にとつては失はれることになる」と述べてゐる

共產主義の蔓延を危惧

次いで米蔣關係の性質について

ルーズヴェルトは極東における米國の傳統的政策の線に従つて獨立した強力な民主主義支那の實現に對して終始一貫して工作しないでもそれを希望したことは誰も否定する者はない、しかしスチルウェル事件は最大の失策であつた、若しも米蔣關係の決裂の後始末が速かにつかない場合には重慶も米國も共に損失を蒙るであらう重慶にとつてこの損失は極めて大きく、米國にとつても破滅的であるに違ひない、何故ならば若しも蔣介石が延安側の條件でこれと協力の餘儀なきに至れば、そして若しも彼が共產地區に對する軍事的封鎖を揚棄するの已むなきに至れば、共產支那が間もなく重慶にとつて代るに違ひない、しかも共產支那は重慶と異り、その人口四億五千萬を擁する一つの國際協調國家として人口一億三千萬の米國にはつかず、人口二億のソ聯につくこととならう

なほ中央社電報の附言するところによればルースは終始一貫してルーズヴェルトの外交政策を非難し、また今次の大統領選舉でもデュウイを支持した、また最近ソ聯に對して非難の態度をとつてゐたため共產黨からは反ソ的だとの烙印をおされてゐたといはれる

眞の秘密兵器V二號

(ベルリン十一日發) 秘密兵器たるV二號即ち秘密兵器第二號の出現は七日のドイツ軍司令部戰況公報により初めて明らかにされ、第二號秘密兵器などはドイツ側の宣傳によりでつちあげられた妄想に過ぎないとかをくくつてゐた反樞軸側を狼狽させた、英國では首相チャーチルをして一應の辯明を餘儀なくさせるに至つたがその性能、構造などについては今のところ知る由もない

破壊力Ⅱしかし現地の情報や敵側報道の片々などをつなぎ合せてみるとこのV二號こそ本格的な報復兵器であり成層圏飛行のロケット砲の一種とみられてゐる、即ちV一號は比較的割合に生産費の安いロケット飛行機といふべきものでその飛行速度も僅かに戦闘機の飛行速度を凌ぐ程度に過ぎなかつたのに反し、今度の第二號は「デーリー・メール」紙によると時速一千二百料に達し空中における音の速度とほぼ同程度の速度を持つてゐるといはれてゐる、従つてチャーチルも告白してゐるやうにV二號の接近に際して事前に警報を發することは全く不可能である、更にチャーチルの説明を引用するとV二號は九十料乃至百十料の成層圏を飛行し更に地下に潜つて爆發するので破壊力はいはゆる地震爆彈のやうな強烈なものらしい

構造ⅡV二號の構造につき種々の臆測が行はれてゐるが着想はロケット煙幕彈、パンツェア・シユレツク、ロケット高射砲彈等と同じく爆發體自身のエネルギーで推進する、ロイター電報によると目撃者はこれを電柱が空を飛んでゐるやうだといひ、或ひはフット・ボール型の火の玉のやうにもみえ、或ひは黒い煙の塊りの中から突如流星のやうなものが飛び出しオレンジ色乃至赤色の焰を吐き一秒の間を置いて二回に炸裂すると報じてゐるが、V二號が音響速度以上の快速を持つてゐるとすれば肉眼でその色彩をつきとめることが出来ない筈である、同じくロイター電報はV二號の破片について次のごとく報じてゐる

奇妙な形をした白色の金屬片が三料位の範圍に飛散し、その内には棒狀乃至一米平方程度の金屬齒或ひは自轉車のチェーンのやうなものもある

り、更に何とも名狀し難い木の塊などが眞赤に着色され、刻みの入つた如露の口のやうなものも發見された

また「デーリー・エクスプレス」紙に掲載された寫眞は長さ三米、重さ五匁位の蒸氣機關の釜のやうなものでV二號の末端の被覆物と推定され多數の排氣孔が穿つてある

打上げ方Ⅱ以上のやうな各種の説によつてその實體を窺ふことは困難であるが、ほぼ魚雷形の砲彈と想像してよからう、その打上げ方について今のところ全く想像の域を脱しないが「デーリー・メール」紙によると發射管により垂直に打ち上げられ一萬米に達するが、その後の推進方法が自動裝置によるか或ひはラジオ裝置によるかは明らかでない、ドイツ軍戰況發表でV二號がすでに數週間前からアントワープ港灣施設に向けられ、敵の移動を遮斷しつつあり、その命中精度は相當正確になつてゐることが想像される、またその射程についてもドイツ軍當局は現在のものが最後のではないと言明してをり今後の發展が期待される

翼のない

(ストツクホルム十一日發)

V二號

ロンドンからのUP電報によればV二號の英本土攻撃はまだ數においてV一號攻撃當時ほどに到らずしかもその一部は海や空地に落下し、中空で炸裂するものもあるといはれる、右UP電の傳へるV二號は次の通りである

「V二號はV一號と異り翼のないロケット彈だいはば無警告で爆發する流星だ」といへよう、スエーデン筋から手に入れた情報によれば後半は噴射口が澤山あいてゐる大きなボイラーのやうな形をし、その孔から液體酸素の高オクタン價ガソリンまたはアルコールの混合液から發生したガスを噴き出す、翼の代りには彈丸の基部に數列の發動杭が並んで彈道を保つやうになつてゐる、英國人はV二號を大ガス管とあだ名してゐるが、これは爆發の時まるでガス管の幹線が爆發した時のやうに何の豫告もないからだ、中立國筋の報道によればV二號の射程は近く七百哩にもなる見込である

對策なきV二號

—英脅威隠蔽に大童—

(ストツクホルム十日發) ドイツ軍當局の發表以來V二號の問題は完全に世界の話題となつたが、何故ドイツ軍當局の發表するまでこの新兵器の發動が全然知られないでゐたかは疑惑の中心になつてゐるが、これについては英國政府がV二號並びにその效力に關する情報を一切封じてゐたのだといふ説が有力で、ロンドンの外交使臣は全部英國政府から秘密保持を要求されてゐたといふ噂さへある、また英國政府はV二號攻撃開始直後新聞ラジオでこれを論議することを一切禁止してしまつたといふ、英國を去る旅行者はV二號に關する報告文書や寫眞を絶対携行してはならないといふ命令も發せられたらしい

英國人の負惜み

V二號の性能や構造についてはドイツ側の報道によるとその威力はいかなる巨砲の齊射にも優りこの空の砲兵陣の今後の活躍は愈々期待されるといはれる、ドイツ軍當局の言明を信じれば英本國の目標物は近く連續的齊射の下に甚大な被害を蒙ることになり、但し英國ではこの脅威を隠蔽しようとして大童でロンドンからのロイター電報は次の通り論じてゐる

新兵器の最大の特徴は速度が大きいため目標物に近づくまで音もしないといふ點で飛來を知る時は爆發した時だ、人によつてはこの豫告のないことが相當恐ろしいらしいが、體驗した英國人の大部分は流星彈が海岸方面から唸りを立てながら近づいた當時を想起して、爆發まで音のきこえないのは却つて有難い話だと負惜しみをいつてゐる、現在ロンドンにおける最大關心事はどこからロケットが發射されるかといふことだが、もし現在飛んで來るロケット彈がオランダ北部諸島並びにロッテルダム附近の海岸からだたとすれば、危険の去るのも比較的早いかもしれないが、各方面の情報によると發射基地はドイツ本國內にあるらしく、結局實際には歐洲

に完全な勝利を収めない限り英國人は攻撃の脅威から解放されないわけであり、この期間にドイツの科學陣が發射速度や炸藥搭載量を増す手段を構する可能性も大いにあるわけである脅威は益々加はるであらう

大西洋横斷に米國も不安

以上のロイター電はそのまゝ英國政府の見解とみられるが、ロンドンからのUP電報は八日夜から九日朝にかけてロケット彈がロンドン地區に落下し重要な工業施設を破壊し工員を殺傷したほか各所に損害を生じた旨報じてをり、「デリー・メール」紙の航空記事専門家コリン・ベツドノーの「重量百トンに達する大西洋横斷ロケット彈の實現が今や問題となつた」といふ豫想を引用すると同時に「ドイツ軍はいつ潜水艦または航空機から米國に對しロケット機を發射するかわからない」旨の米國陸海軍省の共同聲明を再び指摘報道してゐる

放射性新兵

(ストツクホルム九日發) フランス駐屯米軍第九航空隊司令部からの報道によれば、最

器出現か

近ハンブルグのドイツ軍砲廠を攻撃した米爆撃機隊は、歸途奇妙な大氣條件、或ひはドイツ軍秘密新兵器による注目すべき經驗を味はつたといはれる、操縦士は飛行機が目標物を去つた時から絶えず上下に激動し、これがドイツ國境を過ぎるまで續いたと報告したが、この奇妙な震動についてはどの操縦士も全く説明がつかなくつたと言つてゐる

獨ロケット

(ストツクホルム十日發) ロンドン「デリー・メール」紙の航空記者エドワードは次

機寫眞偵察

の通り報じてゐる

ドイツ空軍のメツサーシュミット噴射推進式航空機「シュワルベ」は侵攻作戦開始當時から九百六十呎時以上といふ高速で反樞軸軍の上空を飛び戦線後方を悉く寫眞に撮つて反樞軸軍の移動集結等に關し貴重な報告をドイツ軍司令部に提供してゐる

【米 國】

一般投票の 差は僅少

(リスボン九日發) ニューヨーク來電 〓 今回の大統領選舉は遂にルーズヴェルトの勝利の結果はルーズヴェルト二三、八三一、四六〇、デユウイ二〇、九二六、〇七九票、その差二、九〇五、三八一票で各州別による選舉人數の點ではルーズヴェルトが壓倒的に優勢であるにも拘らず、一般投票においてはこの差極めて僅少であること示してゐる、かかる僅少の差は實に一九一六年の大統領選舉以來のことであり、今回の選舉が大接戦を豫想されたことがここに裏書きされたわけだ、勿論ルーズヴェルトとしてもかかる僅少の差をもつて當選したのは四回の選舉戦を通じ今回が初めてのことであり例へば一九三二年には七百萬票以上、一九三六年には實に千萬票以上をもつてそれぞれフーヴァ、ランドンを敗り、一九四〇年ウイルキーと接戦を演じた時でさへその差は約五百萬票であつた、但し州別による選舉人票數の相違はその後益々擴大してデユウイの勝利確實とされてゐたミシガン州までルーズヴェルトに傾いたため結局デユウイの得た州はコロラド、インディアナ、アイオワ、キャンサス、メーン、ネブラスカ、ノース・ダコタ、オハイオ、サウス・ダコタ、ヴァーモント、ウイスコンシン、ワイオミングの十二州その選舉人票數九十九票、これに對しルーズヴェルトはその残りの三十六州選舉人票數四百三十二票を獲得することとなつた

一方上院議員選舉では民主黨の當選者十九名に對し共和黨は十三名、下院議員選舉では民主黨の二百四十一名に對し共和黨は百七十九名である

新國際機構會議

開催されん

(リスボン九日發) ニューヨーク來電 〓 上院外交委員長コナリーは九日テキサス州アビ

レーンで次の通り言明した
最近のダンバートン・オークス會談の仕上げを行ふため近く新會談が開催されることとならう
新會談はダンバートン・オークス會談に参加した各國代表より「高い地位」にある人々によつて行はれよう

コナリーはこの新會談が最近頻りに傳へられるルーズヴェルト、チャーチル、スターリン三頭會談と同一のものか否かは明らかにしなかつた

ウルグアイ

國際機構新提案

(リスボン九日發) ワシントン來電 〓 ウルグアイ政府代表は九日目下ワシントンで開催中の米洲各國大使會議に戦後の國際安全保障機構案として舊國際聯盟の改組案を提出した、ウルグアイ案によれば安全保障のために新機構を設置するよりも舊聯盟の機構を改組した方が遙かに實利的だといふにあるが、ウルグアイ今回の行動は過般のダンバートン・オークス會談で決定された反樞軸聯盟案に對する小國からの最初の具體的な反對意志表示として注目される

米洲諸國 に 屈す

(リスボン十日發) シカゴ來電によれば反樞軸國際航空會議に政府は主として大國代表から成る「中間航空評議會」設定案を提出したがこれに對し膝元の米洲十九ヶ國は一齊に猛烈な反對運動を展開、政府も十日遂にその提案を撤回したといはれる、この結果航空會議には改めて米洲十九ヶ國を代表してメキシコ、キューバ兩國から提出された「中間航空評議會」案が上程されることとなつた

石油協定 を 攻 撃

(リスボン七日發) ワシントン來電 〓 サン石油會社社長ホワード・ビューは最近ワシントンで開催された石油評議員會において米英石油協定を攻撃、次の通り述べた

米英兩國の締結せんとしてゐる石油協定は、石油業のあらゆる部門に亘り聯邦政府に無制限且つ極めて漠然とした權限を付與することとならう、國際貿易におけるかかる措置はまさに獨占的行爲乃至貿易抑壓の共同動作とも稱すべきものだ、そもそも今回の石油計畫が如何なる點に出發してゐるのか知りたいところだが更に石油協定がブレトン・ウツツの通貨協定、ダンバートン・オークスの決定事項乃至は戦後の外國貿易促進といふ名目の下に目下開催中の諸々の經濟會議との間に關係ありとすれば如何なる關係を有するか知る權利がある

駐印公使

任命

(リスボン十一日發) ワシントン來電によれば元下院議員ジョセフ・ケーシーは近く印度公使に任命される筈といはれる、但しロンドンからのロイター電報によれば英國政府當局は右任命に關し何等通告を受けてゐない旨言明したと傳へられる

海軍兵員

損害

(リスボン十一日發) ワシントン來電ハ海軍省は開戦以來の海軍、海兵隊、沿岸警備隊の損害が七萬二千二百二十八名に達した旨十一日發表した、内譯次の通り

戦死

二八、七三七名

負傷

二九、六八四名

行方不明

九、三二一名

俘虜

四、四八六名

【カナダ】

派遣軍

參謀長罷免

(リスボン十日發) オッタワ來電ハカナダ國防相ラルストンは海外派遣軍の徴兵制を主張して容れられず遂に辭職したが「エクスチエンヂ・テレグラフ」紙の報道によれば新國防相マクノートンは十日に至りラルストンを支持した中將ケネス・スチュアートを罷免、海外派遣軍參謀總長の職を解いたと傳へられる

徴兵制を

施行せざ

(リスボン十日發) オッタワ來電ハ過般來カナダ内閣は海外派遣軍の徴兵問題を繞つて相刻を續け遂に國防相の更迭を見るに至つたが、首相マッケンジー・キングは十日ラジオを通じて海外派遣軍に關する限り政廳は徴兵制を施行しない旨言明した、要旨次の通り

カナダ陸海空三軍中現在海軍は八萬五千、空軍は十九萬の兵力を擁して既に要求兵力量に達してをり、増員を必要とするのは陸軍のみである徴兵を含む陸軍現有兵力は四十五萬五千を超えうち三十九萬六百は志願兵である、陸軍兵員の大部分は一年乃至四年間兵役に服してきたのであつて、最近補充された兵を除きすべて長期に

亘る猛訓練を受けたのである、以上の事實からして戦線に派遣される増援部隊が十分な訓練を受けてゐないといふ非難は再検討の必要があらう、陸軍は龐大な兵力を有し今次大戦勃發以來六十五萬餘名が服務したのであつてそのうちの少數の者が訓練の全課程を修めてゐないといふこともあり得るだらうが、軍當局の意見に徴すれば増援部隊の訓練は一般に満足すべき状態にある、カナダ軍はその兵員損害に對し確實に補充を受けてゐる、最近のシエルド河口における勝利に徴しても、増援部隊の訓練が不十分であつたとはいひえない、次に増援のための十分な陸軍豫備兵力が國內に具備されてゐるかの問題であるが、軍當局の意見によれば歩兵部隊の援兵に關する以外何等困難は生じないものと豫想されてをり、歩兵の増援も今日まで圓滑に行はれてゐたが今後の兵員損害を補ふにはさらに大量の援兵が必要とならう、志願兵制に建軍の基礎をおくカナダ軍はわれわれがこの制度に信を置くことによつて益々屈強なものとなるであらうと信ずる

陸軍の死傷

五萬餘

(リスボン七日發) オッタワ來電ハ政廳は開戦以來九月三十一日までの陸軍の損害は五萬一千二十二名に達し、内三萬八千七百名が戦死した旨七日發表した

【スイス】

外相辭職

聲明

(チューリツヒ十日發) ソ聯スイス兩國の紛争はスイス内閣の危機を招來してゐるが外相マルセル・ペレー・ゴラズ博士は十日責任を負つて大統領に辭表を提出すると同時に次の聲明を發表した

余はソ聯、スイス兩國間の外交關係復活を希望して交渉を開始したが、遺憾ながら失敗に歸した、ソヴェト政府が余の提案を拒否した眞の理由はいづれ明らかになるであらう、余は戦時下の外相は戦後も任務に留まるべきでなく、新たな情勢は新しい力を必要とするといふ意見を抱懷してゐる、よつて余は辭表を提出したなほ新外相就任まで法相シュタイガーが事務を代行するものとみられてゐる

【反樞軸陣營】

ソ聯、中立國に外交攻勢

——不安の眼で成行を凝視——

(ストツクホルム十日發) ソ聯、イラン石油紛争に端を發するサエド内閣の總辭職、國交修復を提案してソ聯に一蹴されたスイス外相ビレー・ゴラズ博士等の引責辭職等の政治異變は中立國並びに隣邦に對するソ聯外交攻勢の皮切りとして米英兩國政界は不安の眼で成行を凝視してゐるが、以上に關しワシントンからのAP電報は六日次の通り報じてゐる

ワシントン政界筋の洩らすところでは、ソヴェト政府は依然として根を張る反ソ勢力を一掃するため、中立國並びに隣邦諸國に對する大規模な外交攻勢の開始を企圖してゐるといふことだが、以上に類する情報はロンドンからも傳へられてゐる、米國政府の某ソ聯通の觀測では、イランに對するソ聯の壓迫、スイスの國交修復希望に對するソ聯の冷然たる態度と反樞軸、特にルーマニア、フランスにおける共產黨の發言權増大には明確な繋りがあるといはれるが、恐らくソ聯は以上の諸政府に對する影響力を強化して、一段と積極的な親ソ政策をとらせようと掛つてゐるのかも知れない

他方ソ聯はトルコに對しても働き掛け黒海の囚人たる地位から脱しようと努めてゐる様子で、ロンドンからのAP電報は六日以上の事實を次の通り裏書してゐる

英米ソ三國はロンドンにおいてトルコと接觸を持ち、ダーダネルス海峽の將來に關して交渉を進めてゐるといふことだ、英國外務當局は四國會談の事實を頭から否定してゐるが、確實な筋からの情報によれば、トルコは一九三六年に要塞化したダーダネルス海峽の武裝解除を意圖するソ聯の要求に進んで同意する意向を表明したといはれる、しかしながら以上はソ聯の最少限度の要求で、ソ聯の希望するところはこれに止まらず、歐洲戰における赤軍の努力に報ひるためダーダネルス、ボスフォロス兩海峽の自由通

行を要求してゐるとみられてゐる、英國外交界の觀測ではソ聯はダーダネルス海峽の周邊に小國を新たに誕生させ、國際管理下におくことを考慮してゐるやうだ

佛政權歐洲

(リスボン十一日發) ワシントン來電ニ米國政府は十一日

委員會に參加

次の通り發表した

米、英、ソ三國政府は反樞軸歐洲諮問委員會にド・ゴール政權の參加を招請した、委員會に出席するフランス代表の資格には何等の制限も附されないこととなつてゐる

國際商業

(リスボン十日發) ニューヨ

會議開く

一ク來電ニ米國商業會議所以下三經濟團體主催の反樞軸國

際通商會議は反樞軸、中立諸國五十一ヶ國代表參加の下に十日からニューヨーク州のライ市で開催された、今回の會議は從來米國で開かれた反樞軸國際會議と異なり米國政府は關係なく出席代表もすべて民間經濟代表である、會議は十七日まで開催されるが、その間各國商業政策、通貨政策、投資並びに經濟後進地域の工業化問題、運輸通信、原料資源問題、カルテル、民間企業問題等が協議される豫定である

【ソ聯】

ボノミ政權にも

(ストツクホルム十日發) ソ

釋放を要求

ヴェト政府は九日ソヴェト市民を捕虜收容所に放り込んでゐる事實をとらへてド・ゴール政權に捻ぢ込んだ

が、十日には同じ問題でボノミ政權に嚴重抗議を提出、無人の野を行く政治攻勢を展開してゐる、即ち赤軍機關紙「赤い星」は十日イスタンブールからのタス電報を掲載次の通り述べてゐる

ボノミ政權はローマ近郊のチナチタ捕虜收容所だけでも五十名のソヴェト市民を依然として拘禁してゐるが、反樞軸の一員としてのソヴェト市民の權利を尊敬して即時釋放し、丁重に本國へ送りかへすべきだ、以上の點に關しソヴェト政府は既にボノミ政權に對し外交措置を採つてゐる

反樞軸商業會議

にも不参加

(リスボン十一日發) ニューヨーク來電「反樞軸國際商業會議は十日からニューヨーク郊外のライ市で開催されてゐるが、ソヴェト聯邦は例によりこの會議に参加せず單に傍聴者を出席させてゐるだけだ

【西 亞】

石油政策の黒幕は米國

(ストツクホルム六日發) 石油利権紛争に關して米國政府がイラン政府の方針を支持する態度を明かにしたことがメヴェト政府の痛に障つたことは「イズヴェスチヤ」紙が米軍のイラン駐屯問題を採り上げて逆捻ぢを喰はしたことで明瞭だが、米誌「タイム」はイラン政府今回の決定の背後に米國が控えてゐた事實を素破抜いて關係各國に多大の衝動を與へた、即ち同誌十月三十日號はフーザの米國土木會社がイラン政府の黒幕として終始その石油政策を左右してきた事實を明らかにして次の通り報じてゐる

世界一周の旅に出たハーバート・フーザの若い婢が中東の遍歴を終へてワシントンに到着すると、旅装も解かずに酷く混み入つた鳥の集、つまり國務省へ大急ぎで駆けつけた、フーザ米國土木會社は昨年六月以來イラン政府の石油政策の黒幕をつとめてゐるのだ、以上の挿話に續いて先週テヘランの石油政策が果然奔騰した、米國三石油會社即ちスタンダード石油會社、ソコニー・ヴァキウム石油會社及びシンクレア石油會社はイランで活動する唯一の石油會社たる英國のアンダロ・イラン石油會社と競争するため愛想のよい國王モハメッド・シャー・パーレヴィイから石油利権を譲り受けようと暗躍してゐたが、ローヤル・ダツチ・シエル會社も利権漁りに一役買つてゐるといはれ、更にモスクワも石油利権を交渉するため使節團を派遣、ソ聯使節團は既にテヘランに到着して交渉の火蓋を切つたといふことだ

かうした米英ソ三大國の新油田を繞る角逐が外國人に對する反感で沸き立つてゐるイランの政策と真正面から衝突しないわけはない、イラン國王は戦争が終るまで、新たに利権を譲渡してはなら

ず外國軍の國外引揚げを要求せよと内閣に嚴命を下した、ところがイランの石油屋共はこの國王の命令を加減して解釋してゐるやうだ、なにしろ戦前イランの歳入の約二十パーセントは英國のアンダロ・イラン石油會社の活動する南部の油田から流れ込んでゐたのだが、もしも新油田が開發されたならイランの國民所得は鰻上りに多くなるからだ

イラン石油

紛争の経緯

(リスボン十日發) ニューヨーク來電「ボルチモア・サン」紙の特派員ポール・ウォードはイラン油田を繞る紛争について三回に亘る論文で次の通り報道してゐる

米英ソ三國はテヘラン會議の結果イランの主權獨立を尊重する旨公約したが、今や世界の原料資源を公正に配分するといふ政策と右公約との調整に悩んでゐる譯だ、イラン領土は今や米英ソ三國の軍隊によつて占據されてゐるが、米國政府としてはテヘラン宣言の他領土的擴大を企圖しないといふ大西洋憲章の手前もあり、立場は可成り困難だ、テヘラン宣言の後一九四四年一月ソヴェト政府がイラン油田の開発に關心を示し同時に米英兩國の商社もまたイラン國內の新油田利権についてイラン政府と交渉を開始した、しかし双方の利権の性質には次のやうな相違がある

一、米英兩國の商社は普通の商業上の打算に基づく利権を求めてゐるがソヴェト政府は國家の關係する利権即ち個人の商社でなくソヴェト政府自體が運営する利権を求めてゐる

一、米英兩國の商社は支拂ひ條項その他將來における利権開發について明確に文書を提示する用意があるのに反しソヴェト政府は先づ利権を要求し、支拂その他の細目は將來の交渉に委ねようといふ、そこで九月二日に至りイラン首相モハメッド・サエドは聲明を發表しイラン政府は戦争終了まで外國の權益代表に對し新たな石油利権は一切賦與しないことに決定したと述べた

テヘラン駐劄米國大使ハランド・モリスは十一月一日附でイラン外相に書翰を手交、米國政府においてはイラン政府の決定を「合法的でありイラン政府の權限内に屬する措置」と認める旨通告した

【英國】

一致協力

政府を支持せん

通り述べた

次回總選舉の結果如何なる政黨が勝利を獲得するとも英國の全政黨は一致協力政府を支持し、對日戰その他各地域の戰鬪において最後の勝利が確保されるまで積極的に戰爭遂行に努力するであらう、しかし各政黨が政府の戰後政策につき批判權を保持することはいふまでもない、労働黨も勿論他の政黨と同様戰爭遂行の決意を固めてゐるが、一方米國においても大統領選舉の結果に徴して明らかに通じ、労働階級が政府を支持して戰爭完遂決意を表明したのはまことに喜ばしいことだ

破産を

米に訴ふ

通り報道してゐる

最も驚くべき英國政府の白書が來週發表されよう、即ちこれは今次戰爭の結果英國が事實上破産したことを認めたもので、從來極秘に附されてゐた英國の戰費に關する多くの數字が發表され、これによつて英國政府はドイツを叩きつぶすためにそれが招來する恐るべき結果のことなどは全然無視して英國の有するあらゆる物量的な力を戰爭のために動員したことを明らかにしよう、政府が何故今に至つてかかる思ひ切つた措置に出ることとなつたか、その理由としてはケーンズによる戰爭終了後の武器貸與延長に關する對米交渉が今までのところ不成功に終つてゐるのに鑑み、英國の窮狀を米國に訴へるためとみられる

共產黨は

ソ聯の手先

(マドリッド八日發) スペイン紙「ヤー」のロンドン特派員アウフスト・アツシアはソ聯に操られる英國共產黨の暗躍振りを素破抜き、八日次のやうな露骨な反ソ報道を行つて各方面に多大の反響を捲き起してゐる

英國の輿論はまだソヴェト政府の策謀の本體をつかんでゐないやうだが、不安の念が益々濃化

してゐることだけは蔽ひえない事實だ、スターリン議長は革命記念演説はソ聯の將來の政策の基礎を米英兩國との協調提携に置くかのごとき印象を英國民に與へようと圖つたものだが、スターリン議長はの肚の裡が問題だ

特に英國はスイスが公然たる反ソ政策を採つてゐなかつたことを知つてゐるだけに、ソ聯がスイスとの國交修復を峻拒したことは英國民に青天霹靂の如き衝動を與へ、モスクワと各國共產黨との繋りが再び問題視されるに至つてゐる、事實第三インターが眞に解消されたかどうかは大いに疑はしい、いろんな徴候で判斷すれば反樞軸各國の共產黨は自國の利益を無視してソ聯の利益に奉仕してゐる様だ、その點では各國共產黨が從來の習慣に従つて活動してゐるか或ひはソヴェト政府の目的に副ふやう「進化」を遂げ、モスクワの中央部から指命を受けてゐるかどうかは些したることではない、イラン政府がソ聯の石油利權要求を拒絶した時、各國共產黨特に英國共產黨がカンカンになつて騒ぎ立てたことはスターリン議長が從來同様他國の内政に干渉しようとしてゐることを明確に實證するものだ

「エコノミスト」誌

(ストツクホルム十日發)

フランコを攻撃

週間誌「エコノミスト」は

十一月四日號でスペインに對する強力な「政治攻勢」を要望して次の通り述べてゐる

フランコ將軍は極く最近記者團との會見席上媾和會議に参加する希望を表明したが、現スペイン政府を満足させようと試みることは英國の威信を傷付けるばかりでなく、第一なんの効果も期待されない、フランコ將軍は英國の西歐洲地中海勢力圏に對抗するため、「カトリック國協同圈」を結成する野心を抱いてゐるやうだが、問題はカトリック教ではなくてフランコ將軍の獨裁だ、英國の利益とするところはフランコ將軍の獨裁をとり除くにある、従つて英國はフランコ政權の轉覆とフランコ反對派勢力の強化に力を盡さねばならないまた經濟的壓迫を加へてタンジールの國際管理を復活すべきだ、もしも最後通牒を突きつけてもフランコ將軍が首を縦に振らないならば、その時は強力な「政治戰爭」を挑めばよい



獨ソ戦とソ聯の狙ひ

原子林 二郎

ヴィスツラ河で魚釣り

作戦は戦術に支配され、戦略は政治に左右されるといふのはクラウゼヴィッツの言葉だが赤軍の戦略はバルカン攻勢を境として著しく政治臭を帯びてきた、フィンランド作戦が終り、ルーマニアが赤軍の軍門に降つた今日、赤軍が戦争目的の最先に押し立ててゐる失地回復はリトワニアにおけるドイツ軍の極めて小範圍な橋頭堡をあますのみで、本来ならばソ聯はここで作戦を打ち切つて、歐洲戦のバトンをジグフリード線附近に迫つた反樞軸軍の手に渡すべき筈である、しかるに今日の戦局をみれば赤軍は北はノルウェー領に侵入し東プロイセンには戦車の楔を打ち込み、南はルーマニア、ブルガリア、ユーゴを席捲して、ハンガリーの首都ブタペストに迫り、カルパト・ウクライナを押へてスロヴァキアに闖入、トルコ國境に大軍を集結してダーダネルス、ボスフォロス兩海峡の空を睨んでゐるかと思ふと、ポーランド戦線ではワルシャワ市の東を流れるヴィスツラ河で魚釣りをしてゐる有様だ

ソ聯が戦争目的の一つたる失地回復をほぼ終了したことを自覺してゐるのは、去る六日夜、モスクワ市ソヴエトにおいて行つたスターリンの革命二十七年周年記念演説でも明瞭である、從來スターリンは幾平方呎のソ聯領土を回復して、何軒前進したかといふことを縷々として述べ立てたものだが、今回の演説では過去一ヶ年間にドイツ軍百二十個師を撃破したといふに止めてゐる、このことはソ聯が第二の戦争目的と稱してゐるドイツ軍の撃破と歐洲諸國の解放へ移つたといふ印象を深めるものだが果してさうであらうか、ソ聯が眞實ドイツ軍の撃破と歐洲諸國の解放を意圖してゐるならば、西部戦線における反樞軸軍の攻勢と呼應し

てポーランド西半に作戦を進めドイツ本土國境を襲ふべきではなからうか、ポーランド戦線にはロコフスキ元帥麾下の第一白露戦線軍、ザハロフ軍大將麾下の第二白露戦線軍、コーネフ元帥麾下の第一ウクライナ戦線軍總兵力百五十萬が配備されてゐるが、僅かにザハロフ軍がナレフ河戦線で陣地補強工作をやつてゐるだけで、あとは欠伸を噛み殺しながらひねもす「魚釣り」だ、このポーランド戦線の春日遅々と、マリノフスキ元帥麾下の第二ウクライナ戦線軍の死に物狂ひのブダペスト攻勢が鋭い對照をなしてゐるのは何によつて説明されるべきであらうか、またメレツコフ元帥麾下のカレリア戦線軍が北部ノルウェーの凍土帯でエスキモー擬ひの冬營の準備を進め、ブルガリアとトルコ國境に満を持すトルブーヒン元帥麾下の第三ウクライナ戦線軍がアンカラで開催されてゐる米英ソ土四國會談に無言の重壓を加へてゐるのはどうしたわけだ、しかしながら以上の謎を明らかにする前に、まづ東部戦線の戦局を鳥瞰してみよう

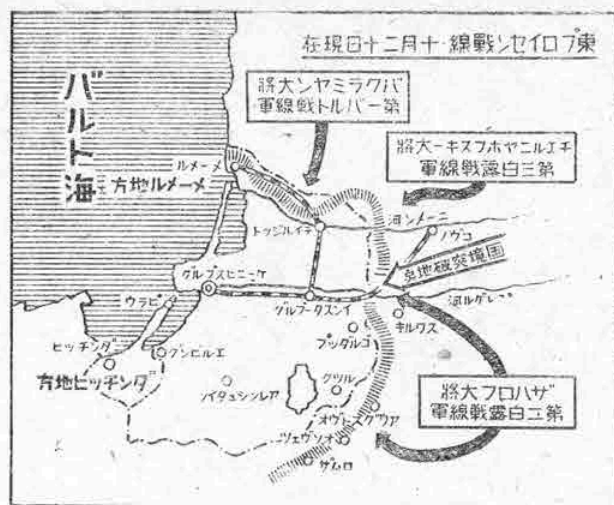
特火點で埋まる東プロイセン

四十個師八十萬の大軍をもつて去る十月十七日火蓋を切つたチエルニヤホーフスキ元帥麾下の赤軍第三白露戦線軍の東プロイセン攻勢は戦鬪十日間にして再び全くの膠着狀態に陥るに至つた、現在の戦線はグンビネンからゴルダツプを結ぶ三十呎の線で兩軍が對峙してゐる形で、赤軍は約四十呎の深さだけ東プロイセン領に楔を打ち込んだ譯である、「バーズラー・ナハリヒテン」紙のベリン電報によれば、東プロイセン戦の第一段階は既に終了しドイツ軍司令部は第二段階の準備を進めてゐるといはれるが、赤軍が最初の準備と意氣込みにも拘らず楔を四十呎以上伸ばすことが出来なかつた理由は種々考へられる

第一にチエルニヤホーフスキは東プロイセンに割き得るドイツ軍の總兵力については正確に計算をたてたが、ドイツ軍の戦車兵力を過少評價した

エキステュエンジ通信のモスクワ電報が十月二十八日傳へるところによると、シエルナー大將は東プロセイに十個師の戦車勢力を配置、そのうち五個師はドイツ戦車群切つての精銳「ディーガー・チーニツヒ」「ディーガー」「パンター」等によつて編成されてゐたといはれる、勿論エキステュンジ記者は赤軍司令部から以上の情報を得たと思はれるが、東プロイセン作戦を開始して初めてシエルナー軍の戦車兵力を知つたものであらう、チエルニヤホーフスキーは三十八歳の若冠だが、ポポフ軍大將と肩を並べる赤軍戦車戦術の専門家で戦車四個師をもつて十分ドイツ軍の機甲力を破摧出来ると考へたらしい、以上の誤算はゴルダツプ地區の戦車決戦によつて明確な回答を得た、以上の戦闘でチエルニヤホーフスキーは一敗地に塗れコヴノ・キーニヒスベルグ鐵道の要衝インシュターブルグ占領企圖は水泡に歸し、東プロイセン國境南方ナレフ戦線におけるザハロフ軍の牽制攻勢も實を結ばずして終つたわけだ

次にチエルニヤホーフスキーが客氣にまかせて東プロイセンの防衛陣地の強度を輕視したことも考慮されねばなるまい、赤軍がプロイセン・ラインの偵察を怠つたことは、エキステュエンジ通信の



モスクワ電報が十月三十日次の通り報じてゐることでも明瞭だ

赤軍司令部の言明によれば、赤軍が東プロイセンの防衛地帯に到達して一部分突破した結果、トツド工作隊があらゆる重要村落、あらゆる道路交叉點に防衛陣地を十重二十重に構築してゐることが明らかとなつたといふことである、さして重要でない村落や道路交叉點でも四十以上の混凝土特火點が構築され、特火點と特火點の間には無數の機雷が敷設され、機雷の多くは磁器探知器でも所在のわからぬ新型のものであつた、しかも防衛施設は極めて巧みに偽装されてゐるため殆んどわからない、この防衛施設がどの程度の深さにまで達してゐるかは情報がないが、大體縱深百六十軒は動かぬところであらう縱深百六十軒といへば東部國境からバルト海岸までの東プロイセン全土を意味するわけだ

樂觀材料皆無

以上は東プロイセンの戦ひが赤軍にとつて獨ソ開戦以來最も困難な戦闘を餘儀なくすることを意味するものであり、チエルニヤホーフスキー軍が縱深四十軒の突破作戦で息切れがしたのもさそれと頷かれるが、さればといつて以上がドイツ軍に樂觀材料を與へるものでもない、東プロイセンの戦が勃發した當時、DNB前線報道は赤軍が「獨ソ開戦以來最大の物量上の優位」を確保してゐると報じてわれわれを不安がらせたが、既に述べたやうに戦車に關する限り優位を占めてゐたのは寧ろドイツ軍の方であつた、しかしながら兵員に關する限り前掲のDNB前線報道の言葉は正鵠を射てゐる、各種報道を綜合して判斷すればチエルニヤホーフスキー軍の兵力は八十萬、シエルナー軍の兵力は十五萬乃至二十萬といふところだ、これに市民武裝組織の國民突撃隊の兵力十萬を合すれば最大限三十萬見當とみるべきであらう、しかしながら國民突撃隊は類稀れな勇猛果敢さにも拘らず、裝備の點からも訓練の點からも殘念ながら多くのものを期待出来ない

次にチエルニヤホーフスキー軍大將の作戰指導能力は白ロシア戰線における縱深突破作戰で死んだヴァツィチン元帥を一段と巧緻にした底力を發揮して名將の折紙を附けられてゐるのに對して、東プロイセン防衛を擔當するシエルナー大將の作戰機動力が未知數であることも同方面今後の戦局を判斷する上に大きな要因をなすものだ、更にバグラミヤン軍大將麾下の第一バルト戰線軍がニイメン河北岸の線一帯に進出して南下の機會を狙つてゐること、ザハロフ軍がナレフ戰線からダンチツヒ指して西進して東プロイセンを孤立化する可能性があることだ

以上の三方面からする赤軍の包圍態勢はバルト戰線でも屢々採られてきた古典的な戰術で、萬が一にも實現するならば縱深百六十杆の防衛陣地もマズーリア湖沼群の自然障壁も、タンネンベルグのインフエリオリティ・コンプレクスもあまり効果を發揮出來なくなる、さらにクールランド地方のドイツ軍橋頭堡に對する作戰が片付いたならば第二、第三バルト戰線軍ばかりでなく、レニングラード戰線軍の兵力すら東プロイセンに投ずることが出来るやうになることを考慮に入れておかねばなるまい

だが東プロイセンの戦ひが赤軍の作戰を從來よりも困難とする一契機があることも忘れられないそれは獨ソ戰につきもののバルチザン活動が赤軍にとつて期待されぬことだ、近代戰の如く補給活動が作戰の生命を制する場合、バルチザン戰の效果は想像以上に大きい、東プロイセンでは全然期待されるかどうか、寧ろ逆にドイツのバルチザン活動を警戒しなければならなくなつてゐる、以上の主客轉倒は從來如何にバルチザン鬭爭が赤軍の作戰の大きな推進力であつたかを知る、恰好の素材を提供するであらう

バルカン放棄の機迫る

現下の東部戰線における主戰場はハンガリー戰線だ、ハンガリー戰線の向背を決したものはデブレツェン地區における獨ソ兩軍の機甲決戰であつたが、約二週間に亘る鏖戦の激戦の後遂に均衡が破れて、ハンガリー戰局は急速に展開されるに

至つた、もつとも獨ソ兩軍をもデブレツェン地區における戰車戰の勝利を主張して譲らないが、チツサ、ドナウ兩河間のマリノフスキー元帥麾下赤軍第二ウクライナ戰線軍が急速に北上したところからみても、残念ながらデブレツェン地區の戰局は赤軍の勝利に歸したやうである、十月二十日現在の戰線は地圖の如くだが、十一月九日現在ではチツサ河以東の全域は赤軍の手中に歸しチツサ、ドナウ兩河間もブタベストまでは赤軍の占領するところとなり、目下ブタベスト郊外で激戦が續行されてゐるが、赤軍はブタベスト南北兩面でドナウ河西岸に橋頭堡を確保するに至つた様子で、同市の陥落は既に時間の問題となつてゐる、問題はハンガリー戰線の赤軍四十個師に對してハンガリー軍二十四個師プラスドイツ軍十個師の裝備だがウクライナ戰線で手酷い打撃に蒙つたハンガリー軍が赤軍に對抗し得る裝備を有してゐないことは寧ろ當然といふべきで、矢十字黨が政權を掌握しホルテイ前攝政がドイツにゐる限りルーマニア、ブルガリアの二の舞を演じないことは想像されるが、ハンガリーは恐らく未曾有の國難に際會することとならう

スロヴァキア戰線ではマリノフスキー軍の右翼と協力して、カルバートの峻嶮を越えてカルバート・ウクライナに侵入したベトロフ軍大將麾下の赤軍第四ウクライナ戰線軍は同地方の占領をほぼ終へて、クロアチアの共産、獨立兩系バルチザンと呼應して作戰擴大の機を狙つてゐるが、現在のところあまり活潑な動きは期待されない

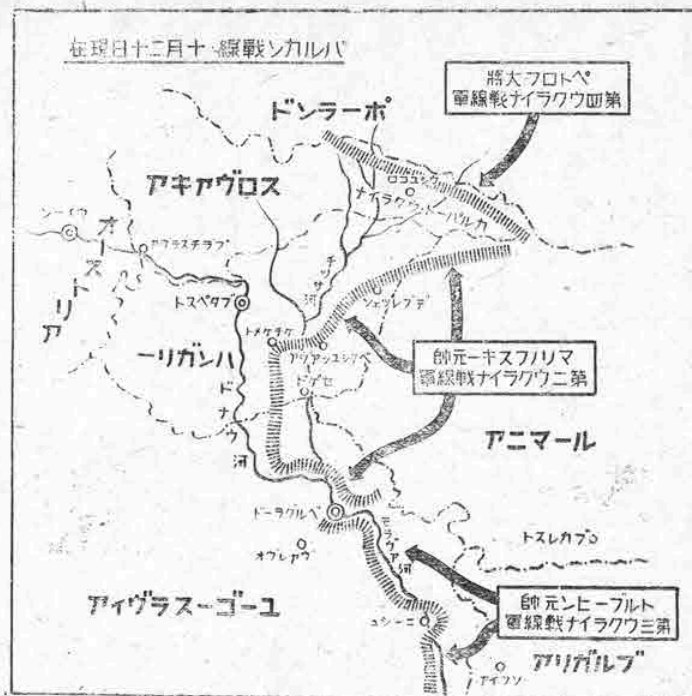
舊ユーゴスラヴィアではベルグラード占領後赤軍はチトー軍に作戰を殆んど任せてゐる様子で、三十萬を超えるチトー軍はセルビア、ダルマチア、ボスニアで作戰區域を擴大しつつ逐次クロアチアに迫つてをり、ユーゴのドイツ二十二個師が殆んど全部オーストリアを經由して西部、東歐兩戰線に引揚げた結果、舊ユーゴ全土の主要作戰はもはや終了したとみてよい

赤軍作戰の政治色

以上のバルカン作戰で特に注目すべきことは、ソ聯が赤軍の兵力を極端に節約して、休戰條約の結果ドイツに宣戰布告する羽目に陥つたルーマニア、ブルガリア軍を最大限に利用すると同時に、チトー軍とかその他のバルチザン勢力を巧妙に作戰へ含めてゐることだ、トランシルヴァニアの作戰に赤軍がルーマニア軍を矢面に立てたことはある意味で當然と思はれるが、ハンガリー作戰にルーマニア、ブルガリア兩軍を利用してゐることは特に注意されてしかるべきだ、また從來地下に潜つてゐたベラ・クーンの殘黨が赤軍のハンガリー侵寇とともに俄然舞臺の前面へ躍り出して、赤軍に協力してバルチザン鬭争を開始してゐることも無視出来ない

またユーゴスラヴィアにおけるチトー軍の利用は當然だが、舊チエツコスロヴァキア領では作戰開始に先立つソ聯の政治工作が効果を奏して、スロヴァキアの共產系遊撃隊とスロヴァキア獨立派の遊撃隊は休戰を締結して赤軍の作戰と協力、元コ

ミュンヘン・リンのチエツコ共產黨代表ゴットワルドがスロヴァキアに潜入したとも傳へられてゐる
以上の事實はソ聯がバルカン諸國に多年の闇根を張つてきた國境紛争を利用して、ハンガリーの犠牲においてバルカン諸國の兵力を直接作戰に使用してゐることを示すものだ、従つて逆説的な結論だが、ソ聯は戰爭目的の第一段階たる失地回復をほぼ終了するや否や、赤軍兵力の節約といふことを第一原理とするに至つたとみることが出来る
赤軍が作戰推進に際して極力無理を避けてゐることはドイツ軍の抵抗が強化するや直ちに攻勢を手控へ、攻勢焦點を迅速に他の戦線に移動してドイツ軍の戦術豫備を流動させてゐることでも明瞭だ
たとへば東プロイセンの攻勢では、赤軍はポーランド軍兵力を主として使用してゐるが、グンビネン、ゴルダツプ地區でドイツ軍の増大する反撃に遭遇するや、直ちに攻勢を中止して戦車勢力の増強につとめ、ドイツ軍の機甲反撃力を壓倒する數的優位を確保するため着々準備を進めてゐることなどは、以上の結論を裏書するものといへなくもない



いづれにしてもソ聯が第一の戰爭目的たる失地回復をほぼ終了して以來兵力の節約に専ら意を注ぎ、西部戦線の動きを注視してゐることは蔽ひ得ない事實だ、このこととポーランド作戰を留守してバルカン作戰に主力を注いでゐることとは、歐洲戦が決戦段階に入つた現在、赤軍の戰略を濃厚な政治色で彩るものでありソ聯が何を狙つてゐるかの問題について種々の臆測を生むにいたつてゐる

狙ひは戦後の地歩強化

米英ソ三國首腦は公開の席上で現在並びに將來の作戰が既にテヘラン會談で決定をみてゐたと繰り返し主張してゐるが、その執拗さには多少奇怪な感がなしとはいへない

事實決定してゐたかどうかは別問題として、反樞軸軍がジグフリード線に迫つてドイツの心臓部を衝かうと必死の足掻きを露骨に示してゐる時に、赤軍が寧ろ傍系的なバルカン作戦を進めて fait accompli を作り上げやうと努めてゐることは何かしらしつくりしないものを感じさせる、何故なれば反樞軸の作戦圖から出發すれば、東西呼應してドイツの國土を襲ひドイツを仆してしまへば、バルカンの樞軸國は幹が枯れば葉も落ちるやうに戦線から脱落してしまふはずで、ソ聯のバルカン作戦は、幹はお留守で葉を剝り取つてゐる形だ

赤軍の東プロイセン攻勢は反樞軸軍のドイツ本土攻勢に匹敵するものだといふ説も一應成り立つが、地圖も開けば明らかなやうに、たとひ地理的にはドイツ本土でも東プロイセンは作戦上はドイツ本土と見做し得ない、戰略上のドイツ本土攻勢はやはりワルシャワ正面からポーゼン地方を衝きクラカウを経由してシレジアを襲ふにある、さらに東プロイセンがカーゾン線承認の代償としてポーランドに與へられるべく豫定されてあることを考慮するならば、東プロイセン攻勢の政治的意圖は一目瞭然だ

また赤軍のポーランド作戦が遅れてゐる理由として、東プロイセン乃至バルカンに兵力をとられたため、作戦を行ひ得ないことも考へられるが、各種情報を綜合して判斷すればヴィスツラ河の赤軍兵力は減少してゐないどころかむしろ増加してゐる徴候歴然たるものがある

以上の諸事實から次のやうな想像が生れる、赤軍はソ波紛争解決までポーランド作戦を手控へてゐるといふことだ、即ちポーランド東半はミコライチク政權の承認する与否とを問はず實力をもつて押へて、ウクライナ、白ロシア兩共和國に併合したが、ポーランド西半の地位が明らかとならず従つて將來のポーランド國家の性格がルブリン政權の存在にも拘らず、未だに明確化してゐないため、軍事作戦の着手を控へてゐるとみられぬこともない、このことは更にカーゾン線以西のポーランド祖國軍(ミコライチク政權側の遊撃隊)が赤軍に對してドイツ軍とは別個の立場で抵抗してゐ

ることと、赤軍がワルシャワ蜂起軍を見殺しにしたことでも説明がつく

むすび

以上赤軍が極力兵力の節約に努めて對獨戰略に政治性をもたせてゐることは、ソ聯が戦後米英兩國に對する發言權を確保するためと解することが出来るが、更にソ聯が對獨作戦を通じて歐洲各國における共產勢力の擴大強化に努めてゐることは新たな問題を提起する、ソ聯は獨ソ開戦以來次々と手を打つてソ聯國家の社會主義的性格を舞臺裏に押し込めやうと圖つてきたが、戦後の大衆失業とそれに必然的に隨伴する階級闘争の激化が豫想される、米英兩國にとつて將來再びソ聯の存在が大きな脅威として映らぬ筈がない、その場合強力な國力を有し、各國に有力な橋頭堡を確保して置かぬ限り、ソ聯は再び孤立化の危機に陥り、或ひは重大破局に直面しなくもない、特にソ聯が警戒してゐるのはトロツキーのいふ「若いだけに殘忍な帝國主義」米國の存在だ、としてみればソ聯が對獨戰の重荷をそっくり米英兩國に肩代りして、専ら戦後における地歩の強化に努めるのは當然考へられるところであらう

諾威からUボート作戦

(リスボン三日發) ロンドン來電「デイリー・スケッチ」紙十月二十一日附、反樞軸軍當局はドイツ軍の潜水艦作戦に關し次の通り言明した

從來フランス海岸にあつたドイツ海軍の主要潜水艦基地が反樞軸軍の歐洲侵攻作戦開始と同時に陥落若しくは孤立せしめられたので、ドイツ海軍總司令官カール・デーニッツ元帥は潜水艦基地を物色中だつたが、今回ノルウェーに新基地を獲得目下盛んに新作戦の準備を進めてゐる、これがためオランダ戦線の陸軍部隊支援にノルウェーから派遣されたドイツ駐屯軍は極く少數に過ぎなかつたのであり、ドイツ軍が新作戦を行はぬうちにノルウェーを退去するであらうとは思はれない

昭和十九年十一月十五日(水)
第三二四一號

同盟通信

海外電報

(262)

【目次】

米國と米洲諸國との關係において最近極めて注目する二つの事件が発生した、一つはアルゼンチンの米洲外相會議の招集であり他はシカゴで開催中の反樞軸國際航空會議において、米國の提案が米洲諸國全部によつて拒否された事件である



アルゼンチンの外相會議の提案が米國を目標としてゐることは斷るまでもなく、これによつて米國は非常な窮地に陥つた、即ちこの外相會議がアルゼンチンの提案によつて開催されるならば、米洲の盟主をもつて任する米國の外交指導權はアルゼンチンに奪はれるばかりでなく、アルゼンチンはこの公開會議を利用して米國の對亞壓迫政策が如何に理不盡なものであるかをぶちまけるであらう、しかるに米國としてはアルゼンチンの提案が汎米聯盟の規定に基づく正規の手續きをふんだものである以上これを拒否出来ない立場におかれてゐる

航空會議における米國案の拒否は、米國の傀儡的存在に墮し去つたかと思はれた米洲諸國の米國に對する不信任の表明である、しかも米國は米洲諸國一致の反對にあつて自己の提案をおめおめとひつこめ、米洲諸國ばかりでなく航空會議に参加した世界の反樞軸、中立諸國の前に赤恥を曝け出した、週刊誌タイムによれば「二年前の米國に、果してかかることが想像出来たであらうか」

米國のいはゆる善隣政策の「没落」が頻りに傳へられる、米國最近の對中南米政策はたしかに失敗の連續であり、米國は依然として中南米に對して強硬政策を續けてはゐるが、從來の如き自信たつぷり振りは認められなくなつた、驕者米國の足下が崩れはじめんとしてゐる

パリ會議の結果

二七〇四

獨外相ウラソフ將軍を引見

ヒトラー總統は健在なり

赤軍の死傷三千二百萬餘

米印通商條約を提案

ル大統領マツカーサーと閣取引

二七〇五

米英兩國の紛争を危惧

米英兩國代表直接交渉

倫敦は危険

新任第十二航空隊司令

ヒトラー總統布告全文

二七〇六—〇七

ゲッベルス宣傳相演說全文

突擊隊宣誓式

外相、ウラソフ將軍と會談

【反樞軸陣營】

四首腦會談を提言

二七〇九

アンラ事務總長ロンドン訪問

空輸部隊活動狀況

【米洲】

對ソ復交交渉

【米國】

ゲルシー、ニミッツと會談

二七一一〇

イタリヤを市場進出の媒介に

酒類釀造許可

農作物作柄豫想

肉類生産豫想量減少

【重慶政權】

ルーズヴェルト來訪か

【南伊】

王政中央黨結成

暴力團に反樞軸軍人の参加

【美國】

マンチエスターのガス罷業

二七一一一

牛乳配給量切下げ

防空司令部廢止

【フランス】

ジロー、瑞西で書策か

國境問題で西と會談か

【ソ聯】

諸との親善關係を強調

【特輯】

西部戰線はどう動く

二七一二—一七

パリ會談の結果

(ストツクホルム十三日發)英國首相チャーチルは外相イーデンを帶同して十日午後空路パリに着き、ゴールその他と會談を重ねたが十二日夜は英國大使館における晩餐會に出席、米國大使カフエリー、ソヴェト大使ゴモロフ氏と懇談を遂げパリ會談はここに終りを告げた、既にイーデンは十三日ロンドンに歸任したが、英軍參謀總長サーアラン・ブルツク、首相の幕僚長サー・ヘスチングス・イズメー等は十三日更にド・ゴールと會見してをり英國政府の狙ふ西歐洲聯合案を繰り早くも或る程度の工作が進められたと解される、但しド・ゴール政權外相ビドルが「サンデー・タイムズ」紙特派員との會見でフランス政府が専ら英國との合作だけに拘束されることが出来ぬ旨示唆した點から察すればド・ゴール政權としては米英ソ三國間に不即不離の態度で「善處」する方針とみられるが何れにせよ今回のパリ會談の結果

- 一、ド・ゴール政權が歐洲諮問委員會に参加、ルネ・マシグリを代表として出席させる
- 一、所謂ドイツ處分の皮算用に關聯しては特にライプツィグ地方の處理に一役買ふ
- 一、近くスタリーン議長とルーズヴェルト、チャーチルが會見する場合にも少くとも會談の一斑にド・ゴールも招請する

といふ話し合ひが出来たと見られる、一部の情報によればチャーチル首相は西歐洲聯合結成の行脚を進めパリから更にブリュッセルに赴くのではないかと傳へられる

獨外相ウラソフ將軍を引見

(ベルリン十三日發)ドイツ外務省は十一日次の通り發表した

外相フオン・リツベントロップ氏はロシア解放運動の指導者アンドレー・ウラソフ將軍を引見會談を遂げた

ウラソフ將軍は一九四二年春ドイツ軍の捕虜となつたが爾後ロシア解放運動を起し、最近ヒムラー内相と會見したが更に外相フオン・リツベントロップ氏と會談をとげたのは本格的な政治工作を

起す前提とみられる、右會談につきDNBは十三日次の通り報道してゐる

ウラソフ將軍がフオン・リツベントロップ外相を訪問したのは極めて重大な政治行動が近く開始される前提だ、ロシア人の反ボルシェヴィイキ分子は周到な用意の後獨立抗爭を強化する基礎を確立したのであらう

ヒトラー總統は

健在なり

(ベルリン十三日發)ヒトラー總統が十二日のナチ驅起慰靈祭に出席せずヒムラー内相が代つて布告を朗讀したため米英兩國の宣傳機關は色々惡質なデマをバラ撒いてゐるがドイツ政府當局では十三日特に

總統は完全な健康を享受してゐる、布告は今までも總統自身が讀上げたことはない

總統が何故慰靈祭に出席出来なかつたかは布告のうちに判つきり述べてゐる通りで國務多端のため一日たりとも總統大本營を離れることが出来ないので

と言明した

赤軍の死傷

三千二百萬餘

(ベルリン十三日發)ドイツ軍當局は四十一ヶ月にわたる東部戦線の戰闘で赤軍の死傷は合計三千二百六十萬人に上ると推定される旨十三日言明した

米印通商

條約を提案

(リスボン十三日發)ニューヨーク來電ニニューヨークで開催中の反樞軸國際商業會議の印度代表チュニラル・メータは十三日商業政策委員會で米印通商航海條約の締結の必要を強調し次の通り述べた

米國が印度を獨立國として扱ひ印度との間に通商航海條約を締結してこそ米國居住の印度人は初めて平等の地位を獲得し得よう、世界のあらゆる國家は平等の立場において通商を行ふ權利ありかかる權利が認められてこそ世界通商貿易の促進が期し得られる、印度人の米國歸化權問題も重大な問題だがわれわれはこの際通商條約の締結と歸化權問題とを同時に解決しようとは思つてゐない、ただ米國が印度の要求をいれて通商條約を締結するならば印度民衆の對米感に大いに好影響を與へるだらう

ル大統領マツカーサーと閣取引

(リスボン十二日發) ルーズヴェルトとマツカーサーの關係は從來必ずしも圓滑ではなく今春共和黨内の一部ではマツカーサーを大統領候補に推薦した位であるが十二日ニューヨークからのUP電によれば暴露記者として有名なドルー・ピアソンは「ニューヨーク・デーリー・ミラー」紙上においてルーズヴェルト、マツカーサー間の閣取引の事實を暴露、これによつてマツカーサーはルーズヴェルトの四期出馬を支持しルーズヴェルトはマツカーサーの作戰方式を採用した點を明かにしたといはれる、ピアソンの論文要旨次の通り
マツカーサーがルーズヴェルトの四選を支持した事實を公表することが出来る、マツカーサーがルーズヴェルト支持に轉向したのはパールハーバーでルーズヴェルトがニミッツ、マツカーサーと會見して以來のことである、その際海軍の將校達が席を外してからマツカーサーとルーズヴェルトは二人で話合つたのである、元來ルーズヴェルトはマツカーサーに對して餘り熱心な支持を與へてはゐなかつたのであるが、右會談後ルーズヴェルトは友人に對して「マツカーサーがルーズヴェルトの四選を支持する旨聲明しよう」と申出た」と語つてゐる、かくてルーズヴェルトはレイテ島に上陸作戰を行ひ比島を保持しようといふマツカーサーの計畫に深く印象づけられ、彼はハワイへ同行した者達にその計畫を説明したほどであつた、さらにルーズヴェルトは幕僚長リーイに向つてマツカーサーは偉大な戰略家だと述べ、議會に對しマツカーサーを「大將」(ゼネラル・オブ・アーミーイズ)にするやうにとの書翰を送付しようといふ提案したがリーイは右の案に反對しそれでは國民がルーズヴェルトは政治屋だといつて非難するだらうとルーズヴェルトに警告したのである、しかしルーズヴェルトはマツカーサーの計畫に對しては依然熱心に支持を続け統合參謀本部にマツカーサー案を呈示して統合參謀本部員がマツカーサー案よりもむしろ支那沿岸への上陸を希望したにも拘

らずルーズヴェルトは前者を支持したのであつた

米英兩國の
紛争を危惧
(リスボン十二日發) ロンドン來電「英紙「サンデー・オブザーヴァー」は十二日の社説において「米、英兩國間の恒久的な友好關係は可能なりや?」といふ問題を採りあげ、次のやうな懷疑論を開陳してゐる・

米國は依然として英國と友好關係を維持してゐるが英帝國が米國の根本的利益關係の對象となつてゐることは差し置いても、米國が將來如何なる場合でも英國を根本的利益關係として支持すると豫想することは最早許されない、米英兩國の友好關係は家族的感傷主義に委ねてはをられない、從來の互讓的關係よりも、もつと明確な協定を必要とする、英國は米國の好意を高く買つてゐるが、さればといつて多大の危險を藏する通商政策に共同してまでもその友好的態度を購ふことは出来ない、ここに米英兩國間に經濟上の重大紛争が勃發する危險が伏在する

米英兩國代表
直接交渉
(リスボン十二日發) シカゴ來電「國際航空會議は去る一日からシカゴで開催されてゐるが、同會議に出席の英國代表スウィントンと米國代表パールの兩名は個別的に會談を開始した、兩名の會談の目的は國際航空網の組織及び有力な國際委員會の設立任命について兩國の見解の一致を圖るためである

倫敦は
危險
(リスボン十二日發) 米英ソ三巨頭の會議地としてはロンドンが下馬評に擧げられてゐるが、ワシントンからのエキスチェンジ電報によれば米國政界はロンドンがドイツのV一、V二號の集中攻撃を受けてゐることを理由に猛烈に反對地中海岸の安全な場所を要望してゐるといはれる

新任第十二
航空隊司令
(リスボン十三日發) ローマ來電によれば在南佛米陸軍第十二航空隊司令として今回代

將チャールズ・T・マイアーズが任命されたといはれる

ヒトラー總統布告全文

(ベルリン十二日發) ヒトラー總統の布告全文次の通り

ドイツ國家の任務

總力を擧げての戰爭の必要に基き、ナチ黨蹶起の記念日を十二日の日曜日に延期するの已むなきに至つたが、更に總統大本營における任務のために余は僅か二、三日と雖も大本營をあけることが出来ない、しかし以上のやうな事實を別としても余は自分の任務が演説をすることよりもこの戦ひにおいて最後の勝利を収めるに必要な諸施策を用意し、遂行するにあると思ふ、ナチ黨が政權を掌握して以來われらの舊い仇敵はナチ黨に對する憎惡を聊かも變へるどころでなく、却つて増大するに至つた、ユダヤ人は最後の煽動推進力としてナチ黨が政權獲得のための抗争を續けてゐた當時と同様一九三三年以後においてもあらゆる機會を利用して新國家迫害並びに破壊の惡魔的憎惡を表現するに努めてゐる、従つて時代は變つてもドイツ國民が強要されてゐる抗争の主要な部分は依然として變らない、第一にドイツ國民自體の目標はあらゆる手段によつてドイツ民族を保全し、民族の將來を確保することにあり、第二に敵の目標はドイツ民族の殲滅と根絶によつてドイツ民族の存在を終焉させることである、ボルシェヴィズムは嘗て民主主義の協力を得てドイツ國內においてナチ運動をテロ行動によつて抹殺しようとした、今やソヴェト主義は民主主義の支持の下にドイツ國を破壊しドイツ民族を根絶しようとしてゐる、當時知つてか知らずにか國內においてボルシェヴィズムの手先となつた中産階級は盲目的に自らの墓穴を掘つてゐたにほかならない、民主主義各國は今日ボルシェヴィズムの勝利とともに同じく自らの墓穴を掘つてをり民主主義各國は忽ちにして彼等の理念を喪失し、破滅への一途を辿るであらう勿論今日においても歐洲をボルシェヴィズムの破壊から救はねばならないことを認識してゐる政治家、議會人、財界人は外國にも少くないが、ひとり強力な歐洲の一國家が見事に存亡のための戦ひを戦ひ抜く時、はじめて彼等の認識してゐるところが現實されるわけである、この任務を遂行するものはナチドイツ國家以外にはあり得ない

降伏國の末路

歐洲の永い歴史を通じ西歐洲の愚劣な國々は不快な競争相手を窒息させる手段として屢々勢力均衡政策に訴へ歐洲を脅かす危険と同盟を結んで歐洲の團結を阻害した、従つて歐洲は過去數世紀にわたる抗争において多大の犠牲と挫折とを免れなかつたが、結局において歐洲諸民族の一族を結成するに至つた、たとへ個人であらうと國民であらうと時に幸運と不遇とのよつてくるのは免れないが、地上における偉人について最も目立つてゐることは難局に處して屈せず、事態が全く收拾し難い様な際にも信念を失はず敗退の後にも勇氣を振ひ起して毅然として抗争を續けることである、國王が全く自分の立場を誤解し勇氣を失つて國民を裏切るのは精神的、道義的に缺けるところのあら結果に外ならない

政治家や將軍達までが卑怯な降伏によつて世界的な抗争を自分に有利に展開出來ると考へてゐるとすれば世界には偉人が餘り澤山ゐないといふ昔からの原則を再び確認するにほかならない、すでに降伏した國々乃至今後降伏を考慮する國々において惹起される結果は、歴史的な危機から安價に逃避することではなくて當該民族の強制的な根絶であり従つて責任ある要人の破滅を誘致するばかりである、これらの國々において先づ第一に起る結果はボルシェヴィーキの混沌と内亂であり、第二の様相はいはゆる戦争犯罪人その他有爲の人材の引渡であり、最後に幾多の人々が蜿蜒列をなしてシベリアへの途を辿り、要人の弱氣の犠牲となつて一生を終ることとなる

各國における裏切りの結果今回の戦争における主要交戦國としてドイツ國民は甚大な犠牲を拂はされたが、これらの裏切り行爲によつてドイツ國の機構は弱體化せずドイツ國民の戦意は聊も衰へなかつた、否ドイツ國民は却つて士氣益々熾んに狂信的に抗戰を繼續してゐる

同盟通信

海外電報

(第三期 東京電報)

更にこれらの國においても抗戦分子が依然として存在してゐたことはまことに欣快に堪へない、イタリア國內においては抗戦分子は新國家を建設したベニト・ムソリーニ氏を統帥とし、ハンガリア國內においてはサラシー首相を中心に、スロヴァキア國內においてはチツー主席の指導下にクロアチアにおいてはハヴエリツチ主席の周圍に飽くまで抗戦を繼續してゐる、その他の國においても委員會や新政府が續々成立し、降伏を認めず民族の滅亡を甘受出来ないとの決意を示してゐる、我等の最大の盟邦日本は戦ひの初めの日から今日の戦争の性格を正しく認識し民族存亡の戦ひであると解し爾來眞に英雄的な民族の勇氣を遺憾なく發揮して戦争を繼續してゐる

裏切分子を乗越えて

一九四二年十一月ドン河の戦線において敵軍がルーマニア戦線を突破し爾後イタリア軍並びにハンガリア軍が壊滅したためにドイツ軍は重大な影響を受けたがその後においてもドイツ國民は裏切りにつぐ裏切により深刻な打撃を受けた、これらの事情にも拘らず敵の希望は實現せずドイツ軍は既に敵軍を邀撃阻止したのである、ここにおいて敵の唯一の希望はドイツ國內において背後から決定的な一撃を加へるやうな事態が持上ることにかかつてゐる、何等の人格を持たない不逞の徒即ち封建時代の傲慢とブルジョアジーの無能力と舊い議會政治の腐敗とを捏ね合せたやうな輩がドイツ國民の抗戦力を根元において絶ち切り即時成果を擧げようと企圖した

余が生きてゐる限りドイツはボルシェヴィズムの洪水に壓倒されてゐる歐洲各國と決して運命を同じくしないことを彼等は承知してゐたのである、しかしながら聊かたりとも息の残つてゐる限り、余は心身を捧げて唯一の理想即ちボルシェヴィズムの危険と脅威とに對する防禦と攻勢とにおいてドイツ國民を強くするといふ目標に奉仕する決心である、すべてのドイツ人が犠牲を拂ふ必然的結果としてドイツ民族國家の戦力は強化されるに至るであらう、かりに舊體制の分子が犠牲に對して不満を述べるとしても民族國家は彼等を取り越

えて進むほかはない、もし過去のドイツにおける政黨、階級、その他の派閥の低級な個人的分子が今こそ蜂起する時が來たと考へるならば彼等は却つて全滅する結果とならう

歐洲全體の進軍

七月二十日の事件に關しては陸軍、海軍並びに空軍が完全にナチ精神を體得し、唯不逞分子を取り除いただけで黨と國家と武装兵力との間に完全な意見の一致が確立されるに至つたことはまことに感謝に堪へない、しかし右事件の及ぼした打撃はまことに深刻であつた、敵は圖に乗りドイツ全土を席捲出來るといふ想定の下に全力を集結した以上敵の企圖が遂に實現しなかつたのはドイツ軍の勇戦、就中國内における國民の勇敢な態度のお蔭である、ナチ人民國家の建設は終始余の眼前に横はる目標である、余は舊いナチ黨員として不撓不屈飽くまで任務の遂行に努めるであらう、この任務は余自ら選んだのではなくて神がすべてのドイツ人に課した任務である、今は父祖がわれらに對して範を垂れたと同じやうに立派な模範をわれらの後にきたるべきドイツ國民に示すであらう、余は任務の遂行に當つて聊かたりとも余の健康乃至生命を惜まない、最近余がドイツ國民に殆んど話しかけないのは余に課せられた任務を果さうとして絶えず働いてゐるからにほかならない、余は以上の決意を抱き全國民がまた忠實に余に従つてゐるが故にドイツ國民が終局においてこの試煉を克服し從來と同様神がわれらを祝福し給ふであらうことを信じて疑はない、われらの目標は一九二三年當時ナチ運動の最初の殉教者がそのために燈されたところと異ならず、將來子孫の生存を保障するためにドイツ國民を苦難と危険から救ひ出すことである、ドイツ國民の背後には歐洲全體が進軍してをり今回の戦ひにおいてドイツ民族だけでなく、ボルシェヴィズムの野蠻を嫌ひ歐洲人をもつて自任するすべての人々の將來が決定されるであらう

ゲッベルス宣傳相演説全文

(ベルリン十二日發) ゲッベルス博士は十二日ベルリンにおける國民突撃隊の宣誓後次の通り演説した

意想外の抗戦力

今日ドイツ全國を通じ突撃隊の宣誓式が舉行されてゐるが全世界は數百萬のドイツ國民がひとり前線においてのみならず銃後においても斷乎抗戦を繼續し、祖國の敵の前に卑怯にも旗をまいて降伏するやうなことは絶対にないことを知るであらう、今次大戰こそ國民の生命と將來とがかかけられてゐることを深く胸にきざみこみあくまで抗戦を續けるドイツ國民と敵軍は戦はねばならないのだ、しかしドイツ國民は重大な祖國防衛の任務をおびてゐるのであるから如何なる軍事上の敗北を何遍喫しようともあくまで抗戦意欲を振ひ起し國力を總動員してドイツ民族を全滅しようとする敵の意圖を粉碎する覺悟を持つてゐる、敵がドイツ民族全滅の企圖を闡明すると共にドイツ國民は恰かも電氣にかけられたやうに起き上つた、ひとり前線においてのみならず國內の一軒々々、通り一つにでも苟くも敵軍が侵入する場合においては斷乎として抗戦を續けるであらう、三ヶ月前にヒトラー總統は余に對して多數の親衛師團を組織することを命じた、今日この任務は果された、親衛師團は裝備も訓練も最もよく彼等の任務はドイツ國民の自由と將來を防衛することである、更に今後三ヶ月位になほ多數の親衛師團が前線に進軍するであらう、今日においては敵もまたドイツ國民が毅然として起上つたことを認めねばならない恐らく敵軍にとつては意想外であつたらう

日本と共に勝利に邁進せん

ドイツ國民は物質的にも精神的にも絶対に疲れてゐない、余は敢へてベルリン市民に對して自發的に國民突撃隊に志願するやう要請したが數十萬の市民は余の要請に應じて續々志願した、かかる國民が指導者に對して武器を横たへ降伏を要請するとは絶対に考へられないではないか、敵軍が占

領しようとするドイツ領土は一日毎に鮮血の流れをもつて洗ふほかはあるまい、敵軍が突撃隊の結成を嘲弄しようとしても既に東プロイセンにおいて赤軍は突撃隊の實力を體驗したはずであり、英軍並びに米軍もまた極めて近い將來突撃隊の何であるかを知るのであらう、英雄的な考へを抱き、英雄的に戦ふ日本國民と肩を並べ、絶対に祖國を裏切らないといふ日本國民と同じ精神と決意とに燃えわれわれドイツ國民は飽くまで勝利に向つて邁進するであらう、英國首相チャーチルは二日前に戦ひは決定的だといつたが、われわれもまた十分この事實を知つてゐる、ドイツ國民は必要とあれば最後の意氣をもつてこの最後の戦ひを勝ち抜くであらう

突撃隊宣誓式

(ベルリン十二日發) 十二日行はれたドイツ突撃隊宣誓式の隊員總數は數百萬に上るといはれるが殊に首都ベルリン市ではゲッベルス博士が國民戰意測定の見地から自發的志願の形式をとつたところ僅か數週間内に肉體的に適格な市民のうち四二%は進んで應募してゐる、もつともまだ裝備は全部出揃つてをらずベルリン市内十數ヶ所の廣場で舉行された閱兵式にはあるひは黨の制服から鐵道、郵便、電車従業員制服から中には普通の洋服を着用したものもあり、帽子も鐵兜から普通の中折に至るまで種々であつた、しかし戦車を先頭に廢墟と化した街を行進して戦ふ國民の旺盛な士氣を發揮した、武器も様々だが小銃、機關銃、自動拳銃から裝甲拳骨、戦車脅威等の新兵器まで見受けられた、特に宣誓の言葉も

余は大ドイツ國の指導者に無條件に忠誠且つ服従するといふこの神聖な誓ひを神前に致す、祖國のために勇敢に戦ひ自由を棄てて、ドイツ國民の社會的將來を失ふよりも寧ろ死を選ぶことをここに誓ふ

外相、ウラソフ

將軍と會談

といふ悲壯な文字で抗戦一途あくまで頑張るドイツ國民の決意が突撃隊結成の各面に滲み出てゐる (ベルリン十一日發) 外相フ・オ・リツベントロップ氏は十一日ロシア人民解放運動の指導者ウラソフ將軍を引見會談した

【反樞軸陣營】

四首腦會談を提言

— 印度を戦争に参加させよ —

(リスボン十一日發) ルーズヴェルトの印度派遣特使として一九四二年來印度に赴いてゐたウィリアム・フィリップスはルーズヴェルトに對する報告において英國の印度政策を痛烈に非難したといはれるが、ニューヨーク來電によれば米政界通として有名なドルー・ピアソンは十月さらにフィリップスが大統領に對する二回目の報告において次の通り述べてゐる旨暴露したといはれる

ルーズヴェルト、スターリン、ジョージ六世並びに蔣介石それに印度領袖を加へた合同會談を提唱し右會議において印度の獨立について話合をつけ印度を戦争に参加させるべきである、英國の觀點からすれば英國の印度に對する地位は不合理ではない、英國は百五十年に亘つて印度を統治し一八五七年の印度兵の叛亂を別とすれば大體印度内部の平和を維持してきてゐるし、また英國は新しい世界の力がその既得權益に影響を及ぼすことを承知し、印度が内部統一を維持し政府を樹立できるやうになれば印度に自由を賦與するといふところまできてゐる、しかしながら印度の領袖には以上の政府を樹立することが出来ない、印度の領袖と四國元首の會談において印度の領袖は英國の承諾を得て將來の印度について討議することが出来るわけでもた米國がこの會議を主宰し印度の宗教、階級、人種、政治問題に調和を齎らすことも可能である更にこの會議は四國首腦の指導下に行はれ一定の時期における權限の印度に對する委譲並びに暫立政權の樹立を保障することにならう

以上の點に關する英國の公約は印度では問題にされてゐない、英國政府は印度人が暫立政權の組織について意見の一致をみるならば戦後印度に自由を與へる用意がある旨發表してゐるが、印度人は英國の公約は信用がおけないから暫立政權の樹立についても意見の一致をみることは出来ないとい述べてゐる

アンラ事務總長

ロンドン訪問

(リスボン十一日發) ワシントン來電にアンラ事務總長レーマンはアンラ歐洲地區事務局の運營狀況視察、並びに同事務局管轄下の諸團體今後の活動を立案するため數日中にロンドンに赴く旨十一日發表した、レーマンは恐らく反樞軸軍占領下の歐洲各國を歴訪するものとみられる

空輸部隊

活動狀況

(リスボン八日發) ロンドン來電によれば英國駐屯米國陸軍輸送司令官少將ポール・ウイリアムスは八日次の通り發表したといはれる

米國陸軍輸送隊は十月三十一日までにはベルギー・オランダに向け五千百萬封度の物資を空輸し、戰場となつた地域から二萬五千封度の物資を引揚げた、九月十七日開始された反樞軸軍空挺部隊の上陸以來巨人輸送機一機につき平均五百六十七トンの機械、衣料、醫藥、その他軍需品が輸送されてゐる

また八日ローマ來電によれば英國空軍は七日ベルグラードに向け第一回輸送飛行を行つたが、英軍輸送司令部では次の通り發表したといはれる

英軍輸送司令部のダコタ輸送機隊はイタリア國內の軍病院で療養後健康を恢復したユーゴー遊撃軍の戦傷兵並びに戦病兵をベルグラードに送還し、同時に遊撃軍に對する補給食糧を携行した、ダコタ機隊は各英軍戰團機隊の護衛を受けアルプス横斷空路を通つた

【米 洲】

對ソ復交

交渉

(リスボン十一日發) 中南米諸國中キューバ、メキシコ、コスタリカ、コロンビア、ウルグアイの五ヶ國は既にソヴェト聯邦との間の外交關係を復活してゐるが、十一日のワシントン電によればボリヴィア、チリ、エクアドル、ブラジル、ホンジュラスの五ヶ國も同様外交關係の復活を要望してをり、既にボリヴィア政府はワシントン駐劄ソ聯大使との間に交渉を開始しチリ政府も同大使に對しモスクワとの關係復活の希望を表明、他の三國も同様の方途を講じつつあると傳へられる

【米 國】

グー ル

ニミツツと會談

(リスボン十二日發) パール
ハーバー來電「前駐日大使ジ
ヨセフ・グルー(國務省極東
部長)は眞珠灣の太平洋艦隊司令部に到着した、
彼の目的はニミツツと會談するためである」と發表
された以外詳細は明らかにされてゐないが、右は
米國が極東で直面すべき外交的及び軍事的諸問題
に備へてゐることを示すものとみられてゐる、グ
ルーは對日戰に關する諸問題についての主要な建
言者となつてゐる

イタリアを市場

進出の媒介に

(チューリッヒ十一日發) ス
イス通信社のローマ特派員は
十日次の通り報道してゐる
米國の民間企業家はイタリア工業を米國工業の
傘下に收めもつてイタリアを戦後米國商品の地中
海方面市場進出の媒介たらしめんと企圖してゐる
更に米國政府筋においても米國の大工業家は次の
如き條件の下でイタリアの再建に協力する用意あ
る旨言明してゐる、即ち第一にイタリア産業諸部
門の活動再開を援助し、第二に半成品を供給して
イタリアで完成品をつくらせるとの二條件である
また米國筋は管理運営權を引渡せばイタリアの鐵
道をも復興する用意ある旨言明してゐるが、最も
廣汎な米國の干渉はイタリアの石油工業に向けら
れるべく米國はイタリア石油會社の資本を米國石
油會社に移讓することを提案してゐる

酒 類 釀 造

許 可

(リスボン十日發) ワシント
ン來電「戰時生産局長官クル
ーグは十日釀造業者に對し明
年一月酒類の釀造再開を許可した旨發表した
農 作 物
(リスボン十日發) ワシント
ン來電「農務省は十日本年度
の主要農作物作柄豫想を次の
通り發表した(單位千ブツシエル)」

作 柄 豫 想

玉 蜀 黍	三、二五八、三七八
小 麥	一、一〇八、八八一
オ ー ト 麥	一、一九二、二五四
大 麥	二八七、〇九一
ラ イ 麥	二七、五六五
米	七〇、四四一

砂 糖 黍

六、三〇三、三〇三

しかして玉蜀黍、小麥の兩作物は記録的な豐作
で、就中玉蜀黍は前年の三、〇七六、一五九千ブ
ツシエル、一九三三―四二年の平均作二、三六九、
三八四千ブツシエルに比較して非常な増産となつ
てゐる

肉 類 生 産

豫 想 量 減 少

(リスボン十一日發) ワシ
ン來電「農務省は十一日、
家畜類の減少のため明年度の
肉類生産豫想量は本年度に比し約二十億封度即ち
大凡八%の減少、一九四六年度にはさらに一層減
産の見込である旨發表した

【重慶政權】

ルーズヴェルト

來 訪

(リスボン十二日發) 重慶來
電によれば米國大統領ルーズ
ヴェルトが重慶を訪問するか
も知れないとの報道があり、重慶の言論報道機關
は一致して右の報道を歓迎してゐるといはれる、
一方大公報は「蔣介石も米國を訪問すべきだ」と
提言してゐると傳へられる

【南 伊】

王 政 中 央 黨

結 成

(リスボン十日發) ローマ來
電「ムツソリーニ統帥の政權
掌握前「ジョルナレ・デ・
イタリア」紙の記者であつたイタリア上院議員ア
ルベルト・ベルガミーニは十日新たに王政中央黨
を結成、民主主義者並びに自由主義者を糾合して
あらゆる種類の獨裁制に反對し民主主義的王政の
樹立に努めることとなつた

暴力團に反樞軸

軍 人 も 參 加

(リスボン十一日發) ローマ
來電「過去二ヶ月間に亘り、
ア人、スペイン人及びフランス外人部隊の脱走兵
等からなる暴力團、シカゴから渡來したギャング
團らが跋扈、中には反樞軸軍の正規軍人も参加し
て市民を悩ましてゐたが、米軍憲兵隊は最近これ
ら暴力團の一齊手入れを行ひ、米兵七名、カナダ
兵二名、ギャング團員十三名を初め多數を檢擧し
た、右米加軍兵士は近く軍法會議に付される筈で
ある

同盟通信

海外電報

(第三新聞社編輯部)

【英國】

マンチエスター

のガス罷業

(リスボン八日發) ロンドン
來電マンチエスターのブラ
ツドフォード・ロード・ガス
會社の工員七十五名は労働時間が長過ぎるといふ
理由で燃料省の指令を一蹴し七日の夜勤交替時間
から罷業を開始したが、同時にストツクポート工
場の工員も同情罷業に入つた、このためマンチエ
スター市のガス供給は八日朝から削減される旨燃
料省は發表したが事態を重視し當局は八日朝軍隊
を派遣して同工場を接收した

牛乳配給

量切下げ

(リスボン十日發) 十月二十
五日附「タイムズ」紙によれ
ば食糧省政務次官メーバーン
は十月二十四日の通り言明したといはれる

一般人に對する牛乳の配給量は十一月五日から
一週間二パイント半を二パイントに減ぜられる
かかる決定に達したのは甚だ遺憾なことである
が、國內において産額の低下を豫想される地方
もある、今日から實施當日までの間も優先
權のない消費者に對しては從來の配給量をも確
保出来ないかもしれない

防空司令

部廢止

(リスボン五日發) ロンドン
來電一九四三年十一月開設
以來流星彈防禦戰闘に活躍し
てきた英防空司令部は今回廢止され、英空軍戰闘
機司令部が復活して、英國防空陣を統轄すること
になつた、これに伴ひ防空司令官空軍大將ロドリ
ツク・ヒルは新たに戰闘機司令官となつた

【フランス】

ジロー、

瑞西で畫策か

(ベルリン十一日發) スイス
からの情報によれば嘗て叛
亂派の巨頭としてド・ゴール
とその勢力を爭つたジローが目下スイスにあると
いはれる、彼の滞在は英國首相チャーチル及び外
相イーデンのバリ訪問の折柄、特殊な意味をもつ
ものとして各種の臆測が専らだが、フランス問題
の權威筋ではジローのスイス來訪は反ド・ゴール
分子との接觸を企圖するに於てと云はれてゐる、

一方フランスに國境を接する某國からの情報も、
ジローは職業的軍隊及びド・ゴール政權左派によ
りその經濟的、政治的存在を脅威されるフランス
人一派の力を藉りド・ゴール政權の顛覆を畫策中
と傳へてゐる、この場合想起されるのは嘗ての
ジローと米國政府との關係で、このことはルーズ
ヴェルトの歐洲訪問までは、ジローはその政治的
行動に出ることを見合せてゐるとのスイス情報と
符合してゐる、しかるに一方ではド・ゴール自身
がジロー排斥を目的に彼をフランス大使としてス
イスに赴かしめ、ジローの正式任命の遅延はスイ
ス政府がバリ駐劄スイス代表として適當な人物を
物色中のためだとの説も傳はつてをり、ジローを
繞る情勢を益々不可解なものとしてゐる

國境問題で

西と會談か

(ベルリン十一日發) 佛西國境
方面のスペイン人マキ團の蠢
動はなほ停止せず、スペイン
政府は最近ド・ゴール臨時政府に對して右取締方
を要求抗議したと傳へられるが、十一日のパリ電
によれば、ド・ゴール臨時政府は本問題の解決策
協議のため、パリでスペイン側代表と會談の用意
ある旨を明らかにし、代表派遣方をマドリッド政
府に要求したといはれる

【ソ聯】

諸との親善

關係を強調

(ストツクホルム十一日發)
モスクワ來電モロトフ外務
人民委員は十日目下モスクワ
に滞在中のノルウエー亡命政權外相トルグヴェ並
びにモスクワ駐劄大使アンドワードを午餐會に招
待、席上ソヴェト、ノルウエー兩國間の親善關係
を強調して次の通り述べた
ソヴェト聯邦は共通の國境を持つことにより今
や再びノルウエーの隣國となるに至つたがこの
事實からして兩國の親善關係は一層強化されね
ばならない、しかしてソヴェトとの緊密且つ友
好的關係によつて再びノルウエーに繁榮が齎ら
されるであらう

西部戦線はどう動く

奥畑稔

ベルギー東端のオイペン地區から米第一軍の先鋒部隊がドイツ國境を突破したのは九月十一日のことであつた、それから約二ヶ月西部戦線には陰目するほどの變化はなく僅かにオランダ西南部における情勢の變化即ちグスタフ・フォン・ツァンゲン大將の指揮するドイツ第十五軍のマース河以北への轉進がみられた程度に過ぎない

膠着に對する二つの解釋

今西部戦線の現狀を檢討するに當り過去二ヶ月間におけるこの戦線の膠着（嚴密にいつて膠着といへるかどうかは後述することにしよう）について考へてみよう、この點については二つの解釋が成立する

第一はドイツ軍の作戰の成功である、いまだわれわれの記憶に生々しいごとく七月末ノルマンディ戦線の一角を突破された後ドイツ軍が遂行した撤收作戰は實に鮮かなものであつた、米第三軍の機甲部隊が快速を利用してブルターニュの奥深く突入すると同時に英第二軍と米第一軍とをもつて企圖されたカーン東南方における大包圍作戰はあはや成功するかと見え、一時はドイツ第十四軍の運命が氣遣はれるほどであつた、しかしながら追がにドイツ西方軍最高司令官ルントシュエット元帥は大局の判斷を誤らず、巧みに戦線の短縮を圖つたのである、ドーヴァー海峡の沿岸からドイツ國境まで二百軒から四百軒に亘る大撤收作戰を行ひ、極めて短時日の間に西歐の全兵力をジグフリード線の前面へ集結し、反樞軸軍の爾後の前進を完全に阻止するばかりでなく、ドイツ軍の戦線立直しにも成功したのである、赤軍の作戰においてみられるやうに、反樞軸軍當面の目標が地域の獲得になくドイツ軍兵力の殲滅にあるところからみて、この撤收作戰は二重の意味において成功で

あつたともいはれよう、勿論フランス及びベルギーでドイツ軍が拂つた兵員器材の犠牲は決して小さなものではなかつた、しかし第十四軍を除くほか南佛に駐屯してゐたブラスコヴィツ大將麾下の第十九軍といひ北フランスの海岸からベルギーへかけて配置されてゐたグスタフ・フォン・ツァンゲン大將麾下の第十五軍といひ、反樞軸軍が制空權を保持する西歐において悠々その主力を撤收してゐるのであり何といつても成功といはざるを得まい

戦線の動きの乏しさが反樞軸軍の基本戰略に起因するをいふのが第二の解釋である、總じて反樞軸軍の作戰には突込みの鋭さとか勢に乗るといふやうなところが見られない、英第八軍司令官として北阿において頽勢挽回に成功して以來、反樞軸軍内で「名將」の名を擅にしてゐる現第十二集團軍司令官モントゴメリーによつて代表されるごとく、反樞軸軍の戦法はあくまでも堅實である、陸空呼應して大攻勢を展開し得るまでは大規模な作戰を行はないといふのが反樞軸軍の常套戦法である、九月上旬既にルクセンブルグからアーヘン西方にかけ全面的にドイツ國境へ到達しながら約五ヶ師を使用したアーヘン戦を除き局地戦以上の作戰を展開してゐない事實の中に十分反樞軸軍の用心深さを見出すことが出来よう、九月十七日を期して行はれたオランダ中、南部における空挺作戰もマース河以南におけるオランダ西南部の作戰もすべて来るべき大攻勢のための準備に外ならないオランダ中部のニムウエーゲンからアーヘン南方にかけてジグフリード線攻撃の足場を獲得した反樞軸軍が先づ着手したのは側面及び後方の脅威一掃と補給線の確保であつた、マース河南方におけるモントゴメリー軍の作戰は以上の目的を有するもので南ベヴェラント、ヴァルヘレン島に對する英加軍の作戰は専らアントワープ港の確保を意圖したものであつた

補給完備すれば膠着なし

この意味において西部戦線の現狀を膠着と評するのが妥當であるかどうか一抹の疑問なきをえない、英紙「オブザーヴァー」は、十月十五日付の紙上で反樞軸軍の作戰停頓に關する辯解を兼ねて

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物)

「西歐における反樞軸軍の作戦が現在膠着状態に陥つてゐるといふのは當らない、成る程西部戦線は靜的になつてはゐる、しかし、これは米英軍がフランスにおけるよりもドイツ軍の抵抗が強い地點に到達したためであり、反樞軸軍としては補給と豫備軍の完全な用意が出来さへすれば何時でも攻勢を展開することが出来る一體膠着といふものは攻防兩軍の力が單に補給のため一時的に伯仲するといふだけでなく長期間均衡を保つことをいふのであつてかういふ意味における膠着を西部戦線にみることは出来ない、何故ならば反樞軸軍がドイツ進撃へ使用し得る兵力はドイツ軍が邀撃のため集結し得る兵力に優つてゐるからである

一體冬の天候はどの程度まで反樞軸軍の保持する制空權に影響を與へるのであらうか、フランス東北部並びにドイツ西部において普通の天候さへ續けば反樞軸軍はその空軍力を效果的に使用することが出来るのである、これまで秋季乃至は冬季の對獨航空作戦にとつて最大の障碍の一つであつたのは英國上空における霧であつた、しかし現在においては反樞軸軍の爆撃機隊はフランス、ベルギーから作戦することが出来るこの方面では英國における如く頻々と霧がかかることはない、以上の事實は目下最後の攻勢のため兵員器材の集結を圖つてゐる米英軍がドイツが同様の準備をするのを十分妨害し得ることを意味するのである、ノルマンディ戦において反樞軸軍は海峡の横斷、及び良港を有してゐないといふ二つの惡條件があつたにも拘らずドイツ軍の保持する鐵道、橋梁或ひはドイツ軍密集部隊に對する空襲によつてドイツ軍よりも迅速に機甲兵力の集結を完了したのであるが現在反樞軸空軍はドイツ本土の附近に基地を有するといふ有利な條件下にあり、ノルマンディ戦におけると同様の役割を演ずることが出来るであらう、同時に反樞軸軍が克服しなければならぬ障礙に長い地上補給線がある、これに反しドイツ軍は内線の利を享受してゐるが一度天候が回復すれば反樞軸軍はドイツ軍の有する有利を無力化することが出来るよう、秋季戦に勝利を収める他の鍵は壓倒的に優勢な機甲部隊をドイツ國境に集結することである、強力な機甲部隊の攻撃は同程度に強

力な機甲部隊の反撃による以外これを防ぐ方法はない、要塞や對戰車火器は大規模な攻勢の速度を低下させることは出来るが永久的に停止せしめることは出来ない」と述べてゐるが一方的な觀測である點は別として一應考慮しておいても良いのではないかと思ふ

オランダ西南部の作戦が終了しドイツ第十五軍がマース河北岸へ轉進すると共に反樞軸軍の準備作戦はほぼ完了した形で十一月初旬以來アーヘン東南方の突出陣地における米第一軍の蠢動をはじめとしてアルンヘム橋頭堡に對する戦力偵察、メッツ、ナンシー地區における米第三軍の動き、その他ヴォージュ山脈の兩側における米七軍、フランス第一軍の攻勢など何れも大攻勢開始寸前の氣配を窺はせるものがある

對獨空襲いよいよ熾烈

さらにこれに關聯して反樞軸空軍の對獨空襲の熾烈化も看過出来ない、恰かもノルマンディ侵攻直前と同様の狀況を呈してをり空襲の規模において本年四月から五月にかけての作戦を凌ぐものがある、最近行はれてゐる反樞軸空軍の對獨作戦は戰略爆撃と戰術空襲とを兼ねたもので交通の要衝人造石油その他の工業地帯が主要目標となり、作戰區域はハンブルグからルール工業地帯を経てフランス國境のカルスルーエに亘つてをり、特にライン谿谷の工業都市並びに交通の要衝は風潰しに攻撃されてゐる状態である、試みに十一月四日の對獨空襲の狀況をAP電によつて窺はう

約四千の反樞軸空軍は四日西方及び南方からドイツに攻撃を加へた、米軍航空隊並びに英空軍の戦爆連合の編隊はドイツの石油鐵道工業の各目標物に一聯の書間空襲を行つた、先づ千百機の爆撃機と八百機の戰闘機から成る米軍航空隊は英本土から出撃、ルールからドイツ中部に至る鐵道並びに石油工業の中心地を攻撃、同時にイタリアを基地とする米軍航空隊はリベラータ、空の要塞あはせて八百機並びに戰闘機四百を惡天候を衝いて出撃させ、また地中海の諸基地から飛び立つた英空軍及び米軍航空隊の中型爆撃機隊はユーゴースラヴィア、イタリア各地の目標を攻撃した

一方英本土に駐屯する英空軍は晝間六トン爆弾を搭載したランカスター機隊をもつてゾリンゲンを爆撃、更に西部戦線の上空において米軍航空隊が活躍した

攻勢の焦點は北部戦區

フランス侵攻を開始するに先立つて反樞軸空軍がドイツ軍の補給線破壊と機動力の滅殺に努めたと同じく現在反樞軸空軍が行つてゐる對獨空襲がジグフリード線と後方連絡線の遮斷及びドイツ軍豫備隊の機動力阻害を目標としてゐることはいふまでもない、ジグフリード線の抵抗力が沿岸要塞のそれに勝るだけ空襲の規模を大きくしなければ効果が伴はないわけである、以上の諸徴候によつて反樞軸軍の西部要塞に對する本格的攻撃の時期が極めて切迫してゐることは容易に想像することが出来る、しからばジグフリード線に對する大攻勢の火蓋は何處から切られるであらうか先づドイツ側の意見を聞かう、ドイツ著名の軍事記者ルドウイヒ・セルトリウス大尉は十一月四日アイゼンハウアー軍の大攻勢について次の通り述べてゐる

ドイツ軍は反樞軸軍の新攻勢を極めて冷靜な態度で注視してゐるが敵の攻勢焦點がオランダとアーヘン地區とロレーヌ地區との三つにあることは最早疑問の餘地はない、ただ反樞軸軍が以上の三地區で同時に攻勢を展開するかどうかは明らかでなく、またドイツ軍を牽制するため攻勢焦點とはみることの出来ない數ヶ所で大規模な作戦を行ふことも考慮しておかねばなるまい同時に空挺作戦あるひは海上からする側面上陸も豫期される、しかしながら来るべき大攻勢において反樞軸軍が猛烈な砲撃と空爆によつて攻勢の火蓋を切るといふ從來の攻勢方法をとらないとは思へない、ただ今回は奇襲といふ觀點から恐らく準備攻撃をあまり長く行はないのではないかと思はれる、多分アイゼンハウアーは戦車隊をもつて攻撃を開始することにならうがこの場合ドイツ軍にとり重要なことは反樞軸軍に大規模な突破をさせないことで、敵をして一寸刻みの前進を行はせドイツ軍より遙かに多くの犠牲を出させることである、かくの如き正面衝

突が長く續けば續くほどドイツ軍にとり局面は有利に展開するであらう、何故ならば時間は現在疑もなくドイツ軍にとつて有利に作用しつつあるから

以上セルトリウス大尉の述べてゐるところを補足するならば来るべき冬の陣における焦點戦區がオランダ、アーヘン、ロレーヌの三地區に限定されたのは主として地形上の理由に基づくのである、地圖を按ずれば明らかな如くドイツの西部國境地帯においてはルクセンブルグ東方からスイス國境にかけて山岳と森林が續き大規模な作戦を不可能にしてゐる、コブレンツでラインに合流するモゼル河以南の森林名を列挙すれば北からオスボネル、シュワルツホツホ、フアルツェル、ビーンオーデン、シュワルツがありしかもフランス東部の國境に沿つて峻嶒なウオージュ山脈が横はつてゐる、従つてモゼル河以南でアイゼンハウアー軍が大突破作戦を開始するとは思へない、セルトリウス大尉がモゼル河流域のロレーヌ地區をあげてゐるのはモゼル河沿ひにバット・廳下の米第三軍が東北進するものと豫想しての話だと思はれるが、アーヘンからモゼル河に至る地域も丘陵地帯の連續であり同方面が眞の攻勢焦點の一つとなり得るかどうか疑ひなきを得ない、かくして来るべき冬の陣の焦點戦區はアーヘン北方からニムウエーゲンに至る約百料の線におかれるものと斷定して差支へあるまい

ジグフリード線の現状は別として少くもこの要塞線が建設された當時においてはニムウエーゲン東方ライン沿岸のクレーヴがジグフリード線の北端をなしてゐたといふ事實も、アイゼンハウアー軍の狙ひがドイツ軍の北翼におかれてゐることを示す一つの證左となり得よう

對峙する準備作戦

現在反樞軸軍特に北部戦區の米第一、英第二、カナダ第一の三軍團が行つてゐるマース河下流からアーヘン地區にかけて展開してゐる局地戦は来るべき攻勢のための準備に過ぎず、この意味においてマース河以南の作戦が既に一應終了してゐる事實は大攻勢開始の時期を卜する一つの鍵をなすものとして輕視を許さない、以上の準備作戦に關聯してルドウイヒ・セルトリウス大尉のいふところを再び聞かう

即ち同大尉は十一月七日西部戦線の全般戦況について次の通り述べてゐる

現在反樞軸軍が西部戦線に展開してゐる攻勢は新しい大攻勢の開始を意味するものでなく攻勢展開の足場獲得とドイツ軍を奔命に疲らすといふ二つの目的を持った作戦と解すべきである、目下實際の戦闘にたづさはつてゐる反樞軸軍兵力は全侵攻軍の二十五パーセント程度に過ぎないが、この事實は何もアイゼンハワーが麾下の兵力の四分之三を豫備軍として握つてゐることを示すものではない、反樞軸軍の多くは暫壕戦に従事してをり大攻勢が開始された場合にも恐らくこれらの部隊は依然暫壕戦を續けてゐることであらう、しかしながらアイゼンハワーが大攻勢を開始するに當り極めて有力な兵力を使用し、更に戦略豫備をもつて何時でもこれを増強し得る態勢にあることは論を俟たない、もつとも反樞軸軍に對應してドイツ軍もまた相當の豫備軍を擁してをり、またドイツ軍の防禦線が自然の障碍或ひは人工の要塞組織に依存し得る點からドイツ側の最前線部隊は比較的小數で事足りることを想起すべきである、更に前線の後方に國民突撃隊が戦力源として存在してゐることも見逃せない、實際において現在西部戦線で交戦中のドイツ軍の兵力は反樞軸軍より遙かに少いのである

來るべき決戦において反樞軸軍の前進を阻む最大の障害がドイツ國民の不屈の闘志にあることはいふまでもないが、補給もまた反樞軸軍にとつて極めて重要な問題である、犠牲の多い突撃作戦を相當期間繼續するためには先づ補給線が確保されなければならない

自乗逆比例の法則

十月十六日附の「デイリー・テレグラフ」紙の報道によれば

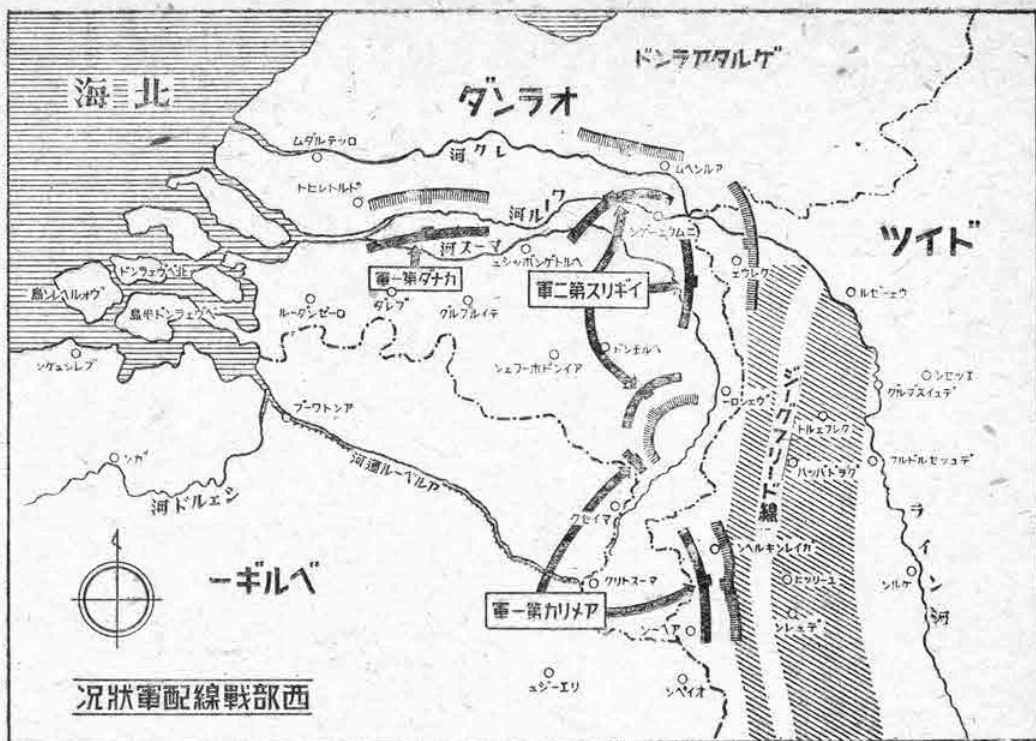
普通の補給半徑を越えて前進するや否や地上部隊の攻撃力は自乗逆比例の法則に従ふことになる、モーゼル戦線におけるパットン軍の停滞やデンブシー軍がアルンヘムを突破出来なかつた事實はこれによつて説明されるのである、しかも自乗逆比例の法則は反樞軸軍に對して不利に

作用する一方後退するドイツ軍に對しては有利に働いてゐる、例へばモーゼル戦線で戦闘中のドイツ軍はノルマンディにおけるロメル軍より遙かに補給状態がよい、かくてドイツ軍が各戦線において内郭要塞に向つて後退し反樞軸軍がこれに追躡するにつれわれわれは次の幾つかの疑問に遭遇する、即ち何故に反樞軸軍は追撃のテンボを維持出来ないのか、何故に赤軍は東プロイセンからヴィスツラ河下流に至る地域の席捲を躊躇し、またドナウを渡河してウィーンを占領しないのか、何故に米英軍はドイツ國境において勝ち誇れる進撃を停止したのか、若しわれわれが自乗逆比例の法則の倍加作用といふものを考慮するならばその時初めて以上の疑問に對して説明を與へることが出来るよう、假令進撃の速度が望ましくとも反樞軸軍はその補給線を整備し且つドイツ軍を撃破するためには周期的に前進を停止しなければならぬといふのが實情なのである

といはれこの自乗逆比例の法則から脱れるためには補給線の大幅な短縮を必要とする

補給線の短縮を焦る

從來フランス東部並びにドイツ國境地區で作戦中の反樞軸軍は殆んどル・アーヴル、シエルブール等フランス西海岸の港灣を通じ補給を續けてをり補給線は三百軒から四百軒に達してゐた、「オプザーヴァ」紙のいふ普通の補給半徑とは何軒を指すのか明らかにされてゐないが通常野戦軍の一躍進の限度は四百軒程度とされ、東部戦線において勢に乗じた赤軍をもつてしても一躍進に四百軒以上の前進は示してゐない、従つて西部戦線特に北部戦區の反樞軸軍が自乗逆比例の法則に従つてゐることは明らかである、十月十九日アーヘンが陥落した後モントゴメリー麾下の第十二集團軍がオランダ西南部において可成り大規模な作戦を開始して西歐隨一の良港アントワープ周辺の確保に乗り出したのも補給問題解決の爲であつた、「エクスチェンジ・テレグラフ」通信の傳へるところによればアントワープ港が使用出来るやうになれば英第二軍並びに米第一軍の補給線は夫々百軒乃至百三十軒程度になるといはれる、しかし問題はアントワープ港確保だけで解決された譯ではない



チャーチルの言明によれば西部戦線の反樞軸軍は毎日約五萬トンの補給物資を必要とするといはれるが、これはノルマンディ作戦當時の二萬トンに比して二倍半に當つてをり、ドイツ軍當局が指摘してゐる如く船腹において困難を感じなくとも五萬トンの物資の陸揚げ施設に反樞軸軍が悩んでゐることは疑問の餘地がない

ダンケルク、ラ・ロシエル、ロリアンなど沿岸要塞のドイツ軍が現在なほ抗戦を續けてゐる事實はこのやうな觀點からする時一段と光彩を放つて來るのである

戦局を決する補給問題

更に「ノイエ・チューリッヒャー・ツァイツング」紙のロンドン特派員は現在の西部戦線においては補給問題が決定的重要性を有するとして英國

る、更に他の方法はフランス、ベルギー各地の工場を利用して英本土からの物資輸送量を減少させることである、米陸軍軍需局戦車自動車課長代將クリスマスは十一月初旬フランス、ベルギーの各工場を視察してゐるが既に兵器その他の修理は殆んど西歐において行はれてゐる模様である、但し反樞軸軍のかかる努力が問題の解決にどの程度與つて力あるかは明らかでない

西部國境地帯におけるドイツ軍の頑強な抵抗と補給の困難といふ二つの重大な障碍に反樞軸軍が直面してゐるとはいふものの西部戦線の今後に確乎たる見透しをつけることは元より不可能であるしかしながら對獨戦年内終了の樂觀論が十月中旬以來反樞軸各紙から霧散したことは注目し値する

軍事評論家リッデル・ハートの次の言葉を傳へてゐる

英空軍が鐵道を爆撃したことは、今や逆に反樞軸軍を苦しめる結果となつてゐる、ノルマンディにおいては補給線は五十軒程度であつたが現在ではその十倍になつてゐる、戦争開始當時においては一ヶ師團一週間の物資消費量は千トンと見られてゐたが今日では二千乃至三千トンに達してゐる、しかるに西歐の鐵道は大半破壊されてゐるため物資の輸送は専らトラクックによるほかになく毎日七千臺に上る十トントラクックが物資輸送に當り四十乃至六十隻の中型貨物船が大西洋岸の港灣に出入してゐるが、なほ大規模な物量戰を行ふには輸送能力に不足してゐる状態である

しからば反樞軸軍は港灣の確保を圖ると同時に補給問題の解決策として如何なる手段をとつてゐるだらうか反樞軸軍はノルマンディ侵攻に際し考朽船とコンクリート製橋を沖合に配置し浮橋を作つて陸上と連絡をつけたといはれこの人工港灣を完成するには約一ヶ月を要したと傳へられてゐるが同様の手段がとられてゐることは容易に想像出來

反樞軸側では依然ドイツ軍の兵力不足と空軍の劣勢を指摘して明春までにはとの希望的観測に耽つてゐるが果して實情はどうであらうか

更に長期戦化を豫測

最近傳へられた反樞軸側の西部戦線視察記について彼らの今後に対する見透しをきかう、ロイター記者のデーヴィッド・フリードマンは十月中旬以來一週間に亘つて西部戦線の各地區を視察した後十月二十一日次の通り報じてゐる

ドイツは決して敗れてはゐない、前途には長い冬季戦が横はつてをりドイツ國民には戦争を投げたやうな氣配は全然見られない、またドイツ國內には内部崩壞の兆など些かも見ることは出来ない、以上の結論は記者がフランス、ベルギー、オランダの各戦線を視察した上で得たもので、作戦並びに解放地域における民政の指揮統御に當つてゐる主だつた將校の大半はドイツ國內において奇蹟的な動搖でも起らない限り戦争は一九四五年まで持ち越されるといふ見解を披瀝してゐた、全線に亘つて作戦は局地戦の域を出でず冷雨と膚を刺すやうな寒風とは數週間前には極めて調子よく進みさうに見えてゐた反樞軸軍の早急な作戦終了の見透しに悪影響を及ぼしつつある、但し反樞軸軍の間における軍事的協力は想像以上に緊密で常に種々の困難を克服してゐる

更に十月初旬から中旬にかけて西部戦線を視察したUP通信社々長ヒュー・ベイリーも十月二十七日ロンドンにおいて「オランダからアルデンヌに至る四百哩の線に亘つて視察をしたがドイツ軍は何處においても戦意極めて旺盛であり戦争が來年に持ち越されるだらうとの感を禁じえなかつた」と述べフリードマンと殆んど同様の報告をしてゐる

ドイツ軍の兵力と装備

以上によつてドイツ軍の戦意のほどは明らかであるがこの戦意と共に戦力を構成する兵力と装備とはどうであらうか、反樞軸側では西部戦線のドイツ軍の兵力についてかなり勝手な解釋を下し、

或ひは六十ヶ師と稱し或ひは三十ヶ師等と極めて漠然とした觀測を下してゐるが、これに關聯してスターリン議長が十一月六日の革命記念日前夜の演説で反樞軸軍が西歐侵攻を開始した當時の西部戦線におけるドイツ軍の兵力を七十五ヶ師と言明してゐるのが注目される、六月以後の損害と國民擲弾兵等による補充とを併せ考へる時ドイツ軍の西部戦線における現兵力が右の數字より多いとは思へない、周知の如くドイツ軍一ヶ師の兵力は一萬以下であり従つて戦闘部隊だけで優に百萬を越へるアイゼンハウアー軍八軍團(米第一、第三、第六、第九、英第二、加第一、佛第一の各軍團並びに獨立空挺軍團)には及ばない、この點今後相當廣い正面にわたつて大消耗戦が展開された場合ドイツ軍の不利は争へない、しかし攻防兩軍の損害の比率も考慮しなければならぬ

更に装備においてもドイツ軍がやや劣つてゐることは否定出来ないが十一月八日英國のラジオ解説者チエスター・ウィルモットが「反樞軸軍は現在以前とは全く違つた敵と戦つてゐる、ドイツ軍はノルマンディ戦以來反樞軸軍の経験したことのないほど大規模に戦車を使用してをり歩兵部隊もまた強力な砲兵の支援をうけてゐる」と報じてゐる如くドイツ軍の装備が最近著るしく強力となつてゐることは事實である、目下アーヘン東南方のフルトゲン森林地區で展開されてゐる戦闘においてドイツ軍が砲兵隊と八十八耗砲を有する重戦車を豊富に使用してゐる事實から推測されるやうに重要戦區のドイツ軍は極めて優秀な装備を有してゐるものとみられ、愈々大攻勢を展開した曉に反樞軸軍が單に地上兵力と空軍力との優勢をもつてルール工業地帯までさうやすやすと突破出來るとは考へられない、問題は攻勢開始後の一定期間陸空一體となつての反樞軸軍の集中攻撃をドイツ軍が支へ得るかどうかにありこの期間を支へ切れれば情勢はドイツ軍にとり著しく好轉することにならう、しかし以上は戦局を西部戦線のみに限定しての考へであり、東部戦線における赤軍の壓迫を考慮する時ドイツ軍にとつて前途は些かの樂觀も許さない

同盟通信

東京都麹町區日比谷公園二番

發行所 同人盟通信社

發行編輯印刷人 萩野伊八

海外電報索引

(昭和十九年十月十六日—三十一日)

項目	頁	項目	頁
【米 國】		デニウイ日獨擊破を演説……	二四四
「歐洲戦争は本年中に終了するか……」	二三八	ルーズヴェルト選舉運動開始……	二四三
新聯盟は「征服者聯盟」……	二三七八	飽くまで無條件降伏を要求……	二四四
對西買付け停止……	二三七八	クリーヴランドで大爆發……	二四四
戦時財政状況……	二三七八	眞珠灣報告無期延期……	二四五
戦艦デキカス修理……	二三七八	駐ソ大使歸國……	二四五
獨全都市を廢城と化さん……	二三八〇	公債激増二千十億弗……	二四五
婦人部隊ニューギニアへ……	二三八〇	軍需工業の事故……	二四五
日本人強制立退き事件裁判開始……	二三八〇	飛行機生産高内譯……	二四五
國際通商會議代表決定……	二三九	海軍兵員損害……	二四五
世界労働組合聯合案……	二三九	リンドバーク戦間に参加……	二四五
來襲艦隊は第五十八機動部隊……	二三九	駐英大使も歸國せん……	二四五
ニミツ司令部サイパンに移轉か……	二三九	九月中の反樞軸向食糧供給量……	二四六
海兵隊、航空部隊陸戦に参加……	二三九	瑞典紙敗戦を指摘……	二四六
對米感情の悪化を指摘……	二三九	比島侵攻案構成……	二四六
公債利子四十億弗……	二三九	モスクワ米特派員呼び戻し……	二四六
B 29の大量生産開始……	二三九	アラスカ防衛司令官……	二四六
B 29製作費三百三十萬弗……	二三九	比島作戦と選舉戦……	二四六
十月十四日現在の海軍損害……	二三九	攻撃用舟艇建造遅延……	二四六
第十五航空隊副司令……	二三九	流星彈を試作……	二四六
國際協力は痴人の夢……	二四〇	戦後は英國の負債國か……	二四六
バラグアイ油田獲得……	二四〇	ハリマンの報告を否定……	二四六
混亂から黙認へ……	二四〇	佛凍結金解放せん……	二四六
陸軍航空隊の配置状況……	二四〇	カルカッタへの空路計畫……	二四六
「紐育タイムズ」紙ル大統領を支持……	二四〇	反亂黒人は全部有罪……	二四六
投票率激減せん……	二四〇	ハワイ戒嚴令撤廢……	二四六
紐育株式敗戦に敏感……	二四一	オクラホマ再就役……	二四六
軍需生産額減少……	二四一	勝利に至る前奏曲……	二四六
大西洋横斷輸送額減少……	二四一	眞珠灣事件の調査公報を要望……	二四六
婦人航空隊員は除隊……	二四二	兵員損害四十七萬二千……	二四六
海軍將官八名戦死……	二四二	ルーズヴェルトこそ孤立主義者……	二四六
軍需品減産に警告……	二四二	陸軍新參謀次長……	二四六
デニウイ優勢に轉ず……	二四二	ヴァチカン壓迫か……	二四六
ル大統領の秘密外交を攻撃……	二四三	徴兵方針を變更……	二四六
大掛りなノルマンディ上陸作戦……	二四三	大統領海軍日聲明……	二四六
海軍の生産計畫削減なし……	二四三	佛國內に銀行支店再開……	二四六
攻撃用舟艇の建造遅延……	二四三	駐英大使歸國……	二四六
余剰軍需資財額……	二四三	補給の困難を訴ふ……	二四六
人口増加、最高記録……	二四三	艦船十七隻喪失を發表……	二四六
舊羅國王の上陸禁止……	二四三	スチルウェル更迭……	二四六
重慶、商業代表到着……	二四三	蔣介石との對立が原因か……	二四六
陸海軍損害……	二四三	ルーズヴェルト選舉演説……	二四六
空母二隻命名……	二四三	「タイムズ」誌ソ聯を非難……	二四六
人造ゴムの將來……	二四三	ソ聯の經濟進出を憂慮……	二四六
眞珠灣報告發表を遷延……	二四四	ソ聯に發電機供給……	二四六
人的量に代る物量作戦……	二四四		
歐洲戦終りと市民生活……	二四四		

【友權轉讓】

八月現在輸出高	二五〇	二五三八
艦隊の増強を誇る	二五〇	二五三九
海軍新編入の艦艇	二五〇	二五三九
比島海空戦の損害小出し發表	二五〇	二五三九
ロケット砲生産に大進	二五〇	二五三九
陸軍飛行士訓練狀況	二五〇	二五三九
歐洲戰終了後にも緊急不足物資	二五〇	二五三九
一・七五トンの血液を空輸	二五〇	二五三九
モロトフ、波首相と會見	二三八	二三八一
アンラ重慶支部長決定	二三八	二三八一
歐洲侵攻軍報道部バりに移轉	二三八	二三八一
ソ波兩國の紛争解決に大進	二三八	二三八一
英ソ波連日會談	二三八	二三八一
チャーチルは米國を代表せず	二三八	二三八一
バルト國民會議米英に泣訴	二三八	二三八一
ド・ゴール艦隊をふりまく	二三八	二三八一
ド・ゴール政權とマキ匪國和解	二三八	二三八一
ド・ゴール政權を事實上承認	二三八	二三八一
英國は重慶の公敵第一號	二三八	二三八一
バルカンを繞る英ソの確執	二三八	二三八一
紛争解決の基礎	二三八	二三八一
東南アジア反樞軸航空司令任命	二三八	二三八一
歐洲交通會議開催	二三八	二三八一
中立國は會議出席の權利なし	二三八	二三八一
アイゼンハワー指揮權を掌握	二三八	二三八一
傷病兵十萬餘を後送	二三八	二三八一
アンラ重慶支部次長を任命	二三八	二三八一
スチルウェル白崇禧等と協議	二三八	二三八一
米代將獨軍の捕虜	二三八	二三八一
モスクワ會談妥結に至らず	二三八	二三八一
米軍、二十五ヶ師を使用	二三八	二三八一
ルブリン政權ロンドンへ代表	二三八	二三八一
亡命波首相ソ聯の提案を拒否	二三八	二三八一
マロリー轉出は重慶のため	二三八	二三八一
ド・ゴール政權を承認か	二三八	二三八一
モスクワ會談の公報	二三八	二三八一
ソ波紛争は一應落着か	二三八	二三八一
佛大半の軍政撤廢	二三八	二三八一
ド・ゴール政權を臨時政府として承認	二三八	二三八一
英國政府の公報	二三八	二三八一
ソ聯全的にド・ゴールを支持	二三八	二三八一
承認の實質的意義	二三八	二三八一
内部地帯の行政權	二三八	二三八一
三國首腦會談明年一月か	二三八	二三八一
波亡命政權を痛烈に非難	二三八	二三八一
モスクワ會談は物別れか	二三八	二三八一
三國會談より直しか	二三八	二三八一
重慶は反樞軸四大國に屬せず	二三八	二三八一
更に三ヶ國佛政權を承認	二三八	二三八一
地中海副司令官就任	二三八	二三八一

【亡命政權】

【米 洲】

西亞プロツクの結成を企圖	二四七	二四九四
米英兩國代表も退去	二四七	二四九四
ソ聯、アンラ代表の入國拒否か	二四七	二四九四
重慶も佛政權を承認	二四七	二四九四
西部戰局長期戦化せん	二四七	二四九四
米英兩國、伊政權を正式承認	二四七	二四九四
續々ド・ゴール政權を承認	二四七	二四九四
米、ソ聯の外交政勢に不安	二四七	二四九四
休戦條件で米ソ對立	二四七	二四九四
ソ聯對獨態度を闡明	二四七	二四九四
赤軍の諸領進出に英憂慮	二四七	二四九四
ソ聯、重慶もボノミ政權を承認	二四七	二四九四
波政權南米落ちか	二三八	二三八一
波政權は否定	二三八	二三八一
希政權本國歸還	二三八	二三八一
ベルギー政權の危機	二三八	二三八一
ギリシャ内閣改組	二三八	二三八一
諸、赤軍との協力を協調	二三八	二三八一
諸政權モスクワに代表派遣	二三八	二三八一
グワテマラで革命勃發	二三八	二三八一
亞國、獨伊語紙發禁	二三八	二三八一
暴徒ホンジュラスに侵入	二三八	二三八一
伯艦隊南大西洋を哨戒	二三八	二三八一
中南米の對亞輸出増加	二三八	二三八一
亞現役將校軍務に復歸	二三八	二三八一
グワテマラに革命起る	二三八	二三八一
ホンジュラスにも革命騒動	二三八	二三八一
サルヴァドル大統領辭職	二三八	二三八一
メキシコ灣岸一帯の颶風	二三八	二三八一
グワテマラ新政府の聲明	二三八	二三八一
グワテマラ前大統領亡命	二三八	二三八一
ホンジュラス革命軍勝利	二三八	二三八一
グワテマラ内閣成立	二三八	二三八一
サルヴァドル新内閣	二三八	二三八一
伯基地を對日戦に使用か	二三八	二三八一
亞國汎米會議召集	二三八	二三八一
米、亞國の提案に驚く	二三八	二三八一
イ・デン言明続れる	二三八	二三八一
勃政府を難詰	二三八	二三八一
ヨーク大司教對獨政策を説く	二三八	二三八一
米英ソ提案を強調	二三八	二三八一
聯邦黨労働黨合流を企圖	二三八	二三八一
印度へ小麦三十萬噸	二三八	二三八一
炭坑夫賃金値上げを要求	二三八	二三八一
ドデカネーゼ歸屬問題重大化	二三八	二三八一
東亞向武器を歐洲へ	二三八	二三八一
兵員の損害十萬	二三八	二三八一
芬との空路再開	二三八	二三八一

同盟通信

海外電報

第三種郵便特許

項	目	號數	頁
戰費二百三十八億磅		二四三	二四三九
會議派一萬五千名を釋放		二四四	二四四一
ソ聯勞働組合を國際勞働局へ		二四四	二四四二
西アフリカ軍司令任命		二四四	二四四二
首相等相次いで歸任		二四四	二四四二
モスクワ會議の結果に失望		二四四	二四四二
有力艦隊を對日戰に廻航		二四四	二四四二
獨潜水艦戰再開		二四四	二四四二
流星彈攻撃連續十日		二四六	二四八〇
イーデン東地中海領域に動		二四六	二四八二
チャーチル下院に報告せん		二四六	二四八二
「ロシアと西亞」		二四六	二四八二
ビザアリツヂ下院議員に當選		二四七	二四九四
西亞プロックの結成を企圖		二四七	二四九五
流星彈依然猛威を揮ふ		二四八	二四九八
ソ聯の西亞政策に神經過敏		二四八	二五〇二
亞國武官本國引揚げ		二四八	二五〇二
遠征期間短縮案		二四九	二五〇二
内債一人當り五百磅		二四九	二五〇二
流星彈防衛に十萬人		二四九	二五〇二
伊政權と大使を交換		二四九	二五〇二
芬駐割代表を任命		二四九	二五〇二
カンタベリー大司教死去		二四九	二五〇二
モスクワ會議の經過報告		二五〇	二五〇二
東亞反攻作戰に軍需轉換		二五〇	二五〇二
ソ聯の印度進出を危惧		二五〇	二五〇二
芬ソ首腦英大使館で會談		二三八	二三八一
波首相モスクワ到着		二三八	二三八一
波問題の記事打電を禁止		二三八	二三八一
「旅順はロシアの港」		二三八	二三八一
開戦以來の赤軍損害千二百萬		二四二	二四三四
比島作戰の困難を指摘		二四二	二四三四
ベツアモ・ニツケル鐵山買上げ		二四二	二四三四
トルコ大使着任		二四二	二四三四
カレロ、フィン外相と決定		二四二	二四三四
バルト三國にも入るを許さず		二四二	二四三四
反樞軸通商會議に参加		二四二	二四三四
メレツコフ、元帥に昇進		二四二	二四三四
砲兵記念日を制定		二四二	二四三四
議長を政治局名譽書記長に		二四二	二四三四
イラン内閣を扱き下ろす		二五〇	二五三六
空路會議に不参加		二五〇	二五三六
對諾態度表明		二五〇	二五三六
モスクワ會談は成功		二五〇	二五三六
侵入軍の暴狀		二三八	二三八一
俘虜虐殺のデマを否定		二三八	二三八一
ロメル元帥戰死		二三八	二三八一
在獨邦人獨軍に離金		二三八	二三八一
一萬三千三百餘機を撃墜		二三八	二三八一
西部戰線の敵損害		二三八	二三八一
夜間空中戰の勇士國葬		二四〇	二四〇三
ゲイリグ元帥新兵兵器工場を激勵		二四〇	二四〇三
ベルリン各紙大戦果を絶讃		二四〇	二四〇三
國民突擊隊を組織		二四〇	二四〇三
國民軍の一部を構成		二四〇	二四〇三
ヒトラー總統布告全文		二四〇	二四〇三
斷乎交戦せん		二四〇	二四〇三
東普國境都市陷落		二四二	二四二八
獨擊襲撃勢成る		二四二	二四二八
ザイドリツツ委員會の策動を暴露		二四二	二四二八
突擊隊は公然たる武裝部隊		二四二	二四二八
將校五萬人戰死		二四二	二四二八
國民突擊隊結成細目		二四三	二四四二
洪戰線の軍司令官		二四三	二四四二
學校の根こそぎ動員		二四三	二四四二
海軍の戰果を發表		二四三	二四四二
「國民戰爭」に躍起		二四三	二四四二
戰費一千五百億マルク		二四三	二四四二
ロメル元帥負傷の模様		二四三	二四四二
外務當局對西見解表明		二四三	二四四二
配給食糧に不安なし		二四三	二四四二
ゲッベルス博士戰況を説く		二四三	二四四二
東西兩戰線最高司令官を公表		二四三	二四四二
戰死將官名を發表		二四三	二四四二
スペイン情勢の複雑化		二三八	二三八一
西政府國境不穩につき聲明		二三八	二三八一
佛西兩國の國境閉鎖か		二三八	二三八一
亡命共和派スペイン領に侵入		二三八	二三八一
赤系スペイン人處刑		二四三	二四三九
再び西佛國境を閉鎖		二四三	二四三九
葡國會外交政策を討議せず		二四三	二四三九
佛西國境事件は續く		二四三	二四三九
獨人一千二百名西領土へ		二四三	二四三九
米英兩國の不當要求を拒否		二四三	二四三九
西、フアランへ黨政治會議召集		二四三	二四三九
西政府デマを反駁		二四三	二四三九
西海軍最高會議を開催		二四三	二四三九
越境共產分子を掃蕩		二四三	二四三九
「フランス」		二三八	二三八一
ド・ゴール政權佛印奪回を呼號		二三八	二三八一
ルブラン大統領正式辭任		二三八	二三八一
住宅喪失人口六十萬		二四一	二四二〇
ヴィシー要人を死刑		二四一	二四二〇
西領事館事實上閉鎖		二四四	二四四八
佛政權對日義勇軍を徵募		二四四	二四四八
現法王使節を承認		二四四	二四四八
西亡命大統領乗込む		二四四	二四四八
「西亞」		二三八	二三八一
シリア内閣總辭職		二三八	二三八一
シリア新内閣成る		二三八	二三八一

イラン、石油交渉を拒否……………	二四〇	二三九八
トランスヨルダン首相挂冠……………	二四〇	二四〇四
パレスチナ地方のユダヤ人結社……………	二四二	二四三四
イラン、石油利権譲渡拒否……………	二四四	二四五七
アラブ代表米との會談拒否……………	二四四	二四六九
拘禁のテロ分子を移す……………	二四四	二四九四
不穩の形勢對策に腐心……………	二四四	二五〇八
トランスヨルダン後繼内閣……………	二四四	二五二六
ソ聯紙イラン内閣を攻撃……………	二四五	二五三六
頻りにイラン政府を攻撃……………	二四七	
イランで特別議會を要求……………	二四八	
英軍代將がユダヤ旅團司令に……………	二四九	
イラン内閣遂に辭職か……………	二五〇	

【特 輯】

マツカーサーの夢比島侵攻作戰……………	二三八	二三八七
ペタン政府その後……………	二四〇	二四〇九
飢ゑるフランス……………	二四〇	二四一一
佛西國境の不穩……………	二四一	二四二二
泡沫のドイツ處理案……………	二四三	二四四三
ボンベイ會談とその反響……………	二四四	二四五九
ソ波問題の脚註……………	二四五	二四七一
西歐洲聯盟案……………	二四六	二四八六
ド・ゴール十月の陣……………	二四九	二四九三
白赤テロの恐怖時代……………	二四七	二五〇六
ケベックからモスクワへ（上）……………	二四八	二五一四
ケベックからモスクワへ（下）……………	二四九	二五二七
西部戦線を空からみる……………	二五〇	二五四三

【資 料】

流星彈と英國側の對策……………	二三九	二三九六
第二戦線への補給……………	二三九	三九九七
米英兩國の輸出貿易……………	二四〇	二四〇五
勞働の蒸發……………	二四〇	二四〇六
瑞典紙の米大統領選舉戰觀……………	二四〇	二四〇七
米國財界の描く夢……………	二四〇	二四〇八
流行性感冒の豫防接種……………	二四〇	二四〇八
英國政府の一部復員白書……………	二四一	二四一五
「タイムズ」紙の一部復員案評……………	二四一	二四一六

バルカン、地中海における利害の對立……………	二四一	二四二六
ソ聯經濟復興を繞る諸問題……………	二四二	二四三七
英國政府戰時加俸白書……………	二四四	二四六四
反樞軸聯盟案全文……………	二四五	二四七四
イタリヤ關係を繞つて……………	二四六	二四八五
アルンヘム戰況報告……………	二四七	二五〇七
失明せる巨人……………	二四八	二五一七
米紙、援蔣不足の辯……………	二四八	二五二〇
米國戰時經濟近況……………	二四九	二五三二
バラクーダ機の生産……………	二五〇	二五四七
耐火建築……………	二五〇	二五四八

【イタリア】

ム統帥ファシズム精神を強調……………	二三九	二三九二
政府閣議を開く……………	二四〇	二四〇三
ファシスト黨本部をミラノへ……………	二四〇	

【トルコ】

政府閣議を開く……………	二三九	二三九三
首相英ソ兩大使と會見……………	二四二	二四三四
貨幣換算率の切下げを要求……………	二四四	二四五七
ソ聯ダーダネルス開放を要求……………	二四九	二五二六

【東南歐】

元首相等を逮捕……………	二三九	二三九三
洪裏切を未然に阻止……………	二四〇	二三九九
ヒムラー内相洪都乗込みか……………	二四〇	
ハンガリー軍司令官更迭……………	二四〇	
矢十字黨は政黨禁令から除外……………	二四〇	
ホルテイ議會に聲明……………	二四〇	
ハンガリー攝政並びに内閣更迭……………	二四〇	
洪新政府、國民に布告……………	二四〇	
一部裏切分子の策動……………	二四〇	
勃休戰委員モスクワ到着……………	二四〇	
羅政權の内訌深刻……………	二四〇	
羅傀儡總司令任命……………	二四〇	
ネデイッチ内閣首都を去る……………	二四一	二四二二
米英ソ三國のいづれを選ぶか……………	二四一	
羅政府續々要人を逮捕……………	二四一	
洪攝政會議を新設……………	二四二	二四三三
新首相布告……………	二四二	
新政府初閣議……………	二四二	
國立銀行總裁を更迭……………	二四二	
ネデイッチ政府維納へ……………	二四二	
勃の肅正工作續く……………	二四二	
洪國民協會、新政府を承認……………	二四三	二四四二
洪新首相施政方針を闡明……………	二四三	

項目 頁

洪新外相外交方針を説明……………	二四三	二四四二
アテネで赤白兩派衝突……………	二四四	二四五八
ホルテイ前攝政ドイツへ……………	二四四	二四五八
アテネの赤色騒擾續……………	二四六	二四八三
希首相領土擴大を要求……………	二四六	二四八三
勃政府元首相らを審問……………	二四七	二四九四
國家主義分子を彈壓……………	二四七	二四九四
バルカンの勢力範圍……………	二四九	二五二五
油田視察を許さず……………	二四九	二五二五
イーデン、アテネに乗込む……………	二五〇	二五三六
希遊撃軍チトー軍と合流……………	二五〇	二五三六
チトー、マケドニア獨立を工作……………	二五〇	二五三六
アルバニア國民委員會結成……………	二五〇	二五三六
ブルガリア休戰協定成立……………	二五〇	二五三六

【北歐】

瑞典、對獨輸出再開か……………	二四〇	二四〇三
英國委員會もヘルシンキ到着……………	二四〇	二四〇四
瑞、對獨球軸承輸出再禁止……………	二四一	二四二二
芬軍の復員期限延長……………	二四二	二四三三
元芬外相逝去……………	二四三	二四三九
フィンランドに共產黨……………	二四三	二四六九
ソ芬兩國の友好關係を説く……………	二四四	二四六九
アイスランド新内閣の施政方針……………	二四四	二四六九
スエーデン國會開……………	二四四	二四六九
瑞芬兩國間の航路再開……………	二四九	二五二六

【南伊】

ボノミ政權外交代表を任命……………	二四〇	二四〇三
シチリア島に暴動起る……………	二四三	二四三八
米英兩國大使派遣……………	二四五	二四七〇
チャーチル、ローマにも立寄る……………	二四六	二四八四
新伊通信社誕生……………	二四七	二四九九
獨立黨本部を閉鎖……………	二四七	二四九九
バレルモの暴動は今後への警報……………	二四九	二五二六
ビニ博士國務次官に就任……………	二四九	二五二六

【軍事情報】

對戰車新火器……………	二四〇	二四〇四
獨新兵器「機雷敷設戰車」……………	二四五	二四七〇
敵冬季戰用新兵器……………	二四六	二四八四
英國の高射機關砲……………	二四六	二四八四
獨新兵器「死神の鎌」……………	二四七	二四九三
米新型平射迫撃砲……………	二四七	二四九三
テンベスト機の形狀……………	二四九	二四九三

【海軍】

自由黨を結成……………	二四一	二四二二
太平洋の補給難を説く……………	二四二	二四二八
重慶駐劄公使華府へ轉任……………	二四二	二四二八
新聞爭議落着……………	二四二	二四二八
【ヴァチカン】……………	二四二	二四二八
對ソ友好關係樹立を要請……………	二四二	二四二八
【カナダ】……………	二四二	二四二八
英聯邦空路會議開……………	二四二	二四二八

項目 頁

【北ア】……………	二四六	二四八四
埃元首相釋放……………	二四六	二四八四
チャーチル、カイロで軍事會議……………	二四六	二四八四
イーデン、カイロ着……………	二四六	二四八四
【印度】……………	二四六	二四八四
カンジー翁また斷食か……………	二四六	二四八四
高等辨務官更迭……………	二四六	二四八四
【重慶】……………	二四六	二四八四
難民で重慶人口膨脹……………	二四六	二四八四
【歐洲戰局】……………	二四六	二四八四
獨軍ベルグラードを撤收……………	二四三	二四二八
デブレツェン拋棄……………	二四三	二四二八
アーヘン大物量戰……………	二四三	二四二八
アーヘン市硝煙散る……………	二四三	二四二八
赤軍諸港を占領……………	二四三	二四二八
ルシヤワ北方で赤軍新攻勢……………	二四三	二四二八
赤軍を東方に撃退……………	二四三	二四二八
デブレツェンで赤軍主力を殲滅……………	二四三	二四二八
オランダ中部の戰鬭激化……………	二四三	二四二八
加軍の突入企圖を撃破……………	二四三	二四二八
英軍ヘルトゲンボツシュへ突入……………	二四三	二四二八
獨軍敵の新上陸を粉碎……………	二四三	二四二八



昭和十九年十一月十六日(木)
第三二四二號

同盟通信

海外電報

(263)

【目次】

エール、英國の要求を一蹴	二七一八
ユニオン・ジャックを掲揚せん	〃
ロシア人民解放委員會を結成	〃
米英、葡領の租借要求か	〃
B 29工場罷業	〃
ガウス大使重慶を去る	二七一九
V二號の災害は自業自得	〃
獨逸艦、六ヶ師を釘付け	〃
テイルビツツ行動不能に陥る	〃
D・ゴール、スターリンをも詔請	〃
英女子航空隊の一部印度に移駐	〃
サルタン、在緬重慶軍の指揮兼任	〃
【米 國】	二七二〇
膨大な消費を説く	〃
獨系カルテル抹殺案	〃
十四日から議會再開	〃
新國際裁判所に反對	〃
新知事顔觸れ	〃
伊鐵道の買収を交渉	二七二一
潜水艦「ダーター」號沈没	〃
【友樞輪陸鑒】	〃
ソ聯はテヘラン宣言に背馳	〃
マクミラン、伊管理委員長に	〃
リース着任	〃
【英 國】	二七二二
和蘭避難民の移轉を考慮	〃
石炭生産激減	〃
駐加高等辦務官辭職	〃
【北 歐】	〃
瑞政府、獨に抗議	〃
バイシキヴィ組閣か	〃
【イヘリア】	〃
西、對米洲局設立	〃
クロム、ニツケルを政府で管理	〃
【南 伊】	〃
ボノミ遂に投げ出し	〃
【ラ 聯】	二七二三
ラトヴィア外相決定	〃
二百萬足の義足を注文	〃
【東 南 歐】	〃
アテネ不穩	〃
希政權新通貨發行	〃
マニユーの罷免を要求	〃
ブルガリア壯丁動員	〃
【印 度】	〃
ネールらは州政府が拘禁	〃
シンド州關係増員	〃
【樞 軸 國】	〃
最高國防會議を設置	〃
【特 輯】	〃
スチルウェル召還問題の全貌(中)	二七二四—二八
エビローグ・ビレネアン	二七二九—三一
【資 料】	〃
イラン石油問題について	二七三二



工業界が民需物資を製造してどんどん輸出し米國品と競争するのは、正に宋襄の仁ではないかといふ、結局「ニユーヨーク・タイムズ」紙のせりふによれば「米國の非貨は獨り英國の勝利を支援するばかりでなく、英國の復興をも支援する義務を負ふかどうか」が問題なので、最後の裁断は米國議會に仰ぐほかはないといふところだ、ケインズ卿の交渉も仲々捗取らぬので「デリット・ヘラルド」紙の報道では、英國政府は愈々近く「破産白書」を發表する豫定だと傳へられる、つまり今回の戦争で英國が如何に深刻な財政的危機に陥つたかを數字を基礎に全世界にぶちまけて、米國の援助を得ようといふ魂膽だ、伯夷傳の口吻を借りれば、歐洲戦争がまだ片付かぬのに早くも經濟戰を始める米英兩國は、豈盟邦といふべけんやだ

エール、英國の要求を一蹴

(ストックホルム十四日發) 英國政府は過般來各中立國に働きかけ樞軸各國のいはゆる「戦争犯罪人」に對し國際法上の「庇護權」を行使しないやう理不盡の要求を提出してゐるが、エール首相デ・ヴァレラ氏は以上英國政府の要求を一蹴した、ロンドン來電によれば自治領次官ボール・エメリス・エヴァンスは右經緯につき十四日英國下院で次の通り言明したと傳へられる

エール政府は樞軸國の戦争犯罪人が亡命を企圖する場合拒否するやうとの反樞軸各國の要求を拒否した、同國政府の見解によれば國際法上の庇護權が問題になつてゐる譯ではないから正義と人道と榮譽乃至自國の利益に鑑み必要と考へられる場合亡命人士に庇護を與へない旨公約することは出来ぬといふのである

ユニオン・ジャツク

(ストックホルム十四日發)

クを掲揚せん

ロンドン來電 自治領次官エヴァンスは十四日英國下

院において次の通り言明した

從來ダブリン駐劄英國公館には英國旗を掲揚しない例であつたが、今回の戦争に對するエール政府の態度並びにダブリンの樞軸公館が自國の國旗を掲揚してゐる實狀に鑑み英國政府としても特殊の考慮を加へダブリン政府の公館にユニオン・ジャツクを掲揚するに決定した

ロシヤ人民解放委員會を結成

(ベルリン十四日發) プラード來電 元赤軍大將アンドレ・ウラソフ氏を首班とするロシヤ人民解放委員會は十四日プラード城の大廣間において各代表七十五名出席のもとに結黨式を舉行した、ベリメン・メーレン保護領統領ヘルマン・フランク氏の歓迎の挨拶についてウラソフ將軍は

解放委員會に包含されてゐるロシヤ人民代表はドイツ國民の忠實な盟友として勝利を収めるまで決して武器を横へない

旨を強調、満場一致宣言並びに綱領を採擇した、宣言要旨次の通り

現下の戦は兩政治體制の間における生死の争ひである、ボルシエヴィズム失政に鑑み委員會は一、スターリンの専制を覆へし人民をボルシエヴィズムから解放し一九一七年人民革命によつて確保した一般國民の權利を回復する
二、戦争を終結させてドイツ國との間に榮えある平和を締結する
三、ボルシエヴィストを加へず搾取分子を交へない新たな人民の自由な政府を樹立することを期する

米國、葡領の租借要求か

(ストックホルム十四日發) フォケツト・ダーダブラデツト紙十四日のリスボン特電は次の通り報じてゐる

米國はポルトガル領アゾレス諸島の航空基地獲得では英國に先を越されたが、今度アフリカにあるポルトガル領に着目し最近ポルトガル政府に對してアンゴラ及びモザンビークに米國の航空基地設定を承認するやう要求、基地地域の九十九ヶ年租借を申出た模様だ、米國政府はその代償としてこれ等ポルトガル領の防衛を引受ける旨提議してゐるが、ポルトガル政府も既に原則的に米國のこの要求を受諾することとなつたといはれる

B 29 工場

(リスボン十四日發) ニュー

罷業

ヨーク來電 ニュージャーシ州パタソン所在のライト航空機會社工場労働者約一千九百名は十三日から労働契約問題で罷業を開始、十四日にはパタソンを中心とするライト會社系五工場が閉鎖され三萬二千名の労働者が就業不能となつた、右五工場はいづれもB 29超空の要塞機の發動機製作にあたつてゐるが、戦時労働局は十三日罷業労働者に對し即時就業の最後通牒を發し、一方陸軍當局も罷業工場を接收すべく既に準備を開始した

ガウス大使

(リスボン十四日發) 重慶來

重慶を去る

電によればスチルウェル事件に關聯して辭職した重慶駐劄大使クラレンス・ガウスは十四日重慶を出發歸米の途についたといはれる

V二號の災害は自業自得

(ベルリン十四日發) ドイツ新聞長官代理ヘルムート・ズンダーマン氏は十四日、外人記者團會見においてV二號の使用に對する反樞軸軍の憤激を批判、次の通り言明した

ドイツ諸都市を盲爆し無數の市民を殺戮した敵の口から道徳云々を聞くとは全く妙な話だ、一般都市に對する空襲の回避に關するヒトラー總統の提案を英國が拒否した時、敵空軍がその殺人的成功を誇つた時、そして英國の僧正たちまでが前線の遙か後方におけるドイツ諸都市に對する爆撃機隊のテロ攻撃に祝福を與へた時、彼らはドイツの技術がかくも有効な報復兵器の創造に成功しようとは思はなかつたのだ、この種の空軍戦を開始したのはドイツではなくドイツの敵である、一九四二年六月のケルン大爆撃までは、ドイツの科學者たちは報復兵器發明の仕事に着手してゐなかつたのだ、最初V二號は敵の後方連絡線並びに兵器廠に對し使用されてゐたが、最近の總統大本營公報は新長距離兵器がアントワープの市街でなく港灣地區に對して使用されてゐることを明らかにした、反樞軸軍の道徳的憤激は、V一號及びV二號が新しい型の空中戦を開始したといふこと、それにより爆撃機が舊時代の兵器に顛落したといふことしかしてドイツが敵との間に技術的平衡を回復するだらうとのヒトラー總統の豫言が將に實現されんとしてゐるといふことに結局失望を味ふ以外はなかつたのである

獨潜艦、六十個

(ベルリン十四日發) ドイツ海軍當局はドイツ潜水艦攻勢の演ずる巨大な役割に關し十四日次の通り言明した

ドイツ潜水艦は過去十九ヶ月間に反樞軸船舶約二百七十萬トンを撃沈したほか、驅逐艦及び各種護送用艦艇百八十隻を海の藻屑と化した、以上のドイツ潜水艦攻勢は反樞軸軍をして七つの海において大規模な防禦及び保護措置の實施を餘儀なくさせてゐる、即ち反樞軸海軍は補助空母五十隻、驅逐艦百十隻、護送用驅逐艦、フ

リゲート艦四百隻、コルヴェット艦二百五十隻大型驅潜艇百五十隻、小型驅潜艇二百五十隻のほか四發爆撃機三千八百機の龐大な勢力をもつてドイツ潜水艦の活躍に對抗してゐるが、以上に要する兵員は最少限百萬を算する、この數字は歐洲戰域に増強すべき兵力六十個師を對潜水艦戦に釘付けにしてゐることを示すものだ

テイルビッツ行動不能に陥る

(ベルリン十四日發) 總統大本營十四日正午發表「ドイツ戰艦テイルビッツの乗員は數ヶ月間にわたつて英空軍の攻撃を邀へて勇戦力闘多大の戦果を収めてゐたが、テイルビッツは北部ノルウェー水域において反樞軸空軍の爆撃を蒙り遂に行動不能状態に陥つた、但し乗員の大部分は救助された、テイルビッツはドイツチェランドと共にドイツ最大の戦艦で、公稱トン數三萬五千トン、實際のトン數は四萬一千トン程度、一九三六年着工して一九四一年完成、裝備武器十五吋砲八門、五・九吋砲十二門、四・一時砲十六門、飛行機四機を搭載する

ド・ゴール、ス
(ストックホルム十四日發) バリからのUP電報によればド・ゴールはチャーチル、

タリーンを招請
ルーズヴェルト以外にもスターリン議長をもパリに招請してゐると傳へられる、但しスターリン議長は國務多端を理由に招請を拒否すると見られる

英女子航空隊の一部印度に移駐

(リスボン十三日發) ロンドン來電によれば、英國士官及び女子補助航空隊員五百名からなる第一班が近く英本國から印度に到着する豫定で、到着と共にニューデリー、ボンベイ及び東南アジア空軍司令部を含むセイロン各部隊に配属される筈であるといはれる

サルタン在緬重慶軍の指揮兼任

(リスボン十三日發) カンデイ來電によれば在印緬米軍司令官中將ダニエル・サルタンは十二日ミイトキナンの司令部において就任以來最初の記者團會見を行ひ同中將が蔣介石により在緬重慶軍の新編第一軍及び第六軍の指揮官に任命された旨發表した

【米 國】

龍 大 な

消費を説く

で次の通り言明した

歐洲戦線のアイゼンハワー軍は最初の計算では三十五日間の作戦に十分と思はれた重火器用の彈藥を現在は十日間で消費してゐる、一方太平洋戦線ではマツカーサー軍は過去十六ヶ月間に消費したと略々同量の彈藥を十一月中だけに費消してしまふ計算だ、米國軍のトラックや戦車の損耗も著しく例へば歐洲戦線の米國軍だけでも毎月平均戦車五百臺、トラック九百臺を喪失してゐる、即ち現在の各戦線における軍需品の消耗は米國軍需産業の生産量を遙かに凌ぎ、前線に潤澤な補給を續けるためには軍需労働者は超人的努力を拂はなければならぬ

獨系カルテル

抹殺案

國として抹殺するためにはドイツ系の國際カルテル組織を根柢から破壊する必要のあることを強調した、諸點からなるドイツ系カルテル抹殺案を發表した

一、ドイツの海外經濟進出機構の全貌を明らかにするためあらゆる情報の蒐集

一、ドイツが海外において有する資産及び利権目錄の完全な蒐集

一、反樞軸國內にある全ドイツ資産の沒收

一、中立國內にあるドイツ系資産の反樞軸國への引渡しを要求、しからざる場合はこれらからドイツの勢力を一掃す

十四日から

議會再開

トシ來電上下兩院は大統領並びに議員選舉のため九月二十一日以來休會中だつたが、十四日から再開することとなつた

新國際裁判所に

反對

官ハルに對し左の建言書を提出した

米國政府としては新たに國際司法裁判所を設立することなく、從來の裁判所に必要な修正を加へてこれを存続せしむべきである、もしダンバートン・オークス會談の提案が採擇されて全く新たな司法裁判所が設立されるならば、何年もの討議によつて漸く圓滿な解決の見出された國際紛争事件が再び紛糾を來すべく、さらに現在の效力の認められてゐる數百にも上る國際條約を危殆に陥れることとならう

右建言書にはチャールス・ヒューズ、ジョン・ハセツト・ムーア、デーヴィッド・シモンズなど米國有数の法律家が署名してゐる

新 知 事

顔 觸 れ

選出された各州知事左の通り

△民主黨

アリゾナ州シドニー・オズボーン、アーカンソー州ベン・レーニー、フロリダ州ミラード・コールドウエル、アイダホ州チャールス・ゴセツト、マサチューセツツ州モリス・トビン、ミズリー州フイリツプ・ドネリー、ニューメキシコ州ジョン・デンブシー、ノースカロライナ州グレッグ・チェリー、オハイオ州フランク・ローシュ、ロードアイランド州ハワード・マツクグラフ、テネシー州ジム・マツコッド、テキサス州エイク・ステイヴンソン、ユタ州ハーバート・モイ、ワシントン州モン・ウオルグレン、ウエストヴァージニア州クレアランス・メドース

△共和黨

コロラド州ジョン・ヴィヴィアン、コネチカツト州レイモンド・ボールドウイン、デラウェア州ウォルター・ビーコン、イリノイ州ドワイト・ダリオン、インディアナ州ラルフ・ゲイツ、アイオワ州ロバート・キヤンサス州アンドリュイ・シエツペル、メーン州ホレーヌ・ヘルドレス、ミシガン州ハリー・ケリー、ミネソタ州エドワード・サイ、モンタナ州サム・フォード、ネブラスカ州ドワイト・グリスウオルド、ニューハンプシャー州チャールス・デイル、ノースダコタ州フレツド・ランダール、サウスダコタ州M・Q・シャープ、ヴァモント州モイ・デイマー・プロクター、ウイスコンシン州ウォルター・グッドランド

伊鐵道の

買収を交渉

(ベルリン十三日發)「ドイ
チエ・アドリア・ツアイツン
グ」紙は十三日次の通り報じ
てゐる

米國の金融資本がイタリア國有鐵道の買収交渉
を進めてゐる、イタリアの鐵道はムツソリーニ政
權の下において停車場の増設或ひは電化等により
大いに近代化されイタリアの有する最大の資産と
いふことが出来よう、米國がイタリアを經濟的に
傀儡化せんとする工作はこの他にも各方面で着々
進められてをり、米國資本によるイタリア重工業
の買収折衝も行はれてゐる

潜水艦

ダーター號沈没

(リスボン十三日發)ワシン
トン來電「海軍省は十三日潜
水艦ダーター號が暗礁に乘上
げ自沈した旨發表した、ただし遭難水域は全然發
表されない、なほダーター號は一九四三年就役一
千五百二十五トンのカドー級潜水艦である

【反樞軸陣營】

ソ聯はテヘラン

宣言に背馳

(リスボン十二日發)北部イ
ランの石油利權を繞るソ聯、
イラン兩國間の紛争は遂にモ
ハメド・サエド内閣の總辭職まで發展したが、英
國言論界はいづれもイランにおける英國勢力に對
する重大脅威としてソ聯の高壓政策を内心不快視
しながらも、公然とソ聯を非難する一派とソ聯に
遠慮して英國政府の調停を要望する派に甚然と分
れてゐる、前者を代表するものは英國日曜新聞の
「オブザーヴァ」紙で、十二日の社説でソ聯の非
を鳴らして次の通り論じてゐる

ソ聯、イラン兩國間の紛争がサエド内閣の總辭
職によつて鼻がついたと考へるのは間違ひだ、
米英兩國はテヘラン會談において北部イランは
ソ聯の勢力圏に含まれることを承認したが、そ
の結果ソヴェト政府は北部イランにおける石油
利權を要求する當然の權利があると考へたらし
い、ソヴェト政府はイランの内政に干渉しない
と誓約したが、イラン政府はソ聯がイランの各
地に政府反對の示威運動をでつちあげ内政に干
渉してゐる事實を捉へてソヴェト政府を非難し

てゐるのだ、サエド首相の後繼者が誰であらう
と、新首相はサエドの政策を踏襲するであらう
から、石油利權問題に關するイラン政府の既定
方針が變更されることはあるまい

以上に對し後者を代表するのは「タイムズ」紙に
次いで有力な「マンチエスター・ガーディアン」
紙で十二日の社説で次の通り述べてゐる

十九世紀のトルコの例にもみられるやうに、二
大強國の緩衝國たる運命を擔はされた國は結局
は紛争の種となる、もしもイランが經濟上の助
言乃至援助を受けずに放置されるならば、遅か
れ早かれ無政府状態に陥り、崩壊してしまふの
が落だ、從つて英ソ兩國は他國の嫉視隱謀の的
になることも敢へて辭せず、積極的にイランの
内政に干渉してやるべきである、イランの安定
と繁榮は英ソ兩國の共にする利益である、英ソ
兩國はイランの經濟生活を向上せしめる共同の
責任を負ひ、ここに兩國の協力關係がなければ
ならない

他方米國でもソ聯の態度を非難する聲は英國に劣
らず「イヴニング・スター」紙はテヘラン宣言に
背馳すると次の通り攻撃してゐる

ソ聯のラジオや新聞は盛にイラン政府を攻撃し
てゐるが、テヘラン會談後に發表された公報で
はイランの獨立が明確に保障されてあつた筈だ
もしもイラン政府が妥當と考へるやうに内政乃
至經濟上の問題を處理出来ぬならば、テヘラン
宣言是一片の空文に過ぎぬではないか

マクミラン

伊管理委員長に

(リスボン十日發) ロンドン
來電「地中海方面反樞軸軍司
令部は英國全權ハロルド・マ
クミランがイタリア管理委員會委員長に任命され
た旨十日公表した

リース着任

(リスボン十二日發) カンデイ來電
によれば去る三日附でイタリア戰線の英第八軍司
令から東南アジア反樞軸軍麾下の第十一集團軍司
令に轉出した英陸軍中將オリヴァ・リースは十二
日カンデイに着任したといはれる

【英 國】

和蘭避難民の

移轉を考慮

報じてゐる

和蘭亡命政府はドイツ軍の洪水戰術に伴ひ四百萬人のオランダ住民を英國に避難させることを考慮してゐる、また和蘭領の半ばが日々空襲に曝されてゐる結果、やがて住民九百萬のうち五百萬が住家を失ふこととならう、信すべき筋の算定では和蘭の農耕地の中八十五パーセントが今後二年乃至七年は使用不可能となり、同國の生産設備の半ばが矢張り使ひ物にならなくなるといはれるが、戰爭から平和への過渡期に四百萬といふ外國人を受け容れることは英國にとつては由々しい問題だし、かしながら英國の輿論はこれら避難民が英國の經濟的、社會的生活を攪亂しない限り受け容れることに賛成するものとみられてゐる

石 炭 生

産 激 減

(ストツクホルム十四日發)
ロンドン來電によれば、第二四半期における石炭生産高は四千六百五十萬トンで昨年同期に比し二百萬トンの減少を示してゐるといはれる

駐加高等辨務官

辭 職

(リスボン十一日發) オツタワ來電にカナダ駐劄高等辨務官マルコム・マクドナルドの辭職が十一日發令された、マクドナルドは來月中旬に歸英の豫定であるが、恐らく下院の國民勞動黨議長となるものとみられる、彼の後任は未だ發表されてゐない

【北 歐】

瑞 政 府

獨 に 抗 議

(ストツクホルム十一日發)
ドイツ政府はスエーデンのオーランド島南端とドイツ北部海岸のルーゲンワルデを結ぶ百九十浬の線の東方及び北方のバルト海水域(スエーデンとフィンランドの中間のボスニア灣全域を含む)を作戰地域に編入する旨發表したが、同地域の一切の船舶は

今後無警告でドイツ軍の攻撃を受ける危険がある譯で、スエーデン政府は十一日ストツクホルム駐劄ドイツ公使を通じてドイツ政府に抗議を提出した、また同夜スエーデン戰爭保險局は一切のスエーデン船舶に對し領海まで歸航するやう警告したといはれる

バーシキ

ワイ組間か

(ストツクホルム十一日發)
ヘルシンキ來電に芬大統領マネルハイムは十一日國會評議員バーシキヴィに對し後繼内閣の組閣を命じた、バーシキヴィは元首相で一九四〇年ソ芬媾和條約の調印を行ひその後モスクワ駐劄大使となり今年春再びソ聯との和平交渉の衝に當つた

【イベリア】

西、對米洲

局 設 立

(マドリッド十一日發) スペイン政府は過去數日にわたり閣議を開催したが次の二件を可決した

一、對米洲局の設置

一、ウルグワイ駐劄公使テオドミロ・デ・アギラルの後任としてパブロ・デ・レヘンディオ教授を任命

クロム、ニツ

ケル政府で管理

(マドリッド十四日發) スペイン政府は十四日布告を發しマラガ地方におけるクロム及びニツケル鑛の自由販賣を許さず、全生産量を政府の管理下におく旨發表した

【南 伊】

ボノミ、遂に

投げ出し

(リスボン十三日發) 傀儡政權首班ボノミは政權樹立以來統官ウムベルト殿下を中心とするサヴォイ王家と不離の關係にあり屢々王政復活を提言したが、共產黨を主體とする左翼は王家に對し反意を抱きボノミを壓迫してをり、十二日には一萬名以上の社會主義、共產主義分子が王政撤廢の示威運動に出た、ローマからのUP電報によれば、左翼の壓迫に抗し切れずボノミは十四日閣議を開催し内閣を投げ出すだらうといはれる

【ソ 聯】

ラトヴィア

(モスクワ六日發) リガからのタス電報によれば、ラトヴィア共和国最高會議幹部會は

外相決定

ヴァレスカリ (Valeskari) 氏を外務人民委員に任命した旨六日發表した

二百萬足の

義足を注文

(ストツクホルム八日發) 週刊「タイム」誌十月九日號は商業經濟欄に「不足」と題し

次の通り報道してゐる

ソヴェト聯邦は米國から義足を買ふため先週二百萬足を注文して來たが、米國の少數の工場のうちには年産五千足以上を製作し得る工場は一つもなく、米國自身の注文さへも受切れぬほどであるから到底ソヴェトの注文には應じられないであらうかくてソヴェトは自國の低い生産率を引上げなければならぬが、既に米國式の製造方法を研究してゐる、二百萬足といふ數字からみても三年半も戦争を續けて來たソヴェトにどの位の戦争不具者がゐるか測り知れないものがある

【東南歐】

ア テ ネ

(リスボン九日發) ギリシャ首相パンドレオが三十一日遊撃隊組織の解散を命じたこ

不 穩

とは共產派と國家主義派の對立抗争に油を注ぐ結果となりアテネからのロイター電報は九日次の通り報じてゐる

パバンドレオが遊撃隊の解散を命じて後の二十四時間、アテネは不穩な形勢を呈してゐる、共產黨首腦並びにEAM團指導部はパバンドレオの措置に露骨な反抗的態度を示し、共產系及びEAM遊撃隊ばかりでなく、他の國家主義各團體やエジプトで編成されたギリシャ軍も武装解除すべきだと主張してゐる

希 政 權

(リスボン九日發) アテネ來電、ギリシャ政權は新通貨發行に關し九日次の通り發表し

新通貨發行

た
政府は來る十二日より新通貨を發行するが、換算率は六百ドラキヤにつき一磅スターリングの割である、新銀行券は百パーセントの金乃至外國爲

特準備を有する

マニユーの

罷免を要求

(チューリッヒ十二日發) ブカレスト來電、ルーマニア國王ミハイ一世は十二日シナイア城でソヴェト外務人民委員部長ヴィシンスキーと會見したが、右會見でヴィシンスキーは最高會議からマニユーを罷免しない限りソ羅兩國の友好關係増進は出來ぬ旨を指摘したといはれる

ブルガリア

壯丁動員

(ベルリン十三日發) ソフイア來電、ブルガリア政府は一九二四年生れの壯丁を召集し十一月十五日までに入隊を命令したが同時に一般人の汽車旅行を三日間禁止した

【印 度】

ネール等は

州政府が拘禁

(リスボン十三日發) ニューデリー來電、印度内務長官ベロシヨ・モビは十二日目下開會中の中央立法會議において次の通り言明した
ネールその他の現在拘禁されてゐる會議派運用委員會委員達はそれぞれ州政府の發した逮捕令に基いて逮捕されたもので、右の逮捕令は前もつて取消すか乃至は有効期限を延長しない限り一九四五年一月十五日をもつて無効となる、しかし現在のところその何れにするか決定してゐない

シンド州

閣僚増員

(リスボン十三日發) ニューデリー來電、シンド州立法會議員ミル・グーラム・アラール・タルブル並びにロージャヤ・トーマスは十二日夫々同州法相並びに治安相に任命された、かくてシンド州の閣僚は合計七名となつた

【樞 軸 國】

最高國防

會議を設置

(ベルリン十三日發) ブラデアスラヴァ來電、スロヴァキア大統領は十三日スロヴァキア最高國防會議員を任命したが、現在までに決定した議員の顔觸れは次の通り

ブルシンスキー藏相

パシク國防相

メドリキー經濟相

レドナー交通相

アンドルシカ最高補給會議々長

スチルウエル召還問題の全貌(中)

藤原 文雄

最後通牒は何れが出したか

支那の國內統一刷新と軍事態勢のたて直しについて、米蔣間に行はれた交渉に關する以上の経緯のほかに更に補足しておきたいのは、この交渉中に起きたといふ最後通牒問題である、アトキンソンの素破抜記事では蔣介石が米國側に對して最後通牒を突きつけたと前述の通り傳へてゐるが、「ニューヨーク・ポスト」紙のエドガー・モウラーは十一月一日の紙上でこれと反對に次の記事を掲げてゐる

米國民は知る権利を持つてゐるから傳へるが、「ニューヨーク・タイムズ」の報道(註、アトキンソンの記事)は間違ひで、スチルウエルに最後通牒を突つけたのは蔣介石ではない、重慶の元首に向つて「俺を中國の一切の武裝軍隊の司令官にしる、さもないければ米國の對蔣武器援助は停止する」といふ最後通牒を出したのがスチルウエルだ、蔣はこれを拒否した、だから問題はルーズヴェルトがスチルウエルを支持するか、引戻すかのところまで行つたもので、彼はその後者を選んだのである、スチルウエルの最後通牒はガウス大使に支持され、ガウスは蔣に對して中共と手をうつことを督促した、これは恐らくスチルウエルが高等政策に干渉した最悪の特徴は、ハーレー特使がワシントンと重慶間の一切の困難を除去する目的で蔣と交渉してゐた丁度その時にスチルウエルの干渉が介入したことである、ハーレーは大統領の代理として十項目の計畫をうまくものにして、協定は九項目まで成立し、重慶はアイゼンハウアーの如くアジア戦域におけるあらゆる國籍の軍隊の地域總司令官に米人が就任することを受諾する意志を表明してゐた、ところがスチルウエルはこれらの交渉をぶちこはしてしまつたのだ

更にこの點について、最近重慶から歸米した共和黨のワルター・ジャツドが十一月一日記者團に次の通り言明してゐる

スチルウエルを支那の全軍司令官とし、蔣介石も含む軍部さへその隷下に收めるべしとの要求がホワイト・ハウスから出て、これが危機を生みスチルウエルの召還に導いたものである、この最後通牒は「もしスチルウエルが全支那軍の指揮權を賦與されなければ、米國は重慶に軍事的支援を與へることは出来ない」と恫喝したものだ、かかることは如何なる政府にも受諾は不可能で、もし蔣がこれを容認すれば彼は中國々民に追放されてしまふだらう

このジャツドの聲明に對しルーズヴェルトは三日の記者團會見で否定し、ジャツドはこれを選舉戰に悪用してゐるのだと反駁に努めてゐる、いづれが最後通牒を出したのか、それは多くを問ふ必要はなからう、ただこれによつて指揮權の問題が交渉の重要な項目をなしてゐたことを知れば足りる

米蔣の對立點

以上アトキンソンとグロヴァの報道、ジャツド共和黨員の言明及び後に述べる社晋麟の聲明その他各種の報道を綜合して米蔣交渉の内容を窺ふと先づ米國側は敗戦續きの重慶及び軍に内面批判を加へてその對日共同戰爭における對米協力が不十分だとの烙印をおし、特に空軍基地喪失の責任を重慶に歸し、急遽支那戦局のたて直しを目的として次の要求をしたやうである

一、重慶の對日戰に關する一般的、軍事的對米協力強化すること

二、重慶はビルマのみならず一切の戦線における地上部隊及び航空部隊全部を擧げてスチルウエルの總指揮のもとにおくこと

三、軍制軍統帥の改革及び軍首腦部の刷新、政府部内の「反動的妨害的排外的分子」の除去による改組(特に對米協力を消極的態度をとり、反共的で國共和解に反對する何應欽、陳立夫、陳果夫等の退陣を要求

四、國共紛争の解決により重慶軍と共產軍の共同戦線を實現すること、そのため中共の自治權を容認し共產軍の完全武裝(武器貸與物資の分讓)を認めること

五、重慶軍の戰略を變更すること

米國はこれらの要求に當つて、もし重慶がきかねば米國は重慶政權に對する支援の手を引き(逆にいへば延安を支援し)武器貸與による援助を停止し、第十四航空部隊を重慶地區から引揚げるといふ三項目を駁引の具に用ひた模様だ

これに對し重慶側は武器貸與物資の分配權をスチルウエルが握り、重慶への供給が過少であつたことが米空軍基地の喪失原因だと反駁し、レド公路啓開がいまだに實現しないことに不満を表し、ビルマに對する海上の攻勢作戰開始と同時に怒江攻勢開始を約したにも拘らず、在印緬支米軍司令官であると同時に重慶軍の參謀長として一應蔣介石の指揮下にあるスチルウエルが蔣の意向を無視して北緬の地上作戰を開始したこと及び重慶の内政に干渉したこと並びに米國報道機關の度重なる重慶非難惡罵に嚴重抗議した上

一、スチルウエルに對する總指揮權の賦與を拒否し

二、スチルウエルの退去を要求し

三、米國の對支武器貸與物資の管理權を蔣の手に移管すること及び援助の増量を要求し

四、中共と和解の手をうつことに米國の強制を拒絶し

五、中共の完全武裝に絶對反對し

更にこれらの諸點が容れられねば單獨で對日戰を遂行する、換言すれば一種の戦線離脱を武器として對抗した様子だ

以上は主として米國側の情報及び言明を基礎としたものであるから、確實性及び表現の方法が適切公平かといふ點で留保しなければならぬが、真相の一部乃至相當の部分明らかにしてゐると思はれる

かくてスチルウエルの召還となり續いてガウス大使の辭職となつたが、これについてAP通信は十一月一日「四圍の事情からみて最後の瞬間に米國側が態度を軟化し、蔣介石の要求した面子の維

持と宥和的態度として米國がスチルウエルの引揚に同意する結果となつたことの確實性は疑ふ餘地がない」と報道してゐる、ガウスの辭職はスチルウエルと同一歩調で重慶に對し強硬外交をとつてゐたもので「スチルウエルの召還により重慶における米國の地位は甚だしく弱化するに至つた」と言明してゐる通りルーズヴェルトの方針に反對して辭職したものと推測される、スチルウエルの退陣につき瑞典の「ダグスボステン」紙は十一月一日の紙上で次の如く興味ある表現をしてゐる

スチルウエルの召還は、彼がルーズヴェルトの民主主義的新帝國主義の典型的な代表人物であつただけに注目すべき事件であつた、しかしこれは個人的紛争以上の事件だ、蓋しスチルウエルは支那における米國の眞の戦争目的、即ち「支那を米國の印度にして將來大規模に搾取する」— turning China into american India for future american exploitation of giant extent — という目的の典型的な代表者であつたからだ

貸與物資を繞つて

右に擧げたやうな米蔣對立點のうち蔣、スチルウエル衝突の最も直接的な軍事的原因と考へられるのは河南、湖南、廣西における重慶軍の全面的敗退と、これに伴つて米軍が衡陽、零陵、桂林、柳州などを含む東南支那全域の航空基地を悉く喪失するに至つた問題で、米側の非難に對して蔣が武器貸與物資の供給不足及びスチルウエルの主張により、北緬、怒江方面の攻勢作戰に兵力を割つた結果、東南支の兵力が弱化した點に強い不満をぶちまけたことは確實であらう、これについては去る九月二十七日チャーチルが英下院演説で、重慶が米國から「湯水の如く」補給を受けてゐるにも拘らず敗戦を重ねてゐるのは「腹立たしい」と攻撃したのに對し、重慶は十月二日重慶の敗戦は援助不足にあり、重慶に渡る武器貸與物資の數量は湯水の如くどころか極めて貧弱で「米英軍の一個師團が數週間の戰鬪に使用する量にも足りない」と痛烈な竹筴返しを加へた

これに對してルーズヴェルトは印支空路による貨物物資の大部分がガソリンで在支米空軍に渡つてゐることを認めながらも、このヒマラヤ越えの空輸量が現在では舊ビルマ公路の最大輸送量を遙かに凌駕して月額約二萬三千トンに達するまでには如何に困難を克服したかを強調し、「余はこれに満足してゐる」と述べ、重慶が突然不満をぶちまけたのは「もつと欲しいからで今更こと新しくはない」と突げねた事實が想起される、これに關聯して「バーズラー・ナハリヒテン」紙が十月二十九日重慶筋よりの情報として、重慶軍が受けた武器貨物物資は米國が世界に供出した總合計額の二パーセントに過ぎず、その半分はビルマ前線に分けられてゐるので、他の支那各戦線には全量の一パーセントが分配されてゐるに過ぎないと報じてゐる、しかも米國の言明によりこの大部分がシエンノートの在支米空軍に引渡されてゐるのだから、重慶に實際に供給された數量は〇・五パーセント以下となるわけだ

米國報道機關重慶を總攻撃

ここで興味あるのはスチルウエルの召還問題が明るみにでるや、米國の報道機關は擧げて重慶の非難惡罵恫喝の猛烈な宣傳を開始し、重慶の内情を主題とした暴露記事を彈丸にして盛んに内外へばら撒いた、その内容の主なもの摘擧すると

- 一、重慶は日本を驅逐することよりも自己の政治的優越を維持することに一層の關心を持つてゐる

- 一、重慶に米國の援助がなかつた理由は蔣介石が古い反動分子の一群に戦争の終るまで權力を維持させることを決意し、戦争終了と共に中共との戦ひを再開する肚だ

- 一、重慶は中共との戦争に備へて武器貨物物資を蓄積してをり、對日戦にこれを完全には使用してゐない、かくして蔣軍百萬が共產軍を監視し小競合ひを演じてゐる

- 一、スチルウエルは大陸戦局の重大化に鑑み急速戦闘態勢の強化を主張したが、蔣は遲疑してゐる

- 一、スチルウエルは常に遲滯なく日本軍と戦ふこ

とに熱意を持つてゐたので、蔣は結局は米國がその仕事をなし得るだらうとの目算を立て、自己の資源の大部分を内亂のために蓄積できると考へてゐた

- 一、各地の重慶軍は申譯に抵抗してをり、商品、書翰、通貨等で占領地、非占領地間に交流してゐる

- 一、重慶には民主主義は存在せず、出版、言論の自由なし

- 一、現在國民黨が實行してゐる政治ほど效果的な獨裁政治はない

- 一、重慶には祕密警察、政治犯收容所、銃殺隊がある

- 一、蔣介石がその國內問題を解決しなければ、現在の世界戦争及び戦後努力における重慶の役割に深刻な影響を及ぼすであらう

- 一、支那における戦争遂行に關する紛争は蔣介石が何應欽を罷免しない限り到底片付かない、何應欽は重慶の缺陷を一身に具現してをり、國共合作への主要な障壁をなしてゐる

重慶側唯一の應酬

これらの攻撃に對し重慶の言論報道機關は政府の方針を反映して完全な沈黙を守り、また重慶政府は重慶から出る各種の解釋及び論評に對して嚴重禁止の態度をとり、スチルウエルの出發以前はもとよりワシントンの召還發表後も、米國報道機關の非難論評や臆測が氾濫した後もこの態度を固執してゐたが、ただ一つ例外としてロイター通信の重慶特派員趙敏恒は十一月七日に至り、重慶の立場を極力擁護し米國の重慶内政干渉を斷乎反駁する注目すべき報道を行つた

趙は重慶政府がこの問題に關する解釋や論評を禁じ沈黙を守る態度を固執したのは戦争が進行中に議論のための議論に耽ることが何の役にも立たないからだとしてゐるのは明瞭だ、要人連も記者團から繰返し質問が出たにも拘らず批評を拒絶してゐると説明した後次の諸點を強調した

同盟通信

海外電報

(第三欄郵便附屬可)

一、蒋介石の考へと行動が對日抗戰と戦後中國を世界の強國にするといふ支配的政策を指導して來たのは誰も否定出來ない

一、蒋介石の對米感情は常に最も友好的で、事實彼は友好的すぎるといはれたほどだ、蒋介石はいつでも米國と協力する用意があり、このことは彼がビルマで重慶軍をスチルウエルの指揮下に入れ、重慶の役人、政府及び地方の省政府當局は飛行場の建設、住宅、食糧、情報の提供等の如く在支米軍にたいし可能な一切の便宜を與へた事實によつて實證されてゐる、重慶軍部隊ゲリラ部隊は日本軍の前線後方に不時着した米航空兵を救出するため多くの大膽な襲撃を決定してゐる、ビルマ公路をふくむ南支街道の輸送を監督するために米人顧問が任用され、米國の軍事視察團が共產地區に滯留することも容認してゐる

一、しかし同時に蒋介石は主義上の問題には決して譲らぬ男である、彼は重慶の内政に干渉しようとする外國の企圖を絶対に黙認しないであらう、彼には友好的な勸言と建設的な批判は受容れる用意があるが、如何なる形の外國の壓迫にも譲歩はしないだらう、彼は外國の支配に陥るよりも寧ろ一見して望まない戰爭をも戦ふであらう、彼は決して浮足立つたことはなかつた、彼と妥協をつけることは不可能で、完全な獨立と支那の領土の完全な回復か、しからざれば無といふ信念を持つてゐる

一、共產黨(延安)との關係につき多くの非難が蒋介石に向けられたが、蔣は彼の態度を極めて明確にした、すなはち中國は一政府一軍隊でなくしてはならない、彼は分離獨立した如何なる政權乃至は軍隊のあることに同意することが出来ない、自尊心を持つ政治の指導者なら誰でも他の指導者の存在に同意する者はない、外國の評論家達が彼等自身でも各自國內では決して黙認し得ないことを重慶に強制してゐるのだ、すなはちこれらの評論家達は中共にたいして政府の命令に従ふことを勸告するどころか却つて重慶を攻撃することによつて情勢を悪化させてゐる

蓋しかかる非難は國共の和解交渉で手をうつのを中共が拒否することを煽り立て得るにすぎないからだ

一、重慶は嚴密にいつて民主主義國ではない、しかし重慶は自國が民主主義だとみせかけたことは決してなかつた、重慶は未だに訓政期にある國民の大部分が文盲でしかも國土の大部分が外敵に占領されてゐる際に、一國の政府がどうしてかかる徹底的變革(註、民主主義化)を一夜にして實行することが出來ようか、蒋介石は戰爭終結後に立憲政府を直ちに組織する旨を既に發表した、蔣は三ヶ月前に檢閲の解除を斷行したが海外の好ましからざる非難はこの問題に寄與しなかつたのみか、重慶人の感情を害することに役立つたにすぎない

一、もしも重慶が反動主義に向つてゐるといふ非難に何らかの眞實性がありとすれば、外國の非難がその大部分の責を負はねばならない、重慶は常に極端には走らないが、かりに走つたとしてもそれは他國に害を及ぼすよりも自らがより多くの害を受けることになる、従つて宋子文外交部長が「重慶の對米關係は若し事態が友好的方法で處理されれば改善されさうだ」といつたのは正に當つてゐる

以上趙敏恒特派員の記事は重慶のいはんとするところを大體いひ盡くした感があり、重慶の意向を反映するものとみてよいであらう

「タイム」誌米國の政策を検討

しかも一方米國においても重慶攻撃が餘りに熾烈すぎこれにたいする反動的な論評として、重慶攻撃の行過ぎをたしなめると共に米國自身の對蔣政策を検討し、反省を求める記事もぼつぼつ出てゐる、その好例として發行部數三百六十萬、約二千三百萬の讀者層を持つ週刊誌「タイム」は十一月十日號に主筆ヘンリー・ルース(支那生れ)の「支那における米國」と題する一文を掲載し、スチルウエル事件は支那における眞のトラブルの片鱗を示すものにすぎず、そのトラブルは主として米國の過ちだとなつぎの通り論じてゐる

米國の陸軍には全部で六人しか大將はゐないが、その一人が司令官の地位を罷免された、スチルウェル大將が蔣介石の參謀長を勤めてゐた支那から罷免されたことは單なる個人的問題としてみのがすことはできない、これは個人的問題でもあつたが、同時に米蔣關係に長らく危険を孕む分裂の兆候でもある、この事件は米國がアジアにおける共同の戰爭をどう適切に處理したかといふ疑問を昂め、またそれよりもつと重要なことは米國は共同の平和をどう適切に處理し得るかといふ疑問をさへ提起してゐる、人はスチルウェルを呼んで、「アンクル・ジョー」とか「苦蟲ジョー」とかいふであらう、しかし現在の米蔣間の不和の根源はもつと深いところにある、それは「高價ではあるが出鱈目な」米國の政策を暗示してゐる、實にこれらの不和が突如として迸出したことを警告するものではなくて、その不和が二年間も殆んど絶え間なく沸立つてゐたといふことである、米國の重慶に對する公式の政策は兩國が友好國であつたこと及び現在も同盟國であるといふことに基づいてゐることはいふまでもないが、過去一世紀中に結晶したこの政策が支那における米國の戰時の態度を導きはしなかつた、重慶に進行中のインフレーションと七年以上の戰爭によつて蒙つた慘害とに對處するに米國は餘りにも過少の援助と同情と餘りにも多くの忠言とをもつてした、スチルウェルの罷免と共に米國陸軍の檢閲の扉が解放されすぎて事件の解説や批評や非難等が洪水の如く氾濫した、ジャーナリストばかりではなくて或る陸軍關係官廳の士官達までが重慶中央政府の攻撃に乗りだした、中國共產黨の宣傳に呼應して、これらの多くの攻撃が餘りにも支那の文化、歴史、慣習等を理解してゐないことを示してゐる、しかも米國の政府當局者連中は無智にも支那の國內問題に愚かな口出しをした、この容喙はこと新しいものではない、遡れば米國は一九四二年の春、五億弗の借款を與へるに際し米國は重慶軍の會計係としての働

きをなすことを酷くも勸告した、かかる侮辱的な提言は同盟國間の振舞として適切ではない、しかもこれは現在の米蔣間を紛争に導いた實例のほんの一例にすぎないのである

米國は支那の民主主義を強化しようと考えた、その意圖は誠に結構だが米國の實際の振舞は兒戲にも等しいものであつた、米國はひどく間違つた情報を基礎にする典型的な愚直な保障をもつて支那に容喙したのでだ

重慶の失態は米國自身の失態

何故かかる干渉が続いたのであらうか、根本的には米國の對支武器貸與が重慶の必要とする生存のための武器不足に倒れかかつたからである、重慶軍は積極的な攻勢作戰に必要なトラツク、大砲等を持たなかつた、今や戰爭第八年目にあつて、重慶軍は小銃や彈藥、食糧の僅かな不足にも崩潰する兆候をみせてゐる、自國の軍隊が絶対に戦ひに勝てないといふ國家が手放しの儘非難されることが不可避だといふ失態ほど甚だしい失態はない、しかし重慶の失態はまた米國自身の失態だ、重慶が久しい以前からアジアにおいて米國の戦ひを戦つて來たのだといふことを米國が悟るには長い時日を要したが、それは眞珠灣事件より餘ほど以前のことである、従つて米國が強力で友好的な重慶の参加なくしてアジアで眞珠灣の仇討となるべき勝利を得たとしても、それは全く無意味なものだ、米國が重慶に十分の補給物資を送り得なかつたことについては多くの責がある、しかし重慶政權を非難するに當つて、われわれは失態に對する反撥を防いでかからねばならない、しかもその失態は米國自身のものである、米國の重慶非難はなほ事情不案内のままに盛に行はれてゐる、例へば重慶政權が何故民主主義政府の機構を採用するのにそれほど愚圖々々してゐるかを理解するやうな米國人で、重慶における重要な地位についてゐる者は餘りにも少數すぎる、しかしこれがしばしばあることは、彼らが支那の特質を把握するに十分な近代支那史すら讀まないためだ

エピソード・ピレネアン

井上 勇

事件は表面的解決へ

スペイン國境不穩事件は少くともフランコ政府とド・ゴール臨時政權の關する限りにおいては、一應解決の方向に向つたやうだ、ド・ゴール政府は十月二十九日、スペイン共和軍問題に關して左の内容の緊急令を發した

一、國內軍に所屬するスペイン人ゲリラ部隊は佛西國境線から十二哩(一説には二キロまたの説には二十キロ)以外の線に撤退すること
二、南佛各地の領事館を占領してゐるスペイン共和軍は直ちに領事館を「正當な官憲」に返還すべきこと

三、亡命スペイン人は國際聯盟の政治亡命者待遇規定によつて遇すること

これに對して、フランコ政府は十月三十日ド・ゴール政府を正式に承認し、バルセロナの市長ミゲル・マテオが駐佛大使に任命されるはずとロンドン・ラジオが放送した、但し双方のかうした禮讓的措施によつて、問題の實體が解決するか否かは別の問題である、フランコ側からすれば、既に國境一帯に兵力の配備は終つたし、ゲリラ隊の蠢動を封殺する萬端の用意は出來たらしいが、フランス側には命令を出し放しで、これを實施せしめる實力が遺憾ながらないと見るのが至當のやうだ、その上に解放されたフランスは亡命スペイン共和主義者たちに道義的な義務と、同志的友愛を感じてゐる、彼等は同じ民主主義者であり、解放運動に騎士道的な役割を演じてくれたからだ

フランス義理のしがらみ

フランスはこの義務を如何にしたら脱けられるかと腐心した、その結果が少々、義理は悪いが、以上の決定をしたわけだ、緊急令の意味する「正當な官憲」がフランコ將軍の官憲であることはい

ふまでもないが、國際聯盟規約による待遇とは、ロシア革命直後各國に亡命した白色ロシア人の待遇規定を指すものであらう、彼らはフランス國內では、國際聯盟のナンセン旅券を持つて、居住、營業、就職の自由を與へられてゐる

佛西關係は今回のスペイン政府の承認が事實とすれば、これで正常に服したわけだ、すでに兩國の間には「事實上」の國交關係があつたことは、フランコ政府のベタン政府承認取消しにより、當時の駐西佛大使フランソア・ビエトリが大使館を退去すると共に、その後には、ド・ゴールの代表トリユエル公使が、大使然と納つてゐた、フランコ政府もアルジェにサングロニス總領事をおいたほか、ヴィシー時代の領事館はド・ゴール時代になつても、そのままフランス各地に存續して門戸を開いてゐた、つまり双方の態度は、外交上の禮に適つてゐたわけなのだ、マドリッド政府にしても、ド・ゴール政府にしても肚の底はともあれ隣國を敵とすることはこの際面白くないといふ考へ方では一致してゐたわけである、スペイン共和軍の犠牲は、この際眼をつぶつて貰はうといふ次第になつた

共和軍の實力

ド・ゴール政府がこの決定をするに至つた動機の一つには共和軍の實力評價の要素が含まれてゐる、英國の態度の判斷も加つてゐる、英國側では國境事件をさまで重大な發展性があるものとは考へてゐない、第一運動の中心であるスペイン國民聯合最高會議であるが、このユニオン・ナショナルが右翼から左翼に至るあらゆる反フランコ分子を糾合してゐる點をば、強味と見るよりも弱味と解釋してゐるし、スペイン國內の地下に存在する少數反對派は、行動を起すには少々弱體すぎると考へてゐる、ピレネー地區乃至はアストリア地方には從來とも「山賊」がゐて治安は決してよくなかつたが、現在のスペイン共和軍の活動をみてゐると、その山賊の活動を何ほど出でゐない、フランスの左翼分子のスペイン共和軍援助も、精神的以上にて、軍事的または半軍事的になる氣配は今のところみえない

それどころか南佛一般の民心は共和軍の無遠慮な行動に反感さへ抱いてゐる、なるほど、南佛には約五十萬人のスペイン人亡命者がゐるが、實際に抗戰運動に武器を執つて立つたのは精々八、九千人ではないか、しかも、その全部が全部、マドリッド進軍を叫んでゐるわけでもないし、スペイン國境にゐるわけでもない、米國あたりで、四萬だ、五萬だといつてゐるのは全くのデマだと——はまづ英國側、少くとも官邊の見方である、ド・ゴールも大體これと同じ考へ方をしてゐるとみて差支へない、ド・ゴールの方には、その上、英國が、この際フランコに對する態度をかへて急に左翼革命を使喚するやうなことは、内亂當時の経緯からみても有り得ないと判斷してゐる、ブルーム内閣の當時、あれほど、内心または裏面では共和軍に同情し、實質的には援助したに拘らず、表面はどこまでも、中立を装つた外交が、ビドオ外交に再現したわけである

英國の態度は傍觀

同盟チユエリヒ支局電による英國の態度は次のやうなものだ

英國からの情報では、佛西國境地方の共和軍の活動は却つてフランコの陣營を強化したとみる向がある、從來傳へられたフアランへ、軍、教會の對立が共同の敵に向つて解消融合しようとしてゐるからだ、マドリッド政府も、そこは抜け目なく、國境事件を大いに喧傳利用して、急速に對抗措置を講ずるなど芝居は仲々うまい、それにロンドンでは、チャーチルが嘗つて議會でフランコを賞揚し「英國は少くともカテゴリカリーにはフランコを支持しなくてはならぬ」と述べた言葉を記憶してゐる、しかし、フランコを支持することはソ聯の政策とは衝突を意味する、そこで今回の事件では觸らぬ神に祟りなしの態度をとつてゐるわけだ、しかし、政府筋のかかる見解に異論がないわけではない、一部ではスペインには第二の内亂が起る可能性へあると見てをり、ドイツが敗退のあと、歐洲の一角にフアシスト政權が残つてゐることが出来るなどとは笑止千萬で、フランス國內にスペイン共和軍の存在の有無に拘らず、フランコの政

權は存續し得ない運命にあると考へてゐる、そこで政府の沈黙に對する批難も生れ、即時政府の態度決定の要求も生じるわけだ

米、ソの態度打診

米國の新聞雜誌では盛んにフランシスコ・フランコ將軍とその政權に毒付くのが、一般の流行になつてをり、「フアランへとフランコ將軍のスペイン支配は西歐洲の時代錯誤だ」としてゐるが、中にはワシントンの「イヴニング・タース」の十月三十一日付論説のやうに「南佛のスペイン人マキの國境進撃事件などはナンセンスである、要するに、自稱スペイン共和軍が外國の過激派から援助を得ようがための宣傳工作にすぎぬ」とこきおろしてゐるものもある、新聞雜誌はそれとして、ワシントン官邊はロンドンと歩調を合せるとみるのが至當で、獨りソ聯のみは官民一致して打倒フランコを叫んでゐるので、甚だ態度は明瞭だが、いま直ぐどうするといふわけには行かないだらうこの間に處してのマドリッド政府は列強の態度に遠慮氣兼ねをして右顧左眄してゐるさまで、血迷つた「アリバ」紙などは、アメリカの比島上陸作戰をもつて「かくてフイリピンは異教徒の手から救はれ、西歐文明が再び比島に光被する希望が生れた」などと、ほざいてゐる、その同じ新聞が皇軍マニラ入城の日は「日本軍はスペインのたにめ復讐してくれた」と感激したのであるから、マドリッドの空も秋空程度の信用しか出来ない、ただし、これは「アリバ」のことで、マドリッド政府のことでないのは申すまでもない

共和軍の爐邊會議

やや四面楚歌のかたちの、その後のスペイン共和軍は十一月二日ツールーズの商業會議所で會議を開いて、フランス政府の決定に對する善後策、その他今後の活動方針を協議したが「フランコ、フアランへ絶對反對」を決議したと傳へられるだけでまだ詳細はない

彼等はフランコ將軍に下野を要求すると共に、一九三六年革命勃發當時大統領だつたデイエゴ・マルチネツ・パリオを擔いでスペイン第三共和制を宣言し臨時政府を樹立するつもりだといはれてゐるが、マキ國の活躍も軍事的にはめつきり下火になつて、専ら政治面に向つてゐるやうだ

ビレネーにもはや雪が降り出したさうで、山野の活動よりも、爐のそばの方が戀しいのは人情の自然だらう、最近の山の方の活動をつたへるニュースではAPが十一月二日ベルリン・ラジオの報道だと稱して、共和軍がビレネー山中の自治國アンドラを占領したと傳へただけである

これに反して政治活動の方は仲々活潑で、元外相のアルヴァレス・デルヴァヨは二十九日、ニューヨークで演説して「フランコ政府を打倒するか支持するかは、スペイン人のみの問題ではない、樞軸打倒のために戦つてゐる凡ゆる國々の問題だ」とアメリカの輿論を煽動してゐるし、スペイン社會黨の領袖でカヴァレロ内閣の海軍相だつたインダレシオ・ブリエト、急進社會黨員で元のバリ駐劄大使だつたアルヴァロ・デ・アルボルノツ一時はすでにフランスにあるとまで傳へられたが實はまだヴェラクルーズに間諜付いてゐたデイエゴ・マルチネツ・バリオの三名は近くメキシコ・シチーに會合して大いにスペインの將來を論ずるはずとAPは十月三十日報じてゐる

平穩な國境風景

外部からの政治軍事攻勢に對するフランコ政府の布陣はどうか、トランス・オツエアン通信社のウオルター・バスチアン君が「佛西國境にて十一月一日發」とした電報を披露しよう

國境附近のスペインの「赤」どもの活動は冬が近付くと共に一層困難になりつつあり、雪が降る前に、今一度や二度は、目的達成のための縣命の努力をするかも知れないが、スペイン政府は彼等の如何なる小さな企圖と雖も紛碎する用意を既に完成した、「赤」どもはその作戰を主として北方に集中してをり、北西方面の戰鬪は下火になつた、ただ、指導者から離れた半飢ゑの兇徒どもが絶望的な私闘を試みてゐるに過ぎない

赤色マキ團の携帯するのは小武器輕機關銃の類で、重火器などは有してゐない、彼等は飢餓と絶望のあまり國境地方の無辜の良民、時としては婦女子、幼兒にまで敵意を示して、これを殺傷したりなどしてゐる、一部では軍規は全く

頽廢してしまつてゐる、或るものは全く山賊と異らず、金錢はもとより、食糧、葡萄酒なども略奪してゐる、國境地方の村落の生活は別に異變はない、多くの部落はスペイン正規軍により占領されてをり、トラツクが行き交ひ、長い貨物自動車列が、村の廣場に並んでゐるのも珍らしい風景ではない、マキが治安を攪亂してゐるのはスペイン側ではなくて山向ふのフランス側のことである、いままでのところその騒動をスペイン領に持ち込まうといふ計畫は少しも成功してゐない、彼らは國境地方民の支持を得ることを望んでゐるやうであるが、それが實現するなどとは今のところ信じられぬ、現在まで彼らは何らの軍事的成功を収めてゐないが、スペイン政府が國境に兵力を送つて以來はなほ更のことである

「赤」どもは國境突破作戰に失敗して以來、専らゲリラ戦に移つて農家を襲つて家畜を奪つた、時として住民を路上に襲撃したりなどしてゐる、しかし一般は極めて平靜で、市場日には普通に附近の村々から群集が集まる、ただ、平常と變つてゐるのはその中に兵隊の姿が多いだけだ、宿屋の門限に變更があつたが、燈火管制は行はれてゐない、國境の住民たちも、ゲリラの亂暴が募るにつれて次第に「赤」に對する憎惡心が昂り、「何が一番欲しいか」ときけばわが身を守るための武器だと答へる始末である

紛争冬籠りに入る

共和軍が當てにしてゐた各國の態度が煮切らず一番頼りにしてゐたド・ゴール政府の方針が「フランコ政府との妥協」といふことに決定してはスペイン・マキ團も冬籠りの怪かはないわけだ、米國の聯邦通信局の桑港放送は何が故か、極めて共和軍に同情的で盛にこれを聲援すると共に種々とデマゴジツクなニュースを飛ばしてゐるが十一月一日などはフランスからスペインに逃込んだドイツ兵はフランコ軍に合流し再びかの由緒深い「コンドル部隊」を編成して國境に繰出してゐると報じた、それならそれで結構だが、佛西國境事件も漸くエピソードに入つた大勢には變りはあるまい

資料

イラン問題について

「イズヴェスチヤ」紙十一月四日附

スヴェトロフの論説

ソ聯は常にイランに對して友好政策を維持してきた、ソ聯はイランとの間に二千六百軒の國境を接し、國境の附近にはソ聯の油田地帯がある、従つてイランがソ聯に對する敵對行為の足場として利用されぬやうにすることにソ聯が關心を持つのは當然のことである、ソ聯はイランの政治經濟上の獨立のための戦ひに積極的に協力してきたが、國王レザはイラン統一後反ソ政策に轉じた、一九二一年ソ聯がイランに條件附で還付した北部イランの石油利権をイランはソ聯に一言の相談もなく米國スタンダード石油會社に附與してしまつた、ついで一九二三年には北部イランの石油利権を米國シンクレア會社に供與、一九三七年一月にはイラン議會は米國デラウェア會社に利権を與へ、一九三九年三月には北部イランの利権をオランダ開發會社に供與した、オランダが利権を獲得した地域の北部はカスピ海岸から僅かに十軒離れてゐるだけだ

現イラン首相サエドはソ聯の友を装ひながらもファシスト政策を追求するといふ兩天秤をかけ、サエドに使喚された匪賊の群はイランに駐屯する赤軍の電信電話連絡線を破壊し、軍需品を大々的に盗み出してゐるが、法の裁きさへ受けてゐない、以上のことは條約によつてイランが課せられた義務に背馳する以外のなものでもない、サエド首相の二股政策とソ聯に對する非友好的態度はソ聯の石油利権要求を一蹴したことで明瞭である、サエドは拒否理由として「政治、經濟情勢がもつとはつきりするまで」と稱してゐるが國際情勢がサエドに判らぬ筈はない、イランの領土は戦火の波及をみてゐない、イランが戦場と化してゐないのに、戦争が終るまで石油利権の供與を控へる理由は毫末もないではないか、それなのに現下の情勢が善隣國と戦後さらに廣汎な經濟上の連繫を確保するための下地をつくることを妨げるのだ

サエド政府の決定は現下の情勢が明確を缺くためでなく、ソ聯に對する敵意の結果であることはいふまでもない

サエド政府は英國からの石油利権要求に對しても平等に取扱ふと稱してゐるが、周知の通り英國は南部イランに大きな利権を既に持つてゐる、更にソ聯が有利な條件を提案してゐるのにイラン政府が北部イランの石油利権供與を拒絶した理由が判らない、嘗つてイラン政府は南部イランの石油利権を喜んで米英兩國の會社に供與したが、ソ聯が北部イランの利権を求めると、イラン政府は條件をよく調べもせずすぐさま拒絶したのだ、以上の措置がイラン政府の主張する「平等の立場」と如何に背馳するかは、イラン紙「ダード」が「イラン政府は南部イランの石油利権を英國に供與して、自ら平等の原則を破つてゐる」と論じてゐることも明かだ、しかもサエドはシェド・ジャ・アヂンのやうないがはしい人物を手先に使つて外國で勝手に取引して私利私益を貪つてゐる

米軍は無協定で駐屯

サエドの新聞「ラヤド」はソ聯の石油利権要求を拒絶した行為を「愛國的行動」と稱してほめそやしてゐるが、イランと隣邦との友好關係にとつて廣汎な經濟的基礎となるべき提案を拒絶するのが何故に愛國的行動なのだ、「ラヤド」紙はまた「イラン駐劄米國大使は書簡をもつて戦争が終るまで利権を與へぬといふサエド政府の決定は、イランが獨立國である限り米國も遺憾としないといふ見解を表明した」と報じてゐるが、ソ聯に石油利権を供與することがイランの獨立を侵害すると考へる馬鹿はゐない、同紙はイランの主權と獨立を尊重する條約も締結せず外国軍隊がイランに駐屯してゐる事實には固く口を噤んでゐる、周知の如くイラン領土には同盟條約に基き赤軍並びに英國軍隊が駐屯してゐるが、米國軍隊はイラン政府と協定も結ばずにやはり駐屯してゐる

イランの輿論はサエドが盟邦との關係を悪化させる不利な方向へイランを導いて行く事實を指摘して、サエドの辭職を要求してゐる、もしもサエドが以上の政策を變更しないならば、イランは大きな損失を蒙ることにならう

昭和十九年十一月十七日(金)
第三二四三號

同盟通信

海外電報

(264)

國交修復問題に端を發するソ聯、スイス兩國間の紛争は遂にスイス外相の引責辭職にまで發展、スイス政界は蜂の巣を突いたやうな混亂狀態を呈してゐるが、從來カトリック保守黨や急進民主黨に押へつけられてゐた社會民主黨や勞働黨は奇貨おくべしとしてスイス政府の攻撃を開始し、ビレー・ゴラス外相ばかりでなく政府全體も責を負つて辭職すべきだと騒ぎ立ててゐる、スイス現政府の閣員七名中急進民主黨は四名を占め、政界に根強い勢力を張つてゐるが、看板と中味は大違ひで急進どころか専ら小市民層を地盤とする極めて保守的な政黨だ、社會民主黨は名の示す通り第二インターナショナルの流れを汲む社會主義右翼派で現政府には一名も閣員の椅子を占めてゐない、従つて社會民主黨が政府の外



交政策を攻撃してゐるのも單なる政争の範圍を一步も出ぬもので論より證據政府が共產黨を地下組織に追ひやつた時などは、双手を擧げて賛成してをり、今

更政府に共產黨の承認を迫るなど白々しい限りだ、ソ聯はスイス政府の外交關係再開希望に對し、スイス政府に共產黨を彈壓するファシストの烙印を押し、にべもなく一蹴したが過般「戦争と勞働階級」誌がスイス、スペイン、ポルトガルを非難して中立國に對する政治的制裁を要望、續いてソヴェト政府が以上の三國が參加してゐることを理由に、シカゴの國際航空會議に不參加を公然と表明したところからみても、今回のスイスに對する壓迫を皮切りに愈々中立國外交勢の火蓋を切つたことは明瞭だ、スイスが詰らぬ政争に憂身を憂してゐる間にとんでもないことになるのはみえ透いてゐるが、スペイン、ポルトガルも今の裡に十分の覺悟と心構へを固めておかねばなるまい

【目次】

- ド・ゴール、モスクワを訪問……………二七三四
- アンドラ公國を占領……………〃
- ルノール工場を沒收……………〃
- 新閣僚を任命……………〃
- エフエル塔に米無線放送局……………〃
- V二號本格的攻勢開始か……………〃
- 米國の戦費二千三百億弗……………〃
- 比島敵機動群司令官……………〃
- 交渉の成否は延安の出方一つ……………二七三五
- 英イラン問題介入を望まず……………〃
- ソ聯友好的後繼内閣を要求……………〃
- チャーチル苛烈な戦闘を警告……………〃
- B 29工場罷業を中止……………〃
- 【米國】……………〃
- 大統領の直接折衝に不満……………二七三六
- 重慶大使しばらく空席か……………〃
- 代理大使にアドキンソン……………〃
- 日本を徹底的に破壊せよ……………〃
- 一日十二隻の制で進水……………〃
- 通入禁止申入れにエール回答……………二七三七
- ボリヴィアに小麦供給……………〃
- 農産物輸出補助……………〃
- 勞働局長官辭職……………〃
- バーンズ留任……………〃
- 特使重慶に出發……………〃
- 濠公使ワシントンに着任……………〃
- 下院陸軍委員戰線視察……………〃
- 【重慶政權】……………〃
- 軍需生産局を設置……………〃
- ソ聯との貿易一部復活……………〃
- 【英國】……………〃
- イーデン、パリ會談を報告……………二七三八
- V二號發動當日の驚き……………〃
- 獨軍攻撃による國內の死傷……………〃
- 【新西蘭】……………〃
- 銀行の國有を提唱……………〃
- 空軍部隊移動……………〃
- 【フランス】……………〃
- ビドオ、政府の立場を言明……………二七三九
- 米國と輸入交渉……………〃
- 【カナダ】……………〃
- 政府議會に信任を問はん……………〃
- 【米洲】……………〃
- サルヴァドル亡命政權樹立……………〃
- チリ一の火星騒ぎ……………〃
- 【スイス】……………〃
- 在米資金は輸入資金に……………〃
- 【特輯】……………〃
- 佛國內軍の彈壓……………二七四〇
- 獨軍攻勢轉移の機迫る……………二七四三
- 米の關道政策積極化せん……………二七四四
- 【資料】……………〃
- 代用品概念の揚棄……………二七四五
- ダンバートン・オークス會談とソ聯の態度……………二七四六
- 重慶の政治的經濟的將來……………二七四七

ド・ゴール、モスクワを訪問せん

ソ聯の招請を受諾

(リスボン十五日發)英國首相チャーチルはパリにおいてド・ゴールその他フランス臨時政權の要人と交驛を遂げロンドンに歸任したが、パリ來電によれば同政權は十五日次の通り發表したと傳へられる

ソヴェト政府はド・ゴールに對しモスクワを訪問するやう招請し右招請はフランス政府の希望と合致してゐるからド・ゴールは招請を受諾した、近く外相ジョルジュ・ピドールとともにモスクワに赴く豫定である

英國政府がド・ゴール政權を抱き込んで所謂西歐洲聯合の組織を企圖してゐるのに對し、ド・ゴールのモスクワ訪問は政治的に深い含みを藏してゐると解される

アンドラ

(マドリード十五日發)パリ

公國を占領

來電IIフランス臨時政權の首班ド・ゴールはアンドラ國の

攝政の資格で「秩序を維持しピレネー谿谷の危險を阻止するため」と稱し十四日午後百名から成る憲兵隊を派遣アンドラ國を占領した、同國はカロリン王朝當時に溯る歐洲の古い「袖珍國家」でフオア伯とウルヘルの司教とが共同攝政として統治フオア伯家の權限はアンリ四世當時からフランス政府に移つたが、ド・ゴールは右憲法の條章に従ひウルヘルの司教に「合邦」の經緯を報告したなほアンドラは面積百九十一哩五千數百名の人口は六ヶ村に分住してゐる

ルノール

(マドリード十五日發)パリ

工場を沒收

來電IIド・ゴール政權は九月下旬閣議の結果ルノール各工

場を沒收するに決定、國營專賣の結成まで臨時管理官としてビエール・ファシユウを任命したが、十五日に至りド・ゴール政權はルノール社の自動車、飛行機、發動機、戰車各工場の沒收を發令「ルノール工業匿名會社」は愈々國家の資産となつた、なほ嘗つての自動車王ルノールはドイツ軍と協力した廉で投獄され最近獄死してゐる

新閣僚を

任命

(リスボン十四日發)パリ來電II植民相ルネ・ブルヴァン、の財政相就任に伴ひ、ド・ゴール政權は十四日、食糧相ポール・ジャコビを植民相に任命し、後任食糧相には諮問會議議員ポール・ラマデイエを任命する旨發表した

エフエル塔に

(リスボン十四日發)「エキ

米無線放送局

スチエンヂ・テレグラフ」通信パリ電報によれば、ド・ゴ

ール政府は今回武器貸與法に基づきパリのエフエル塔に米國無線放送局を設置することに同意したといはれる

V二號本格的攻勢開始か

(ストツクホルム十五日發)ロンドン來電によれば英國内務省は十五日

ドイツ軍は流星彈によりイングランド南部並びにロンドン地區に對し攻撃を加へ損害と死傷を惹起した

旨發表したと傳へられるが、ロイター電報は更に次の通り報道してゐる

V一號並にV二號によるドイツ軍の攻撃は從來よりも規模大きく集中攻撃の性格を帯びてゐた更にロンドンからのUP電報は

十四日夜來ドイツ軍はロンドン市の中心地區並びにイングランド南部に對し相次いで齊射し流星彈攻撃を加へたが、ここ暫らくみなかつた位猛烈な攻撃で少くとも十五人の死者を出したと述べてをり、ドイツ軍が愈々V二號によつて本格的な攻撃を開始したのではないかと見られる

米國の戰費

(リスボン十五日發)ワシ

二千三百億弗

トン來電II米國の戰時生産局は十五日次の通り發表した

十月における米國の戰費は七十四億四千七百萬弗に達し九月に比し四・八%の増加である、一九四〇年七月一日以降戰費總額は二千二百九十六億弗となる

比島敵機動群

(リスボン十五日發)眞珠灣のニミツツ司令部は十五日公報をもつて十二日マニラ方面

に來襲せる太平洋艦隊空母機動部隊數群の總指揮官が海軍少將フレデリック・C・シャーマンなる旨發表した

交渉の成否は延安の出方一つ

(リスボン十五日發) 重慶來電 重慶政權の宣傳部長梁寒操は十五日記者團との會見で次の通り言明した

周恩來が最近重慶に到着したが重慶政權と延安との交渉は依然繼續してゐる、周恩來が重慶政權と同様、中國の眞の統一と眞摯な團結を圖り中國の資源と戦力を悉く動員出来るやうにすると共に中國における立憲政治の樹立を促進するといふ理想を抱いてゐることを希望する

ついで記者團から「交渉が妥結に達する見込みがあるか」との質問が出たのに對し、梁寒操は「それは延安の出方一つ」と答へた、各方面とも交渉の前途について極めて警戒的だが、周恩來の重慶乗込みで依然交渉の扉が開かれてゐることを示してゐると解される

英イラン問題介入を望まず

(ストックホルム十五日發) 石油利権を繞るソ聯イラン兩國間の紛争はサエド内閣の總辭職にまで發展、米英兩國政府の調停が一部に要望されてゐるが、半世紀間イランの石油を支配して來た英國がイラン政府の態度を支持し介入を希望せぬことはいふまでもない、ロンドン來電によれば、英國外相代理リチャード・ローは十五日下院において英國政府の方針を明確に反映して次の通り言明した

労働黨議員ブライスはソ聯との摩擦を避ける意味で、イランにおける將來の石油利権に關し米英ソ、イラン四國間に協定を締結するため英國が率先介入すべきではないかといつてをられるが、かかる行爲は戦後まで石油利権の許與を延期するといふイラン政府の方針と全く背馳するそれにイラン政府の方針は新しい利権に適用されるもので、アングロ・ペルシャ石油會社の利権のやうに昔からのものは關係がないのだから英國はイラン政府の決定によつて別に影響を受けはしない

ソ聯「友好的」

後繼内閣を要求

(ストックホルム十四日發) モハメド・サエドを首班とするイラン内閣の總辭職後、後繼内閣はいまだ成立するに至つてゐないが、モスクワからのUP電報によれば、ソヴェト政府當局は十四日、イランの新内閣にはソ聯の石油利権要求を容れ得るやうな「友好的な政府」を期待する旨言明したといはれる

チャーチル苛烈な戰鬪を警告

(ストックホルム十五日發) 歐洲戦争に關する樂觀の見透しとともに英國民の間には兵員除隊の要求が持上り當局を手古摺らせてゐるが、ロンドン來電によれば十五日英國下院において保守黨議員ジエームズ・ダンカン

現在「靜止」的な部隊に配屬されてゐる四十萬以上の兵士を除隊させては如何と質問、チャーチル首相は次の通り答辯したと傳へられる

乙種以下の體格で四十歳以上の將校、兵士は第一線に立つてゐないが依然より體格のいい將校兵士を一層活潑な任務に付かせるのに役立つてゐる、現在人的資源の不足してゐる實狀で兵員除隊に關する現在の取極めを變更することは出来ない

ダンカンが更にたたみかけて

新たな諸事實に徴し検討しては如何と詰め寄つたところチャーチル首相は

今眼前に展開してゐる新たな事實とは極度に苛烈な戦争が毎週々々續いてをり今後さらに相當期間繼續するといふことである

B 29 工場

罷業中止

(リスボン十五日發) ニューヨーク來電 ニュージャージー州バタソンのライト航空機會社のB 29超空の要塞機用發動機製造工場の罷業は更に擴大して十五日には罷業參加労働者の數は二千九百名に達したが、戦時労働局は十五日罷業労働者に對して十六日午前を期限とする最後通牒を發し、労働組合幹部も遂に政府の彈壓に屈して同日労働者に對して罷業を中止して復業せよとの指令を發した

【米 國】

大統領の直接折衝に不満

Ⅱ ガウス辭職の一因 Ⅱ

(リスボン十四日發)「ニューヨーク・タイムズ」紙の重慶特派員はガウス大使の辭職原因のひととして重慶との重要外交問題には大統領特使を盛に派遣し、このためガウスの立場が影の薄いものとなつてゐた點を挙げ次の通り報道してゐる

ガウスが支那に初めて渡つたのは一九〇七年のこと、結局國務省の仕事で三十年間在任した彼は支那帝國の廢期から無政府時代を経て統一革命から今次の戦争までの歴史を副領事から大使になるまでの間に見てきたわけだが、彼の經歷として最高位をなす大使となつてもあまり嬉しくはなかつた、重慶の泥濘と暑熱と霧の中で過した三年間は彼の健康を蝕んでゐた、しかも最近米國の外交が益々飛行機で往來する大統領の特使によつて處理される時代に入りガウスは事務官上りの外交官としての彼の地位が次第に複雑になつて來たことを發見した、大統領特使として次々に重慶を訪問したカリ、ラチモア、ウイルキー、ウオレス、ネルソン、ハーレーと名をあげれば際限がないかにみえ、米國の政策は非常な混亂のうちに廻轉した、かくてガウスはスチルウエルの辭任より以前の十月に辭意を持つてゐた、スチルウエルとガウスの辭職には互ひに關係はない、ガウスは獨自の立場で決心したものだ、彼は辭職が紛糾に關係があるやうにいはれたが、沈黙を守つたまま重慶を去つた

重慶大使

しばらく空席か

(リスボン十四日發)重慶のシカゴ・ニューズ紙特派員は重慶駐劄米大使ガウスの歸米に關聯し米國が同大使の後任をこゝ當分の間決定せず空席にしておく可能性あることを次の通り報道してゐる

ガウス大使はスチルウエルが退陣してから約一ヶ月にならぬ十四日重慶を出發した、これは重慶米國關係の一局面の閉鎖の兆候を示すものだ

が、それは支那に對する米國の根本政策における何らかの變化を意味するものではない、スチルウエルとガウスの二つの重慶離任には關係はない

しかし偶然の事實として興味あることは重慶においてルーズヴェルトの二人の特使ハーレーとネルソンに残された交渉の分野が今や一層少くなつてゐるといふことだ、重慶では大統領が新大使を選ぶ可能性についても耳にしてゐない、一部では重慶駐劄大使の椅子がしばらくの間少くとも米蔣關係における現在の段階が決定的な轉換をみるまでは空席のままにおかれるかもしれないとみてゐる者がある

代理大使に

アトキンソン

(リスボン十四日發)重慶來電ガウスの辭任に伴ひ新大使の任命及び着任まで大使館參事官ジョージ・アトキンソンが代理大使を勤めることになつた

日本を徹底的に破壊せよ

(リスボン十四日發)サンフランシスコ來電太平洋調査會のレイモンド・ベネットは十四日ニューヨークからサンフランシスコに到着し次の通り述べた

われわれは日本及びその都市に對して眞の破壊を加へ、日本國民に彼らが戦争に入つてゐることを骨身に徹するまで知らせてやらねばならぬ大陸横斷の旅行中余は米國の一般市民がドイツに對してよりも日本に對して遙かに強い憎惡心を抱いてゐることを發見した

一日十二隻

の割で進水

(リスボン十四日發)ニューオーリーンス來電海軍沿岸施設部長少將フレデリック・クリスプは十四日ニューオーリーンスで開催された勞働總同盟の大會に臨み次の通り述べた
米國では現在一日十二隻の割で船舶が進水してゐる、海軍の造船計畫は依然擴張されつつあり今後六ヶ月間は現在と同數の勞働者を必要としよう、造船の戦ひは日本を打倒して後初めて終るのだ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

通入禁止申入れ

にエール回答

(リスボン十四日發) ワシントン來電「國務省は十四日次の通り發表した
米國政府は戦争犯罪者の中立國通入禁止に關し他の中立國と同様エールに對しても申入れを行つたが右に對するエール政府の回答を接受した、エールはその回答において米國に保障を與へたが、しかしこの保障は米國の希望を全部容れたものではなかつた

ボリヴィア

に小麥供給

(リスボン十四日發) ワシントン來電「國務省は十四日次の通り發表した
アルゼンチン政府は先月鐵道輸送の困難なためと稱してボリヴィアへの小麥供給額を従來の半分に減少した、この結果ボリヴィアは非常な食糧不足に陥り米國に救援方を依頼してきたので米國政府はその依頼に應じ不足分の小麥を供給することになった

農産物

輸出補助

(リスボン十三日發) ワシントン來電「戰時食糧局は十三日次の通り發表した
政府は棉花、小麥及び小麥粉の輸出に補助金を與へることとなつた、即ち政府はこの補助金によつてこれら農産物の國內市價と海外市場における低廉な價格との相違を調整すべく米國の輸出業者は海外市場において十分他國商品と競争しうる價格をもつてこれら農産物を輸出しえよう、最初の輸出補助金額は十一月十五日に發表する豫定である
しかし政府當局の言明によれば米國內における棉花の市價は海外市價より四乃至五仙方高く、また小麥はカナダ及びその他諸國の小麥値段に比し三十五乃至四十五仙方高位にあるといはれる

労働局長官

辭職

(リスボン十四日發) ワシントン來電「白雲館當局は十四日、戰時労働局長官ウイリアム・デーヴィスがその他二名の同局委員と共に明年一月一日をもつて辭職する旨發表した、一方労働局長官パーキンスもルーズヴェルトが明年一月新任期につくと共に辭職してその後には大審院判事フランク・マフィーが就任、また國務長官ハルの辭職説もいよいよ濃厚となりその後任には現副

大統領ウオレスの呼聲が高い

バーンズ

留任

(リスボン十四日發) ワシントン來電「戰時動員局は過般の立法によつて「戰時動員再轉換局」に改組され、動員局長官バーンズは暫定的に新局の長官に就任してゐたが、白雲當局は十四日バーンズは今後も歐洲戰の終了まで依然同局長官に留まることとなつた旨發表した

特使重慶

に出發

(リスボン十四日發) ワシントン來電「民主黨下院議員マイク・マンズフィールドは大統領ルーズヴェルトの特使として重慶を訪問することとなつてゐたが、十四日ワシントンを出發重慶に向つた

濠公使ワシントンに着任

(リスボン十四日發) ワシントン來電「新任ワシントン駐劄濠洲公使サー・フレデリック・エツグルストンは十四日、大統領ルーズヴェルトに對し信任狀を捧呈した

下院陸軍委員

戰線視察

(リスボン十四日發) ワシントン來電「下院陸軍委員長メイスは十四日「陸軍委員が十二月に約三週間にわたり歐洲戰線を視察することとなつた」旨發表した

【重慶政權】

軍需生産

局を設置

(リスボン十四日發) 米國務省は去る三日大統領特使として再度重慶を訪問するネルソンの使命が重慶の軍需生産の振興にある旨發表したが、重慶來電によれば同政權は十四日ネルソンが前回の訪問に際し提言した線に沿つて軍需生産局を設置する旨發表、局長は現經濟部長翁文灝が兼任するといはれる

ソ聯との貿易

一部復活

(リスボン十四日發) 重慶來電によれば大公报はソ聯との間に貿易が一部再開された旨次の通り報じてゐるといはれる
過去二ケ年來停止してゐた重慶とソ聯の貿易が復活し初めた、ソ聯の商品として最初に重慶に入つたものは先週末着荷した瓶詰のパンタリン一萬五千本である

【英 國】

イーデン、パリ

會談を報告

(ストツクホルム十四日發)
ロンドン來電ニチャーチルは十四日午前パリにおいて歐洲侵攻反樞軸軍司令官アイゼンハワーと會見した後同日午後一行と共に空路ロンドンに歸還したが一足先に歸還した外相イーデンは十四日下院においてチャーチルに代リド・ゴールとの會談に關し英佛兩國の友好關係はパリ會談を契機として、未曾有の程度に緊密化した、會談は主としてフランスを大國の列伍に加へることに關するものであつたが、あらゆる問題につき完全な意見の一致をみた

と簡単に報告した後、フランスの國內生活に言及次の通り言明した

パリの生活は物質上の諸困難との限りなき戦ひである、燃料、輸送機關が殆んど缺乏してゐることは冬季におけるフランス國民の最大の重荷とならう、勿論英國は友邦フランスを援助するに吝かでないが、輸送の困難は一朝一夕に解決出来る問題ではない

最後にイーデンは自由黨議員サー・パーシー・ハリスの質問に答へて「ド・ゴールは客禮の意味を兼ねて近く英國を訪問する豫定である」と述べたが、期日は明らかになかつた

V二號發動

當日の驚き

(リスボン十四日發) ロンドンに對する最初のV二號攻撃に關する報道は一切檢閲に引つかかり抑へられてゐたが、最近歐洲の旅からニューヨークへ歸つたばかりのUP通信社長ヒュー・ベイリーの書いた報道がUP通信社から發表された、ただし報道の日附を明らかにすることはいまだ許されてゐない、右UP報道の内容次の通り

「今日は一機も流星彈が飛んで來ない」と自分の滞在してゐたホテルの事務員がいつた途端に大雷のやうな爆發音がホテルの部屋を揺がした續いて最初の音の餌のやうな第二回の轟音が聞えた、自分は爆發の現場を訪れて夢にも忘れられないやうな怖しい光景を見た、街路はまるで

戦場のやうだつた、その中央には巨大な爆破孔がボツカリ口を開いてゐた、市民は遠く近く、夜となく晝となく爆發音を聞いた、大部分の人は事態の真相を知らず、ガスの爆發だらうとか何とか勝手な推測をしてゐた、だが掃除夫は早くもその夜から爆破孔の縁に立つて小聲で事件の内容を語り合つてゐた、「これは一體どうしたのだ」といふのが萬人の頭を支配してゐた疑問だつた、高々度を飛ぶ航空機からの流星彈だらうか、長距離砲からの榴彈だらうか、それとも問題のV二號だらうか、大部分の疎開者がロンドンに歸つて來た時にこの攻撃が始まつた結果その心理的損害は莫大だ、そして次の瞬間に空から何が落下するやも知れず床に就く英國人は恐怖に戰いてゐるにちがひない

獨軍攻撃による

(ストツクホルム十四日發)

國內の死傷

ロンドン來電ニ英國内務省はによる十月中の英國國內の死傷について十四日次の通り發表した

死者 一七二名(行方不明を含む)

負傷入院 四一六名

【新 西 蘭】

銀行の國有

を提唱

(リスボン九日發) ウェリントン來電ニ勞働黨は八日年次大會を開催、滿場一致をもつてニュージールランド銀行の國有化への前提として同銀行の全民間所有株の即時沒收を要求する旨の決議を採擇したが、藏相ウォルター・ナツシユも同決議案を支持してゐる、勞働黨は右決議をもつて同國の幣制改革上緊要の措置とみなしてゐる

空軍部隊

移動

(リスボン十日發) ウェリントン來電ニニュージールランド空軍參謀長代將ジェイムス・フインレイは最近太平洋戰線から歸還したが十日ウェリントンにおいて次の通り述べた

ニュージールランド空軍の數部隊は現在太平洋方面の新戰域に向つて移動しつつあり、近くマツカーサー軍の攻撃の先頭に立つことになつてゐるが、新基地は從來ニュージールランド空軍の作戰區域であつた南太平洋からの「重要な飛石」となつてゐる

【フランス】

ビドオ、政府の立場を言明

(チューリツヒ十三日發) 當地に達した情報によれば臨時政府外相ビドオは、フランスの傳統的左翼外交政策への傾向は何人よりも強く東歐特にソ聯との外交政策を主張してゐるといはれる、最近「サンデー・タイムズ」記者はビドオとの會見記をのせてゐるが、その中で彼は明白に新領土獲得の意志のないことを言明してフランスの立場を闡明してをり、チャーチル、イーデンを迎へてのパリ會談も、出發點はそこにおかれるといつてゐる、彼は同時にフランスがラインランドについて特に關心を持つてゐる旨を強調し、ドイツに對して復讐といふ意味でなく效果的な安全保障體制の必要を力説、ドイツはフランスにとつては隣邦であり、獨佛は隣邦として共に生存すべきことを主張、ドイツが自由の國家として復活することに希望をかけてゐる、しかし、同時に獨佛の共存は國際安全保障の組織内で初めて可能であらうとみてゐることには變りはない

米國と輸入交渉

(リスボン十四日發) 十四日のAP通信ワシントン電は次の通り報じてゐる
ド・ゴール政權はフランス復興のため米國から今後一年間に二十億弗の物資輸入を希望し目下米國政府と交渉中である、フランスが輸入を希望してゐる物資は反輻軸車の爆撃で破壊された鐵道再建のため機關車七百臺をはじめ、鐵道車輛、レール、トラック、棉花、肥料その他の原料物資である、これ等物資のうちフランスの對日獨戰協力に必要なものは武器貸與によつて供給されるが、大部分は現金拂ひ乃至はクレヂットによつて供給されることとならう

【カナダ】

政府議會に信任を問はん

(リスボン十三日發) 海外派遣軍を徵兵制とすべきか志願制とすべきかの問題を繞りカナダ政界は稀有の緊張を示し、徵兵制を主張した國防相ラルストン、海外派遣參謀總長スチュアー

トは遂に罷免されるに至つたが、オツタワ來電によれば首相マッケンジー・キングは十三日、突如明年一月開催される筈の下院を繰り上げ十一月二十二日に召集する旨發表したといはれる、キングは右議會において政府の方針たる志願制の貫徹を期し、敢て信任投票に訴へてまで鼎の輕重を問ふものとみられる、なほ下院の召集繰上げに伴ひ近く總選舉が舉行されるだらうとの見解が有力だ

【米州】

サルヴァドル亡命政權樹立

(リスボン十三日發) メキシコシテレー來電によればエル・サルヴァドル前副大統領モリナは十月二十四日オスミン・サリダスを首班とする現政府により同國を迫られたが最近グワテマラ國內に亡命政權を樹立したといはれる、米大陸内に亡命政權が樹立されたのは右をもつて嚆矢とするが、スペイン、ホンデウラスの二國を除くすべての國家はモリナ政權をエル・サルヴァドル正統政府として承認してゐると傳へられる

チリーの火星騒ぎ

(リスボン十三日發) サンチャゴ來電十三日サンチャゴの放送局が「火星人の侵入」といふ劇を放送したところ、それが餘りにも眞に迫つてゐたためこの放送をきいた者達は現實に火星人が地球に侵入してきたと思ひ込みサンチャゴをはじめ全國各地が一時恐慌狀態に陥り多數の負傷者まで出した、原作はH・G・ウェルズの「世界の戦ひ」で、これを米國のオルソン・ウェルスが放送劇に改作したものだが先年も米國で同様の騒ぎを起したことのあつたといふべきものである

【スイス】

在米資金は輸入資金に

(リスボン十四日發) ニューヨーク來電「反輻軸國際商業會議代表ズルツァー博士は十四日會議の席上で次の通り發表した
現在米國で凍結狀態となつてゐるスイス資金は外國爲替約十億弗、金資金五千萬弗に達してゐる、スイスとしてはこの資金を米國その他からの輸入資金にあてたいと希望してゐる

佛國內軍の彈壓

井上 勇

ド・ゴールの最後通牒

フランス國內軍の解消問題は十一月一日ド・ゴール政府が、何度目かの最後の斷を下して「正規國軍及び警察官以外の一般國民に武器の携帯を禁止し、現在所有する武器はこれを直ちに警察に提出すべし」との緊急令を公布して最後通牒に代へ別に警察官に對しては「一般國民にして非合法に武器を所有するものは直ちにこれを押收し、緊急令に反するものは逮捕、處罰」すべきことを命じたことによつて、遂にクライマックスに達した

これに先立つて二十八日、ド・ゴールは内務省に對してフランスの各地方で、いまだ武器を携へて彷徨してゐるマキ團の取締強化を命令し、同時に布告を發して、なほ殘存する國內抗戰諸團體は直ちに軍及び警察の指揮命令に服すること、警察權の行使を即時停止すること、武器は軍の必要のため直ちに官憲に引渡すこと、今後非合法に武器を所存し、非合法にて國民を捕縛監禁するものは第三共和國法律によりて嚴重に處罰すべきことを明らかにした

國民抗戰會議はこれに對して即時會議を開き、滿場一致でもつて政府の決定は「適用困難」だと決議し、「愛國義勇軍」の今後の資格については内務當局と協議する用意がある旨を明らかにし、國民抗戰會議の試案としては愛國義勇軍に「共和國市民防衛團」ガルド・レヴィユブリケン・シヴィルの名稱を與へ、その有する武器は、各地方毎に一定の武器庫に收納するを適當と考へる旨を聲明した

國民抗戰會議の弱腰

抗戰會議代表は、會同の決議をもつて二十八日夜ド・ゴールに面會を求め、兩者の間に善後處置

が協議されたが同夜遅く内相アドリアン・ティクシエの名で發表された、コムミュニケは「今後解放フランス地域においては軍隊及び國家警察を除き如何なる武裝團體の存在も許容せぬことは政府の嚴密な責務である」と明言した

かうした政府の強硬態度に對して、國民抗戰會議派は二十九日重ねて會合を開いた結果、再度、代表をド・ゴールのヌイイーの私邸に送つて交渉させたが、ド・ゴールの態度は強硬で、その間妥協の餘地を發見し得ず、代表は手を空しくして引揚げるほかはなかつた、抗戰會議一部の強硬分子はかうなつた上は政府と正面衝突のほかはないとまで主張したが、一般的空氣はそこまでの決心はつかなかつた、政府は國民抗戰會議の弱腰を見越して、先手を打ち反樞軸國歐洲派遣軍最高指揮官アイゼンハウアーに對してタシユー軍に屬する軍隊の一部をヴォージュ戰線から引揚させて、國內秩序の維持のため使用し度いと申込んだ、まかりまちがへば武力解決の決意をほめかしたわけだその頃バリ・ロイター電は次のごとく報じてゐる

問題は危機線へ到達

フランス臨時政府と抗戰諸團體軍の關係は危機に到達するに至つた、國內軍側では、これを正規軍に編入するといふ臨時政府の決定に對して種々な理由を擧げて反對してゐるが、問題の中心は臨時政府が、國內軍の武器の引渡しを要求してゐるのに對する危惧で、若し武器を引渡した場合、その後で捕縛されて處刑されはしないかと國內軍側では怖れてゐるのである、第三共和國の法律によれば非合法に武器を所有するものは處罰されることになつてをり、この法律は決して無効になつてはゐないからだ、否、逆に政府側は將來は、この法律を嚴に勵行するとさへ聲明してゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便特認可)

政府のこの聲明は、各地で警察權を僭奪して横行しつつある共產黨員に對する警告とする意圖をもつて發せられたと考へられるのであるが、國內軍が多くの場合に、指導權を共產黨員に握られてゐるので問題は複雑にならざるをえない。共產黨員は警察權を掌握することによつて各地で肅清を獨斷専行しつつあり、地方によつては他の抗戰團體と衝突さへも演じてゐるやうなわけだ。

かかる事態の故にド・ゴールとしては、その權威のためにも斷乎たる措置に出ざるを得なかつたのであり、その故にこそ遂にド・ゴール政權は一日付の緊急令を出したわけであるが、一片の法令で問題は解決すべく餘りに複雑であり、パリ政權は餘りに無力であるといはざるを得ない、問題は交渉の期を脱して實力解決の段階に入つたが、果して勝つものはいづれぞやである。

政府の希望の思惟

十月二十三日ロイターのバリ特電は既に「ローヌ方面フランス軍司令官ルクレルク將軍はフランス國內軍の不穩深刻化に關聯し、ド・ゴールにより至急パリに歸還方を要請されたといふ噂がパリで立つたが、内務當局は直ちにこれを否定した」と報じてゐる、それがいまでは事實とならうとしてゐるのである、リオンが國內軍によつて占領されたといふ噂が立つたのも廿日前後のことでこれは後で嘘傳と判明した。

國內軍の國軍編入は一應原則的には政府と國民抗戰會議との間に十月十三日話合ひが出来てゐたのであるが、その實現は一朝一夕には望まれず至るところ小競合ひが行はれてゐる、特に南フランスは全くパリとは遮斷されて國內軍の治下にある「タイムズ」の所報によれば「フランス南部特にツールーズ地方は全くの無政府状態である」とパリに辿りついた旅行者は話してゐる、この地方を支配してゐるのは國內軍で、その内には數千人の亡命スペイン人がゐる。

十三日陸相アンドレ・ディエテルムは、F.F.I.

の國軍への編入は順調に進んでをり、現在すでに五萬二千の兵がドラワトル・ド・タシニエのフランス第一軍に屬して、東フランスで戰つてをり、全體の合流が完了すれば、フランス國軍は一躍倍數になると聲明してゐるが、これが「希望の思惟」であつたことは、その後の情報で裏書された通りで何とも氣の毒な次第だつた。

南佛に共產共和國

ベルリンからの十月二十七日の情報によれば、フランス國內軍内の國粹派の連中は、赤色分子の專横に耐へかねて國家主義マキ團を別個に編成して、赤色マキの武力掃蕩に着手し、マルセイユにおいては最近すでに兩派の間に交戦があり双方相當の死傷者を出した、マルセイユでは共產分子が國粹組約一萬五千を捕縛して監禁してゐたが、これが脱出して共產マキと衝突し、一般市民も國粹マキを支持して銃をとつてゐるといふことである。バルセロナからの便りでは、ヴィシー、リモージュ地方では、南部フランス、ローヌ河谷を中心に「共產共和國」を宣言し獨立せしめる計畫を共產黨マキがすすめてをり、何時なんどき共產黨のブツチが勃發をみるやも量られぬと人心恟々たるものがある——との旅行者の言をD.N.B.がつたへた、南佛の諸地方では一九三六年の人民戰線當時すでに赤旗を掲げた村役場や市役所が相當にあつたほどのフランスのソヴェト地區である。

政府は今回の決意によつて、かかる事態の解決が出来ると思つてゐるかどうかは不明であるが、客觀的狀態は、今回の緊急令が燃える國內紛争の火に、水のかはりに油を注いだ結果になりさうである、政府自體の弱體は別として、ド・ゴール政府が屈服せしめ得ると信じた國民抗戰會議自身もまた、抗戰諸運動を統一して、これを指導する實力を有してをらず、この會議の足もとを見すかした事は、決して抗戰派の小股をすくつたことにはならないからである。

臨時政府分裂せん

まづド・ゴール自身の強硬態度が、閣内の統一的支持を受け得るか、どうかさへも疑問である既に先月末、ド・ゴールが斷乎として、この際國內軍問題を解決する決意をほめかした當時、閣内の左翼分子は、これに反對の態度を示して、共產黨出身の空相シャルル・テイロン、保健相フランス・ピルウの兩名は「自分だけは閣内の反對派」に屬すると宣言し、彼等の屬する黨は緊急會議を二日夜開いて政府案反對を決議した、外相のジョルジュ・ピドオ、生産相のラコストなど國民抗戰會議派、社會黨出身閣僚の態度も甚だあやしいといはれ、國內軍彈壓に力を入れすぎると、その餘つた力で内閣が四分五裂する危険さへなくもない

共產黨側では「萬一」の場合に武器がなくては仕事にならないと考へてゐるので、抗戰會議派の領袖たちが、パリにおいて何を定めようとも、そんな念佛を聞く耳などはない、反樞軸國側が現在までにフランス軍に供給した武器は全部で僅か二萬人分にすぎず、フランス軍に武器が足りないならば、反樞軸國が供給したらよいではないかといふのが彼等の主張である、ヴィシー政府側でもジョゼフ・ダルナン將軍をして、義勇軍を組織してゐる以上は、われわれだつて義勇軍を持つのは當然である、武器のない義勇軍など意味はないなどと、理屈にならぬ理屈を並べてゐるのが彼等だ

物を言ふのは武器

共產黨員を含めての左翼は持つてゐる武器に物をいはせて政府を脅し己れの政策をば、ド・ゴールの名において實施させやうといふのが眞の肚でド・ゴールが、交渉もせず既成事實を突きつけるのは怪しからぬなどとは單なる口實にすぎないのである、ロンドンの週刊誌「ニュー・リーダー」は十月の最終號で

パリ地方の狀況は混沌として見當もつかぬといふのが眞相だ、勞働者は、次第に革命的になつ

て、地方の工場では勞働者會議をもつてゐるものが多く、特にリールなどでは、工場の全權は勞働者の手にある、彼らは更に革新的變革要求をもつてをり、抗戰派の連中は、ド・ゴールの右翼への讓歩をみて、大いに感情をたかぶらせてゐる

フランスの現状をみてゐるとド・ゴールの手で政權維持が出来るなどと考へるのは全く間違つた考へ方だと斷定せざるを得ない、フランスの内部には何時爆發するか判らない危険が包藏されてゐる

と報じてゐるが、その裏を返してみるとド・ゴールが國民軍の武装解除を強硬に主張する理由がよく解るわけだ

共產革命への一路

彼の代辯者は

新秩序は抗戰諸派の政府への協力がなくては到底達成出来ない、政府は何も抗戰運動の解體を求めてゐるわけではなくて、規律を要求してゐるだけだ、大體、國家がその全力を擧げて、戰爭に勝つために努力してゐる際、政黨政派が自分勝手氣儘に武装私軍を有するなどは許容し得ない

といつてゐるが、各々に目的とするところが違つて顧みて他をいつてゐるので、話がこんがらかり問題は何時になつても解決しないわけだ、ベタン派義勇軍の指揮官ジョゼフ・ダルナンは一日、これに斷案を下して「エコ・ド・ナンシー」紙上でつぎのごとくいつてゐる

ド・ゴールはまだまだスターリンの要求に讓歩するだらう、そしてスターリンの用事が濟めば縮出されるだけだ、米英軍の占領に引つづいて共產黨の革命へとフランスが走つて行くとすれば、結局フランスの國民運動のためには好都合かも知れない、盲目的に、今日の事態の來ることを看過したフランス人も、その後の事件の發展で眼が開く日が來ようといふものだ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

獨軍攻勢轉移の機迫る

——ベルリン十三日江尻特派員發——

反樞軸側では歐洲戦局を今年中に片付けて來年からは直ちに對日攻勢に全力を振向け日獨兩國を屈服させようと目論んでゐたが、チャトチルの言明を藉りるまでもなくこの計畫は完全に失敗に終つたと斷定することが出來よう

過去の戦局を回顧するとスターリンググラーード以來二ヶ年に亘りドイツ軍は後退を重ねたが、これは今にして批判すればドイツ軍の作戰の無理から來た當然の歸結であつた、何しろ北氷洋から北阿に到る南北三千軒、大西洋岸からコーカサスに到る東西三千軒の廣大な地域を、しかも自然の障壁により相互の交通の連絡を妨げられてゐる地域を八千萬の人口で護り通さうといふのであるから歐洲要塞といふ思想には相當な無理が含まれてゐた現在ではドイツ人も緒戦の戦勝によつて敵の戦力を過少評價したところに、その原因の一半が潜んでゐたことを正直に認めてゐるが、今や國民全體が敵味方の戦力の差を冷靜に認め占領地域の縮小によつてこの差を極度に縮めると共に、國民全體が總てを投出して總力戦體制を一段と強化し、敵の前進阻止に底力を示し得たことは不幸中の幸ひであつた、百四十年前のナポレオンのドイツ侵入に際しプロイセンが國民軍を結成して遂にフランス軍をライプツヒで撃破した時と同じやうな悲壯な氣魄が、再び生々しくドイツ國民の魂を揺ぶりドイツ要塞の殻の中で異常な力を示し始めたのである

獨防衛陣強化す

第一に國外で戦つてゐた時とは違ひ後退は祖國の土を失ふことであるから、これを飽くまで死守せんとする戦意と精神において格段の相違を來してゐる、またいくら空襲が続いても補給が問題にならぬほど樂になり、國民が直接間接に軍の要員として役立つやうになつて來た、更に一年來急造中の地下の工場が次第に本格的に機能を發揮し始め、一年前には専門家が絶対に不可能と匙を投げてゐた人造石油の地下生産にも成功し、空爆に

よる軍需生産の低下は殆んど恐れる必要はなくなつて、最近發表されたV二號の發動とか更に敵側が報じてゐるロケット快速戦闘機等の出現等はこれを裏書するものといはねばならぬ、軍の動員についてみると二十歳前後の精銳分子だけで新たに組織された國民擲弾兵團だけでも、平時の新動員の何倍かに當る龐大な數になり、國民軍として組織されてゐる國民突撃隊もベルリンの自發的志願者だけで十三萬に達したと發表されてゐるから、全國では數百萬の豫備部隊が編成されてゐるわけである、その上六十歳以下の凡ゆる男女を總動員して東西の兩國境方面に急設中の要塞線は日を逐ふて強化される一方である、これは勿論野戦陣地を主としたものであるが、ドイツ側の報道ではこの他にコンクリート作りの本格的な要塞もあり、かつ徹底好みのドイツ人の國民性を反映し東西双方とも夫々縱深數百軒に及ぶ何千といふ陣地が作られてをり、敵の機動戦は完全に阻げられる仕組になつてゐる

かうした情勢は直ちに戦局に反映して來る、東部では東プロイセンからワルソー、カルパト山脈を連ねる線で殆ど釘づけになりハンガリー平原の前進も速度が次第に鈍つてきてゐる、赤軍は目下東プロイセン方面に大軍を集めてゐるので、遠からず大規模の冬季攻勢に出るだらうと豫想されてゐるが、東方軍司令官ラインハルト大將は第一回戦ではドイツ軍が勝利を収めたと言明し、自信のほどを示してをり、ソ聯側でもドイツ軍の防衛陣は強化し前進には非常に犠牲が要すると認めてゐる西南では反樞軸軍はアーヘンからライン地域に突入しようとする強襲を試みたが、ドイツ軍の死守により失敗し攻撃を停止するのやむなきに至り、數日來メツツ正面のロートリンゲンから相當規模の攻撃を始めてゐる、この攻撃のため反樞軸軍はアーヘン方面の部隊を南下させ相當強力な兵力を集結してゐるが、ドイツの偉大な作家シュリーヘン將軍がかつて指摘したやうにロートリンゲンからドイツを攻略することは、自ら好んで畏にかかるやうなものであるから、この方面からの決定的反攻勢は豫想されぬといふのが軍事通の一致した觀測である

反樞軸軍は目下ドイツ軍の弱點を探り當てることとドイツ軍の反攻を豫防する意味で各方面に攻略の鋒を向けてゐるた過ぎず、近い内に決戦的な攻撃に轉ずることは容易でない、この理由は第一にその第一線の兵力は七十個師程度と推定され、これでは未だ總攻撃を試み得ない、第二に補給の基地として重要なアントワープはシエルド河口のドイツ軍及びV一、V二號の攻撃により使用出來ずその他數千トンのコンクリート造りの浮船を繋ぎ合せて造つた急設港灣もそれほど機能を發揮出來ず、豫定の兵力、資材を蒐めるには未だ多少の時間がかかること、第三には赤軍の總攻撃と呼應して攻撃を始めた方が有利だからその時期を秘かに窺つてゐるが、ソ聯側もこれを希望し兩すくみの形になつてゐるといふ政治的理由等が擧げられる從つて西部戦線の大攻勢も早くも明年に入らねば始まらないと推定出來る、米英ソ三國は今年のうちに決戦を實現することに失敗し、徒らにドイツ軍の戦力強化を許してゐるばかりでなく、逆に時間を経つに伴ひ米英ソ三國間の政治的對立が深刻化するといふ條件が伴ふは必至だから、ドイツ軍は明年以降逆に攻勢に轉換出來る事態になり戦勝確保の第一歩を踏出すことが出來よう

米の霸道政策積極化せん

—マドリッド十一日小島特派員發—

この度の米大統領選舉の結果について一番注意しなければならぬことはデューイの敗北もさることながら、同時に上下兩院議員の選舉で兩院とも民主黨が絶對多數を占めたことである、これ僅今まで兩院で民主黨の議席を漸次蠶蝕しつつあつた共和黨としての敗北であるといはざるを得ない、共和黨の敗北といふことは孤立主義の敗北といふことで米國民はこの選舉によつて國際政治に積極的に介入する意志を明らかにした、即ちこの選舉の結果米國民が今日考へてゐることは戦争から早く抜け出たいとか、或ひは早く戦争を終らせたいとかいふことでなく既にかくまで戦争に深入りした以上とにかくこの戦争に勝ち、且つ勝利によつて生じた國內の諸問題を出來るだけ有利に解決す

るといふことだ

國內經濟の危機

國內問題主として復員の問題で、また階級を通じて今日米國人の最も惧れてゐることは戦ひに勝つのはよいが、戦争の終つたことによつて、生産過剩、不況、失業となつてはかなはぬといふことでロンドン各紙の特電も米國民は一九三二年の再來を何よりも恐れてゐると報道してゐる

次に彼等は戦後の生産過剩を避けるためには、單に復員によつて經濟機構を戦時態勢から平時態勢に手際よく切換へただけではまだ不十分で、さらに積極的に全世界に對し米國の經濟支配を確立し、生産力の増大した原料、農産物、工業製品等に對する世界市場を確保しなければならぬと考へてゐる、即ち超大規模生産の手を擴げてしまつた米國が戦争終了と同時に直面する經濟社會問題は皆米國が戦争から抜けるとか、今急に戦争が終つたとかだけで解決出來るやうな生やさしい問題ではなく、まづ戦争に勝ち、その後國內ばかりでなく全世界を米國經濟再組織のために動員しなければならぬほど深刻な問題だ、少くとも大多數の米國民はさう考へてゐる

戦争前進の一本槍

斯く第一に戦争に勝つこと、第二に復員をうまくやること、第三に米國の世界經濟支配を實現することが今日米國が意識的に或ひは無意識的に狙つてゐる所であり、この大事業を完成するためにはもう孤立主義とか干涉主義とか言つてゐる時期でないといふのが今度の選舉に現れた結果だ、從つて今後米國は戦争脱退どころか益々彼等の勝利に向つて邁進して來ると思はなければならぬ、そして世界經濟支配の一環として彼等が未來の大陸と稱する大東亞共榮圈の植民地化、特に支那大陸の植民地化に全力を擧げて來るに違ひない、この點、選舉の前日になされたスターリン議長演説と共に大東亞共榮圈の前途について大きな覺悟を促がしてゐるといへよう

要するに今回の大統領選舉で米國が非常に深刻な經濟社會問題に直面してゐることは明らかになつたが、同時にこの重大な問題を解決するために米國は一步も後退せず否寧ろ後退出來ず今後はただ前進の一本でやつて來ることが如實に示された

資料

代用品概念の揚棄

(ベルリン十三日發) ドイツといへば代用品の本家のやうに思はれてゐるが、代用品とはどんなもので、どんなに重要なものが、そしてドイツの代用品の歴史において、科學と實踐の協力は如何なる成果を生みつつあるか、以下ハンブルクのグスタフ・ブルム博士の説に聞かう

×	×	×	×
---	---	---	---

一九一四年乃至一九一八年の前大戦期間中、既に全原料經濟にかなりの影響を及ぼし結局は革命を齎さうとする諸現象の徴候が認められてゐた、それに先立つ自由貿易時代から、商品と原料の交換は地球の大部分が多少とも或種の原料に依存してゐることを明らかにしてゐた、硝石、石油、ゴム、木綿、羊毛、そして特に多くの金屬類は戦争のために重要になつてゐたが、その大部分は歐洲以外の地方からの産物だつたのだ、「代用品」は大急ぎで探し求められたが、開戦前の不注意な時代には或る種の原料の重大性が無視されてゐたので多大の困難に遭遇し、かくて完全な解決を生み出すための科學に必要な前提條件は全く失はれてゐた、ユダヤ人の後先構はね營業態度も、特に直接戦争努力と關係のあるやうな物資でない場合には殆んど無價値な商品など提供してかなりな影響を残したのである、輿論は長い間さうした産物、特に食料と關係のある商品の記憶に影響されてゐた、同時に一九一四——一八年の情勢は、適當な前提條件さへ十分あれば決して喜しからざる手段を藉りる必要のないことを明らかに示してゐた、長年の準備的科學研究のおかげで、大戦の勃發直後においても、空素供給の問題を解決することは可能であつた、即ち戦後時代に空素の人工生産を停止する意志は何人もたず、却つて農業方面の需要を充たすために發達さへ示してゐたからである、他の産物もこの期間に大いに發達したものが多數あつたが、その一方完全な代用品が得られる

ために十分な發達を遂げなかつたものではないではなかつた、この場合は再び入手し得るやうになつた原料への復歸がみられたが、戦争の經驗は殆んど必らず意義を減じてゐたのであつた

代用品研究時代

その後暫くの間は選ばれた道が守られ、特にドイツ科學は既定方針を系統的に追求した結果、一九二〇年代は偉大なる進歩の時代を現出したが、勿論ある程度の摩擦は免れなかつた、關係各派がさうした新概念に敵意を示しその適性に疑問を投げてそれを輕視すべく全力を盡すだらうとは、當然最初から豫想されてゐたことだつた、前大戰の代用品を記憶してゐる一般社會のこの種產物に對する不信が専門家たちの依然たる偏見以上であつたことは、容易に理解されるであらう、消費者は問題の品物に目立たない名稱によつて瞞されたのだが、専門家の偏見が間違つてゐたことは生産された品物によつて明らかにされた、その驚異的な實例は人造羊毛が初めて紹介された時のことだらう、この物質のある種の特性はこの原料をネクタイ製造に特に適當ならしめた、見事な色が出る上に、從來のやうに解け易いといふ缺點がなくなつてゐたのだ、このネクタイには「ヴィストラ」といふ名稱が與へられ、段々試用されてゐる中に人造羊毛の適性を云々することもなく消費者の稱讃を獲得してしまつたのである、一方企業性に富んだ纖維工業家は既に早くから人造羊毛の製造に乗り出してその特異性を利用することによつて素晴らしい成功を収めてゐた、この工業家はこの商品を顧客に提供して十分に満足を與へてゐたが、遂に或日人造羊毛を天然羊毛に混ぜて使用したいと提案してみると、忽ち社會に大變な議論を捲き起したある顧客は製造者が人造羊毛を使用してゐないと保證することを條件として前と同一原料の製品を納入するやうに注文した位だつたその工業家としては

前と同じやうに人造羊毛を混入した品物を差し上げるか、新しい柄を選んでそれを純毛で作るかしなければならぬので、この御注文はお受け致し兼ねる

と答へるより仕方がなかつた

代用品時代を脱却

以上二つの實例はこの種新原料においてはまづその特質を認識しそれに應じて製造することの必要を證示してゐるのである、この原則を忠實に守れば、その將來は天然產物よりか遙に優つてゐる筈であり、それに應じて技術的な發達の機會も大いに増すにちがひない

人造羊毛は最初服飾用に、後には技術的な目的に使用されたのであるが、これに比すべきは全く斬新な構造材料の類で、これは金屬に代る新しい可塑性物質及びゴム代用の「ブリーナ」の出現によつて可能となつたのである、當時ドイツは自國の自給自足と延いては全歐洲の自給自足のために全力を擧げて研究を開始したのだが、偏見（特に技術方面の偏見）は合成物質なる言葉によつて抑へられてゐた、これは確かに正しい表現で「代用品」なる言葉は全く棄て去られたのである

今次大戦中も多數の新製品が生れ、特に食料關係にはそれが多く、だが今日供給される產物は決して二十五年前の「代用品」と同一視さるべきではない、即ち今生産されてゐるものは天然產物よりある程度優れた高級食料であり、平時になつてもたとへ戦時ほどでなくとも兎に角依然若干の意義を保つべき性質のものである、それはもはやけなす意味での「代用品」ではなく寧ろ科學と實踐の協力から生れた戰果である、従つてまたそれは眞の進歩を示し、歐洲の食料自給自足を確保するのみならず、一步進んでその活力を増すものといはなければならないのである

ダンバートン・オークス會議と

ソ聯の態度

「タイム」誌十月九日號

ソ聯が戦争終了後の安全保障を熱望してゐるといふ事實は殆んど疑ふ餘地はないし、その熱望が單に感情的な慾望のみではないことも明らかである、今次大戦終了後には反樞軸國は米國を除き何れの國も少くとも一世代の間、大きな戦争を繰返

すことは出来ないだらう、ソ聯も當然安全保障を必要としてゐるのだ、それにも拘らずダンバートン・オークスの會議でソヴェト政府代表は反樞軸聯盟案の提出に際し、米英ソ支の四強國は何れも聯盟の侵略國懲戒の企圖に對して否決權を持つべきだ、否決國自身が侵略國である場合も同様であると主張した、これによつてもソヴェト政府が慎重に考慮を廻らし、何か疑念を抱いてゐることが解る、それは何故か「ニューヨーク・タイムズ」紙記者でジェームス・レストンはこれに對し次の通りの解釋を付してゐる

ソヴェト政府の心配の種はエストニア、ラトヴィア、リトアニアの諸國及びカーゾン線以東のポーランドにある、ソ聯は將來これ等バルト諸國或ひはポーランドは安全保障機構たる反樞軸聯盟に對し、ソ聯の侵略を訴へて出るだらうし英米兩國も彼等の哀訴に耳を傾けるに違ひないと考へてゐるのだ、ソヴェト政府はこれ等諸國の占領を侵略と思つてゐないばかりか、最初から當然自國の領土であり、自國の保全のため是非とも必要であるとみてゐる

スタリーンはルーズヴェルト、チャーチルとの會談で飽くまでこの地域の確保を主張した、ソ聯の安全保障機構に對する躊躇と慎重な態度、或ひは疑念などは他の反樞軸國に對するロシア人らしい現實的な意見の表明とみるべきだ、即ち「バルト海諸國及びポーランドに關する問題」については事實を直視するがいい、世界の安全保障が得られれば得られやうが、そのためにはまづソ聯の安全を確保する權利を認めるのが先決問題だ」といふのがソ聯の肚だ

さらにレストンは以上のソヴェト政府の態度を約言して次の通り述べてゐる

ソヴェト政府の態度は、ソ聯が米國に對しテキサス地方をメキシコに返却せよと要求しないのと同様、米國もソ聯に對しバルト海諸國の放棄を要求すべきではないといふのである

重慶の政治的經濟的將來

「ニューヨーク・タイムズ紙日曜附録」

十一月十二日號

孫 科

「重慶の將來如何」「戦後の世界における重慶の政治的經濟的發展の將來性如何」とは反樞軸諸國の親重慶派の質問するところであるらしい、重慶の將來に關して反樞軸諸國の全體を通じて重大關心が見受けられるのは當然である、蓋し重慶のもつ尨大な可能性を如何に指導するかによつて人類大半の禍福と世界の安定、若しくは混沌が決定するからである

「重慶は戦後の世界に果して權威ある國家として浮び出るか」この問題に解答を與へる前われわれは重慶の現政權に關し一應説明を要すべき特徴の存することを認めねばならない

一、重慶は單一政黨組織によつて統治され、政治軍事の指導權は偉人蔣介石大元帥の手中にある
二、現政權はその委任統治權を直接國民から得た譯ではない、といふのは國民黨が一九二八年政權を掌握して以來全國的選舉は一度も行はれてゐないからである
三、國民黨以外に他の政黨組織の合法的存在を認めない、特に支那共產黨の場合しかりである

孫文と民主主義

重慶は毫も一貫した意志をもつて民主主義的方角へと動いてゐなかつたと、わが自由主義的な友人達が臆斷することは皮相的には正當であるかも知れない、しかしここに記憶せねばならないのは國民黨は共和政體の父孫文を盟主と仰ぐ機動的革命指導者として發足したことである、孫文は支那に東洋的專制政治を排して民主主義的政府を與へることを約束した、孫文の提唱した國家機構の計畫に従ひ、國民黨は一九二八年政權掌握後試みに六ヶ年の期限を付して受託政治(Trusteeship)

を宣しこの制度下に民衆をして主權の運用行使に遺憾なからしめる組織力を訓練すべく企圖した、この六ヶ年は一種の政治的後見期であり、一定の條件が満足されたならば即時受託政治を廢止する豫定であつた、しかる後に立憲政治を布き、國會を選舉し國民に對して責任を負ふ政府を選ぶ肚であつた、しかしこの十六年間、孫文の立案にかかる政治的後見の計畫も満足に遂行されなかつた、この失敗は一つには支那民衆が近代的主義政治に未経験であつたことに起因するのであるが、次の事態の發生に因るところもまた大である、由來支那の革命運動には内訌が付物であり、この場合もまたある一派は國民黨を脱黨し昨日の支那共產黨の母胎となつた

一九三七年以來國民黨指導者は抗戰に没頭してゐる、この附加的理由により、後見政治の計畫はかりに重慶がこの期間を平和安泰の裡に過した場合に進捗したであらう程には進捗し得なかつた
蔣介石を首班とする國民黨は今もなほ孫文の國民黨議會並びに中央執行委員案に忠誠を誓つてゐる故に重慶がその歴史的使命を放棄し完全に反動的政權となるがごときは到底あり得ることでない、更に今次の世界戦争はファシズムに對する戦争である

單にこの一事をもつてしても、支那にとりては何らかの權威づくの政府が好ましいなどと今もなほ謬見を抱いてゐる反動分子に對し自由主義的民主主義的陣營を強化するには十分であらう、更に重慶がファシヨ政權を到底採用し得ぬことは、かかる行爲の結果が如何に災禍に充ちたものであるかを一考すれば納得されるであらう、もし重慶がファシヨ政權を採つたとすれば、重慶は自らを孤立せしめるに至るであらう、ファシヨ化したる國家に對し英米ソ聯が最も冷やかなる關係以外の關係を保つものとは想像し得ないからである

ファシヨ重慶は聯合國の四面楚歌の中に孤獨の境涯をかたねばなるまい、そして現在の盟邦諸國と衝突すること絶えず惧れて暮らさばならぬであらう、この一事を述べただけで、重慶が實際にファシヨ化することの如何に不可能であるかを示すに足るであらう

重慶がファシストになり得ないとすれば、では他の極端、共産主義者へと走るのではないかといふ危惧が外國の保守的な友人達の間に幾分ひそんでゐるかも知れない、かかるサークルは重慶が有力なる共産主義者の指導下に第二のソ聯となりソ聯と同一のイデオロギー、政治、經濟を有してソ聯と強固なるブロックを形成し遂には他日資本主義的民主主義の世界制覇を終熄せしめるに至るであらうと想像してゐるに相違ない、更に一步進めてわれ等の保守的友人達は第三次世界大戰を不可避とする事態をすら此處に想見するかも知れない、成程支那にもいはゆる共産黨なるものはある、しかし國民政府と九年の久しきに亘る武力抗争を経て一九三七年共産黨指導者は公然と彼等の指導精神として三民主義承認を中外に闡明した

余の信ずる所によれば、重慶の政治的將來はファシスト政權にも非ず共産主義政權にも非ずして實に共和政體の父孫文によりて與へられた民主主義を成就するに存する

國內統一の問題

今日國內統一の問題に最大の注意が向けられてゐるのは民主主義的立憲政治てふ目標に到達せんがためである、これこそ重慶の政治問題中最も喫緊の問題であり、また國民黨の合法的反對黨として他の組織的政黨の存在權を認める問題とも聯關してゐる

國民黨、共産黨の兩者が彼等の意見の對立を政治手段により解決することを誓約したのは、進歩的分子にとり満足すべきことであらねばならぬ、兩政黨はこれにより重慶及び世界の輿論の法廷に出頭したのである

現在のところ政府黨としての國民黨の要求することは次の二點である

一、共産黨は重慶軍の一部として國內軍に統一させるべきこと
一、共産黨支配下にある邊境行政區が國民政府の命に服従してはじめて重慶の行政的保全は回復し得べきこと

共産黨は國民政府に服従する先決條件として、第二政黨の合法的存在並びに活動の自由を要求して

ゐる、各政黨が互ひに相反する極からこの問題に近付かんとしてゐることは明白であるが、問題は目下極めて根本的なところにまで還元された、兩者が欣然として互譲を甘受し戦争完遂に即應すべき何らかの暫定措置が講ぜられることにより、この政治的相刺が解決されることは最も望ましい、かかる解決法が見出されたとすれば、重慶は戦後の世界に新興民主主義國家として登場し數個の政黨が華々しく活躍し得られるであらう、それらの政黨中もし國民黨が革命的傳統に依然として忠實であるならば、勿論最有力の政黨として残るであらう、共産黨は第二の地位を占めるだらうし、他の政黨は聯合して貧弱な第三黨となるであらう

戦後重慶の經濟

さて、今假りに重慶の國內戦線において自由主義的民主主義の勢力が勝ち、民主主義的代議政治を實施し得たとしよう、この場合重慶にあつては西洋に發生した無計畫且つ自由放任的資本主義制度の發達を意味するものではなく、國家と民間企業の混合制度を意味すると思考される、故に重慶の經濟は、あらゆる生産手段を國家の手中に收める全面的社會主義の方向に従ふものでもなく、さりとて無計畫無目的に資本主義の自由に開放されるものでもない、重慶目下の趨勢はその折衷案を基礎とする國民經濟の樹立に傾いてゐる、折衷案の作成に當る政府の専門家は互惠的國際貿易に立脚せる均衡經濟 (balanced economy) の設計仕上において民間産業家と協力すべきである

イングランド南部の強風

(リスボン六日發) ロンドン來電「昨冬以來の大強風が四日西方からイングランド南部を襲ひロンドン、南岸地區を荒した後時速八十哩の速度でドーヴァー海峡を通過した、イングランド南部では多數の家屋が屋根を飛ばされ、スレートや煙突を落され窓を壊された、ブリストルとカーディフは強風圏内を僅かにはづれたが、ブリストル海峡は非常に荒れ、英國海峡に面するブライトンは何年にもない打撃を受け棧橋や海岸通りまで激浪に洗はれた

昭和十九年十一月十八日(土)
第三二四四號

同盟通信

海外電報

(265)

【目次】

米第九軍も攻勢に参加……………二七五〇

英第二軍と協同攻勢……………

米英武器貸與更改交渉……………

ホルソンの使命……………

指揮範圍の發表に喰ひ違ひ……………二七五一

反樞軸支那戰局を憂慮……………

ドイツ公使急遽歸國……………

【米 國】……………二七五二

武器貸與更改と對英財政援助……………

大統領選舉制度改正を要求……………二七五三

製鋼會社の犯罪發表……………

軍需勞働者の離業増加……………

小麥、棉花輸出助成金額決定……………

【米 洲】……………

サンチャゴで外相會議か……………

【反樞軸陣營】……………

中立三國、米の要求拒否……………二七五四

平和會議から除外せん……………

英、スペインを恫喝……………

米ソの世界支配を豫言……………二七五五

米英の對波政策を非難……………

國際航空會議來春も開催……………二七五六

加波兩國間の新空路……………

【亡命政權】……………

諸軍事使節團を派遣……………

白政權、遊撃隊を武裝解除……………

共產黨最後通牒……………

【英 國】……………

ネールの釋放を要求……………

【ス イ ス】……………

政府の外交政策を彈劾……………

【ド イ ツ】……………

黨軍の一體化を促進……………二七五七

【東 南 歐】……………

ブダペスト市民を徵用……………

暗雲垂れこめるブダペスト……………

エラス司令を參謀次長に……………

羅港で赤色騷擾……………

【フ ラ ンス】……………

太平洋戰に参加か……………

【特 輯】……………

「過渡期」の諸問題……………二七五八

【資 料】……………

善隣政策の沒落……………二七六三



アイゼンハワー司令部は十六日に至り中將ウィリアム・シンブソンの指揮する米第九軍がオランダで行動を開始した旨發表したが、これによつて反樞軸軍の攻勢重點が何處にあるか明かとなつた、まだ作戰區域は明確にはされてゐないが英第二軍と呼應してドイツ西北部への突入を狙つてゐるといはれてゐるところからみてニムウェーゲンを突端とするオランダ中南部における反樞軸軍橋頭堡の東端から作戰を開始したものと解される、同時に十六日午前十一時英第二軍の南方アーヘン地區を作戰區域とする米第一軍も攻勢を開始したと發表されてをり、去る十四日以来マース河西岸のドイツ軍橋頭堡の芟除を目指して攻勢を展開してゐる英第二軍と併せここに西部戦線の北部地區においては現在三個軍團が同時攻勢をとつてゐるわけである、以上三軍の攻勢がいよいよゆる、ジューフリード線に對する本格的攻勢であるかどうか直ちに斷定を許さないが三軍ともに從來にない大規模な空軍と砲兵隊を使用してをり今回の攻勢を單なる準備作戰とみることとは出來ない、既に南部戦線においてはメッツ周邊でパットン麾下の米第三軍がまたベルフォール關門ではパッチの指揮する第七軍がそれぞれ大規模な攻勢を展開してをり現在オランダ中部の國境地區からヴォージュ山脈の南端にかけての全線に亘り熾烈な攻防戰が続けられてゐるのである

去る八日メッツ周邊で開始された米第三軍攻勢をきっかけとして僅か一週間の間に全線に亘つて反樞軸の攻勢が展開された事實は注目し、或ひは現在の作戰がそのままアイゼンハワー軍の全面攻勢に發展するのではないかと見られる

米第九軍も攻勢に参加

(リスボン十六日發) バリ來電「アイゼンハウアー司令部は十六日次の通り發表した」

中將ウィリアム・シンブソン麾下の米第九軍はオランダにおいて行動を開始した

英第二軍と協同攻勢(リスボン十六日發) 去る十四日開始されたデンブシー麾下第二軍の攻勢に引續き十六日米第九軍もオランダにおいて行動を起すに至り西部戦線北部地區の戦況は極度に緊迫化するに至つた、米第九軍については去る八月末アイゼンハウアー司令部から同軍團が西部戦線に出動してゐる旨發表された以外作戦地域については一切沈黙が守られ、すでにドイツ軍當局でも第九軍は恐らく豫備軍として近い將來最も重要な戦區に投ぜられるであらうと言明し、同部隊の動きに多大の關心を拂つてゐたほどで、今回オランダ戦線に同部隊が投ぜられたことは反樞軸軍の大攻勢の重點がどこにあるかを明示するものとして注目される、パリからのUP電によれば第九軍の新攻勢はオランダ東南部マース河西岸地區におけるデンブシー麾下第二軍の攻勢と呼應するものといはれオランダとドイツとの國境地區において十六日午後猛烈な空軍による爆撃に續いて開始された様子だ、第九軍の作戦區域が英第二軍のそれとどういふ關係になるかはつきりしないが、AP前線報道が米軍の新攻勢はドイツ西北部を指すもので既にオランダ國境地區からドイツ本土間のドイツ軍陣地を攻撃してゐる旨報じ、更に別電が米第九軍の進撃方向をオランダの國境都市ヴエンローにある旨傳へてゐるところからみてヘルモンド南方で作戦中の英第二軍の北方においてドイツ國境の突破を狙つてゐることは略々明らかだ

米英武器貸與更改交渉

(リスボン十六日發) ワシントン來電「財務長官モーゲンソーは十六日の新聞記者團會見で次の通り言明した」

米國政府は目下英國政府代表との間に米英武器貸與協定の更改延長に關し交渉を進めてゐる、即ち歐洲戦終了後英國が太平洋戦に使用すべき

武器彈藥その他軍需品の對英貸與が現在の交渉の目的であり、これにより對英武器貸與は「第二段階」に入るといふべきだらう、但し一部に傳へられるとき英國に對する特別借款は現在の交渉には含まれず、政府は議會の承認を得ずしてかかる借款交渉を行ふ權限はない、一方政府はブレトン・ウッズ會談で決定された國際通貨安定並びに再建銀行の設立に關し議會が至急審議を開始するやう要求したが、議會からまだ回答に接してゐない

米國の對英借款問題は十五日の「ウォール・ストリート・ジャーナル」紙が米國の對英五十億弗借款說を報じ米國財界に大衝動を與へたためモーゲンソーが一應これを否定したとみられるが、米國財界、產業界は對英借款は勿論歐洲戦終了後の武器貸與延長にも反對の態度をとつてゐる

ネルソンの使命

(リスボン十六日發) 重慶來電「ルーズヴェルト特使ドナルド・ネルソンは十三名の専門家を帶同して十六日空路重慶に到着したが、飛行場において次の通り言明した」

今回の使節は從來重慶に來訪したうちで最善の使節であらう、余自身がどの位長く滯留するかはわからない、余が去つた後も軍需生産局員ハワード・コーンレー外數名が居残る豫定である一行には五名の製鐵専門家と燃料アルコール生産の専門家が加はつてをり、立遅れた重慶の重工業及び軍需諸工場の振興に援助を與へる意圖と見られる一方、重慶軍需生産局の初代局長翁文灝は十六日聲明を發表し、軍需生産局がネルソン等に對し緊密に協力する旨保障した、使節團の主な顔觸れ左の通り

エドウィン・ロツク、カール・ベル、フランシス・クリアリー、ハーバート・グラハム、ヘンリー・オヴセン、オイゲン・スタリングス、ハリー・ストレイン、アルバート・カー、ホワイティン・グ・ウイロアー、アレックス・タウブ

指揮範圍の發表に喰ひ違ひ

重慶蔣介石の指揮權を強調

(リスボン十五日發) スチルウエルの罷免と同時に米軍の指揮區域が支那及び印緬の二つに分離されたことなどから蔣介石の指揮權及びその範圍が反樞軸國の話題となつてゐたが、重慶來電によれば政府代言人張平群は十五日の記者團會見で蔣介石は支那、佛印及び泰の各戰域における反樞軸の最高司令官であると言明し、ド・ゴールのフランスは佛印をこの指揮範圍に入れることに同意したかとの質問に對し外交部次長吳國楨は

この指揮區域は反樞軸軍の間で意見一致したものだ

と強調したといはれる

しかるに支那戰域米軍司令官に就任したウエデマイヤーは去る七日の言明で

佛印は支那戰域に入り泰は東南アジア軍司令部の擔當區域に編入されたと發表してをり、重慶側の言明と明らかに喰ひ違ひが認められる

支那戰局を憂慮

責任を繞り米英の論調對立

(リスボン十五日發) 桂林、柳州の陥落により支那大陸の戰局は決定的な段階に達し反樞軸陣營の憂慮は更に深まるに至つたが、この空氣を反映して米英の報道機關は何れも事態の重大性を説いてゐる、注目すべきは米國側が戰況不利の責任を重慶に押し付けて非難しスチルウエル事件にひつかけて重慶の改革を要求するに對し、英國側はこの非難を不當だとしてゐることだ、その代表的なものの「ワシントン・ニューズ」紙は十五日の紙上で「支那の敗退は米國の損失」と題する次の社説を掲げてゐる

支那における最近の軍事的災厄はスチルウエルが蔣介石に對して、日本軍の進撃を阻止する唯一の途は蔣の軍統帥の改革と軍の再編成を迅速に斷行する以外にないと述べた警告を裏書きす

るものだ、現在の敗退は重慶のみならず米國自身敗退でありそれは太平洋における米國の勝利を一部相殺するのみならず戰爭を長引かせてゐる、日本軍の進撃は滿洲から廣東に至り、更に昭南に繋がる陸上ルートの設定に成功しつつあり、かくして米海軍が日本々土を東南アジアの占領地域から切離す企圖を防止すると共に支那沿岸上陸をアイゼンハウアーのノルマンディに對する水陸兩用上陸作戰と同じやうに困難なものとしてゐる、日本に對する痛撃に必要な陸上及び空軍基地としての支那の重要性は米國の陸、海軍首腦部が一般に強調してゐる通りで、支那に起る出來事は米國人のすべてにとつて重大な影響を持つものだ、われわれは東南アジアにおける英軍の行動及び支那に對してヒマラヤとビルマ公路を越えて送る米國の補給に拍車をかけ、蔣介石を督促して重慶の軍制改革を完成させるルーズヴェルトの努力が成功することに期待をかけるのみだ、重慶の軍制改革がなくては米國の援助は効果がない

一方、英國では「デーリ・ニューズ」紙が日本軍の進撃を評し次の通り論じてゐる

反樞軸は日本が過少評價すべからざる最大の戦力を持つ敵であることを遂に認めなくてはならない、支那における日本軍の最近の成功は、反樞軸が大東亞地域における反樞軸の交通連絡が確保されたと見做し得るまでには幾多の痛烈な打撃を喫しなくてはならぬことを、あまりにも明瞭に實證してゐる、米國は東南支那の貴重な空軍諸基地を喪失した責任を重慶政權に歸して非難してゐるのは全然當らない、蔣介石は缺點を持つてもゐようし失敗も犯したかも知れぬが日本軍と對等の近代制軍隊を創造することを蔣介石に期待するのは事態のありのままを直視することを故意に拒否するも同然だ

ドイツ公使急遽歸國 (ベルリン十六日發) ストックホルム駐劄ドイツ公使ハンス・トムゼン氏は十六日ベルリンに歸國獨瑞兩國間の關係について本省に報告した、公使は近く歸任する豫定だが最近各種の事件頻發し、兩國の關係が可成り重大化するに至つたことは否定出來ない

【米 國】

武器貸與更改と對英財政援助

戰後市場を繞る米英の對立

(リスボン十五日發) 十五日の米國經濟新聞「ウォールストリート・ジャーナル」紙ワシントン特派員は次の通り報道してゐる

英國の經濟的危機を救ふため目下米英兩國政府間に五十億弗の借款交渉が進められてゐる、武器貸與によつて米國が現在までに英國に與へた援助額は百二十億弗の巨額に達してゐるがこの借款は武器貸與とは別に英國に對する特別借款である、この交渉が纏まれば大統領ルーズヴェルトは明年一月の議會にその承認を求めることとならう、對英借款を支持してゐる米國政府の當局者は戰爭終了直後英國が直面すべき恐るべき經濟的危機を救ふことは米國のためにも必要だと主張してゐる

この借款問題は過般のケベック會談の際英國首相チャーチルからルーズヴェルトにもちかけたのをその端緒とするといはれるが、從來武器貸與問題をめぐる米英兩國の關係は必ずしも圓滑ならず特に米國民間業者の間では英國が武器貸與で米國から受取つた物資に若干の加工を加へ、甚しき場合はこれをそのまま海外市場に再輸出し、米國の犠牲において英國商權の擴張をはかつてゐるとの非難あり、特に最近に至つては米國の對英武器貸與は英國の戰爭努力を援助するとの建前である以上、歐洲戰の終結を機會に一切停止すべきであるとの主張が行はれ始めた、これに對して英國側では英帝國駐屯の米國軍隊に對する龐大な補給を初め英國から米國に對する逆貸與も巨額に達してゐることを指摘し、更に戰後に豫想される英國の經濟的困窮が全く戰爭の結果招來されるものであることを強調して、米國の對英經濟援助が歐洲戰終了後も繼續さるべきことを希望しかつ主張してゐる、英國政府が近く英國の破産をぶちまけた思ひ切つた白書を發表するだらうと傳へられるものとの間の事情を物語るものだが、ここに米英武器貸與協定更改問題と共に前記の借款交渉が開始されたのであらう

英國の蟲のよさを非難

武器貸與更改交渉について米國產業界の機關誌といはれる某雜誌が最近次の通り報道してゐる

米國政府は英國に對して英國が武器貸與によつて受取つた物資に對する支拂は商賣的に片づけようとしてゐる、右につき目下米英兩國間に行はれてゐる交渉の内容を要約すれば次の通りとならう

一、英國に供給された器具機械類及びその部分品の評價は平和時の價格によつてなされること
一、英國の輸入業者は米國から受取つた物資に對し英國政府に支拂ひ、英國政府はこれを米國政府に取次ぐこと

一、英國の製造業者は米國政府の承諾なくしては米國から供給を受けた機械器具類を海外市場に輸出しないこと、況んや米國市場に再輸出することときは絶対に慎むこと

しかしながら、たとへかかる制限が附されるにせよ、武器貸與協定が更改存続されることは武器貸與本來の目的を根本から破壊し去るものである、何故ならば武器貸與は戰時における緊急措置であり、決して英國の戰後經濟力回復の援助を目的としてゐないからである、議會はかかる武器貸與の更改延長を承認するはずなく、一方米國の產業界も武器貸與が世界市場において英國が米國の競爭者となる力を養ふ道具となるやうなかかる措置には同意を與へないだらう、武器貸與の戰後存続を不可とするならば、これに代るべきものは借款供與であるが、これに關しては政府が議會の承認を得て五十億弗の借款を英國その他反樞軸諸國に與へ、これにより平和物資の購入を可能ならしめるとの案が傳へられてゐる、英國内では米國の武器貸與援助は戰爭寄與の一部として帳消しにさるべきだとの蟲のいい議論が行はれてゐるやうだが、英國人は米國の援助を得るためにその領土主權をさへ犠牲にして顧みなかつた當時のことを考へてみるがいい

戦費を共同で負擔

戰後の世界市場に對しては米英兩國共に相當深刻な對立感を持つてをり、例へば最近の英國下院で一議員から「米國政府はラテン米洲における英國の商權を篡奪せんとしてゐる」との發言が行はれ、この發言は忽ち國務省の新聞記者團會見で問題となつた位だ

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ただ民間業者の猛烈な反対にも拘らず、政府當局者は武器貸與乃至は借款による對英經濟援助の續行はある程度必要だとの見解を持してゐるやうで、國務省戰時經濟局長チャールス・タフトは十五日サンフランシスコで要旨左の如き言明を行つてゐる

英國の回復を援助することは同時に米國の利益である、英國の負債高は現在百二十億弗に達してゐるが、英國はその國內經濟を維持するためにも戰前より數倍の輸出をしなければならぬ、一方英國は米國商品を買ひたくてたまらないのだが弗資金に缺乏してゐる、英國の戰後回復を助けるためには、米英兩國が今次大戰の戰費を共同で負擔するといふ考へ方が必要である、戦債不拂ひ國に對する融資を禁止したジョンソン法のごときもこの際撤廢する必要がある

大統領選舉制度

改正を要求

(リスボン十五日發) ワシントン來電「クラレンス・リー及びにユージン・ウオーレリーの兩民主黨議員は十五日、現在の大統領選舉様式を「最も時代遅れ」だときき下し、これが改正を提唱次の通り述べた

この次の大統領選舉までには憲法の改正を俟つて選舉様式を變へなければならぬ、現行の選舉人選出の制度は一般投票にみられるやうな國民の眞意を反映してゐない、また選舉人が黨候補に投票しないやうな場合は國民から選舉權を剝奪したと同様の結果とならう

リーは既に十四日議會に對して、現在の選舉人制度を存置しつつも各州内における一般投票數の比率に應じて選舉人の票數を各黨候補者間に配分するといふ選舉制度改正法案を提出した

製鋼會社の

犯罪發覺

(リスボン十五日發) ワシントン來電「檢事總長ビドルは十五日次の通り發表した

鑄止め鋼の價格決定に絡る瀆職事件に係した十八製鋼會社並びに六名の社員が十五日ニュージャージー州トレントンにおいて告發された、右に關する大審院の判決理由は次の通りである

被告は鑄止め鋼製品賣却に當り、その獨占的立

場を利用して價格及び賣却條件を勝手に決定、維持するため、一九三四年以來今日まで終始非合法的行動に出てきた

右判決の結果最高は五千弗の罰金並びに懲役一年の刑を課せられることとならう

しかしして右十八會社の内には、カーネギー、ユ・エス・ステイール、ベスレ・ヘム等の大會社も含まれてゐる

軍需労働者の

離業増加

(リスボン十五日發) ワシントン來電「造船王カイザーは十五日大統領ルーズヴェルトを訪問軍需労働者の轉業問題に關し協議を遂げた後記者團に對し次の通り述べた

最近軍需労働者が續々辭めるので、重要軍需産業が非常に困つてゐる、余は大統領が直接労働者に呼びかけ、職場に留ることを要請するやう大統領に依頼した

小麥、棉花輸出

助成金額決定

(リスボン十五日發) ワシントン來電「戰時食糧局は十五日棉花並びに小麥に對する輸出補助金を次の通り決定した旨發表した

一、棉花

△一封度につき四仙

一、小麥

△大西洋岸並びにメキシコ灣諸港よりの輸出

一ブツシエルにつき三十四仙

△太平洋岸よりの輸出 一ブツシエルにつき

二十九仙

△鐵道輸送 一ブツシエルにつき六仙

【米 洲】

サンチャゴで

外相會議か

(リスボン十五日發) サンチャゴ來電によれば、アルゼンチン政府提唱の米洲諸國外相會議が各國の同意を得ればその開催地はサンチャゴになるだらうといはれる、理由は米亞兩國關係が最惡の状態にある現在、チリーがアルゼンチンの隣邦としてその立場をよく理解してゐると同時に米國との關係も圓滑だといふにある

【反樞軸陣營】

中立三國、米の要求拒否

(リスボン十五日發) ワシントン來電「國務省は十四日いはゆる戦争犯罪人の中立國亡命拒否を要求した政府申入れをエール政府が婉曲に拒否した旨發表したが、右に關しUP通信社は十五日次の通り報道してゐる

米國政府は本年八月各中立國に對して戦争犯罪人の遁入を拒否するやう要求したが、現在まで大體満足な回答を寄せてきたのはスエーデン、スイス、トルコ、スペインの四中立國でエール、ポルトガル、アルゼンチン三國は米國政府の要求通りの保障を與へなかつた、エールの回答内容は不明だが、國務省は既に「米國の要求を全部容れたものでない」旨明らかにしてをりまたポルトガル政府も戦争犯罪人の入國は拒否する方針だとの聲明は發してゐるものの確たる保障は與へず、更にアルゼンチンに至つては米國と斷交關係にあるので、右に關する同國政府の正式意志表示はまだ米國政府になされてゐない、結局中立諸國のうちで米國の要求を全面的に容認し、斷乎戦争犯罪人入國拒否の態度をとつてゐるのはスエーデン、トルコの兩國に過ぎない

平和會議か

(ストックホルム十五日發)

ら除外せん

ロンドン來電「英外相代理リチャード・ローは十五日下院

で次の通り言明した

英國政府に關する限り、今次大戰において反樞軸國の戦争努力に積極的貢獻を與へなかつた國家を媾和會議は勿論その他の平和處理會議から除外してもこれは當然だとの見解をとつてゐる右言明は戦争犯罪人の入國問題につきエール政府が英國の要求を婉曲に拒否したと關係ありとされてゐるが、AP通信はロンドン政界筋の右言明に對する解釋として次の通り報道してゐる

ローの言明は英國政府だけでなく、米ソ兩國の立場をも代表してゐると見てよからう、右言明の對象となる國は中立國全部だが、反樞軸國に對して好意的中立の態度を示してゐるスエーデ

ン、スイス、ポルトガル、トルコ四國はあまり問題とならぬとして専らその對象となるのはアルゼンチン、エール、スペインの三國であり、就中フランコ統領の下に過去久しきにわたり親樞軸國とされてきたスペインが、結局反樞軸國のあらゆる平和處理會議から除外される可能性が愈々濃厚となつてきた

英、スペインを

(リスボン十五日發) スペイ

恫喝

ン大統領フランコ將軍が過般新聞記者團との會見席上スベ

インの中立的地位を強調した末に、戦後の媾和會議にスペイン代表を参加せしめたい希望を示唆したのに對し、英國外相代理リチャード・ローが十五日下院においてフランコ將軍に露骨に當てつけて中立國の媾和會議参加を拒否したことは、去る十月十七日下院における副首相アトリリーの言明並びに十一月十一日號の「エコノミスト」がスペインに對する強力な「政治攻勢」の展開を要望したことと有機的な關聯を持つものとみるべく、スペインを反樞軸陣營に強引に捲き込まうといふ意圖は明瞭で、最近のいはゆる「戦争犯罪人に對する避難所供與問題」を繞る米英兩國の外交措置とともに中立國に對する反樞軸外交攻勢の一翼と解すべきであらう

中立以上のものを期待

ロイター外交記者ガイ・ベタニーは以上英國政府のスペイン壓迫方針を明確に反映し、スペインに對する媾和會議参加拒否を合理化しようとして圖つて十五日次のやうな勝手な理屈を並べた

リチャード・ローはフランコ將軍の希望を頭から撥ねつけたが、元來交戦國が中立國を媾和會議に参加させたためしはないから、スペインに對してだけは特例を設けなければならぬ理由は全然ない、フランコ統領は媾和會議に参加出来る資格として「スペインが嚴正中立を守つてゐるから」と主張してゐるが、かかる理由には反樞軸はかりでなく樞軸側も良い顔をする筈がない、今次大戰が全體戰であることは暫く措くとしても、戦局の發展が反樞軸陣營に有利となれば、反樞軸が中立國に單なる中立以上のものを期待するのも蓋し當然であらう

米ソの世界支配を豫言

(リスボン十四日發) 米國評論家ピーター・ドラツカーは月刊誌「ハーバース・マガジン」十月號に「大國と歐洲」と題する論説を寄稿、英國の西歐洲聯盟案をとり上げて次の通り論じてゐる

チャーチルは英國が全世界唯一の大國だと自負してゐるが、經濟力、人口、戰略的地位において優位を占める米國及びソ聯の存在は英國の支配的地位に大きな脅威を與へてゐる、チャーチルは度々開催された反樞軸會談で三國乃至四國共同の歐洲支配案に極力反對を表明し、以上の案を認めねばならぬ仕儀に立ち至つたときには英帝國の力を藉りて英國の地位をつつかへ棒にしようと思ふだしかるに英帝國の自治領がチャーチルの計畫にそつぽを向くと彼は他に活路を求めねばならなくなつたのである、以上の活路として英國を盟主としてスカンデナヴィア諸國を含む西歐洲諸國の聯盟案を最初に提唱したのはほかならぬスマツツ將軍であつた、英國内ではチャーチルの右腕たるイーデンがこのスマツツ案を大いに支持し、英國、ベルギー、オランダ、ノルウェー諸國の強力な提携を主張してゐる「タイムズ」紙はかかる聯盟の經濟的面をとり上げ、強固なスターリング・ブロックを確立するならば、もしも一國が不況に襲はれても、他の國を道伴れにすることはないと論じ、英國を盟主とする歐洲スターリング・ブロックが強力になればなるほど歐洲全體におけるその地位は重要となるであらうと主張してゐる、しかしながらかかる計畫は米ソ兩國が戦後の歐洲に意圖してゐるもの、即ち米英ソ三國の歐洲支配案の實現と全く矛盾する、いづれにしても情勢の發展に伴ひ英國が大國の地位から轉落すれば、米ソ兩國の世界支配といふ結果を招来しよう

米英の對波

政策を非難 (リスボン十四日發) 英國週刊誌「エコノミスト」の十一月十一日號はポーランド國境問題を再びとり上げ、亡命ポーランド政權に對する米英兩國政府の仕打を次の通り非難してゐる

フランコ統領の中立國を否定

最後にベタニーは以上の措置はフランコ統領のスペインにだけ適用されるのだと稱して暗にスペイン國民にフランコ政權の清算を煽動する英國政府の底意を明らかにして次の通り結んでゐる

リチャード・ローは明確に言明することを避けてゐるがもしも中立國にしてフランコ統領のやうな、問題にもなにもならぬ要求を提示する資格ありとすれば、その中立國はフランコ統領の中立國であつてはならぬといふことをこの際指摘しておかねばなるまい、フランコ統領は長い間スペイン政府は中立國ではなく、樞軸に與する非交戰國だと揚言してきたが、樞軸の敗北を確信すると慌てて中立の旗を掲げたただけだ、しかしながら、ダンバートン・オークス會談で草案された反樞軸國際組織案でも明らかなやうに媾和會議の門戸は「あらゆる自由愛好國」に開放されてゐる、今次大戰で中立を維持しながらも「自由愛好國」であり得るものもある、但しどの國が「自由愛好國」と見做されるかは反樞軸がいづれ決定することにならう

チャーチル・スターリン議長とのモスクワ會談の結果、チャーチルとルーズヴェルトがテヘラン會談でカーゾン線をポーランドの東部國境線とすることに同意したことが明らかとなつた、かかる遺り口はポーランドが米英兩國により正當な取扱ひを受けてゐないといふ世評を確認する以外のなものでもない、亡命ポーランド政權はチャーチルとルーズヴェルトがテヘランから歸つてきたときに以上の決定につき通告を受けたであらうか、恐らく通告を受けはしなかつたであらう、西部國境に關するポーランドへの譲歩は代償の名に値ひしないことはいふまでもない、東部國境がどうあらうとも、西部國境がどう擴大されようとも、問題となるのはポーランドの獨立だ、他國の傀儡に過ぎぬ大きなポーランドよりも小さいが獨立を確保するポーランドの方が百倍もよい筈だ、近く米英ソ三國會談が開催されるが、テヘラン會談における譲歩の代償としてスターリン議長に共同の大義に何等かの寄與を行はしめるべきだ、スターリン議長はすくなくともルブリン政權の尻押しを止めるべきである、また米英兩國政府もポーランド國境問題でソ聯に譲歩した限り、あとはミコライチクを飽くまで支持しなければならぬ、チャーチルはソ聯との關係が今日ほど緊密となつてゐることではないと聲明してゐるが、それならば何故にソヴェト政府はポーランド問題につきかかる不合理な態度をとつてゐるのであらうか

國際航空會議

來春も開催

(リスボン十三日發) 目下シカゴで開催中の反樞軸國際航空會議は種々の問題で摩擦を生じ難航を續けてゐるがシカゴからのロイター電報によれば更に來春を期し特に技術的諸問題に關して國際會議を開催する豫定といはれる

加濠兩國間の

新 空 路

(リスボン十五日發) モントリオール來電「英空軍輸送司令部ではかねてカナダ濠洲間に新空路開設を計畫してゐたが、十四日濠洲からの第一便がモントリオールに到着した、使用機はリベレーター「コマンドー」機で、「ノルマンディ」と命名され、旅客二十名その他緊要軍需貨物郵便物など極限量まで搭載してゐた、飛行航程は

二三、五〇〇哩、飛行日數四日であつたが、實際飛行時間は十六時間十分であつた

【亡命政權】

諸軍事使節團を

派 遣

(ストツクホルム十四日發) ロンドン來電によれば、亡命ノールウェー政權は軍事使命を北氷洋戰線に派遣、同使節團は現在赤軍司令部に滞在中といはれる

白政權、遊撃隊

の 武 裝 解 除

(ストツクホルム十四日發) ブラツセル來電「ベルギー政權國防相フェルナン・デメは十三日夜國內の全遊撃隊に布告を發し、きたる十八日までに一切の武器を政府に引き渡すやう嚴命した

共 産 黨

最 後 通 牒

(リスボン十五日發) ブラツセル來電「ベルギー共產黨はピエロー政權が全遊撃隊を即時ベルギー國軍に編入し、政治經濟上の對獨協力者を政府機關から放逐し、生産妨害に努める全工場を接收しない限り、共產黨員の關係を政權から退陣させる旨決議、十五日ピエローに最後通牒を突きつけた

【英 國】

ネールの釋放

を 要 求

(リスボン十五日發) ロンドン來電「印度政界の領袖パンジット・ネールの第五十五回目の誕辰を祝して在英印度有力者及び英國人の會合が十四日開催されたが、出席者は悉く目下獄中にあるネールの釋放を要求し、さらに英労働黨議員デーヴィスのごときは、ネールその他に對する英國政府の取扱ひは殘酷であり且つ非常識だと述べた

【スイス】

政府の外交

政策を彈劾

(チューリツヒ十五日發) ベルン來電「ソ聯がスイスとの國交回復を拒絶して以來政界は異常な混亂を續けてゐるが、社會民主黨は十五日ベルンで黨大會を開催、從來の外交政策の失敗を指摘して外務省特に宣傳部門の徹底的肅清を政府に要求する旨決議した

【ドイツ】

黨軍の一體化を促進

(ベルリン十六日發)七・二〇事件を契機として政府は黨軍の一體化に努めてゐるが今回更に一九三五年五月二十一日の徵兵法を修正、從來禁止されてゐた軍隊内における黨員としての活動を許されることになつた、武裝軍の兵士は今回の修正法によつて公私の如何に拘らずナチス黨精神に基づいて行動するやう要請され、將校並びに下士官は黨精神に則つて兵士の教育にあたねばならぬことになつてをり、一九三五年の徵兵法のうち陸海空軍に服務中の黨員が黨員として活動するのを禁止してゐた部分は廢棄され、更に今後は將兵の黨加入について軍當局の許可を求める必要なく、また武裝軍將兵が黨乃至黨組織における地位につくことも軍務に牴觸しない限り許される、なほ右修正徵兵法にはヒトラー總統、ゲーリング元帥、カイテル幕僚長、ランマース博士、ボルマン黨官房長の署名があり既に去る十月二日以來實施されてゐる

【東南歐】

ブダペスト

市民を徵用

(ブダペスト十五日發)ブダペスト來電ハハンガリー政府は十四日ブダペスト市のベスト地區居住の二十一歳から三十二歳までの男子全部に對し徵用令を下した、これらの壯丁は十六日から國土防衛の諸任務に就く豫定である

暗雲垂れこ

めるブダペスト

(チューリッヒ十四日發)ノイエ・チューリッヒアー・ツアイツング」紙のブダペスト電報は赤軍の脅威下に曝されたハンガリー首都の切迫した狀況につき十三日次の通り報じてゐる
ハンガリー政府各官衙のブダペスト市引揚げは目下盛んに行はれてをり、通りといふ通りは色とりどりの車輛で充滿してゐる有様で市民は一年前まではブダペストが歐洲で一番平和で美しい都會であつたことを想起して首都の運命を氣遣ひいづれも暗澹たる表情を浮べてをり物價は鰻上りに騰

貴してゐる、九日の午前三時以來市の南方から間斷ない砲火の轟きが再びきこえ始めた、ブダペスト市は十一月から三月まで霧に包まれるが、昨今は空までが雨雲を低く垂れて泣き出しさうだ

エラス司令を

參謀次長に

(リスボン十五日發)アテネ來電ハギリシヤ首相パパンドレオはギリシヤ遊撃隊「エラス團」に對し十二月十日までに解散せよとの命令を發したが、右命令に伴ひ十五日エラス團司令官シル・サラフィス將軍をギリシヤ國民軍參謀次長に任命した

羅 港 で

赤 色 騒 擾

(リスボン十五日發)ブカレストからのタス電報が十五日傳へるところによれば黒海に面するルーマニア軍港コンスタンツアの民衆は突如市役所を襲ひ、鎮壓に驅けつけたルーマニア部隊を排して市役所を占領從來の官吏を追ひ出して共產系の官吏を勝手に任命したといはれる、ルーマニア軍隊はソ聯當局を憚つて暴徒に對し發砲しなかつたが、かかる事件は各地に擴大する形勢にありルーマニア裏切政權も急遽對策を協議中と傳へられる

【フランス】

太 平 洋 戰

に 参 加 考

(チューリッヒ十五日發)エクスチエンジ・テレグラフ通信のロンドン電によればチャール・ド・ゴール會談において兩國のフランコ政權に對する態度が協議され英國及びド・ゴール政府はこの點に就て完全な同一歩調をとるに決定したといはれる、同時にフランス軍の太平洋戰參加問題についても兩者間に意見の一致をみたと傳へられアフリカで密林戰の訓練をうけ特別の裝備を施されたフランスの北阿軍は近く太平洋戰線へ出發する豫定といはれる、またパリ來電によれば「ソワール」紙は十五日の紙上で海軍の有力艦隊が近く太平洋戰域に到着、すでに同方面にある三萬五千トンの戦艦「リシュリー」號と共に戦ふであらうと報じてゐる

特輯

「過渡期」の諸問題

— どうして英國の地歩を守るか —

長谷川才次

歐洲戰局の希望的判斷

チャーチル首相の演説で歐洲戰爭に關する樂觀論と總選舉氣構へとは一應解消したと思はれるが英國人の間では依然として「過渡期」の諸問題、即ち歐洲戰爭が終つてから大東亞戰爭が片付くまでの諸施策が喧しい皮算用の對象となつてゐる、まづ歐洲戰局に關する英國人の希望的判斷を十一月二日付「チュエリツヒ・ツアイツング」紙のロンドン特電によつて検討しよう。

「歐洲戰爭の終了についてはロンドンで二つの意見が對立してゐる、第一は反樞軸軍の戦力が極めて優勢だから一九四四年内にドイツ軍の防衛圈を粉碎出来るといふ見方、第二はどうしても戰爭は一九四五年まで持ち越すといふ考へだ、チャーチル首相は後の考へで、モントゴメリー將軍その他の將帥は前者の見方だ、歐洲戰爭の現段階では特色な特徴がはつきり出てゐるが、この特徴をどう解釋するかで戰爭の終局について種々違つた結論が出てくるわけだ、特徴は三種に分類できよう、第一が全面的攻勢、第二が全面的防禦、第三がいはゆる不定の諸要因である、測量できぬ主な要因は天候だ、反樞軸軍が最大の武器と恃む空軍は天候に依存する所が大きい、東部戦線の冬季作戰を體驗した英軍米軍の將校連は、西部戦線でも冬が餘り酷しければ空中戦を繼續できると考へてゐる、英國政府もドイツ軍の降伏は期待してゐない、ドイツ軍は全國の都市を悉くアーヘンと化して健闘するだらうし、反樞軸軍としては強力なドイツ軍の要塞線を突破しなければならぬ、東西兩戦線の經驗では永久的要塞線を叩き潰すにはどうしても實際に要塞戦を避けることができぬのは明らかだ、しかし反樞軸軍は攻勢によつて、戦局

の歸趨を求めようとしてゐる、年末までに戦局を片付けると豪語してゐる反樞軸軍當局は愈々「全面的な集中攻勢」を考へてゐるのだが、右攻勢は始つたばかりでまだ十分に展開されるに至つてゐない、十月下旬ドイツ軍陣地並びに都市に對する晝夜をわかれぬ爆撃ではまだまだ全力を出し切つてはゐないといふ、空軍の攻勢は地上の作戰に直接呼應してゐるのは勿論で、冬季に入つて地上作戰が凍結状態に陥れば、爆撃計畫も自ら變つて來て戰術爆撃から戰略爆撃に轉じ、ドイツ重工業に目標が移ることとならう」

時期の相違はあつてもチャーチル首相が述べてゐる通り大體來年夏までに歐洲戰爭は片付くといふのが英國人の一致した考へ方だ、ダンケルクの敗戦後英國が虎口を脱し、モスクワの都門まで攻め寄せられながら赤軍が頽勢を挽回したこの戰爭が十八世紀や十九世紀の王朝戰爭と同じ過程を辿ると考へたら飛んでもない間違ひだが、英國人は同じ構想に立つて來年の十月に總選舉を豫想してゐるらしい「ダーゲンス・ニヘター」紙のロンドン特電によれば、チャーチル首相は世界戰爭が片付くまで現在の聯立内閣を存続したい肚だが、大勢は歐洲戰爭の終了を俟つて來年十月總選舉といふことに傾いてゐるといふ、もつともロイター通信社の政治記者フレイザー・ワイトンは早速首相の提灯を持つてチャーチル首相の演説で今後一ケ年後に總選舉を執行するのが英國自身の立場からも世界戦局の上からも不都合だといふ意見が政界筋に有力化するに至つたと述べてゐるが、要するに歐洲戦局の現段階において英國人が滔々として樂觀に傾き、いはゆる過渡期の夢物語に耽つてゐることは動かし難い事實だ

市場の地位回復を懸念

英國産業聯盟の元會長グドリー・ゴルドンは最近の演説で

戦後英國は單に債務國となるばかりでなく實に世界最大の債務國となるが、かかる立場を利用することも出来よう、債權各國が物資による債務支拂ひを受取らぬ限り英國としては債務償却

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

の方途がない、英國民が以上の立場を適當に活用すれば英國は世界市場において極めて有力な地歩を占めることが出来る

と述べてゐる、轉んでもただは起きないといふのだらうが、過渡期の施策をやかましく論議する英國人の腦裏に常に來往してゐる懸念は果して戦後世界の市場に戦前の地歩を回復出来るかだ、最近英國下院において藏相サー・ジョン・アングソンが再三質問を受けてゐるのもこの問題だ、ロイター電報は次の通り報道してゐる

印度政廳その他各自治領並びに諸外國政府の保有する磅貨勘定に關し國庫の義務如何との質問に對し、藏相は次の通り言明した「各海外政府の保有する磅貨勘定は英國の國民經濟の見地からは債務に違ひないが、國庫の直接債務ではなく、且つまたこれ等の勘定は技術的意味で國債の一部を構成しない、勿論これ等の勘定の大半は既に國債の一部となつてゐる短期政府證券に直接または間接に投資されてゐる」

藏相はまた別の質問に答へ

これ等債務の大半は各國における戦費支拂ひのため各國の通貨を入手する必要あり、そのために支拂つた磅貨に他ならない、右磅資金は磅貨地域でどこでも支拂ひに充當出来るから凍結されてゐるわけではない

保険法案實施にも苦慮

社會保險法案に關する討議でも最後に問題になつたのが矢張り保險法案實施の資金をどこから捻出するかだ、ロイター電報によれば藏相は十一月三日下院で次の通り述べてゐる

余は社會保險法案の實施に伴ふ危険を負担する用意あり、僚友諸君に對し國庫の負擔が増大するのに驚かないやう注意したい、極めて慎重に考慮し國民並びに政府收入源泉と債務の見込みについて仔細に検討を加へた後、社會保險法案を提出した次第である、右法案を實施出来るかどうかは全く英國民の生産能率を増加出来るか否かによつて決るが、今度の戦争の経験で英國民に信頼を置いていいことが實證されたので余は社會保險法案の實施についてもこの信念を基調として方針を決定した、勿論今回の法案が

完全かつ自足的な社會保險制度だとは考へてをらす、僅かに全般的な企畫の一斑を構成するに過ぎないことを承知してゐる、ビヴァリツチ教授の批判は一部苛酷に失するが、家族手當並びに退職年金を増加せよとの主張には賛成である英國が戦後如何に貧乏しようとも老人を困らさないやう生活を保障出来ぬわけではない

「戦後問題」

以上英國の當面する財政經濟上の情勢を背景としていはゆる過渡期の諸懸案を取上げて見度い、先づ「フアイナンシャル・タイムズ」紙が九月六日の紙上に掲載した「戦後問題」と題する論文だ「頻りに論議されてゐる過渡期はすでに始まつてゐる、數週間前生産計畫が労働者の一部を極めて小規模ながら戦後復興工事に振り向けるといふ點に達した際、過渡期は初まつたといつて差支へあるまい、更に最近に至つては政府契約のいくつかが取消しまたは中止になつた事件あり、休戦の場合必す持ち上る諸問題の幕を開けた形だ、この戦線において英國政府當局は斷じて不用意で突如問題にぶつつかつてはならない、平和状態への復歸の最初の工作として老大な轉換が初るだらう、戦後一聯の經營施策のうちで以上の工作が必ずしも最も重要でないにしても一番厄介な技術的操作の一つに違ひない、勿論政府の契約には破棄條項が掲げられてゐるが、個々の場合に右條項を如何に何處で且つ何時行使するかは高度の手腕と判斷とを必要としよう、當局としては必要もない物資を積み嵩ね、税金を非生産的な支出に費すのを避けようといふ氣持でいつばいに違ひないが、全速力で走つてゐる老大な戦争機構が突如逆行させられる場合には危険な結果を誘致することを十分承知してゐるに違ひない、現在英國内で製造工業の八〇%までは政府の計算に基づく生産に従事してゐる、この點に關する政府の方針を知るには就業に關する白書による他はないが、白書は産業轉換の戰略について、説いて詳しく且つ明確だが、その戦術に關しては述べて至らない憾を免れない、白書には過渡期における配給割當制の存続決定、物價並びに資本統制施策などの一層廣汎な對策は別として政府の施策は大體次の三項を目標とせねばならぬと述べてゐる

第一、「失業班點」が出来上る傾向を最少限に喰止めること

第二、需要が供給を凌駕して物價がインフレーション的騰貴を示すことがないやうにすること

第三、民需生産が再開される場合には國家全體の見地から正當な物資の生産に力を集注すること

「脱臼をなへよ」以上の目標は寔に結構だが全國民が知れたがつてゐることは「休戦」直後一二ヶ月の困難な期間に一體どんな事態が持ち上るかだ、以上の初期に當つては多少の「脱臼」は避け難い、失業班點を阻止することも出来ぬだらうし、國民の所得は一時低下しよう、當局も以上の諸困難を認めてゐるが、四ヶ月前にこれ等の諸困難を最少限に喰止めるため「用意してゐる」と言明した、特に各工業部門が政府の援助を仰ぐ場合の條件を掲げてゐるが、各商社は出来るだけ早く平時産業に生産力を切り替へねばならず、當局は各商社を支援するが、先づ漸次民需産業に振り向けられる熟練労働力を何れの産業部門が一番緊急に必要としてゐるかを見出さねばならない、戦時なので許された労働力並びに資材を緊要な民需産業に振り向ける仕組を拵へ、しかも割當てに當る機構には十分な弾力性を確保しなければならぬ政府の過剰在庫品も同種類の物資の生産配給の正當取引の通路を確立するのに一番役立つやうな方法で處分しなければならぬ、最後に政府の各工場の處分については、出来るだけ早く就業の回復を促進する見地に立つて適宜統制して行かねばならない

政府はすべて以上の目的を達成するため去る五月以來具體案を検討してゐるといふが、果して右過程がどの程度まで進んでゐるのだらうか、現段階において政府がはつきり留保のない聲明を出すことが非常に役立つと思ふし、更に政府の豫想してゐる具體的施策を指示することは一段と役立つだらう

軍需生産の削減は緊急 即時過渡期間の章に掲げられた政府の表を一瞥すれば、全部が必ずしも同じやうに緊急を要するといふ譯でもない例へば政府の過剰在庫品の處分は相當長期間に亘らねばな

るまい、政府の工場に關しては大局的に如何なる政策をとらうとも決定は數ヶ月否數ヶ年に亘るであらう、しかし軍需生産の削減は殆んど何らの遲滞なく決定せねばならない、特に政府が契約を取り消した商社に對しては單に即時援助の約束だけでなく銀行からの現金による支援が必要であらう

就業に關する白書には「各商社は生産力の切り替へ準備について援助を受けるだらう」と述べてゐるが、所謂準備がどの程度まで進捗してゐるのだらうか、商社の生産切り替へには少くとも相次ぐ四つの段階あり、右段階においては殆ど収入がなく、しかも多額の出費を必要としよう、機械は取換へ再調整せねばならず、各産業部門毎に生産工程の期間は違ふが平時物資を原料から完成品まで仕上げねばならない、古い販賣關係を復活し新しい關係をつけて平時物資を顧客に届ける工夫をしなければならぬ、最後に買ひ手に對してクレジットを許さねばならぬから、愈々拂ひが入つて来るまでには三月乃至それ以上の時日が経過せねばならない、この中間期間に原料並びに賃金に要する資金がどこから入つて来るだらうか、さらに同様な重要な問題はEPT(過剰利潤税)に關して大藏省が如何なる方針を決定したかだ、戦後速やかに税率を切り下げて利潤のより大きな部分が當業界に返つて行くやうにするのか、それとも過渡期間標準以下に落した各會社に拂戻するため税率を維持するかだ、いづれにせよ議會の再開とともに過剰利潤税のうち二割を拂ひ戻す法案を可決せねばならない

切り替へ施策が論議の焦點

九月上旬といへば英國内でも戦局樂觀論が支配的だつた當時だから「ファイナンス・タイムズ」紙などが、先走つた主張を掲げたのだらうがその後も米國內における産業再轉換と併行して英國では過渡期(transition)または切り替へ(changover)の施策が論議の焦點になつてゐるらしい

十月廿三日付の「タイムズ」紙によれば商相ヒュー・ダルトンは「戦争努力に關する優先的要求を考慮しながら英國の産業を戦時生産から平時生

大したの鑑みて」といふ觸れ込みで、航空機製作省の参事官で勞働配置並びに資材統制官の地位にあり、同時に生産能率委員長を兼ねてゐたサー・ルース・ガードナーを「産業再轉換執行委員長」に任命したといはれる、産業の切り替へについては各産業部門に亘つて色々な主張が出てゐるやうだが、英國政府としては「舊貧窮地區」における均衡のとれた工業經濟の確立といふことも考へてゐるらしい、しかし右政策の實施には歐洲戰爭の開始に先立つ數年間、各地區の監督官が行使してゐた一切の權限を商相に委譲する必要あり、議會に關係法案を提出することが先決要件だ、次が貿易施策だ、九月一日の「フラインシヤル・ニューズ」紙は次の通り主張してゐる

貿易企畫の諸問題 II 「最近の論争で貿易を直接企畫するかそれとも外國爲替の計畫的割當によつて企畫すべきかといふ問題が討議された、戦時下にあつては双方の手段が用ひられてゐるが、問題は戦後兩施策の何れか一つ乃至双方を止めて了ふべきかどうかだ、一派の見解によれば貿易も爲替も全的に解放せねばならぬといふが、それ程野心的でない一派は貿易障礙を一九三一年以前の狀態まで削減し、同時に爲替管理の全面的撤廢を希望してゐる、更に他の一派は外國爲替については完全な自由回復を主張しながら、貿易については二國間の取極め並びに自由な物資の國際交易に關するその他の制限によつて計畫性を與へることを主張してゐる、ところが別に貿易自體に關しては高度の自由復活を主張しながら、爲替制限を維持することによつて輸出入を規制しようとの主張も出てゐる

今ここで貿易の統制から自由放任政策へ轉換出来るかどうかの一般原則を論議する必要はない、企畫政策に決つてゐるとの前提に立つて、右政策を運営する最も便宜な方法を検討することだ貿易の計畫が二國主義の形式をとるとすれば、相互主義の爲替清算協定によるか、或ひは輸出業者に許可證を發行し輸出業者がまた輸入業者に許可證を賣り渡すといふ方法かによるわけだ、もし爲替清算制度と輸入許可證の賣買制度といづれかを

選ぶとすれば、前者が有利なことは明瞭だといへよう、むづかしい市場を運営しようとする必要はなく、單に帳簿に記入すればいいだけだ、爲替清算制度のもとにおいては清算協定の有効期間爲替は安定してゐるが、許可制度のもとでは輸入業者が輸出業者から許可證を買ひ入れる値段はその時々需要供給に應じて相當な開きが出來易い

不要輸入制限策 II さらに不要な輸入を制限するのに、禁止的關稅、輸入割當制並びに輸入禁止などの形式をとるべきか、それとも輸入品目を承認した上で外國爲替を振り當てる方法によるべきか、何れの方法によつても輸出業者は輸出市場から締め出しを食ふので苦しい立場に陥らう、重商政策を遂行して巨額の輸出超過を上げようといふ國々の見地からすれば、貿易制限策の方が何れかといへば困難が少くない、貿易制限については原則として通商協定に兩當事國が差控へる旨明文があるので、制限實施には先づ通商協定を破棄しなければならぬ、輸入國は不要な一定品目の輸入を阻止したいと思つても通商協定の破棄まで斷行することは好まず、何れにしても豫告を與へねばならない、ところが爲替管理制度のもとでは不要品目の輸入業者に外國爲替を割り當てず、即時救済策を講ずることが出來よう、爲替制限制度は弱國の立場を保障するには非常な弾力性ある武器である、英國政府は輸入制限のため外國爲替の割當を制限出来るが、相手の國々もまた英國品の買入を制限するため磅貨の割當てを制限出來よう、從つて救済策は二國間の清算協定以外にあり得ない貿易制限の「武器庫」から如何なる兵器を持ち出してもしもこれ位手取り早く適用出来る施策はない」

棉花、綿織物で米英對立

以上の論旨が當局乃至シテイの意向を反映してゐるとすれば、英國政府はオツタワ特惠關稅制度の強化と併行して双務主義の爲替清算協定で輸出市場の回復を企圖するだらうが、早くも棉花並びに綿織物に關聯して米英兩國の利害對立が表面化してゐるから面白い

メンフィスにおける米英兩國間の棉業會議は何等明確な決定を見ずに散會したらしいが「マンチエスター・ガーデアン」紙はランカシャーを代表し

「米國政府は輸入品に對しては高關稅を、國內の原料品に對しては高値を維持しながら、棉花の輸出並びに多分綿織物の輸出には助成金を出す方針らしい、世界値段との競争に耐へられるやう米國政府が棉花の輸出に助成金を出すに決定したのは寔に遺憾で、さらに綿製品の輸出に對しても補助金を出すのであれば、米國政府は現在の棉花問題を誘致した農業救済政策と貿易制限政策とに加へるにダンピングに訴へる決心と解する他はない」と敦囑いてゐる、英國政府は五ヶ條から成る戦後綿業復興案を發表したが十月五日付のロイター電報によれば、マンチエスターの綿業協議會委員會では同案に全幅の支持を表明せず、特に貸與法のため英國の輸出業界が「貸與物資乃至同様の資材を含む商品」の輸出が出来ぬ點を看過したのに不満だといふ、現在ランカシャー綿業が棉花使用量の半分まで米棉に依存してゐる以上、純粹に米國以外の棉花で出来た綿製品なら輸出してもいいといはれても紡績業界としては米棉の混入を止めることが出来ず、一層早く貸與法の桎梏を免れ度いといふのがランカシャー綿業界の切實な要望だ

羊毛工業再建計畫

毛織業の復興については十月九日付の「フアイナンシャル・ニューズ」紙が羊毛工業再建委員會の中間報告を掲げてゐるが、報告の要旨次の通り「委員會の根本目標は、戦鬭行為の停止乃至削減に當り毛織業界が逐次全面的生産活動を回復出来るよう準備を整へるにあり、全的活動のうちには速かに輸出貿易を再開することを含むのは勿論である、戦後當業界の機械類が速に手入れを要することはいふまでもなく、調査の結果新品の買入れ乃至修理更新の費用は「驚くべき總額」に達することが判明した、新規の機械に關する所要についても検討を加へた、以上の情勢に鑑み必要な資金を捻出する財政上の便宜手段乃至救済策を講ずるため、税分科委員會を設置した、商務省に對しては

當業界が必要とする凡ゆる種類の機械について、合理的な優先配給を與へるやう要請した、同時に當局に對しては羊毛工業界の必要とする勞働力について數字を提出し當業界に樞要な人々については除隊に際し優先待遇を與へるやう要請した、輸入原料品を一層自由に解放することも要求してあるし、産業の集約解除案も既に政府に提出し研究促進に關する業界内部の取極も出来た

復業問題と産業再組織

各産業部門のうち過渡期において、一番重要な轉機乃至競争に直面してゐるのが、英國の海運業その他交通運輸の分野であらう、海運界の現状と空路の再建に對する米英兩國の對立については、別に詳しくお傳へたいと思ふが、過渡期における復業乃至就業の問題と勞働組合の産業再組織論を次に取上げよう

復職について一番問題なのは商船隊員十萬人、女子農業隊員七萬人いはゆる「ベヴィン・ボーイズ」九千人で彼には「復職の約束」back to jobpled be) 適用されない、しかし過渡期における失業の懸念については勞働相サー・アーネスト・ベヴィンは十月十一日下院で失業保險法案の第二讀會に當り

過渡期において失業は八%以上に上らない見込みだ、失業がこの水準を超えぬ限り、差し當り負擔金を増加したり、現在二億九千萬磅に達する失業基金に手をつける必要はあるまいと樂觀的な意見を吐いてゐる

サー・アーネストは戦時産業から平時産業への切り替へを促進するため最近「産業關係手帖」(Industrial Relations Handbook)といふ著書を出し、集團交渉の歴史を叙してゐるといふがいはゆる「四桁の收入」を持つ勞働貴族が保守黨との聯立内閣に執著してゐる間に、彼らがよつて立つ基盤たる勞働組合會議は十月中旬ブラックプールにおける年次大會で、戦後の再建について可成り思ひ切つた決議案を採擇してゐる、決議案の要點だけを次に掲げよう

一、勞働組合運動の目標 勞働條件並に生活標準の維持改善、適當な就業の機会を十分勤勞層に保障すること産業の管理に參畫する權利の執行

一、經濟綱領 戦後最少限度の經濟上社會上の改革を實現するが、右改革は無統制な私的企業から公有並びに公共管理への經濟體制の全般的移行の一部と見做す

イ、運輸、燃料動力製鐵製鋼業その他一定産業部門を公有に移す

ロ、その他經濟生活の全面に亘つて、程度はそれぞれ違ふが公共の管理を加へること

ハ、土地の利用、水の供給その他天然資源の供給については政府は十分統制を加へること

一、政府の經濟政策を決定運営するため、勞働組合を初め經濟産業の發展に責任ある各部門の代表をもつて全國産業協議會を組織すること

二、「ブリテイッシュ・レストラン」學校給食、勤勞層用食堂等は存續改善すること

一、消費協議會を設置すること、勞働組合並びに協同組合等をもつて組織し、物價並びに品質に關する事項を處理する

一、戦時の金融統制を維持し特に政府が十分銀行を統制すること、少くともイングランド銀行の頭取は金融政策について直接議會に對し責任を負ふ閣僚を任命すること

勞働組合會議の大會には全國新聞人組合所屬の記者以外傍聴を許さなかつたので「デーリー・ヘラルド」紙「デーリー・ワーカー」紙「レーノルツ・ニューズ」紙の記者と通信社の記者が出ただけといふ奇現象を呈し、書記長サー・ウオルター・シトラインは英國のいはゆる報道自由主義がケムズレー卿その他少數の新聞經營主によつて左右される實情にあることを皮肉つた

全體主義の統制へ

勞働組合會議の決議が現實の政策となるには總選舉でシンウェル議員の豫想通り勞働黨が保守黨を破つて政權を掌握した後のことであり、アルンヘムで英軍空挺部隊が全滅した以後の戦況では總選舉どころか歐洲戦争の歸趨が絶対に豫斷を許さぬのだから、重要産業の國營は全く卓上の空論といふ他はない、しかし英國人の所謂過渡期の施策を通じて一貫してゐることは、なんとかして戦前の商權を回復しようとする努力であり、個人自由主義から全體主義的統制への移行である、ビヴァ

リツチ教授が十一月二日小冊子の形で發表した、「全面的就業に關する報告」(Report on Full Employment)も「失業を退治する方策は失業群のために仕事を拵へることではなく、全國民の人的資源を必要とするやうな極めて重要な目標を集團的に追及するに在り、過去の無計畫な暗黒經由に代へるに社會的結果を原動力とする計畫經由をもつてするに在る」と述べてゐる、全體主義と統制經濟とに對し、個人主義と自由放任とを表看板として歐洲戦争を開始した英國人は五ヶ年の過程を経て全體主義の理念に降らうとしてゐることは明らかだ

資料

善隣政策の没落

「タイム」誌十月九日號

三つの兆候

先週米國の外交政策について少く共三つの事實がはつきりしてきた、第一に米國はアルゼンチンに對して一つの確固たる政策を持つてゐたにしても、その政策の運用をあやまつたため、遂にその政策に對して自信を失つてしまつた、第二に米國が現在のアルゼンチンに對する虐待政策を善隣政策と稱してもこれはもはや米洲諸國の熱心な支持を得なくなつた、第三にそれが政策であらうが、なんであらうが今や全く八方塞がりとなつてしまつた

米國は過去二ヶ年にわたりアルゼンチンに對して恫喝と惡罵とを加へた後、先週になつて足下がふらつきながらも、第二の經濟制裁措置をとつた、即ち國務長官ハルは南米航路北航の米國商船がアルゼンチンの港に寄港することを禁止したのである、これが制裁手段であることは勿論だが、しかしこれはアルゼンチンの財布よりも寧ろその自尊心に大きな影響を與へたといふことが出來よう、即ち米國船でアルゼンチンの港に寄港してゐたのは月平均八隻乃至それ以下に過ぎず、アルゼンチンからの對米輸出の大部分はアルゼンチン商

船で輸送されてゐたが、これ等の商船は依然として自由に米國の陸に入ることが許されてゐる、しかも一方ではその他米洲諸國及び英國の商船がしきりにアルゼンチンの物資を輸送してゐる有様だ

大統領の亞國彈劾

國務長官ハルが米國船のアルゼンチン寄港禁止措置をとつた二日後、ルーズヴェルトまたハルの措置を支持する行動に出た、即ちルーズヴェルトは新聞記者團との會見でアルゼンチンを罵倒しつぎのとき言明を行つた

歐洲は勿論その他の世界各地でも侵略勢力が最後の敗北に近づきつつあるとの印象がたかつてゐる時、米洲の一國でナチ、ファシスト的勢力が勢を得、ナチ、ファシスト的手法が現實に適用されてゐるのは實に不自然といはなければならぬ、アルゼンチン政府は嚴肅なる米洲國としての責務を蹂躪した

米國大統領の右言明にたいしてアルゼンチン國民は非常に激昂した、ルーズヴェルトは言明を行つた時に、自信あり氣に「政府首脳部はいざ知らずアルゼンチン國民の大部分は同國の自由な民主主義的傳統に依然として固き信念をもつてゐると信する」と述べたが、皮肉にも最近ブエノスアイレスでダンバートン・オークス會談のニュース映畫が上映され、ハル國務長官が畫面に現はれるや觀衆は一齊にハルにたいして嘲笑、罵聲を沿ひせかけたとの報道が傳へられてゐる

米國務省と米洲諸國との關係が目を追つて惡化の一途を辿つてゐる兆候は歴然たるものがある、米國の對米洲政策の功罪は一先づおき、以前には少くとも國務省はその政策の實行にあたり確固たる自信をもつてゐることが明らかに認められ、しかもその背後には米洲諸國にたいする全般的な知識があつたが、この自信と知識とはウエルズ及びローレンス・ダガンスの辭職によつて國務省から失はれてしまつた、最近ワシントン駐劄の米洲七ヶ國大使は世界安全保障機構問題でハルと會談したが、會談終了後彼等は憤慨に堪えない面持ちで「われわれはハルとの會談ではまるつり子供扱ひにされ、一言も發言が許されなかつた」と語つた

國際機構問題で米洲諸國が米國にたいして非常な不満を持つてゐることは疑ふべくもないが、米洲諸國は今度は戦後の經濟問題協議のため米洲外相會議を開かんとしてゐる

米の經濟政策にも不満

しかるはハルはかかる會議に反對しないまでも明らかにこれを歡迎しない態度を示した、今から二年前までならばハルがかうした態度を示すことのみでかかる提案は忽ち立消えとなつてしまつたらう、勿論米洲各國外相のうちでこの會議が是非開催されなければならぬと主張してゐる者はないが、しかし米洲諸國が一番不満に思つてゐるのは米國務省の非現實的な經濟思想である

米洲諸國民は極めて實際的な商賣人である、彼等は中南米の產物たる砂糖や珈琲を高い値段で買つて貰ふことを欲してゐる、彼等は米國政府の一機關（國務省）が米洲各國の眼の前で所謂「太い杖」をふりまはしてゐる一方では、その他の政府機關がこれ等諸國の商人達の御機嫌とりに汲々とし、就中米國とは斷交の關係にあるアルゼンチンにたいして多量の亞麻仁、肉類、ケブラチヨ樹皮皮革等も注文するといふ矛盾した政策をとつてゐることが理解出来ないのだ

一方英國人も同様に實際的な國民だ、英國はアルゼンチンから一年に五十萬トンの牛肉を輸入しアルゼンチンに十三億七千五百萬弗の投資を有し更に戦後に大きな貿易利權を持つてゐる

さればルーズヴェルトがアルゼンチンの態度を罵倒した時、英國政府當局は慎重な沈黙の態度に出た、ただマンチェスター・ガーディアン紙が米亞關係を取あげて社説を掲げたが、これこそ大部分の英國人の意向を反映したものとみてよからうその要旨つぎの通り

米國はアルゼンチンいぢめで若干行き過ぎたと評せざるを得ない、米國としては勿論英國も米國に追隨してアルゼンチンにたいし強硬な政策をとることを望んでゐるだらう、英國にしてもハルと同様アルゼンチンのファシズムは大嫌ひだ、然し英國は同時に米國の豚肉よりはアルゼンチンの牛肉の方を選ぶのである

昭和十九年十一月二十日(月)
第 三 二 四 六 號

同 盟 通 信

海外電報

(266)

【目 次】

- ソウエト外交政策六ヶ條……………二七六六
- 流星彈發射母艦出現か……………〃
- V二號攻撃を續行……………〃
- フィンランド新内閣成る……………〃
- 「東南アジア陸上軍」を新設……………二七六七
- 東南アジア副司令任命……………〃
- 新指揮系統……………〃
- 米軍總攻撃の火蓋切る……………〃
- 【米 國】
- 日本軍大陸決戦に備ふ……………二七六八
- 特使の狙ひは重慶の工業復活……………〃
- 負傷兵に血漿を賣却……………〃
- 輸入統制緩和……………〃
- ソ聯承認記念日を祝ふ……………二七六九
- 今後の行動を監視せよ……………〃
- 陸軍兵員損害……………〃
- 【ソ 聯】
- 米國で對波態度不變を聲明……………〃
- 【反樞軸陣營】
- 三頭會談の取沙汰いろいろ……………〃
- 日獨海運を剝奪せよ……………〃
- 白三閣僚辭職……………〃
- 【英 國】
- 徵兵年齡引上案を拒否……………二七七〇
- カーチスの造船罷業……………〃
- 重慶の立場を擁護……………〃
- 【印 度】
- 西歐向背の機運……………〃
- 【イベリア】
- 西、ド・ゴール政權を承認……………〃
- 【ドイツ】
- 瑞典の抗議は不當……………二七七一
- 英艦隊の東亞派遣増進されん……………〃
- 女子奉仕團高射砲隊へ……………〃
- 【特 輯】
- 比島倭攻作戰と米國の宣傳戰(上)……………二七七二
- 【資 料】
- 英紙の「新國際聯盟」評……………二七七四
- 米英石油協定と英國の爲替事情……………二七七九
- 印度の貿易……………二七八〇



問ヒュー・モーガン代
將の報告だ、かうした
事實の示唆する敵の士
氣問題などは別として
敵の軍陣醫學は決して
馬鹿にならない、最近
では航空醫學の方面で

米陸軍のフアウラー少佐といふのが「飛行士
耳」なる特殊病に關する發表を行つた、これ
は中耳と外氣との氣壓の差から起る、一種の中
耳炎で特にこの疾患を起し易く時には聾症に
近い状態にさへなるのは、扁桃腺、アデノイ
ド等の淋巴組織、或ひは鼻腔の奥、ユースタ
キ氏管が耳に通ずる附近の組織が肥大してゐ
る人間に多いとのことだ、フアウラーはラヂ
ウムを使つて子供のユースタキ氏管附近の淋
巴組織の收斂に成功した、この療法はその後
英國の全科病院で米陸軍航空隊の將士に實施
されて相當な効果を收めてゐるといはれる、
敵の醫學は必要以上に將兵の快適を望んでゐ
るともいへるが、またとつて他山の石とすべ
きものも少くはない

ソヴェト外交政策六ヶ條

(リスボン十七日發) ワシントン來電。ソヴェト大使館が發行してゐる情報日報の十一月號にガリーン大佐はソヴェト外交の六原則と題し次の通り述べてゐる

ソヴェト政府は各國の政治體系如何を問はず戰後すべての國々と協力し且つ他國の内政には干渉しないことを外交上の根本方針としてゐる、ソヴェト聯邦が領土的その他の企圖を抱かず唯一の目標即ち自國領土から侵入軍を撃退し、他國の資産を覬覦する國々をして平和諸國民を攻撃し、かれらの海賊的秩序を確立せんとする冒險に乘出すに先立ち再思三省せしめるやうな歐洲の情勢を確立する以外他意ないことは周知の事實である、ソヴェト外交政策の基調をあげれば次の通り

- 一、各國の政體と關係なくすべての國々と平和關係を維持する
- 一、主權の平等と兩當事國の獨立並びに兩體制共存の基礎に立つてすべての國々と政治的協力を圖る
- 一、双方の參加國を侵略行動に對して防衛する目的のもとに如何なる國とも同盟を締結する
- 一、他國の犠牲における帝國主義的膨脹を斷乎排斥する
- 一、他國の内政に干渉せず
- 一、ファシスト侵略各國に對する自由を愛する國の聯合を強化すること

モスクワ並びにテヘラン會議は、ドイツ軍に對し東方西方並びに南方から共同の戰を推進する上での各大國間の協力への遠大な傾向を現實に表現したにほかならない、更に國際安全機構の諸原則を確立し經濟上の諸問題についても意見が一致したのは、共同の敵に對する共同の戰といふ強固な基礎の上に打ち立てられた米英ソ三國の軍事的政治的同盟の新たな證左である

流星彈發射母艦出現か

(リスボン十七日發) V一號による米國本土攻撃の可能性は從來屢々論じられてゐたが、ロンドン

からのAP電報は發射母艦の出現に關し十七日次の通り報じてゐる

ドイツ軍が米國諸都市の流星彈攻撃を可能にするやうな發射裝置を潜水艦に施してゐるとの情報がこの二十四時間ロンドンとストックホルムに盛んに流布されてゐる、その一つは「デーリー・メール」紙のストックホルム特派員ウォルター・フアーから出たのだが、これと同じ情報はすでにその數時間前からロンドン市内に傳へられてゐた、フアーの言によると、水上艦艇や潜水艦をノルウェー海岸で發射母艦に改装中だといふのだが、ロンドン情報の方は潜水艦のことしかいつてゐない

この流星彈による米國本土攻撃に關して獨側の見解としては十七日の「フエルキツシャー・ベオバハター」紙が次のやうな記事を掲載したといふ

ドイツ軍最高司令部は米國攻撃用の報復兵器を作るだらう、英國攻撃のための飛距離數百哩の爆彈が作れるとすれば、米國攻撃用として數千哩飛ぶやうな新しい「V兵器」が現れたとしても決して不思議ではあるまい、ただしいづれ僅か一發の爆彈で英本國を地圖から抹殺することになるだらうといふやうな「無邪氣な連中」の信念に與することは出来ない

V 二 號 (ベルリン十七日發) 總統大
攻 撃 續 行 本營十七日公表「ドイツ軍は
再び大ロンドン地區、及びア
ントワープ地區に對しV一號とV二號の長距離砲
撃を浴せた

フィンランド (ストックホルム十七日發)
新内閣成る ヘルシンキ來電「フィンラン
ド新首相パーシキヴィ博士は
十七日組閣を完了、大統領マンネルハイム元帥に
對し次の閣員表を提示した

首相「ユホ・パーシキヴィ 外相「カール・エ
ンケル(留任) 内相「カルロ・ヒリレエ(留任)
國防相「中將ルドルフ・ワルデン(留任) 法相
「ウルホ・ケツコーネン 藏相「ヘロ博士 勞
働相兼運輸相「エリ・ヴォリ

「東南アジア陸上軍」を新設

(リスボン十七日發) カンディ來電「最近在印緬英第十一集團軍司令官として着任したオリヴァ・リース中將の正式の肩書は今日以後「東南アジア反樞軸陸上軍司令官」と呼稱されることになった東南アジア反樞軸陸上軍(A・L・F・S・E・A)の構成は英國第十一集團軍及び印緬戰域米軍より成り、東南アジア軍司令部擔當地域に作戰中の重慶軍もリース中將の指揮下に入った、リース中將は同時にこの重慶軍の最高司令官となつた

東南アジア
(リスボン十七日發) スチルウェル大將の召還後東南アジア軍副司令の地位は缺員となつてゐたが、カンディ來電によれば十七日次の通り發令されたといはれる

米國陸軍中將レーモンド・ホイラー東南アジア軍副司令、軍政長官兼米軍司令、且つ東南アジア戰區における反樞軸軍への貸與協定實施を監督する

新指揮
(リスボン十七日發) スチルウェルの召還と關聯して東南アジアにおける米英の戰略擔

當地域分擔及び首腦陣容に變化があるものと豫想されてゐたが、カンディ來電によればスチルウェルの後任としてホイラーが東南アジア軍副司令官に就任した、しかしそのもとで印緬戰線において實際に英米蔣の全軍の指揮に當るのは英軍中將オリヴァ・リースで、彼は英第十一集團軍の司令官としてこの集團軍を指揮するほか印緬米軍(指揮官サルタン中將)及び東南アジア戰域で作戰中の重慶軍を全部傘下に收めこれを新たに「東南アジア陸上軍」と呼稱して一切の指揮をとることとなつた、かくて印度洋の英海軍増強と共に陸上軍の指揮系統も英國側に重點がおかれるに至つた

米軍總攻勢の火蓋切る

(ベルリン十七日發) DNB軍事記者アーチン・ハレンスレーベン氏は西部戰線の戰局を概観、次の通り述べてゐる

アイゼンハウアーが十六日正午最後の豫備兵力

たるシンプソン麾下の米第九軍を戰線に投ずるに至つて豫期してゐた反樞軸軍の總攻勢は今や明確な事實となり、オランダ海岸からスイス國境に至る蜿蜒七百軒の戰線で大攻防戰が展開されるに至つた、全戰線の焦點をなすものはメツツ、アーヘン、ヴェンローの三地區だが戰局を概観すれば次の通り

敵全兵力を動員

一、フランス第一軍はスイス國境からブルゴニエ關門を目指して攻撃を開始したが、目的はベルフォール、ミユルーズを経てスイスのユラとヴォージュ中間でライン河に到達西部戰線中央のドイツ軍に對する米軍の主力攻勢を掩護するにある

一、バットン麾下の米第三軍はメツツに對して集中攻撃を加へてゐるが、作戰目標は重兵器並びに超重兵器を集結してドイツ軍防衛線を突破ザール地方を経てマイン河に到達するにあり、同軍の北翼に最も強力な兵力が集結されてゐる

一、次は米第一軍並びに第九軍のアーヘン攻勢だ

一、英第二軍は米軍の攻勢との緊密な連繫下にヴェンロー地區で攻勢を開始最北翼にはカナダ第一軍が配置されてゐる

更に新兵器出現せん

以上によりアイゼンハウアーはジークフリート總攻勢に手持兵力たる六ヶ軍全部を投じてゐることとは疑問の餘地がないが、反樞軸軍が所期の目的を達成出来ぬと斷定し得る有力な根拠がある、それは戰局を決定する最大要因たる「時」に立遅れてゐることだ、勿論反樞軸軍は龐大な物量を投じてひた押しに押せば、多少の地域上の進出は可能であらうが、それもドイツ軍がある種の防衛手段を講じないまでの間のことだ、ドイツ軍司令部はまだ十分な數量を確保するに至つてゐないため、以上の特殊の防衛手段を講ずるに至つてゐないが作戰上の必要に應じていづれは出現せざるを得ないであらう、今後の戰爭が苛烈且つ困難であることはいふまでもないが、今年夏の戰局をもつて反樞軸軍が再び壓倒的物量を投ずるならば戰術上の成功を贏ち得ると考へるならば間違ひだ、このことは既にアーヘン、メツツ、ヴェンロー各地區における現下の作戰の動きが明確に立證してをり西部戰線のドイツ軍戦力が過去數ヶ月間に異常に強化したことを示す以外のなものでもない

【米 國】

日本軍大陸決戦に備ふ

— ウエデマイヤー豪語 —

(リスボン十六日發) 重慶來電「支那戰線米軍司令官ウエデマイヤーはAP通信特派員との會見で日本軍が支那大陸の決戦に着々備へてゐる旨指摘し、在支米軍もまたこれに對應して日本軍撃破を目指してゐる旨次の通り豪語した

日本軍は今大戦争の最後の決戦をアジア大陸で戦はふと計畫してをり、すでに極めて強化された南支の兵力に更に増援を送つてゐる、日本の戰略は本來海空軍の運用を基礎としてゐるが、日本は今や太平洋から大陸戰略に移行するに至つた、日本陸軍は殆んど無疵のままで良好な條件と十分の訓練及び立派な裝備を持つてゐるのでこれを過少評價してはならない、自分の任務は重慶を扶けてその長い歴史上で最も重大な地歩を復活させることである、反樞軸が重慶を援助する最善の途は重慶の供出し得る一切の資源をあげて「日本軍を殺す」といふ一點に集中することだ、米國が重慶に空から支援を與へることとは勿論のこと、米國が可能とする補給物資は何でも重慶に注ぎ込むと共に太平洋において日本軍を屈服させる努力を繼續し、また重慶軍が日本軍に對抗する能力を増大するやうその訓練を續けるであらう

次いでウエデマイヤーは「重慶政權と中共との妥協なくして重慶が對日戦に效果的に寄與出來ると考へるか」との記者の質問したのに對し「中共の協力がない場合の効果の程度を定めることは困難だが國內戰線の統一が效果的戰闘に必要缺くべからざるものだといふことは根本的な前提をなすものだ」と答へ更に次の通り言明した

對日戦争は歐洲の闘争が終結した後約一年は續くだらう、しかし誰でも考へてゐることは歐洲の戦争が年を越し、明年の初夏にまで入るかも知れないといふことだ

ウエデマイヤーは南支の日本軍兵力を評價することを拒否したが、この方面の日本軍が極めて恐る

べき兵團であることを認め「着々増強されてゐる」と付言した、彼は日本軍の今後の進撃方向についても豫測を述べることを避けた

特使の狙ひは

(リスボン十六日發) 重慶が

重慶の工業復活

新たな軍事經濟的危機に直面してゐる際到着した米特使ネ

ルソン一行の使命につき「シカゴ・ニューズ」紙特派員は十六日次の通り報道してゐる

ネルソン及び隨員十三名の一行は十六日到着と共に重慶が太平洋の戦争發生以來最も深刻な試練と困難の眞只中にあることを發見した、ネルソンは時恰かも重慶が新しい軍事的危機の相貌を呈し、米弗との爲替率が新高値をみせてゐる際に重慶を訪れたのである、こと數日來のインフレーションによる貨幣價值の下落は驚ろくべきものでこの結果十六日には一米弗紙幣の闇値は法幣四百五十弗となつた、即ち戦前の爲替率の百倍、四ヶ月前の二倍以上である、ネルソンと隨員一行の使命は重慶の軍需生産額を増加すると共にその配給を改善する目的のもとに重慶を扶けるにある、ネルソンの滞留は短期間のやうだが一行の大部分は約三ヶ月留まり少くとも二名は長期にわたつてこの事業を遂行するものとみられる

負傷兵に

(リスボン十六日發) ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは十六日國民に對し次の

血漿買却

通り警告を發した

通し警告を發した

最近國內でいろいろとデマを飛ばす者があるが最近特に余の氣付いた最も惡質のものは、何百萬といふ米國民が極めて愛國的な動機から欣然赤十字社に提供した血漿が前線では負傷兵に賣却されてゐるといふ噂である、これは全くの虚構でありかかるデマをバラ撒く者は直ちに聯邦檢察局に報告されなければならない

輸入統制

(リスボン十六日發) ワシントン來電「政府は既にジュエ

緩和

ト、シエラツク等從來政府が

獨占的に輸入してゐた物資の輸入を民間業者の手に返還したが今回更に重要商品五十三品目に對する輸入統制を撤廢した、その大部分は印度からの輸入品である

ソ聯承認記念日を祝ふ

(リスボン十六日發) ニューヨーク來電ニ政府はソヴェト聯邦承認十一周年記念日に當り十六日ニニューヨークで記念式典を舉行したが、國務長官代理ステチニアス、ソヴェト大使クロミコフ並びに英國大使ハリファクスが大演説をした
(モスクワ十六日發) 右記念日に當り「イズウェスチヤ」紙並びに「ブラウダ」紙は社説を掲げ米ソ兩國の友好關係を強調した

今後の行動を監視せよ

(リスボン十六日發) ニューヨーク來電ニ前國務次官ウェルズは十五日夜ラジオ演説を行ひ次の通り述べた

イランの石油利権問題をめぐつてソヴェト政府の示した態度はソ聯今後の外交政策の動向を示唆するものとして米國はこれに重大な關心を寄せるべきである、今度の石油利権問題でイラン政府に對する米英兩國の態度とソ聯の要求との間には非常な相違がありソ聯の對イラン要求は相當強引であると評せざるを得ない、例へばソ聯がイラン政府に提示した條件のうちにはソ聯が石油利権の譲渡を受けるのに對しイランに支拂ふべき金額は勿論具體的な反對給付についても何一つ觸れてない勿論ソ聯はその隣接諸國がソ聯に好意を示すやう要求する權利はもつだらう、しかしこれは隣接諸國がすべてソ聯のいひなり放題にならねばならぬといふことを意味しない、政府はこの際「各國の獨立維持」なる外交政策の目標が單なる口頭禪でないことを明示することが必要である

陸軍兵員損害

(リスボン十六日發) ワシントン來電ニ陸軍省は去る六月六日歐洲侵攻作戦開始以來西部戰線における陸軍の兵員損害が、フランス南部から上陸した第七軍の損害をも入れて十一月一日現在で二十萬三百四十九名に達した旨十六日發表した、内譯は次の通り

戦死	三五、八八四名
戦傷	一四五、七八八名
行方不明	一八、六七七名
合計	二〇〇、三四九名

【ソ聯】

米國、對波態度不變を聲明
(リスボン十六日發) ワシントン來電ニワシントン駐劄大使館情報部は公式聲明をもつて「ソ聯は戦後において領土を擴張しようといふ野心や他國の内政に干渉しようといふ欲望を抱いてはゐない、しかしソ波國境に關する紛争についてはソ聯政府は從來の態度を變へないつもりだ」と發表した

【反樞軸陣營】

三頭會談の取沙汰いろいろ
(マドリッド十六日發) パリ外交界の消息によればルーズヴェルトはド・ゴールの招請を受諾、パリを訪問するに決定したと傳へられるが、一説によればスターリン議長はド・ゴールを招請すると共にチャーチル並びにルーズヴェルトをも招請してゐるといはれる、尤も英國内には一度は三頭會談を英國で開催したいといふ希望が強く保守黨議員ガンマンズの如き十六日下院で首相が既に二度モスクワを訪問し四度米洲を訪問してゐるのだから今度の會談は英國で開催しては如何と質問してゐる位だ、但し現状ではモスクワ説がかなり有力で重慶政權と米英ソ三國の關係を調整するため、蔣介石もモスクワ會談に招請されるのではないかとの觀測がパリから傳へられてゐる

日獨海運を剝奪せよ

(リスボン十六日發) ニューヨーク來電ニニューヨーク州ライで開催中の反樞軸國際商業會議運輸委員會は十六日要旨左の決議案を決定し、これを全體會議に提出することとなつた
將來日獨兩國が有力な海運國となるのを防ぐため戦争終了後兩國から商船隊を剝奪し、その船舶を極度に制限する必要あり

白三閣僚辭職

(ストツクホルム十六日發) ブラツセル來電ニベルギー政府の公共相アルペール・マルトー及び無任所相デイスビーの共產黨二閣僚並びに無任所相マルタン・ドマニーは十六日突然辭職した、この結果ピエロー内閣は異常な政治的危機に達するに至つた

【英 國】

徴兵年齢引上

(ストックホルム十六日發)

け案を拒否

ロンドン來電ニ陸相サー・ジ
エームス・グリツグは十六日

下院に「出征壯丁の召集年齢を現行の十八歳六ヶ月から十九歳に引上げる」旨の動議が提出されたのに對し次の通り述べて動議を拒否した

現在十九歳以下の壯丁は一人たりとも印度軍乃至東南アジア司令部の麾下に出征してゐないが動議の通り召集年齢を引上げる場合には訓練を受けた優秀な兵力数が減少し、現在ドイツ軍と戦つてゐる英軍の火急な要求に應ずることな出
來まい

カーヂフの

(ストックホルム十六日發)

造船・罷業

カーヂフ來電ニカーヂフ造船
所の船渠労働者一千四百名は

十五日から罷業を起し重要工事が停頓するに至つたので十六日夜造船所では軍隊の應援を求めた

重慶の立

(リスボン十五日發) ロイタ

場を擁護

1 通信ロンドン電報は支那大
陸の戦局重大化に對し英國の

憂慮深く政府は重慶の立場を擁護してゐる旨次の通り報道してゐる

廣西の米空軍基地喪失と共に英國一般が支那の戦局に重大な關心を向けてゐることは疑ひない英國人が支那問題について會合すればきまつて日本軍は支那の西南部へどの位深く進撃したかが話題となつてゐる、騒がせ屋は「支那の情勢は事實上絶望だ」と恐怖し、現實主義者は「重慶軍は重武器を持たない割合には優勢な裝備の日本軍をよく阻止した方だ」としてゐる、支那戦局に對するかかる英國の關心は十五日午前下院における獨立黨議員アイリン・ワード女史の質問となつて現はれた、同女史は「反樞軸の戦争努力が蔣介石を通じて重慶の對日抗戦からつけた一般的利益を考慮し外相は現在の事態につき聲明することが可能か」と質問したのに對し國務相リチャード・ローはイーデンに代つて「余は支那戦域の戦局の詳細に現在觸れることが何ら有益だとは考へない、廣西戦線における最近

の發表は極東の一般的戰略態勢及び重慶が廣大な作戦地域で日本軍に相對した七年間の抗戦を背景として觀察しなければならない、余は蔣介石の領導する重慶の貢獻が過去將來ともにわれわれの共同目的に對して持つ價値を喜んで認めるものである」と答へた

【印 度】

西歐向背の機運

(リスボン十六日發) ニューヨーク來電ニ米國の國際問題評論家として知られるウイリアム・ジフは十四日「紳士は平和を語る」と題する新著を出したが、ジフは右の中において印度が西歐に背を向けつつある事實を指摘し左の通り述べてゐる

現在の混亂した情勢の中から生じつつある世界にとつて最も重要な現象は印度が西歐に背を向けつつあることだ、印度の民衆の直面してゐる想像も出来ないやうな貧困、無智、頹廢、怨恨の念の中から東洋急進主義が發生し一日と勢力を増大してゐる、ラジャゴパクチャリ、サー・テジ・バハドル・サフルのごとき穩和派は勿論僅か數年前には鬭争の煽動者と見做されてゐた社會主義者であり、且つ知的なネールの時代もすでに過ぎ去つた、現在好戰的でないからといふ理由で印度が好戰的にはなりえないとする考へは間違ひだ、印度の民衆は白人の帝國主義に對して憎惡心を抱いてゐるがこの憎惡心は彼ら自身が帝國主義を熱心に追求して行くに十分なほど強いものである、印度の民衆はすでに今度の戦争において彼らが優秀な兵士であることを實證してゐる、多數の印度政界の領袖達は若しスパス・チャンドラ・ボース氏が印度へ歸還するならば他の印度政界の領袖のたれよりも強力に彼はその麾下に勢力を結集することが出来ると思つてをり、實際ボース氏は英國の政策に拍車されて印度が驅られてゐる新しい時代について魅力のある言葉をもつて語つてゐる

【イペリア】

西・ド・ゴール

政權を承認

(マドリッド十六日發) スペイン政府は十六日ド・ゴール政權を正式承認する旨言明した

「ドイツ」

瑞典の抗議は不當

(ベルリン十六日發) スエーデン政府はバルト海作戦區域の問題についてドイツ政府に抗議したがこれを契機にして兩國關係は可成り緊迫化した模様で、ストックホルム駐劄ドイツ公使が今回急遽歸國したのもこれに關聯があるとみられてをり、シユミット情報部長は十六日の記者團會見においてスエーデン政府の抗議が不當であると次の通り言明した

スエーデン各紙はドイツのバルト海作戦地域設定問題を詳論しドイツの措置が何か新奇なものであるかの如き感を與へやうと努めてゐるが、海上の作戦地域設定といふことは全く尋常な戦時措置に過ぎず、前大戦において最初英國が採用した措置である、しかし作戦地域の設定は國際法に牴觸するものではない、英紙「ヨークシヤ・ポスト」は最近社説において「スエーデン政府はドイツ船舶を含む外國船が同國領海を使用するのを禁止し、ドイツとの通商協定を事實上無効ならしめドイツ輸送船をして赤軍の攻撃を受け易い状態に陥れた」と報じてゐるが、この報道は眞實であり、ドイツが作戦地域を擴大したのもスエーデン側のかかる措置に對抗するためであつた

英艦隊の東亞

派遣促進されん

(ベルリン十六日發) 總統大本營は十四日の戦況公報をもつて戦艦テイルピッツ號が行動不能状態に陥つた旨發表したが、海軍評論家ザールウエヒター提督はテイルピッツ號の戦闘力喪失の影響につき十六日次の通り論じてゐる

英國空軍はドイツ海軍に残されたこの唯一の戦艦に對して繰返し執拗な攻撃を加へたが、これは戦争の初期英國戦艦フッド號がドイツ戦艦ビスマルク號の一撃によつて忽ち撃沈されて以來英國海軍はドイツ戦艦の恐るべき偉力を知り、彼らがテイルピッツ號の健在にいかにか大きな恐怖を感じてゐたかを物語るものだ、テイルピッツ號はこの英國軍の度重なる攻撃を現在までよく排除してきたが、遂に今回行動不能となり、

この結果今後當分はドイツ海軍には英國の戦艦級軍艦を歐洲水域に釘付けにしておく戦艦が一隻もなくなつた、しかしながらこのことはドイツに關する限り重大な意味は持たない、ただこれを日本の立場からみると遺憾ながら若干の影響ありといはざるを得ない、何故ならば英國海軍は今や必要とあれば、その全戦艦を太平洋水域に派遣し得ることとなつたからだ、しかし英國がたとへこの戦艦隊を東亞に廻航しようともこれら戦艦がテイルピッツ號乃至は英國自身のレパルス、プリンス・オブ・ウェルズ兩號と同様の運命を辿るか否かは日本軍の神風隊その他の特攻隊がこれを決定してくれるだらう

女子奉仕團高射砲隊

(ベルリン十六日梅井特派員發)

「國民よ武器を取れ」の標語の下に銃後男子のすべてを動員し國民突撃隊を編成して國土死守の體制を強化してゐるドイツにおいて、更に女子労働奉仕團員が高射照明部隊として編成され、戰闘配置につくこととなつた、既にドイツ空軍は試験的に女子志願者を高射照明隊に採用してみたが、その成績が意外によかつたので、今度は團體的訓練をもつ女子労働奉仕隊を動員し大巾に男子戰闘要員を前線に制かうといふのである、元來高射照明の陣地はまづ敵爆撃機の攻撃目標となり探照燈の操作には前線兵士と同様な危険が伴ふのだから今回の措置はドイツ國民を擧げての總躍起態勢の凄さを端的に表現してゐるといへよう

女子労働奉仕團は十人乃至十五人を單位に高射砲陣地に宿營し晝夜を分たぬ戰闘配置につくのだが、指導者は勿論女子で中隊長だけが男子將校である、女子指導者は宿營長として部下の訓練に責任を持ち、戰闘に際しては分隊長として指揮にあたるが、探照燈發電機などに對する技術的知識をも備へてゐる、この労働奉仕隊員から成る照明部隊は既に實戰の洗禮をうけ、目覺しい活躍を示してゐるがその繊細な、しかし沈着な戰闘技術は上官たちを吃驚させてゐるといふ、彼女等は同僚の兵隊達と同じ糧食を受けてゐるが、成長期にある二十歳以下の女子には特に増配あり、また健康状態については労働奉仕團專屬の醫療室が十分配屬されてゐる、かくて勇敢なドイツ娘は一人前の兵士として戰闘の最前線に起ち國土防衛の重大使命に挺身することとならう

比島侵攻作戦と米國の宣傳戦(上)

武井 武夫

比島作戦開始前後から現在にかけての米國の宣傳戦は物凄い、各新聞通信社、放送局等總出で鳴物入りの馬鹿騒ぎだが、これを大統領選舉と結びつけて、ルーズヴェルトが四選を狙ふための政略的作戦であるとか、政府が指導する選舉運動の一種であるとか断定するのは正しくあるまい、米國は極端な個人主義的自由主義の國だ、そしてルーズヴェルトには敵が少くない、反對黨の共和黨は米國議會において屢々ルーズヴェルトをして苦杯を喫せしめた大敵である

従つて比島侵攻作戦を中心に強化された敵の宣傳活動は反樞軸陣營における輿論の希望を満足せしめんとする努力の反映であり、作戦開始後における一方的勝利の戦況發表や作戦順調を豪語する各責任高官の言明並びに定期刊行物の評論は自國民並びに反樞軸中立諸國を煽り立ててあくまで強引に對日戦争へ少くとも比島作戦を押し切らうとする米國指導層の決意であるとかみることが出来る、筆者がここに敵宣傳機關の描き出した比島作戦の全貌を紹介し敵國並びに中立國新聞雜誌の論調を要點だけでも傳へようとするのは、これによつて彼らが自ら踏み込んだ無謀な作戦の沼の深さを示すと同時に、たとひ状況に強いられた戦意のためにせよ、彼らが決して今次作戦を斷念するものに非ざるを明かにすることが必要だと信ずるからである

今や比島の米軍は、いかに叩かれようといかに損害を蒙らうと、退くに退かれる立場に追ひ込まれてゐる、陸に海に大勝利を占めた筈の彼らは、その宣傳の辻褄を合せるために何程の犠牲を拂はうとも比島作戦の目標だけは遮二無二掴み取らなければならぬ、軍事的にみても、戦術の變更ならば二十四時間内に幾回を數へようと大した問題

ではないかも知れないが、かかる大作戦の放棄は太平洋戰略の大轉回であり、あらゆる面において餘りにも大規模な近代戦にあつては全く不可能に近いのである、筆者は琉球、臺灣の空襲に始まる一聯の比島侵攻準備作戦について述べるに先立ちまづ太平洋の彼我の態勢に關する反樞軸側の見解(或ひは宣傳)を中立國の雜誌を通じて示したいと思ふ、但し文中の數字その他、具體的な表現は流言蜚語の源となる恐れもあるので省くことにするが、内容並びにその含意は忠實に傳へるつもりである

有利な點、不利な點

スイス週刊「クリエー」誌ワシントン電「ルーズヴェルトとチャーチルがケベックで會談する數週間以前に、ニミッツ、ハルゼー、ソマヴィル、マウントバツテン、マツカーサーの五名はそれぞれ報告書を作成し、それが米英兩國の戦時内閣に提出されてケベック會談開始前の検討數衍の材料に供せられた、この共同報告は幾多の希望を粉碎した、ルーズヴェルトとチャーチルは、對日戦争に成功を収めるまでには十八ヶ月乃至二十四ヶ月を要するとの結論に達した、その期間の中には一度ドイツが敗北すれば反樞軸諸國間に正常な關係が確立されるかもしれないとの希望を抹殺するごとき拘束條件が米英關係に生ずることもあり得る、フランス、オランダその他諸國にしても、共同の敵を打倒しなければならぬとすればやはり或る程度の拘束を忍ばなければならない、細かくいへば大東亞戦争における米英側の利點とされるのはつぎの通りである

- 一、米國の航空機生産は日本に數倍する
- 二、日本は太平洋において陸上基地航空機の作戦國外では攻撃力を全く失つてゐる、これは反樞軸側の補助空母使用の結果だ、また日本艦隊が有力な敵空母集團に遭遇するやうな場合には、少くとも艦隊作戦に絶對必要な補助艦艇の若干を喪失する位覺悟しなければならない
- 三、日本商船隊の状態が完全でない
- 四、B 29 が日本の工業にたいする戦争を分擔する
- 五、反樞軸軍は日本の外郭防衛線をなす多數基地

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

を既に奪取し、日本本土から千六百軒の内部防衛線に侵入しつつある

六、反樞軸軍は今や占領基地を南北に互る日本の交通線の攻撃に利用し日本を封鎖することが可能であり、この目標の追求においては比島が米國の主要な戦略目的となる

七、ビルマ公路を大作戦の舞臺に加へるべき一切の條件が既に與へられてゐる

八、マツカーサーの言によれば、日本軍首脳部が極めて有能なるに反し、將校の質が著しく低下し第一線將校は士官學校卒業生でなく、一般から採用されてゐる

同時に反樞軸軍首脳部は、たとひ日本に最後の勝利を約束するほどでないとはいへ、少くとも日本の抗戦を長引かせることき幾多の要素があると述べ、過少評價すべからざる日本の利點としてつぎの諸項を擧げてゐる

一、ドイツと異り日本は未だ總動員の實施により軍需生産を強化し得る、大規模空襲で直ちに日本の生産力を甚しく害ふことは不可能だ

二、反樞軸軍として現在の基地からでは日本の軍需生産經濟に大きな影響を與へるほどの對日攻撃を開始することが不可能な點、日本の地理的位置は有利である

三、反樞軸軍は對日侵攻作戦を開始する前に面倒な海上輸送問題を解決しなければならぬ、たとひドイツが敗北したとしても、それによつて浮いた船腹を太平洋に廻航するには數ヶ月を必要とする

四、反樞軸軍の戦略は支那向軍用道路の開闢並びに確保を要求する、さうした通路を建設維持しない限り十分な物資を支那に送ることは希望されない、最近の支那における航空基地の喪失は反樞軸軍の計畫に重大な影響を及ぼした

五、日本はまだ決して一切の人的資源を動員したとはいへない、日本の動員餘力は十分残つてゐる上に、十七歳乃至二十歳の日本人がそっくり手つかずである、從來も日本は人員喪失を直ちに新動員によつて補つてゐる

六、B 29「超空の要塞」機は現在對日爆撃には千九百軒を飛ばなければならず、效果的攻撃を行

ふには日本から八百軒程度の基地を獲得し同時に十分な數のB 29を揃へなければならぬ

七、日本の工業は原料の大部分を本土で得てゐるため、たとひ海外資源を失つたとしても必ずしも跛行的にならない

八、日本の航空機生産は喪失數を補ふに止まらず新鋭機さへ製作してゐる、日本の戦闘機は技術的に改良されて、これと戦ふことは最早少しも容易なことではない

九、日本艦隊は戦艦も大型航空母艦も多數有し、小艦艇の類も極めて多い、これが陸上基地航空機の活動圏内で作戦するとすれば、十分な戦力を示すことが出来る

十、戦場が日本沿岸に近づくにつれて日本軍の補給問題が簡單になるに反し、反樞軸軍にとつては複雑になる、アジアの補給線は歐洲の場合より遙かに長いのである

臺灣沖海空戰

これほど日本の強味を知りながら、何故彼らは日本の陸上基地網の中心に飛び込んで臺灣や澎湖島を強襲するの愚舉に出たのか、大統領選舉を前にしたルーズヴェルト一派の要求があつたかもしれない、比島歸還を焦るマツカーサーの希望も影響しただらう、だが假りに太平洋全艦隊を掌握するニミッツが、米國隨一の第三艦隊司令官として自他共に許すハルゼー、しかして第五十八機動部隊の名を世界に輝こるミツチャーが敢へて日本本土近く出撃したのは、海軍戦術家として一應成算があつたからにちがひない、臺灣方面の空襲は比島侵攻作戦と不可分の關係にある、この空襲の時期が早過ぎても遅過ぎても比島侵攻の企圖は成功を期待し得ない、即ち彼らは臺灣を叩いて比島の動脈を斷ち直ちに比島に取りつくだけの自信をもち、優勢な海上勢力と航空兵力を維持したまま侵攻作戦を進め得ると確信したのである

恐らくは緻密なる計算を基礎にしたであらう彼らの作戦にも誤算はあつた、誤算の第一は「空母航空兵力の陸上基地航空兵力に對する優位」なる原則の過信である、空母機動部隊の強味は一定範

圍に多數の航空兵力を集中し制空權を確保し得る點にある、これは正しい、しかも彼らは陸上基地航空兵力の極めて大なる機動性を忘れてゐたのではないだらうか、さう思はせるのは彼らが琉球空襲後連續的に臺灣を襲ひ、數日間に亘り一戰場に滞留してゐた事實だ、日本本土と支那大陸とを連ねる無數の陸上基地の網は、極めて短時間の中に遠隔基地にある航空機を幾らでも戰場に送り込むことを可能ならしめる、彼らは遂に日本陸海軍航空部隊の捕捉するところとなり、臺灣沖において甚大な損害を蒙つた、これが以後の作戰に及ぼす影響は彼らの計算には入つてゐなかつたであらう

第二の誤算は恐らく日本艦隊に損害を與へ得なかつたことだ、臺灣空襲の直接の目標は比島補給線の破壊（即ち補給基地の覆滅並びに船舶の大量撃破）の他に日本艦隊への挑戦といふことであつた筈だ、前者は在支第十四航空隊のB 24や第二十航空隊のB 29による協力もあり、當時日本國內各紙の記事にも發表されたごとく若干の成果を収めたかもしれないが、日本艦隊への挑戦は日本軍航空兵力の思はぬ強襲に遭つて彼ら自身の方から企圖を放棄して戰場を棄て去つたため、遂に艦隊決戦は實現せず終つた、この誤算が後に比島沖海戦といふ不利な戦ひを米艦隊に齎したわけだ

臺灣沖海空戦の戦況及び結果については當時新聞紙が詳細に報じてゐるからここでは觸れない、注目すべきは敵側の發表だ、眞珠灣にあるニミッツの太平洋艦隊司令部の戦況公報は、空襲に關して發表せる他、海空戦については「日本航空部隊の熾烈なる反覆攻撃を蒙つたがその都度これを撃退し中型艦艇二隻破損せる以外水上艦艇に損害なし」と殆んど頬被りに近い（しかも曖昧な）發表をしたに過ぎない、頬被りや小出の發表は米海軍の慣例であつて驚くに當らないが、かうまで極端な煙幕發表を行つたことは、敗戦を隱蔽したまま比島作戰を抑切らうとの彼らの意圖と、押切れると信じてゐる彼らの自信とを示してゐるとみられる、ただ大本營發表とニミッツ公報の餘りにも甚だしい懸隔は全世界をして判斷に迷はしめた模様で、本社チュリーツヒ支局からは中立國スイスの空氣を次の通り報じて來てゐる

堀口特派員十月十七日發「スイス各紙は臺灣沖海空戦について論評を控へてゐる、この態度は次の事實のためだと思はれる、即ち海戦の現場から數千哩を隔つてをり、しかも海戦の經驗をもたない純然たる大陸國民であるため、スイス國民が日米双方の報道を今後の發展によつて判斷しようと思へるのも無理ではない、換言すればスイス人は相矛盾する日米兩國の主張に對して今後暫らくの事態を考慮に入れてから判斷を立てようとしてゐるのだ、たとへばもしニミッツが日本の主張のやうにハルゼー艦隊の「殆んど潰滅」したために太平洋西方攻勢を續けられなくなつたとすれば、スイスは日本發表の正しさを認める、だがニミッツが依然西に向つて大規模攻勢を續け新上陸を行ふやうなことがあれば米國側の報道が眞實だといふことになる（註）

その後比島沖海戦に加つたハルゼー艦隊が臺灣沖の部隊だといふことにはならない、また比島侵攻軍は全然別箇のマツカーサー軍だ」その他ドイツの戦況不利なども影響して樞軸側が負けるのではないかとの氣持が強いし、米國側の報道が量的に壓倒的優勢だといふことも作用してゐるとみられる

中立國筋の觀測が日本に必ずしも有利でないのは右の電報でも指摘してゐるやうに米國側が宣傳の量で勝たうとしてゐるためにちがひないが、百論一勝に如かずはあくまで眞理であり、米國側はこの邊の機微に動かされて、以後宣傳に關する限り壓倒的大勝を續けなければならなくなつたのである

比島上陸作戰の開始

マツカーサーの比島侵攻作戰は臺灣方面の作戰と最も緊密な關係を有しながら、その戦況乃至結果とは全く無關係に斷行された、このことはかかる大規模作戰においては當然であり、時間的にもさうしななければならぬわけなのだ、この事情があつた比島沖海戦を生んだのだが、上陸作戰開始當時の米軍は正に有頂天であり、その宣傳は

同盟通信

(第三種郵便物認可)

北佛侵攻作戦開始當時に優るとも劣らぬ猛烈さだつた

島嶼七千餘といふ比島のどの島に米軍が上陸して来るかは從來屢々論ぜられてゐたが、反樞軸國でも中立國でも衆目の一致するところはミンダオ島だつた、それが反樞軸軍の謀略宣傳だつたとの結果論も成立たないことはないが、誰が考へても侵攻軍が日本軍航空基地群の中心に突入することの不利は明かだつた筈だ、その無理をマツカーサーが敢へてした理由は、ミンダオの日本軍の防禦が餘りに固かつたことと、マツカーサーが麾下の陸海軍航空兵力を極めて高く買つてゐたことにあると信ぜられる、日本軍からみれば、限られた兵力で七千餘の島嶼を悉く守り切ることは不可能は最初から明かだ、従つて日本軍としては米軍がいづれか一島に上陸するのを待つてその海上補給部隊に決戦を挑み、敵に徹底的出血を強いて、太平洋における敵の戦力を覆滅するの一途あるのみだつた、してみれば歐洲侵攻作戦と異り比島侵攻作戦は上陸成功の意義はさして重大ではなく、問題はその後にあつたわけである

だが米國は上陸成功を機として物凄いはかりの宣傳戦を開始した、總數六百隻以上と稱する侵攻船團の中にはラジオ船まであり、そのアンテナからは全世界に向つて一度にラジオ放送や各新聞通信社の電信同報の電波が送り出された、その餘りにも龐大な量と文章の内容からみると、通信記者の報道などには豫め作つてあつた原稿も相當多いやうに感じられる、本物か録音かは判らないが總司令官マツカーサーはラジオも通じて比島國民にたいし「余はマツカーサーである、余は二年半以前の誓約を果して今比島の土を踏んだ」と呼びかけた、彼の得意や察するに餘りありだ、コレヒドールを逃げ出した例のケソンの跡を承けて亡命比島政權の大統領となつてゐたS・オスメニャも比島常駐辯務官ロムロムと共にこの後に従ひ、マツカーサーの尻について上陸した即ち米國は比島侵攻作戦を單なる軍事上の作戦とみず太平洋における重要な政治攻勢の一つとして準備したのである

レイテ島において開始された電波戦に呼應して米本國ではルーズヴェルトが長文の聲明を發表し

て太平洋における本格的な大攻勢の開始を誇示し、例により「比島解放」について一くさり人道主義的な美辭麗句を列ねたほか、マツカーサー、オスメニャ、ニミッツ、ハルゼー等にたいして總花的に祝電や謝電を打つてゐる、遙か支那大陸の奥から蒋介石がルーズヴェルトに祝電を送つたことは勿論だ、ルーズヴェルトの祝電にたいしてはオスメニャが謝電を打つ等お芝居染みた應酬は暫く續いたがその内容は極めて概念的なもので、千篇一律悉く民主主義を謳歌し日本を侵略國扱ひにして比島解放を禮讃したものであるからここには一切省くこととして、つぎに英國並びに中立國スウェーデンの新聞論調を示さう、これはいづれも上陸開始直後の記事であり、各國とも内容は殆んど變つてゐないので、ただほんの例として紹介するにすぎない、米國紙の記事は自畫自讃に終始して貴重な紙面を費すに値ひしないやうだから扱ふまい記事はいづれも比島沖海戦前なることに留意して讀んで頂きたい

英國「タイムズ」紙論説「上陸地點の選擇に或る程度氣象學の問題を考慮してゐることは明かで、レイテ灣は隣接するサマル島によつて東北方からの季節風を避けてゐるが、日本軍にとつては奇襲であつたらしく、上陸據點は殆んど何の損害もなく獲得された(註「第一回の上陸に失敗した事實を想起して頂きたい」)最近南北の諸島嶼に砲爆撃が集中されてゐたところから、日本軍は砲爆撃の激しかつたところを上陸地點だと信じ切つてゐたらしいまた第三艦隊の艦載機隊が比島の日本軍航空基地を叩いておいたことは日本軍の空中偵察計畫に齟齬を生ぜしめ、劈頭の第一戦を完全にマツカーサーの勝利とした、これは海空軍として最も重要な作戦であつて、まづ確固たる制空權を得てなかつたとすれば、いかなる指揮官とても敵の有力な據點を通過して六百哩の長途に亘りマツカーサー軍のごとき大輸送船團を護送することは出来なかつたにちがひない、空母並びに陸上基地の航空兵力のみでも比島の日本軍大部隊の補給線を遮斷することによりその軍事的價値の大半を喪失せしめ得るのである

比島侵攻軍の編成

以上で侵攻作戦開始までの情勢を簡單ながら説き終つたことにして、これから侵攻作戦の形勢並びに作戦初期における最大の事件たる比島沖海戦について述べることにするが、敘述に先き立つて反樞軸比島侵攻軍の編成を一通り示しておきたい。敵司令部が正式に發表した以外は不明な點が多いことも許して頂きたい。

總司令官

陸軍大將 ダグラス・A・マツカーサー

副司令官

海軍大將 トマス・A・ブレイミー

△地上部隊

第六軍司令官

陸軍大將 ウオルター・クリューガー

第十兵團司令官

少將 フランクリン・サイパート

歩兵第一騎兵師團長 少將 バーン・ハート

歩兵第二十四師團長

少將 フレデリック・アーヴィン

第二十四兵團司令官 少將 ジョン・マツヂ

歩兵第七師團長

少將 アーチボルド・アーノルド

歩兵第九十六師團長

少將 ジェイムズ・ブラドレー

歩兵第二十一師團（所屬指揮官共に不明）

水陸兩用工兵第三旅團長

代將 ウイリアム・シーヴィ

他に海兵隊も若干参加

△海上部隊

第七艦隊司令官

海軍中將 トマス・キンケード

代將 ジョン・コリンズ

小型空母戦隊司令官

少將 トマス・スブレীগ

水上戦隊司令官

少將 ジェツシー・オルデンドルフ

第三艦隊司令官

海軍大將 ウイリアム・ハルゼー

比島の戦役は依然水陸兩面作戦であらう、マツカーサーの目的は日本軍を比島全域から驅逐するにあり、たとひレイテ島並びにサマル島が地上作戦だけで占領されようとも、他の一層重要な島嶼を占領するにはまだ海を越える必要がある、しかも比島解放に對する日本軍の反抗活動が結局聯合海軍に海戦の好機を與へることになりさうなのは、ソロモン諸島のこれに類似せる作戦にみられた通りだ、比島の米軍は南支那海の交通を立派に監視し続け、日本本土と「共榮圈」諸地區との間に残る補給線を完全に切斷するにあるだらう、かくて日本の大軍の運命は時間の問題になる、レイテ上陸は放膽無比な戰略行動の第一歩にすぎない「スウェンスカダグブラデット」紙ニューヨーク電「レイテ島上陸の報は早くも他の戦區における米軍の攻勢を豫想せしめるに至つた、勿論米國の各界は比島戦の困難が極めて大なるべきを認めてゐるが、それにも拘らず「比島奪還後米軍の鋒先はどの方向に向けられるか」といふことが論ぜられてゐるのだ、第一にいはれてゐるのは、まだ比島南方で日本軍が残つてゐる島々の掃蕩をするだらうといふことだ、次に米軍は北進を續けるだらうといふ者もある、この場合の目標は恐らく臺灣だらうが、これは日本本國に對する攻勢であるだけに非常な困難が豫想される、だが觀測者たちは太平洋における最大決戦はそれよりもつと先にあるものと考へてゐる、たとへばウオルター・リツプマンだが、彼はかう論ずる

「日本の最大の強味は比島、マラツカ、蘭領東印度、ビルマ等の前哨地點にはなく、陸軍の約七十パーセントが駐屯する北支、滿洲並びに本土に存する、決戦が行はれようとする地點では、どこでも日本軍は米軍より多くの兵力を自由に驅使することができ」

一方米國の消息通は比島から日本軍が驅逐されれば直ちに比島の獨立が實現すると信じてゐる、そして比島は獨立を與へられながら米國の委任統治領として最強の海陸空三軍基地になることを期待してゐるのである

第五十八機動部隊司令官

中將 マーク・ミッチャー

(麾下に少將を指揮官とする空母機動群五隊あり)

△航空部隊

極東航空部隊司令官

陸軍中將 ジョージ・ケニー

(麾下に濠洲空軍を含む)

陸軍第五航空隊司令

少將 エニス・ホワイトヘッド

艦載機隊總司令官(兼任)

海軍中將 マーク・ミッチャー

△水陸兩用作戦司令官

海軍少將 ダニエル・パーペイ

海軍少將 シオドー・マイルキンソン

以上のうち地上部隊の第二十四兵團は第三艦隊と共に本來ニミッツの太平洋艦隊司令部麾下に屬してゐた、ほかにニミッツ麾下航空部隊で直接間接に比島侵攻作戦に協力してゐるものはつぎの通りである

太平洋航空隊司令官

陸軍中將 ミラード・ハーモン

第七航空隊司令

少將 ウイリアム・ヘイル

第十三航空隊司令

代將 アール・バーンズ(?)

その他 海兵隊第二航空隊

同 第四航空隊

艦隊 第二航空隊

等の名稱が頻々と出て来るが、司令官並びにその基地は現在手許の資料では判つてゐない



英誌の新國際聯盟評

「エコノミスト」九月二十三日號

米英ソ案の相違點

ダンバートン・オークス會議の内容は、多分檢閱の氣まぐれかなにかの理由で、英國にはあまり

よく傳はつて來なかつたが、これに反して米國では主に「ニューヨーク・タイムズ」紙特派員の活躍のお蔭で會議の経過が詳しく報ぜられ、早くも國民の間で盛んに討議されてゐる、會議での討論の基礎となつた米國案は、加盟國の全部が議席を有し平等な投票權を與へられる總會と、米英ソ支四國を常任理事國とし爾餘の加盟國の代表として選出された七理事國を加へ合計十一箇國からなる理事會の設置を規定してゐる、平和の維持に必要な軍事行動は理事會の過半数の賛成投票を條件としてゐるが、但しその場合過半数には常任理事國全部が入つてゐなければならぬ、いひ換へればこの世界的組織が「武力の行使を含む事件について」行動にでるには、四大國間の完全な意見一致に加ふるに、少くとも二つの小國の賛成投票が必要なのである、米國案起草後常任理事國にフランスも加へることに話がついたやうだが、これによつて投票規定がどれほどの影響を受けたかは未だ明らかにされてゐない

英國の見解は以上の米國案と殆んど完全に一致してゐるやうだ、米國の新聞が英國の提案として傳へた僅かの事項は、米國案の修正といはんよりむしろ追加である、英國の提案の一つを挙げると各加盟國が他の全部の加盟國の領土完整を保障するといふやうな普遍的保障は存在せぬことを明かにしたいといふのだが、これは恐らく實際に履行できない都合の悪い法理的言質を與へまいとする目的にでたものであらう、英國が行つた今一つの提案は將來共同行動を執る場合に備へて各國とも派遣軍を結成しておく以外には合同參謀本部乃至これら類似的機關を設置せよといふことであつた

ロシアの反對は更に廣汎に及んでゐる、ロシア代表は武力行使について小國のいかなる介入にも反對し、決定は大國だけで行ふ事を提唱したといふ、ロシアの主張には理屈がある、戦争が平和かの問題については責任のある所に權限もまたはつきりおいた方が利益であらう、しかしかかる方式はどんな種類のものにせよ英國自治領その他の小國に納得の行くやうに説明して承諾を得なければならぬから、ソ聯の提案が示唆するやうに小國を無理に押しのけるのは不可能だ、ソ聯はまた大國の内一國が侵略行爲を犯した際には他の三國が制裁を加ふべしといふ提案にも反對したと傳へられる

舊聯盟と大同小異

米英兩國案は明らかに舊國際聯盟に極めて似た風貌を備へてゐる、重要な技術的差違は、少くとも第一印象からいへば、同案が聯盟を強化し實力を増加せんとする點にあるやうだ、本案の規定では理事會は多數決で行動出来るし、また各國は豫め派遣軍を編成し理事會に提供することになつてゐる、しかし仔細に検討すると以上の差異は大して實質的なものではない、各國派遣軍はそれぞれ自國司令官の指揮下に留るらしく、國際警察軍なる觀念は殆ど消滅せんとしてゐる、各國參謀本部の間に絶えず連絡が保たれるのは良いことだが一九二〇年代三〇年代の困難は軍隊の糾合や理事會の決定の實施にあつたのではなく、理事會をして決定に到達せしめることであつた、滿場一致の規定を廢した結果この點は多少改善されようが、當任理事國全部の意見一致を要するといふ規定があるから略同じやうなものだ、四大國或ひは五大國のうち一國が棄權して他の三國或ひは四國に行動の自由を與へることが出来るかどうかは未だ判然しないが、大國のうちいづれの一國でも自分の好まぬ行爲にたいしては絶對拒否權を有してゐるのは明白だ

この事實は多くの希望に幻滅を與へるのだが、それを避けるのは非常に困難で殆んど不可能な位だ、米國は英ソ支三國が南米で武力行動に出るのを阻止出来ないやうな立場に立ちたがらぬのは明白で、同様にロシアは東歐で英國は西歐で或ひはその他の場所での拒否權を欲するであらう、これらの勢力圏の地理的限界を規定しようなどとすれば忽ち蜂の巢をつついたやうな騒ぎを起すであらう、それ故現實主義的觀點からいへば各大國に普遍的な拒否權を與へるのが唯一の解決策であらうかういふわけで新提案と舊國際聯盟の間の技術的差異はあまり大きくないのである、新機構は舊機構より二、三多くの「筋金」を持つてゐるが、たいして多くはない、その上これらの改善は組織全體の抱負の低調化によつて相殺されてゐるやうだ、舊聯盟規約に盛られた普遍的保障と一般的禁止の概念は消え去りつつある、新世界組織は國際

關係を律する方式または永遠の平和を齎す方法における革命とは見做されず單に主權國群が集團的手段によつて實行しようとする任務を達成せしめるための一機構として提唱される止らう、新機構が有効に武力を適用し得る場合が極めて制限されてゐる一點だけをみてもこのことは明らかであらう

新機構の唯一の役割

或ひは舊國際聯盟の場合ほどこの制限は甚しくはないかも知れぬが、その代りに新機構の有する制限はもつとはつきりしたものであり、且つ作爲的である、ソ聯の反對が容れられるかどうかに拘らず、大國の行動を掣肘する仕事は各國の出す小規模な派遣軍の寄合には荷が勝ち過ぎてゐる、従つて事實かういふ時には決定は常に理事會の外で行はれることにならう、その結果國際間の危險な紛争の大部分は新聯盟の扱ふ範圍の外におかれることにならう、更にその他の國際紛争にしても、大國間の意見が一致しない際には新聯盟は手を出せぬのであるが、この範疇に屬する紛争も少くはあるまい、それ故新機構の唯一の役割はたまたま大國間の見解が一致した場合、その意見を小國に押付けるにあると解するの、單なる皮肉のため皮肉とはいへない、米ソ兩國の代表が正式組織の會合にいつも顔を出すやうになつてゐるのは、大國の政策決定に際し非常な利益を齎すであらうが、決定的な利益とは思へない、米國が舊聯盟に参加しなかつたのを遺憾とする考へは廣く行はれてをり、それによると米國がもし加盟してゐれば公約と協力の政策を執つたらうといふらしいが、聯盟内の或る國が聯盟外の國と同じやうに孤立主義の非協力政策を執るのもさしたる難事ではない米國が新機構に参加する意志があるからといつてその事實だけから米國の政策の前途に揣摩臆測を加へるのは警戒せねばならぬ

米國憲法との關係

この點を最もよく反映するのは、現在米國內で新機構に参加する米國代表の投票に特に米國議會の同意なしで公約としての效力を發生せしめるべきかとの問題が頻りに論議されてゐる事實である

同盟通信

海外電報

(第三編 經濟國際關係)

武力行爲に賛成する投票は宣戰布告に等しいと見られてゐるが、米國憲法によれば宣戰を布告し得るのは議會だけだ、この問題の論議は極めて眞剣に行はれてゐるもので、歐洲人の目から見れば街學的且つ非現實的に思はれようが、米國人にとつては甚だ眞面目な問題で、いかなる大統領と雖も議會の同意がなければ極めて制限されたものの以外、武力行動に出ることは出来ない、しかも議會の同意なるものは過去におけると同様將來もあまりあてには出来ないであらう、米國が自己の主權を堅持する限り平和問題の機械的解決が容易ではないやうに、行政と立法の兩機關が權力と源泉を異にする間は、米國外交政策の機械的解決もまた困難であらう

或る論者は個々の問題毎に米國代表が投票を行ふ前に米國議會の討議に附すべしと主張する、しかしヴァンデンバーグ上院議員等の有力な共和黨員は、日本とドイツとの間に締結されるか、或ひは日獨兩國に關して締結される平和條約の特殊の條項の實施に關する限り、議會は豫め權限を米國代表に白紙一任するが、爾餘の一般の問題については、議會の承認を留保せよといふ妥協論を唱へてゐる

米國以外の大國の政策もまた必ずしもはつきりしてはゐない、諸大國の根本政策については一般に信頼が置かれてゐるが——そしてこれは確かに現實的な見解といへようが——まだまだ解明や啓蒙を要する點が澤山ある

一九一九年に見られた默示録的な熱意に較べれば、以上の考察は確かに悲觀的である、そして悲觀が冷笑に變ればすべては終りだ、だが事實こそは建設的現實主義を助長するものであるから、ユーロピア的な理想主義よりは悲觀論の方が害が少いかも知れぬ、何も新聯盟の建設だけが國際秩序の前途の全部ではない、どんな規約をもつてゐるにせよ、國際組織は各國の意圖を表現するための機構に過ぎない、恐らく前大戰から今度の戰爭に至る間に國際法の論議や紙上の機構の研究があまり多すぎる爲か、詭辯を弄して恬然としてゐる手合や、個人や國家の責任が回避出来るといふ安價な信念の偏重が生じた、もしも新聯盟の構想があ

まり野心的でないために、却つて各國が自國の政策の重要性を改めて認識し、自國の勢力と實力を振ふ方法と目的を研究し始めるやうになれば、結局平和の維持に寄與することにならう

米英石油協定と

英國の爲替事情

「タイムズ」紙九月二十九日號「フォーチュン」誌は米英石油協定檢討の結果を發表したが、同誌編輯部は同協定に盛られた原則是「石油に關する大西洋憲章に等しい」と斷じて後、諸種の批評を引用しつつ次のやうに述べてゐる

米國の觀點からすれば、目的は可成り單純で且つ全く米國らしいもの——はつきりいふと、自由市場に對するあらゆる人爲的障礙を除き、最も廉價に生産される地域から最も必要な地域へ石油を自由に流通させることである、一方、戰爭で疲弊し資源の涸渇してゐる英國にとつては、復興計畫にとつて重大な要素であるばかりでなく、外貨獲得の手段として缺くべからざる自國の石油の確保が第一の問題である

もし米國が協力的態度を示さぬならば、英國は弗貨による石油の購買を削減して、磅貨で購入出来る中東の自國資源の使用を餘儀なくされよう、米國の石油資源保護だけの立場からいふと、それは結構なことだが、これが結局現在多數の英國經濟學者を虜にしてゐる磅ブロック主義への宿命的な第一歩になると一寸困るのだ、磅ブロックの形成は米國の利益にはならず、却つて自由貿易を阻害する新しい厚い壁が現れる結果を生じよう

戰爭中は石油のために問題が起るなどといふことはなかつた、米英兩國が戰爭中世界中のストツクを共同で使用了る實例は、戰後の協力の良い模範とならう、この好意を將來まで持續し、中東で石油休戦を行ふことが出来れば、石油の中から紛争の種を除く仕事が非常に樂になるであらう

「タイムズ」紙九月二日十九號經濟欄

米英石油協定の中で問題となる點が、協定に付屬してゐる外國爲替問題議事録の中に一つある、即ち議事録はブレトン・ウツヅ會議のいはゆる過渡期間において、英國が自己の要する石油を購入する際にはまづ外國爲替の關係を考慮した上でこの石油を買ふか決める、米國代表はこの點に關し英國が一方的な行動に出るのは協定の精神と一致しないと感じたので、結局かかる行動にでる前に一應國際石油委員會に通告するといふ取極めとなつた、同委員會は兩國政府に解決案を提示しなければならぬのだが、もし満足に行く解決案が出来ない時は、三ヶ月の豫告をもつて協定を廢棄することとならう

現在および將來における英國の爲替事情に鑑るに、かういふ豫防的措置は當然必要とされる「世界各地の生産地域から夫々經濟事情に應じて石油を供給せしめる」といふ原則からいへば、英國は米國から石油を買はねばならぬのだが、それが出来なことになるかも知れないのであつて、米國の批評家もこの點は十分認めてゐる、しかし、以上の事態は、通貨の自由な交換なしでは國際間の商品協定は圓滑に動かぬといふ事實を想起せしめるに足るものだ、恐らくブレトン・ウツヅ會議のいはゆる過渡期間以後になつても、右の爲替に關する條項の代りにこれと類似した條項をもつて外貨の缺乏に對處せねばならぬかも知れない、更にまた今後協定に参加を豫想される諸國の中にも英國と同様な爲替事情を有する國家が多數存在する事實に留意する必要がある

印度の貿易

—英帝國內の若干供給源の喪失—

「コマーシャル・ジャーナル」

紙十月十八日號

カナダ商務省の「コマーシャル・インテリジェンス」誌は印度の貿易統計に關し次の通り發表してゐる

一九四三年における印度の貿易總額は三十億七千

百八十四萬三千五百三十一ルピーで前年の三十二億八千五百四十九萬一千七百二十一ルピーに比し若干減少を示してゐる、内譯次の通り

(單位ルピー)

一九四三年

一九四二年

貿易總額 三、〇二、八四三、五三三 三、二八五、四九一、七三二
再輸出額を差引いた純貿易總額

二、九七三、三九三、三四三 三、一三三、六六三、七〇〇

輸入額 一、〇四八、八七三、三三八 一、一三七、四七六、六五九

輸出額 一、八六三、五五六、〇六六 二、〇六六、一七六、二二一

輸出超過額 七七七、四八二、八三八 九八八、七〇〇、四九〇

一九四二年の老大な輸出超過額に比し一九四三年の超過額が相當減少してゐるのは輸出價格が多少低下してゐるのに、輸入價格は合理的に維持されたためである、次に一九四三年における印度と英帝國との貿易狀況を概観すれば前年の狀況に比し二、三注意すべき變動がみられる

(單位ルピー)

英帝國からの輸入 一九四三年

一九四二年

輸入額 五三三、八四三、七〇三 六六六、八三三、二七〇

輸入總額に對する百分比

四七・四%

六一・三%

英帝國向け輸出

輸出額 一、四〇八、三三三 一、三〇五、三六六、八五五

輸出總額に對する百分比

六六・六%

六三・五%

一九四二年における英帝國からの輸入額は従前數ヶ年の平均と略々合致してゐるが、一九四三年において百分比が五〇%以下に減少したのは英帝國內の幾多の供給源がなくなり、英帝國以外の隣接諸國からの輸入が増加したこと、かつ輸入制限規定がすべて維持されてゐる證據だといへよう、英帝國向け輸出額は減少してゐるが、一九四三年には輸出總額が一層減少してゐるから輸出總額に對する英帝國向け輸出の百分比は却つて増加してゐる、主要輸入國は英國、濠洲、バレーン島、ケニア、セイロン島、カナダ及び南阿で主要輸出國は英國、セイロン島、濠洲、南阿、カナダ、ケニア、アングロ・エジプト・スダン、ニジエリアである

第三二四七號

同盟通信

海外電報

(267)

【目次】

ベルギー内亂の危機回避	二七八二
ソウェト公使會談を遂ぐ	〃
對獨協力佛人活躍	〃
食糧事情に不安なし	〃
對瑞關係微妙	二七八三
諸に發射基地建設か	〃
肉彈挺身隊を編成	〃
【米 國】	〃
歐洲に新行動か	二七八四
亞國の提案を拒否	〃
對希國交回復	〃
軍需増産を要請	〃
聯立内閣を要望	〃
元帥設置法案	〃
勞働局長官留任	二七八五
眞珠灣敗將の末路、新増援師團	〃
太平洋水域司令官着任	〃
損害發表	〃
【米 洲】	〃
ソ聯、ニカラガワ國交開始	二七八六
亞國強制軍事訓練	〃
ボリウエイア副大統領決定	〃
【英 國】	〃
駐米公使重慶支援を強調	〃
外相アンラを攻撃	〃
【東 南 歐】	〃
米商務會議所會頭を招請	二七八七
林語堂米國を反駁	〃
【友 軸 陣 營】	〃
マロリー行方不明	二七八八
ルブリン政權莊園分配を實施	〃
【重 慶 政 權】	〃
ネルソン、蔣介石會談	〃
米商業會議所會頭を招請	〃
林語堂米國を反駁	〃
【北 阿】	〃
洪政府遷都、政黨大同團結	二七八九
ソ代表羅副首相と會談	〃
【北 阿】	〃
瑞、佛にクレヂット供與	〃
【イベリア】	〃
西、ド・ゴールに借款供與	〃
【北 阿】	〃
エチプト國會解散	二七九〇
【特 輯】	〃
米軍のジャシグル・ジープ	二七九一
【資 料】	〃
三都巴后群	二七九二
米國軍需労働者復員問題	二七九五
米國造船工の不足	二七九六



歐洲戰局の歸趨を決定すべきジグフリード線に對するアイゼンハウアー軍の總攻撃は愈々熾烈化し戰鬪はドイツ西部要塞の全線に互り白熱化すに至つた、現在最も劇しい攻防戰の展開されてゐるのはアーヘン東方からガイレンキルヘンに至る正面で僅か七十軒餘りの戰線に反樞軸軍は三個軍團を投じラインからレール河へかけてのドイツ軍の縱深陣地を遮二無二突破しようとして企圖してゐる、最初同方面においては米第一軍と第九軍とをもつて攻勢を展開したのであるがドイツ軍の防備固しと見るや十八日更に英第二軍の一部をガイレンキルヘン地區に投じ十九日午後一時遂にガイレンキルヘンを奪取したと傳へられる、西部戰線の最南翼においてはド・ラ・ド・タツシニーの率ゐるフランス第一軍は西ヴォージュ山脈の峠陣地を抜きフランス最東部のアルザス地方に侵入し米第三軍もモーゼル河沿ひにドイツ國境を突破して一路トリールへ進撃を續けてゐるといはれるが全般の戰況から見てアーヘン、ガイレンキルヘン地區が決定的戰區であることはいふまでもないエクスチエンジテレグラフ通信のロンドン電報によればアイゼンハウアーがドイツ軍の防禦力が最も強いと見られてゐるケルンの前面に攻撃重點をおいたことは注目しに値すると報じてゐるが、アイゼンハウアーとしては過去二ヶ月半にわたる慎重な作戰準備と兵力の壓倒的優勢を恃み殊更西部要塞の最強力地點に挑戰したものと思はれる、ルール工業地帯を戰線の直ぐ背後に控へるガイレンキルヘン戰區は攻防兩軍何れにとつても死活的な重要性を有し今後益々熾烈化すると豫想される反樞軸軍の攻勢をドイツ軍がこの方面で喰ひ止め得るならば歐洲戰局は再びその相貌を一變することにならう

ベルギー内亂の危機回避

(ストツクホルム十九日發) ビエルローを首班とする亡命ベルギー政權は反樞軸軍の「後塵を拜し」ながら首都ブリュッセルに歸還したが、行政上の無能を暴露して國內の食糧不安を處理出來ず政治力の貧困によつて所謂「抗戰集團」並びに共產黨と正面衝突を演じてゐるが、抗戰集團との争ひは十九日に至り一應落着するに至つた、亡命政權は十八日夜半を期限として抗戰集團に對し武器の引き渡しを要求したが同集團はこれ等の武器は英軍から空輸を受けたので亡命政權に引渡す筋合ひがないと頑張り十九日午前抗議示威行進を舉行したブリュセル來電によれば共產黨員をも加へて参加人員八千乃至一萬といはれるが武器を携行せず、行進は無事終了し萬一に備えて待機してゐた英軍憲兵隊は却て手持ち無沙汰の有様であつた、更に夜に入つて抗戰集團の領袖は會議を開催武器を軍當局に引渡す旨決議し反樞軸駐屯軍司令エルスキース少將に對し武器受取り方を要請した、さらにロイター電報によれば首相ビエルローが自ら抗戰集團の首領となる意思を表明したと傳へられる

ソヴェト公使

會談を遂ぐ

(リスボン十九日發) テヘラ
ン來電ソヴェト公使マキシ
モフ氏は十八日イラン外務省
を訪問し外相と二時間にわたり會談を遂げた、た
だし會談の内容については双方とも一切言明を差
控えてゐる

對獨協力

佛人活躍

(リスボン十八日發) ロンド
ン來電フランス當局筋の報
告によればフランス國內のナ
チ反抗運動はパリ市内に潜伏してゐる四萬のドイ
ツ人の指令を受けて未だ繼續され、ド・ゴール軍
の一齊檢舉にも拘らず何千といふ對獨協力派のフ
ランス人が牒報活動や妨害行爲を働いてドイツ軍
に活潑な援助を與へてゐるといはれる

食糧事情に不安なし

(ベルリン十九日發) ドイツ農相ヘルベルト・パ
ツケ氏は十九日農民代表會議の席上ドイツ國內の
食糧事情について次の通り述べた

「歐洲戰爭の開始以來五ヶ年ドイツ農業界は全力
を傾注してドイツ國民の榮養を維持する重大な政
治的任務を果して來た、從來食糧政策が成功を収
めた原因としては次の五ヶ條を上げることが出來
よう

- 一、ドイツ農民の全精力動員
- 一、國民食糧の基礎を適當な時期に肉食から菜食
に移したること
- 一、馬鈴薯、燕等の生産維持
- 一、種油の増産
- 一、乳牛乳製品の維持

一九三九年以降四二年までは占領地帯における
畜産の改善により、ドイツ國內の牛並びに豚には
手をつけずに済ませることが出來たが、爾後ドイ
ツ國內の牛豚数は逐次増大して戦前の水準に達す
るにいたつた、ただし、現在では野菜類の食糧を
用意するため飼料を減少させなければならず家畜
類を減少する他はない、ドイツ農業界當面の任務
は占領地帯の喪失を補填するにあり、馬鈴薯並び
に野菜類を増産し且つ乳製品の配給を維持しなけ
ればならないドイツ農民の勤勞こそはドイツ軍將
兵の戦果と軍需工場における増産の前提である」
ドイツ國內の食糧事情は最近における占領地帯
の喪失にも拘らず、パツケ農相の述べてゐる通り
健全で一般市民の食糧配給四週間分は大體次の通
り

砂糖

(または砂糖九〇〇グラム ジャム七五〇
グラム)

マカロニ類

五〇〇グラム

他の麥粉製品

一〇〇グラム

バター

六二五グラム

マーガリンまたは油類

二五〇グラム

パン

二、八〇〇グラム

(または小麥粉二一〇〇グラム)

ライ麥パン

六〇〇グラム

馬鈴薯

二、〇〇〇グラム

雞卵

二個

野菜、果物

一〇、〇〇〇グラム

牛乳

一八リットル

その他季節に應じて魚類肉類追加

對瑞關係微妙

(ベルリン十七日發) ストックホルム駐劄公使トムゼン氏は最近の緊迫化した獨瑞兩國關係についてリツベントロツプ外相に報告を済ませたので十八日ストックホルムに歸任する豫定だが、問題が複雑微妙な點に鑑み歸任がさらに延期されるかも知れない、反樞軸陣營はスエーデンをして中立を放棄せしめようとして猛烈な宣傳戰を行つてをり例へば十七日朝のニューヨーク放送は

スエーデンは對獨宣傳戰はしないが反樞軸側に廣汎な援助を與へるため中立を放棄するだらうといはれてゐる

と放送してをり、さらに

ワシントン駐劄スエーデン公使館の一高官はスエーデンが目下反樞軸側について戦ふスエーデン人義勇軍を盛に募集してゐると述べたと報じてゐる

なほ外務省當局は、記者團會見の席上次の通り言明した

英紙「ヨークシャー・ポスト」は最近の紙上でスエーデンが反樞軸側について參戰するやう要求してゐるが、これに對しスエーデン各紙が完全な沈黙を守つてゐるのには驚いた、最近米國のカーチスといふ將軍がストックホルムを訪問しスエーデン政府に對し、スエーデンが反樞軸側についていた場合の武器貸與についてある種の約束を與へたといふ風説が流布されてゐる、しかしかかる風説の眞疑のほどは保證出來ない

諸に發射基

地建設か

(ストック十八日發) ロンドン來電に軍事消息通の觀測によればドイツ軍は最近ノルウェー中部の山嶽地帯に奇妙な建物を構築してゐるといはれるが、恐らく新秘密兵器の發射基地に使用されるものとみられる

ゲーリング

元帥到着

(チューリッヒ十七日發) 空軍總司令官ゲーリング國家元帥は會議のため空軍首腦部を帶同、コンスタンヌ湖畔ルトワイヒスハーフェンに到着した

肉彈挺身隊を編成

(ベルリン十八日樽井特派員發) わが神風航空部隊や特殊攻撃航空部隊による果敢なる自爆戰術はドイツ國民の中にも強い感激と關心を呼んでゐるが十七日の戰況公報は初めてドイツ挺身游泳隊の偉勳を傳へ兼ねてから人間魚雷や肉彈突撃艇の行動によつて噂されてゐた奇襲部隊の存在の一面が明らかにされた、奇襲部隊は奇烈なる戰局の發展を反映して比較的最近に至つて編成を見た部隊であるがその狙ひは敵側の誇りと恃む物量を烈々たる愛國心と精神力とによつて克服せんとするにある

記者はかつてこの奇襲部隊の根據地を訪ね、その訓練狀態について詳さに見學する機會を得たがこれに屬する一部隊が右の特殊挺身部隊であつた挺身隊の大半は海軍陸戰隊の中から選ばれた志願兵でいづれも血氣旺な二十歳前後の青年達で中には陸軍から志願した十種競技の選手だとか或ひは映畫俳優、音樂家などもゐる、また八十歳を超えた老提督や健氣な女性達もこの挺身隊を志願して來てゐるとの話だつた、特殊挺身隊の訓練は約三ヶ月にわたつて行はれた、あらゆる接近戰鬪の訓練を受けバンドアー・フアウストやパンツァー・シュレック等の新兵器は勿論のこと柔道の逆手の如き護身術も練習してゐる、彼等の戰鬪任務は敵地に深く侵入して敵の軍事施設を爆破する事だが十七日のドイツ戰況公報によると右部隊に屬する五人の挺身隊はゴム製の服に身を固め爆藥箱を携行しながら十軒の河上から泳出しオランダのニーメーゲン附近のヴァール河鐵橋を爆破することに成功した、又ブリント・ホルン中尉の指導する他の一隊が突撃艇二隻に數トンの爆藥を満載し敵前作業によつて歐洲最大のメルデイーケ鐵橋の橋脚を見事に爆破した、これによつて百七十米の巨大な鐵橋がマース河口に墜落、英軍の進軍をくひ止めると同時に敵の水上輸送路を完全に遮斷して軍の作戰展開に多大の寄與をなした

かかる必死的戰鬪行為は國土防衛の決戰段階にあるドイツにおいて今後も續々現れることと思はれるがこれらの挺身隊を激勵する指揮官の心持には洋の東西を問はず變るところのあらう筈はない戰線に向ふ部下に對して某提督が與へた言葉は次のやうなものだつた

諸君にこの任務を頼んだぞ、諸君の沈着果敢なる行為は直ちに戰局に影響するところ重大だ、どうか體を大事にして犬死はしてくれないな、但しここに一つの相違はある、日本人においては生死一如が直感的に理解されるに反し西洋にあつては共に生きて勝利の喜びを煩つといふ思想に徹してゐる點である

【米 國】

歐 洲 に 新 行 動 か

(リスボン十七日發) ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは十七日の定例新聞記者團會見に豫定の時刻より一時間半も遅れて出席したが、その理由として「歐洲戰線からの新軍事行動に關する情報に目を通してゐたためだ」と説明した、ルーズヴェルトがかく長時間新聞會見を延引したことは異例であり、政、財界では歐洲方面で最近のうちに何等か重大な新事態が起るのではないかと觀測してゐる

亞 國 の

提 案 を 拒 否

(リスボン十八日發) アルゼンチン政府は米亞兩國關係の惡化その他の米洲關係問題協議のため過般米洲外相會議の開催を提議したが、AP通信社十八日の報道によれば米國政府は遂にこの提案を拒否するに決定しこの旨米洲諸國に傳達したといはれる、通告の内容として傳へられるところ次の通り

戰爭及び反樞軸諸國の問題の方がアルゼンチン問題よりも遙かに重大である、従つて米國政府としてはこの際寧ろ反樞軸國際機構案協議のための外相會議の開催を提案する

しがして政府の右の態度にはメキシコ政府も大體同意してゐるといはれるが、政府の提案による外相會議が招集されてもアルゼンチンの参加を認めるか否かはたしかでない

對 希

國 交 回 復

(リスボン十八日發) ワシントン來電によれば政府は今回ギリシヤ政權との間の外交關係を復活、大使リンカーン・マツクウエイは既にアテネへ向つて赴任の途についたと傳へられる

軍 需 増 産

を 要 請

(リスボン十七日發) ワシントン來電「戰時動員局長官パインズは十七日次の聲明を發した

歐洲戰線では今や反樞軸軍の新大攻勢が開始されたが、彼等をベルリンにまで到達せしめるに十分な彈藥を供給するためには更に二十萬の軍需労働者が新規に必要である、最近の軍需生産の遲滯勝ちなのが勞働力不足によつて招來され

たことは否定すべくもなく、この状態が今後とも依然として續く時は遺憾ながら最近折角實施した一部民需生産の再開も中止のやむなきに至るだらう、不足軍需品はその數こそ少いが、いづれも作戰遂行に重大影響を及ぼす緊急品目であり、特に不足を告げてゐるのは重爆撃機、重火器及びその彈藥、大型トラック及びタイヤ、攻撃用輸送船及び貨物船、修繕補給用部分品、上陸用舟艇、ラダール備品等である

一方歐洲反樞軸軍司令官アイゼンハウアーも来る十九日前線の司令部から國民にラジオ放送を行ひ前線の軍隊が如何に大量の火器及び彈藥を必要としてゐるかを訴へるはずである

聯 立 内 閣

を 要 望

(リスボン十七日發) ワシントン來電「各紙は最近頻りに現内閣の改造を提唱し、民主共和兩黨から成る聯立内閣の出現を要望してゐるが就中共和黨系の「ポストン・ヘラルド」紙がこれを特に強く主張してゐる

また「クリスチヤン・サイエンス・モニター」紙は、大統領ルーズヴェルトが今後政黨の立場を離れた見地から事務を處理するやう要請してゐる

元 帥 設 置

法 案

(リスボン十七日發) ワシントン來電「十六日議會に陸海兩軍に元帥の地位を新設する法案が上程された、新元帥の候補として陸軍側參謀總長マーシヤル、歐洲侵攻反樞軸軍總司令官アイゼンハウアー、海軍側聯合艦隊司令長官兼作戰部長キング、大統領附幕僚長リーイの四名の名前があげられ、また他に南太平洋方面反樞軸軍司令官マツカーサー、陸軍航空本部長アーノルド、太平洋艦隊司令長官ニミッツ、第三艦隊司令長官ハルゼーも有力候補である

重 慶 後 任

大 使 を 臆 測

(リスボン十七日發) 重慶中社ワシントン電「ルーズヴェルトは十七日の記者團會見で前重慶駐劄大使ガウスの後任を銓衡したむね明らかにしたが、新任大使の名を公表する前にこの銓衡に對する重慶からのアグレマンを待つてゐる旨言明した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

この大統領の聲明は忽ち新聞記者の間に臆測をまき起しパトリック・ハーレー、ネルソン・ジョンソン、ロウチリン・カリーおよびそれよりも可能性は落ちるがヘンリー・ウォーレス等を含む多數の名が挙げられた、しかしこれらの臆測は信ずべき情報に基づいたものではない、一部の消息筋では十六日のルーズヴェルト、孔祥熙會見と新任大使に關する大統領の聲明との關係を注目してゐるが、大統領は重慶への經濟援助および情勢の改善を行ふいつもの討議の線に沿つたものに過ぎない旨強調した

勞働局長官 留任

(リスボン十七日發) ワシントン來電 白聖館當局は十七日つぎの通り發表した

戰時勞働局長官デーヴィス及び同局委員ジョージ・テイラー、フランク・グラハムの三名は最近辭表を提出したが、大統領の要請により歐洲戰が終了するまで依然現職に留まることとなつた

ユーゴ公使 任命

(リスボン十七日發) ワシントン來電 政府はリチャード・パターンソンを亡命ユーゴスラヴィア駐劄公使に任命、新公使は既に亡命政權に信任狀を呈出した旨十七日發表した

眞珠灣敗將 連の末路

(ストックホルム十七日發) 十七日のスエーデン新聞「エクスプレス」紙のニューヨーク

ク特電は眞珠灣敗戰の責を負つて引退した當時の陸海軍首腦部の近情をつぎの通り傳へてゐる

眞珠灣慘劇當時の太平洋艦隊司令長官キンメルは現在ニューヨーク附近のある造船會社に勤めてゐる、彼は身の潔白を證明するといつて政府當局に再三再四公開軍法會議の開廷を迫つてゐるが、一向に埒あかず結局戰爭がすむまで待たねばならぬだらう、ハワイ地區陸軍司令官だつたシヨートはテキサス州ダラスのフォード自動車社會社運輸部に奉職してゐる、オアフ島地上防備司令官だつたフレデリック・マーチンは公的生活から全く引退しロサンゼルス郊外にあつて淋しい日常を送つてゐるが耳は遠くなり持病の胃病に悩んでゐることだ、パール・ハーバー基地の參謀長だつたマックモリスのみがい

まだ現役にあり、彼は現在太平洋艦隊の參謀長である

新増援 師團

(リスボン十七日發) サンフランシスコ來電によればレイテ島のマツカーサー司令部は十七日陸軍第三十二師團が新たにフィリピン戰線に増強されたと發表した、第三十二師團の師團長は少將ジルであり、曾てニューギニアのブナ、アイタペ等で日本軍と交戦した軍隊である

太平洋水域 司令官着任

(リスボン十七日發) サンフランシスコ來電 大西洋艦隊司令長官から太平洋水域司令官に任命されたロイヤル・インガーソルは十七日サンフランシスコに到着、新地位に就任した、彼は今後太平洋方面米國艦隊にたいする一切の補給を統轄する

比島沖海戰の損害を發表

(リスボン十七日發) ワシントン來電によれば海軍省は十七日去る十月二十二日から二十七日に至るフィリピン沖海戰で艦隊が受けた損害と稱して次の通り發表した

米國軍艦で撃沈されたものは次の六隻である

△改裝空母 プリンストン

△護送用空母二隻 セント・ロー、ガンビア

一・ペイ

△驅逐艦二隻 ジョンストン、ホエル

△護送用驅逐艦 サミエエル・ロバート

この他にも若干の小艦艇が沈没し、また損害を受けた軍艦もあるがその隻數及び艦名は軍機のため發表できない

海軍兵員 損害

(リスボン十八日發) ワシントン來電 海軍省は開戰以來の海軍海兵隊沿岸警備隊の兵員損害が七萬三千七百十五名に達した旨十八日發表した、内譯次の通り

合計

七三、七一五名

戰死

二九、〇四九名

戰傷

三〇、九三二名

行方不明

九、二四九名

俘虜

四、四八六名

【米 洲】

ソ聯ニカラグワ

(リスボン十八日發) マナグワ來電によれば、ニカラグワ國交開始政府は十八日ソ聯との間の外交關係を開始した旨發表したと傳へられる

智 西 通 商

(リスボン十七日發) サンチアゴ來電ニチリー政府は十七日サンチアゴにおいてスペイン、チリー兩國間に最惠國條款を含む通商條約が調印された旨發表した

亞 國 強 制

(リスボン十八日發) ヴェノスアイレス來電ニアルゼンチンのペロン副大統領兼陸相は今回同國陸軍の全面的再編成を企圖し、新法令をもつて男女共二十歳以上五十歳に亘る全國民は強制的に軍事教練に服すべきことを發表した

ボリヴィア

(リスボン十七日發) ラパス來電ニボリヴィア國會は十七日クレメンテ・イノフェンテ少佐を同國副大統領に推舉した、イノフェンテはベニヤランダ前政府打倒に重要な役割を演じた人物である

伯 駐 佛 大 使

(リスボン十七日發) リオ・デ・ジャネイロ來電ニブラジル大統領ヴァルガスはフランス臨時政府に對するブラジル代表カステロ・フランコ・クラレックをバリ駐劄大使に任命した旨十七日發表した

【濠 洲】

駐 米 公 使

(リスボン十七日發) ワシントン來電ニ新任米國駐劄公使フレデリック・エグレストンは最近重慶が反樞軸にとつて役に立たぬとの意見があるに對し、濠洲の見解として重慶の役割が依然重要である點を十六日の記者團會見で強調次の通り言明した

重慶は對日戰の勝利獲得に重要缺くべからざる存在だ、蔣介石を支持することは反樞軸の任務であり重慶を指導出来る者は蔣介石だけである重慶が七年の戰爭を續けたにも拘らず、不變の同盟國として留まつて來たことは注目すべきだ重慶の再建を援助することは濠洲の利益である

蓋し戰後太平洋の安定は支那の安定に依存するからである、次いでエグレストンは「太平洋の日本委任統治領問題は媾和會議で國際的取極めによつて解決すべきだ」と述べ「太平洋の安定は日本を完全に擊破して始めて維持することが可能で、完全に擊破しない限り日本は再び平和の脅威にならう」と不遜な言辭を弄したが「反樞軸軍の諸基地から日本に達することは困難であり、従つて日本を擊破することも困難だ」と附言した

外 相 ア ン ラ

(リスボン十七日發) キャンベラ來電ニ濠洲外相エヴァツトは十七日アンラ(反樞軸救濟復興會議)を痛烈に攻撃して次の通り言明したアンラの現機構をもつてしては到底アンラの目的とする事業を満足に實行することは出来まい殊にワシントンにある中央機關の人的構成は根本的に改變する必要がある、さらにアンラは各地域の軍司令官の許可なくしてはその事業に着手出來ぬこととなつてゐるが、かかる不自然な規定のためにアンラは救濟復興事業を最も必要とする地域で仕事を開始することが出来ない状態におかれてゐる

沿 岸 警 備 隊

(リスボン十七日發) キャンベラ來電ニ政廳は沿岸警備の任に當る「濠州特志防衛隊」の九十五%を豫備役に編入する旨十七日發表した

義 勇 軍

(リスボン十六日發) シドニ一來電ニ政廳は十六日、「濠洲に對する日本軍の脅威が除却された結果、防衛義勇軍の五十九パーセントは解散する」旨發表した

石 炭 不 足

(リスボン十六日發) メルボルン來電ニ首相代理フォードは十日下院において石炭不足に關し次の通り述べた

濠洲における過去三ヶ月間の石炭產出額は前年同期に比し三十餘萬噸の減少を示し、燃料問題は非常な不安を告げるに至つた、殊に鐵道には現在約二週間分の豫備燃料しかなく、一方諸都市のガス會社は僅か一週間分にも足らぬ石炭を保有してゐるに過ぎない

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【英 國】

アメリカ

言明を避く

(リスボン十六日發) ロンド
ン來電 印度人に對する土地
所得禁止措置を繞り過般來南
阿と印度との間に紛争が生じてゐるが、十六日の
英國下院でこの問題につき次の質疑應答が行はれ
た、即ち労働黨のソレンセンが

南阿政府が在住印度人に對してとつた制限措置
に對し、印度人の間に憤懣の念が生じてゐるが
既にこの問題について情勢を緩和するやうな措
置がとられてゐるか

と質問したのに對し印度相アメリカは次の通り應
答した

問題が難しくなつてゐることは十分知つてゐる
が、現在これについて政府が聲明することは何
ら問題の解決に資するところはないと思ふ

米の輸出助

成金を憂慮

(ストツクホルム十八日發)
ロンドン來電 米國政府が先
に發表した小麦及び棉花に對
する輸出助成金は早くも戦後各國間における猛烈
な通商戦の前觸れをなすものとして注目されてゐ
るが、米國と競争國の地位にある英國財界は特に
米國政府の措置に重大關心を示してゐる模様で、
十八日のロイター通信はシテイ筋の見解として次
の通り報道してゐる

米國政府の輸出助成金はブレトン・ウッズ通貨
會議の決定事項を無効にするものであり、二國
通商協定主義者達はこれによつてますますその
活動を強化しよう、今次戦争の経験から各國は
その相互依存性を十分體得した筈であるのに歐
洲戰が最終の段階に入ると共に世界各國の間に
狹量な國家主義的運動が擡頭し初めたのは遺憾
千萬である

米 大 使

ワイナント歸任

(リスボン十八日發) ロンド
ン來電 駐英米國大使ジョ
ン・ワイナントは約三週間歸

對日戰には

廿七歳まで動員

(リスボン十七日發) ロンド
ン來電 勞働相アーネスト・
ベヴィンは十六日次の通り言

明した

現在徵集年齢の最高は三十五歳であるが歐洲戰
が終了次第對日戰のための徵集年齢は十八歳か
ら二十七歳までと決定されることとならう

航空訓練

計畫縮小

の通り發表した

(リスボン十七日發) ロンド
ン來電 空相アーチボルド・
シンクレアは十七日下院で次
の通り發表した
カナダにおける航空訓練計畫は一九四五年三月
三十一日を限り中止し南阿及び北ローデシアに
おける訓練も同様大幅に制限するが教官並びに
飛行場は戦局の發展に備へて、そのまま維持し
て行く方針である

軍 縮 に

反 對

樂部で要旨次の通り演説した

(リスボン十八日發) シドニ
イ來電 海軍元帥キースは十
八日シドニイのロータリイ俱
楽部で要旨次の通り演説した
わが國は戦争終了後海軍軍縮に關する協定に参
化する積りは無い、寧ろ帝國防衛のためには航
空母艦を含む大艦隊の維持が必要であらう、余
は國際聯合軍の設置案には絶對に反對である、
わが國は他の反樞軸國に依存することなく常に
獨力でその存在を續ける上に最も緊要な帝國間
の交通防衛に當らなければならない

印 度 軍

損 害

(リスボン十七日發) ニュー
デリー來電 印度軍司令官大
將オーヒンレックは十七日行
政參事會において、開戦以來九月三十日までの印
度軍の兵員損害が十三萬一千七百四十九名に達し
た旨發表したが、その内譯次の通り

印度軍兵員損害合計一三一、七四九名

内海軍損害合計一四〇名

空軍損害合計四〇九名

アームストロン

グ社長死去

(リスボン十八日發) ロンド
ン來電 産業界の大御成所ヴ
イカース・アームストロング
會社社長サー・チャールズ・クレイヴンは十八日
死亡した、享年六十、同人は一九四〇年の英國危
機時代に飛行機供給局委員長として國防建設に重
大な役を演じた

【反樞軸陣營】

マロリー行方不明

(ストックホルム十七日發) ロンドン來電に、空軍省は東南アジア反樞軸空軍司令官大將サー・トラフォード・レイ・マロリーが行方不明となつた旨十七日發表した、マロリーは最近歐洲侵攻反樞軸空軍司令から東南アジア反樞軸空軍司令に轉出したもので、行方不明となつた時日、場所や状況その他の詳細はまだ明らかにされてゐないが、マロリーは飛行機が任地に向つたまま目的地に到着すべきはずの十一月十四日に至るも到着せず恐らくカンディへ赴任の途上災厄に遭つたものとみられる。

必死に

搜索

(リスボン十八日發) マロリーの行方は依然杳としてわからず反樞軸軍はマロリー機の墜落箇所と目されるフランス並びに地中海方面で飛行機、船舶を駆使して躍起の搜索を續けてゐる。一説によれば、或ひはドイツ軍長距離戦闘機により撃墜されたのではないかともいはれるが、特に不審な點は護衛戦闘機がマロリー機を離れた瞬間からマロリー機の無線通信がバツタリ杜絶えてしまつたことだ。

米英加辛う

じて妥協

(リスボン十七日發) シカゴ來電にシカゴで開催中の反樞軸國際航空會議では戦後の世界民間航空組織案で米英加三國の提案に重大な食違ひを生じたために會議は暗礁に乘上げ、三國代表は去る十二日以來會談を續けてゐたが十七日に至り三國間に漸く意見の一致をみた旨三國代表部から發表された、三國の妥協案は近く全體會議に付議される筈である。

ルブリン政權

莊園分配を實施

(ストックホルム十七日發) ルブリンのポーランド國民解放委員會は過般左翼色の濃厚な農業土地改革法を發表、最大限百二十五エーカーを限度として大地主の土地を沒收、零細農民に既に配分してゐるが、モスクワ來電によれば同委員會は三百六十五の莊園を接收して農民に分配、目下更に莊園三百四十の分割を實施してゐる旨十

七日發表した

白、共產黨の

官吏を放逐

(リスボン十七日發) ベルギー政權と共產黨勢力との軋轢は勞働、食糧問題を繞つて惡化の一途を辿つてゐるが、ブラツセル來電によればピエロー政權は十七日共產黨員にして政府官吏たることを禁止する法令を發したといはれる。

【重慶】

ネルソン

蔣介石會談

(リスボン十八日發) 重慶來電に米國大統領特使ネルソンは十六日多數の専門委員を従へて再び重慶に到着したが、十七日蔣介石を訪問して第一回の會談を行つた、會談後ネルソンは要旨左の聲明を發表した。

余の使命は重慶が現在有する工業施設をもつて遙かに多くの軍需生産を行はせるにある、われわれはこの使命完遂のため米國における軍需生産の經驗を重慶に適用すると共に米國の技術家連が實際に重慶軍需生産當局者と協力するであらう。

米商業會議所

會頭を招請

(リスボン十七日發) 重慶放送によれば重慶商業會議所聯盟は十六日米國商業會議所會頭エリック・ジョンソンに對し、重慶を訪問するやう要請したといはれる。

林語堂

米國を反駁

(リスボン十六日發) スチルウェル事件に際し米國報道機關は筆を揃へて重慶に對し「非難惡罵恫喝の限りを盡したが、ニューヨーク來電によれば滯米中の林語堂は「ヘラルド・トリビュン」紙に書翰を寄せ次の通り反駁したといはれる。重慶が必要としてゐるのは政治的勸言ではなくて銃器だ、重慶政權が中共への敵對に備へて武器貸與物資を貯藏してゐるといふ米國報道機關の無責任な攻撃は全然虚構である、スチルウェル司令部から多少の數量が重慶に渡つてゐたにせよ、對支武器貸與物資は全くスチルウェルの掌中に握られてゐたのだ、かかる數々の非難をでつち上げたのは米國なのだから、米國はこの非難の根據を自ら實證しなくてはならぬ。

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【東南歐】

洪 政 府

(チューリッヒ十七日發) 當地に達したブタベスト情報に遷都かよれば、ハンガリー政府はブタベスト西方百七十八軒、オーストリア國境附近のソフロンに遷都するに十七日決定したといはれる

洪 政 黨

大 同 團 結

(ベルリン十七日發) ブタベスト來電ハサラシー首相を黨首とするハンガリー政府黨たる矢十字黨は、十八日ハンガリー國民黨並びに東部戰線義勇軍聯盟との共同聲明を發し、「刻下の非常時局に際し國民總力の結集のため特別の決斷が必要とされてゐる」事實に鑑み、兩國體を吸收合併する旨發表した、國民黨は現農相フイデル・パルフィ伯を黨首とし黨員の大部分は過去數年間に矢十字黨から脱退して國民黨に入黨した者である、東部戰線義勇軍聯盟は本年初夏元首相イムレ・デイ氏によつて結成され、ボルシエヴィズムに對する絶對闘争を標榜して來た

ソ 代 表 羅

副首相と會談

(ストツクホルム十七日發) ブカレストからのタス通信の報道によれば、ルーマニアに滞在中のソヴェト外務人民委員部次長ヴィシンスキー氏は十七日ルーマニア副首相グロサアの訪問を受け長時間に亘つて會談を遂げたといはれる

【北 歐】

瑞、佛 に

クレヂツト供與

(ストツクホルム十七日發) スエーデン政府は今回ド・ゴール政權に對して六百萬磅スターリングのクレヂツトを供與し、パルプ、新聞用紙を輸出することとなり、ド・ゴール政權は葡萄酒をもつて支拂の一部に當てることとなつた、因みに輸送は海路による豫定である

瑞、日羅兩國の

利益を代表

(ストツクホルム十八日發) スエーデン政府は日本に對するルーマニアの利益代表國となる旨十八日正式に發表した、同時にスエーデンはルーマニアに對して日本の利益を代表することになる筈である

【亡命政權】

諾 政 權

外 相 歸 英

(ストツクホルム十七日發) 亡命ノルウェー政權外相リハスエーデン、モスクワ訪問の任を果し、十七日ストツクホルムからロンドンに歸任した、なほ法相ウオルドは引續きストツクホルムに滞在してゐる

【ソ 聯】

ド・ゴ ー ル

モスクワ訪問受諾

(モスクワ十八日發) 政府は十八日タス通信社を通じてド・ゴールが政府の招請に應じ、モスクワ訪問を受諾した旨發表した

ニ ッ ケ ル

鑛山を買収

(ストツクホルム十七日發) 「ストツクホルムス・チドニゲン」紙によれば、政府はフィンランドから割譲を受けたベツアモのニツケル鑛山をカナダ國際ニツケル會社から買収したが買収額は二千萬弗であつたといはれる

【イベリア】

西、ド・ゴール

に借款供與

(リスボン十八日發) マドリッド來電によればスペインの諸銀行は在マドリッドのフランス諸銀行と共同出資の下にド・ゴール政權に對し四千六百萬ベセタ(米貨約四百十四萬弗)の借款を供與したといはれる

右金額はド・ゴール政權がスペインから靴、織物、食糧、罐詰類等を購入するため使用されるものとみられる

【北 阿】

エジプト

國 會 解 散

(リスボン十六日發) カイロ來電によればエジプト國王ファルク一世は十六日國會を解散、十二月中に總選舉を施行する旨布告したといはれる

ワイツマシ

カイロに乗り込む

(リスボン十五日發) カイロ來電によればシオニスト運動の指導者ワイツマンは十五日カイロに到着したが、今回の旅行はモイソンの暗殺と犯人の自白に關係があるといはれる

【軍事情報】

米軍の「ジャン

グル・ジープ」

(リスボン十五日發) ワシントン來電「エア・フォース」誌今月號は米國陸軍が最近極めて多性能の新軍用車輛「ジャングル・ジープ」を採用した旨報じ、その性能に關しつぎの通り述べてゐる

これは大型車輛の入れぬ地域で使用するやう特に設計された「ジャングル・ジープ」は玩具の馬車を大きくしたやうに坐席がなく平らな甲板になつてゐる、機關はその下にあり、舵輪に代る廻轉式舵柄にはオートバイ式の手働スロットルと手働ブレーキが裝置され、運轉手は地形に應じて車の前に立つことも後から行くことも上に乗ることも自由自在だ、このジープの甲板には兵員、資材、補給品等八百封度を積載し得る

離陸準備

半時間のB 29

(リスボン十三日發) ウイチタからのUP電報によると、米軍當局はB 29の乗心地を宣傳するために、新聞記者團をB 29に乘せて亞成層圏を飛んでみせた模様で、UP記者はその體驗をつぎの通り報じた

計器でみると外部の氣溫は零下六十七度、氣壓は一方吋三・五で到底人命を維持し得ないほどである、乗組員は一萬呎程度の氣壓、七十度位の氣溫の中で働いてゐる、過壓室は三つに分れ、壓搾空氣は發動機過給機から供給される、非常用酸素マスクは用心のためだ、操縦室に入つてみると素人の眼には世にも複雑な計器盤がある、離陸準備には發動機その他の試験もあつて殆んど半時間を要する「超要塞」機の全備重量は十二萬封度に近い

ジャイロ

スコープ照準器

(リスボン十三日發) ワシントン來電「米國海軍省は米海軍が現在使用してゐる最新式の火砲照準器に關し次の通り發表した

ジャイロスコープ式照準眼鏡と自動的に火砲を目標物に向ける裝定器とは米國艦艇をして敵機が上空から攻撃可能範圍までくる前にこれを打落すことを可能ならしめた、本來この照準器は

二〇耗連射砲用として製作されたのだが、現在では敵攻撃に對する四〇耗或ひはそれ以上の口径と射距離を有する火砲にも使用されるやうに改良された、これには計算なしで直ちに數門の砲を目標物に對し裝定し得る裝定器が附せられてゐる、新照準器は既に大量生産に入り、艦艇のみならず航空機にも裝備されてゐる

米で大型輸

送機建造

(リスボン十五日發) シャトル來電「ボーイング航空機會社支配人エグゼットは十五日

次の通り發表した

現在わが社ではB 29の型をとつた大型輸送機の研究に當つてゐるが、これは收容旅客人員百名上下二階に分れ、最高時速四百哩、巡航時航續距離三千五百哩といふ巨大なものだ

英海軍の

新銳機

(リスボン十六日發) 十一月三日付「タイムズ」紙は次の通り報じてゐる

今度祕密兵器の列から除かれたフェアリー「フアイアフライ」戦闘機は海軍専用機では一番良い今までドイツの目標物を攻撃して大成果を収めてゐるが、歐洲戰終了後には勿論日本に對して重要な役割を演じよう、これは空の甲板から飛ぶやうに設計されてゐる、そのため折疊翼降着捕捉裝置その他陸上基地戰機には不要な裝置を相當もたなければならぬが、設計並びに製作の優秀を誇るフェアリー航空機會社は長い航續距離と素晴らしい上昇率並びに水平飛行速度を同機に與へ、爆撃機や雷撃機の護衛のみでなく自力だけでも敵目標物に甚大な損害を與へ得るやうにした「フアイアフライ」は低翼單葉の單發機で乗員は操縦士と觀測航空士各一名、翼幅は四十四呎六吋、全長三十七呎、高さは十三呎七吋あり、發動機はロールスロイス・グリフォンである、武裝は兩翼各二門計四門の二〇耗機關砲で、カメラの裝備もある、プロペラは三翅で、引込式降着輪や、せまい甲板での離着を助ける獨特の下げ翼はロッキード式油壓裝置によつて作動される、この下げ翼は下面の原位置から全部張り出すことも可能で、離着或ひは巡航にそれぞれの位置をとる、下げ翼の設計は「ブラクーダ」雷撃機と大たい同様だが、これは不要の時々は忽ち翼下面に引き込まれるのである

特輯

三都巴后諍

―フランスを挟む外交戦―

井上 勇

ド・ゴールは十月二十五日パリにゐる外國人記者團百餘名と臨時政府承認以來の初會見を行ひ種質問に答へてゐるが、いまその要領を摘記すれば次の如くである、外交問題と直接關係のない問題も含まれてゐるがそれも記録のために付記しておかう

一、戦後のドイツ處理案については、フランスの同意なくして、この問題の討議は有り得ないと考へる、占領條件の問題にしても、フランスの援助なくしては決定し得ない、しかし、いままでのところ反樞軸國側から本件について相談を受けたことはない(これは十一月十一日休戦記念日、英首相がパリ訪問の手土産として、米・ソも共にフランスを歐洲諮問委員會に招請したことによつて、ド・ゴールの希望は達成され、ロンドン駐劄大使ルネ・マシグリが英のマーフィー、米のマクミラン、ソ聯のヴァシンスキーと椅子を並べることになつた)

一、西歐洲ブロック結成説については、フランス政府は「ブロック」などといふ言葉を口にだしたこともなく、歐洲の他の部分を除外して「ブロック」を作らうなどと考へてもゐない、歐洲はどこまでも一つの單位であるべきだと考へてゐる、しかし地理的條件は度外視できないことであり、オランダ、ベルギーはフランスにとつては英國と同様政治的經濟的に極めて近い隣國であるこれらの諸國との相互關係を適當に組織したいとフランスが希望するのは當然であらう

一、ライン、ルールの地方はパリからみればフランス侵略のための跳躍臺としかみえないが、ライン河畔に立つて望めばこの地方は東西歐洲の連絡路だ、經濟的にみればルール地方は戦争の兵器庫であり人類の進歩に寄與し得る經濟富源の中心地だ、これらの要素を綜合して考へるとこの地方に對するフランス人の感情は自得でき

るだらう、この地域に獨立國の建設をフランスが希望してゐるかどうか等は言明の限りでない

一、シリア、レバノンの問題は、フランス政府はその獨立維持について固い決意を有してゐるとのみにつておかう

一、佛領印度支那にはできるだけ早い時期に遠征軍を派遣するつもりだ、主として植民地軍を派遣するつもりだが、義勇志願兵も無論参加させる、その募集には別に困難は感じないと思ふ

一、世間では國內軍の問題を騒いでゐるが、そんな六ヶ敷い問題ではない、國內軍内の青年たちはここ五、六ヶ月のうちに全部正規軍に合流することにならう、南佛、南西佛地方で秩序が紊

亂し國內軍が非合法な活動をしてゐるとの噂については知つてゐるが、國內軍はから手でマキ團に参加したもので、時に徴發などもやつたことは想像出来る、かうした習慣は仲々に脱け切れないもので次第に事態は改善するだらうが當分治安維持についての政府の困難は續くだらう

一、正規軍の裝備は、國內の武器製造力の擴充強化が至難なので、反樞軸國側から供給して貰ひ度いが、第一に港灣の修理が出来なくては荷揚げも出来ない、十分な武器がなくてはフランスの戦争努力も完全には行きかねる、ノルマンデーの上陸作戰以來、フランスは一部隊を裝備するだけの武器すら反樞軸國から貰つてゐない、今後のドイツ國內への侵入戦は長期且つ困難であり、損害も重大であることを覺悟せねばならぬが、フランスがこの戦争にどの程度まで寄與し得るかは供給される武器の量による

一、ドイツ占領下のフランスは想像してゐる以上に遙かに恵まれた條件下にあつたといひ得る特に農業方面は占領によりて殆んど損害を被つてゐなかつた、工業方面は原料、燃料、動力の不足と交通の破壊で再建は極めて困難なる事情にある

一、フランスの將來の政治形式については、何處までも民主制を維持して行く固い決意を有してをり、獨裁制などは考へてゐない

ビドオ外交の基調

ド・ゴールの聲明はその反映を再び十一月十二日外相シャルル・ビドオが「タイムズ」記者に與へた會見記の中に見出し得るその要旨はかうだ

一、フランスはドイツ人のミノリティーを國境内に持つことを欲しない、フランスはライシランドの將來の支配の問題に重大な關心を有してゐる國際監理といふ話もあるやうであるが、もし、さういふことになるのであれば、フランスには特權的地位が與へられなくてはならない、直接接壤國だからだ、英國、米國は手を引き度いといひ出す日があるかも知れないが、フランスはどこまでも踏止まるであらう、そのためにもフランスはドイツ處理問題に全面的に參與する必要がある

一、ドイツを農業國に變へるといふことは最善の案とは思へないが、その工業と特に大學研究室は「無期限に」聯合國の監督下におかなくてはならぬ

一、フランスは東西歐洲間の橋として重大な役割を過去演じて來た、チエコスロヴァキアとの密接な協力はフランスの東歐外交政策の重要な部分を構成する、西歐洲の聯合はフランス外交政策の一部分にすぎない、西歐洲諸國間の同盟は軍事的と經濟的の二種ある、西歐洲諸國と英佛との間に集團的軍事防衛協定を結ぶことに異論が有り得ようはすはない

一、ドイツとの平和は復讐の平和であつてはならない、正しく且つ人間的な平和でなくてはならぬドイツに對して效果的な安全保障制度を確立することは復讐を目的とするものではない、ただフランスがドイツの隣國であり兩國は隣國として共に生きて行かねばならぬからである、ドイツは長年にわたつて監督しなくてはならないであらうが、ドイツの地位を人爲的に變化させるなどには賛成し難い

一、ドイツは何れ自由な國家群の内に復歸する時があると思ふが、それはあくまで國際安全保障制度の枠内においてのみ可能である

ド・ゴールもビドオも直接言及してはゐないが「歐洲は一つの單位であるべきだ」との考へ方、「フランスは東西歐洲間の橋として重大な役割を演じた、西歐聯合はフランス外交の一部分にすぎない」等の見方が暗示するものは、ソ聯の姿であることが直ちにうなづかれる「ビドオ外交がフラ

ンス左翼外交の正統派を繼承して親ソ政策に傾きつつある」とは、上記の會見記の結論として早速「タイムズ」記者が付記せざるを得なかつたところだ

パリ會談と米英ソ

イーデンの目論む西歐聯合が、ソ聯を眼の仇とするものか否かは、ホワイット・ホルの祕庫をのぞき込まない限り他人の窺知を許さぬが、ソ聯を含めて、英國以外の外交筋が、ソ聯勢力の西歐進出にそなへての防疫體制であると解釋しようとしてゐるのもこれまた事實である、チャーチル、イーデンが十三日パリ訪問を終つてロンドンに引揚げるや否や、スターリン議長がド・ゴールにモスクワ訪問方を慫慂したのも話の筋は通りすぎるほど通つてゐる

UPパリ電は十六日、スターリンがド・ゴールをモスクワに招待するにいたつたことは、休戦記念日にチャーチルをパリに引出し得たことと共にド・ゴールの個人的外交勝利であるといつてゐるが「個人的勝利」とは考へ方によつては極めて皮肉で、そこから結論されるものが直ちに米、英、ソ、佛四國の濃かなること蜜の如き協力によつて「ドイツの周圍に鐵環を張りめぐらす」ことになるかどうかは疑問といはざるを得ない

大體、パリ會談で英佛間に如何なる問題が議せられたか、これを新聞記者流に凡ゆる懸案の項目を悉くならべ立てて、百發も射ては一發位は的に當らう程度の推測をするのは容易であるが、事實どんな話があり、またはなかつたかはまるつきり動つてゐない、「ニューヨーク・タイムズ」は十五日付紙上で大要次の如く述べてゐる

チャーチル、ド・ゴール會見の内容についての情報は尙曖昧である、假令、何等かの協定に達したとしても、それは豫備的なものたらざるを得ず、米國及びソ聯を含めて、反樞軸諸國の同意を経なくてはならない、それはそれとして、英佛間に協定が成立することは、必然的に全反樞軸の團結の上に千鈞の重みを加へるものである、從來、兩國の意圖するところとして傳へられてゐる諸情報は、十分明確に、新歐洲の試案的輪廓が如何なるものであるかを暗示するに足

同盟通信

(第三種郵便物認可)

最近において特に浮彫りされた、歓迎すべく且つ、勇氣付けられる二つの現象がある、その一はフランスが急速に、歐洲および世界大國としての正當な地位を回復しつつあること、第二は戦後の世界においてフランスと英國とが緊密且つ永續的な協力の見透しがつき始めたこと、これである、今回の戦争の悲劇的教訓の後英國とフランスが今後再び轉落することがないやうにと強く希望せざるを得ない

事態の發展を概観するに、英佛、白蘭、それにおそらくは丁諾瑞三國を加へての地域的集團安全保障ブロックの形成に向つて進んでゐるやうだ、かかるブロックは平和維持のための全般的的世界組織に包含さるべきものであり、純粹に防禦的ブロックである限り、これに反對する理由はない、かかるブロックは、事實容易に、相互防衛のためばかりでなく、同時に全體の利益のための政治的經濟的協力を目的とする歐洲の新組織の中核たり得るからである

「タイムズ」が純理論を提げて、パリ會談の成果が米ソ兩國の同意を経るべきものであるとしてゐるのは、米國としては極めて尤もな申分であるがその尤もなことを一應口に出してはいはねばならない感情は、必ずしも穩かとのみはいひ切れないのではない、外交には素人であるド・ゴールとカトリック的正義派臭味を脱却してゐない、一介の外交評論家のビドオ外相が、歐洲的または世界的規模における戦後安全保障體制の埒内における西歐聯合などと、表看板に氣をとられてゐる間にも現實主義のソ聯は、一應、大義名分論に調子を合せて一步一步着實に、全歐洲的機構などでもつてしてはどうにもなりさうにない布陣を東、中歐はおろか、ド・ゴールの懷の中にまでも張りつつある、これにたいして、山千海千の英國もまた、西歐聯合が、單なる歐洲組織の一部に止まる程度では満足出來ず、これに爪と牙とを興へるために計畫するところがあるであらう、フランスのマリアヌスは、このところ身體は一つに婿八人で、その八方美人ぶりを海のかなたからサムの伯父さんがやきもきしてゐる圖はないといふところか

何が議せられたか

話を元に戻して、では一體チャーチル、ド・ゴール會見で何が議せられたか、ドイツの外務省筋では兩者の會見では協定といひ得るやうな何も出來なかつたらうといふ見方で、勿論西歐聯合案などは、パリでは勿論、チャーチルのモスクワ訪問の節にも話題にはなつてゐないといふ觀測をしてゐる、ただ、ド・ゴールのモスクワ行きについてはウイルヘルムシュトラッセも滿更でない興味をみせて

この話の経緯は政治的にみて極めて興味があるド・ゴールにたいするスターリンの招待が、チャーチルのパリ訪問の直後なされたといふことは、スターリンが西歐聯合の話に並々ならぬ興味をもつてゐる證據だ、同時に「ニューヨークタイムズ」が西歐聯合にたいして寧ろ、非同情的とも評し得る解釋をしてゐるのは面白いといつてゐる

スイス方面がロンドン情報として十一月十六日報じてゐるのを紹介すれば

チャーチルのフランスにたいする愛情は疑問の餘地はないが、ド・ゴールにたいする態度については時に疑問の節があつた、しかし、今回の訪問でチャーチルもド・ゴールも共に古い友情同盟を再確認し、從來兩者の間に面倒を引起した意見の相違を過去として葬つた、ロンドンでは、チャーチルはフランス軍に武器及び資材を供給することについて實質的な確約をド・ゴールに與へたものと信じてゐる、かう信じ得る理由の第一は、フランス海岸を始め、各地には今なほドイツの陣地、軍隊が嚴存し、フランス軍はこれと同等な武器を持つて初めて彼等と戦ひ得る、第二にヴォージュ方面フランス軍は強化して、ドイツ占領作戰に参加させねばならないからだ、米・英側ではルール、ライン地域を國際監理の下におくべし、ドイツの産業を長期に亘つて直接間接反樞軸國の監督下におくべしといふフランスの提案に深甚な考慮を拂つてゐるビドオ外相の最近の聲明は戦後のドイツ處理についての佛・ソの見解が果して調和し得るか否かに疑問を持たしめるに至つた

といふのであるが、チャーチル、ド・ゴールの會談がフランス軍の再武装問題に止めをさしたといふ以外、話は雲を掴むに異ならず、特に最後の一節は佛ソ共同の見解が、他の聯合國の見解と調和しないのか、佛ソ兩國の見解が、兩國の間のみで調和しないのか用語曖昧を缺くが、いまは前者の見解を探るのを本記の筆者は便宜とする、話のついでに「スヴェンスカ・ダグブラデット」がつたへるスイス電なるものを附記しておくが、モデルは同じで畫家が異つたといふだけの觀はあるが

ド・ゴールはチャーチルにたいして、最近の期間内に米英は、少くとも二十個師を裝備するに足る武器をフランスに供與すべしとの要求を提出した、チャーチルはこれにたいして、英國に歸國後、當該官憲と合議の上、本問題を速急審議する確約を與へたといはれる、ド・ゴールは陸軍當局と合議の上フランス國軍再建六ヶ月計畫なるものを立案し、それによれば、向ふ四ヶ月間に約五十萬の兵力を第一線に動員し得る見込みである、しかし、そのためには反樞軸國からの戰爭資料の供與が先決條件であるとチャーチルに報告した、同時に彼はフランス軍は、ドイツの特定地域の占領には是非參加すべきものだとの見解を披瀝し、チャーチルもそれに同意したと解される、戦後の政治問題については何等の發表もないが、本件については英佛間に意見の相違があるのは衆知の通りである、しかしその意見相違は傳へられるほど大きなものではない、フランス側では來るべきルーズヴェルトチャーチル、スターリン會談には、ド・ゴールも當然參加すべきものと諒解してゐる

ド・ゴール、蘇都訪問の意義

チャーチル、ド・ゴールの會談がフランスへの武器供與とか、また傳へられるがごとく、スペイン國境事件の善後策に上つてゐたと解される限りにおいては、何も騒ぎ立てるにも當らないが、その後にスターリンのド・ゴール招待が踵を接した上に、西歐聯合案といふ遠大な計畫を英國が有してゐたため、問題はこの訪問を契機として俄然八

封屋の好題目になつた、十一月十六日のベルリン「アウンラング・インフォルマチオンズ・デイ・インスト」は、そこで、かう書いてゐる

チャーチル、イーデンのバリ行の目的はド・ゴールのフランスを英國式歐洲組織の中に抱込むためだつた、一方スターリンがド・ゴールをモスクワに招待したのは、フランスをソ聯式歐洲組織の中に抱込むためである、その何れも、フランスの將來を保障すべき唯一の聯合方式——獨佛協力からフランスを分離することであることは明白だ、スターリンがド・ゴールと議すべき第二の問題はフランス共產黨の問題であることは疑ふ餘地がない、ソ聯がフランス共產黨に無條件的支持を與へるだらうといふのは今のところ行過ぎである、ソ聯政府は今まで、一再ならず、政府が必要と認める場合は、外國における共產黨を、一時的に犠牲にした事例に乏しくない、ド・ゴール現在の地位はモスクワの外交政策の走狗となるか、または國內政治的に、モスクワ支配下のフランス共產黨の虜囚となるか二者の内一を選ぶ以外にない、傳へられるルーズヴェルト、チャーチル、スターリンの三者會談を前夜にして、ド・ゴールが如何なる路を選び歩むかは興味なしとしない、東西の兩横綱が如何にド・ゴールをあやつつて行くかは、將來の反樞軸國の關係がどんなものかを種々示唆するだらう

そこで先づ「イズヴェスチヤ」が露拂ひをうけたまはつて、英國に物申してゐる

英國案の西歐ブロックについては色々意見の相違が起き得ると思ふが、フランスが率先して、フランスは西方にのみ眼を向けてゐるわけにはゆかない、東方をもまた眺めねばならぬ、ソ聯との協力はフランスにとつては至上命令的であると警告を發したのは、實にその眞意を十分に汲み得るところだ、西歐聯合が一つにソ聯を目標とするものであるとか、または戦前の情勢を再現する誤つた企てであるとかの見解には十分合理性がある

これに對して英國が如何に答へるかは明日の課題である

資料

米國軍需勞働者復員問題

「ウォールストリート・ジャーナル」紙

九月三日號

「高位安定」時代

戰時人的資源委員會は軍需産業に従事する勞働者の一部復員を行ふため、目下着々準備を進めてゐる、全國的な人的資源問題である勞働者の復員は既に不規則な狀態で開始されてゐたが、今後更に迅速な發展をみるであらう、政府當局者は現在の就業狀況を表現して「高位安定」時代と稱してゐるが、之は一般に勞働者の需要が一定の水準に到達し、しかも根本的には既に需要が控へ目になつてゐることを示してゐる、軍需産業に従事する者は以前からこの時代が始まつたことを感知してゐた、例へば、或る工場では軍需生産注文が取消されたため男女従業員は失業の憂き目に遭つた、同様の事態は數週間前から既に處々の小工場で繰返されてゐるが大規模なところではなんといつてもブルースター航空機製造會社が數日前突然飛行機製作の注文停止を受けたことをもつて嚆矢とする、その他にも大規模な注文の削減或ひは注文停止が正確な時日こそ不明であるが近々中に行はれるであらうことはたしかとみてよからう、かかる軍需生産の轉換によつて發生する勞働者の復員問題を勞働者と雇主の何れの側にとつてもできる限り苦痛のないやうに解決する、これが戰時人的資源委員會の仕事である、同委員會首腦はこの復員問題解決のためには戰時生産局その他政府の復員機關を打つて一丸とする緊密な協力機關が絶対に必要であると信じて疑はず、軍需産業から民需産業への秩序ある轉換立案の責任の一部を軍需生産機關並びに戰時生産局に課さうとしてゐる

勞働力統制の必要性

しかしながら勞働者を重要軍需産業に就業させ

る仕事は決して終つたわけではない、戰時人的資源委員會は今後とも勞働力の統制がますます必要とされるだらうと信じてをり同委員長マクナットは「歐洲戰が終了して多數の勞働者が戰爭は勝つたものと思ひ込み、我がちに「安全な」平和産業に殺到する時にこそ人的資源統制のための有効適切な手段が最も必要となるだらう」と述べてゐる更に委員會は、現在の勞働力の轉換を阻止し、戰爭遂行上最も緊要な産業に利用し得る全男子勞働力にたいする優先權を與へるため、從來の地域的な「統制選擇」雇傭計畫を改めて「優先選擇」雇傭計畫の名稱の下に全國的な組織を樹立する旨、九月二日發表した、同委員會首腦は各工業地域内において新規制を設定しなければならないと主張してゐるが、これは即ち全國的に畫一的な統計に頼ることはもはや無意味であり、各地の實情に即した措置が要望されてゐるからである、從來勞働力の豊富な地域においても次第にその不足が現はれ、元來不足な地域ではますます重大局面に至らうとしてゐる、或る處では勞働力過剰の爲に失業問題すら發生してゐるといふのに他方では人的資源の涸渇は愈々深刻化しつつある、戰時人的資源委員會はこれに鑑み、最近、農業以外の仕事を求める勞働者にたいし「自由意志」に基づく全國的統制を行ふといふ措置をとるに至つた、同委員會は多數の勞働者が軍需産業から平和産業へと再轉業して行く現在の「高位安定」時代を戰爭開始以來實施されて來た人的資源調整の第三段階であるとみてゐるが、人的資源調整の各段階を列舉すればつぎの通りである

第一期―勞働力總動員時代

一九四二年四月から一九四三年四月までの一年間で生産信號は全部門に亘つて「青」であり生産目標には際限なく國內は戰爭の興奮に渦巻いてゐた

第二期―熟練勞働者動員時代

一九四三年の五月から同年十二月までの間では

軍需生産努力は依然として全速力で續けられてゐたが、人的資源の餘力は既に涸渇し、陸軍が重要産業に従事する労働者を軍隊に召集しはじめた

第三期―現在の軍需生産高最高位時代

軍需産業の或る部門においては既に「赤」信號が發せられた、全般的に見て生産高には多少の減少がみられ、前線の軍需品要求變更のため、急に生産の手控へが必要とされるに至つてゐる陸軍の兵員は既に十分であり、海軍も遠からず兵員補充を完了するとみられてをり、兵員の再配置が問題となつてゐる

復員時代の豫想

政府當局は、次に來るべき全軍需生産業従業員の復員時代が如何なる様相を呈するかについては「推量と賭勝負」に待つばかりではないと認めてゐるが、軍需産業の一部復員は對獨戰の終結まで繼續され、日本の敗北を待つて始めて完成されるものとみられてゐる、更にその後の豫想に關しては、委員會の掲げる多くの重要な約束を基礎としなければならぬが、副委員長アプレイが最近起草した覺書によれば、要點は次の通りである

歐洲戰の終結と同時に軍需生産計畫は三十五%から五十%の削減をみるだらう、組立品の製作よりも寧ろ部分品生産に主力が注がれることとなり一部復員が實施されよう、戰後において完全な復員が行はれるか否かは平和の到來を待つて始めて決定されるが、今次大戰前の軍需生産低調狀態に復歸するやうなことは恐らくないだらうと思はれる、軍隊の復員も右と同様で、日本の敗北の後にも戰前と同程度の兵力に戻るだらうとは思はれない、軍需産業従業員の民需産業への復歸と將兵の市民生活への復歸は同じ意味を持つ言葉であり、人的資源の再轉換期にをいて同一問題として取扱ふことが出来る、しかしこの再轉換は戰時動員よりも一層重要な問題で、より大なる難局が豫想される非常に困難な仕事である、本委員會の戰後對

策の全般を支配する信念は何かといふに、人的資源問題解決といふ難事は、自由意志に基づいて發展採擇された計畫に従つて實施された時に始めて完成されるといふ點にある、故に委員會は國民徵用法の制定に反對態度を表明し續けて來たのであるし、委員會の採擇した優先選擇雇傭計畫も「働くか或ひは戰爭せよ」との原理に基づいて制定される法律條項にはなんら關係なく自由な立場において設定されたのである

米國造船工の不足

「ジャーナル・オブ・コマース」

八月二十九日號

海事委員會當局の言明によれば、米國造船業は昨年十一月以來約五萬名の労働者を喪失してをり直ちに補充の方法を講じなければ、明年あるひは本年下半期の造船計畫に重大な支障を來すかも知れぬさうだ、一九四二年一月一日から一九四四年一月七日までの期間に米國造船業は約三千五百九十五萬五千總量トン、約三千五百六隻を建造した本年四月三十日現在の米國造船業の労働者数は約六十二萬五千名であつたが、この數は急速に減少をみてをり、直ちに何らかの措置を執らねば重大な労働力不足が起りさうな形勢だ

確かな筋の報道によると、造船業の労働者減少の主たる理由は軍隊の徵募であるが、更に小金を貯めた労働者が郷里に歸つて自分の商賣を初める傾向もみられる、海事委員會では明年の造船計畫は船舶の隻數では本年程多くないが、總量トン合計は本年と同じ位だといふ點を強調してゐる、のみならず、約束の造船計畫は當面の作戰の要求する特殊船舶の建造を中心とするから、労働力不足がなほ更重大な問題となるのだ、すなはち新しく設計される船の建造には高度の熟練技術と、労働時期の延長が必要なのだ、海事委員會の百六十隻建造計畫も十分な數だけ熟練労働者を獲得しなければ重大齟齬を來すであらう

昭和十九年十一月廿二日(水)
第三二四八號

同盟通信

海外電報

(268)

【目次】

- 重慶政權邊に改組……………二七九八
- 宣傳部長に王世杰……………
- 改組は危機處理に不充分……………
- ソ紙、西、亞、瑞を攻撃……………二七九九
- 反樞軸商業會議終る……………
- ボリヴィアで叛亂……………
- V二號攻撃續く……………
- プロペラ時代去る……………
- 英婦人部隊印度到着……………
- レイテ島米軍の死傷……………
- 羅休戰條件委員長辭職……………
- 【米 洲】……………
- アイゼンハワー國民へ懇ふ……………二八〇〇
- 軍隊を軍需生産に轉用……………
- 紐育もV二號の射程内……………二八〇一
- 國民の對ソ恐怖増大……………
- 重慶駐劄大使にハレー最有力……………
- 勃、羅駐劄公使を任命……………
- 【友樞軸陣營】……………
- 國際商業會議金本位制を支持……………
- 【英 帝 國】……………
- 流星彈海上發射の意義……………二八〇二
- 【歐 洲】……………
- ド・ゴール政權人事……………
- 佛藏相死去……………
- 羅政權親獨分子狩に拍車……………
- ス丁通商協定延長……………
- 芬、對ソ機械引渡しを開始……………
- 【ソ 聯】……………
- 駐埃及公使更迭……………
- 電氣工業人民委員部次長死亡……………
- 【ド イ ツ】……………二八〇三
- 海軍活躍の時至らん……………
- 【西 亞】……………
- ル聲明の撤回を要求……………二八〇四
- 【東 亞】……………
- ウエデマイヤー喰止め作戦を建言……………
- 重慶法幣の闇相場大暴落……………
- シリア、レバノンを承認……………
- 印緬支を結ぶ送油管を建設……………
- 重慶へ新型トラック積出を開始……………
- 【軍事情報】……………
- 航空發動機を戦車に……………
- 【特 輯】……………
- スチルウエル召還問題の全貌(下)……………二八〇五—一三



亞共榮圈の構想に叩頭
したといつていい、し
かし局地的な集團とし
て、米英佛加四國を中
心とする大西洋集團
(Atlantic Communi
ty) やロシヤ圈 (Rus
sian Orbit) を持ち出し、大西洋集團が濠
洲ニュージランドから比島まで含んでゐると
いふに至つては、英國人にとつては單に牽強
付會といつて済まされまい、更に世界將來の
平和は大西洋集團とロシヤ圈との合作に依存
すると稱し、協調の前提として矢筈しく民主
主義の實踐をソヴェト政府に要求してゐる、
リツプマンの希望の解釋によればソヴェト外
交は全體主義から民主主義に轉向したが、内
政上ではいへゆるスターリン憲法に保障され
た自由民權をロシヤ人はまだ享受してゐない
勿論自由民主主義では現代の強力戦は遂行出
來ぬから「戒嚴令政治」も已むを得ないが、
戦争が済んだらスターリン憲法を實施して、
内外ともに民主主義を推進して欲しいといふ
のだ、内政を論するまでもなく、ソヴェト政
府最近の外交施策は早くもリツプマン等の夢
を破つて了つたに違ひない

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ソ紙、西、亞、瑞を攻撃

(モスクワ二十日發) ソヴェト共產黨機關紙ブラウダは二十日要旨左の論文を掲げた

スペイン、アルゼンチン、スイス三國はナチの亡命者をかくまひ、ナチ資金を受入れてゐる、これら諸國のうちには既にれつきとしたナチ黨員が多數入りこんでゐる、中立國、就中右三國の指導階級は直接ヒトラーの陰謀を支持してをり、ナチの戦争犯罪者を救助せんとしてゐるのだ

反樞軸商業會議終る

(リスボン二十日發) ニューヨーク來電に去る二十日からニューヨークの郊外ライ市で

開催中だつた反樞軸國際商業會議は十八日をもつて閉會した、會議は米國民間の經濟團體の主催で參加五十二ヶ國の代表はいづれも民間代表であり、會議の決定事項は何等各國政府を束縛しないが、會議が採擇した主な報告次の通り

一、日獨兩國の海運制限に關する報告

一、金本位復活に關する報告

一、國際カルテルに關する報告

一、自由通商政策を支持し國際貿易に政府の關與を排斥した報告

ボリヴィア

で叛亂

(リスボン二十日發) モンテヴイデオ來電によればキルベルト・ヴィラロエルを大統領とするボリヴィア現政權を顛覆しようとする反政府分子は國內の數州特にオルロ州において武装蜂起を起すに至つたといはれる、叛亂軍の首腦は前大統領エンリケ・ペニヤランダの支持者であるオヴイディオ・キロ兩將軍といはれ事態の急に驚いたボリヴィア政府は直ちに國內全土に戒嚴令を布き叛亂抑壓に努めてをり、更に別電によれば叛亂軍の首腦は既に逮捕されたとも傳へられる

V二號

攻撃續く

(ベルリン二十日發) 總統大本營二十日公表にドイツ軍は大ロンドン地區及びアントワープ地區に對し晝夜の別なくV一號及びV二號の砲火を浴せた

プロペラ

時代去る

(リスボン二十日發) ロンドンからのロイター電報によれば「ニューズ・クロニクル」紙航空記者は英國の噴射推進式戦闘機に關し二十日附紙上で次の通り論じてゐるといはれる

噴射推進式戦闘機は大成だつた、今後プロペラ推進の航空機など全然設計されないだらうとさへ思はれる位だ、「スピットファイア」「ハリケーン」「テンペスト」等英國空軍の現に使用してゐるプロペラ推進戦闘機はこの種の航空機として最後のものとなり、將來プロペラは完全に姿を消すことになるかもしれない、反樞軸空軍首腦部では普通の航空機が既に速度の限界に達しこれ以上の性能は發動機の發達にまたなければならぬと考へてゐる、ドイツ軍は逸早く噴射式航空機の可能性を察したが、日本軍は現在この種の航空機を一つも持つてゐないと信ぜられる

英婦人部隊

印度到着

(リスボン十九日發) ニューデリー來電によれば英國空軍婦人補助隊の有力士官部隊は東南アジア軍に配置されるため十九日印度に到着したと傳へられる、右部隊は完全な裝備を有する熟練した技術員からなり對日戰に直接參加する豫定である

レイテ島

米軍の死傷

(リスボン十九日發) マツカ1サー司令部は十九日レイテ島の作戰開始以來の米軍の損害を次の如く發表した

戰死

一一四三名

行方不明

一二六名

戰傷

四四三二名

計

五七〇一名

羅休戰條件

委員長辭職

(ストックホルム二十日發) ソフィア來電にルーマニア休戰條件履行委員長クリスツは二十日辭職した、後任には外務次官ラドレスコが任命される筈である

アイゼンハワー國民へ慰ふ

(リスボン十九日發) パリ來電Ⅱアイゼンハワーは十九日夜ラジオを通じて西部戦線における消耗戦の真相を明らかにすると同時に戦勝を得る鍵が生産戦にある點を指摘、米國民に對し左の如く一層の増産を要請した

六月六日以来反樞軸軍の將兵は歐洲において素晴らしい勝利をおさめ、大なるドイツ軍の將兵を掃蕩した、しかし七月末のノルマンディにおける大突破においてもまた反樞軸軍の將兵をドイツ國境まで到達せしめた追撃戦においても戦闘の方法は常に同一であつた、即ち突然の破壊的空襲に續いて猛烈な砲撃を行ひ、次いで敵の防禦陣地を破り都市を占領するため歩兵と戦車の波が前進し更に再び急進撃を續けるといふのがそれである

反樞軸軍の將兵は間斷なく前進を行つた末フランス、ベルギー、ルクセンブルグを解放するに至つたが、この業績は多量の爆弾彈藥を消費することによつてのみ可能であつた、フランス侵攻に先立ちわれわれが英本國に蓄積した大なるストックは晝となく夜となく前線へ流れて行つた、もしわれわれが壓倒的勝利でなく遅々たる進撃に満足するか乃至は物量を節約するため將兵の犠牲をも顧慮しないといふ態度をとつてゐたならば、われわれが現在發射してゐる彈藥は來年の二月乃至三月までには使用し切れないであらう、しかるに今や、われわれはドイツ要塞を取り巻く巨大な装甲に對して打撃を加へてゐるのである、雨、霧、雪、泥濘といふ惡條件は空軍の使用だけでなく戦車あるひは歩兵の運用をさへ困難ならしめてゐる、従つて現在われわれは從來にもまして彈藥を必要とする、アーヘン占領に際して米第一軍は二週間に百五耗砲の彈藥三十萬發を使用した、それがさへも彈藥の不足によりアーヘンの陥落は遅れたのである、目下ドイツ軍の防禦陣地に對して毎分五千發

の彈丸が發射され、毎月ドイツ軍の塹壕、堡壘、特火點に對し反樞軸軍の砲兵隊は六百萬發の彈丸をうち込み、一方反樞軸軍の火砲は二百萬發を發射してゐる、實際消費量は本國からわれわれがうけてつてゐるものより多い、余はこれまで米國が戰場に送つた最大の戦闘部隊に屬する將兵の一人々々に對しても彈藥、信號用兵器、冬季用衣服、工兵資材、重要醫療器具として彈藥の生産を増加するやう諸君に勸告すべき義務がある

軍隊を軍需

生産に轉用

(リスボン十八日發) ワシントン來電Ⅱ陸軍省は十八日次の通り發表した

陸軍は兵員一千名を除隊せしめこれを軍需産業方面に振り向けて重砲彈、戦車、軍用トラックの生産に當らせることになつた、現下の歐洲並びに太平洋戦域における米軍の攻勢の急速な發展はこれらの兵器の増産如何にかかつてゐるからであるこの除隊は志願制度により年齢三十歳以上の軍需労働に經驗を有する者に限られ、歩兵部隊並びに海外派遣が決定してゐる部隊の兵員は除外されるしかしてこれらの兵員は労働力状況が好轉した場合には軍隊に復歸することになつてゐる

ニューヨークも

V二號の射程内

(リスボン十八日發) ロンドン來電Ⅱニューヨーク・オリーンズの「タイムズ・ピカニン」紙社長ラルフ・ニコルソンは歐洲戦線の視察を終へて十八日ロンドンに歸還したが、次の通り述べた

ドイツ軍の成層圏ロケット砲彈V二號は今やニューヨークをもその射程圏内に収めたかも知らず、若し反樞軸軍が前線にドイツ軍に對する強壓を緩めドイツ軍に發射基地を準備する豫裕を與へるならば、そのためニューヨーク市が砲撃されることも十分考へられる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ドイツ國民は極めて發明の才に富み、突拍子もないことを考へる國民で、勝手にさせておいたらどこまでV二號を改良して行くか分らない、即ち今に何か恐るべき新兵器を發明し、現在のロケット砲彈が花火のやうなつまらぬものと化し去ることも有り得る

今後二度と世界戦争が勃發しないやうにするには今の大戰を飽くまで假借なく遂行する外に方法はない

國民の對ソ 恐怖増大

(リスボン十七日發) ソ波紛争及びイラン油田問題を繞つてソ聯と米英兩國間の相刺が表面化してゐるが、重慶中央社ニューヨーク特派員は米國民の間には最近ソ聯の出方に對する恐怖の念が増大してゐると次の通り報じてゐる

ソ聯承認十一周年記念に當り「ニューヨーク・タイムズ」紙は社説でソ聯の對獨抗戰を賞揚し將來における米ソ兩國協調の重要性を強調したが、更にソ聯の對外政策に對する懸念を表明し

ソ聯はモスクワ宣言に基づく集團安全保障制度を採用すべきか、或ひは當事者國間の國境調整乃至は緩衝國家群の設置による「個別的安全保障制度」を採用すべきか未だに態度を決定してゐないやうに見える

と論じてゐる、歐洲及びイランにおける最近の事態の發展の結果言論界の一部では、いままでよりも一層露骨にソ聯に對する危惧を表明するやうになつた、一般的にいへば國民の對ソ恐怖は次の三點に要約される、即ち

一、ソ聯が歐洲の支配を欲するかも知れない

二、ソ聯は太平洋戦争には米英の欲してゐるやうな大きな役割は果さないかも知れない

三、將來米國內で共產主義を宣傳するかもしれない

國民がソ聯に對して以上のやうな恐怖を抱いてゐる結果官民の間に英國に對する好意が増大して來たのが注目される、大西洋における英國島嶼は大西洋における米國の安全のために不可欠なものであり、従つて英國の戦後における經濟復興を促進することが米國の利益になるといふ考へが強くなつてゐるためである

重慶駐劄大使に

ハーレー最有カ

(リスボン十九日發) UP通信のワシントン電は政府當局がルーズヴェルトは目下重慶滯留中の大統領特使少將パトリック・ハーレーを指名するものと期待してゐる旨を傳へ次の通り説明してゐる

重慶駐劄大使の銓衡は米國の外交官任命で恐らく最もむづかしい事柄だが、一部の意見ではハーレーがこの仕事を引受けるに妥當な人物だと期待してをり、ハーレーが政府當局でも後任大使として適任の理由として第一に重慶、特に蔣介石との間がうまくいつてをり、第二に彼の就任は米陸軍省及び極東にゐる米國の軍方面から受けがよからう、第三にハーレーは重慶の特殊の諸問題と最近の困難な事情についてよく知つてをり、第四は重慶の經濟、産業組織の建設を大統領特使ネルソンと協力して遂行する腕を持つてゐる、第五にハーレーは軍人として支那及び極東の軍事、政治的諸問題に通曉してゐるといふ點をあげてゐる

勃、羅駐劄

公使を任命

(リスボン十九日發) ワシントン來電ニ白雲館當局は十九日メイナード・B・バンズをソフィア駐劄公使に、前イスタンブール駐劄總領事バートン・ペリイをブカレスト駐劄公使にそれぞれ任命した旨發表した

【反樞軸陣營】

國際商業會議

金本位制を支持

(リスボン十八日發) ニューヨーク來電ニニューヨーク州ライで開催中の反樞軸國際商業會議は十八日通貨委員會から提出された要旨左の報告を採擇した

將來世界各國は金を通貨として使用すべく通貨制度の基準たらしむべきである、戦後の金本位制は勿論或點においては舊金本位制と相違することは勿論だが、各國通貨間の安定基準として自由な國際決済手段としての役割を果すだらう商業會議は更に運輸通信委員から提案された日獨兩國の戦後海運制限案をも採擇した

【英 帝 國】

流星彈海上

(リスボン二十日發) 最近米國陸海軍省が「ドイツ軍は米

發射の意義

大陸に對して流星彈攻撃を敢行するかもしれない」と警告したのでに續いて現在ドイツ軍はさうした攻撃の準備中だとの不確實ではあるが新しい情報がここ數日間頻りにノルウェー並びにスエーデン方面からロンドンに入りつつあるといはれる、即ちロイター通信社は二十日次の通り報じてゐる

こんな噂はロンドンでは極めて慎重に扱はれるのが常だが、米國で公式に警告を發したといふ事實は海軍大作戰の切迫に關するドイツ海軍首脳部或ひは軍事評論家の暗鬱な示唆と結びついた流説に對して或る程度の根據を與へてゐる、この噂は大體においてドイツ海軍が現在潜水艦隊並びに水上艦艇に特殊發射裝置を設け大艦隊を編成中だといふのである、ドイツの新鋭長距離潜水艦にさうした裝備をして北米海岸から五十哩乃至百哩の沖に近づき、ニューヨークとかボストンとかフィラデルフィアとかの大きな目標に對し夜間流星彈を發射してノルウェーの基地に素早く引揚げるといふことは確かに可能だししかしそれには反樞軸軍の蜘蛛の巣のやうな封鎖線を突破しなければならず、流星彈が尾を曳いて所在を示すために發射位置に止まる時間も極めて制限されることにならう

【歐 洲】

ド・ゴール

(リスボン十七日發) パリ來電

政 權 人 事

電

七日次の通り發表した

任復興、建設相

陸軍大將

フランソワ・ダステイエ・

ド・ラ・ヴィジエリ

任ブラジル駐劄大使

元アテネ駐劄公使

ガストン・モーグラ

任トルコ駐劄大使

佛 藏 相

死 去

傷を負ひ後死去した

羅 政 權、親 獨

分子狩に拍車

(リスボン十五日發) ブカレスト來電 反樞軸休戰協定履行監視委員會副委員長ヴィノグラドフはさきにルーマニア政府に對し、休戰協定履行を故意に怠つてゐることを理由に嚴重抗議を申込んだが、最近ルーマニア政府はブカレストその他各地の國家主義者狩りに拍車をかけ始めた様子で、ブカレストからのU・P電報によれば既に逮捕された者の數は四千人に上るといはれる、法相パトラスカヌは十四日ブカレスト高等法院に臨み「政府は國家主義運動に参加したものをすべて嚴罰に處す方針である」と言明した

ス 丁 通 商

協 定 延 長

(チューリッヒ十七日發) ブラチスラヴァ來電 スロヴァキア、デンマーク兩國政府は十七日通商協定の八ヶ月延長を決定した、なほ兩國間の貿易は從來活潑に行はれ、一九四三年には總額三千萬スロヴァク・クラウンに達してゐた

芬、對ソ機械

引渡しを開始

(ストックホルム十九日發) モスクワ來電 フインランド政府はソ芬休戰協定第十四條の規定に基づきソ聯に對する機械類の引渡しを開始既に貨車九十五輛分の電氣機械類、工場機械設備起重機の引渡しを完了した、うち七十五輛はベトロザヴォドスクに、二十輛はコンドボガに送られた

【ユ 聯】

駐 埃 及 公 使

更 迭

(モスクワ十六日發) 十六日の「プラウダ」紙によれば政府はエジプト駐劄公使ノヴィコフ氏を更迭し後任にシボーリン氏を任命したといはれる

電氣工業人民委

員部次長死亡

(モスクワ十四日發) 聯邦電氣工業人民委員部次長ヴォスカニヤン氏は宿病のため去る十二日死亡した、享年三十八、ヴォスカニヤン氏は一九〇六年アルメニアに生れ、本年八月、現在の地位に任命された

【ドイツ】

海軍活躍の

時 至 ら ん

通り演説した

(ベルリン十八日發) 海軍司令長官デーニッツ提督は十八日某港の軍需工員を前に次の通り演説した

わが海軍の不屈の戦闘精神は旺盛である、敵に對する間斷なき攻撃と敵船腹の損失はこれを雄辯に物語つてゐる、今日わが潜水艦の活躍があまりふるはないとしても、かかる時期は間もなく終り、潜水艦隊が敵の咽喉をしめあげる時期が必らずやつて来るであらう、わが海軍の論議の餘地なき成功は英國がその輸出入を半減せざるを得なかつた事實によつて立證されるか、恐らく英國は今後一層その貿易の減少を餘儀なくされるであらう、軍需工員及び海軍將士の赴くべき道は一つ、即ち總統を絶対信頼し、且つ耐へ忍び戦ひ抜くことである、今次の戦争はわが國にとつては死活の問題であるが、敵にとつては物慾と權勢慾の問題である、勝利は常に決然として指導者に従ひ謙讓にして忠實に働く者の上に輝くことは歴史が明白にこれを示してゐる

新 要 塞

(ベルリン十九日發) 前線報道員は新ジグフリード要塞の完成について十九日次のやうに傳へてゐる

西部戦線の新要塞構築第二次四週間計畫は今や完成するに至つた、去る九月反樞軸軍がドイツ國境に殺到してドイツが重大な危機に直面したときヒトラー總統は、現在の戦線に沿つて堅固な新要塞線を構築するやう命じた、直ちに第一次四週間計畫が樹立され完成されたのであるが、新要塞は正に要塞構築の傑作とも稱すべき改良の跡と斬新な組織とを示してゐた、しかし十分な縦深を缺いてゐたので引續く第二次四週間計畫は要塞の縦深をとることが眼目となつた、かくして第二次計畫ではドイツ國民總動員の努力により後方一面に無數の新要塞線が出来上つたのである、西部戦線の南部地區で工事に従事した或る工兵隊長は記者に次のやうに語つた、「自分が關係した狭い地域で除去した土砂は約五十萬立方メートルに上るが、これは長さ十メートルの貨物車七一二八臺に満載となる量で

あり、この貨車を一列に連結すれば七一五キロの長さになる、特火點構築に使用した材木は直径二十五厘の木にしてパリからジュネーヴに達する、詳細は軍機に觸れるから傳へるわけに行かない、自分は要塞八ヶ所を構築したが、これら總て東部並びに西部戦線における貴重な諸経験を基礎としてに陥穽、完全偽装の特火點等多數を地形に應じて構築した」これら新式の偽装要塞線は反樞軸軍にとつて例へばかの大西洋防壁よりも遙かに危険なものとなるだらうが、かの大西洋防壁にしても幾つかの基地が今なほ持ちこたへて米英軍後方に短剣を擬しつゝあるのだ、「時」は獨軍にとつて有利に展開してをり一週間に偽装要塞線が續々と獨本土の深奥部に増加しつゝある

病 院 船

擊 沈 さ る

(ベルリン十八日發) 病院船「デュービンゲン」號は十八日午前八時アドリア海のボラ西南において四機からなる英軍戦闘爆撃機隊の攻撃を受け沈没した、「デュービンゲン」號には赤十字マークが鮮明に付されてゐたばかりでなく過去四ヶ月間にアドリア海で三回以上も英軍に拿捕され、南イタリアの敵海軍根據地で嚴重な船内捜査を受けてゐるので、英軍にはよく知られてゐた船であつた、しかるに今回英軍が良好な視度において低空から爆弾を投下し同船を沈没に至らしめたことは國際法を無視した敵の野蠻な戦争行爲といふべきである

空 軍 勇 士

戰 死

(ベルリン十八日發) 敵機二百四機撃墜といふ輝かしい記録を保持する空軍の勇士アン・トン・ハフナー中尉は最近戦闘機中隊指揮官として戦闘中戦死を遂げた旨十八日發表された、中尉は生前の功績により柏葉騎士鐵十字章を贈られた

ゴルトホルン

博 士 死 去

(リスボン十七日發) レディング(コネチカウト州)來電原體の顯微鏡検査の發達にも寄與したドイツの病理學者ルトウイヒ・B・ゴルトホルン博士は十六日心臓病のためレディングにおいて死去した、博士は四十年前特殊の染料を創製し、顯微鏡によるマラリヤ病原蟲内部構造の觀察を可能ならしめたが、この技術は現になほ使用されてゐる

【西 亞】

ル 聲明 の 撤回 を 要求

(リスボン十九日發) 米國大統領ルーズヴェルトがパレスチナ地方に對するユダヤ人の入植を支援する旨言明したことは西亞各國のアラブ民族に少なからぬ衝撃を與へたがカイロ來電によればアラブ民族の四政治團體は十九日カイロで合同會議を開催、次の通りルーズヴェルトに打電したと傳へられる

既に四度米國大統領に選舉された以上ユダヤ人の入植を支持する旨の選舉前の聲明を撤回されたい、アラブ民族はブアイオニズムとの抗争については金も命も惜まない

【東 亞】

ウエデマイヤー 喰

(リスボン十八日發) 重慶來電Ⅱ在重慶米國軍新司令官ウエデマイヤーは十八日

止め 作戦 を 建言

新聞記者團との會見で次の通り述べた

余は着任以來既に蔣介石と數次にわたり會見、日本軍今後の作戦に對抗すべき簡單にして且つ完璧と思はれる作戦計畫を建言した、支那戰線における反樞軸軍の地位は極めて困難だが、余はなほこの困難は決して克服出來ぬものではないと信じてゐる、日本軍今後の作戦としては次の場合が考へられる、即ち柳州から南下して印度支那にある日本軍と連絡するか、あるひは漢口、柳州廻廊から西進して貴陽を陥れさらに成都を突かんとするかである、この二つの作戦は地勢的にいつて極めて困難なものとならうが、われわれはあらゆる場合を豫想して十分の對策をたてておかねばならぬ

重慶法幣の關

(リスボン十九日發) 重慶來電Ⅱ米貨一弗に對する重慶の

相場大暴落

法幣相場は過去十ヶ月にわたり約二百弗を堅持してゐたが、二週間前から落調を始め桂林、柳州の陥落と共に急落、まづ二百五十弗から三百弗に下り、過去五日間には最も急調を示して三百五十弗、四百十弗、五百弗、五百七十弗と暴落、遂に現在六百弗まで下落、二週間

前の丁度三分の一となつた

シリア、レバノ

ンを承認

(リスボン十五日發) 重慶來電Ⅱ重慶政權外交部は「重慶兩國を獨立國として承認するに決定した」旨十五日發表した

印緬支を結ぶ

送油管を建設

(リスボン十九日發) ワシントン來電によれば米國陸軍省は十九日印度からビルマを経支那に至る送油管を建設中なる旨言明したといはれる、陸軍省當局は建設計畫の詳細に觸れてゐないが、ニューヨークからのUP電報によれば、右送油管は直徑四吋乃至六吋でガソリンの輸送を目的とし敷設経路は印度のカルカッタを起點としてブラマプトラ河の流域に沿つてアツサムに至りパトカイ山系を横斷してビルマに達するものといはれる、しかしビルマから支那までの輸送計畫に關しては何らの報道がない

重慶へ新型トラ

ック積出を開始

(リスボン十九日發) デトロイト來電Ⅱクライスラー自動車會社ダツデ自動車部では十六日同社が支那戰域の各地及び打通した場合のビルマ公路とレド公路で武器彈藥、補給品及び人員を輸送する新しい意匠のトラック數千臺の積出しを開始した旨發表した、この新型トラックはホイール・ベース百七十吋、總積載量二萬封度で、後部の車輪だけで動かされる、そして車軸に特別の工夫が加へられてをり、六十呎以内で完全に廻轉出來るやうになつてゐる、このトラック一臺ごとに支那語で印刷した三百頁の虎の巻が添へられてゐる

【軍事情報】

航空發動機

を戦車に

(リスボン十四日發) 十一月二日附「デーリー・メール」紙によれば西部戰線で使用されてゐる「クロムウエル」戦車には航空發動機が裝置されてゐるといふ、過給機を除いてあるが出力は大たい六百馬力で現存の米英兩國の戦車のなかでは最も強力な發動機だといふことになつてゐる

特輯

スチルウエル召還問題の全貌(下)

藤原文雄

米國の公式辯明

スチルウエルの召還理由及びこれに關聯する問題について米國と重慶の公式の辯明に多くの喰違ひがあるのでそれを指摘しよう、先づ米國側からみるとルーズヴェルトは十月三十一日の記者團會見で、召還の理由をスチルウエルと蔣との個人的衝突といふ最小限度の理由に止めこの事件は「國共和解問題或ひはハーレー、ネルソンの重慶訪問とも關係がない」と述べ、新聞通信が報道してゐるやうな政治軍事外交的原因を持つものでないことを間接に表明し、「もし米國に駐在する英國の士官で余の氣に入らないものがあつたら、余は早速チャーチル首相に召還方を要求し、恐らくそれは實現するだらう」と述べて蔣がスチルウエルを嫌つてゐるから呼戻したまでだと逃げをうつてゐる、もつとも蔣とスチルウエルが衝突してゐたことについては宋子文が聲明中で兩名が「互ひに嫌ひで數ヶ月前には危機を孕む状態に達してゐた」ことを認め、またドリユー・ピアソンが十月二十九日次のやうに書いてゐる

過去三年間といふものスチルウエルは蔣介石との意見一致に成功せず、この夏には二人の關係は非常に緊張してゐたので、スチルウエルは蔣に引見されるのに待たされさへした、カイロ會談では蔣はスチルウエルに對する憎惡を非常に強く表明したので、ルーズヴェルトは蔣の氣持を和らげようとして特に蔣の宿泊するホテルを訪ねねばならなかつたほどだ、宋美齡もスチルウエルが決して好きではなく、蔣との仲違ひに加はつたかも知れない

これについてUP通信も重慶要人の言として二人の性格的對立を傳へ、宋美齡は間をとりもつことに努めたが二ヶ月前に病氣治療のため重慶を離れてから、遂に兩者の間は決裂に至つたのだとも傳へてゐる、何れにしても蔣とスチルウエルの衝突

を認めながら、それが重慶の國內問題を含む米蔣關係と關聯がないとルーズヴェルトとしてはいはざるを得なかつた、ところがその端から上院外交委員長コナリーは、スチルウエル召還問題は「大いに重大だ」と表現し、事態は「大きな政策に關聯するもので、その詳細はわからないが大統領と最高統帥部は支那における結束を保つたため、この問題を解決するものと自分は信ずる」と語つてゐる

重慶側の辯明

一方重慶側ではAP通信の總支配人ケント・クーパーが蔣介石に對しスチルウエル問題についての見解を尋ねたのに答へて蔣は十一月三日次のメッセージを送つてゐる

貴下がこの問題に關心を披瀝されたことに謝意を表す、重慶で接受した新聞通信の報道によれば大統領はスチルウエル大將の轉任について既に十分の説明をしてをり余がこれに附言することは何もない、重慶と米國との軍事政治經濟的緊密協力の見透しは極めて良好である

また外交部長宋子文は三日私邸に米人記者團を招いて刷り物にした次の聲明を發表した

スチルウエル大將が召還された際わが政府は右が全く軍事問題であつたため何も説明はしない考へであつた、しかしこの事件の原因については特に米國で多くの臆測が生じしかもその多くは根據のないものであつた、わが政府がこの問題を取扱ふ意志がないのは、戰爭が進行中でありまだ適當な時に惡印象は事實によつて矯正されるものと考へたためである、スチルウエルの召還は全く個人的問題で米蔣間の數多の政策上の喰ひ違ひとは關係がない、それどころかわが政府と一層緊密な軍事政治經濟協力について會談にきたネルソン、ハーレー兩特使は重慶との間に完全な意見の一致に達した、余はハーレー乃至はネルソンが公けに言明する地位にあると考へてゐるかどうかは知らないが、若し彼等が回答するならこの聲明に同意するだらう、米蔣間には何ら決裂の兆が發生してをらず、余は今日より以後兩國關係は嘗てより一層諒解と友好な成果あるものになると信ずる

勿論この聲明は豫言の範圍をいふでそれが正しいか誤つてゐるかは將來の事實にかかつてゐる。しかし余は全く樂觀的に考へる方を選ぶものだ。

米蔣陳辯の矛盾點

即ち以上によつて明らかなのはルーズヴェルトがスチルウエル召還の理由を公式には個人的問題として伏せたにも拘らず、それが軍事問題であるから「大きな政策に關聯」し米蔣間には政策に「多くの喰違ひ」があり、しかる米國の「大統領と最高統帥部が支那における結束統一を保つ必要のある」問題であることだ、しかも宋子文は記者團との問答中で蔣とスチルウエル間の根本的な難點は「ワシントンで體系化されたスチルウエルの廣汎な政策」に大して關係はないが、「この政策についてのスチルウエルの解釋のしかた及びそれを遂行する方式」とに難點があつたと述べ、また中共問題が米蔣間で討議されたことを認め「この問題は中國自身が決定すべきことだが幾多の問題と關聯して會談の俎上に乗つて來るのは當然だ」と言明してゐる、この點について更に注目すべきことは重慶宣傳部のワシントン事務所長社晉麟が三日次の聲明を行ひ、スチルウエルが蔣に對し共產軍の完全武装を要求した事實を始めて明らかにしたことである。

ルーズヴェルトが同大將を召還したのは四圍の情勢のもとで可能な正しいことをしたにすぎない、米國各紙に現はれた報道には三つの問題が含まれてゐる、第一はスチルウエル問題、第二は中共問題、第三は重慶政府の改革である、多くの記者は恰かもスチルウエルが中國の一切の政治經濟軍事諸問題に對して魔法の鍵でも持つてゐるかのやうにこの三つを掻きまぜてをり、このため一般の者には混亂してよく判らず不公平が行はれてゐる状態だ、若しスチルウエルと蔣が中國の陸空全軍の司令官にスチルウエルを任命する問題で衝突したとすれば、それはワシントン駐在の重慶人にとつて極めて諒解に苦しむところだ、たとひ重慶政府が總司令官任命の趣旨に同意した場合でも重慶政府が總司令官の銓衡について何か一言あるべきは當然だ、第二に重

慶政府は中共問題の解決にあらゆる努力を拂つてゐる、スチルウエルは共產軍が完全に武装すべきことを要求した、彼はかかる措置から起り得べき結果を認識してゐない、しかし中共がわが政府と或る種の完全な諒解に達するまではわれわれは重慶の責任ある政府としてかかる完全な武装の如き申し入れが將來に瀆らす紛亂を完全に認識しなくてはならない、第三には重慶政府は改革の方向に絶えず努力してをり、よき忠言を歓迎するものだが、もしかかる改革を米蔣間の戦時協力条件となすべきだといふなら、それは恫喝乃至は最後通牒で自尊心をもつ政府或ひは國家ならたれでも憤慨し反抗するのは當然である。

即ち社晉麟によれば米人の總指揮權は頭から問題にならず、スチルウエルを忌避したのを重慶の當然の權利となし、共產軍の完全武装は危険極まりなく、これを容認するには或種の諒解(例へば重慶が國共交渉で要求してゐる通り共產軍が重慶の統帥に隸屬すること兵力を限定することなど)が成立しない限り承認出來ず、また米國の對蔣協力(武器援助など)の條件として重慶の改革を斷行すること(換言すれば重慶が改革しなければ援助しない)といふが如きは脅迫だときめつけたもので以上は米國の無理要求に對する重慶の忿懣と反對を代辯したものである。

英國の態度

米蔣間の紛争に對し英國はどんな態度を示したか、トランス・オツエアン通信の報道によれば英國の各紙は英政府が米國を支持することに決定した旨傳へたといはれるが、多くは米國の報道機關のスチルウエル召還原因の臆測や猛烈な重慶非難の記事を轉載し、また英紙自身も重慶を攻撃し例へば「エコノミスト」誌は重慶は現在も將來も大國とはなり得ず、重慶のために新國際安全保障の永久の議席をとつておくことは現下の情勢では賢明でない」と論じ、週刊誌「ソフィア」は十月三十一日の紙上で重慶の軍事、政治危機と經濟的窮乏は現政權の失敗で、かかる政權を世界の一流國に列せしめることが重慶への親切ではない。

將來どうなるかも知れぬ國家に米英ソと同一の發言權を與へても何の意味もない、重慶を一流國に扱ふのは正に悲劇だと罵倒してゐる、しかしこれらの記事はドイツ通信社が入手報道したもので英國の御用通信ロイターはこれらの重慶惡評は全然その電信同報に使用せず、これとは反對に說得乃至は批評を軟かにしたものを報道してゐるのは面白い、即ちロイターは十一月三日の電信同報で右の線に沿つて、次の二つの記事を報道した

「デーリー・メール紙」ニニューヨーク特派員より訓

練され裝備された重慶軍が統一結束した中國民衆の支持をうけて存在すれば明らかに西洋の民主主義國にとつて日本撃破に測り知れぬ力とならう、スチルウエルの指揮する重慶軍が適當に掌握された時には立派な戦士であることを實證した、蔣介石にとつて時至れば日本を撃破するといふ重慶の名譽と威信とを保持するため反樞軸國の援助をもつてかかる軍隊を組織することは今からでも遅くはない、米國の主張は國家と國民の長期の忍耐を稱讃されてゐる重慶を周章狼狽させるであらう、將來支那における戦争が遂に國家的努力にまで結合し史上かつてない偉大な統一が實現されることが期待された、しかし内訌は日本の恐るべき脅威に直面しながらいまだに完全な結合を妨げてゐる重慶は反樞軸の四大國のうちに入られてをり、廣大な地域と龐大な人口及び潜在力とが與へられてはゐるが、統一國家でない限り世界の指導的地位への大望は水泡に歸すであらう、蔣は彼の經世の才を問はれてをり、彼の國內の友はその實證を望んでゐる、彼は最期の戦争の過重に耐へてゐる中國民衆を分裂せしめてゐる悲劇的な不和を治癒することに最大の努力を盡さねばならない

「ヨークシャー・ポスト紙」にわれわれの見解から

すれば米國の重慶攻撃には根據がなく重慶政府の敵が軍事的作戰の方向に何の影響を與へてゐる形跡はない、補給問題は重慶の戦争指導に重要な要素として残つてゐる、米國の對支引渡量は大きくなつたが物資に對する要求の優先權は航空戰に與へられてをり、南支の重慶軍第一線はビルマ奪回に参加してゐる軍隊に比較して弱化してゐる、われわれは重慶が空輸補給に依存し日本が海上補給

を確保してゐる限り日本は物質的優位を享有することを認めねばならず、この有利は必然的に戦局に影響しよう、國共問題については紛争は依然として續いてゐるが重慶政權は交渉を持續し中共代表を重慶に常駐させ新華日報を重慶で發行させてゐる、重慶は相當の兵力を邊境接壤地帯に維持してゐるが、これらの部隊は重慶が容易に攻撃され易い弱點を防ぐといふ重要な役目を果たしてゐる重慶は艱苦をなめながらよく耐へてをり、われわれの最善の支援を受ける資格がある、たとひわれわれが大いに失望しても英米兩國の非難がこの失望を猜疑心にまで變へさせるやうなことがあつてはならない

ロイター通信は以上の記事を紹介したのち、これに註釋を附し、「デーリー・メール」はかつて反重慶的傾向にあり今日では甚だしく米國の意見に同情してゐるにも拘らずかかる一節は驚くほど穩健であり、「ヨークシャー・ポスト」は自制的で親重慶的に評し、この二つの記事を特に重慶向けに送信して米國の對蔣援助不足を認めると共に重慶の努力を買ひ、米國の重慶攻撃を抑へて兩者の間をとりなし、重慶に對しては今後の向ふべき途として米國の戰術的指揮を容認すると共に中共と手を打てと「一流國の資格」を餌に說得してゐるのは米蔣及び國共紛争に對する英國の調停的態度を反映するものだ、果して英外相代理リチャード・ローは十五日下院において獨立黨議員ワード女史の質問に答へ、重慶が抗戰七年の努力によつて反樞軸に寄與したことを稱讃した

注目すべき今後の態度

かくしてスチルウエルが召還され後任の在支米軍司令官ウエデマイヤー少將が蔣介石の參謀長に任命されて米人の總指揮權問題は一應解消し、蔣は支那戰域の最高統帥者の地位にとどまり、この旨重慶政府は代言人張平群が十五日「蔣介石は支那、佛印、泰の戰域における反樞軸の最高司令官である」と闡明した、そしてウエデマイヤーは十一月七日の着任第一聲として「政治不干渉、軍事協力」方針を聲明した、米國はこれと前後して重慶の軍需生産の増進をはかるため前軍需生産局長ネルソンを再度派遣する旨發表した

これによつて重慶の軍需資材不足と危機に瀕する戦争經濟の打開に對する米國の協力援助の方針が不變であることを明らかにした、(AP通信四日のワシントン電によると米政府當局は六ヶ月以内に重慶の軍需生産は實質的に増加する筈と声明し、「ワシントン・ポスト」は重慶の軍需生産は官僚的隘路と技術上の簡單な改善だけで五〇%擴張可能と推定し、専門家筋では重慶の鐵鋼生産は技術の改善で恐らく二〇%擴張可能とみてゐる旨報道してゐる)しかしウエデマイヤーの言明にも拘らず支那大陸における米蔣の作戰上の不一致は敗戦を重ねるほど端的に現はれてをり、根本的協調が實際は困難なことが明瞭である、支那戰域における武器貸與物資は新任の少將ギルバート・チーヴスが管理することになつたが、印支空輸量に制限がありビルマ公路打通は未だ成功せず、しかも在支米空軍の存在する限り補給量の大部分は依然として重慶の手に渡り得ない、重慶が「ネルソンの建言の線に沿つて」軍需生産局を設置し、米國の資本と技術援助のもとに乗り出すことを十四日明らかにしたのはここに關聯があり、米國は自己の利益において重慶の軍事的經濟的危機に對する應急手當と武器貸與物資の輸送問題から生起する困難とを緩和しようとする一石二鳥の策であり、従つて以上は米蔣間の一部の應急的協力に過ぎない

それよりも未解決のまま残された重慶の軍制改革、國共(重慶延安)問題及びこれと關聯する外交、特に國共問題は極めて重大な性質を帯びてをり、今後の發展は頗る注目される

軍制改革斷行を監視

UP通信のダレル・ベリガンの報道によれば、米蔣交渉に當り蔣介石がスチルウエルの退陣をみれば重慶の戦争努力と改革は蔣自身で斷行すると申し送り、これに對しルーズヴェルトは「スチルウエルは引揚げるが當初同大將が實施方を委嘱された改革遂行の責任は今度は蔣の負擔するところだ」と回答したといはれるが、この事件が明るみに出されてから半月後に桂林、柳州の陥落によつて重慶の戰略態勢が更に悪化するや米國各紙の論

調は再び蔣介石が速かに軍制を改革してこの事態に對處すべきことを説いてをり、米國がこの問題について蔣の打つ手を監視してゐることを明らかにしてゐる、重慶が軍制の改革を必要としてゐることは蔣介石も十分認め検討を進めてゐた模様で今夏重慶からの米國側報道は蔣が軍首脳部と會議を重ね「蔣の終生の大事業の一つとして」軍制大改革に乗り出すこととなりその主眼點は第一に軍の質を徹底的に淘汰し單位數部隊番號を減少し第二は從來一人一體となつてゐた各戰區司令長官と各省政府主席との兼任を廢止し、文權と武權とを分離すること、第三に軍隊教育、訓練、待遇を改善することなどだと傳へられたが、その後現在まで改革には全く手が着けられなかつた、蓋し重慶はこの間日本軍の大作戰によつて各重要戰區と農礦產資源地域を喪失し今や南支も席捲されるなど應戰に暇なく、しかも過去七ヶ月餘の間に恐らく百萬を悠に突破する戰鬪兵力の大損害と裝備の大消耗を生じてゐるものと推測され戰局は更に進展してゐる、かかる目まぐるしい情勢の急進展に直面しては改革に手が着かないのは當然だ、スチルウエルが蔣に對して急速建直しを要求したのに對し「間に合はない」と突つばねたと傳へられるのもこの間の事情を物語るものだ、米國はさらに重慶軍首脳部に軍政部長兼參謀總長何應欽が對米軍事協力に消極的態度を示し、反共的で延安との和解反對の急先鋒でありしかも知目的(日本陸士第十一期歩兵科出身)であることに豫てより不満を持つてゐた模様で、彼と共に國民黨の有力者陳立夫、陳果夫らも含めて反動的排外的分子と誹謗しその退陣を要求してゐたやうだが、蔣介石はこれを蹴つた、この點につき英國左翼系の週刊誌「ニュー・ステーツマン」は

蔣介石は特に何應欽、孔祥熙、陳立夫から建言を受けてをり、宋子文はもはや彼の自由主義的見解、財政外交政策についての見解に發言權なく、孫科、郭泰祺、王世杰らの自由主義派も今日では政治家といはんより寧ろ個人の觀があると述べて何應欽、陳立夫らの勢力を認めてゐる

同盟通信

海外電報

(第三週要聞要略)

かくて蔣介石が獨立の立場から何時どの程度の軍制改革と首脳陣の刷新とを斷行するつもりか、また可能か彼の立場は極めて苦しいものとなつた、この點につき「シカゴ・ニューズ」紙の重慶特派員は十一日次の通り傳へてゐる

支那の戦局はかつてない悪いものとなつてゐるが、重慶の政治的軍事的機構の重大な改革が遠くはないかも知れぬといふ兆候が少くない、スチルウェルが去つたことはかかる變革の見透しに影響してをらず、事實この見透しを改善した重慶における交渉と討議は未だ挫折してはゐない、この數週間に差迫つた變革が多くにわたるか、または少數に止まるか、またこの變革が皮相的なものか乃至は根本的なものかわかるであらう

ここにいふ「交渉」とは言ふまでもなく米蔣交渉を指すが米大使ガウスは既にスチルウェル事件の當初辭職し十三日重慶を去つたので交渉の衝に當る者は大統領特使ハーレー少將であらう、後任大使の任命につきルーズヴェルトは十三日「ガウスの後任は誰も任命してない」と言明してをり、重慶の一部では米國がしばらく大使を空席にしておくのではないかと觀測してゐる(「シカゴ・ニューズ」十三日報道)ガウス辭任の理由につき「ニュー・ヨーク・タイムズ」の重慶電はそれがスチルウェル事件とは關係なくガウスが健康を害してゐたこと及び最近米蔣間の外交交渉が瀕りに飛行機で往來するいはゆる大統領特使によつて處理され、支那で副領事から三十年の年貢を積んだ外交官」としてのガウスの地位が影の薄いものになつたことに不快を感じてゐたためであると報じた、何れにせよスチルウェル事件によつて表面化した米蔣交渉の紛争により米蔣外交は相當惡化したのがその後大統領は十七日に至り後任大使の選定をみた旨言明した、後任が誰か臆測が盛んでハーレーが最有力だが、後任を至急選定したことは米國が残された諸懸案特に次項で述べる國共問題でなほ交渉を續け妥結につとめる肚であることを示してゐる

重大事件を孕む國共問題

重慶の軍制改革のほかにも最も重要な問題として

今後更に紛糾を豫想されるものは國共(重慶延安兩政權)の和解交渉である、この問題はすでに劈頭で述べた通り單に重慶延安だけの問題ではなく米國が直接中共を支援煽動したために重慶に對する中共の態度硬化となり裏を見抜く重慶も逆に硬化して紛糾を深め、更に中共とソ聯とは蔭に陽に切離せぬ關係にあるので、ここに國共問題は米蔣外交米ソ背景とする中共對重慶、ソ聯と重慶の外交更に米英ソ關係等が互ひに關聯する複雑怪奇な情勢へと進展しつつあり、その推移は支那大陸延いては東亞の將來に頗る重要な影響を與へる可能性をもつに至つた

問題の國共和解交渉における双方の對立意見で最も深刻なものは中共が重慶に對して第一に民主主義の即時採用により中共及び地方共產政權の合法性を全面的に認めて中國々民黨の「一黨獨裁」を廢し、即時立憲政治を採用して中共との聯合政府を樹立し、第二は共產八路軍のほかに六個軍十八個師の共產軍を公認し、米國の武器貸與物資を分配して重慶軍と對等の裝備訓練を施すことを要求するに對し、重慶は第一に日本軍に廣大な地域を占領されてゐる現状では立憲政治の即時採用に伴ふ總選舉を實施することが不可能であり、聯合政府の樹立のごときは中共が重慶政權の顛覆を企圖するものだとして反駁し、中共支配下の邊境行政地區が重慶行政院の統制下に隸屬すべきことを主張し、第二は共產軍四個軍十二個師までの公認に同意、ただし重慶の軍統帥下に入るべきことを絕對條件として要求してゐることだ、そして重慶側の主張によれば、交渉中における中共の態度には變化があり、當初は公認兵力として十二個師、中共の自治行政區域としては陝甘寧邊區だけを要求してゐたものが後に至つて右のごとく擴大されたものだとして内幕を暴露し、その原因として重慶が河南の敗戦で打撃をうけたことが中共の立場を有利にしその態度を硬化せしめたのだと指摘したが、この他に重要な原因として米國政府が中共を支援し報道機關も一齊に重慶を非難攻撃し中共を掩護したことを挙げねばならない

即ち米國は共產軍の強靱な戰鬪力を對日共同戰に引入れるため蔣介石に對し中共の自治を認めるやう勸告し、共產軍が重慶の統帥下に入ることを甘受しないことを理由に國共兩軍の總指揮に米人將官をあてることを要求したと傳へられ、また社晋麟の言明のごとくスチルウエルが蔣に對し共產軍の完全武装を要求し、また前回述べた通り米國各紙が重慶非難の數々をあげて連日攻撃惡罵の筆陣を張つたのがそれだ

中共の攻勢宣傳

かくして米國報道機關の支援同情を巧みに利用して重慶に對して來た中共は、スチルウエル事件を契機として米國が再び猛烈なプレス・キャンペーンを展開するや果然これに便乗して積極的な攻勢を開始した、即ちワシントンの重慶中央社特派員の報道によれば「ニューヨーク・タイムズ」その他米各紙は十一月一日米國聯邦通信委員會が傍受したといふ延安放送の内容を次の通り掲載した

國共交渉の代表を勤めた林祖涵は重慶代表の王世杰、張治中兩名に書翰を送り、中國における「一黨獨裁政治」を解消、聯合政府を樹立し對日戰の統一戰線結成の基礎として「徹底的な軍事、政治、經濟、文化的改革」を遂行すべきことを督促した、林祖涵は今や重大な危機が存在し「官民、軍民、將兵、軍隊間に分裂の兆がある」と指摘し、共產軍の公認と日本軍の前線背後にある共產組織の公認とを要求した、林の書翰は中共が提言した聯合政府のみが獨り孫文の三民主義を遂行することが可能だと述べ「もしも一黨獨裁制が存続するならば國民の信任を得ることは出來ず、危機は増大して國民の動員勝利の獲得は不可能となり國家的分裂を克服することは出來ない」と結んでゐる、林の書翰は國共間の將來交渉の扉を開いておくもので、わが延安の提言は中國全民衆の要求を代表するものであり、貴黨（國民黨）自身のうちにもこれと同じ意見を抱くものが少くないのである

一方UP通信の重慶電によれば延安日報も中共が武器給與の追加要求を重慶に提起したことを重慶軍機關紙の掃蕩報が攻撃したのに對して反駁を加へたといはれる

かくして中共の重慶に對する攻勢宣傳が再び活潑となつてゐた矢先、中共三巨頭の一人たる周恩來は突如十一日米國の陸軍機に搭乗して重慶に乘込んだ、彼はこれまで林祖涵が代表として重慶と交渉中延安にあつて機關新聞及び通信社を通じてしばしば聲明を發表して重慶に對する要求の根本を説き、或ひは共產地區を視察中の米人記者團と會見の機會を利用するなどして重慶交渉に掩護射撃を加へてゐたが、最近の一轉機を巧みにとらへ林祖涵を引下げて自ら出馬したもので、これによつて國共交渉の新局面が拓かれる時期に達したものと注目される

國共問題とソ聯の態度

そしてここで述べて置く必要があるのは國共問題に對するソ聯の態度だ、この問題についてソ聯は現在までのところ直接にはほとんど沈黙を續けてゐるが、一部の動きとして今夏重慶政府當局は重慶駐劄ソ聯大使館附陸軍武官が「支那の一般情勢を報告するため」モスクワへ歸還する旨發表してをり、また龔に重慶政府は「ソ聯極東部長リフアノフ氏が近く重慶を訪問する筈である」と言明したその後彼が重慶に到着したとの報道をきかないが、來訪が實現したか乃至するとすればその使命が當然國共問題にも關係をもつことは疑ひないソ聯の態度は「戰爭と勞働階級」紙が重慶に對し中共との紛争和解を成立しないことを攻撃した論評にその片鱗を窺ふことが出来る、さらに國共紛争に對するソ聯の態度が米英とソ聯特に米ソ外交に發展し、それが米英の對重慶交渉となつた點につきスイスの「ガゼット・ローザンヌ」紙は十一月七日の紙上で次の通り報道してゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ワシントンが重慶の反動分子に武器を提供し、この反動分子がその武器を中共に對して使用してゐたことにつきモスクワでは既にワシントンをいたく非難した、モスクワに着いたチャーチルはルーズヴェルトの覺書を携行し、これによつて間もなく意見一致に達した、英米は蒋介石に對し「ソ聯は偉大な戰勝國となつてをり何もしないだらうから、支那におけるソ聯の勢力を容認するやうなもつと民主主義的政策を採用するやう」勸告することに同意したものである

この報道は確認されたものではないが重慶軍が米國の武器貸與法による援助武器を共産軍に對して使用することは極めて有り得ることであり、またAP通信特派員グロヴァが十月三十一日報道で、「重慶からニュー・デリーにきた男」の談話として「米國の重慶向武器貸與品は將來の内亂に備へて對日戰には使用されず貯藏され、約百萬の重慶軍が共産軍に備へて北支方面に配置され、共産軍を監視し小競合ひを演じてゐる」と傳へた點と一脈相通するものがある、ソ聯が米國に對して右のやうな抗議をしたことが事實とすれば、これまたソ聯と中共の關係及び國共問題に對するソ聯の態度を示唆すると共に、この問題が米英ソの外交問題に發展したことを示すものだ

かくて周恩来の重慶乗り込みがスチルウェル事件を契機とする米蔣外交關係の惡化、日本を「侵略國」呼ばはりしたスターリンの重大聲明、桂林柳州の陥落による重慶の軍事危機の増大といふ三大要素を含む重要な轉機をすかさずつかんだ點からみて、國共和解交渉が再開された場合中共の態度は前述の要求點について一層強硬の度を加へるであらう、この點につき重慶政府は十五日宣傳部長梁寒操の名を以て交渉繼續の場合に中共が互讓の精神を發揮することを間接に要望したのち、交渉妥結の見込みについては「中共の出方一つにかかつてゐる」と言明し、中共の強硬要求に豫め釘をさしてゐる、かくて重慶政府のいふ如く「交渉開始以前より一層解決が困難となつた」國共の根本的對立が來るべき直接交渉、その成行きによつて複雑微妙な動きをみせるであらう米ソ蔣の外交戰によつてどんな結末となるであらうか、こゝし

ばらくの推移は歴史的事件を孕むかも知れない

米國內の批判

ここで附言しておきたいのは、米國は支那の國內戰線統一といふ看板を振まわして國共の合作に懸命となつてゐるが、これが實現しないまでも國共問題が深刻化せばするほどその後起る情勢の大きな變化について果して明確な見透しをもつてゐるかどうかである、即ち合作が成立すれば當然中共は軍事、政治、經濟、社會、文化的に飛躍的進出を遂げるであらう、それは支那大陸へのソ聯的影響の大進出を意味する、戰後支那の政治經濟的支配を夢みる米國はこれとの調整をどうつける目算があるのか、これは歐洲におけるソ聯對米英の利害調整とはまた異つた意味と規模とをもつ大問題だ、支那大陸における現實の急迫した軍事情勢はかかる根本問題を慎重検討する餘裕を與へてゐないのか、或ひは米國はあくまで「國際協調」を信じようとするのか、米政府の重慶壓迫、中共支援に對して言論報道機關も大勢は全くこの政策を支持してゐるが、唯一つこれに斷然反對の論評が週刊誌「タイム」の十一月九日號に掲載された論者は同志主筆支那生れのヘンリー・ルースで、中共が民主主義的だとの一般通念を否定して、重慶も獨裁政權だが中共もまた「全體的共產主義の擴大を目的とする獨裁政權」だと評した後

蒋介石が重慶軍をもつて中共封鎖を續けてゐることに對してスチルウェル等が不満を表明したのは恐らく事實だらうが、内亂を起すよりも封鎖の方がましである、若し蒋介石がこの封鎖を解けば支那全土が結局は赤化し民主主義にとつては失はれることになる、若し蔣が中共の要求する條件でこれと協力の餘儀なきに至り、また共產地區への封鎖を放棄のやむなきに至れば、共產支那が間もなく重慶にとつて代るに違ひない、しかも共產支那は重慶と異なりその人口四億五千萬を擁する一國際協調國家として、人口一億三千萬の米國には組せず、人口二億のソ聯につくことにならう

と述べ「米蔣關係決裂の後始末が速かにつかない場合には米蔣ともに重大な損失を蒙るであらう」と米蔣關係の改善を要求してゐる、國共問題の背後にこの様な「脅威」を感じ、米國の政策がもつ「危険性」を警戒するのは米國內でルース一人だけだらうか

米英の戰略分擔

さて最後に以上の問題とは別個にスチルウエル召還に關聯をもつ軍事的背景として東南アジアの敵戰略に何か變化があつたか、これを検討して結びとしよう、米國は彼の召還と同時に從來統合指揮してゐた印緬支戰域(C. B. I. Theatre)を支那と印緬の獨立した二つの指揮區域に分離した、「ワシントン・ポスト」紙はスチルウエル罷免の要點として最も重要なことは「戰略的必要と可能性」だと述べてゐるが、戰域の二分は從來の統合指揮が無用のものとなつたことを意味する、換言すれば東南アジア戰域における作戰指揮の重點分擔が英國側に移讓されたことが略ぼ明瞭となつたその理由は米國は支那大陸接岸を目指す太平洋進攻を續けると共に、これに對應して支那大陸における態勢を整へることに重點を置かねばならないところが英國はかかる戰略目標をとらず、その當然の方向として印度防衛、ビルマ特に南ビルマ、マレー、昭南、泰への反攻即ち主として舊英帝國植民地奪回と再支配を狙つてゐる、以上は米英の政策の相違を背景とするものだ、スチルウエル、マウントバツテンの間には戰略上の意見對立があるとしばしば傳へられ、米英の報道機關が互ひにマウントバツテンの水陸兩用作戰とスチルウエルの北緬陸上作戰にけちをつけて論争したのは右のやうに米英の當面の政策と戰略目標に根本的な相違があるからだと觀測された、果して十七日カンデイの東南アジア軍司令部發表はこの戰域における反樞軸の指揮統帥の重點が英國側に移行したことを明かにした、即ちスチルウエルの後任となつたレイモンド・ホイラー中將はマウントバツテンのもとに東南アジア軍副司令官の肩書を賦與されたが、實際の指揮權は英側に渡り新たに「東南アジア反樞軸陸上軍」(A. L. F. S. E. A.)が編成され、その構成は英第十一集團軍、在印緬

米軍及び在東南アジア戰域重慶軍を悉く傘下に收め司令官には英國から着任したばかりのオリヴァ・リース中將が任命された、リース中將は第十一集團軍司令官であると同時に在東南アジア戰域重慶軍の最高指揮官を兼任し、他方ダニエル・サルタン中將麾下の在印緬米軍をもその指揮下に置いたのである

何を意味するか

ここにおいて全く明瞭にされたことは米國は目下大消耗戰を續けてゐる比島作戰を含む太平洋攻勢及びこれに呼應する支那大陸の航空活動を主體とする作戰に専念し、他方スチルウエルが直接指揮してゐたレド公路打通作戰は米國にとつて依然重要ではあるが、東南アジア軍司令部との即ち英國側との調整をはかつて「東南アジア反樞軸陸上軍」に編入、オリヴァ・リース中將の作戰指導を受けることとし、英國はこのほか南ビルマ、マレー、アンダマン諸島、スマトラ等を狙ふ海陸作戰に専念するに決したことである、スチルウエル召還の政治軍事的背景は支那問題にあつたと同時にここにも重大な背景があつたのだ

斯くて太平洋及び東亞全域における米英の作戰分擔地域の分裂は兩國の政策と戰略目標の相違とを實證するものであるが、同時にこれは米英が利害を相互に打算考慮した上でこの政策と戰略目標の相違を各自に有利な方向へ調整したことを意味する、そして東南アジア戰域の作戰重點を負擔した英國が印度を基地として陸海兵力と首腦部の新陣容を着々整へてゐる事實とこれとを併せ考察すればこの方面の敵攻勢も掛聲だけではなくなる段階に入つたことを銘記しなくてはならない

ソ聯第二の高山發見

(ストツクホルム十七日發)モスクワ來電
中央アジアの天山山系内に最近發見された山嶽に「勝利峯」の名稱が附せられたが、同山は海拔七千四百十九米、ソ聯第二の高山である、第一はバミール山系の「スターリン峯」

昭和十九年十一月廿四日(金)
第三二五〇號

同盟通信

海外電報

(269)

反樞軸戰線に最大の痛をなす敗戦重慶を建

直すため國內統一への國共合作と重慶部内改革との實現に躍起となつて壓迫した米國の内政干渉に對し、蒋介石は斷乎反撥して十月末急先鋒のスチルウェル追出しに成功したが、

この結果蔣が獨自の立場でこの懸案にどんな手を打つかが注目されてゐたところ二十日遂に内閣たる行政院の改組を斷行するに至つた部長の地位を罷免された何應欽、孔祥等、陳立夫、周鍾嶽、梁寒操は軍政無能、國共合作の障礙、貪官汚吏、國民黨の獨裁指導、内政紊亂、反共及び非民主的檢閱等の傾向を米國と中共から攻撃され特に何、孔兩巨頭は今秋の國民參政會でも槍玉に擧げられてゐた、これに代つた新任の陳誠、俞鴻鈞、朱家驊、張羈生、王世杰は米軍との協力、軍制改革斷行の意欲あり對中共關係



財政内政の刷新への含みとして米國の報道機關は多大の關心を示したが、以上の改組には蒋介石が對米、對中共及び對内といふ三つの

關係を熟慮した政治的ゼスチュアが明瞭に出てゐるが、注目すべきは蔣がこれで米國の要望に應じた形をとりながら何應欽は兼任の參謀總長、孔は行政院副院長の要職に留まり、陳は黨組織部長に新任これを掌握し、梁も海外部長となるなど依然樞要の地位を占め實を失つてゐない點だ、しかも改組だけでは問題の核心である重慶の政治軍事的改革と國共合作への二つの前提を用意したかに見えるだけで蔣の次にうつ手を示唆するには不十分である、米國報道機關は忽ちこれを指摘し、罷免された各部長が依然同等の勢力と責任を與へられ新政府が一黨獨裁の色彩に變りなく、これで現下の重大情勢に對處し根本問題の解決へ進展するか否かは今後の事實に徴するほかなしと蔣の次の出方を監視してゐる、問題は未だほんの緒についたに過ぎない

【目次】

イタリア正規軍を改編……………二八一四

三頭會談來年に持越し……………

ネルソンに閣僚の地位……………

亡命波政權米國に泣き付く……………

ユーゴー政權首相モスクワ訪問……………

英國内閣の一部改造……………二八一五

ルーマニア政權危機に立つ……………

イラン新首相決定……………

太平洋戰の困難を強調……………

【英帝國】

徵兵制問題なほ紛糾か……………二八一六

米國に困難を訴ふ……………

伊外交代表着英……………二八一七

印度無黨派會議を開催……………

【反樞軸陣營】

國際機構會議再開か……………

【ドイツ】

ソヴェト外交原則を論駁……………

【米洲】

海軍の増強を誇る……………二八一八

海軍の新豫算案……………

一日の戦費二億五千萬弗……………

更に艦船の損害を發表……………

グルーの使命……………

小鐵鋼様式に死刑を宣告……………

武器貸與の削減を要求……………二八一九

勞働組合大會……………

重慶改組の反響……………

伯兵、亞國境に集結……………

ヴェネズエラ陰謀發覺……………

【東亞】

重慶政權邊に改組……………二八二〇

國共合作の根本障礙なし……………

送油管工事一部完成……………

【特輯】

英國政界の底流……………二八二一—二五

【資料】

英紙の西歐ブロッツ案……………二八二六—二七

英紙重慶の立場を擁護……………二八二八

イタリア正規軍を改編

志願制を布く

(ベルリン二十一日發) イタリア國防相グラチア
ーニ將軍は二十一日次の通り發表した
徵兵制に基く陸海空三軍を改編し志願制を布く
三軍の將校並びに下士官は志願兵として軍に歸
るか軍を去るかを各司令部に申告することを要
する

なほファシスト軍の一部には政治的に信頼し難い
分子あり、ムソリーニ統帥は去る八月將校並びに
下士官の大量肅正を斷行したが、二十日統帥司會
のもとに閣議を開催した結果正規軍を改編するに
至つたと解される

三頭會談來年に持越し

(リスボン二十一日發) 英國首相チャーチルはケ
ベック、モスクワ兩會談後年末までにルーズヴェ
ルト、スターリン元帥との會談を開催する必要を
力説してゐるが英國首相躍起の工作にも拘らず今
までのところ會談開催の運びには至らぬらしい、
原因は米ソ兩國間の關係に潜んでゐると推定され
るが、ワシントンからのUP電報は恐らく國務省
筋の意向を反映して二十一日次の通り報道してゐ
る

ルーズヴェルトとスターリン元帥との會見は來
年二月まで乃至その以後まで持越されさうな證
據が官邊筋に續々出てきてゐる、十二月に三頭
會談があるだらうとの再三の報道にもかかわらず
近く大統領が國外に旅行するのでホワイト・
ハウスが大がかりな準備を進めてゐる様子は全
然ない、ルーズヴェルトも過般の記者團會見で
會談の場所も時期も極つてゐないと述べたが、
一月は米國議會が始つて一般教書、豫算教書を出
さねばならず一月二十日には大統領就任式で
忙しく外國旅行などは出来ない

ネルソンに閣僚の地位

(リスボン二十一日發) ワシントン來電 白聖館
當局は二十一日次の通り發表した

大統領ルーズヴェルトはドナルド・ネルソンに
閣僚の地位を與へ大統領の個人的代表に任命し
た、ネルソンは今後閣議に出席すべく彼の事務
本部は白聖館におかれることとならう

この任命はネルソンが再度重慶に出發する前に行
はれたもので任命にあたりルーズヴェルト及びネ
ルソンは書翰を交換してゐるが、ルーズヴェルト
はその書翰でネルソンが重慶から歸還するのを待
ち彼を再び太平洋戦域に派遣する意向があること
を述べてゐる

亡命波政權米國に泣き付く

(ストックホルム二十一日發) ソ波紛争はモスク
ワ會談以來全くの行詰り状態にあるが、ロンドン
來電によれば亡命ポーランド政權は遂に米國に泣
きついて窮境打開を圖らうと決意した様子で、ミ
コライチクは二十一日米國政府に對し國境紛争問
題に介入を要請したといはれる、ソヴェト政府は
ミコライチク政權に對しカーゾン線以東をソ聯領
に編入する代償として東プロイセン及びシレジア
地方の割讓を提案してをり、モスクワ會談におい
てはチャーチルもソ聯の提案を支持してミコライ
チクに新國境線の承認を強硬に迫つたが、ミコラ
イチクは國境問題の解決を戦後まで繰り延べるこ
とを主張して譲らず、遂に物別れに終つた、英國
政府に見放された亡命ポーランド政權は今回米國
政府の介入に最後の頼みの綱を求めるに至つたわ
けだが、過般居中調停を中入れてスターリン議長
に一蹴された米國政府が簡単にミコライチクの泣
訴に應じて再び面子を危險に曝らすとは考へられ
ない

ユーゴ政權首相

(ストックホルム二十日發)

モスクワ訪問

モスクワ來電 亡命ユーゴ政
權首相兼外相イヴァン・スバ

シツチは隨員數名を随へ二十日モスクワに到着、
キエフ停車場においてソ聯外務人民委員部次長マ
イスキー氏及びソ聯駐在英國大使館員の出迎へを
受けた、スバシツチは到着後クレムリンにモロト
フ外務人員委員を訪問、直ちに會談に入つたが、
内容はまだ發表されない

英國内閣の一部改造

(ストツクホルム二十一日發) ロンドン來電ニ英國の首相チャーチルは二十一日夜次の通り内閣改造を發表した

西亞常駐相

サー・エドワード・グリツグ

西アフリカ常駐相

ハロルド・バルフォア大佐

公共事業相

ダンカン・サンデース

空軍省次官

ルバート・ブラブナ

供給省次官

ジョン・ウイルモット

同時に經濟戦争省を近く廢止する旨發表した、なほサンデースはチャーチルの女婿で供給省次官から閣僚の資格をもつて事業相に轉じたわけだが、當年三十六歳最年少の閣僚である

ルーマニア政權危機に立つ

(ストツクホルム二十一日發) 裏切りルーマニア政權はソヴェト政府の要求に基づき過般内閣を改造して共產黨出身の閣僚を六名に増加したが「赤い星」紙その他ソヴェト言論機關の同政權攻撃は依然止まず同政權は重大な難局に立つてゐると傳へられる、ヴィシンスキー外務人民次長は現在ブカレストに乘込み休戰協定の履行を嚴重監視してゐるが既にルーマニア代表委員は辭任して外務次官がこれに代つたが更にブカレスト來電によれば二十一日に至り國內の「半軍事的組織」は悉く解散を命ぜられたといはれる、但し半軍事組織が所謂ブルジョア的防衛團特にユリウス・マニエウの國民防衛隊を指してゐることは疑ひなく、モスクワ放送局の如きルーマニア政權今回の發表に先立ち國民防衛隊に對するマニエウの布告を扱き下し赤軍司令部は自ら義勇軍と稱するバルチザン部隊を掃蕩したと報道してゐる

イラン

(ストツクホルム二十一日發)

新首相決定

テヘランからのタス電報によればイラン國王レザ・シャー

パーレヴィは二十日夜バジャートを召致、サエド内閣總辭職の後を受けて新内閣の組織を命じたといはれる

太平洋戰の困難を強調

(リスボン二十日發) ニューヨーク來電ニ第六回戰時公債募集開始に當り大統領ルーズヴェルトを初め陸海軍首腦はそれぞれ聲明、演説を以て米國民に對し戰爭努力の強化を要請したが彼等はいづれも申合せたやうに太平洋戰の困難を強調した、主な聲明演説次の通り

△海軍次官バード

太平洋戰に勝利を得るためには米國はその有するあらゆる資源をこの戰ひに投げ込まなければならぬ、現在海軍は攻撃用船舶並びに重火器用彈藥に不足してゐる

△聯合艦隊司令長官キンダ

現在の戦局は概括的にいつて昨年の豫想よりも順調に進んでゐる、しかし歐洲戰が終了しても太平洋には依然として困難な長期戰が控えてゐる

米國軍の作戰速度が増すに従ひ軍需生産の上にも新しい問題が発生して來た、例へば攻撃用船舶並びに輸送船の建造は軍の作戰に間に合つてゐない、ロケット砲も不足を告げてゐるが、この兵器に對する海軍の生産計畫は今年第一四半期の八百萬弗から第三四半期には實に一億六千六百萬弗にまで擴張した、さらに沿岸施設攻撃に必要とする高性能の彈藥も不足してゐる、海軍はこの種彈藥を明年には現在より五割方多く必要としよう、その他海軍の不足軍需品は前線艦艇修理品、或る型の飛行機等だがこれらの不足は正されぬ限り太平洋における米國軍の作戰計畫は遅延を餘儀なくされよう

△海兵隊司令官ヴァンダーグリフト

米國軍が日本本土に近付くに從ひ日本陸上兵力との決戰が迫るがこの陸上兵力との戦ひはいよいよ困難なものとならう、歐洲戰に比較して太平洋における補給は極めて困難である、例へば太平洋で輸送に要する費用は四分の一多く一方同戰域に作戰中の機動部隊は歐洲戰域に比し二倍の輸送船を必要とする、太平洋戰爭は歐洲侵入作戰よりも更に多くの水陸用戰車、航空母艦補給用船舶、石油、ガソリンなどを必要としよう

【英 帝 國】

徵兵制問題なほ紛糾

カナダ政廳急遽議會召集

(リスボン二十日發) 從來カナダ政廳は國內防衛軍にだけ徵兵制を施行、海外派遣軍は専ら志願制に依存してゐたが、數ヶ月前から七千名に上る徵募兵が、徒らに國內駐屯の安易を貪つてゐるとの非難が持ち上り、海外に派遣して戦闘に従事させては如何といふ議論が沸騰するに至つた、十一月三日の「タイムズ」紙オッタワ特電によれば前國防相ジェームス・ロールストンの如きは終始強硬に以上の見解を主張、特に歐洲戰線巡察から歸つてからは志願兵だけで派遣軍の兵員を補充することは將來困難となるに相違ないとの見地から、速かに兵力を調査して徵募兵の海外派遣を斷行するやう建言した、政廳は同人の建言に基づき一週間餘に亘つて種々檢討を加へたが、閣僚の大半は海外派遣軍に關する限り、従前通り志願制を維持することを主張したため、首相マツケンジー・キングは徵募兵派遣案を拒否し、陸相は十一月二日遂に辭表を叩きつけ後任陸相として前海外派遣軍司令官アンドリュ・マクノートン大將が就任するに至つた、ついで十日新陸相は徵募兵派遣を主張した海外派遣軍參謀次長ケネス・スチュアート大將を罷免した

徵兵制拒否の理由

十一月十二日のロイター電によれば、新國防相マクノートンは就任の挨拶に代へて、海外派遣軍に關しては志願制が最も國情に適するゆゑこの制度を維持する旨言明した、首相キングも十日ラジオを通じて次の三點を理由として徵兵制拒否の態度を闡明してゐる

一、現在増員を必要とするのは陸海空三軍のうち陸軍だけだが、一九四三年九月三十日まで召集した陸軍兵力は十五萬、現在徵募兵として服務してゐる兵員は六萬八千名に過ぎない、残り八萬二千名のうち、病氣その他で除隊し、または海軍並びに空軍に志願した兵員を除き、四萬八千名が海外出征を志願してゐる、反樞軸軍が

歐洲に上陸して以來國內駐屯軍のうち海外派遣を志願する兵員數は徵募兵として國內に留る兵員數を凌駕してをり、海外部隊の補充は徵兵に待つ必要がない

一、増援部隊の訓練不足が種々論難されてゐるが軍當局は増援兵員の訓練は極めて満足すべき状態にあると言明してをり、最近のシエルド河口におけるカナダ軍の殊勳に徴してもかかる議論が當らぬのは明らかである

一、徵募兵が海外派遣を志願すれば當該兵士は新たな人生觀と新たな自信を持つやうになり、量においてのみならず、質においても優秀な兵力を志願制によつて確保出來よう

前陸相初志を曲げず

一方オッタワ來電は十三日ロールストン前陸相が長文の聲明を發表、依然として徵兵制施行のために闘つてゐると報じてゐる、要旨左の通り

余の調査したところによればカナダ陸軍の兵員損害補充はいまだ十分とはいひ難いから、徵兵制が施行されなければ、海外派遣軍を縮小するか、あるひは他の反樞軸軍に合體するの已むなきに至るであらう、しかしかかる措置は前線將士の勞苦に對しても決して良策であるとは思はれない

なほ首相キングは一月の下院を繰上げて十一月十二日召集する旨發表したが、右議會において、信任投票に訴へて海外派遣軍志願制繼續を主張する心算らしい、既に久しきに亘つた徵兵問題を繞る論争は遂に陸相の辭職にまで發展したが、現内閣の施政に對する非難は今後愈々激化すると豫想される

米 國 に

困難を訴ふ

(リスボン二十日發) 武器貸與協定の更改で五十億弗の對米借款問題を繞り最近米國內には今後の對英武器貸與について反對運動が昂りつつあるので英國は種々米國泣落し策を弄しつづつある模様だ、例へばニューヨークの英國供給省代表ベン・スミスは最近公開演説で次の通り述べた 今日まで英國の戦費は、二百五十億ポンドにも達してゐる、これにたいして英國の外國貿易は

同盟通信

海外電報

(第三郵便機關)

一九三八年の三十パーセントまでに減少してゐる、英國は更に海外資産を全部使ひ切り、戦後支拂能力のある國として残らんためには戦前より五十パーセント方貿易を増加しなければならぬ

一方「デーリー・スケッチ」紙も最近の社説で英國の苦悶を綿々と次の如く口説いてゐる

英國が今次戦争において如何に大きな損害を受けてゐるか世界は全然知つてゐない、戦争勃發から本年六月末までにドイツ空軍の空襲によつて英國市民五萬三千七百四十七人が死亡し、六萬八千九百九十八人が負傷してゐる、數百の英國都市村落が廣範圍にわたつて破壊された、ロンドン市内においては甚大な損傷を蒙らない區はただの一つもない、ドイツのV一號は百二萬七千九百九十五戸を破壊損傷した、ロンドンだけでも二十五萬五千戸が完全に破壊された、或る期間には一時間に七百戸が損害をうけたこともある、英國は食糧、ガソリン、ビールやタバコの不足に不平はいつてゐない、英國は管制下の眞暗闇や石炭不足や焼出されに慣れてしまつた、しまひには米國における英國の銀行勘定並びに證券投資を犠牲にした

伊 外 交

(リスボン二十日發) ロンドン來電によればロンドン駐劄

代 表 着 英

ボノミ政權外交代表ニコロ・

カランジニ伯は二十日空路ロンドンに着任したと傳へられる、右はイタリー參戰以來最初の英國における外交代表で大使と同等の待遇を受ける筈である

印 度 無 黨 派

(リスボン二十日發) ニュー

會 議 を 開 催

デーリー來電印度無黨派會議議長バハドル・サプルーは十

九日次の通り發表した

ガンジー、ジンナー會談が終つた後印度無黨派團體常設委員會は印度刻下の政治情勢並びにこれが可能な解決方法を検討するため會議を召集した、會議は二日に亘つて繼續され少數派に關するあらゆる問題また少數派内部の政治的解決を共に協議し更にこれについて報告するため二十名の委員を選任することに決定した、右によ

つて得た報告は他日無黨派團體に提出される、既にガンジー翁は印度問題を解決に導くやうな一切の問題について余を支持する旨公約してゐるが余は同様の取極めをするために近くジンナーと會ひたいと思つてゐる

【反樞軸陣營】

國 際 機 構

(チューリッヒ二十日發) 英國通信社エクスチエンジ・テ

會 議 再 開 か

レグラフのモントリオール電

が國際消息筋の言明として傳へるところによると反樞軸諸國は過般のダンバートン・オークス會談の仕上げを行ふため明年一月十五日からモントリオールで戦後國際機構會議を開催することとなつたといはれる、この會議には反樞軸十四ヶ國の参加が豫定されダンバートン・オークスで未解決のまま残された問題を解決するとみられるが新國際機構には米、英、ソ、重慶、佛の五國に加へカナダも常任理事國として参加するだらうとの觀測がある

【ド イ ツ】

ソ ヴ エ ト 外 交

(ベルリン十七日發) ワシントン駐劄ソヴエト大使館の機

原 則 を 論 駁

關誌が發表したソヴエト外交

の六原則について外務省當局は七日正午次の見解を表明した

ソヴエト政府が他國の内政に介入し、主權の平等を認めず、機會ある毎に帝國主義的膨脹政策を遂行しソヴエト體制以外の國々との間に平和的關係を維持し乃至開始せず、要するにいはゆる六原則とはおよそ反對な政策に出てゐることは最近中立國筋では勿論米英兩國ですら新聞界で公然指摘してゐるところだ、實例は全く枚舉に遑がない、ルブリン政權の樹立はポーランド内政に對する干涉だ、ルーマニア、ブルガリア兩國政府を覆へして共產勢力の強化を圖リスイス、スペイン、イラン各國の内政にも重壓を加へてゐるではないか、ソヴエト大使館の發表は米國內の輿論を鎮めようとの意圖に發してゐると思ふがいふところは行ふところと全然違つてゐることは蔽ひ難い

【米 洲】

米海軍の増強を誇る

(リスボン二十日發) ニューヨーク來電「海軍長官フオレストは二十日第六回戰時公債募集開始に當りミネソタ州のミネアポリスで演説、次の通り述べた

米國が大規模軍擴工作を開始した一九四〇年七月一日以來米國艦隊にはあらゆる型を含む、總計七萬一千隻の艦艇が新たに編入された、この期間に議會が承認した海軍關係豫算は全部で一千百八十億弗の巨額に達し、このうち最大の項目は建艦費に當てられ總額二百八十五億弗、これにより先月末における艦隊勢力は一九四〇年七月一日の勢力に比し五倍半となつた、第二の項目は海軍航空部隊増強費で前記の期日から海軍が受け入れた飛行機の数に六萬二千機で實に二十倍の勢力となつた、兵器關係費は五十八億弗だが、新艦艇に對する裝備費は含まれてゐない、かくて米國は今や世界最大の海軍國となつた、米國海軍は開戰以來三ヶ年間に六萬一千隻の船を使用して太平、大西兩洋における兵員及び軍需品の輸送を行つた、更に敵前上陸において百三十萬の攻撃部隊を揚陸させた、今やドイツの敗北は必至である、しかし日本の戦力を撃破することはわれわれが考へてゐるよりも困難な事業となるかもしれないが、米國は再び前大戰後において犯したやうな過ちを繰返してはならない

海軍新豫算

(リスボン二十日發) ワシントン來電「下院海軍委員長ヴァンソンは二十日下院に五千萬弗の海軍新豫算案を提出した、この豫算は海軍關係軍需生産施設の増設のためだが、上院にも二十一日同内容の豫算案が提出される筈である

一日の戦費

二億五千萬弗

(リスボン二十日發) ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは二十日第六回戰時公債募集開始に當り演説を行ひ、米國が現在一日平均費消してゐる戦費は二億五千萬弗に達すると述べた

更に艦船の損害を發表

(リスボン二十日發) ワシントン來電「海軍省は西南太平洋戰域において日本軍の攻撃を含む艦船十隻を喪失した旨二十日夜發表した、これは比島沖海戰における損害を含まないが、この結果開戰以來の海軍損失は二百八十八隻となつた、今回發表された艦船は次の通り

驅逐艦アブナー・リー(二、一〇〇トン)
護送用驅逐艦エヴァーソール、シエルトン
機雷敷設艦YMS 70
快速魚雷艇三二〇、三二一、三六八、三七一
艦隊曳船ソノマ
上陸用船一〇六五(ニューギニア方面で敵の攻撃もしくは暴風により喪失)

グ ル の 使 命

(リスボン二十日發) ワシントン來電「前駐日大使グルーは最近パール・ハーバーを訪問太平洋方面軍首腦と會談して十八日ワシントンに歸還したが、國務次官ステヂニアスは二十日の新聞會見で次の通り述べた

グルーの使命は太平洋戰域における軍事行動と國務省の事業との協力強化をはかるにあつた、これは米國が太平洋作戦に重點を移しつつある一つの證左である

小鐵鋼樣式に死刑を宣告

(リスボン二十日發) ワシントン來電「戰時勞働局長官デヴィスを委員長とし、一九四三年十月二十日大統領ルーズヴェルトの特別命令によつて組織された「戰時生計費特別調査委員會」は十八日その調査報告を發表したが、一九四一年一月以來勞働階級の生計費は二十九乃至三十三パーセント方昂騰したことを確認した、尤も右報告は一面低額賃金俸給所得階級の經濟的地位は一九四一年以來大いに改善されたことを主張してはゐるが、一方では質の低下、安廉消費物資の缺乏特別廉賣制度の消滅などによる戰時の「かくれたる生計費の昂騰」を認め、勞働者の勞働統計に現はれてゐる生計費指數には三乃至四パーセントポイントの追加が必要であると主張、政府の生計費指數が不正確であることを指摘してゐる、米國戰時勞働賃金を規定する根本原則たる「小鐵鋼樣式」の廢止問題を繞り政府は從來勞働者の生計費統計を楯にして斷乎右樣式の堅持を主張して來た

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

未然に發覺した旨二十日言明した

【歐洲】

ベルギー政情 (ストツクホルム二十日發)
依然不安
ブリュッセル來電によれば、ベルギー政權の非常大權法案を繞るベルギー國內の情勢は依然緊迫を呈してゐると傳へられるが、ピエロ首相は飽くまで彈壓政策を推進するため二十一日國會に對し

しかし大統領によつて任命されたデーヴィス委員會が政府の統計に不信任を表明した以上、賃金政策に關する政府の立場は根本から覆がへされたわけであり、政界、勞働界はデーヴィス報告をもつて小鐵鋼樣式に對する死刑の宣告と見做してゐるやうだ、議會方面でもデーヴィス報告が發表された以上小鐵鋼樣式廢棄は必然とみ今後勞働賃金の全面的引上げを豫想してゐる

武器貸與の削減を要求

(リスボン二十日發) ニューヨーク來電 最近對英武器貸與協定延長反對運動が起つてゐるが商業會議所の外國貿易委員會は二十日武器戰爭物資及び食糧の貸與削減を要求した、聲明を發した同委員會は米國は貿易生産品の正常な輸出に復歸すべきであると提議した

勞働組合

(リスボン二十日發) ニューヨーク來電 A.F.L.の年次大會は二十日から會期二週間の豫定でニューオーリンズで開催され、一方C.I.O.の第七回年次大會も二十日シカゴで開催された

重慶改組の反響

(リスボン二十日發) ニューヨーク來電 重慶政府更迭の報道は二十日の重要報道の一つとして傳へられ、ニューヨークの夕刊紙は全部この報道を第一面に掲載、例へば「ワールド・テレグラム」紙は「蔣六部長を罷免」と大見出しをつけ、特に在米中の孔祥熙がスチルウェル事件の結果、軍政部長何應欽と共に失脚したことを指摘するなど各紙大々的に報道してゐる

伯兵、亞國境に集結

(リスボン二十日發) リオデジャネイロ來電によれば相當有力なブラジル軍部隊がアルゼンチンとの國境に集結してゐるといはれる、ブラジル政府當局もこの事實を認めてはゐるが、ただこれは單なる警戒措置に過ぎず、緊急事態が起つた結果とられた措置ではないと言明したと傳へられる

ヴェネズエラ

(リスボン二十日發) カラカス來電 ヴェネズエラ政府當局は同國軍部内の反政府分子が首都カラカスにおいて蜂起せんとしたが陰謀は

一、公開會合乃至示威運動を禁止し
一、一切の通信を檢閲し當局で保管乃至沒收し
一、敵軍の役に立ち乃至ベルギー人の士氣を沮喪する惧ある新聞、書籍、小冊子、ポスター並びに情報公表、撤布、販賣を阻止する
に必要な措置を講ずる權限を國防省に賦與する法案の提出を決定した

同時にベルギー駐屯軍司令官エルスキース將軍は反樞軸軍はベルギー國內の治安維持に必要な場合ピエロ政權の求めに應じて出動する旨聲明したため國內の左翼は少からず激昂し共產黨機關「赤い旗」紙の如き二十日の紙上で

かくてはベルギーはアフリカ植民地の地位に墮するであらうと敦囑いてゐる

波政權米國に介入を泣訴

(ストツクホルム二十日發) ロンドンからのAP電報によれば、亡命ポーランド政權首相ミコライチクはモスクワ會談で英國に見放された結果最後の綱を米國に求め、二十日米國政府に對して再度紛争の調停を要請したといはれる、以上はポーランドの戦後の獨立と新バルト國境線の保障を米國に求めようとする偉い努力だが、既に米國はソ波紛争の居中調停を買つて出てソヴェト政府に蹴られた事實があるため、再び面子を潰してまでもミコライチクの泣訴に應ずるかどうかは大いに疑問とされてゐる

【ソ聯】

再び赤都へ

(ストツクホルム二十日發) モスクワからのAP電報によればユーゴー邀撃隊司令チトーは十九日モスクワに到着、亡命ユーゴー首相スバシツチも近くモスクワに乗込むと傳へられる

【東 亞】

重慶政權遂に改組

(リスボン二十日發) 重慶來電「重慶國民黨中常會は二十日午前の會議において重慶政權の改組を決定した、主な更迭次の通り(括弧内は前任者)

軍政部長	陳 誠 (何應欽)
財政部長	俞 鴻 鈞
教育部長	朱 家 驊
宣傳部長	王 世 杰 (梁寒操)
內政部長	張 礪 生 (周鐘嶽)

國共合作の根本障礙なし

孫 科 の 言 明

(リスボン十九日發) 重慶來電「重慶政府立法院長孫科は國共(重慶延安)和解問題に關し「ニューヨーク・タイムズ」紙記者との會見で次の通り評した

「米國內にはソ聯が重慶政府に對して中共(延安)を支持し、支那を共產國家に變へることを狙つてゐるものと疑つてゐる人々がある、余はそれが問題に對する正しい見方ではないと思ふ、ソ聯は支那に國內的不和を見ることを望まないと余は信ずる、ソ聯は強力で統一したしかし民主主義的な支那をみることを望み、戦後を通じて支那を導く民主主義的ブロックを結成するため國民黨と中國共產黨が共に活動するのを見たいと望んでゐるものと信ずる、ソ聯は強力に統一した反民主主義又はファシスト支那を恐れるであらう、そしてこの場合ソ聯は將來の摩擦に對して自己を護らざるを得まい、従つてソ聯の線と米國の線とは一致する、支那の情勢に對してソ聯と米國の間に猜疑を起さないことが大切である

余は現在でもなほ支那の政治問題を解決する機會はあると考へる、一部のものは國共兩者間の和解成立を工作し、双方とも過去の不和を忘れるのが大事といふことを悟るやうに仕向けてゐる、最も重要なことは如何にして戦線を鞏固にし、この上の後退を阻止し、全面的崩壊を防止し、戦争努力を再び結合するかにある、このことは國內紛争

がいまだに未解決では達成不可能だ、我々はこれと同時に戦後の再建にも備へねばならない、余は獲得すべき諸目標には大して根本的な相違がないと考へる、國民黨も中共も獨立した強力な民主主義支那を望んでゐる、双方とも支那は鞏固となるためには工業化されねばならないと信じてゐる、もしわれわれが變化を強調し過去の不和を忘れればわれわれは互ひに信頼することが出来る、中共は重慶政府を顛覆しようと企圖するであらうか、余はさうは考へない、たとへ國民黨が今日政權を放棄するつもりで、その權力を中共に手渡さうと試みても中共はこれを受け容れないだらう、中共には支那の政府に参加する意志があるのであつて支那の政府を破壊しようとは望んでゐない、中共は愚かな國民ではない、彼らは支那が將來長い間共產主義を達成することが不可能であることを知つてゐる、彼らはマルキストを信じ、これを終局の目標として努力してゐるが、彼らは支那が現在の時代遅れの封建主義から一夜にして共產主義のユートピアに飛躍し得ないことを知つてゐる、彼らは漸進的發展の期間が必要であり、この發展は民主主義的漸進の線に沿つたものでなくてはならぬと信じてゐる

若しさうだとすれば紛争の根本原因はなく、國民黨は中共と共に仕事をすることが可能だ、目先の危機は今である、その後二十年三十年にわたつてわれわれは支那を建設しなくてはならない、國民黨は民主主義の採用に努めるべきである、支那の國民が民主主義を望んでゐることは疑ひなく、支那の天性は民主主義的である、支那民衆は文盲ではあるが若し問題が説明されれば民衆の反響は健全であり、これに支持を與へるであらう」

送油管工事

一部 完 成

表した

(リスボン二十日發) ニューデリー來電「印度駐屯米軍司令部當局は二十日次の通り發
印度からビルマ地方を経て支那に至る二千八百八十キロにおよぶ送油管敷設工事の主要部分は完成した

特輯

英國政界の底流

長谷川才次

新機運の擡頭

チャーチル首相が十月三十一日下院における演説で、歐洲戦争の短期終結を當てにする樂觀論に三斗の冷水を浴びせた結果英國政界に低迷してゐた總選舉氣構へも一應解消したやうだが、同時に一九四五年十月には愈々總選舉だといふ見透しのもとに政界が逐次聯立内閣解體の機運を呈してゐることは蔽ひ難い、首相が下院で特に聯立内閣の存續を希望した事實からも明らかな通り、十月上旬からの言論界の論調をみてゐると、内政部面に一つの新しい機運が擡頭してゐることは明らかだまづ週刊「エコノミスト」誌の十月十四日號に出た「再び政治へ」と題する卷頭論文を検討しよう

聯立内閣の崩壊 自由黨と勞働黨とは、次の總選舉には獨立した政黨として獨立した政綱をもつて戦ふ旨の決定を發表した、保守黨はいはゆるボブソンの選擇に當面し同じく獨自の立場で總選舉に臨もう、既に政界の雰圍氣は高度に「充電」されてゐる、週末におけるイーデン外相とアトリー副首相の演説は早くも選舉演説の徵候を呈し、社會保險計畫についてそれぞれ自黨の大きな貢獻を強調してゐる、聯立制は現實に著々薄つべらになりだした、勞働黨は「聯立内閣のやうな一大企圖が悲惨な角突合ひに終るのは寔に面白くないから威嚴といひ感情のうちに」解體されるに至ることを要望してゐるが、現状では勞働黨の懸念してゐるところが正に起つてきさうな形勢だ、都市復興法案の補償條項に關聯して持上つた危機は、來るべき幾多の危機の最初であらう、派閥の利害關係の牽制壓迫は非常に強いので、チャーチル首相の聲望をもつても各政黨を結集しておくことは出來まい、要するに政黨の團結は國家的危機の場合以外期待出來ぬといふのが眞相だ、ダンケルク當時の借調は各人思ひ思ひの曲目を歌ふ合唱隊で維持

して行くことは出來ない、戦争施策の期間は終了を告げ、政治の内容は今や數年にわたる再建と復興とにほとんど全的に向けられねばならない、勿論右期間に際しても危機年度はあらう、不足と失業とに對する經濟戦争にはドイツ軍に對する軍事的戦争と同様大きな國民的努力と同じ程度の團結が必要であらう、従つて論理的には聯立内閣を維持して行く立派な理由があるが心理的には聯立内閣は崩壊せざるを得ない

總選舉に各派對立 戦争については目的について意見が一致してゐるばかりでなく手段についても意見が一致してゐる、しかし平時に際しては目標が一緒だといつても、大綱についてだけでしかも手段に關しては殆んど全く意見が合はない、都市復興法案に關する袋小路が、平時の諸懸案について聯立内閣が如何に無力かを示す適例だ、各政黨がそれぞれ政策をもつてをりしかも聯立内閣には全然政策がないといふことだ、政治上の豫想に耽つたり次の下院における勢力分野を推定することとは勿論危険だが仲々魅力の多いことだ、補缺選舉の結果で判斷すれば總選舉の結果は左翼へ傾かう、出征兵士の意向はまだ打診されてゐないが、彼らの見解を勘定に入れれば特にしかりだ、しかしチャーチルの名前の魔術は選舉權者の流動大衆に大きな影響を與へるに違ひない、これら數百萬人の分子は政治的には無能で補缺選舉の際には殆んど投票せず、また黨派のレッテルなどには一顧をもちへないが、結局總選舉において決定的な發言權をもつてゐるわけだ、恐らく保守黨は戦争による英雄と青年候補とを一番多く押し立てることが出來よう、自由黨は現在の選舉制度のもとでは不利だが、下院における勢力を擴張しよう、勞働黨はあまりに窮屈な理論に捉はれて政治的色彩のない選舉民に訴へる機會を失ふかも知れない、聯邦黨は勞働黨との合作を要望してゐるが共產黨からの申入れと同様却下されよう、同じ理由に勞働黨は自由黨との選舉協定を絶対に受け容れないだらう、要するに前大戦より今度の戦争に至るまでの型の總選舉が少くとも、もう一度繰返されよう保守黨は權力に重點を置き、勞働黨は純潔を尊ぶ英國民は恐らく双方の希望を満足させるであらう

注目される共産黨年次大會

勞働黨出身の閣僚は十月二十八日週末を利用して全國執行委員會代表と協議を遂げた結果、少くとも歐洲戰爭が片付くまで聯立内閣を支持する旨、チャーチル首相に通告したと傳へられるから、首相は以上の公約を基礎に三十一日に演説したに違ひない、勞働黨は十二月の黨大會で聯立内閣との協力、總選舉對策、聯邦黨、共產黨からの合流申込に對する處置等を決定するが「デーリー・ヘラルド」紙の報道によれば十月三十日全國執行委員會の結果、聯邦黨の申込みを拒否するに決定したといはれる、要するに共產黨の場合と同様で黨派の合作を受け容れることは出来ないが、各政派の黨員が個々に勞働黨の「憲法」を受け容れやうといふなら、勞働黨の政策を受け容れるのは自由だ、但しこれらの個人は勞働黨に對し全的忠誠を致さねばならない

といふのが勞働黨の立場だ「デーリー・ヘラルド」紙の政治記者は以上勞働黨の政策について

政黨の重複は徒らに選舉民を混乱に陥れるばかりだと勞働黨では考へてゐるが、右決定は十二月の大會で確認されよう

と報道してゐる

勞働黨はかつて除名したサー・スタフォード・クリップスの復黨を認めたが、共產黨や聯邦黨との人民戦線結成には「エコノミスト」誌の指摘する通りあくまで「純潔」を示してゐるわけだ、一部の見方によれば英國政界には小黨解消の動きがあり、共產黨、聯邦黨が勞働黨に近付かうとしてゐるのと同時に國民自由黨は保守黨に合流する形勢にあり、特に同黨から脱退したホア・ペリシヤ元陸相が保守黨に入らうとしてゐると傳へられるが以上の動向よりも一層重要なのは共產黨の擡頭だ、十一月上旬に出た「エコノミスト」誌は特に共產黨員の数は少いが黨員数と比較にならぬ位の勢力を持つてゐるから、共產黨の年次大會は從來のやうに看過することは出来ない、特に聯邦黨と同様青年層に勢力を張つてをり、年次大會に出た代表七百四十五名の平均年齢は三十二歳だ

年次大會は十月下旬ロンドンで開催され三十日「炭坑即時國有」決議案等を採擇して終了してゐるが、「タイムズ」紙が右大會の経過を報道してゐる點からも共產黨の擡頭を窺ふことが出来るよう各派と足並みを揃へて保守黨も幹事長を任命して總選舉對策に乗出した、十月三十日の「マンチエスター・ガーデアン」紙は次の通り報道してゐる

大藏省財務次官ラルフ・アシュトン氏は、チャーチルの要請に基き健康が勝れないため辭職したダグデール少佐の後任として、保守黨機構委員長に就任した、アシュトンは保守黨のホープで總選舉に純粹な保守黨内閣が出来れば必ず閣僚の班に列せられよう、彼は勞働省でサー・アーネスト・ペヴィンの副官としても大藏省の財務次官としても手腕を示した、今度は總選舉を前に保守黨の黨機構を整備する仕事だ

「ヒヴァリツチを凌ぐヒヴァリツチ案」

今英國政界で一番大きな問題の一つは社會保險法案だ同案に對しては保守黨乃至財界筋に相當反對あり、左翼が飽くまで同案を押し切らうとしゐるのと際どい對立を示してゐる様子だ、チャーチル首相は群議を排してあくまで同法案の實施を圖る肚らしく、藏相サー・ジョン・アンダーソンも財政上の見地から英國の經濟力は十分社會保險法案の施行を擔當出来ると大見榮を切つてゐるが、同法案に對する英國政界の空氣を傳へるため、次にロンドン各紙の報道を掲げよう

「デーリー・テレグラフ」紙十月廿六日 英國政府に對し次の總選舉が済むまで社會保險法案の實施を延期させやうといふ驚くべき動きが二十五日議會でなされた、保守黨議員ワルトロー・スマイザースとガーネー・ブライトワイト兩人の名で動議が提出されたが、右動議には「社會保險制度を確立しようとする企圖には賛成だが、英國の經濟的財政的將來が坩堝の中にある際、到底實現出来さうにもないやうな希望を起させるに過ぎぬ提案に同意することは出来ず、少くとも海外に出征してゐる幾百萬の有權者が、意見を述べるまで待つのが至當である」と述べてゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

また上院においては英國が果して社會保險法案を賄つて行けるかどうかについて鋭い議論の對立が起つて、テヴィオト卿は忽ちにして「素晴らしい新たな世界」が出来るといふ期待をもたせ、英國民を「阿呆の天國」に陥れる當局の遣り口を痛烈に非難し、グラスゴー伯は社會保險法案を危険且つ無思慮と斷定した

「ニューズ・クロニクル」紙十月廿七日 左翼の評論家として知られるA・J・カミングスは右紙上で社會保險法案を繞る政界の動きについてつぎのやうな興味ある内情を傳へてゐる

チャーチル首相は十月二十四日下院でサー・ウィリアム・ピヴァリツヂ教授と握手し暫時愉快に話し會つた、以上首相の特別に友好的なジェスチュアにたいし下院の各派は單に社會保險法案の生みの親に好意を表明しただけではなく、あくまで同法案の成立を期する政府の意圖を物靜かに指示したに他ならないとの解釋を下してゐる、ところが或る保守黨議員が早速反撥し、總選舉が済むまでは社會保險法案に同意出来ぬといふ動議を提出同狀で保守黨議員全部の支持を求めた、同狀にはつきり述べてゐる通り法案によつて英國は「全體主義」の過程に踏み込み、抜き差しならなくなるし、實際英國の國力ではかかる法案を賄つてゆけないからとの理由で法案の無期延期を主張してゐる譯だ、しかし政府は非常に深く公約を與へて了つてゐるし、輿論は飽くまで社會保險制度を確保する決心だから再選を期する多數の保守黨議員が公然かかる見解に同意して、政治的生命を賭したから寧ろ不思議な位だ、肚のなかでは社會保險制度など初めから嫌いな頑迷な保守黨議員は、もう少し上品な理由を見付け一層巧妙な遷延阻害工作に出るに違ひない、社會革新に關する教授の一大施策が苛烈な争ひを経ずに法典に載ると思つたら大變な間違ひだ、教授の報告書が最初に發表された當時、政府の一部、保守黨議員の大半と地方における彼等の一味が少からず不安を感じたことを想ひ起す必要があらう、そこで初めの間は報告書の高尙な理念にたいし、お世辭を並べてゐたが、暫くして一般國民の興奮がひくとともに、保守黨出身の各省長官連と陣笠連は全國を遊説して教授の社

會保險體制が、別底實施出来ぬ旨を強調した、しかし逆宣傳は英國人全體に對しては、殆んど何らの效果も擧げなかつた、そこで保守黨の宣傳は新たな動向を示すに至つた、厄日が無期延期されるか乃至少くとも保守黨が絶對多數を制する下院が再選されるまで、厄日を延ばさうといふ漠然たる希望のもとに、厄介な社會保險法案を出来るだけうまく骨抜きにしようといふのが、保守黨黨人の意圖だ

「ピヴァリツヂを凌ぐピヴァリツヂ案」(outbake ridge Beneridge)、を政府が提出するぞといふ標語をはじめたのは保守黨の閣僚だが、長い間遅れ舞臺裏における深刻な「良心の吟味」の後愈々白書がでたところ保守黨の主張は、要するに教授の報告をさらに改善したのを自慢するにあつた、大分前に或る保守黨議員が「若しわれわれが社會保險制度を受け容れなかつたら商賣をなくして了ふだらう」と洩らしたことがあるが、以上自己保全策が保守黨の大多數もまた、社會保險法案の成立を圖るに違ひないといふ、最も確かな保障であらう、若い保守黨議員はこんな利己的な考へからではなく社會保險法案を支持してをりチャーチル首相もまた法案の成立に政治的生命を賭する決心ださうだ、ここに法案といふのが骨抜きの法案では何ら法案全體といふ意味なら前途は好望といへよう

労働運動に一轉機

社會保險法案の討議に當つて特に目立つた批判は英國の經濟力では法案を實施出来ないとの保守黨の見解と政府の提案は國民の期待に添はないとの左翼の主張だ、在野労働黨の首領アサー・グリーレウッドは十一月月上旬下院における討議で「白書はサー・ウィリアム教授の報告を基礎としてゐると稱してゐるが、實際には右報告をすたすたに切りさいなんだに等しい」と論議し、ラスキ教授の主宰する「ニュー・ステーツマン・エンド・ネーション」誌は政府の安價な社會改革政策を非難し、白書を支持する結果労働黨が分裂の危機に當面するだらうと警告してゐる

左翼の理論家ハロルド・ラスキー教授は、一九四四年の始め以來労働黨の副首領の要職にある筈だが、同じく左翼のサー・スタフォート・クリツプスの復讐により、英國の労働運動が一轉機に當面してゐるのではないかとの感が深い、いづれ十二月の黨大會で以上の動向が表面化するかも知れないが、英ソ兩國が軍事上外交上に共同戦線を布く結果、内政部面で左翼が逐次擡頭するのは避け難いところだらう、最後に佐藤リスボン特派員の報告を掲載しよう

樂觀主義から悲觀主義へ

—佐藤リスボン特派員—

歐洲戦局が再び膠着状態に入ると共にドイツ軍防禦態勢が次第に強化するに至つたことは、反樞軸軍のフランス席捲當時に擡頭した英國内の樂觀氣分に痛烈な反省を與へ、英國の國內戦線は微妙な動きを示してゐるが、十月三十一日首相チャーチルが自ら議會期限一年延長の動議を提出するに及んで歐洲戦争をクリスマスまでに片付け、二月三月頃には議會解散から總選舉まで漕ぎ付けられると思ひ上つてゐた英國民一般の樂觀的見透しは根柢から覆へされるに至つた

現在の英國下院は一九三五年選出されたままで既に九年を経過し、現に三十歳以下の有権者で總選舉に投票した英國人は一人もなく漸く國民から遊離するに至つた

チャーチルを初め聯立政府の首脳は、東西兩戦線に困難な戦争を遂行してゐる眞只中で總選舉を執行すれば、戦争努力に重大な障碍を來すのを恐れ、出來ればこのままの態勢で世界戦争の終了まで漕ぎ付けようといふ肚だ、チャーチルは自ら告白してゐる通り、歐洲戦を年末までに片付けようとする米英兩國の目算ははづれ、英國政府の見透しても歐洲戦争は來春の末か夏の初めまで續くと見ねばならぬ、更に世界戦争の終結には彼等の勝手な豫想でもその後一年半を見積らねばならぬと國民に警告を與へざるを得ぬ初目に迫込まれるに至つた、既に戦争長期化につれ英國民の間に鬱積する倦怠焦躁の氣分は、罷業の頻發、議會内の紛糾の悪性化等の形で到るところ露呈するに至つた

從來議會の任期延長動議はモリソン内相から提出され、簡単に内政技術の問題として處理されてきてをり、モスクワから歸つたチャーチルが自ら陣頭に立つて動議を提出すると共にこの機會を捉へて戦争の前途に對する重大な意見を開陳したことは、英國の内政が容易ならぬ困難に逢着してゐることを物語つてをり、同時に近々一、二月の間に戦局の見透しに對する反樞軸陣營の見解が、野放圖な樂觀主義から慎重な悲觀主義に急轉したことを如實に示すといへよう

指導者層への疑念昂まる

先週英國の労働組合會議は、ドイツ労働層を謀略煽動してナチ體制を内部から切り崩す見込は全くないとの悲觀的結論から、ドイツ國民一般にも戦争責任があるとの決議を採擇したが、英國民一般に對しチャーチルに今回の演説が甚大な衝撃を與へたことは覆ふべくもなく、戦争長期化につれて聯立内國の強力な指導の下に國民を結集して行かねばならぬ最も重大な時期に却つて國內の情勢が穩やかならぬ動きを示すに至つたことに對し指導層は深刻な不安と懷疑を抱いてゐる様子だ、現に労働黨内の反チャーチル派ベヴァンは、下院においてチャーチルを攻撃國民の大部分は、今頃までにはドイツは負けると考へてゐた、ドイツ軍抵抗の強化には英國政府の戦争運営に關する心理的指導が拙劣なことが與つて大いに力がある、心理的にもつと巧妙に戦争を遂行してゐたならば、戦争はとうに終つてゐた筈だ」と痛烈に詰め寄つたが、各紙に現れた論説も、戦局膠着に伴ふ國民の前途不安、總選舉見透しに各派議會鬭争の激化等を懸念して、一般に悲觀的氣分に塗り潰されてゐる、殊に日本軍との戦争を遂行するには保守黨内閣が單獨で當つてもいいとのチャーチル首相の口吻は各方面から非常な注目をもつて迎へられた、「タイムズ」「デーリー・テレグラフ」など保守系新聞はいづれもこの點に疑問を差挟み、首相の言明が必ずしも聯立内閣再組織の可能性を度外視してゐるのではないとの希望的觀測を下すと共に東亞反攻作戦の完遂に政黨内閣をもつて當ることの危険性を指摘してゐる

「デリー・テレグラフ」紙の社説は更に議會解散から選舉終了に至る間の國內相剋の激化を豫想して次の通り論じてゐる

歐洲戰爭の終了と共に戰爭努力を歐洲から東洋に切換へる一方一部兵士の復員、産業轉換等の諸問題を控へて現在の聯立内閣解消後豫想される保守黨内閣は、國民の不人氣の矢面に立たねばならず、勞働黨は以上輿論の動きを最大限に利用しよう、現在のところ各派とも選舉戰は内政問題に限定することに意見一致してゐるが、勢の赴くところ各黨がドイツ處理問題でお互ひに泥試合を繰返へすやうなことになるれば、平和處理失敗の第一歩を踏み出す由々しい事態を招来しよう

選舉戰本格化

いづれにせよ今後議會各派が解散を目安に選舉馳引に専念、重大法案の審議遅延から聯立内閣の足並を亂してくることは必至であり、この國內抗爭の激化は外交問題から延いては戰爭遂行の前途にも微妙な影を投ずることとならう、現に共產黨大會が勞働黨を中心に自由黨、共產黨、聯邦黨に保守黨を打つて一丸とする廣汎な人民戰線の結成を提唱したのを皮切りに十二月には勞働黨、二月には保守黨がそれぞれ大會を開催、いよいよ本格的に選舉準備に乗り出すこととなつた、假りに彼等の皮算用が來春までに實現すると假定すれば、聯立内閣解消後は現に下院に多數を制する保守黨はチャーチルを首相に、アングダーソン、ウィルトンなどの有力獨立派を加へて國民自由黨と共に中間内閣を組織し、更に總選舉後も保守黨が多數を獲得してチャーチルが引き続き東亞反攻戰に當ると一般に豫想されてをりチャーチルに政界引退の意志がないことは今回の演説でいよいよ明らかになつたとみられてゐる、一方勞働黨幹部は、モリソンを初め聯立内閣の解消には消極的で、十月初旬發表の勞働黨聲明も次期選舉戰には單獨で戦ふと言明しながら總選舉の時期については、東亞反攻戰の終結まで延期するが如き漠然たる言辭を用ひる等煮えきらぬ態度である、幹部の意向では聯立内閣の再組織も辭さぬとの建前であらう、以

上勞働黨の消極的な態度は黨内にチャーチルに匹敵する指導者がなく、アトリーはスターリン、ルーズヴェルトと太刀打出来る貫祿が缺けてゐるばかりでなくベヴィン、モリソンのいがみ合ひから黨内に少壯急進分子を抑へる迫力のある中心的指導者が見當らぬといふ人物難にも原因してゐるが黨内少壯派は保守黨との聯立には絶對反對の立場を固執してをりたとひ歐洲戰爭の終了後の選舉に保守黨が勝つても東亞反攻戰を一方に控へて困難な國內再建をやり遂げることは保守黨では到底出來ず、國民の廣汎な不満を挑發して、内閣は必ず短命に終るとの見透しから勞働黨本來の面目に立返つて社會主義政綱に基く國內政治活動を強化するやう主張してゐる

反保守黨人民戰線の結成を提唱

勞働黨執行委員會が聯邦黨の合流申込みを拒否したことは、これら反幹部派に不満を與へてゐるが、さらに共產黨は去年の勞働黨との合同提議をとり下げて一層現實的な角度から反保守黨人民戰線の結成を提唱、勞働黨幹部がこれを拒否した場合には單獨候補を立てる一方廣く急進分子を糾合して侮り難い政治的潛勢力を發揮するに至るものと豫想されてをり、勞働黨が保守黨と左翼急進派の双方から壓迫され今や重大岐路に立つに至つたクリスマス前後に行はれる豫定の各政黨下院代表のモスクワ訪問に引續き勞働黨は、單獨にラスキ1教授を代表とする勞働黨使節をモスクワに派遣する豫定だが、ラスキ1はスターリン議長と會談し共產黨がモスクワと完全に絶縁してゐるかどうかを確かめるため重要意見の交換を遂げる肚だといはれる、最近一ヶ月に亘る軍事工場視察を名目に英國を訪問してゐるソヴェト聯邦勞働組合の代表團が、サー・ウォールター・シトラインは英國の勞働組合會議幹部に執拗に働きかけたことは公然たる事實で、ドイツ國民の戰爭責任に關する勞働組合の決議採擇にも以上ソヴェト代表の牽制が與つて大いに力があつたことは「マンチエスター・ガーデアン」紙の社説が指摘してゐる通りだがかく戰爭の長期化とともに英國の勞働黨運動の内部にも左翼の牽制力が次第に伸長しつつあることは英國の内政の將來に重大な問題を提起してゐるといへよう

英誌の西歐ブロック案

「エコノミスト」誌十月七日號

西歐聯合の正當性

一九四〇年と四四年の二回にわたつて、歐洲は英國の力を藉りずには自己の防衛が出来ぬことを教へられた、同様に英國もまた歐洲の西邊を確保しなければ爆撃と侵略の脅威を除き得ないのを知つた、以上の簡単な事實から英佛白蘭四國——これにノルウェー、デンマークの二國も加へてよいだらうが——の間に現在よりも緊密で永續性のある結合を作り出さうといふ翹望が生れるのだ

かういふ考へ方が問題になつてゐるのは英國だけではない、ド・ゴールも數ヶ月前同じやうな見解を表明したし、白蘭兩國は通貨協定を結ぶとともに關稅同盟案の大綱を討議してゐる、兩國は共に親英であり、今週は英白通貨協定も發表された勿論根本的にいへば西歐結合強化案は、恐らく將來再び現れるかも知れぬ侵略的ドイツは別として誰からも反對される理由はない、米國の批判に對しては、本案は汎米聯盟と同様外界に害をおよぼさぬ上、經濟的、文化的戰略的にはもつと深く現實に根を下してゐると答へられる、ソ聯の批評家に向つては、西歐結合強化案の根本概念は、或る一點を除き、ソ聯がフィンランドやバルト諸國、ポーランドやルーマニアに關心を抱くのと同一であり、しかもその一つの點とは西歐諸國の結合は關係各國全體の自由なる同志によつて成立してゐることだと應酬出來よう、西歐諸國自身は主權が完全に回復される限り結合強化に賛成するに相違ないが、彼等に對しては英聯邦の指導者たる英國ほど小國に親切的な國はないといふ事實を指摘すれば足りよう

更に西歐諸國の結合強化が一般的な國際協力組

織成立の邪魔になると考へる根據は全くない、ダンバートン・オークス會議の様子から見ると、一般的組織結成の具體的可能性は可成り制限されてゐると考へねばならぬのだが、假りにさういふ事情がないにしても、西歐に誕生する自由にして平和を愛好する國々の新しい結合は、汎米聯盟乃至英帝國と同様、正しい方向への一步と見做すべきであらう、今のところ全歐の合邦乃至聯邦化を企てるのが現實の政情に即したものでないのは明瞭である、東歐ではソ聯がかかる計畫に絶對反對の態度を示してゐるし、中歐でも今後相當長い間ドイツ人の反對があるであらう、地中海ではスペインの野望とイタリヤの執行猶豫的な地位が妨害となるであらう、従つて試験的な一步を踏出し、主權を更に廣い統一の中に融け込ませる技術を發展させ得る地域は、今のところ歐洲の西邊だけなのである

如何に組織すべきか

この計畫はどんな風に進めたら一番よいであらうか？ 問題に近付く唯一の方法は、形式的に主權を拋棄せずに個々の目標を通じて行くにある、聯邦案や合邦案は、どんな種類のものであつても外部からのみならず關係各國内部からの大反對に遭ふであらう、われわれが手本としてよい前例はむしろ開戰當初の數ヶ月間英佛兩國の間に存在してゐた緊密なる提携であらう、この提携の表面に現れたところは、財政、補給輸送その他各特別の問題を處理する諮問委員會の集合であつたが、それに多少の修正を加へれば現在採用し得る最善の制度とならう

國防に優先を與へねばならぬのはいふまでもない、現在米英兩國軍の間の紐帶となつてゐる共同參謀本部國のやうなものを作り、それにもつと恒久的な基礎を與へれば西歐の戰略的結合を確保し得るかも知れない、各國の使用する武器は畫一化されねばならぬが、ことでもまた前例が欲しいといふなら共同生産資源委員會がそれに當る、國防措置の研究も共同で行はねばならぬが、それにつ

いては四國の陸海軍大學や士官學校は同じ種類の教育を施すばかりでなく、密接な連絡も保たねばならない、かういふところから共通の「參謀心理」が生れるであらう

だが勿論外交なしでは戦略は無意味である、といつても各國の外交政策の完全なる統一は望むべくもない、新國際聯盟に出席する英國代表が「西歐諸國」を代表して發言し、その發言によつて各國を拘束しようとするのは出来ない相談だが、發言する前に各國と協議してから決定を下すつもりならば、或ひは出来ることも知れない、無論フランスは新聯盟に自分自身の代表を送るであらう、いづれにしても、英國政府は現在カナダ、濠洲、ニュージーランド、南阿などとやつてゐると同じくらゐ頻繁にフランス、ベルギー、オランダ、デンマーク、ノールウェーと連絡する習慣をつけねばならぬであらう、そして現在英帝國內で行はれてゐると同様に將來西歐諸國との交渉においても協議さへすればまづ大抵の場合は政策の一致が生れるであらう

經濟部面の提携方針

經濟の分野における提携の緊密化の可能性も政治の部面に劣らぬ位大きい、問題は經濟の方が複雑だ、従つてはつきりした問題から段々片付けて行くと良いのだが、少くとも過渡期間に對する通貨協定などは共通の政策のはつきりした目的の一つであらう、そしてまた實際の相談もこの方向に向つて進められてゐる、西歐諸國が經濟上相互に依存する程度は大であるから、完全雇傭政策などは一致共同しなければ樹立し得ないし資本投下や豫算政策にしても同様だ、更に文化の領域においてもはつきりした共通の利害の存在することは英佛蘭白四國の植民地が世界到るところで、隣合せになつてゐる事實に徴しても明かであらう

それにしても經濟の分野における緊密な聯絡を擴大して、關係各國間の一般相互貿易をも包含せしめるやうになると、問題は更に一段とこみ入つてくる、といふのは英帝國內の優先關稅は最惠國

待遇制度の除外例とされてゐるからである、西歐諸國との一般的取極めに際しこの除外例を擴大するかどうかはかなり疑問だ、かかる提案は特に米國から猛烈な反對を受けさうだから、慎重打診の上、提案を行はねばなるまい

植民地行政の原則と一體化

もう一つ西歐諸國が明かに協同の努力を行ひ得る領域はこれら諸國の植民地である、各國植民地の行政まで一緒にするなどといふことは無論問題にならず、そんなことをすれば各國は自己の主權の脅威を感じ、恐らくは英國の「帝國主義的」企圖についての疑を抱き始めるであらうが、衛生、農業、土木、輸送等における技術的共同措置位ならば今直ぐにでも始められよう、個々の植民地を單位としてではなく、地域單位における自治達成の目標を定め、この目的に向つてその期間にわたる各國の植民地行政の原則を一致させることは出来るやう

以上の提案は革命的に聞えるかも知れない、歐洲の生産環境は激變を遂げたのであるから、各國とも自己の習慣を激變させる覺悟がなければ生存は難しい、しかも以上の計畫は革命적であると同時に極めて微妙な要素を含んでゐる、計畫が一寸進む毎に、傷けられた國民感情、古色蒼然たる既存權益、根強い猜疑心などが待伏せしてゐて、新しい實驗を妨げようとするであらう、従つて今から直ぐ實行に取掛ることが最も肝要だ、現在ならば共に勝利を得た喜び、困難を頓つたことから生じた好意と感謝がまだ英國を東隣の諸國に結び付けてゐる、歐洲では新秩序爭奪戰の結果、新しい利害と新しい國家群が生れるまでの期間に經濟的眞空状態が現れるやうなことがあつてはならない従つて樂觀的氣分が溢れ、反對に影を潜めてゐる現在こそ、提案を行ひ計畫を樹て、英佛蘭白及びスカンデナヴィア諸國の間の「より完全なる結合」のために英國の實力と外交を全面的に發揮すべき時期である

英紙重慶の立場を擁護

「マンチエスダー・ガーディアン」紙

十一月三日號

スチルウエル召還問題を繞つて米國各紙は、大統領選舉を控へてゐるにも拘らず突然一齊に重慶攻撃を開始し重慶政權の無能振りと腐敗を暴露すると共に、蔣政權が米國様式の自由民主主義でない事實を指摘した、米國各紙が今日に至つてかかる態度に出たことは米國民が重慶政權に對し非常な關心を拂つてゐることを反映してゐるものである、そもそも米國の輿論は重慶をして平時における友好隣接國、戰時における有益な同盟國としてゐた、重慶は米國のお蔭でフランスの没落してゐる時に世界四大國の一つとしての地位を與へられるに至つたが、最近米國民のうちには重慶ははたして有益な同盟國であるか、或ひは單なる重荷か重慶は四大國の一國として列する資格があるか否かといふ疑問が擴まりつつある、もし蔣介石が現在重慶の獨裁者であるならば一九三七年支那事變勃發當時既に獨裁者であつたのだ、支那は統一してはゐないがこれは五十年前も同じであつた、無能と腐敗は戰爭七年の間に擴まつたかも知れないが一夜にして増大したものではない

對日戰遂行のための二要素

重慶が全力を擧げて對日戰を遂行するには二つの要素が必要であつた、それは重慶軍が反樞軸國によつて武裝訓練され支那自體も國家統一を行ふことであつたがその努力は何れも實現されなかつた、支那沿岸の支配が一度日本軍の手中に歸するや重慶軍を再裝備することは不可能となつた、蓋し遮斷される以前のビルマ公路も、また十分の數量を輸送出来たヒマラヤ越えの空輸も送る量には大して變りがないからである、蔣政權はまた統一にも失敗したがこれは重慶政權が一般民衆の間に十分なる基礎がなかつたこと、及び連絡の缺如によるもので、この連絡の缺如は常に中央政府の主なる障礙であつたが日本軍の地域占領によつて

さらに悪化したものである、しかし蔣介石を最も強く攻撃出来る點は彼が長年支那の相當廣範圍の地域を支配してゐた共產黨と妥協し得なかつたことである、もつとも米國はこの不満を最もよく表明し得る地位にはなかつた

國共間の妥結努力は數回にわたり即ち一九三六年及び再び昨年と二回に亘つて行はれたが、實際の結果は常に挫折した、兩者互ひに缺點をもつてゐたことは疑ひない、支那は人口、資源、地理的地位、歴史的には勿論知能及び産業に至るまで國際團體の主要な地位を占る十分な資格を有してゐたが、十九世紀における太平の革命以來みることの出来なかつた一般民衆の支援に基く實力ある中央政府が出現しない限り強力な國家とはなり得ない、中國がかかる強國となるまでには中國共產黨が主役を演ずべきもう一つの革命が必要であらうそしてこの改革とは中國を國民大衆から遊離しない新しい統治層と農民のものにするやうな改革を指すのである

重慶非難は當らず

しかし蔣介石が多くこの障礙があつたにも拘らず清王朝没落以來他の如何なる指導者よりも偉大な統一を實現し得たことを考慮すべきであり、また日本軍の進撃の恐るべき壓力の中にあつて他の如何なる政權が蔣政權ほどの業績を挙げ得たかは疑はしい、わが英國においては過去僅か五年間の戰爭でさへもチャーチル首相が今後九ヶ月は戰爭が繼續すると警告を發した時失望感を覺えたが、支那においては既に七年間戰爭を續けてをり、更に二年間耐へる覺悟がなければならぬ、重慶の民衆が事變勃發當初の信念と勇氣とを失ひ、そして反樞軸國が重慶のために戰爭を片付けてくれることを待つてゐるとしても驚くには當らない

われわれは名譽、利害、並びに友情をかけても出来る限りの方法で重慶にあらゆる援助を與へなければならぬが、一方では事實を直視し且つ根據のない作り話を宣傳しないことが賢明である、現在の重慶政權はその使命を完遂するだけの實力を有してゐないが、それだからといつて陰で非難する必要がない

昭和十九年十一月廿五日(土)
第三二五一號

同盟通信

海外電報

(270)

【目次】

全米電話網罷業開始
カナダ内閣信任を問ふ
空相遂に辭職
サエド不満をぶち撒く
白、非常大權を可決
西部戰線新段階へ
ド・ゴールのモスクワ行は土曜
ス議長、ユーゴ首相と會談
米軍の死傷五十二萬八千
二八三〇
二八三一
二八三一

【米 洲】

ル大統領労働者の離業を嘆く
英聯邦の武器運賃與
モーゲンソー、消耗の増大を説く
クルーグ、軍需増産を要望
陸軍の補給状況
更に労働者十萬を必要
カーネギー工場に罷業
AFL英國の招請を拒否
重慶改組は反對給付
メキシコ港灣の使用許可
伯海軍單獨で哨戒
二八三二
二八三三
二八三三
二八三三
二八三三
二八三三
二八三三
二八三三

【英 帝 國】

濠洲の對米運賃與
米の新聞報道に不滿
空路國營案
ナチズムの撲滅は不可能
エジプト駐屯英軍司令更迭
エール、英國との協調を提唱
二八三四
二八三四
二八三四
二八三四
二八三四
二八三四
二八三四

【友 樞 軸 陣 營】

歐洲決戦はライン西方で戦はれん
波は西歐の友情をも求むべし
海運局會議ワシントンで開催
モロトフ倫敦乗込みか
二八三五
二八三五
二八三五
二八三五

【ソ 聯】

ウオロシロフ元帥退陣
二八三六

【歐 洲】

獨鐵鐵輸出停止
瑞典參戰の實行
スイスの避難民數發表
米司令官白の内政に干渉
元佛首相カイヨロ死去
二八三六
二八三六
二八三六
二八三六
二八三六

【東 亞】

重慶の軍需増産方策
「重慶軍戰訓訓練部隊」を新設
ネルソン近く歸米
二八三七
二八三七
二八三七

【西 亞】

イラン組閣難航
二八三八

【特 輯】

血を描く歴史
二八三八

【資 料】

英國の新勞働傷害補償案
英國産業再轉換への希望
二八四一
二八四一
二八四一
二八四一



露同盟が再誕するのではないかとさへ解してゐる、米國當りではソ聯の東歐ブロックと英國の西歐ブロックを共に握手せしめて世界的安全保障體制の一地域的保障體制たらしめるのならば、それも可なりとの理想論を有してゐるやうであるが、そんな理想で現實が割切れるものならば今度の戦争はなかつた筈なのだ、いづれにしても儲ける機會のないのは英國のみで、飼犬に手を噛まれた上に、大陸から放り出される公算大なりでは浮ぶ瀬はない「英國ほど小國に親切な國はない」(エコノミスト)などと泣きごとを並べた位では追ひ付かない、ド・ゴールがどれだけの取引をして来るかは蓋を明けてみねば判らぬが招かれた上は引出物はあるだらう、籠を明けてみれば魑魅魍魎で反樞軸陣營は吹飛ぶかも知れぬ

全米電話總罷業開始

政府電話機構接收か

(リスボン二十三日發) ニューヨーク來電に去る十七日オハイオ州デイトンに發生した電話従業員の罷業は既にオハイオ州全州に擴大し同州の電話連絡を麻痺状態に陥れてゐたが戦時労働局の彈壓に會つた罷業労働者は全國の電話従業員に對して總罷業の決行を要請、各地の同業者がこれに應じて續々同情罷業を開始するに及んで遂に全米にわたる總罷業の様相を呈するに至つた、即ちオハイオ全州の主要二十八都市の電話交換手は既に完全な罷業状態にあり、これに續いてデトロイト、ワシントン兩市の交換手も二十三日午前六時を期して罷業を開始、一方ニューヨーク市の交換手もこれに追隨せんとする形勢にありシカゴ市をはじめその他全米主要都市の電話従業員は目下それぞれ組合會議を開いて同情罷業決行可否かを協議中であるが既に部分的には罷業状態に入り、ここに全米主要都市の電話事業は自動交換による市内電話連絡を除き長距離電話はすでに早くも半麻痺状態に陥るに至つた、戦時労働局は電話罷業が全米に波及するに及びこれを經濟安定局に移牒、安定局長官ヴァインソンは目下その對策を考慮中といはれるが、大統領ルーズヴェルトはヴァインソンからの勸告を待つて二十三日中にも陸軍乃至は戦時通信局の手によつて全米電話機構の接收を斷行するのではないかと見られる

カナダ内閣信任を問ふ

(リスボン二十三日發) 陸相ロールストン大佐の辭職以來カナダ政界は海外出征兵士徵集案を繞つて緊張を呈してゐるがオツタワ來電によれば首相マッケンジー・キングは二十二日夜閣議の結果に基づき二十三日下院に對し

下院は強力な戰爭施策を維持する政策につき現内閣を支持する

旨の決議案を提出したと傳へられる、キングは海外派遣兵士につき志願制を固執、遂に陸相の更迭を見るに至つたのだが新陸相マクノートンもまた徵兵による國內防衛軍一萬七千人の海外出征の必

要を主張したため内閣は遂に方針を變更し海外派遣兵士に一部徵兵制を適用することとなり遂に下院の信任を問ふに至つたと解される、但しロイター電報によれば閣内においてすら意見は必ずしも一致してゐないといはれ且つカナダ軍將官團が前陸相支持を表明しカナダ政治史上初めて政争に突入したと傳へられる位でキングを首班とするカナダ内閣は今や開戦以來の危機に當面してゐると言はれる、但し信任投票表決は來週に持越されよう

空相遂に

職

(リスボン二十三日發) オツタワ來電にカナダ空相C・G・バワーは現内閣の政策に反對し二十三日遂に辭職した

サエド憤懣をぶち撒く

(ストックホルム二十三日發) イラン前首相モハメド・サエドはソヴェト政府の組織的な迫出し工作に敗れて挂冠したが、ロイター外交記者は辭職直前におけるサエドの悲痛な心境を二十三日次の通り報じてゐる

モハメド・サエドは辭職前夜、ロンドン駐劄イラン大使モハメッド・アリ・モグバダムに電報を打ち、ソ聯の高飛車なイラン内政干渉に對する遣る方なき憤懣をぶち撒けてきた、イラン大使館から入手した情報によればサエドは次の通り述べてゐるといはれる「イラン政府は必要とあればどんな決定をも行ひ得る當然の權利があり、外國が壓迫を加へて、イランの獨立に背馳する決定を政府に強要する權利がないといふ明白な事由をソヴェト政府に對して主張し續けてきた、ソヴェト政府はテヘランの新聞界に反映したイランの輿論が石油利權の供與を希望してゐると稱してゐるが、かかる事實は全然ない、ソヴェト政府が戦時下極めて重大な時局に際しイランの内政問題に關聯してイラン正統の首相との關係を斷つことを妥當と考へたことは返すがへすも遺憾であり、且つ失望に絶えない」

白非常大權

(ストックホルム二十三日發) ブリュッセル來電にベルギー

法案を可決

下院は二十三日通信檢閲その他非常大權を國防相に賦與する法案を可決、ピエール政權と左翼、抗戰集團との對立を繞るベルギー政界の危機は一應解消した

西部戦線新段階へ

(リスボン二十三日發) 去る十六日反樞軸軍の西部要塞に對する總攻撃が開始されて以來、既に一週間約四百哩に達する兩軍の對峙線には可成り大きな變化が生ずるに至つた、最重要戰區であるガイレンキルヘン、アーヘン地區においてはドイツ軍の反撃は熾烈を極め、反樞軸軍の進撃速度は平均一日千碼を越えない有様といはれるが、情勢はドイツ軍にとり些かの樂觀も許さないところまで來てゐる、ガイレンキルヘンの北方から東方へかけて作戦中の英第二軍は既に二十一日ガイレンキルヘン東北方からレール河へ注ぐヴルム溪谷においてジグフリード線の主陣地に到達、リンエツと附近でジグフリード線を突破しようと企圖してゐるといはれ、その南方で作戦中の米第九軍はレール河東岸にあり、ケルン平原の一中心地をなすユリツヒを指してブフェンドルフ、ヴールゼレンの二方向から前進を續けてをり、米第一軍はエシユワイラー、ガウフルトゲン森林の東北方地區にいたる線に重點をおき、英第二軍、米第九軍と呼應してルール工業地帯の前面で西部要塞線に決定的楔をうち込まうと陸空一體となつての猛攻を繼續してをり、ドイツ軍の果敢な反撃にも拘らず戦線は徐々にレール河の線に引き下げられてゐる様子である、二十三日總統大本營の戦況公報によれば要衝エシユワイラーのドイツ軍守備隊は三方向から進撃する米軍と激戦を交へた末包圍から免れるためエシユワイラー東方に後退したといはれ、同方面の戦闘は愈々アーヘン、ケルンの要地デュレンを繞つて展開されることとなつた、一方ロレーヌ戦線では既に大勢の決したメツツを除き米軍第三軍はルクセンブルグからファルテンベルグ東方に至るドイツ國境線に全面的に進出、戦火は既にザール・パラチネート地方に及んでをり、同方面の戦闘をもつてロレーヌ戦と呼ぶのは適當でなくなつた

アルザス戦線極度に緊迫

米第三軍を邀へ撃つヘルマン・バルク戦車大將の指揮するドイツ集團軍は國境の西側に沿ふマジノ線に據つて反撃するには兵力が不足とみてか隨

時局地的反撃に出て米軍に出血を強ひつつジグフリード線内へ撤退してゐる様子で、同方面でも戰闘は西部要塞を繞る攻防戦へと發展してゐる、更に過去一週間内に動きの最も甚だしかつたのは米第七軍及びフランス第一、第二軍の作戦する南翼で同方面では戦闘はベルフォール關門地區とヴォレジュ山脈の西側並びに同山脈の北端を畫するサヴェルヌ關門の三地區に分けられる、タウシュ一麾下のフランス第一軍はベルフォールを迂回してアルトキルヒ、ムルーズ方面に進出、既に右兩地を手中に入れブラスコヴィツチ麾下のドイツ第十九軍を北へ追ひ上げようとしてをり、ヴォーージュ山脈の西側で作戦中の米第七軍はこれと呼應して西方から第十九軍の側面を衝き、更に二十二日サヴェルヌの關門を突破したレクシル麾下のフランス第二軍及び米第七軍の一部はアルザス北部に雪崩れ込んで北西南の三方面から第十九軍を攻撃、ライン西岸地區で同軍を殲滅しようとな圖してゐる様子で、二十二日のパリ情報によれば、既にストラスブールでは市街戦が展開されてゐるといはれ、アルザス戦線の戦況は極度に緊迫してゐる模様である

ド・ゴールのモ

(ストツクホルム二十三日發)

スクワ行は土曜

フランス臨時政權首班ド・ゴールのモスクワ訪問は土曜日より出發の豫定と傳へられる、ビドオ外相は病臥中でド・ゴールに帶同し得るかどうかわからないが目下パリには白藏相ウツト、外相スパークが二十二日來訪問中で、恐らく佛白間に新經濟協定が成立するものと解される

ス議長、ユーゴ首相と會談

(ストツクホルム二十三日發) モスクワ來電リスターリン議長は二十二日亡命ユーゴ政權首相スバシツチと初めて會見したが、會談にはソ聯側からはモロトフ外務人民委員、ユーゴ側からユーゴ國民解放委員會議長代理エドワルド・カルデア、同モスクワ駐劄大使スタノフ・シミツチも參加した

米軍の死傷

(リスボン二十三日發) ワン

五十二萬八千

ントン來電リ米國陸軍長官ヘンリー・ステイムソンは開戦以來の米國陸海軍兵員損害が十一月七日現在五十二萬八千七百九十五人に達した旨廿三日發表した

【米 洲】

ル大統領労働者の離業を嘆く

會見で次の通り述べた

軍需生産が再び遅滞するに至つた一つの原因は労働者が戦後の失業を恐れて盛んに軍需工場を離れ始めたことにある、しかしながら政府の戦後對策は歸還將兵のみに限られず、軍需労働者に對しても各工場當局と協力して戦後施策を講じてゐることを指摘したい

ルーズヴェルトは更に日系市民の西部地方歸還問題に關してつぎの通り述べた

太平洋岸における日系市民にたいする各種制限の緩和は急速には期待出来ない、現在各地の收容所にある日系市民の数は七萬五千程度でありこれを今後永久に收容所に留めておくことの出来ないことは勿論だが、既に二、三萬は米國のその他地方に定住するやうになつてゐる

英 聯 邦 の 武器逆貸與

(リスボン二十一日發) ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは二十二日議會に對し

第十七次武器貸與報告を送り次の通り發表した
一九四二年七月一日から一九四三年六月三十日に至る一ヶ年間に於ける英聯邦諸國の武器逆貸與總額は三十三億四千八百萬弗に達した、これはそれ以前の一ヶ年における總額十一億七千五百萬弗に比し殆んど三倍に近い、また今年六月三十日までの印度、濠洲、ニュージランドからの逆貸與總額は九億一千九百六十五萬弗に上つたが、この内三億五千六萬二千弗は本年一月から六月までの分である

モーゲンソー消

(ストックホルム二十一日發) ニューヨーク來電「最近の米

ス」誌は財務長官モーゲンソーの財界人に與へた要旨つぎのごとき演説を轉載してゐる

一九四二年の北阿戰に際し九十六日間のチュニス作戦には迫撃砲を八十三門、シチリア侵攻作戦には四十七門しか失はなかつたが西部戦線では一ヶ月間に迫撃砲七百門が破壊され、また同

期間中二千四百輛の軍用トラックが破壊された
クルーグ、軍需
増産を要望
クルーグは二十一日新聞記者

團との會見でつぎの通り言明した

アイゼンハウアーは最近の報告で歐洲戰が何時終了するかその決定權を握るものは米國の銃後戦線、就中軍需工場であるといつて來た、西部戦線では今反樞軸の六ヶ軍團がドイツのジグフリード要塞線に大攻勢を開始してゐるが、これが成功するか否かはこれ等の軍團に潤澤な補給がなされるか否かで決定されよう、これに加へて米國は太平洋戦域にも大きな補給を行はなければならぬ、現在軍需生産のうち約二十八パーセントが不足状態にあるがこの不足物資の二十六パーセントは生産計畫の變更並びに改良により、四十パーセントは前線の需用が急激に増加したことにより、十二パーセントは生産上の隘路により、残りの二十二パーセントが労働力不足によつてそれぞれ生産に遅滞をきたしてゐる、これらのうち最も不足をきたしてゐるのは軍火器、大型砲彈、大型トラック等である、かかる状況に鑑み今後急速な民需生産擴張の如きは餘り期待できない、ただ戦時生産局としては歐洲戰終了後の軍需再轉換計畫は既に完了してゐる

陸 軍 の

(リスボン二十日發) ワシントン來電「陸軍補給本部長マヴィルは二十日陸軍の補給

狀況につき要旨左の年次報告を發表した

一九四三―四會計年度中に陸軍が海外に補給した軍需品の六割は大西洋を四割が太平洋を越えた一方海外に派遣された陸軍兵力の七割が歐洲戦域へ三割が太平洋戦域に送られた、以上の比率が明らかに物語る如く米國は正に兩面作戦を戦つてをり、陸軍にとつても太平洋作戦が極めて重大であることを示してゐる、陸軍補給部隊は本年海外に四十萬トンの軍需品を輸送したが一九四三年におけるこの額は一千九百萬トンに過ぎなかつた、しかして海外に送られた軍需品の約半分までがガソリン及びその他石油製品であつた

同盟通信

海外電報 (第三種郵便物認可)

一方米國の軍需産業が陸軍補給部に引渡しした軍需品總額は二百三十五億弗に達し、これは前年に比し三十五億弗の増加である、現在海外にある米國陸軍部隊は開戦前の武器は全然使用してゐない更に労働者 (リスボン二十一日發) ニュ
十萬を必要 シカゴで開催中の産業別組織會議の年次大會に挨拶を送り

米國軍は太平、歐洲兩戰域において大童の武器を必要とし、潤澤な兵器を補給するため米國の軍需工場はなほ十萬名の労働者を必要とする
と述べた、大會は再び戦時中「無罷業」の誓約を確認したが、一方ニューオーリンズでも労働總同盟が年次大會を開催中であり、これは労働長官パーキンスが挨拶を送り
政府は労働及び資本家代表と協力して戦後に五千五百萬から六千五百萬の労働者に對して新職業を與へるべく着々準備を進めてゐると述べた

カーネギー

工場に罷業

(リスボン二十一日發) ゲアリ (インディアナ州) 來電
IIカーネギー・イリノイ製鋼會社ゲアリ工場の産業別組織會議米國製鋼労働者組合所屬の起重機運轉手三十九名は二十一日罷業を開始、このため五千五百名に上る労働者は仕事を續けることが出來ず、世界最大を誇る同工場の全鐵鋼生産は全く停止するに至つた、原因は労働條件に關する會社側の協定廢棄である

A F I 英國の

招請を拒否

(リスボン二十一日發) ニュ
Iヨーク來電によれば米國労働總同盟はニューオーリンズで目下年次大會を開催中だが、同大會において労働總同盟はロンドンで開催される國際労働會議への英國労働組合からの参加招請を拒否する「旨満場一致で正式に決定し、その旨英國労働組合に通告したといはれる、労働總同盟會長グリーンは参加招請を拒否する理由として次の四點を挙げた
一、英國労働組合會議書記長ウォルター・シトラインは労働總同盟と共に産業別組織會議に對しても招請を發した
二、カナダおよび南米の労働組合も招請されたが見

これらの國の労働組合は眞正な労働組合とは見

做されぬ
三、ロンドンの會議にはソヴェト労働組合代表も参加するがこれは自由な労働組合でない
四、英國労働組合はこのやうな國際労働會議を開催する十分な實力を持たない

對獨輿論

硬化

(リスボン二十一日發) ニュ
Iヨーク來電II戦後處分案に關するギヤラツプ輿論調査に

よれば
米國民の態度は相當強硬で、ドイツを處理する最善の方法は歐洲における政治的全體主義國家としてのドイツを破壊し、これを小さな諸州に分割してしまふことだと考へる者が逐次増加してゐる、即ち十ヶ月前までは輿論は反樞軸諸國によるドイツ管理を支持しドイツ國家の破壊などは考慮してゐなかつたが、ドイツ軍が流星彈攻撃を開始し、南イングラントで多數の人命を奪つた後、輿論は硬化し、大多數の者は今後ドイツから再び戦争を初める能力を奪ふため苛酷な和平條件を主張するに至つた

重慶改組は

反對給付

(リスボン二十一日發) ワシントン來電II米國政府當局筋では重慶政府今回の更迭を重慶の戦争努力の改革を目指す重要な措置として歓迎してをり、消息筋ではこの改組が單に重慶國民の間の感情を改善するのみならず反樞軸特に米國の感情を改善するものと期待してゐる、一部の消息筋では今回の改組を指して恐らくスチルウェルが召還された米蔣間の協定の半面をなすものだと解釋してゐる

メキシコ港灣

の使用許可

(マドリード二十一日發) メキシコ來電II「ノヴェグデー」紙は次の通り報道してゐる
メキシコ海軍省は米英兩國艦隊に對し太平洋岸に所在するメキシコ港灣を使用することを許可した、またカナダに對しては太平洋沿岸地區に空軍基地を建設することを許可した

伯海軍單

獨で哨戒

(リスボン二十一日發) リオデジャネイロ來電IIブラジル海相ギレムは二十日次の通り言明した
從來米國艦隊はブラジル艦隊と共同で南大西洋の哨戒に當つてゐたが、目下太平洋水域に移動してゐるため今後はブラジル艦隊が單獨で南大西洋水域の哨戒を受持つこととなる

【英 國】

濠洲の對 米逆貨與

濠洲の對米逆貨與狀況を次の通り發表した

武器貨與協定により濠洲が米國に與へた逆貨與額は實に濠洲の戰費總額の約二十パーセントに當る、即ち濠洲の昨會計年度における對米逆貨與額は三億二千五百萬弗以上に達した、濠洲は四十年來の旱魃と重大な努力不足に悩んだにも拘らず多量の食糧を供給した、濠洲は國民に對する食糧供給制限と努力の徹底的統制とによつてこれを成就したのである、現在行はれてゐる諸統制は日本の敗北まで續行されよう

米の新聞

(リスボン二十二日發) シカゴ來電「米國を訪問中の濠洲空相アーサー・ドレーク・フォードは二十二日の新聞記者會見で次の通り述べた

マツカーサーが戰況公報に米軍は何々したとか濠洲軍は何々したといはずに只「わが」艦船、飛行機、軍は勝利を収めたとか、損害を蒙つたと發表するので濠洲軍の活動狀況は時によると不明瞭になる

空路 國營案

(リスボン二十二日發) シドニー來電「首相代理フランシス・フォードは二十二日下院

で次の通り言明した

政廳は空路を運營してゐる一切の航空會社の事業を接收するに決定した、來年初めまでに空路國營案を議會に提出するが政廳としては戰時の一時的便法としてではなく恒久的な施策として國營の方針を決定した譯である、勿論接收に際しては各航空會社に賠償金を支拂ふであらう

ナチズムの

撲滅は不可能

(ストックホルム二十二日發) フアツショの傾向をもつて屢屢物議を醸す月刊誌「ナインティーンズ・センチユリー・アンド・アフター」は十一月號の社説においていはゆるドイツ處理案をとり上げ、ナチズム撲滅意圖の愚を次の通り論じてゐる

ドイツにおける社會革命ほど合理的に發展してゐるものはない、ナチズムは眞の國家主義運動

と眞の社會主義運動の結合であり、いはば近代人類の二大衆運動の結晶で、革命を完成に近づけようといふ信念に燃えた愛國運動でもあるドイツの熟練労働者は戰爭からたじろぐかもしれないが、革命から引離すことは到底不可能だドイツの労働者は比較的の高い生活水準を維持してゐるから、歐洲の被抑壓民衆扱ひする譯には行かない、ドイツの雇傭主は被雇傭者に對して從來以上の權力を有してゐるが、労働者自身は雇傭主の揮ふ權力よりも遙かに大きな權威そのものである、國家社會主義はドイツにおいて勝利を得たばかりでなく、他のあらゆる國でも優勢を持してゐる、但しドイツ以外の國では多くの場合國家社會主義は「社會主義」乃至「反ファシズム」の迷彩を施してゐることは注意を要する、ヒトラー總統は昨年「ドイツは戰爭を遂行するため國家社會主義の理論を利用しなればならぬのだらう」と言明したが、彼は更に戰後にもといひ加へて當然よい筈だ、しかるに反樞軸はナチズムの撲滅を公言してゐるが、ナチズムを撲滅するなどは反樞軸の手にあまることだ、米英兩國は歐洲の再組織に失敗してゐるばかりでなく、歐洲の再組織に援助を與へることすら失敗してゐる、このことはドイツに機會を與へる以外のなものでもない

エジプト駐屯

(リスボン二十二日發) カイ

英軍司令更迭

ロ來電「英中東軍司令官はエジプト駐屯英軍司令官中將チャールス・アルフレを更迭、後任に元イタリア派遣英軍司令官ロバート・ストーンを任命した旨發表した

英國との

(ストックホルム二十一日發)

協調を提唱

ダブリン來電「エールの有力野黨アイルランド統一黨領袖マルカヒイ將軍は二十一日同黨の年次大會において次のやうに演説した

統一黨はエールが完全な獨立國家として戰後英國及びこれと協調する國家との間に防禦協定を締結することを提唱する、エールの安全は國際間の協力、特に北部アイルランド及び英國との協調と不可分であり且つ安全保障は實力ある國家との結合なくしては不可能だから英國と經濟上、國防上の關係を緊密化する必要がある

同盟通信

海外電報

(第三新郵便報局)

【反樞軸陣營】

歐洲決戦はライ

(リスボン二十一日發)

ン西方で戦はれん

リ來電ニ歐洲侵攻反樞軸軍最高司令官アイゼンハウア

1は二十一日司令部で二百名の記者團と會見、勝利の鍵を軍需生産の最高度の緊張に置いて次の通り言明した

ドイツ軍にとつて窮境打開の唯一の途はライン河西方で必死に戦ふ以外にはない、反樞軸軍は六個軍團を動員して大攻勢を展開してゐるが、恐らく歐洲戦の最後の戦鬪はライン河西方で展開されるものと思はれる、しかしながら戦ひは斷じて容易なものではない、勝利と平和を確保するためには、われわれもまた死に物狂ひで戦はねばならぬのだ、前線も銃後も引つくるめて反樞軸の各員が最後まで部署を守り抜き、益々緊張を強めぬ限り、勝利の日の訪れが遅れるばかりである、反樞軸軍將兵は現在並びに將來手に入れるよりも遙かに多くの軍需品を必要とするであらう、われわれにとつては軍需品がいくら多くともこれで十分といふことはない、現在のところドイツ軍がラインの東方に撤收する徴候は全然みられぬどころか、反樞軸軍がラインを渡るには殆んど海上作戦に類する大規模の作戦を必要としよう、しかもドイツ軍はライン上流西方のフランス領を喪ふよりもルール地方を喪ふことを恐れてゐるのだ、余自身は戦局の前途を樂觀してゐるが、さればと言つて安價な自己満足に陥らぬやう氣をつけてゐる積りだ

波は西歐の友情

(ストツクホルム二十二日發)

をも求むべし

ルブリンからのタス電報によればワルシャワ市長スピチャ

モロトフ外務人民委員と會見して二十二日ルブリンに歸還したが、會見の模様につき次の通り語つたといはれる

スタリーン議長はポーランドが東方に盟邦を求めらるばかりでなく、西方特に英國、フランス、米國との友好關係を確保しなければならぬと確信してゐた、余はワルシャワの破壊状況を語つたが、スタリーンは市を復興するため援助を惜

しまぬ旨確約した

海運局會議

(リスボン二十二日發)ワ

シントンで開催

局の第一回會議が二十日戰

時海運局長官ランド司會の下にワシントンで開催された、反樞軸海運局は今年七月のロンドン會議で決定された反樞軸海運機關の執行機關で今次大戦が終了するまで海運統制を擔當することになつてゐる

モロトフ倫

(チューリツヒ二十二日發)

敦乗込みか

米英ソ三國會議の開催が明年二月に延期されたとの噂が米

國務省筋の情報として傳へられてゐるが「バーズラー・ナハリヒテン」紙のストツクホルム電報によれば、三國會議開催準備のためモロトフ外務人民委員、マイスキー次長のいづれかがロンドンに乘込む途上にあるとの風説が中立筋で流布されてゐるといはれる

【ソ聯】

ウオロシロフ元帥退陣

(モスクワ二十二日發) 政府は國家防衛委員會委員ウオロシロフ元帥の任を解き後任にニコライ・ブルガーニン軍大將を任命した旨二十二日發表した、ウオロシロフ元帥は第一線から退いて後は赤軍統帥部にあつてスタリーン元帥の作戰指導に協力、テヘラン會議にも隨行したが國家防衛委員會からの退陣に關しモスクワからのUP電報は次の通り觀測してゐる

ウオロシロフ元帥は最近赤軍軍事作戰において主導的地位を占めてゐない様子で、參謀本部並びに戰鬪部隊の指導權は若い將官連の手中に移つてゐる、しかし同元帥の退陣が赤軍最高司令部の作戰方針に何らかの變化を齎すとは思へない

ウオロシロフ元帥に代つて國家防衛委員會委員に任命されたブルガーニン軍大將は一九三八年人民委員會議副議長兼國立銀行總裁に就任、四〇年四月經濟會議化學冶金會議々長に轉出、四二年十二月中将に任命され、最近軍大將に昇進すると同時に國防人民委員部次長に任命された

【歐 洲】

對獨鐵鑛 (ストックホルム二十一日發)
輸出停止 「ノイエ・チュエリツヒア・ツアイツング」紙の報道によればスエーデン北部ラップランド鐵鑛石のドイツ向輸出量は過去二ヶ月間一日平均一列車に減少し、そゝろが十月二十一日以來遂に完全に停止するに至つたといはれる、なほ昨年までの年平均輸出高は八十萬トンに達してゐた

瑞典參戰の雲行き

對獨義勇軍を繞つて論議

(チュエリツヒ二十一日發) ドイツ外務當局がバルト海の作戰區域編入に對するスエーデン政府の抗議を軽く一蹴したと、ドイツ軍のスエーデン北部越境事件に對するスエーデンの反響を無視したことは輿論を著しく刺戟した模様で、最近同國新聞界が盛にノルウェーからドイツ軍を驅逐するため義勇軍の編成を提唱してゐることは、獨逸關係の微妙な轉換を示唆するものとして、中立各國の深甚な關心を集めてゐる、同國が公然と對獨義勇軍の編成を論議してゐることは暫らく前の獨逸關係ではみられぬ現象で、それだけに戰局觀の變化が窺はれるが、ノルウェーに義勇軍を派遣することは參戰を意味するだけに軍部筋は

一、現下の情勢で義勇軍を派遣すれば、スイスの國防力を危殆に瀕せしめる

一、義勇軍を派遣するにはフィンランドを通過しなければならず、直接ソ聯との接觸が必要とされるが、現在のところわが國は赤軍との接觸を歓迎しない

一、第一次ソ芬戰爭當時には義勇軍はフィンランドで訓練を受けたがノルウェーへの義勇軍には國內で訓練する必要があり現在その設備がないといふ諸點を理由に強硬に反對してゐるといはれる、「バーズラー・ナハリヒテン」紙のストックホルム電報はスエーデン輿論の動きを傳へて

スエーデンの一部は獨逸關係を惡化する危險を冒してまで義勇軍を編成せよと敦囑いてゐるが、かうしたことはすくなくとも昨年にはみられぬ現象であつたが、義勇軍派遣の理由として挙げ

られてゐるのは、ドイツ軍がフィンランド北部を廢墟と化した遺り口からみれば、ノルウェーに援助の手を差し伸べぬとノルウェーもフィンランドの二の舞を演ずるといふにある、と報じ「ブンド」紙のストックホルム電報も

亡命ノルウェー政權外相リーのモスクワ訪問とドイツ戰艦テイルピッツの擧沈は、ノルウェーに對する反樞軸軍の上陸作戰にとつて新たな道を拓くものだ

と述べてゐる、政府は義勇軍派遣につきまだ公式に見解を表明してゐないが、過般英國外相代理リチャード・ローが中立國の媾和會議出席を拒否したことが政府を相當刺激してゐることは争へない

スイスの (チュエリツヒ二十一日發)

避難民數發表 スイス警保局長ロートムンド

十一月一日現在スイス國內の各國からの避難民は總數九萬五千名に達してゐるが、内譯次の通り抑留されてゐる軍人一萬六千名

難民三千八百名

醫療を受けてゐる外國軍人四百二十九名

脱走兵七百名

亡命者七千五百名

イタリア人一萬八千五百名

佛伊兩國の國境地帯から避難した母親並びに子供一萬九千名

米司令官白の (ストックホルム二十一日發)

内政に干渉

ベルギー遊撃隊の武裝解除問題をめぐる同國の政情不安は更に激化してゐる模様だが、ロイター電の報ずるところによると遂に米國軍司令官が内政干渉を敢てし紛争の鎮壓に乘出したといはれる、即ちベルギー駐屯反樞軸軍司令官アースキンは去る十七日遊撃隊の武裝解除に反對して辭職したベルギー政府の三閣僚を呼びつけ次の通り要求した

作戰行動の現状に鑑み武器を携行する者は反樞軸軍當局の許可した者のみに限定さるべきである、遊撃隊の所持する武器は政府の命令に従つて直ちに引渡されねばならぬ

米軍司令官のこの強硬要求に前三閣僚も遂に屈伏したと傳へられる

元佛首相

カイヨー死去 (マドリッド二十一日發) パリ來電「元フランス首相ヨゼフ・カイヨーは二十一日夜パ

リ近郊の私邸で死去した、享年八十一

【東 亞】

重慶の軍需増産方策

(リスボン二十二日發) 重慶來電ニ米特使ドナルド・ネルソンは軍需生産局長翁文灝と共に二十二日内外記者團二百名と會見し、軍需生産局が遂行すべき事業に關聯し次の通り言明した

「新設の軍需生産局は工業力増進に十分な權能を與へられた、重慶の軍需工業は現在弱小だが大きくすることは可能だ、重慶はさうする意志を示してゐる、米國顧問委員會の目的は一切の技術的問題に助力を提供し當然起り得る過失を回避することに援助を與へることだ、軍需生産局の計畫が成功すれば速かに戰勝を収めるのみでなく重慶が世界の工業國に列するのを決ける重要な役割を果す上にも寄與しよう

軍需生産局はその生産を保障するため武器貸與協定に基づく補給品の割り當てにつき在支米軍部と緊密に協力し、右割當の重點は自給生産をする上に最も必要な諸項目におかれる筈だ、在支米軍部は印支空輸による純然たる軍用補給品の割當管理を持続する

使節團一行は要人と緊密に活動してゐるが生産局は現在軍需生産に關係ある各部との必要な協力活動に入るであらう

余が帶同した生産専門家は各工場及び工業施設の組織的檢分を開始した、第一回報告によれば工業運営當局者は能力あり限られた設備を有効に活用してゐる、余は新設の軍需生産局の下に兩國の生産當事者の結合した努力が生産に早期の大量増産を實現すると信ずる」

翁文灝は生産局の權能につき次の通り言明した「重慶軍需生産局は貯藏物資を軍需生産のために押収することの當否、輸送問題及び目下採算がとれぬため運轉休止となつてゐる諸工場から提起された問題並びに他の理由で目下閉鎖されてゐる諸工場に再開を要求することの當否などを考究検討する權能を賦與される筈である、政府は生産局に對し目下海外にある華人技術家その他の者でその奉仕を必要とする者を召還する權能を賦與した」

「重慶軍戰闘訓

練部隊」を新設

(リスボン二十一日發) 重慶來電ニ支那戰域米軍司令官少將ウェデマイヤーは二十一日司令部人事を發表、支那戰域米軍參謀次長として少將ロバート・マツクルーアが就任した、同少將は西南太平洋において師團長を勤め、ブーゲンビルで米海兵隊の救出に當つたことがあり二十日空路重慶に着任した、一方、重慶軍と戰線で行動を共にしてゐる米陸軍連絡、醫務通信、訓練の各部隊は「重慶軍戰闘訓練部隊」に統合強化され、これまで督戰部隊作戰本部の參謀長をしてゐた代將フランク・ドーンが右の訓練部隊の司令官に任命された

ネルソン

近く 歸 米

(リスボン二十二日發) 重慶來電ニ重慶軍需生産局長翁文灝は二十二日米特使ネルソンが他の緊急業務のため間もなく歸米する筈で一行中のヘウード・コーンレーが任務を代行し、他の専門家が協力する旨言明した

【西 亞】

イ ラ ン

組 閣 難 航

(リスボン二十二日發) イラン新首相バヤートは石油利權問題に關する新方針を明らかにせず國會方面の支持がないため組閣に困難をみてゐる模様で、ロイターの報道によれば

バヤートの首相就任はイランの政治的危機を解消せず、新首相は國會多數派の支持を得るため新施政方針を練る傍ら組閣に努めてゐるが、難航を續け早急に顔觸れが發表される氣配はない前首相は石油利權問題を繞る壓迫に屈し挂冠したので輿論は新政府に期待してゐるが、石油新利權の供與を戰後に決定するといふ既定方針が撤回される兆候はない、バヤートは長い間國會に議席を占めてゐたが、どつちつかずの態度を採つてゐたので攻撃を受けてゐた

他方テヘランからのタス電報によればバヤート首相は共產主義系新聞「ラチヤバンク」「フェルマン」「サファール」「メジャヤテ」「デマヴエンド」等の發行を許可したといはれ、はやくも「デマヴエンド」紙は二十二日の再刊第一號でソ聯との友好關係の回復を強硬に要求してゐる

血で描く歴史

——フランスの肅清つづく——

井上 勇

斷罪を待つ被疑者たち

フランスの血の肅清は——これが果して肅清であらうか——愈々、本格的になつた、——これが果して本格的であらうか

十月末現在、斷罪を待つてゐる對敵協力罪被疑者は十萬人を越すといはれ、この裁判のために二百五十四の特別裁判所が新設されたといふ、この裁判所は十月二十五日のベルリン情報によれば、更に二十五が追加され、パリを含むセーヌ縣のみで收容中のものは一萬五千人とつたへられた、しかもそれで數字は止つたのではない、數百人の男女が毎日新しく收監されつつあり、フランス司法當局の言明によれば、この全部を六ヶ月以内に處斷するといふ、まるで人間扱ひにせぬいひ分であるが、いくらか粗末な裁判にしる一應被告の申立てを聞くだけでも六ヶ月ではすまない勘定だ

裁判は十月二十三日を以つて開始されたが、それまでに勝手な理由をつけて、既に處刑多くは死刑である——されたものは別として、十二月一日以後、われわれの耳に入つた「裁判所種」をここに集録して Requiescat in Pace でも唱へることによろう

第一の犠牲者シュアレズ

先登第一に十月二十三日、重罪裁判所の法廷に立つたのは、ドイツ軍がパリ入城直後發刊された日刊紙「オーージュルドユイ」の主筆ジョルジュ・シュアレズだつた、起訴理由書によれば、彼は前パリ駐割ドイツ大使オット・アベツツの意と、月額一萬五千弗とを受けて對獨協力を宣傳したほか反樞軸軍のフランス盲爆が熾烈になるや、在佛英・米人及猶太人を人質として捕へ置き、盲爆による

フランス人の被害者の出る毎に、これを銃殺すべきことを提案したといふのである

シュアレズは、フランスはいまだ會つて正式にドイツに宣戦を布告したことなく、従つて「敵國」ではない筈であり、對敵協力の罪は成立しない、ドイツを讚美したのが罪となるならば、ロイド・ジョージも、オーステン・チエンバレンも同罪たるべきだと抗辯したが、審理僅かに五時間で死刑が宣告され、即時上告したが拒否されて、十一月八日の曉、パリ郊外モン・ルージュの要塞で銃殺された、死に際して彼は眼隠しを拒絶し、態度從容として迫らず、却つて射つ方の兵隊が周章てて醜態だつたさうだとアメリカ記者がつたへてゐる行年四十八歳

南獨にあるフランス國民權益擁護委員會議長ド・ブリノン「イツシ・ラ・フランス」のラジオを通じて十一月十三日シュアレズのユーロジを次の如くのべた

プラトン提督の殺害以來、共產主義支配の第四共和制下にかかる無節度がさらに繰返されるだらうことは豫期されたところだつた、シュアレズはその理想と、敵の眞摯性への過大な信頼の犠牲となつたのである、シュアレズは遂に、しかし愛國者として死んだ

好戦民主主義と猶太的憎惡とは、フランスを驅つて意味なき戦争に追込み、その結果として得るものは經濟的には米・英の、政治的にはソヴェトの植民地と成下つた疲弊、困憊のフランスのみであらう、シュアレズはフランスの唯一の救済はドイツとの諒解であり、それによつてのみ西歐文化は保持され得、歐洲大陸の防衛は達成し得ることを悟りしてゐた數少なき智識人の一人である

しかし彼は正直にも共和國とは思想の自由を擁護し、保障するものだと思ひ、それが、彼の運命の終りであつた

ド・ゴール支配下のフランスが如何に墮落せる状態にあるかは先にプラトン提督、今またジョルジュ・シュアレズの唾棄すべき死刑によつて明證される、然し、贖罪と正義との時は終に來たらざるを得ないであらう

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

十月二十九日には雑誌「モンド」の主筆と、リオンの新聞「エフオル」の主筆ベルナル・アンデエが捕へられた

「マタン」の名記者として、世界的な聲譽を有してゐたステファン・ロオザンヌ老が二十年の重禁錮に處せられたのは三十一日だつた

斷罪されるのは人間のみとは限らない、十月三十日「フランス新聞會」ラ・プレス・ナショナル・フランセーズは「マタン」「プチ・ジュールナル」「ジュールナル」「ウーヴル」「エクゼルシオール」「バリ・ソアル」「アントランジヤシ」「ドラゴンゴアル」等、第三共和制から引續き、ドイツ軍占領下のパリに發行を繼續してゐた諸新聞を一齊に發行禁止し、同じ名稱の新聞の今後發行を永久に法度とした、「解放」戰開始以前の新聞で残つたのは、左翼で「ユマニテ」「ル・ボビュレール」右翼で「フイガロ」「ローブ」のみ、他は抗戰各國内軍の機關紙として誕生した「コンバ」「リベラシオン」「レジスタンス」「フラン・チャール」等、名稱からして戰闘的な新聞のみである

舞臺から法廷へ

その以前十月二十一日付のブリュッセル發行「ラヴニール」紙は、フランスの人氣歌手、みいちゃん、はあちゃん、の戀人テイノ・ロツシの逮捕の模様を傳へてゐる、彼はその夜「ムーラン・ルージュ」の舞臺でいつもの通り、若いお客の紅涙と、老人連の想ひ出の鼻汁とを搾取しつつあつたとき突然警官に踏込まれて舞臺の上で令狀をつきつけられた、いま一度のアンコールを歌ふ間の猶豫を乞ふて許されたロツシは、聴衆の萬雷の拍手の内に「待たうとも何時までも、かへりなん日を」の戰爭流行歌を唄ひ納めて、おもむろに引つ立てられて行つた、罪はドイツ人のお客の前でも歌ひつづけたからといふのである、シユヴァリエ然リミスタンゲツト然リ、そして、サーシヤ・ギトリ老然リ、ギトリは十一月に入つて獄中で病篤く十三日病院に移されたが、危篤とつたへられてゐる新聞記者では今一人「ヌーヴォ・タン」の主筆「マルセル・ド・モンテニヤツク」が十一月十三日對敵通謀罪で十年の刑をいひ渡された、「ヌーヴ

オ・タン」もドイツ軍のパリ入城と共に生れた新聞だつた

幸運と悲運

十月二十四日には元ウランゲル軍の大佐、歸化フランス人、ボリス・テオドシアニコが七年の刑のいひ渡しを受けた、トット隊と協力したほか、スパイを行つたといふのであるが、當人は反樞軸國側の御用も勤めて極めて公平だつたと辯疏したフランス自動車王ルイ・ルノオは獨軍占領期間中その工場をもつて利敵製作をした廉で、工場と全財産は沒收され、身柄は獄につながれてゐたが十月二十四日獄死した、自然死でなかつたとの説が専ら行はれてゐる、享年六十三

ルノオにつぐ自動車王アンリ・シトロエンも同じ罪に問はれるはずであるが、まだ捕つてだけはない

ジョルジュ・シユアレズが死刑になつた日、フランス最大の銀行の一「ソシエテ・ゼネラル」社長アンリ・アルダンも裁判所へ任意出頭を命じられたが「前日から留守」のことが判明するとともに逮捕狀が發出された、同じ日、嘗つて猶太人なるがために、ヴィシー政府によつて國籍を剝奪され、財産を沒收されてゐた國際資本閣の親玉アンリ・ロチルド男爵(ロスチャイルド一家)はパリ控訴院で國籍回復、沒收財産返還の判決をうけた實に禍福はあざなふ繩の如し矣

顯官連の御難

過ぐる六月十四日、ヴィシーからパリ・サンテ監獄へ護送途中の元拓相、ヴィシー政府の叛逆者ジョルジュ・マンデルをパリの南郊フオンテンブロオの森中に擁して射殺した犯人は、ヴィシー側からいへば猶太人一匹殺したにすぎぬはずだつたが、ド・ゴールにかかつては愛國者殺害といふわけ、十月二十六日二人は死刑、一名は二十年の苦役を言渡された、名前は死刑になつたのがピエール・ボーロ、ジョルジュ・ペリオニ、苦役の方はピエール・ランベール

スイス通信社の情報によればヴィシー政府の元食糧相ジャン・アシャール、保安警察隊長シヨー

ヴァンは十月末パリで捕縛され、元チュニジー總督ジャン・ピエール・エステヴァ提督、マルキ少將、元佛領西アフリカの隻脚總督ピエール・ボアツソンもそれぞれ捕へられてゐる、ボアツソン總督は一九四〇年九月、英軍がド・ゴール軍をおとりに使用して、ダカル占領を企てた際、勇戦力闘しこれを撃退したのが罪に問はれたのであるから、フランスの愛國者も樂ではない、もつとも彼は恩給權剝奪と官吏免職位で済んだといはれてゐる、後になつてド・ゴールに協力したところを情狀を酌量されたのであらう

顯官連といへば、ローヌ河谷ソヴィエト地區に住居を持つた一九四〇年以來、大臣になつた連中は今は全部共產マキ團の手中にあるといはれてゐるが、その人別表は審かでない、十月二十九日にはジャック・ドリオの股肱ジャンヌ・オが逃げおかれてパリで捕へられた

ペタン元帥のお附飛行士で、數々の世界記録保持者だつたミシェル・デロワイヤは、これも三十日パリで召捕られた

フランス反共義勇軍司令官ジョセフ・ダルナン將軍とその副官ルロン大佐が缺席のまま、アネツシーの軍法會議で死刑を宣告されたのは十一月三日だつた、ダルナン將軍はいまペタン元帥と共にゐるが、パリでも起訴されてゐるので、生命は幾つあつても足りさうにない

十一月五日にはヴィシー時代のパリ警視總監ジャン・ビュツフエがパリで死刑を執行された

空軍少將サールはダルナン將軍と同腹の廉で十一月六日、終身刑を宣告され「これがフランスの正義ならばフランスは亡びるほかはない」と浩歎した

元シリア派遣軍司令官として、ウエイガン將軍を繼いだアンリ・ダンツ將軍が叛逆罪の名の下にグルノーブルで逮捕されたと傳へられたのは十月末であつた

伯爵ヤストネ・ド・ピュイサンガールと呼ぶ七十九歳の老翁は、ドイツ側と協力して、猶太人排撃の文書を作製し各方面に配布したといふので十月三十一日死刑を宣告された

南佛の名流ド・ガイヤール侯爵が、カステルノ

オ將軍と共にアルルで絞刑に處せられ、その城が焼かれたとは「グーリエ・ド・ジュネーヴ」が十一月十日報じたところである

地位は高くはなかつたが、名聲はフランスの全家庭を席捲（とまでも行きかねた）したパリ放送局の名アナ、フランソア・ド・ヴィブレイも十一月七日十年の刑を云渡された、そのドイツ軍讀美が怪しからぬといふのである

血醒い巷のテロ

騒がしく、血醒いのは刑場のみとは限らない、十月三十日のラジオ・フランスによれば、元首相ジャン・ポール・ボンクルはロアル・エ・セールの自宅で暗殺團に襲はれ辛ふじて一命を助かつた、ポール・ボンクルは一九四〇年ヴィシーでの第三共和制廢棄宣言國民議會で、ペタン元帥に反對の一票を投じた男で、今ではド・ゴールに歡を通ぜんとしてゐる

「ル・ボビュレール」十一月一日所報では、ド・ゴール反對のマキ團は、パリ中央のシエルシュ・ミディ監獄を襲撃して、收容中の數百名の同志の救出を企てたが成功しなかつた

シャルル・ド・ゴール自身は十一月一日、パリ南部ヴァンセンヌで行はれた國內軍戦歿者の慰靈祭に參列したところ、式場を辭去した數分後、附近で原因不明の大爆發事件が起り、ド・ゴール自身は一命に何の係りもなかつたが、多數の死傷者を出した、これも暗殺未遂と一時は喧傳されたが後ではドイツのV二號の仕業だつたといふことになつた

十一月十一日の前大戦休戦記念日のド・ゴールは英首相チャーチル、外相イーデンを凱旋門下に迎へて久方振り盛大な記念式（何のための記念ぞい）を行つたが、その時數十名の武裝した民衆が行列に亂入して、この三「有名人」の暗殺を企て、警官隊に阻止されて三十名の就縛者を出したとはBBCが、敵のためにする宣傳にすぎぬとして傳へたところである

十一月十日、パリに何年振りかの黨大會を開いたフランス社會黨は「肅清委員會」を設置して、人手を借りず、一九四〇年秋、ヴィシー國民議會でペタン元帥に全權賦與投票した所屬代議士上院議員百十五名の處斷に當らしめる旨を決議した

ブルボン(オルレアン家)王朝の正統で、フランス王位の僭望者バリ伯爵アンリは十一月十三日、一八八六年六月二十二日の共和國法律「フランス王統の正嫡はフランス本土に入るを得ず」を犯して、南佛ベルビニヤンに入り、発見されて捕縛され、その際抵抗して肩に負傷した

何時まで続く肅清ぞ

以上が日本まで辿りついた十一月半ヶ月間のフランスの警察・裁判所だねであるが、肅清は十萬や二十萬では済まないだらうといふのは、ジャック・ドリオの「エコ・ド・ナンシー」見方である十月二十四日の同紙はフランス戦争捕虜運動の指導者アンドレ・マンソンの論説を掲げて次の如くいつてゐる

フランスの戦争捕虜の將來は死刑執行の日の曉を告げる灰色の空である、バリの捕虜委員會は目下ドイツにあるフランス兵捕虜を假令戦争終了後と雖も、無條件で歸國させるわけにはゆかないと主張してゐる、彼等の大多數は「改心した捕虜」であり、ドイツと協力した上は、その罪に従つて處断しなくてはならぬといふのがパリ委員會の主張である、フランス國內軍もまたベタン元帥に忠誠を誓つた捕虜は叛逆罪をもつて律すべしと要求してゐる

これが事實とすればここにまた數百萬人の血の供給候補者が出現するわけだ

「タイムズ」が十一月一日報するところによれば目下ドイツにあるフランス人の内譯は

戦争捕虜七十八萬、捕虜労働者二十二萬五千、移出労働者七十五萬、政治的亡命者六十萬、アルザス・ロレーンからの亡命者三十萬、その他に最近國境地方からの避難民數十萬人

といふ算定であり、以上だけで三百萬人に達するこれの大半が有罪としても、大變な數字であることには變りはない

むしろ

かうした肅清の意圖するところが何であれ、これがド・ゴールの希望するフランス國民の大同團結のためにはならぬ寄與せず、反つてその逆の效果を生みつつあることは想像に難くない、かかる肅清はド・ゴール政權の意圖するところに非らずして、弱體な政府が如何ともなし得ない他の勢力

例へば共產黨、乃至は國內抗戰團體の私刑であるといふかも知れないが、その何れにせよ結果するところは同一であり、フランスの分裂であり、滅亡への一途である

南獨に在るベタン政府の機關紙「ラ・フランス」は十月一日號で次のやうに論じてゐる

ド・ゴールの軍事法廷の合法性などを論ずるのは愚の骨頂だ、猶太の復讐とボルシェヴィズムのフランス寸斷計畫の實施以外の何ものでもないからだ、トレーズ、マルチーの徒は彼等がフランスに歸り得た時當然實行しようとしてゐたところのものを、ド・ゴールが自らの責任においてなしつつあるのをみて快心の笑みを洩らしてゐるだらう

資料

英國の新勞働傷害補償案

マンチエスター・ガーデアン紙

九月二十八日號

傷病手当は生計を営む能力に對する補償ではなく、人生の享樂に要する健康、體力、活力に對する補償だといふのが、戰時軍隊で實施されてゐる傷病手当の根本原則だが、政府が昨二十七日夜白書をもつて發表した産業傷害保險案によつて、この原則が平時の勞働者にも適用されることとなつた、同案は既に發表された社會保障案の一部をなすもので、これが實施と同時に實施される豫定だが、勞働者に對する補償に根本的變革を加へてゐる、補償の負擔は個々の雇主の手から、雇主労働者、大藏省の三者が共同で支出する中央基金に移され、補償金の支給は均一の率で行ひ、家族扶養の責任に對して追加手当が支給される、本制度は勞働契約の下に働くすべての人々に適用され頭腦労働者をも含むが收入上の制限はない

白書は本政府案を次のやうに要約してゐる

一、將來労働者に對する補償は、雇主の負擔に基づく法律の一部としてではなく、社會制度として取り扱はれる、但し、新制度は社會保險の一般計畫から離れてをり、多くの點で戰時恩給に類似してゐるから、一般計畫の中に吸收されず單獨の制度とならう

二、本制度は包括的規模を有し、概括的にいへば學齡兒童を除き勞働乃至徒弟契約の下に働くすべての人々に適用される、特別契約によつて負擔を免れる制度はなく、雇傭の結果或ひは雇傭中生ずるあらゆる事故並びに特に規定された疾病に適用される

三、補償の負擔は個々の雇傭主ではなく、中央基金に課せられ、傷害、死亡双方の場合に對する補償金及び制度維持の經費は同基金から支出される

四、中央基金は、雇傭主及び勞働者から毎週印紙で徵集する掛金並びに大藏省の掛金によつて維持される、毎週の掛金は成年男子六片、女子四片で、雇傭主及び勞働者が各半額を負擔する、少年勞働者の掛金は前記の半額である、補償金額は拂込金の多寡によつて左右されない

五、本制度は一般的に社會保險相の管轄下に入るが、制度の發展並びに運用に産業界を協力せしめるため次の二つの措置を規定してゐる

(イ) 雇傭主、勞働者それぞれ同數の代表より成る諮問委員會或ひは會議を設置し、政策並びに運用に關する重要事項の諮問に應じ意見を具申せしめる

(ロ) 雇傭主、勞働者同數の代表より成る地方裁判會議を設ける

六、勞働者が雇傭主に補償を要求し、拒否された場合には法廷に訴へ得るといふ現行制度の代りに、勞働者の要求はまづ年金係りの官吏が處理し、不服の際は地方裁判會議に訴へ、さらに解決せぬ場合は産業傷害長官にまで持つて行つて同長官が最後の決定を下す制度にする

七、傷害の場合には補償金は均一の率で支給され初期の勞業不能期間には産業傷害手當を支拂ひその後勞業不能が恒久的或ひは長期に亘る場合は産業傷害年金を支給し、更に年金受領者が就職不能の場合には特別手當を付加する、扶養家族のあるものには家族手當が與へられる、特定の場合には治療手當及び當時付添手當が支給される

八、産業傷害年金は收入上の損失ではなく、傷害による勞働不能の程度に基き支給する、勞働不能

能の程度は、傷害勞働者の状態を同年齡、同性の他の健康な人間と比較する方法によつて醫務局が決定するが、不服の場合には特別裁判會議に訴へ得る、年金はその後の收入の多寡によつて左右されないが、換算による一時拂ひの規定はない

九、傷害の結果が輕い程度の勞働不能に過ぎぬ時は、賜金によつて最終的解決を行ふか、或ひはまた特別率による臨時手當をまづ支給し、最後に賜金の必要の有無を決定するか二者のうち一の方法を採用する

十、傷害による死亡の際には寡婦に對し年金を支給し、長子に對して手當を與へる規定である、長子が孤兒の場合は手當率を昂め得る、更に一定の事情の下においては、兩親のうちいづれかに年金を支給し、また寡婦も兩親もない場合は死亡した勞働者の家族のうち扶養を受けてゐる成年家族員の一人に年金を支給し得る規定である

その他一定の場合には、臨時年金或ひは補償金が支給される規定とならう

勞働不能に對する補償金

一、傷害手當

(イ) 勞働不能の期間に支給されるもの
傷害發生後十三週間——毎週三十五志、さらに妻女に對し毎週八志九片、長子に對し五志十三週間經過後——後述の年金全額

(ロ) 完全に勞働不能と査定された場合の年金
毎週四十志、さらに妻に對し七志六片、長子に對し六片

長子以外の子供に對する手當は社會保險案に發表された家族手當制度によつて支給される勞働不能の程度が百パーセント以下の場合には、その程度に従つて年金を支給する、例へば、勞働不能の程度が六十パーセントと査定された場合には、獨身者は毎週二十四志、妻帶者は三十志、妻帶子女一人の場合には三十四志六片を受取る、傷害による勞働不能の程度が輕微の場合には、賜金による最終的解決または臨時手當のいづれかによつて處理する、女子及び少年勞働者——女子は男子と同率の基本傷害手當及び年金を受ける資格がある

少年は成年者の半額を支給され、十八歳に達すると同時に全額の支給を受ける、扶養者手當を必要とする場合に全額を支給される

被扶養者——妻女手當の支給を受ける資格のない労働者は、傷害によつて労働不能の期間を限り、成年被扶養者一人にたいし、普通の労働不能にたいする一般規定に従つて、妻女手當と同率の手當を要求し得る、それ故完全労働不能の獨身者の母親が寡婦で同居してをり労働し得ぬ場合には、同労働者は母親にたいし一週十志の手當を要求出来るわけである

一定の場合に支給される追加補償金——傷害年金受領者が治療を受けたにも拘らず工場傷害の結果事實上就職不能となつた場合は、一週十志の個人追加補償金を支給する、また完全労働不能年金受領者が傷害の結果常時附添を要する場合には、一週二十志以下の特別附添手當を支給し得る、入院治療の初期においては、家庭貯金を差引くことなしに治療補償金を支給する、その後同労働者が更に治療の必要を認められ、病院或ひはその他の施設に再入院する場合には、年金は全額を支給するが、家庭貯金として一週十志を差引く

死亡に對する補償金

傷害による死亡の場合は、全部乃至一部の扶養を受けてゐた被扶養者にたいし年金を支給する規定である

寡婦——一時補償金

一般計畫に従つて資格を認められる時は、最初の十三週間にたいし一週三十六志、十三週間経過後或ひは前記の資格を認められぬ時は

(イ) 五十歳以上、または扶養を要する子女があるか自活出来ぬ時は一週三十志

(ロ) その他の場合には一週二十志及び長子にたいし七志六片

孤兒——一人にたいし十二志

自活不能の片親——最高一週二十志

自活不能の両親——最高一週三十志

自活不能の他の家族員一人——(寡婦乃至両親手當支給のない場合) 最高二十志

被扶養者が完全に扶養されてゐる時は年金全額を支給するが、その他の場合には扶養の程度に比例した額を支給する、寡婦及び孤兒は労働者死亡に際し同居してゐる限り、完全なる被扶養者と見做す、寡婦及び女子被扶養者が結婚する場合は年金は支給を中止されるが、寡婦の再婚に際しては年金一年分の額に相當する賜金を與へる

その他死亡労働者の家族中の被扶養者で、年金受領の資格ある者にたいしては、一週三十六志の臨時手當を十三週間支給する

被保險者の毎週掛金

男子三片、十八歳以下の少年一片半、女子二片十八歳以下の少女一片、以上は一般社會保險計畫に對する掛金と同一のカードに印紙一枚を貼布する方法で拂ひ込まれる、雇傭者及び労働者の掛金は傷害補償制度の經費の六分の五に當り、残りの六分の一は大藏省の支出による

過去から繼續される補償金支拂ひは現行制度に基づき、雇傭主の負擔の下に繼續されるが、本案による家族手當に關する必要な變更を行ひ得る、但し、労働者が事實上就職不能の時は、申請によつて毎週十志の追加手當を中央資金から支給し得る

「タイムズ」紙議會記者の解説

本制度の保險金は雇傭主と被雇傭者の間で均等に負擔される、一般的にいつて本制度は一般社會保險案の第一クラスにある被雇傭者千八百萬人の全部に適用されるが、既に發表された一般社會保險案第一クラスの毎週の掛金中には傷害保險の掛金も包含されてゐる、戦前雇傭主は労働者に對する補償に毎年一千萬磅を負擔してゐたが、この金額は戦時方法によつて一千七百萬磅に増額された新制度の費用は年に二千萬磅で、その他運営經費に三百萬磅を要すると推定されてゐる、費用の六分の一は大藏省が支出し、残りは雇傭主と被雇傭者が均等に負擔する

英國産業再轉換計畫への希望

「タイムズ」紙十月二十五日號

政府も遂に戦時から平時への産業再轉換計畫を樹て始めた様子だが、現在どの産業にしる何かやらうとすれば少くとも貿易省、労働省、供給省の三省の意見をきかねばならぬ有様だから計畫の樹立だけでも容易ではない、この點からいふと最近政府がチャールズ・ガードナーを産業再轉換事務長官に任命したことは工業界一般の歡迎するところだ、現在の段階において二、三の希望を述べて置くのも無駄ではなからう。

一、産業再轉換のやうな問題にあつては、關係當局間の協力が最も肝腎だ、各省が互に獨自の行動を執つては政府の力が著しく減少しよう

二、産業再轉換長官に諮問委員會を附屬せしめ、同委員會の顔觸れには、自分自身の事業について現實に産業再轉換の物質的、精神的問題に直面する工業界の首腦を揃へたらよからう

三、産業再轉換の物質的方面と並行して財政的方面にも考慮を加へるやう希望する、平時産業の軍需工業への轉換に要した費用は殆んど政府が負擔した、産業再轉換もこれに劣らぬくらゐ多額の經費を要しようが、今のところこの經費を政府が負擔するといふはつきりした約束はない財政問題は物心兩方面の問題に比すれば全く第二義的な重要性しかないが、それかといつて全然これらの問題と切離して考へるのは誤であらう

米國航空隊の話題

「エアロプレーン」十月六日號

この二週間に米國航空機の新名稱が幾多發表され、同時に米國の實驗機に關し若干の新しい報道も入つた、米國海軍は現在聯合空軍LAR-1及びLAR-2、エアロ-ナXLNR-1（陸軍TG-5）パイパーXLNP-1（TG-1）テラIXNT-1（TG-6）ウエーコLOW-1（CG-4A）等を含む數種の航空機を使用して

ゐる、LAR-1とPLIAとは降着裝置が異り前者は三車輪降着裝置、後者は普通の主輪二と尾輪一の降着裝置を有する

SB2C-Mヘルダイヴァーはフェアチャイルドとカナデイアン・カー・エンド・フウンドリーの兩者でそれぞれSBF-1、SBW-1の名稱の下に生産されてゐる、米國海軍のヘルダイヴァーはEDOフロートを有し、SB2C-2と稱されてゐる

ワイルドキャットのニュースとしてはS4F-7の原型がグラマンによつて製作されたといふ事實ならびにFM-2がワイルドキャット6として英國海軍で使用されるといふ事實、米國海軍のワイルドキャットにはBOフロートが装着されてゐるといふ事實が明らかにされた

ノース・アメリカン「ムスタング」の寫眞偵察用機は米陸軍航空隊で使用されF6と呼ばれてゐる、アイゼンハウアーは今まで速製の複座ムスタング機でフランスの戦場を往來してゐるといはれる

舊來の航空機の改良型でその存在を知られてゐなかつたものとしてはB26F「マローダー」P47G「サンダーボルト」或ひは尾部に〇・五吋機關銃八挺を有する新型のノース・アメリカンB25「ミツチエル」等が含まれる、米陸軍航空隊で使用してゐるフランクリン發動機の旅客機スティムソンはL9と呼ばれてゐる、ボーイングB24は「空の要塞」の武裝を特に増して護衛機としたのだが、B17が爆弾を落してしまつてからはそれにくつていて行くだけの速度を持たないことが判つたので現在では使用されてゐない

濠洲は戦争開始以來米航空機二千七百機を生産したがうち一千七百機は練習機で残りが戦闘用機である

ダグラスA20ハヴオック攻撃爆撃機は九月二十六日限りカリフォルニア州サンタモニカの工場における生産を停止した、その最後の生産機たる第七〇九八號は工員達の署名に覆はれて同工場から送り出された

フロートと降着車輪と双方を備へた米國軍用機としてはカーチスXSDB2C-2「ヘルダイヴァー」グラマンF4F「ワイルドキャット」ヴォート・シコルスキーSB2-3「インディケーター」等がある

同盟通信

東京都麹町區日比谷公園二番

發行所 同人盟通信社

發行編輯印刷人 萩野伊八

海外電報索引

(昭和十九年十一月一日—十五日)

項目 頁

項目 頁

【互相關連】

重慶政權に對する「最後の警告」	二五〇
スチルウエル召還は軍閥の要求	二五〇
スチルウエル施風	二五〇
米將抗爭の内面暴露	二五二
ウエデマイヤー重慶着任	二五二
航空會議早くも暗礁に上ぐ	二五四
アラビアも不参加	二五四
航空會議々々決定	二五五
東南アジア軍司令部改組か	二五六
三國油田會議開催か	二五七
援ソ物資ダーダネルスを經由	二五七
フランス軍引揚げか	二五七
米軍戰術航空隊を新設	二五七
伊戰線の損害	二五七
國際通商會議	二五八
三國會議ロンドンで開催か	二五八
援ソ物資四百萬トン	二五八
世界勞働會議の準備進む	二五九
三頭會議開催愈々確定的	二五九
三頭會議近く開催されん	二五九
白共産黨政府と妥協	二六〇
米英の重慶攻撃とソ聯	二六〇
チャーチル、ド・ゴール會議	二六一
ダーダネルスの國際管理案	二六一
新國際機構會議開催されん	二六一
ウルグアイ國際機構新提案	二六二
ソ聯、中立國に外交攻勢	二六二
佛政權歐洲委員會に参加	二六二
國際商業會議開催	二六二
パリ會議の結果	二六二
米印通商條約を提案	二六二
米英兩國の紛争を危惧	二六二
米英兩國代表直接交渉	二六二
三頭會議開催地に倫敦は危險	二六二
四首腦會議を提言	二六二
アンラ事務總長倫敦訪問	二六二
空輸部隊活動狀況	二六二

【米 國】

ソ聯の不参加に狼狽	二五一
十九分に一機の割で空輸	二五一
海軍兵員損害七萬	二五一
スチルウエル召還の原因	二五二
英ソ探炭機供給	二五二
勞働罷業狀況	二五二
工場事故數	二五二
蔣介石との衝突を確認	二五二
ガウス大使の更迭を否定	二五二

ガウス大使辭表提出	二五二
混沌たる大統領選舉戰	二五二
更に民需生産を擴大	二五二
リベリアへ調査團派遣	二五二
陸軍航空技術訓練司令死亡	二五二
シェンノット新司令官を代行	二五二
イラン政府を支持	二五三
何應欽の罷免を要求	二五三
一齋に重慶を惡罵	二五三
ソ聯の不参加を重視	二五三
リベリアに經濟使節派遣か	二五三
戰後船舶處分案	二五三
太平洋戰艦數設艇新設	二五三
比島海戰參加の敵艦	二五三
レイテ島上陸以來の人員損害	二五三
兵士對市民の反目	二五三
大統領選舉愈々大詰へ	二五四
スチルウエル華府到着	二五四
損害を更に追加發表	二五四
對日戰は依然困難	二五四
兩者勢力正に伯仲	二五四
ルーズヴェルト共産黨と提携	二五四
米英石油交渉	二五四
ネルソン技術家も帶同	二五四
AFL國際勞働組合に参加拒否	二五四
軍用機生産高	二五四
太平洋の戦ひ	二五四
飛行機生産を減少	二五四
陸軍航空兵力を發表	二五四
太平洋作戦は持久化せん	二五四
スチルウエルと蔣の對立意見	二五五
ルーズヴェルトに選舉權なし	二五五
全世界ニダヤ人會議	二五五
對佛軍艦讓渡	二五五
開戰以來の兵員損害	二五五
デトロイトにまた罷業	二五五
聯邦通信委員長辭職	二五五
食糧供給狀況	二五五
婦人警備隊豫備軍	二五五
全國的な煙草不足	二五五
ルーズヴェルト將に冷淡	二五五
海軍戦力	二五五
十月中造船高	二五五
大統領選舉投票開始	二五五
流星彈攻撃を懸念	二五五
ネルソン再度訪問の使命	二五五
最後の選舉豫想	二五五
ルーズヴェルト訪歐せん	二五五

項 目 號數 頁

ネルソン佛ノモ訪問	二五七	二六三七
ルーズヴェルト四選	二五八	二六四八
デユイ敗北の辯	二五九	二六五四
飛行機生産近況	二六〇	二六五九
九月中武器生産高	二六一	二六六四
スチルウエル加州に到着	二六二	二六七八
グワテマラ承認	二六三	二六八五
沿岸警備隊員を減員	二六四	二六九五
新聞記者人質投票	二六五	二七〇五
武力干涉を支持	二六六	二七一〇
ウオレス重慶大使か	二六七	二七二五
内閣大改造か	二六八	二七三〇
海軍大異動	二六九	二七四五
決定的選舉演説は議長	二七〇	二七六〇
陸軍航空隊を改組	二七一	二七六五
國共の和解は米の脅威	二七二	二七八〇
ロケツト彈に米國も不安	二七三	二七八五
一般投票の差は僅少	二七四	二八〇〇
米洲諸國に屈す	二七五	二八〇五
石油協定を攻撃	二七六	二八二〇
駐印公使任命か	二七七	二八二五
海軍兵員損害	二七八	二八四〇
ル大統領マツカサーと閣取引	二七九	二八四五
新任第十二航空隊司令	二八〇	二八六〇
グルー、ニミッツと會談	二八一	二八六五
イタリアを市場進出の媒介に	二八二	二八八〇
酒類釀造許可	二八三	二八八五
農作物作柄豫想	二八四	二九〇〇
肉類生産豫想減少	二八五	二九〇五

【英 國】

労働黨中央から退陣	二五一	二五五一
伸仕罷業	二五二	二五五二
ソマーヴァイル華府に着任	二五三	二五五三
イングラント東南軍管區を廢止	二五四	二五五八
ホームガード事實上解體	二五五	二五六三
顧維鈞ロンドン歸任	二五六	二五六八
ロンドンの倒壊家屋十萬九千	二五七	二五七三
印緬戰線の損害	二五八	二五七八
政府イランを聲援	二五九	二五八三
チャーチル戦局樂觀を戒む	二六〇	二五八八
ソ聯の對印代表派遣に難色	二六一	二五九三
重慶は四大國に非ず	二六二	二五九八
流星彈の被害	二六三	二六〇三
ギリシャに物資を輸送	二六四	二六〇八
首相バリーを訪問せん	二六五	二六一三
イラン問題の反響	二六六	二六一八
輿論調査	二六七	二六二三
艦船建造高	二六八	二六二八
「タイムズ」米英の調停を要望	二六九	二六三三
スペインと空路開通	二七〇	二六三八
デイル元帥死亡	二七一	二六四三
西亞常駐相モイン暗殺さる	二七二	二六四八
第十二集團軍司令官更迭	二七三	二六五三

項 目 號數 頁

輸出貿易統計を發表	二五六	二六二二
開戦以來の造船高	二五七	二六二三
本國の軍管區改編	二五八	二六三三
モイン事件にチャーチル聲明	二五九	二六三七
モイン暗殺の目當は英政府	二六〇	二六三八
西葡瑞を除外せよ	二六一	二六四八
輿論は武力行使を支持	二六二	二六四九
暗殺犯人はユダヤ人	二六三	二六五五
ルの再選を英歡迎	二六四	二六六〇
V二號の被害既に甚大	二六五	二六六五
印度軍損害の一部を報道	二六六	二六七〇
モズレーの第一聲	二六七	二六七六
軍需工場の結果患者激増	二六八	二六八〇
チャーチル戦局の前途多難を説く	二六九	二六八五
五人に爆彈一個	二七〇	二六九〇
西歐聯盟結成に乗出す	二七一	二六九五
イーデン下院で報告	二七二	二七〇〇
モイン暗殺者はスターリン團員	二七三	二七〇五
對芬國交回復せず	二七四	二七一〇
反樞軸聯盟案をこき下す	二七五	二七一五
チャーチルV二號につき下院報告	二七六	二七二〇
V二號輕視を許さず	二七七	二七二五
V二號に依然煩悩	二七八	二七三〇
香港を放棄せず	二七九	二七三五
西歐防衛團結を企圖	二八〇	二七四〇
對策なきV二號	二八一	二七四五
一致協力政府を支持せん	二八二	二七五〇
破産を米に訴ふ	二八三	二七五五
共產黨はソ聯の手先	二八四	二七六〇
「エコノミスト」誌フランコを攻撃	二八五	二七六五
マンチエスターのガス罷業	二八六	二七七〇
牛乳配給量切下げ	二八七	二七七五
防空司令官廢止	二八八	二七八〇

【亡命政権】

米の反對が頼みの綱	二五一	二五五三
カーゾン線に同意か	二五二	二五五八
ミロイチク再度赤都訪問か	二五三	二五六三
波政權進退兩難に悩む	二五四	二五六八
諸政權近く瑞に移轉	二五五	二五七三
瑞訪問の亡命諸政權	二五六	二五七八
ノルウエー外相訪ソ	二五七	二五八三
波政權カーゾン線を承認か	二五八	二五八八
波政權和協案を拒否か	二五九	二五九三
「ブラウダ」波政權を攻撃	二六〇	二五九八
羅政權の違背行為を攻撃	二六一	二六〇三
加の銀鐵利權を補償	二六二	二六〇八
ソ紙赤軍駐屯問題でイランを攻撃	二六三	二六一三
スイスの申入れを拒絶	二六四	二六一八
スターリン共同戦	二六五	二六二三
ソ紙ルーズヴェルト支持	二六六	二六二八
食糧極度に不足	二六七	二六三三

【ソ 聯】

同盟通信

(第三輯 伊勢新聞)

項	目	號數	頁
---	---	----	---

スターリン議長演説の全貌	二五八	二六五〇
言論界米英に逆撥ち	二五八	二六五七
中立國に外交攻勢	二五九	二六六七
駐日大使にレーニン勳章	二五九	二六六七
對印外交代表を豫定	二六〇	二六七九
アンカラを拒否	二六〇	二六八〇
ド・ゴール政権に捻込む	二六〇	二六八〇
グイシンスキー羅都乗込み	二六一	二六九六
米航空會社社長を招聘	二六一	二六九七
ボノミ政權にも解放要求	二六一	二七〇四
反樞軸商業會議に不参加	二六一	二七一〇
赤軍の死傷三千二百萬餘	二六一	二七一〇
諸との親善關係を強調	二六一	二七一〇

【重慶政權】

ステルウエル更迭に沈黙	二五二	二五五三
罷免問題で新たな危機	二五二	二五五七
宋子文頗りに陳辯	二五四	二五九三
軍需生産半年で増加	二五五	二六一二
内政干渉を許さず	二五七	二六三四
米司法調査員を派遣	二五八	二六五八
ウエデマイヤーの第一聲	二五九	二六六六
國共和解交渉ますます困難	二六一	二六九〇
周恩来重慶に乘込む	二六一	二七一〇
ルーズヴェルト來訪か	二六二	二七一〇

【ドイツ】

軍事訓練所總監察官	二五一	二五五四
北伊の匪國掃蕩戰々果	二五一	二五五四
被占領地區にドイツ新聞	二五三	二五八三
病院船舶獲さる	二五三	二六〇〇
佛と俘虜交換	二五四	二六三九
歐洲内部要塞は不動	二五七	二六四八
公使更迭せん	二五八	二六五九
スターリン演説に見解表明	二五八	二六五九
米英兩國に重ねて抗議	二五八	二六五九
殘虐行為査問委員會設置	二五八	二六五九
ブ上級大將に勳章授與	二五八	二六五九
テネツコ國民軍司令捕虜	二五八	二六五九
米の干渉政策を豫想	二六〇	二六七九
潜水艦生産中止	二六一	二六九〇
ヒトラー總統は健在なり	二六二	二七〇四
外相ウランフ將軍を引見	二六二	二七〇六
ヒトラー總統布告全文	二六二	二七〇八
ゲッベルス宣傳相演説全文	二六二	二七〇八
突撃隊宣誓式	二六二	二七〇八

【イペリア】

反フランコ統一戦線を結成	二五一	二五五四
西舊政府軍首腦暗躍	二五一	二五五四
共産黨領袖を逮捕	二五一	二五五四
西外務次官更迭	二五四	二六〇〇
スペインバリ駐劄大使仕命	二五四	二六〇〇

【フランス】

佛西國境事件解決案	二五一	二五五五
國內治安安收らず	二五一	二五五五
パリに中立國特派員	二五一	二五五五
ド・ゴール陸相財政監察官兼任	二五五	二六一〇
降伏調印者捕縛さる	二五五	二六一〇
ドロワイヤ氏を逮捕	二五六	二六二〇
ルーズヴェルトをも招聘	二五六	二六五八
空軍代將に無期徵役	二五八	二六五八
科學哲人カレル逝去	二五九	二六六七
トレーズ特赦さる	二五九	二六六七
ジョー端西で畫策か	二六二	二七一〇
國境問題で西と會談か	二六二	二七一〇

【東南歐】

勃要切軍に政治委員制	二五一	二五五四
スロヴァキア國防軍新設	二五三	二五八一
洪交戰地域管理委員任命	二五三	二五八一
希政權エラス國に解散令	二五四	二五九四
ルーマニア政情極度に不安	二五四	二五九四
羅政權改造	二五四	二五九四
洪國境閉鎖令	二五四	二五九四
ミチリニ島に共産黨獨立政府樹立	二五四	二五九四
ギリシア政府の要求	二五五	二六〇六
ルーマニア新閣成立	二五五	二六〇六
羅政情不安	二五五	二六〇六
洪、ユダヤ人の財産沒收	二五五	二六〇六
洪陸相兼參謀總長	二五五	二六〇六
勃の地位に變化なし	二五五	二六〇六
勃元外相自殺	二五九	二六六七
勃對日國交絶交	二五九	二六六七
チトー訪ソか	二五九	二六六七

【北歐】

瑞典もド・ゴール承認	二五一	二五五五
スウェーデン政府の協力を要請	二五一	二五五五
共産黨議員を復権	二五二	二五六七
瑞典、中立維持を闡明	二五二	二五六七
芬共黨の要求	二五五	二六一一
芬、ソ聯に船舶十萬噸を移讓	二五八	二六五六
瑞の鐵鐵對ソ輸出は虚報	二五八	二六五六
芬、商船の賣却を要求	二五九	二六六七
ラトヴィア外相任命	二五九	二六六七
芬兩相辭職	二六〇	二六七七
芬内閣總辭職	二六〇	二六七七

【西亞】

イラン政情不隠	二五一	二五五五
イラン政府毅然たる態度	二五二	二五六八
イラン交渉拒否理由を闡明	二五三	二五七八
ソ聯、イラクとも國交開始か	二五五	二五八一
イラン政情不安	二五五	二六一一
イラン石油利權國際問題化せん	二五七	二六三九
休戰協定の不履行を責む	二五八	二六五八
テヘラン市緊急事態	二五八	二六五八

項目 號數 頁

イラン内閣總辭職……………二六〇 二六七七
イラン首相遂に屈服……………二六一 二六九七
石油政策の黒幕は米國……………二六一 二六九七
イラン石油紛争の経緯……………二六一 二六九七

【トルコ】
共和國の目標……………二五三 二五八三
大統領外交政策を闡明……………二五四 二五九九
ボノミ政權を承認……………二五八 二六四八

【カナダ】
英帝國航空會議終る……………二五一 二五五三
ステルウェル政治的に無能……………二五三 二五八三
國防相更迭とその理由……………二五四 二五九七
志願制を維持……………二五八 二六五六
派遣軍參謀長罷免……………二六一 二六九五
徴兵制を施行せず……………二六一 二六九五
陸軍の死傷五萬餘……………二六一 二六九五

【米 洲】
亞勞働組合政府の中立を威嚇……………二五三 二五八三
三國亞の提案支持……………二五四 二五九七
全米洲米國案を彈劾……………二五六 二六二〇
米洲ブロックを結成……………二五七 二六三七
南米諸國の對米債權……………二五八 二六五六
對ソ復交々々……………二六二 二七〇九

【印 度】
ジンナー、ニューデリー着……………二五三 二五八三
會議派領袖會議ガ翁を信仕……………二五四 二六〇〇
中央立法會議會議權問題討議……………二五八 二六五六

【新 西 蘭】
太平洋問題協議會開催……………二五四 二六〇〇

【エ ー ル】
「世界國家」の提唱……………二五五 二六〇九
マザリツクの演説を禁止……………二五八 二六五五

【南 伊】
ム統帥の私財を沒收……………二五五 二六一〇
軍票三百四十八億リラ……………二六二 二七一〇
王政中央黨結成……………二六二 二七一〇
暴力團に反樞軸軍人參加……………二六二 二七一〇

【澳 洲】
新西蘭と會議……………二五五 二六一二
旱魃で凶作……………二五八 二六五八

【スイス】
ソ聯の一躍に世界衝動……………二五七 二六三八
佛西兩國から隔離……………二五九 二六六七
對ソ態度愈々強硬……………二六一 二六九五
外相辭職聲明……………二六一 二六九五

【北 阿】
エデプト政府モイン事件聲明……………二五七 二六三八

【歐洲戰局】
東西兩面で冬季攻勢開始……………二六〇 二六七七

項目 號數 頁

【軍事情報】
ハンガリア戰線活潑……………二六〇 二六七七
獨新兵器「猫の眼」劑……………二五一 二五五五
獨軍のガラス製地雷……………二五一 二五五五
米軍の新ロケット砲……………二五二 二五六四
獨軍またまた新兵器……………二五八 二六四九
V二號遂に發動……………二五八 二六四九
豫知出来るV二號……………二五九 二六六三
V二號の性能……………二五九 二六六三
V二號の攻撃續……………二六〇 二六七六
物凄いV二號の速度……………二六〇 二六七六
V二號の構造と意義……………二六〇 二六七六
バリ、アントワープにV二號……………二六〇 二六七六
對米流星彈攻撃開始か……………二六〇 二六七六
眞の祕密兵器V二號……………二六一 二六九二
翼のないV二號……………二六一 二六九二
放射性新兵器出現か……………二六一 二六九二
獨ロケット機寫眞偵察……………二六一 二六九二
諾威からUボート作戦……………二七一〇 二七〇三

【特 輯】
ド・ゴール承認問題論議……………二五一 二五五六
空軍ロケット時代……………二五二 二五六九
佛西國境事件續聞……………二五三 二五八四
モスクワ會議では何が決まらなかつたか(上)……………二五四 二六〇一
モスクワ會議では何が決まらなかつたか(下)……………二五四 二六〇一
英國財政、政治、國民生活(上)……………二五五 二六一三
英國財政、政治、國民生活(中)……………二五六 二六二四
英國財政、政治、國民生活(下)……………二五七 二六四〇
英國財政、政治、國民生活(上)……………二五九 二六六八
ステルウェル召還問題の全貌(上)……………二六〇 二六八一
獨ソ戰とソ聯の狙ひ……………二六一 二六九二
西部戰線はどう動く……………二六一 二七一二

【資 料】
ド・ゴール政權承認ステチニアス聲明全文……………二五一 二五五九
デュウイの戰後問題演説……………二五一 二五五九
デュウイ統制經濟を支持……………二五二 二五六三
空の破壊兵器……………二五二 二五六三
燃料問題を繞る英葡關係……………二五二 二五六三
數字からみた戰時下の米國(下)……………二五二 二五六三
問題のド・ゴール演説……………二五三 二五八六
ド・ゴール演説の批評……………二五三 二五八六
濠洲最近の諸問題……………二五三 二五八六
カナダの近況……………二五五 二六一八
勃政府に對する休戰條件……………二五六 二六三〇
八月中の米餘剩軍需資産……………二五六 二六三三
英白通商協定全文……………二五七 二六四四
米國議會制度改革問題再燃……………二五七 二六四四
戰後失業問題の解決案……………二五八 二六六〇
個人取引……………二六〇 二六八五
第一線航空機の比較査定……………二六〇 二六八五

昭和十九年十一月廿七日(月)
第三二五三號

同盟通信

海外電報

(271)

【目次】

- 十一月月初旬以來再三單機偵察飛行を行つてゐたB 29は二十四日遂に七十機内外數梯團となり高々度をもつて帝都附近に侵入した、東京に空襲警報が發せられて間もなく早くもワシントンでは航空本部長アーノルドが東京空襲を發表し、同時に大統領ルーズヴェルトに對し特別報告を提出して本格的戰略爆撃の開始を宣言した、敵の自慢を聞くまでもなく今や日本全土が敵の爆撃圈内に入つたことは既に日本國民の十分承知してゐることだ
- B 29は對日戰略攻撃のみを目標として特に設計製作された航空機であり、第二十航空隊は世界爆撃隊とは稱するが對象は日本以外にある筈がない、その編成は他の十五航空隊と全然別格に扱はれ、司令官は陸軍航空本部長大將ヘンリー・アーノルド、副司令官は太平洋方面陸軍航空隊司令長官中將ミラード・ハモンのそれぞれ兼任である、直接の指揮官は在支第二十爆撃隊司令代將カーチス・ルメー、マリアナ基地第二十一爆撃隊司令代將ヘイウッド・ハンセルの兩名で、第二十一爆撃隊の方は三月創設され現在同隊參謀長たる代將ロージャー・レイメーが最近まで司令官代理として東京爆撃の準備を急いでゐたのだといふ、この大掛りな編成をみても明かなやうに敵の本土空襲企圖は彼らの夢寐にも忘れることのできなかつた執拗な計畫だつたのだ、マリアナ基地からでは精々三、四十機しか出撃し得まいと巷間で噂されてゐたB 29は廿四日の空襲には七十機の勢力を動員し得た、その七十機もいつまで七十機で止つてゐると考へたら大間違ひだ、われわれがいかなる困難をも精神で克服するごとく、彼らは大概の困難を機械と技術により解決する、恃むべきは萬全の用意あるのみ
- 反樞軸航空會議決裂か
亡命波首相遂に辭職
サルヂニア島で自治制附與
ソ聯、ユーゴ會議公報
チトー、商船の引渡を要求
米國の電話罷業終る
對日決戦に「大陸軍」を使用
イラン新首相は親米英
ド・ゴール、首班代行を任命
ハリマン、倫敦で活躍
二八四六
二八四七
二八四七
二八四七
二八四七
二八四七
二八四七
二八四七
- 【米 洲】
軍事科學研究の必要を強調
ウエデマイヤー新聞會見
國民所得激増
中南米の對米市場價值
對英借款説を否定
世界ユダヤ人大會の議題
波東部のソ聯領編入を承認
ガウス紐育到着
米國型流星彈
伯、レバノン承認
ボリウイア平靜に復す
二八四八
二八四八
二八四八
二八四八
二八四八
二八四八
二八四八
二八四八
- 【ドイツ】
國防軍の「變容」
二八四九
- 【英 帝 國】
キング徴兵制に叩頭
共產黨新陣容
中南米航空會社設立
二八五〇
二八五〇
二八五〇
- 【アフリカ】
英の對エ野望を暴露
行政權行使は正當行為
二八五一
二八五一
- 【友樞軸陣營】
三國會談への道遠し
休戰條件履行監察委員會設置
二八五一
二八五一
- 【東 亞】
統帥の無力と非民主主義
二八五二
- 【特 輯】
ド・ゴール赤都行
二八五二
- 【資 料】
最近の英ソ關係
二八五六
二八五六
- 合衆國の戰爭目的
一八一

反樞軸航空會議決裂か

米英間に意見対立

(リスボン二十四日發) シカゴ來電 反樞軸並びに中立國五十一ヶ國代表參加の下にシカゴで開催中の反樞軸國際航空會議は米英兩國代表の間に重大な意見の對立を來し、遂に決裂に終るのではないかと見られるに至つた、即ち米英加三國代表はさきに三國提案の相違點調整のため一週間にわたり三國のみの特別秘密會議を開催して妥協點発見につとめた結果、一時は妥協案が成立するかにみえたが、航空統制機構問題で米英兩國間に意見の一致を見ず、會議は二十四日に至り全くの行詰り状態に陥つた、米英兩國は將來各國の民間航空が他國領においても自由に旅客並びに貨物を收容する自由を認める點では原則的に意見一致してゐるが、世界航空統制機構の機能につき完全に對立した提案を行ひ、現在のところ米英兩國共に譲歩の色を示してゐない、一方米英兩國以外の各小國の大部分は米英流の航空自由が認められる時は結局將來の世界航空が大國によつて獨占されることを恐れ、航空自由權自體に反對の態度をとり、既にエジプト代表は米英の提案を拒否する意向であることを明らかにしてゐる、かくの如く會議に臨んだ各國代表の態度は全く四分五裂の状態に陥り、この状態に鑑み中南米十九ヶ國代表は二十四日會議閉會の決議案を提案せんとしたが、米國代表バールが百方説得につとめた結果、彼等は今後七十二時間その提案上程を見合せることになつたといはれる

亡命波首相遂に辭職

(ストツクホルム二十四日發) ロンドン來電 亡命ポーランド政權は首相スタニスラフ・ミコライチクが辭職、大統領ラチキエヴィツチは副首相ヤン・クワビンスキーに新内閣の組織を委嘱した旨二十四日夜發表した

サルジニア島に

(チューリッヒ二十四日發)

自治制賦與

サルジニア島の政治經濟代表はイタリア人高等辨務官とともにローマに赴き過般來ボノミ首相その他反樞軸

軍代表と協議を重ねてゐるが「バズラー・ナハリヒテン」紙の報道によればボノミ政權は今回同島に對して高度自治を賦與するに決定したと傳へられる、同紙の報道によればサルジニア島における農、工、商、勞働各界の代表並びに政黨の代表をもつて諮問機關を組織し、島民の「分離的傾向」を阻止する方針といはれる

ソ聯、ユーゴ會談公報

統一政府の樹立を協議

(ストツクホルム二十四日發) モスクワ來電 ソヴェト政府はスターリン議長、モロトフ外務人民委員と亡命ユーゴ政權首相スバシツチとの間に行はれた會談に關し、二十四日亡命ユーゴ政權と共に同で次の公報を發表した

會談はモスクワにおいて二十日から二十三日まで行はれ、ユーゴスラヴィアに關する根本的諸問題が友好的雰圍氣裡に検討された、會談中チトー元帥と亡命政權首相スバシツチ博士との間に成立をみた協定に基きユーゴ統一政府を樹立する必要が述べられた、ソヴェト政府は一切の民主主義勢力を糾合し、民主主義的統一ユーゴスラヴィアを確立せんと圖つたチトー元帥とスバシツチ首相の勞を多とする

チトー、商船の

(リスボン二十四日發) ベル

引渡を要求

グラード來電 ユーゴ國民解放委員會は議長チトーが英國

軍事使節團に對し現在反樞軸護送商船として使用されてゐるユーゴスラヴィア・ロイド會社所有の商船四隻二萬總登録屯を十二月十五日までに國民解放委員會に引渡すやう要求した旨二十四日發表した

米國の電話

(リスボン二十四日發) ワシ

罷業終る

ントン來電 オハイオ州に端を發し、全米の長距離電話を

麻痺状態に陥れるかにみえた電話従業員の罷業は二十三日夜組合幹部の態度急變により呆氣なく解決した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

對日決戦に「大陸軍」を使用

— ウエデマイヤーの言明 —

(リスボン二十三日發) 重慶來電「在支米空軍司令官少將ウエデマイヤーは二十三日の記者團會見において畑元帥の内地歸還によつて日本軍の大陸攻勢が弱まるものではないこと及び重慶軍の再編成につき蔣介石と諒解がついたことを明かにすると共に、對日決戦は支那大陸で行はれることを強調、この決戦には米軍地上部隊を含む反樞軸軍の全力を投入する計畫を示唆し次の通り言明した

畑元帥が東京に歸還したことによつて支那における日本軍の態勢が弱化するのではないであらう、後任の岡村大將もまた有能であり支那に通曉し、この新しい陣容は日本軍の作戰計畫に拍車をかけるかも知れない、然し目下のところ日本軍が今後更に攻勢をとるに必要な力の集中を増強した兆候はない、日本軍の脅威に對處するため特定の諸部隊を再編成再配置する必要がある、余は蔣介石に建議したが、この建議は承認され、目下計畫を遂行中である、余は新任の軍政部長陳誠とすでに二回満足な會談を行つたが彼の印象は最も好ましいものであつた

飛石作戰は不可

次いで記者側より支那で米軍の地上部隊が使用されるかとの質問を出したのに對しウエデマイヤーは次の通り言明した

われわれの將來の計畫は能ふ限りあらゆる方面から集めた軍隊を使用すること、歐洲戰爭の終結した後には反樞軸の全力を最も有効に活用する計畫につきマシーナル參謀總長に報告する用意が出来てゐる、われわれは決定的な目的のために特定の軍隊と補給物資を使用することが可能である、余は島嶼傳ひの飛石戰略で、日本を撃破出来るとは考へない、余の意見では、日本は今次戰爭の最後の決戦段階に備へて自ら大陸戰略に没入したのだ、われわれがこの日本軍と相對し、且つ空軍を使用するためには、大陸軍を必要とすると共に、入用な補給物資を持込むため、支那への海上交通連絡をも必要とする

であらう、ニミッツも日本とは結局アジア大陸において交戦しなくてはならないだらうとの意見を最近述べてゐる

イラン新首相は

親米英

(リスボン二十四日發) イラン新首相バヤートはソ聯の意を迎へる傍ら國會方面の支持を得るため組閣に腐心、大命降下後四日間を経るも未だ閣員の顔觸れは決定をみるに至つてゐないが、テヘランからのUP電報はバヤート牽制の底意を含めて二十四日次のやうな希望の報道を行つてゐる

米英兩國はバヤート新内閣に石油利權問題に關しサエド前内閣以上の反ソ態度を期待してよからう、新首相は人も知る非常な親米英派だからソヴェト政府はサエド前首相ほど大つぱらにバヤートを攻撃するわけには行かない

ド・ゴール首班

代行を任命

(マドリッド二十四日發) ド・ゴールは愈々週末パリを出發モスクワに赴くがパリ來電によれば官報で二十五日次の通り發表したと傳へられる

ド・ゴールがモスクワに赴いてゐる間、無任所相シヤンヌネーが政務並びに軍務を代行シヤンヌネーもパリを離れる場合には藏相ブレヴエルが代行する

パリからの報道によればド・ゴールは當初ジローに代行を委嘱する心算であつたが、内政並びにマキ匪團に對する兩人の政策が著しく相違してゐるためジローは受託しなかつたと傳へられる

ハリマン

倫敦で活躍

(ストックホルム二十四日發) モスクワ駐劄米國大使アヴェリル・ハリマンは歸任の途上ロンドンに立ち寄りチャーチルと會談したがロンドンからのUP電報が二十四日傳へる所によれば、ハリマンは更にロンドン駐劄米國大使ジョーン・ワイナントその他英國外交界の首腦と會見を重ねて種々打合せを遂げてをり、近くイーデンとも會ふ豫定といはれる、確聞するにハリマン訪英の使命はルーズヴェルトの意を體して三國會談開催の下準備をするにあるやうだ

【米 洲】

軍事科學研究

の必要を強調

政策委員會で次の通り述べた

將來侵略國の攻撃は從來に増して急速かつ十倍もの熾烈さをもつて加へられることとならう、このことはロケット砲、噴射推進爆彈、操縱爆彈など一寸並べただけでもこれだけの新兵器が今度の戦争で現實に使用されてゐる事實によつて證明されてゐる、従つて廣範圍な國土防衛に對する強固な手段として科學的研究が如何に重大なるかをどれほど強調してもし過ぎることはない、しかしそれかといつて余は戰後軍擴競争が行はれることを欲するものではない、ただ永續的平和は軍事力によつて支持される場合、一層確實となると信じてゐるのだ

ウエデマイヤー

(リスボン二十三日發) 重慶

新聞會見

來電によれば支那戰域米軍司令官ウエデマイヤーは二十三日

日の記者會見において次のやうに言明したといはれる

日本軍の脅威に對處するため余が提案した重慶軍配置の全般的構想は蔣介石の容れるところとなつた、日本軍はいはゆる島傳ひ戰術をもつてしては打倒し得ないであらう、是非とも支那大陸に足場を得なければならぬ、余はとり得る一切の手段を盡す積りで必要とあれば印度から米軍部隊の増援を得ることも考へてゐる

國民所得

(ベルリン二十三日發) ドイツ經濟學者ウイルヘム・シュ

得 激 増

ツ博士は二十三日、國民所得の激増によつて、米國が漸次インフレへ移行しつつある旨次の通り指摘した

米國政府の査定によれば、一九四四年度の米國民所得は恐らく一千五百八十億弗といふ記録破りの巨額に達するものとみられる、これを從來の國民所得と比較すれば次の通りとなる(單位百萬弗)
一九二九年七九、五〇〇 三三年四四、七〇〇 三七年六九、四〇〇 三八年六二、三〇〇 三九

年七〇、八〇〇 四〇年七七、二〇〇 四一年九四、七〇〇 四二年一一五、五〇〇 四三年一三五、〇〇〇 四四年一五八、〇〇〇

以上の表にみるも明らかな如く、今次大戦勃發以前、國民所得は一九二九年が最高であつたが、爾後四ヶ年に亘る世界經濟恐慌のため逐次低減し、一九三三年には四十四%方減少した、しかしその後の四ヶ年間に於いては經濟情勢の好轉策によつて國民所得は漸増、一九三九年歐洲戦争が勃發するに及び經濟界は會て想像もしなかつたやうな規模において活動の機會が與へられた、即ち大東亞戦争勃發の一九四一年には一九二九年の額を突破(爾來四ヶ年、逐年新記録が相次いで生れた、以上は全國的な通貨流通高の激増、物價騰貴、質銀、俸給の増額等に基因するものであり、米國がインフレへの道を驀進してゐる明白な證左である

中南米の對

(リスボン二十三日發) ワシ

米市場價值

整局は米國の中南米諸國における市場獲得の將來性につき二十三日次の報告を發表した

戦争終了後最初の十年間に米國は新品及び中古の機械類約一千萬弗を中南米諸國に輸出することが出來よう、これはこれら諸國の全需要量のほぼ六十%に相當するとみられ、殘餘は米洲各國が各自で生産するか相互で融通し合ふこととならう、戦争以前既に中南米諸國は工業擴張に乗り出してをつたが、目下實施されてゐる諸計畫は戦後の十年間に經濟發展を強化することを目的としてゐる事實中南米諸國はすべて將來經濟的自給體制を確立するためばかりでなく、輸出貿易をも促進するため、目下農、工業を奨励してゐる

對英借款

(リスボン二十三日發) ワシ

説を否定

ホワイトは過般來英國經濟使

節ケインズと米國政府との間に行はれて來た會談の内容について二十三日次の通り言明した
今次會談で米國の對英五十億弗借款が議題に上つたと一部でいはれてゐるが事實無根である、今次會談の目的は一九四五年度の武器貸與計畫を檢討するにあつた

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

世界ユダヤ人

大會の議題

(リスボン二十一日發) ニュ
ヨーク來電ニ世界ユダヤ人
協會は来る二十六日から三十
日まで五日間に亘りニューヨークのアドラ
ンデイツク・シテイで戦時緊急會議を開催する
こととなつた、世界ユダヤ人協會は一九三六年結
成され、今回の會議には二十八ヶ國の代表が直接
参加するほか、ドイツ軍占領下にあるか乃至遠隔
の地にあるため参加不能の諸國十七ヶ國を米國が
代表して委員を出席させ、参加代表は全部で二百
五十名に達するとみられ、主として次の四議題が
討議される豫定である

一、賠償並びに救済問題に關し、すべてのユダヤ
團體を代表する中央集權的ユダヤ復興機關を設
置すること

一、十分の資金並びに權限を有する避難民救済の
新國際機關を設置し、右機關をして諸決定事項
を遂行せしめること

一、ナチ政體を排除し、他國と平等の基礎に立つ
歐洲ユダヤ國を再建すること

一、將來パレスチナをユダヤ國家とするため、諸
種の措置を講ずること

波東部のソ聯領

編入を承認

(リスボン二十一日發) ワシ
ントン來電ニ地理學協會は最
近新ソ聯地圖を發行したが、
これにはエストニア、ラトヴィア、リトアニアの
バルト三國がソ聯邦共和國として記載されてゐる
ほか新カレロ・フィン共和國及びモルダヴィア共
和國も包含され更にポーランド東部の係争中の地
區をも白ロシア、ウクライナ兩共和國内に編入し
てゐる

ガウス

紐育到着

(リスボン二十三日發) ニュ
ヨーク來電ニ前重慶駐米
國大使クラレンス・ガウスは
二十三日北阿からニューヨークに到着、二十四日
ワシントンに赴く豫定である

米國型

流星彈

(リスボン二十三日發) ニュ
ヨーク來電ニオハイオ洲ラ
イト飛行場の陸軍航空當局は
二十三日次の通り發表した
陸軍の流星彈は過去六週間にわたる試験の結果

良好な成績を示した、ドイツのV一號は製作に
二週間かかるといはれるが米國式V一號は四日
間で出来る

伯レバノン

承認

(リスボン二十三日發) ペイ
ルート來電ニレバノン政府は
ブラジル政府がレバノンの獨
立を承認する旨通告して來たと二十三日發表した

ボリヴィア

平靜に復す

(リスボン二十三日發) ブエ
ノスアイレス來電ニブエノス
アイレスのボリヴィア大使館
はボリヴィア國內の叛亂は鎮壓され、全國に治安
が恢復した旨二十三日公表した

【ドイツ】

國防軍の「變容」

ナチ黨即ち國防軍

(チューリッヒ二十一日發) 總統が十一日の布告
で國防軍のナチ黨編入を聲明したのは、從來國防
軍の占めてゐた特殊の地位が完全に清算されナチ
黨即ちドイツ國防軍といふ新たな關係を發生せし
めた點で畫期的意義を有するものだが「ノイエ・
チューリッヒアー・ツァイツング」紙のベルリン
特電は以上に關し十六日次の通り報じてゐる
ワイマール共和國時代には國防軍は政治的中立
を標榜して政黨政派の上に超然たる存在を維持し
てゐたがそれは目まぐるしい政府の更迭をよそに
獨立した道を辿つてきたことを意味するもので、
國防軍は當時國家内の國家とさへいはれてゐた、
總統の政權掌握後ナチ黨はドイツの國民生活を完
全に支配するに至つたが勿論國防軍の特殊な地位
を承認する筈はない、一九三八年の危機にドイツ
國防軍司令官フリッツ・パウル將軍が犠牲となつたのを最
後に國事に參畫する軍首腦部の特權は剝奪された
歐洲戰勃後には國防軍首腦は野戦場における權限
即ち作戰指揮權すら總統によつて侵略されてゐる
ことを知つたが七・二〇事件により國防軍の變容
は完全に終了し最後の反對派が驅除されるか抹殺
されてしまひ傳統を誇る軍旗への敬禮さへ變へさ
せられた、かかる變化は一九三五年五月二十一日
の徵兵法の改正で今回法制化された譯だが、同法
は兵士の政治活動を禁じてゐるのに對し今回以上
の點が改正されたのである

【英帝國】

キンダ

徴兵制に叩頭

(リスボン二十三日發) カナダ首相マッケンジー、キンダが徴兵制に基く國內防衛軍を海外に派遣する旨の緊急令を公布した結果、空相チャールス・パウハーは遂行辭表を叩きつけ、カナダ内閣は將に瓦礫に瀕するに至つた、英國防相ロールストン大佐は海外派遣兵士についても徴兵制を適用しない限り歐洲戦線におけるカナダ軍の消耗を補充出來ぬ旨を主張し、首相と議合は辭任したが、新國防相マクノートン大將も責任の地位に立つて兵員の補充を考慮した結果、前國防相と同一結論に達し、二十二日夜の緊急閣議において首相キングも結局變節改論の止むなきに至つた譯である、緊急令の内容についてロイター電報は「國內防衛軍のうち一萬六千名までを海外に派遣す、徵募兵はこれを英本國歐洲並びに太平洋を含むその他の戰域に派遣することを得」と述べてゐるが、マクノートン大將は二十三日下院における説明で次の通り事情を釋明したと傳へられる

現狀では全面的に兵員が不足してゐるわけではないが、歩兵の死傷率が可成り高く、來年一月乃至二月には増援兵力に不足を來たし、さらに來年の春から夏にかけて、また不足期間が到來するであらう、國內防衛軍は進んで海外に出征を志願してはゐないが、軍命令がある場合には何時でも出征する用意あり、現實に不足な兵力一萬六千人を國內防衛軍のうちから歐洲戰域に派遣するに決定した

新たな緊急令により徵募兵員があらゆる戰線に派遣されるのか、國防相の言明通り歐洲戦線に限られるのか必ずしも明らかでないが、今回の決定が一度下院に發表されるや、野黨席からは「降伏だ」「變節だ」といふ野次が頻りに飛び在野の進歩的保守黨領袖ゴルドン・グレイドンの如き、二十三日早くも徴兵制を主張する新内閣の組織を提唱し、カナダ政界は政變の氣構え濃厚だ

共産黨
新陣容

(ストックホルム二十三日發)
ロンドン來電 共産黨の執行委員會が新たに選舉されたが

顔觸れ次の通り

委員長 W・ガラハー 副委員長 R・P・ダツト 書記長 ポリツト

同時に新しく任命された政治委員會の委員次の通り

テツド、エミール・バーンス、J・R・カンベル、ジョン・ゴラン、ピーター・ケリガン、ウィリアム・ラスト

中南米航空

(ストックホルム二十三日發)
ロンドン來電 總資本金二千

會社設立

萬磅の英國五大船舶會社は二十三日「英中南米航空會社」を設立したが、西アフリカ方面への海運を管理する船舶會社も同様戦後において同方面の空路を開始する豫定で、從來海路によつてゐた右船舶會社の旅客の過半数は空路を利用することとならうとみられてゐる

【アフリカ】

英の對

(リスボン二十三日發) 素破

エ野望を暴露

抜き記事で有名な米國の新聞記者ドルー・ピアソンはエチ

オピアを占領した英軍がそのまま同國に居直らうとしてゐる事實を暴露し、二十三日の「デリー・ミラー」紙上で次のやうに報じてゐる

エチオピア皇帝ハイレ・セラシエは英軍のエチオピア撤収を要求して拒絶され、米國政府に不満を訴へた、更にこの小さな皇帝は本文の筆者と文通しようとしたが英國の檢閱乃至は米國務省の妨害に遭つて阻止されてしまつた、しかし筆者は別の經路から英軍がエチオピアのオガデンとハラール地區を占領しこれを手放すまいとしてゐる事實に關して確證を握つてゐる

行政權行使は

(ストックホルム二十三日發)

正當行爲

ロイター外交記者はドルー・ピアソンの素破抜き記事に答へて英國政府の代辯をつとめ、二十三日次の通り強辯してゐる

英軍のオガデン、ハラール地區占領に關しエチオピア皇帝が米國政府に抗議を提出したといふ事實はロンドンでは全然知られてゐないが、一九四二年英國とエチオピアとの間に成立した條約によれば、英國は英領ソマリーランド國境に隣接するエチオピア領土の一部に行政權を行使してよいことになつてゐる

同盟通信

海外電報

(第三聯軍便報電)

【反樞軸陣營】

三國會談への道連れ

(チエリツヒ二十三日發) AP、UPが國務省筋の情報として三國會談が明年春まで延期になつたと執拗に傳へてゐるのに對し最近中立國筋では會談開催の地均し工作のためモロトフ外務人民委員がマイスキー次長がロンドンに乗り込むとの噂が盛んに流布されてゐるが、「バーズラー・ナハリヒテン」紙のストツクホルム特派員は三國會談開催を繞る歐洲情勢を纏めて二十日次の通り報じてゐる

ソヴェト當局が米國半官筋の質問に答へて示唆したところからみても三國會談の開催を再び延期することに一決したことは明瞭だ、従つてソヴェト政府代表のロンドン乗り込み説は寧ろクレムリンが三國會談開催の提案に決定的な回答を與へたとみるべく、以上をもつて會議が本年中に開催される兆候と解するわけには行かない、ワシントンからのAP電報によれば早くても明春といはれるが、この報道はソヴェト當局が最近スターリン議長が冬季攻勢の準備に忙殺されてゐるためモスクワを離れることが出来ないと言明した事實と完全に一致する、以上の情勢に鑑み關心に價するのはソ聯言論界が最近フランス、ベルギー共産勢力に對する英國外交政策を攻撃して、西歐洲聯盟案はソ聯を對象とするものであり、かかる反ソ計畫にソ聯が賛成出来る筈はなく、また歐洲諸國が積極的に英國案を支持するとは思はれないと論じてゐることだ、いづれにしてもソ聯はスターリン議長が三國會談に出席する前に先づもつて西歐洲聯盟案を粉碎しやうと掛つてゐることは疑問の餘地なくその他イラン石油利権、ソ波國境紛争、バルカン處理など問題が山積してをり、これらが一應解決の形をなすまでは三國會談は開催されまい

休戰條件履行

監察委員會設置

(リスボン二十三日發) ワシントン來電 米陸海兩省は十三日次の通り發表した
ソ聯、ルーマニア兩國間の休戰條件履行を監察するためソ聯、英國及び米國代表よりなる反樞軸監察委員會が組織され、同委員會は赤軍司令部の

指揮下に活動することとなつた、米國側委員の顔觸れ次の通り

陸軍代將	コートランド・シユイラー
海軍中佐	フィリツプ・ブラネン
陸軍中佐	グレデイ・マツクグラソン
同	ロバート・エメンズ

【東亞】

統帥の無力と非民主主義

米記者、重慶攻撃

(リスボン二十二日發) ニューヨーク來電 「ニューヨーク・タイムズ」紙は重慶政權改組の報道と同時に前重慶特派員ブルツク・アトキンソンが重慶の現實主義的觀察を主張した長文の論説を掲げてゐる、その要旨次の通り

米國が現實主義をもつて初めて重慶に對し不可能なことに期待をかけることを避け、同時に尊敬の念をもつて初めて重慶國民の不撓不屈と勤勉を認めることが可能である、米國は對蔣問題を理性的に處理することが出来るだらうか、重慶を尊敬すべき理由は二つある、第一に重慶は日本と和平せず第二は重慶は慘憺たる窮乏を招來した封鎖に對し二年半にわたつて持ちこたへたからである、しかし米國は自尊心をもつて重慶の幾多の缺點に對し現實的でなくてはならない、一部の缺點は不可避でありなほすことは出来ないがあるものは重慶政府の無力に起因するもので、同政府は對日戦よりも自己の政治的安全保障に重點を置いてゐる、米國が重慶を理性的に取扱ふためには重慶の政府と軍統帥の真相について現實的であることが必要だ、軍事的には重慶において何應欽のもとにある軍事委員會ほど無能な要人の一群がをるところはない、米國が重慶の軍裝備の要求に應じ得なかつたことは事實だが優れた指導は軍の作戰にとつて裝備と同様に重要だ、そして重慶の最高統帥部は重慶の軍組織中で最も弱い部分の一つである、政治的には米國は重慶の中央政權について現實主義的でなくてはならない、重慶政權は口先では孫文の三民主義を大いに唱道してゐるが、實際は重慶政府は精神において民主主義的ではない現在の傾向として重慶政權は民主主義を非公式に討議することを破壊的だとみなしてゐる

ド・ゴール 赤都行

井上 勇

西歐聯合と四國

「召喚」されたのか「招請」されたのかの見解は別としてフランス臨時政府首班シャルル・ド・ゴールは外相ジョルジュ・ビドオを帯同いよいよ近くモスクワ訪問のことに決定したと十一月十八日タス通信は發表した、チャーチル、イーデンのパリ訪問直後、スターリンより招待狀が發せられた事實が、特に國際的スペキュレーションの對象となつてゐることは既に紹介した通りである、そこから短刀直入に結論すれば、目下英國を主導力として話が進められてゐると信じられる西歐聯合案にたいしてフランスが如何なる見解を有するかを確め、同時にソ聯の考へ方をフランスに徹底せしめるのが、モスクワのねらひであらうといふことになる

西歐聯合案にたいして、フランスが如何なる見方をしてゐるかは既に説いたが、これを要約すればフランスは、ソ聯を「對象」とした西歐洲のブロックには氣乗りせず、能はばソ聯をも含めた歐洲ブロックの一環として西歐聯合を組織し、自らは東西兩歐洲の秤の分銅としての役割をつとめたといふにあるやうだ

英國は、いまだ西歐ブロック結成の眞個の目的について明言してゐないが、ソ聯の西歐進出にたいする一つの對抗策として、この案を案出した底意は十分に汲取れるところだ

米國の西歐ブロックにたいする見解は「ニューヨーク・タイムズ」その他の批評を綜合するに、飽くまで世界的安全保障體制の埒内に、防禦的、相互扶助的な地城安全保障體制たるに止まる限り西歐ブロックもまた、不可とするに當らないが、局部的重心が全體の平均を破ることを危惧してゐるやうである

ソ聯は西歐ブロック結成が、戦前の勢力均衡政

策の再現と化し、その必然の結果が、ソ聯勢力への制肘に主眼がおかれるに至るべきことを警戒しつつ、なほ公式の見解を披瀝せず、先づド・ゴールを呼んで、パリ會談の内容について糺し、おもむろに對策を樹てようといふところであらう

岡目八目の中立國

これだけの前提を置いて、中立國筋からの反響に一應眼を通してみると「バーズラー・ナハリヒテン」紙は十七日

スターリン、ド・ゴールの會見は主として、目下結成途上にする西歐聯合が、ならんソ聯の反對勢力たるの目的を有しないことを明らかにしソ聯の誤解を解くに重點がおかれるであらう、ソ聯のかかる誤解を解くために今回の會見が必要であることは、フランスとしては夙に英國側の諒解を得たものと推定される、勿論ド・ゴールとビドオはモスクワにおいて西歐問題全般に亘り、特にチエコスロヴァキア、ポーランドとフランスとの同盟關係についてフランスの立場を闡明するに努めるであらう、パリ政府は、ソ聯が特に佛波同盟と關聯してフランスが有する關心を重視してゐると信すべき理由を持つてゐるフランスとしてはソ波國境問題に關して、ソ聯の主張を支持することにより、ライナランド、ルールの問題について、ソ聯の支持を期待するであらうことは容易に想像し得るからだ

と論じてゐるが、その前半、西歐聯合が反ソ聯合でないことをソ聯に納得せしめるに當り、表向きの理由は如何ともあれ、フランスの眞意が何處にあるかを今少し探求してみる必要がある

ド・ゴール政權が無條件的に西歐ブロック案に左袒する意志のないことは、ド・ゴール、ビドオの聲明にも明白であるが、フランスの吐がこの西歐聯合を利用して、その看板のもとに、ルール、ライナランドにたいする宿意を達成しようとし、てゐることは推察に難くはない、出來れば英國とソ聯との双方に張番をさせて、この禁斷の木の実を喰まうといふのだ、西歐聯合に無條件賛成でないことをいふことによつて英國に警告し、ソ聯の歡心を買はうといふのである、そこにはフランスにとつてはもつつけの幸の緒がある

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

英ソ同盟がそれだ、フランスの希望するところはこの同盟を英、ソ、佛の三國同盟に變化せしめることによつて、チエコスロヴァキ、ポーランドとの同盟を勿體をつけながら「犠牲」とし、ルール・ラインランドを囊中のものとする手が残つてゐるわけだ、無闇に西歐聯合などにいち早く双手を舉げる必要はない、この案の利點はまだ有る、國內での勢力維持の最良策がそれである

三國同盟の皮算用

現在のド・ゴールの政治的手腕をもつてしては到底、左翼特に共產黨の重壓に抗して存命の見込みは全くない、いま辛うじて生命が続いてゐるのは戦争といふ上からの壓力と、列強の支持といふ支柱によるのみで、自力で立つてゐるとはド・ゴール自身も考へてゐないであらう、殊に最近は、モスクワの意を受けたか否かは疑問としておくにしても、共產系抗戦派の反英、反ド・ゴール氣勢は相當露骨で、「ユマニテ」など政府の意向は知らぬ顔に反英親ソ論策を掲げて、ド・ゴールに苦蟲を嚙潰させてゐる、抗戦義勇軍解散令以後のド・ゴールはベルギーのピエロ内閣と同様、内政において全く破綻に頻しつゝあるのだ、行政權はもとより、軍隊も警察も左翼の手に殆んど掌握されてをり、假令、義勇軍が注文通り解散されて、これが正規軍に合體されようと、それは軍隊の一層の赤化以外には意味はないのだ

英・ソ・佛三國同盟の締結は、共產黨の反英口説に封印し、同時にド・ゴール政權攻撃に響を囁ませ、その上に宿願のラインランドの地を確保するかも知れないといふのであれば、ド・ゴールたるもの一應も二應も考慮せざるを得ないわけではなからうか

米國が見たソ聯の肚

フランスの意向を以上の如く解するのが正鵠を得てゐるかどうかは、時の経過が實證するのを待つ所かはないが、ド・ゴールのモスクワ詣でに關してワシントン筋ではどうみてゐるか、ストツクホルム情報をもつて紹介する

西歐聯合の結成の問題はフランスと爾餘の世界

との關係がどうなるか、歐洲におけるソ聯の勢力がどこまで伸びるかの觀點からみるのが至當である、フランスの東歐にたいする傳統的な影響力は英國のそれよりも大きい、チャーチルは九月なかば、自己の發意でモスクワに飛んだが、ド・ゴールがモスクワを訪れるのは、スターリンの招請に基くものだ、この點は十分留意しなくてはならない、チャーチルはソ聯の政治力が東歐に擴大するのを喰止めようと試みて失敗したと解すべき徴候が多分にある、クレムリンはフランスが東歐に對して、傳統的により大なる關心と影響力を有することを知りて、ド・ゴールを招待するに決めたのだ、しかし、同時にクレムリンは、フランスが戦後、果して眞に明日の大陸の大國となり得るか否かについては尙疑問の餘地を存してゐることは指摘しておかなくてはならない、クレムリンはフランスを説いて、東歐におけるソ聯の勢力圏を承認せしめることに全力を盡し、東西の歐洲ブロック間に均衡を生むに努力を傾注するであらう、そしてフランスとソ聯とが共に夫々の指導國家たるべきことをもつてフランスを誘ふに相違ない、聯合三國間におけるド・ゴールの地位は、かくて愈々デリケートとなり、深甚な注目の對象たるであらう

これでは、では米國はどうするといふ意圖は全然判らないが「スヴェンスカ・ダグブラデット」の紐育特派員は十五日次のやうな見解を寄せてゐる

米國の半信半疑

パリでの英佛會談及びそれによつて到達した協定はワシントンで、多大の満足と興味とを惹き起した、フランスはこれで決定的に大國の仲間入りをしたわけだ、英國と同様、今日の歐洲の政治傾向に多くの關心を有する米國の態度が至大な影響力を歐洲の政治に有することは自明の理であるが、米國もまた、西歐同盟の成立を希望してゐることのみはいつてよからう、國際的安全保障の基礎の上に立つ、地域的保障體制の方向への發展を肯定する米國の有力人士は決して少くない、例へば元國務次官スナナー・ウェーブルズの如きだ

英佛會談は二つの理由でアメリカで歓迎されたその一はフランスが再び大國たる地位を再建し得たこと、その二は戦後英佛間に緊密かつ永續的な協力の見通しがついたことこれである、米國側の見解によれば西歐諸國の安全保障ブロックは共同防衛に基礎を置き諸軍事基地は共同の使用に供さるべきものであるとしてゐる、そして、純粹に防禦的である限りは何ら反對すべき理由はないと解し、かかるブロックは單に防衛のためのみならず同時に凡ゆる國の利益のための經濟的協力を目的として設定さるべき新歐洲組織の中核たるべきだと解してゐる、「ニューヨーク・タイムズ」は然しこの西歐ブロック間でドイツの領土及び産業の監理支配に關して、利害の相違が生じ得る危険を指摘し同時に西歐ブロックは、ソ聯の指導下に東歐ブロックの設立を誘致する可能性を豫想してゐる「タイムズ」は、然し、付言して、相互に善意と理解とがあれば、かかる危険は克服し得るであらうし、豫て計畫されてゐる國際的安全保障體制の基幹ともなり得るとしてゐる

これは直接引用された以外の部分も多くは曾つて紹介した十五日附「ニューヨーク・タイムズ」社説の燒直しで別に新味はないが、ただ、結論において「米國もまた西歐同盟の成立を希望してゐる」と簡單に斷定してゐる點で異論がある「タイムズ」の論文はもとより「スヴェンスカ・ダグブラデツト」記者の記事自身から受ける印象も米國がしかく單純に西歐聯盟に賛意を表したものでないことは明らかで、反つてドイツ外務省スポークスマンが「ニューヨーク・タイムズもまた西歐聯合に非同情的とも評し得る解釋をしてゐる」と解釋してゐる方がどちらかといへば正しくはないか

問題の根元パリ會談

中立筋の諸情報はパリ會談で、西歐聯合案が實質的に、なんらの形を備へたものに結實したとすることに一致するがごとき口吻を傳へてゐるが、それは行き過ぎとみるのが正しいやうだ、パリ會談の成果は英佛の協力が改めて確認され、將來への提

携への雰圍氣を作つたといふ頃合ひに見立てておく方が正鵠に近いであらう、中立國筋の代表的意見は十四日附の「スヴェンスカ・ダグブラデツト」のロンドン電にみる事が出来る

チャーチル、ド・ゴールのバリ會談は當初期待された以上の成果を収めた、西歐聯合案も原則的には解決されたといはれる、チャーチルはド・ゴールにある程度の譲歩を求め、その同意を得た、その結果近く英國、フランス、ベルギー和蘭（諾威の名はこの際言及されてゐない）諸國が戦後、凡ゆる分野に涉つて緊密なる協力をなすべく決定した旨の宣言が發表されるものと思はれる、經濟協力に關しては四國間に既に全的協定が成立してをり、近く現在の白蘭經濟聯盟が他の國にも擴大されるであらうが、その第一歩は勿論、英佛兩國たるべきだ、近く再び英佛第二次會談が行はれるであらうが、これは来るべき平和に最重要な役割を演ずるであらうとはバリ方面の觀測だ、英國側からいへば、フランスは今回の會談で、英國の同情のみならず、將來の完全保障に關しての要求について、英國の完全な諒解を得た、英佛間の雰圍氣は今日ほど眞摯かつ親密だつたことはないとはバリからの情報だ

スイスからの情報は、これとまた別に、英佛會談はフランス軍隊に武器を供給する點で、英國側の同意を得た以外、ルール問題では、チャーチルは國際監理を主張し、問題の解決はチャーチル、ルーズヴェルト、スターリンの第二次會談まで延期したいと述べたと報じ、英國は西歐ブロックに對應して東歐ブロックを作ることを進んで提唱しこの兩ブロックによつてドイツを制壓し、將來の危険を排除する案をド・ゴールに示し、これまた来るべき米・英・ソ三國會議で討議するであらうと豫約したらしいとまつたく異つた解釋を提出してゐる、いづれも机上作文だつたことはいづれ事實が證明するであらうから、ここでははし折つておかう

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

顧みて他をいふ英紙

西歐聯合案は、まだ案の域に止つて、その具體化にはまだまだ迂餘曲折がある筈で、一回のパリ會談では原則的にも、目鼻はつきさうもないが、歐洲の當面する最大な政治問題であることの事實にはなんの變りもなく、その故にこそ先手好きのモスクワが、ここでも一石待ち手を打たうとしてゐるのである、がロンドンの「オブザーヴァ」紙は十八日、顧みて他をいひつつ、ソ聯に鎌を掛けてゐる

スターリン首相は古い佛露同盟復活に極めて熱心のやうに見受けられる、モスクワではフランス及びフランス軍隊が、永い將來では英國よりも重要だと信じてゐる、英國はなによりも先づ海軍國だからだ、ド・ゴールの周圍を取捲くカトリック的要求は餘り氣に喰はぬが、これとてまたいした障礙といふには當らず、佛ソ間の同盟が結ばれることは望ましいとの考へには變りはない、モスクワでは深甚な注意と、多少の不信用とをもつて、ド・ゴールが西歐聯合にどこまでついて行き得るかを見守つてゐる、クレムリンでは英佛白蘭の結合が、時と場合とによつては、反ソ聯合と化けることを氣に病んでゐるのだ

それほどソ聯の態度が氣になるならば、西歐聯合など編みださぬがよいとソ聯としてはいひ度いところだらう

ベルギーにも異論

西歐聯合には、フランス、ソ聯、米國のほかにまだ仲間内に疑問をもつてゐるものがある、ベルギーがさうだ、若し、西歐聯合が成立するとすれば、フランスはその前にラインランド、ルールに關して特殊地位を要求することは明らかである、ところが、ベルギーもまた、その東境について關心を持たざるを得ない地位にあることは、單に地理的にみても合理性があるとブリュッセル政府は主張する、ベルギーはベルギー並みにまたラインの國境を要求して悪い理由はない、少くともフランス以上の發言權があると彼等は考へてゐる

フランスが「假面」の國境をライン河沿ひに延長することは、ベルギーにとつて「脅威」であること、ドイツと同様とまではいはないまでも、少くともベルギーに對して非友情的であるとの見方は成立つわけだ、十一月中旬スパイク外相がロンドン訪問の際の話題は、飢えつつあるベルギー國民に一碗の飯の喜捨を乞ふほかは、ベルギー軍隊を再建してこれに武器を供給し、ラインランドにおけるベルギーの權益擁護に當らしめるほか、大陸におけるフランスの制覇に對抗せしめる必要はないかと英國を喝すのも重要な項目の一つだつたといはれてゐる

いづれにしても、國內は飢えと赤禍で蜂の集をつつた如く亂れつつ、政府と國民との關係は日に日に疎隔しつつ、この上國際外交裡から閉め出しを喰つて、ただ單に國土を擧げて英米軍の戰場として提供してゐるのでは政府の立つ瀬がないのはいふまでもなく、國民にも救ひはないではないかといふのがピエール政府のいひ分でここで軍隊でも作つてラインランドの一角を形だけなりと占領さして貰つたら、少くとも政府だけは助かるといふ打算は、ベルギー政府にもあつても不思議はないわけだ

何れ近くスパイク外相はパリに乗込むが、フランスが色よい返事をするか否かは大いに疑問とするほかはない

英國としては、わが子である西歐聯盟を助けるためにはベルギーの申分もむげには斷りかねるであらう、そこでルールの國際監理案など、すでに失敗は試験済の案も、今一度棚から下ろして埃を叩いてみてゐるわけだらう、ソ聯の進出に先手を打たうとした西歐聯盟も、いまだ山のものとも海のものともわからぬ先に、かくも四方八方からなぶりものにされては、まかり違へば流産の惧れなしとせず、まかり違つて生れたにしても、とんだ鬼子だつたりする危険がぼつぽつみえはじめたやうだ、少くとも證文を出し急ぎすぎた嫌ひはありこの鬼子のために目出度がるべき反樞軸國の緊密なるべき媾合に龜裂でも這入つたらとんだお笑ひ草とならぬものでもない

最近の英ソ關係

『英誌「コンテンポラリー・レビュー」五月號』

サー・ジョージ・ヤング

英ソ協論の三結論

筆者は本誌一月號で「英ソ關係」を律する根本的諸要因と諸力を採り上げ、「赤軍」の再起と英國の對ソ態度再確定に基く諸結果を論じたが、本論文ではその後の情勢の動きを概観し、次の結論を裏書してゐることを指摘しよう、即ち

一、缺乏と不安定に對する英國現在の道義的叛逆によつて刺戟された英國社會民主主義による歐洲再建は、戦前の社會革命によつて推進されたソ聯の民主主義的社會主義による再建と撞着せず協力すべきものであること

一、英國の資本主義體制とソ聯の社會主義體制とは相互に調和し得る條件下であり、且つ同じ傾向を帯びてゐるため、歐洲聯邦制度に結びつき得るものであること

一、僅かの外交と民主主義的態度をもつてするならば、ソ聯のバーロー達や英國のビヅアリツヂ達は新生歐洲の腹案を練り、輪郭を描くことが出来ること

の三つだが、最後の結論は實現を俟つに何時を藉さねばならず、最近の諸事件によつて不可能とされぬまでも、さかんな論議の的となつてゐるものだ

ソ聯の前進と英國の足踏み

過去三ヶ月間英國が勝機を遅らせ、西部における平和の立案を繰り延べてゐるにも拘らず、東部において赤軍が以上の兩者について著しい進展を示してゐる結果、恰も英國は愉安を貪る仲間といつた觀を呈してゐる、赤軍は前後六ヶ月に亘る冬

季戰で人類の惡しき感情を掻き立てる最も兇惡な放火を採み消し、歐洲における諸國民の法律と自由を蹂躪する極めて強烈な暴力を迫ひ拂つた、いまやフアラオとその戰車は紅海の底に沈み、「約束の地」は「神の選民」の眼前に壯麗の姿を横へてをり、如何にして約束が果され、神の御前に呼ばれた者のうち誰が選ばれるかは、既に事態が決定してゐる、約束の地の眞の輪郭はナチの洪水が退くにつれて峻然たる威容を現し、自由と法律の確固たる城砦は波濤を避ける巖の如く再び頭角を現はし、砂上樓閣と泥鰻頭は木屑の如く洗ひ流されてゐる、新たに出現しつつある歐洲はわが地政學者達が素描したものと同様にしてゐるが、わが天才的政治家達が夢想だになし得なかつたものとならう、しかるに舊弊の泥沼にはまり込んだお先眞暗な英國の軍服の小姑共は生粹の軍人だけが科學的な頭腦以上に「創造的進化」を立派に調節出来ると考へて、あらゆる計畫や立案を禁止してゐるのだ

更に赤軍乃至は英國の清教徒的叛逆のやうな極く一般的諸力や諸要因の推進と並んで、ロンドン、モスクワ兩國政府を支配する立役者や與黨、即ち保守黨と共產黨の政策を重箱の隅を揚子で突くやうに言擧げする傾向がある、かうした相互の反目と不信は英ソ親善關係の維持に必要な動力の殆んど全部と熱の大部分と光の一部分を供給する兩首都の黨派的な動力所に依然たる怠業や坐り込み罷業を發生させてゐるのだ、幸にして英ソ兩國民は戰時における盟友關係、平和時における協力關係を特に誓ひ、精神的には承認してゐるから、かうした遺漏や軋轢はいまのところでは唯だ動きを遅らせ機械を熱してゐるだけである、しかしながらロンドンがモスクワの單純な行動に邪惡でもつて廻つた動機をみ、モスクワが思ひ掛けない聲明や間諜つかせる行動でロンドンの鈍感な行動や非民主主義的な行爲を攻撃するもののためだ、英國は行動によつて解放するソ聯の強力な民主主義が發作的に行動することを理解しなければ、ソ聯の方も言葉で教育する英國ののろくさい民主主義が千鳥足でゆつくりとうごいてゐることを理解しない

同盟通信

海外電報

(第三四號倫敦電可)

ソ聯に對する英國の誤解

かうした誤解の例として最近の事實を擧げるならば、英國手品師がシルクハットから兎を取り出したやうにソヴェト政府が出し抜けに實施した興味ある内政外交上の革新を歪めて解釋してゐることだ、この憲法修正によつてソヴェト聯邦の十七共和國は正規軍を維持し、外交關係を樹立し、ソヴェト聯邦から脱退する權利をすら含めて完全な主權を附與されたばかりでなく、歐洲主權國は同じ條件、即ちハルの「十七ヶ條」やチャーチルの大西洋憲章と同じやうなものにとらはれて、十七共和國の享受すると同程度の安全保障と主權を享受しながらソヴェト聯邦に加盟する權利を與へられたのだ、しかるに英國の外交界は歐洲民主主義に對するこの大膽な人氣取り政策を、ソヴェト聯邦が新國際組織で英聯邦よりも大きなブロック投票を得るための奸策とみて非難し、英國の民主主義者達は權力政治と黨派宣傳と強制的人民投票によつて、資本主義的民主制を共產主義的獨裁制に隸屬させる隱謀と解して攻撃してゐるのである

ところが以上のソ聯の遣り口は別に有害なものでもなければ、事新しいものでもない、それは民主主義的表現を借りるならばレーニンの「善隣」政策であり、「地方自治」政策に過ぎない一九二〇年に筆者がモスクワを訪れた際、革命がモスクワ博物館の地下室に聚めた寶物を相變らずシエレメーチエフ老公が管理してゐるのを知つた、筆者はそこで政府委員が山と積んだ黄金の皿の荷造りを監督してゐるのを目撃して、一體どこへ送るのかと訊ねてみた「リガ市當局へ返還するのです」といふ答だつた、そこで筆者は「それだけあれば貴方がたが酷く欲しがつてゐる米國製のトラクターをうんと買ひ込めるといふのに、どうしてまた返すのです」といひ返すと「私達はトラクターがなくてもやつても行けますが、ラトヴィア人と仲良くしなければやつて行けませんからね」と答へた、そんな譯で今日ラトヴィア人は非現實的な主權と實現し難い分離權の妥當な象徴として、金モールの大臣連や金ビカ帽子を被つたお偉方方の軍人、あるひは金鎖を光らせる市長さん達をもつて

ゐるのである、何故なれば今日のソヴェト社會主義民主制は平時においては倫理的經濟を、戰時においては社會的結束を確保してゐるので、煽動も分離もさしたる危険とはならないからである

「嬰記號」と「變記號」の世界觀

しかもロンドンの外交界が高慢で自惚れの強い「變記號」に細分された二次元の「平たい」世界といふ形で依然として物事を考へてゐる間に、モスクワは政治が經濟によつて規定され、經濟が倫理によつて制約される、「嬰記號」からなる三次元の「丸い世界」といふ形で物事を考へてゐる、それがまた英國の支配層が英國の封建帝國における敵占領地と敵の抑壓下にある諸民族の奪回がソ聯の自由な聯邦における諸地域と諸民族の回復ほど迅速確實に行かぬことが判らぬ理由でもあるといふのは十中九分九厘法律を確立した英帝國が他の帝國の版圖膨脹よりは寧ろ自らの非論理的經濟のために崩壞する運命にあるからだ、更に權力政治と資本主義的統制によつて極東に英帝國を再建しようといふ試みは、英ソ友好關係を瓦壞させるばかりでなく、英國の舊臣下をソ聯の自由な聯邦へ追ひやる結果を招來することとならう、それだからこそ筆者は英國工業界の巨人連や商業界の王者達あるひは新聞界の貴族共が東亞の國家主義の神馬を追ひ越し、ソヴェト聯邦の飛行靴を追ひ抜くため資本主義的乃至は商業上の作戰を計畫してゐることを知つた時、履き古して踵の磨滅つた靴を履いた足をわなわなふるはせたのだ

鈴の代りに御馳走攻め

英ソ軌轢のも一つの例として擧げ得る事件は、將來の情勢が「英國版」歐洲の薔薇色の夢に不氣味な翳を投じ、全くソヴェト式な事態を發生させることを立證してゐる、更にこの英國保守主義の外交的脱線はソ聯社會主義の民主主義的進出を招來してゐるが、極めて曖昧なイタリアの戦後再建

方式を明るみに曝け出して政府保守派を一段と狼狽させる半面、キスリング式王政への途を切り拓いてゐる點で進歩的な政府反對派の憤懣をかつてゐるのだ

然もわれわれの軍事的には膠着し道義的にも沈滞し切つた南部機線にたいするソ聯の干渉は徒らに誤解の種となつてゐるばかりだが、いづれは行はれるであらうと思はれてゐたものであり、且つ間もなく眞の理由が明らかにされた、と言ふのはソヴェト政府は「イタリア政府は常にファシズムと闘つてきたイタリア諸政派の代表を入閣させてもつと民主主義なものとならなければならぬ」と聲明したのである、ところがモスクワ會談でもイタリア諸問會議でも歐洲執行會議でも、ソヴェト政府の聲明した趣旨のことは一向に決定されなかつたばかりでなく、米英兩國は暫定的な協定を締結して——米英兩國はソヴェト政府に相談をもち掛けずに、以上の協定を一方的に通告しただけだ——ローマ占頭までイタリア政府の民主主義化を延期してゐるのだ、更に事態を悪化させてゐるのは、英國政府がイタリア國王を廢する權限がないことを楯にとつて退位に反對する半面南部のイタリア指導者達に國王の下で活動することを禁じ北部の共產分子が南部の指導部の指令下に活動する道を閉じ、バドリオが反動的な正規軍を結集するままに放置し、イタリア諸問會議がローマやミラノを奪回するため自由イタリア軍を徵募することを阻止して、恬として恥ぢぬことだ

かうした軍事、道義兩面の行詰りは戰爭に勝ち南部戦線に平和を確保する上に重大障礙となつてゐる、従つてソヴェト政府が英國政府と同様民主主義理念と外交上の獨立を有してゐる限り、イタリア國王の特權に基いて權限を附與され、米英軍の尻押ししてゐるバドリオ政府の承認を拒否してトリエツチ（註Ⅱ元コミンテルン書記でイタリア共產黨の黨首エルコリ）の下に各黨各派を打つて一丸とする臨時政府の樹立を要求しても一言半句の不平もいへまい、そして英國はチトーと麾下の自由ユーゴスラヴィア委員會を認めたやうに、トリエツチ政府を當然認めねばならぬ筈だ、しかるにソヴェト政府はもつと的確で賢明な途を選び、

英國が「ファシストの猫」に鈴をつけたのにたいして、猫を御馳走攻めにして咽喉を詰らせてしまつた、即ちソ聯はバドリオ政府を正式に承認して極めて曖昧な外交上の肩書を有する使者を通じて極めていいがましい民主主義的肩書をもつ國王との關係を回復し、調停上不可欠な直接の外交代表を確保して、巧妙に無爲無策のイタリア諸問會議を押し除けた譯である、その結果誰の面子も救はれ、行詰りは打開され、棒は犬を打ち始め、國王は攝政の皇太子に權力を引き渡し、南部の各派代表と北部の共產主義分子は臨時政府に大同團結し、バドリオ將軍は赤軍に空軍基地を貸し、赤軍は以上の基地を利用して北部の戦ふ自由イタリア派に援助を與へ、イーデン外相は諸問會議の保守黨代表を更迭して、専門の外交官を据ゑたといふ次第だ

大文字のツアー外交

「それ見給へ」と皮肉屋はいふ、「君達の擔ぎ上げるスターリン的民主主義は畢竟大文字の帝制ロシアの外交と同じぢやないか」さうだ、その通りだが非常に巧緻で潤達だ、外交的手際と民主主義的包攬力に充ちてゐる、しかもモスクワは東歐洲における赤い黎明はイタリアにおけるアムゴツトの呪咀とロツド式外交の薄暮に止めを刺すものでなければならぬとわれわれに警告を發してゐたではないか、同じやうにモスクワは西歐において外交上の繁文縟禮を用ひて、反樞軸でもあれ樞軸でもあれ民主主義を蝕む條蟲を驅除し、歐洲再建の足場としてモスクワ會談によつて創設された歐洲執行委員會とイタリア諸問會議が、再建などあり得ないといふ事實を民衆の眼から蔽ふ煙幕に過ぎぬといふことをわれわれに警告してゐるのだ

なぜなればイタリア諸問會議は嘗てのアルジェーのそれも、これからの地中海のそれも、諸問などはそつち除けて、何もかも忘れ去つたキスリング的仲介人の群や何事も學ばうとしないドン・キホーテ的ブルボンを通じて解放された民衆の統治に憂身を費してゐるのである、歐洲執行委員會にしても決議一つ出来ぬ意味で執行機關でない

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ばかりでなく指導機關といへぬことは勿論だ、それは單なる諮問機關に過ぎず、しかも諮問を受けたこともなければ、極く稀にしか會議を開いてゐない、以上の兩機關は民主主義諸國から何等の權限も附與されてをらず、英米外交からも殆んど權限を附與されてゐない、その意味で諸亡命政權の提案した地域的聯邦案よりも遙かに拙い發足である、この地域的聯邦案は英國の支持を得たが、モスクワ政府は自由な諸國に專制政治を復活せしめソヴェト聯邦の再建工作にたいして「防疫線」を形成する軍國主義的驅引だと烙印を押してゐる、要するにかかる聯邦案は聯邦の本義に悖り、かかる會議は英ソの協力關係を妨げるものだ、しかるに聯邦の本義と英ソの協力は新生歐洲にとつて缺くべからざるものである

有難迷惑な象の外交

ソヴェト政府は憲法の修正によつて聯邦制度を回復したが、赤軍の中歐及び東歐進出は一種の協力を齎してゐる、フィンランドは英國の賛同を得た條件で戰爭から離脱したが、その條件は生死を賭した戰爭を遂行してゐる大國と背後から不意討を喰はせた小國との間のものとしては前例のない性質のものだ、ポーランドは地下遊撃隊の援助を受ける赤軍麾下自由ポーランド軍によつて奪回されてをり、反樞軸は人種上の國境線内でポーランドに主權を回復させること確約してゐる、チエツコスロヴァキアも亡命政權とモスクワ政府との間に成立をみた條約によつて保障を受けて解放途上にあり、英國は以上の條約に最初は反對したが、今では同意を與へてゐる、ルーマニアは英國が承認したソ聯の確約、即ち、赤軍の進入はドイツ軍を驅逐するためであり、「領土の獲得乃至は社會制度の變更を意圖するものではない」といふ確約を與へられてをり、ハンガリーもまた同様の確約を與へられる筈である、ブルガリアは既にドイツ軍に對して遊撃戰を展開し、解放の日を待ち侘びてゐる、ユーゴスラヴィアは赤軍の援助と米英兩國の軍需品供給のお蔭で、着々國土の解放を進めてゐる

南部戰線と將來の西部戰線では、情勢はイタリ

アとそつくりそのままだ、フランスでは「似たり」將軍と「寄つたり」將軍、中央の「自由フランス」團體と植民地の「自由フランス」團體、ヴィシー政權と「マキ」遊撃隊との間に軍事上にも道義上にも完全な行詰りが生じてゐる、スペインでは獄舎に呻吟する民主主義者や丘陵地帯の遊撃隊は、大きな希望に胸をふくらませてモスクワの方を眺めやつてゐる、最後に近東における英國の前哨ギリシアでは、「ジャンボー」將軍の遊撃隊や國王に對する外交は、「親切な象の小母さん」がお腹をすかしてゐるひよこの巢を見付ました、まあ可哀想に、あたしがお母さんの代りになつてあげませうといつて象の小母さんはひよこ達の上にぐしやりと坐り込みました」といふ噺を思はせる

歐洲再建方式の復活

ポーランドの場合には大西洋憲章の影響力を悉く失ひ、ソ聯・チエツコ條約の場合は面子をなくするといふ高價な犠牲を拂つてまで英國がモスクワの「既成事實」を残らず愛想よく鵜呑みにしなければならぬのは、平和案の設計を一日延ばしに延ばし、新生歐洲の憲法制定を成行に委せた悲しむべき結果だ、従つて新歐洲の憲法が西歐資本主義を宥和するものとなるか、或ひは東歐共產主義の御氣嫌をとり結ぶものとなるか、更に兩者によつて承認され得る英ソ協定の產物となるかどうかは、戰爭行為の終熄した時と場所における西歐乃至東歐國の軍事力と道義力の如何に依存する、英ソ關係のかうした曖昧さを理解した結果が嘗て進歩的な平和設計者達によつて當然のこととして拒否された歐洲再建方式を復活させてゐるやうだとへばサー・ウオルター・レイトンは「ニューズ・クロニクル」紙上で英國とソ聯とを除外した歐洲聯盟を提案し、アヌーリン・ベヴァン氏は「トリビュン」誌上で英國を盟主とする西歐洲聯盟とソ聯を盟主とする東歐洲聯盟に歐洲を二分する案を唱へてゐる、以上はソ聯が制服を作つた裁ち屑で英國のために實用服を仕立てようといふやうなもので避け得ない危険に挑戦して避け得る困難に屈服することに等しい聯邦政策のよつてたゞ經濟的論理的基礎に立脚して歐洲を統一する困難は

新たな平和の經濟にもとづいて着手し新たな戦友關係への引出物として考へるならば、さして重大ではない筈だ、更にこの組合組織における英國の指導力は、英國がどの程度まで協力し、組合員達からどの程度まで代理を任せられてゐるかに依存する、いづれにしても歐洲の内部乃至外部における競争は、遅かれ早かれ英國の咽喉笛を掻き切る結果を招来しよう

民主主義攻勢へ

それならば西歐洲を支配する生活組織乃至社會組織に對する英米兩國の見解が、東歐洲諸國の「創造的進化」によつて自動的に生れる「新たな歐洲」によく代表されるだらうかどうかといふことが問題となるが、他日西部戦線の結成によつて多少の軍事上の發言權を確保すると假定しても西歐民主主義によつて尻押されぬ限り、ソ聯外交に對抗することは不可能だ、しかるに不幸にして本年は英米兩國における民主主義攻勢と指向は極めて不十分である、戦争に勝ち平和組織を計畫すべきこの重大時期に、米國は不必要な選舉を目前に控へてゐるが、それは立法と行政が相互に依存し合ひ、民主主義が依然として「分裂せる家」であることを示すものだ、他方英國においては選舉がないため行政は立法を阻害し、民主主義は個人的な政府の「カルタの家」と化してゐる

米國民主主義は困難と戦つてゐる、大統領は前線將兵に選舉權を附與し、國務長官は一致せる戦争政策と平和計畫を立案して、選舉の齎らす最悪の危険から回避してある、英國もまた國內と海外の民主主義的攻勢を復活するため戦時選舉を行つてならぬ道理があるだらうか？ 民主主義的志向を明示せぬ限り、英國外交の平和計畫は「自由フランス」及び「自由イタリア」に訴へるべきものをもつことが出来ぬのだ、さらにかかる民主主義攻勢と志向は英國が歐洲の占領においてソ聯と競ひ、その組織に當つて協力し得る唯一無二の方法である、モスクワに對抗出来るものは言葉でなく實行だ、石炭問題を解決し、社會保障組織を實現することは、單なるお世辭や軍需品の供給以上にモスクワの信頼を贏ち得るであらう、戦時選舉と

議會において進歩分子が多數を占めることは、西歐洲の軍事占領と同程度に力の均衡を回復することが出来る筈だ

「黄金の積」をめぐる踊

前例のないことだからといつて戦時選舉が出来ぬものであらうか、總力戦は前例のないものだ、しかも總力戦に勝つ必須の前提條件は、その必要とする獨裁が定期的な民主主義的な方法で強化されることでなければならぬ、さもないと法案に對する反對投票は行政首班の側の檢閲行為と化し個人的な政府が議會にとつてかはることになるからだ、何故に嚴格な憲法をもつ米國では戦時選舉が實施出來て、不文の憲法をもつ英國では實施出來ぬのか、何故にイーデン氏がハル氏のやうに行政と立法との間に權限を分割する案をたて、その結果より進歩的な議會が首相に四ヶ年間の任期を與へ、首相は何らかの政策について不信任投票の犠牲となつて權力から追放されずに、戦争に勝ち平和を計畫する仕組に出來ぬのだらうか

以上の仕組はここでは觸れることが出来ないが實現可能であり、さうなれば英國はソ聯に對して十分に自己を主張でき、ソ聯は屈服するやうになる筈だ

しかしながら英國の民主主義と獨裁制が以上のことを實現出来るほど長命だとは思へない、英國の民主主義と獨裁制がやらなければ、結局はわれわれもやはりはすまい、英國は永遠に「選ばれざる者」となることが出来ないし、再び荒野において二十年間「黄金の積」のまはりを踊り続けることにならう、新歐洲の甘い汁を吸ふのはソ聯だ、英國はソ聯に對して戦争と同様平和の要具を提供し続けるだけだ

豪華列車顛覆

(リスボン十八日發) ウエイクロス(ジョージア州)來電「大西洋沿岸鐵道の豪華列車「マイアミ・チャンピオン」號は十八日朝ニューヨークからマイアミに向つて進行中のあるところジョージア州ホーテンス附近で脱線、客車十四輛が顛覆して負傷者二十名を生じた

合衆國の戦争目的

(United States War Aims)

ウォールター・リフマン

リーダース・ダイジェスト誌十月號

米國が戦争目的を明確にすべき時は到來した、しかもその道は判明してゐる、去年は出來なかつたし、いはんや宣戰を布告した際には到底できなかった、挑戰を受けたから抗爭するに決定したといふのではいはゆる戦争目的にはならない、一九四一年十二月にはわれわれは果してハワイ、アラスカ乃至濠洲を維持出来るか何うかわからなかつた、重慶政權が完全に征服されない裡に果して支那まで到達出来るか乃至如何にして支那まで到達出来るかわからなかつた、一九四二年においてさへ獨軍が中東地區を、日本軍が印度を突破して印度洋で握手するのではないかと思はれた位であつた、勿論赤軍が獨軍を撃退出来るか何うかはわからなかつた

しかし今一九四四年においては依然最大の戰は今後に殘されてゐるが、戦争目的を闡明して差支へないと思ふ、しかし書齋に坐つたり會議の卓上で平和機構を發明することは出来ない、戰鬪がつた後に平和をでつち上げるのではなくて戦争を續けてゐる間に逐次生み出されて行く平和以外の平和は出て來ないのだ、従つてわれわれは先づ第一に何のために戦争をしてゐるかを知らなければならぬ、一體全體たれを相手に戦争し、本當に如何なる戰果を収めたかを知れば自ら戦争目的が明かにならう

日本との戦争

先づ第一に何うして日本と戦争するに至つたかを反問することが必要だ、一九四一年十二月七日日本軍が眞珠灣を攻撃したので、米國としてはほかに仕様がなかつたことは確かだ、しかし日本人が飽くまで貫徹しようとした事柄について、われわれが日本人に反對しなかつたならば日本軍はわ

れわれを攻撃しなかつたに違ひない、これらの事柄が何であるかは別段秘密でも何でもない、日本軍は支那を征服する決心であつた、日本軍は東印度、比島、マライ地方並びに印度支那の征服を寓意してゐた、従つて米國が支那において飽くまで日本に對抗したとき日本が戦争に入るに至つたそこで問題は何故米國が支那の征服に同意せず日本軍の挑戰を受けて立つたかだ

支那の解體に反對する立場をとつた最初の大統領はマツキンレーである、一九〇〇年彼の國務長官ジョン・ヘーは「合衆國政府の政策は支那の完整を保全するにある」旨宣言した、一九三七年長期間に亘る内亂の結果、支那國內の各派が統合して日本軍に對し抗戰するに決定するとともに、われわれは戦争の危険を負担しなければならなかつた、支那人はわれわれが四十年に亘り宣言した主義のために血を流してゐるので、われわれとしては名譽の上からも賢慮の上からも埒外に超然とすることは出来なかつた

そこで數次に亘る外交上の抗議の後、合衆國は「戦争一步手前」のもろもろの措置を講ずるに至つた、ついで一九四一年七月二十六日、合衆國內における日本の資産を凍結した、これ即ち經濟戦争の宣戰布告である、その後においては何時、何處で、日本が反撃に出るかが問題であつたに過ぎない

以上のやうな情勢下に特使來栖大使との交渉が開始されたのである、來栖大使の要求した代價は重慶政權を支援するのを止めて日本の征服に同意するといふことであつた、しかもこれこそわれわれが到底同意出来ないことである

支那の老大な人口と資源とが日本によつて組織化され、指導される場合には、太平洋にはこれを基礎に陸上權力と海上權力の結合が出來上り、われわれとしては重大な懸念をもつて見守るほかはないことと思ふ、一九四一年十一月に至つてわれわれとしては屈服してこのアジア帝國の建設を認めるか、それとも抗戰して戦争に入るかを最後のに選ばねばならないこととなつた、もし過去四十年間支那について述べてきたことを堅持せしに、更に日本を懷柔するならば恐らく日本と妥協する

支那政府が出来、その結果日本は支那において完全な地位に立ち、力を得てずつと大きな戦力準備を蓄へて反撃に轉ずるかも知れないといふ公算が非常に大きかつた、最後の肚を定める場合に臨んで合衆國は重慶政權が降伏して日本の覇制下におけるアジア帝國に協力するかも知れないといふ危険を冒すよりも、日本との即時開戦の危険の方をとるべきだといふ決断を下した

ドイツの挑戦

二度ドイツとの戦争を導いた事件の暦を繰つてみれば、ドイツ軍が大西洋の彼岸においてわれわれを取圍んでゐる國々の侵略に成功すると共に、米國內には國家自衛の本能が起るに至つたことが明かだ

國內の一部乃至多數の人がどんなことをいはうとも實際に米國人が反應したのは、この危険に對してだ、或は孤立主義者と稱し、或は干涉主義者といはうと、或は中立法を支持し、或は集團安全保障を主張する、しかし一度洋上の國境線の彼方に征服國家が現れるのを米國人が見れば、一切の議論が立消えになつてしまふ、色々議論が岐れるのは、要するに隣邦の一國が實際に征服されるか何うかについての判斷の相違に主として基いてゐるので、一度この點についての疑問が解消する場合には米國人は素晴らしい位意見一致して反應を示すのである

ナチ政權は一九三二年一月三十日成立し、自由を破壊し、戦争を謳歌して弱い歐洲の諸隣邦を脅威して、早くもその性格を示したが、當初ナチの侵略は東方に、即ちオーストリア、チェコスロヴァキヤ及びポーランド各國に向けられてゐるやうに見えた、米國においてはナチは一般に呪咀されてゐたが、ヒトラー總統が究局において西方に向ふと信じてゐた人達だけがナチに對する實際的施策を要求したに過ぎない、しかも彼等の要求も當初は、英佛兩國向け武器の輸出禁止を撤回することだけに止まつた、歐洲戦争が始まつた後ですらも米國では眞面目に軍備擴張案が提示されなかつた、歐洲戦争が始まつた當時大統領は局限された布告を出し現役陸軍を二十一萬人から二十二萬

七千人に増大し、全國警備隊を二十三萬五千人に増加したに過ぎない、一九四〇年三月になつても米國下院は航空機代り替へ豫算案を僅か五十七機分に切り下げた位だ

即ちドイツ陸上權力が英佛兩國兵力の防壁によつて押へられてゐる限り、ドイツ軍の侵略は米國の安全保障に對する現實の脅威としては扱はれなかつた、以上西歐洲の防壁が健在な限り、米國は戦争に對する備へをしなかつた

しかしドイツ軍が一應西歐洲の防壁を突破するや、自國が脅威を受けてゐるといふことが、忽ちしかも殆ど一人の異議もなく確認されるに至つたフランス要塞線がセダンで突破されたのは五月十四日で、五月十六日にはルーズヴェルト大統領は、八億九千六百萬弗の追加國防豫算案を議會に提出し、軍用機五萬臺を要求した、即ち新國防計畫は西歐洲防壁が突破されたから必要となつたのである、記録に徴すればナチ體制の性格が悪いことが獨米兩國間の紛争の主因でないことは明かだナチ政權が一九三三年一月から一九四〇年五月まで惡質であつたことは、爾後惡質なのと變りがない、しかしドイツ軍が一度大西洋岸に接するとともに、米國の責任ある人々としては、ただに自國の武装兵力を増加せず危険を冒すことは出来なくなつた

この脅威に對し米國は一九一七年においても一九四一年同様反應してゐる、米國人の見解によれば米國の周邊における海洋を隔てての隣邦の征服は斷乎として抗戦せねばならぬ脅威なのだ

漂ひ込んだ危険

周邊の海洋における各隣邦が征服されるのに死物狂ひに抗戦するのは、米國人が自國の命にかかはる利益をはつきり認識してゐる結果だ、右領域の大半を征服する力ある強國は、合衆國の直接的安全を忽ち危殆に陥れよう、日本は比島を占據しアラスカへの入口に足場を占め、ハワイからさらに米國の太平洋岸を脅威し得る實力を組織したドイツは將に南美洲とパナマ運河への入口に地歩を確立しようとし、僅かに阻止されたやうな實力を組織化した、われわれが遂行するの已むなきに至

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

つた戦争の経緯に徴すれば、われらの根本的判斷は正しく、十分よく企畫し、よく準備した軍の外交施策によつて、右判斷を支持しなければ、取りかへしのつかぬ國家的災厄に當面することはあきらかだ

經驗によつて利益を収めるには、戦争に勝つ場合勝利を賢明に活用せねばならず、勝利を賢明に活用するには、戦争終了の場合一定の國策のもとに、米國の死活的利益を維持する能率的手段を確保出来るやう、われらの戦争目的をはつきりさせねばならない

合衆國は日獨兩國がその新帝國の幾多の地域と人民とを既に征服した後、戦争遂行を始めねばならなかつたから、これら新帝國の外郭における海邊を襲撃するために、大洋を横断せねばならぬわけだ、即ち、われわれは事前に阻止しなかつたら爾後に今まで出来たところを元へ戻さねばならない

東亞においてはわれわれは一九三一年から四年まで、日本が占領するのに反對してきたところをとり戻すために戦つてゐる、もしわれわれが奪回しなければ比島を征服し、アラスカ、布哇並びに米國の太平洋岸を脅威した日本軍は依然無疵で残り、東亞の龐大な人的資源と東印度の豊庫とを開發し、米國自身よりも潜在的にはずつと偉大な軍事帝國とならう、今までぼんやり氣付いてゐたことを、今でははつきり認識するに至つた、即ち支那並びに征服諸民族の解放は、合衆國の防衛と不可分だといふことだ、さもなければ日本を破るために、われわれが彼らを解放しなければならぬ理由はない

歐洲の場合においてはわれわれが依然制海權を握り、英國といふ大洋の彼方の一大基地が健在な間に、ドイツとの戦争が始まつたから事情は違ふ實際にどう違ふかをよくわかるためには、日本軍と距たること僅か二十哩以内に、英國と同様な有力な同盟國があり、日米兩國間に東京が爆撃圈内に入る基地があると想像する場合、太平洋戦局の見透しがどう變るかを想像すればいい

しかし大西洋においても太平洋におけると同様われわれは孤立に陥つたかも知れない、一九四〇

年フランス没落の後、ドイツ軍が英本國を屈服させる見込みは十分であつた、もしドイツ軍が「英本國の戦ひ」において勝利を収めてゐたならば、ドイツ軍が西半球に近付くのを一時的にもせよ阻止出来る國は一つと雖も残つてゐないこととなつたらう

一九四〇年合衆國には南米洲に對するドイツ軍の水陸兩用上陸作戦を邀撃する力がなかつた、勿論力はあつたが不十分で、しかも太平洋において日本の押へに向けられてゐる、したがつて、英國が潰れば、ドイツ軍は手に唾して南米洲を押へることが出来たであらう、ドイツ軍が一度ブラジル並びにアルゼンチン國內に地歩を確立すれば、ドイツ軍が陸上權力と空の權力とを建設して、パナマ運河地帯に進撃し、カリブ海に對する交通線を脅すのを阻止することは出来なくならう、さうなれば、合衆國本土の防衛すらも、極度に困難とならう、英國の崩潰後、獨力で日獨兩國の結合した力に對して戦ふのであらねば、われわれとしては危険な休戦を申入れるか、さもなければ消耗の大きい果てしない防衛戦に出る他はあるまい、かかる恐しい結果は實際には起らなかつたが、起つたに違ひない事態であることは疑問の餘地がない、この致命的な危難はわれ等の歴史における最も宿命的な數ヶ月間、チャーチルの英國が見事にドイツ軍を撃退し、ルーズヴェルトとウイスキーとに従ふ米國人が、國內において勝を制したから漸く避けることが出来たのである、正に危機一發といふ際に、合衆國は英國を補強した

一九四〇年の夏から一九四二年の夏にかけて、この國は從來かつてみなかつた強敵を迎へて、空前の危難に陥つた、この危難を正しく測定し、據つて来る原因を理解しない限り、われわれはわれ等の戦争目的をはつきり確立する資格がない、戦争目的と稱しても、米國が二度同様な窮地に陥るのを阻止出来なければ意味がないからだ

西歐洲各國が殆んど悉くドイツ軍のために征服されようとした際合衆國が當面した危難をみた、しかし同様大事なことは、西歐洲の國々が悉く將に征服されようとしたのは、合衆國が中立を守つてゐた際だつたといふ點だ、今や合衆國は本丸で

そのなかには大西洋の全域を防衛する主要な兵器廠と戦略豫備力が蓄積されてゐる、僅か四半世紀間に二度、合衆國の支持がなければ、西歐洲は自ら防衛出来ないことが實證された、前後二回の戦争で西歐洲と米洲とは、安全保障と防衛の見地からいへば、單一不可分の戦略體制だといふことを教へられたのである

國際秩序を確立するには、各民族國家の諸集團が互に相呼應した行動に出る以外に方途がない、これ等の集團の一つを取て大西洋集團と呼ぼうと思ふが、われわれが右集團に所屬してゐるから、この集團のことが當然第一の關心事でなければならぬ、この集團は遠く太平洋まで届くが、とにかく大西洋集團と呼びたい、蓋しこの两大洋に跨るこの國家集團の權力と權威並びに濠洲、ニユージラランドに至る領域内の文明は、主なる源泉を大西洋地域に仰いでゐるからだ

日獨兩國との處理に當つては、四大國のいづれかが一つが個々に片付けたのでは旨く運ばない、しかしこれ等四國が各隣邦を無視したのでは、永續的な處理は出来ない、秩序を組織するに當つては先づ同じ戦略體系内における一切の國々の戦略的防衛並びに外交關係を明確にし、かつ安定させることが先決要件だ

大西洋集團はかかる體制の一つである、ロシヤが他の集團の中核體であり、支那がまた別個の集團を結成する、究局においては印度教徒乃至回教徒が一つ乃至以上の星座を構成するだらうが、これはもつとさきのことだ、今日既に細部に亘つて認めることが出来るのは、一方において大西洋集團の形成であり、他方において「ロシヤ」[天體軌道]の成立である、ドイツとの處理は以上の兩國家集團との間に固められ、日本との處理は兩集團と支那との間に固められよう

大西洋集團

大西洋集團に缺くことの出来ぬ國々は既に明かだ、西歐洲における英佛兩國、北米洲における合衆國とカナダだ、平時においてはこれら四國は、

各々独自の道を往くことが出来ると考へるかも知れない、しかし戰時にあつては四國はお互に必要とし合つてをり、各國の力を結集しなければ命にかかはるやうな危難に陥らう、この中核體に他にどれだけ多くの國が参加するかは後述しよう

英佛兩國と北米洲との相互依存關係は、前後二回にわたる大戰で實證された、フランスは英國なくしては立つことが出来ない、しかしフランスが崩潰すれば、英本國は致命的危難に際會する、英國はまた北米洲なくしては立つことが出来ない、しかしまた英國が瓦解する場合には、西半球は侵略の好餌とならう

即ち以上大西洋四ヶ國一つ一つの防衛は四國全體の共同防衛と切りはなすことは出来ない、試金石は戰前どう考へどういはれてゐたかではない、われらの世紀における兩度の大戦で、大西洋岸に國するこれら四ヶ國は、統合司令部のもとに戦はねばならなかつたのである

大西洋集團は想像の假作ではなく現實だ、われらはこの現實を無視し閉却して重なる危難に陥つた、二度とも老大な失費でこの現實を修復しなればならなかつた、今度の戦争ではこの集團は、統合參謀本部のもとに單一の戦略的地形學的體系として機能してゐる

統合司令部はこの集團の責任と死活的權益の限度まで及んでゐるが、ロシヤとか支那には及んでゐない、兩國は全世界的な聯合國の同盟國ではあるが、獨自の戦略司令部のもとに戦争を遂行し、互に關聯呼應してはゐるが、實際に別個の軍事體系である、支那並びにロシヤとの間に、親密且つ確固たる關係を結ぶことが出来るが、即ち今度の戦争におけると同様平時においても相互に關聯してはゐるが個々の體系だといふ現實を認識することが必要だ

大西洋領域が一つの防衛體系だから、第一の原則は大西洋世界内部における戦争は法度だといふことだ、大西洋集團内部における戦争の法度は單に口頭禪ではない、もつとも實際的な政策の前提要件だ、將來以上の原則に基いて大西洋各國のすべての軍備は規整されねばならず、各同盟國並びにわれわれ自身の軍備について天井を設定する代

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

りに、われわれすべての足もとに床を確立することが必要だ、各國それぞれ責任を負ひ、各國がその責任を果して呉れることに、いづれの國も利害關係を持つてゐるからだ

既にわれわれの兵力が必然的に結集した軍として行動するのだから、以上の目標のもとに設計されなければ、戦争に際して十分威力を發揮出来ない、したがつて各國の力に應じ、統合司令部の全般的な作戦計畫によく合ふやうに、各國が兵力を募集し裝備を施さねばならない

以上の諸原則が認められれば、合衆國としてとるべき合理的な軍事政策は、大西洋領域内での戦争は考へられず且つ領域内の戦争には間違ひなく共同作戦に出るといふ確固たる政治上の諒解の上に立つて行くほかはない

大西洋集團は大洋系 (Oceanic System) である、或ひは大洋集團と呼んでもいいかも知れないこの集團内の主要な軍事力は海で隔たつてゐる、お互の關係は島國同士だ、従つて、この集團に一つの首都を定めて、一つの軍事帝國を統治するといふわけには行かない、共同の利害關係を認識し同意した上で共同の動作に出るといふ自由な各國民の含奏にほかならない

英本國とフランスは一緒になければならぬ、しかし一方が他國に協力を強要し、或ひは占領支配も出来よう、だが何れにせよ共同で防衛し合はねばならない、ところが合衆國の場合には非常に馬鹿な政策をとり、共同動作を強要するため、ブラジル、アルゼンチン兩國を占領しようとしても出来ない、南北米洲の統合防衛は必須だが實現には相互の合意によるほかはない、同意を強要する方途はなく、相互的利益をもつて誘ひ共同の忠誠が成長するとともに初めて實現出来るわけだ

即ち大西洋世界においては、國際生活の諸事實が、大西洋憲章の精神と合致してゐる、大西洋領域は諸小國の權利が最も安全な地帯である、同時によく基礎の固つた小國が、大半現存する地域でもあるが、大軍事國たる合衆國、英國、フランスの他に次の國々を含んでゐる

アルゼンチン、濠洲、ベルギー、ボリヴィヤ、ブラジル、カナダ、チリ、コロンビア、コス

タリカ、キューバ、デンマーク、ドミニカ共和國、エクアドル、エール、ガテマラ、ハイチ、ホンジュラス、アイスランド、リベリア、ルクセンブルグ、メキシコ、オランダ、ニユージランド、ニカラガ、ノルウエー、パナマ、パラグアイ、ペルー、比島、ポルトガル、サルヴァドル、南阿聯邦、スペイン、ウルグアイ、ヴェネズエラ

他に大西洋集團と切つても切れぬ關係にあるスエーデン、イタリヤ、ギリシア、スイスなども加へねばなるまい

大西洋世界特に南北兩米洲における各小國の獨立は、從來歐洲の諸小國を保全したのとは全く異つた基礎の上に立脚してゐる、新世界においては幸にも且つ正確にも善隣政策と稱される政策が、大國と小國との間に發展するに至つた、ところが歐洲においては今度の戦争が始まるまでは諸小國は大國間でデリケートな勢力均衡の維持に各自國の獨立を委ねてゐた

例へばポーランドまたはフィンランドの外交政策は、米國人の理解してゐる意味での中立政策ではない、ロシアに對抗しドイツに依存して生き残らうとしたり、或ひはドイツに對抗しロシアに依存して生き残らうとするに過ぎない、双方の大國を嫌ひかつ恐れ乍ら、双方の間に立つてゐるのだから、はつきりかつ最終的とはいづれの大國とも一緒にならない

ところが善隣關係とは反對に、同じ戰略的安全保障地域内の各小國と一大國とが、平時においても戦時においても同盟國となる仕組みだ、現代戰の技術面が御承知の通りで、いづれの小國も自力で國防を全う出来ないから、大國がこれ等小國を防衛してやり、各小國もまたこれに呼應して、共同防衛に必要な戰略的諸便宜を提供し、滲透、陰謀、間諜行爲等に對し、自らの主權を活用して隣りの大國を擁護するのである

この政策は新世界において發見され、まだ完璧を誇ることは出来ぬが、實證されたのだから、米國人は平和と、人類の自由への建設的施策としてこれを推進せねばならない、西半球においては勢力の均衡なるものはなかつたから、われわれはこ

の政策を寄與出来たわけである、歐洲における經驗によればアメリカ帝國が出来たところだつたかも知れないが、國際政局における根本的刷新となり、帝國に代る唯一の且つ本當の代替物として、ここにはゆる善隣政策を生むに至つた

大西洋世界においては獨立國の数が餘りにも多いので合衆國が僅かに或る程度まで自給自足だといふ以外、何れの國もかすかにでも自足出来る國はない、従つて大西洋領域は歴史的にみて、國際交換經濟の中心である、各國が國際商業に依存してゐる結果、各國の國內經濟は特別な性格を帯びるに至つた、この條件の結果私的貿易が起り、私企業が促進されてゐる

ロシヤ圖

この世紀に入つてからロシヤは二度ドイツと戰爭してゐる、その結果ロシヤ人は西歐洲の各國が東歐洲並びにロシヤにたいするドイツの侵入を阻止出来ないことを悟るに至つた、したがつてロシヤ人としてはドイツから東に擴がる地域を、別個の戰略的安全保障系と看做さざるを得ない

今度の戰爭で米英兩國がロシヤに與へた援助をどんなに高く評價しようとも、ロシヤ領土からドイツ軍を撃退することは、大半赤軍とロシヤ人との頑張りによることは明かな事實だ、したがつてロシヤが大西洋諸國とは別個の、戰略安全領域内に存在し且つ右領域に依存してゐることは明かだ、だからといつて大西洋領域とロシヤ地帯とが、相互に依存してゐないといふ意味ではない、飽くまで相互依存だ、ロシヤが獨力でドイツを破ることが出来ず、同時に日本をも破ること等は確かに出来ぬことは明かだ、同様に西歐洲各國がロシヤと同盟してゐなかつたら日獨兩國との決戦を望むことも先づ出来ぬこともまた明瞭だ、西歐洲とソヴェト聯邦との同盟は、これ等の諸條件に據つて立つてゐる、われわれは何れも同じ敵國を持つてをり、相互に助け合はなければ、われわれのうちの誰でもこれ等の敵國を破ることが出来まい

したがつてこの戰爭後の平和は、ロシヤ國と大西洋集團との間に、同盟が維持されるかどうかで決らう、二十世紀に三度目の戰爭が起るかどうか

はロシヤが自らの圈内に満足し、大西洋各國がその領域内に自重し、しかも双方が日獨兩國にたいする政策をお互に調整するかどうかで決らう

支那圖

支那には二つの大きな隣邦が控へてゐる、日露兩國だ、帆船時代の地圖をしまひ込んで、地理の研究に地球儀を使へば、合衆國から空路支那の心臟部に達する直接路は、ロシヤ領土の上空を通過してをり、海路でもロシヤ並びに日本の水域を経由することを知らう

今度の戰爭の経緯により以上の事實が、世界における支那の地位にどんな影響を及ぼすかが分つた、日本は支那と合衆國との海上連絡を遮斷したしかしわれわれから僅かばかりの援助を受けただけで、奥地深く入つた支那は長期に亘つて日本の征服に抗戦してゐる、支那の知己であるオウエン・ラチモアのいふところが正しくて、將來の新興支那は海岸線や長江筋によらず深く西方の奥地にあり、支那の工業化は「同國內の心臟部に確立される」とすれば、支那が一度日本から解放される場合、戰略的にはわれわれから獨立だ、外交上支那が死活的關係に立つのは、陸上で國境を接する隣邦即ちロシヤと究局においては印度だ

ドイツの處理

聯合國は先づお互の關係を安定させない以上、ドイツとの關係について解決案を見出すことができない、處理案は大西洋集團とロシヤ國との關係が續く限り存在しよう

ドイツは徹底的に武装を解除せねばならぬといふのが、一般に一致した見解だ、問題は誰が何時まで見張りするかだ、或ひはドイツ領土の一部をポーランドに割譲せねばならぬといふが、そんな問題はポーランドが、どうしてこの領土を防衛するかだ、或ひはドイツを二つ以上に分割せよといふ要求がでてゐる、ところが並び起つてくる問題は、これらが再度結合するのをどうして阻止するかだ、ドイツ人の間にもいいドイツ人と悪いドイツ人とがあるといふが、この自明の理を根據に或ひはドイツ人の民主主義分子を支持せねばなら

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ないと主張し、或ひは從來の記録に鑑みドイツ人の民主主義分子は、何時でもドイツ軍閥に盲従すると反対意見が出て来る

これら一切の問題に回答するには、先づドイツ周辺の各國が確固たる組織を保ち、各國が夫々の戦争安全保障系内で、ドイツとの處理案を飽くまで遂行することをはつきり公約するといふ保障が必要だ、上述した各案の何れについても、これが絶対缺くことが出来ない大事な前提である、若しドイツが隣邦のうち何れか一國を引き離し、ドイツ圏の内に引込むことが出来れば、苛酷な計畫だらうが穩健な案だらうが、何れの案も實施出来ないこととならう、武装解除案、領土合併案、ドイツ解體案等々の何れにせよ、ドイツが例へば大西洋集團からフランスを引き離し、ポーランドをロシヤ圏から引き離すことが出来れば、木葉微塵となつて了はう、したがつて一番大事な問題は、ドイツ處理案の戰略的領土的政治的機構が何時まで続くかだ、ドイツ國內における或る特定の體制が永久に續くなどと皮算用に耽つても全く無用だ、余が過去の戦争の證據を基礎として見る所によれば、危機は休戦後ほぼ十五年で到來するといふことだ、一九四五年に休戦が出來るとすれば、一九六〇年頃にドイツは新しい戦争を用意するか、眞の平和に入るかが決らう、危機の動向を決定するのは、新時代のドイツ人が古い好戦派と袂を斷つか、舊來の大ドイツ主義に従ふかだ、現在戦争の結果出來た同盟が十五年後にも健在でなければ、ドイツ國內の好戦派は新時代の青年に對し、ヒトラー總統のやうに過ちを犯さなければもう一度やつて見たら素晴らしい機會に恵まれるといふことを實證出來よう

領土賠償金並びに戦争犯罪人の處罰に關する媾和條件は非常に大事だ、しかし日本を政治的に處理するに當つて、合衆國が主役を演じてはならぬといふのが余の所見だ、日本國內の扱ひについては支那人に任せるのが一番いいと同様に歐洲各國人にドイツとの道義的政治的勘定を片付けさせるのが賢明だと思ふ、われわれにとつて最高の考慮を必要とすることは、ドイツとの處理案が永續的かどうかだ、われわれの戦争目的には變りがあり

得ない、ドイツがロシヤとわれわれの間に介在して、勢力の均衡を保つやうな地位に立つことができぬやうにすることだ、ドイツを武装解除してへば、大西洋集團の國際交換經濟圏内に入つても別段危険はなく且つ妥當だと思ふが、ソヴェト聯邦が衷心から同意するのだから、ドイツを加入させることはできない、したがつてドイツを大西洋集團の軍事體制に入れることは當初から問題になり得ない、ドイツを武装解除して海上貿易に依存させれば、ドイツの東漸政策(ドラング・ナハ・オステン)が終りを告げる最善の保障とならう、この政策を永劫に終りにしてしまふためにはロシヤとドイツの東方の隣邦との間に確固たる同盟を締結し再保險する必要がある

ドイツを永久に孤立させることは絶対にできない、世界の各國人は何年もドイツを感化院に入れて監督に當つてはゐない、結局ドイツは世界の機構に公認された独自の地歩を占めることとならうしたがつて選擇はドイツを大西洋集團に入れるかロシヤ圏に入れるかだ、しかしロシヤ圏の内部には東歐洲の國々乃至西歐洲の國々にとつても、安全で且つ容認出来るやうなドイツのための地歩は存しない、ロシヤと合體したドイツは、ソヴェト聯邦にとつても危険且つ脅威を與へる内部の敵だその上ドイツをロシヤ圏に入れば、ロシヤ圏は大西洋岸にまで延びるので、西歐洲世界としてはかかる解決は到底容認出来ない、しかし武装解除され、商業國民として大西洋集團に入るならば、歐洲にとつても世界全體からみても、ドイツは先づ出来るだけ安全なものにならう

世界の將來は他の如何なることよりも、ソヴェト聯邦と、合衆國との關係によつて決らう、いづれも地球の廣汎な領域における重心だ、兩國は第三の世界戦争を阻止出来るが、双方が若し戦ふ場合には、あらゆる世界戦争のうちでも、最も恐しい戦争とならう、世界で一番強い國が二つ、しかも、現實に出来る最大限度まで双方は離れてゐるソヴェト國力の核心は歐亞大陸の奥深くウラル山系にあり、米國の戦力は北米洲の島大陸の中心ミシシッピー谿谷にある、したがつて一大戦争を仕

掛けることが出来る二大強國が、お互の關係においては難攻不敗の地歩に立つてゐる

西方においては、兩國は歐洲を過らぬ限り相手には届くことが出来ない、シベリア地方とアラスカの相接する處で、國境戦争を始めるかも知れないが、米軍がアラスカからウラル山系を占領することは出来ないし、ロシア軍もまたシベリア地方からミシシッピー谿谷を占領出来ない、したがつて豫見出来る將來の關係する限り、ロシアと合衆國間に直接おこる戦争といふのは、象と鯨との戦争と同様出来ぬ相談だ

しかし他の國も參加する全般的戦争なら出来ぬことはない、これが取あげねばならぬ現實の問題なのだ、例へば、歐洲のすべて並びに英國が、先づ戦争の渦中に投ぜられる場合、米國とロシアとの間に戦争が起り得るので、同盟國を通じて初めて掴み合ひが出来る譯だ、したがつてロシアと米國とは、同盟國との間で定める政策如何で和戦を決定することとならう、若しソヴェト聯邦がドイツまたは日本と同盟を締結するやうなことがあれば、第三世界大戦の序幕と考へて差支へない、同様大西洋集團の何れかの一國、例へば英國がドイツまたはロシア圏内の一國、例へばポーランドと同盟を締結し、しかも右同盟にはソヴェト聯邦を參加させず乃至ソヴェト聯邦の同意を求めなかつたとすれば、平和の機構が致命的に打ち破られたとみて差支へない

局地集團の原則を認めたので、つぎには侵略を見付け出す實際的な運営の原則を確立せねばならない、戦争を阻止するためには、侵略國が國境線を過ぎるずつと前に、侵略を阻止することが必要だ、荏苒傍觀してゐるならば侵略國にたいし、主導の便宜を提供する結果とならう、戦争を阻止するのは、侵略國が出撃する前でなければならぬ、即ち侵略國が犠牲となる國を孤立させるため、先づ外交上の第一歩を踏みだした際だ、余の提唱する局地主義によれば、或る國が自身の戰略圏を越えて、他の戰略圏内の一國と同盟を締結しようとする場合には、公然たる侵略行動と解してゐる、同一戰略圏内の隣邦同士で、同盟を締結するのは結構だ、隣邦各國は共同の安全保障のため

に團結しなければならぬ、しかし同盟の結果他の國が隣邦群の内に混つてくれればよろしくない、われわれがカナダやメキシコと同盟を締結しても誰も問題にしない、しかし若しメキシコがソヴェト聯邦と同盟を締結する場合には、平和が危殆に瀕してゐることが誰にでも分らう、若しわれわれがイランと同盟を締結すれば、直ちに和戦の危機が到來したと知るべきだ

ソヴェト聯邦と合衆國間の争點

ソヴェト聯邦とわれわれとの關係によつて、第三世界大戦が起るかどうか決めるのだが、あくまで率直、腹藏なく打ち開ける以外、親善關係を維持することは出来ない、われ等のロシア政策は獨り夏の日のためだけでなく、冬の嵐にも耐へられるやう強靱でなければならぬ、しかしわれ等の相互關係は深刻な矛盾に取り圍まれ、信頼し合つた協力は阻害されてゐる

先づ第一に外交上の交際が均等且つ相互的基礎に立つてゐないといふ點で障礙にぶつつかる、ソヴェト政府はわれ等との自由な交際にたいし「檢疫制度」を維持してゐる、外國向けの通信に檢閲を加へる結果、ソヴェト政府が好便と思惟する以外同政府の施策を知ることが出来ない

ソヴェト政府の「檢疫制度」の結果、ソヴェト政府は民主主義國の企及出来ぬ秘密と不意打ちの謀略に訴へることが出来る、ソヴェト政府と違ひわれ等の政策は、審議と討議の結果初めてきまるのだから全世界に通告するに等しい

以上、劈頭の困難に續いてつぎの困難にぶつつかる

一九四一年以降ソヴェト外交政策は、革命的國際共產主義の企圖を排撃し、外國における民主主義機構並びに原則を全的に支持する旨宣言した、一九三六年のソヴェト憲法は性格において民主主義的である、右憲法には民族條項が含まれてをり「普通平等直接選舉制」を基礎とする選舉制度が明示されてゐる、しかしこれら民主主義諸條項はまだソヴェト・ロシアで實施されてゐない、したがつて全世界がソヴェト外交政策の民主主義宣言が、現實に遂行されるかどうか反問するのは已む

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

を得まい

既にわれわれの目標がソヴェト・ロシアと全面的な理解に到達するにある以上ロシアのかかる動きを看過することは出来ない、われわれははつきり幕麻をしつかりおさへなければならぬ、来るべき時代の世界秩序は大西洋集團とソヴェト聯邦との双方に依存してゐる、従つて市民の根本的な自由權に關する理念上の争ひが解決されない限り全世界の信頼と忠誠とを確保することは出来ない、しかし誠意をもつて且つ省みて良心にやましいところがなく、この問題を検討するには硬貨の他の側をもみなければならぬ、第一次世界大戦の終りに當つて以前の聯合各國が不干渉、不介入の理想を提唱しながら、ロシア國內に兵力を派遣して内亂に干渉したといふことをロシアは決して忘れてゐない、丁度西歐洲諸國がロシアを信頼出來ないのと同じやうに、ロシアもまた西歐洲諸國を信用してゐないが、われわれがロシアの安全保障に對する日獨兩國からの脅威をはつきり解消させてしまふやうな媾和處理を支持するならば、かかる疑念は最後のに一掃されるであらう、以上の基礎にたつて、はじめて大膽にソヴェト聯邦との永續的な諒解をもとめることに邁進出來るわけである

自由民權に關する紛争は根本的な難關だがこの困難は取除くことが出來るし、且つ必ず取除かれると期待して差支へない、今度の戦争でお互に同盟國となつて以來、ソヴェト聯邦は逐次明確に、全體主義の原則でなく民主主義の原則に基いた外交政策をとるにいたつた、しかもソヴェト政府が一九三六年の憲法によつて民主主義の諸原則を採用することを宣言したのだから、自由民權に關する争ひは理論的にはもはや存在しないわけだ、しかし實際においてはソヴェト憲法は未だかつて十分實施されてゐないのだから、紛争は依然として存在してゐる

そこで全世界は何故ソヴェト聯邦がかかる憲法を採擇したにも拘らず、何故共產黨の獨裁のもとに全體主義を續けてゆくのか、僅かに臆測するばかりではない、ロシアに對して好意を抱く人々はソロウキンと同様、現在存續してゐる「嚴格な體制」

はもはや革命初期の無制限な獨裁制ではなく、ナチスの侵略に當面し、「國家の緊急事態」に由來する「戒嚴令體制」であるとなつて主張する、しかし、いい感情をもつてゐない人々は實際に獨裁制を實施しながら民主主義の理念を宣言するのはソヴェト政府が人類を欺かうといふ謀略に他ならない

しかし以上の解釋の中どちらが正しいかを議論してゐても親善且つ信頼しあつた關係を確立することは出来ない、この議論を一舉にかたづけることが出來るのは外國の批評家達ではなくて、ソヴェト政府自身であり、戦後彼ら自身の憲法を實施することだ、何れにせよ民主主義と自由主義とで存亡を賭する戦争を能率的に遂行出來ないことはわれわれの理解してゐる通りであり、殊にロシアでは民主主義的自由といふことは全く根本的な新機軸なのだから、ロシアとしては猛烈な攻撃をうけてゐる際に、憲法を實施して混亂状態をおこすことが出來なかつたのはいふまでもない、しかし一度戦争が済めば獨裁政治と戒嚴令とを維持する唯一の理由が解消するであらう、それにも拘らず依然として獨裁制と戒嚴令が存續されるならば果していかなる説明を加へることが出來るだらうかもしロシア人が國內において民主主義の諸原則を實行しないのであれば、他の國々にソヴェト政府の民主主義諸原則に基く新たな外交制度を信じてくれといつても無理だ

世界秩序の憲法を起草するにあつては加盟各國に對し、憲法案に民權條項を挿入することを提唱すべきだと思ふ、右條項はソヴェト憲法以後西歐洲各國の憲法にも共通な自由民權を明示しなければならぬ、今世界的な社會の憲章に以上の民權條項を挿入する以上、同時に加盟各國が右條項を實施するといふ公約を與へたに等しい、ソヴェト聯邦としては自國の憲法を實施する義務を負ふこととならうし、西歐洲諸國としてはファッショタると共產主義たると問はず、あらゆる全體主義的な運動に對し自國の憲法を維持する義務を負ふに至るであらう

即ちわれわれとしては飽くまでロシア人の協力を求めなければならぬ、しかし入口の鍵を握つ

てゐるのはロシア人だ、われわれはロシア人の友達となる積りであるから彼らに對して腹藏なく話しかけ、將來の世界を民權自由の主義に準據させるやう協力を要請せねばならない、ロシア人は決して拒絶しないであらうといふことを希望し且つ信じて差支へあるまい、しかし同意したといふ證據を與へることが出来るのはロシア人だけだ、戦争がすんだ場合に憲法に關する約束を實行し、自國民と現在の同盟各國との間における情報ならびに意見の自由平等且つ相互的な交換を實行することだ、かりにロシア人が拒絶する場合においても第三次世界大戰を阻止するために通常の外交機關を通じて、ロシア人を説得するため出来る限り最善の努力を致さねばならない、しかし拒絶する場合にはわれわれとしても自ら欺かず、實體のない全世界的社會の外觀に有頂天になつてはならない

戦争目的

次に述べようとする戦争目的は極めて明確だ、即ち合衆國は

第一に大西洋集團に現存する戰略的外交的諸關係を確立すること、換言すれば英帝國並びに英聯邦、米洲各國、フランスとその帝國、ベルギー、オランダ並びに兩國の植民地、ルクセンブルグ、ノルウェー、デンマーク、アイスランド各國との關係を強化し、更にポルトガル、スペイン、イタリア、ギリシア、エール、スエーデン各國にこの關係を擴充するやう努力すること

第二にロシア國がドイツの東方並びにソヴェト聯邦の兩方の國々を包含する有効且つ正當な戰略體系であることを認めること

ついでソヴェト政府に對し合衆國は全般的な世界の組織内における協力は、各加盟國、特に最も有力な國々が國內においてどこまで民主主義的な諸自由を維持するかどうかによつて、或ひは眞實かつ自由ともなり或ひは制限され、曖昧ともなりといふことを通告しなければならない

第三に支那がソヴェト聯邦の國境線と印度との間の東亞本土全部を包含する第三の戰略體系の中心なることを認めること

第四に將來アフリカ北部、中東、アジア南部に

における回教徒及び印度教徒の各國民が獨自の局地的體系を組織するのを認めること

第五に東亞における處理の基本原則として、日本が支那とソヴェト聯邦との勢力の均衡を維持する地位に立たないやうにすること、またドイツとの處理に際してはドイツが大西洋集團とロシア國との間にたつて、勢力の均衡を維持する立場にたてぬやうにすることを根本方針とする

第六に侵略戦争に對する永續的處理の一般的な目標は好戰國を抹殺し平和國を擁護し、敗北した場合には取返しが出来ないやうにし、同時に和平條件はうけいれることができるやうにすること

以上のやうな方針に従へば各國民は長期に亘る平和に安息することが出来るやう、これは單に法律上の擬制に基く單なる外交上の機構ではなく、法律上の擬制を各民族國家の實體的行動の上に押付けるのではない、今日世界の各民族國家の間における確固たる實力の秩序に他ならぬ、各國が夫々隣邦にたいする外交政策を確定することを前提としてゐるから、この構想はあくまで明確である、各國は勿論自國の主權を放棄しないが、國際關係において獨り決めて外交上の手段にでる權利を放棄するわけである、かかる秩序ある平和の安定した基礎の上にはじめて全世界的社會を打立てることが出来るやう

一九三九年の過ち

以上のやうな考へ方はウィルソン大統領當時から米國においては一般的な考へ方ではないことを承知してゐる、同大統領は國際聯盟のやうな全世界的な社會が平和を形成し維持する任務に耐へ得ると信じてゐる、しかしその點について余は全く違つた考へをもつてゐる、合衆國は先づ第一にわれわれ自身の武力と國力とに依存し、ついでわれらの自然の同盟各國に頼り、それから全般的な世界の機構を當てにする順序だ

全世界的な社會の諸規則並びに手續によつて戦争を阻止することは出来ない、世界的な組織と雖も、警官隊にたいし警察の役廻りを果すことは出来ない、以上が一九一九年におけるフランスの見解だが、今日においてはクレマンソーが正しく、

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

ウイルソンがまちがつてゐるといふことを認めざるを得ない、一九一九年において世界が第一に必要としたことは、ドイツとの永續的な處理であつた、當時ウイルソン大統領はドイツとの處理を第二義的とし、全世界的な平和案を第一にとりあげたが、その結果フランスは安全保障を確保することが出来なかつた、全般的な平和を第一に考へて特定の平和を閑却した結果、ウイルソン大統領は結果においてドイツについて失念してゐることとなつた、ウイルソン大統領は休戰協定によつてドイツ問題が片付いたと早合點し、パリに乘込んで聯合各國にウイルソン一流の平和を押し付けようとした、テオドール・ルーズヴェルトとかロツジ・ノックスその他の警告を無視し、ウイルソン大統領は聯合國の體制を解體してしまつた、しかも聯合國の體制こそ戰爭に勝ち且つ平和處理を長続きさせることが出来る機構であつた、秩序にたいする責任は勝利を収めた各政府が負擔しなければならぬ、各政府はその責任をまだ出来上らない全世界的な社會乃至僅かに出来たばかりの社會に委譲することは出来ない

ウイルソン大統領の大きな考へ違ひは、全世界的な社會が國際生活の通常の機構にとつてかはることが出来るかと考へた點にある、この誤つた考へ方が、樞要な勢力のある方面、並びに一般の社會にも行渡つてをり、世界秩序の組織を流産に終らせる懸念が強い、全世界的な社會は各國家並びに各領域の安全を保障することは出来るが、國境線にかはることも同盟に基く戰略的な地位にもとつてかはることは出来ない、即ち合衆國としてもパナマ運河、海軍根據地、カナダ、メキシコ並びにカリブ海諸國の防衛を放棄するなどといふ考へは毛頭ない、更にまたキューバ、ハイチ、パナマ共和國、これらはすべて獨立した主權國家だが、これらの國々が北米洲地域の協調と相容れない同盟を締結する權利を認めようとも未だかつて考へたこともない

ウイルソン大統領はまた民族自決の原則を自説として主張する誤りを侵した、アグラハム・リンカーンのことを忘れ、合衆國の史上最大の憲法上の紛争を忘れ、一と休みして民族自決と離脱の權

利との區別を考慮することをしなかつた、民族自決の原則を國際生活の最高原則とするのは、全くの無政府狀態を誘致するに等しい

この原則は殆どあらゆる組織體の解體を促進するために利用出来るし、且つ實際にもそのために提唱された、民族自決主義は干渉と侵略への許可證である、表面民主主義的にみえるが、民族自決主義は各種の民族が平等な法律のもとに正義と自由とを見出す國家の理想を排撃するが故に正確な意義においては非アメリカ的であり非文明的である民族自決と自治とは何等關係がないが、混同されるに至つた離脱を承認する結果、少數民族と多數民族との双方を非妥協的非協調的にしてしまふ、民族自決主義によれば人類社會の「原子化」は停止するところを知らぬこととならう、既に分離した少數民族の間に、また少數民族が現れて更に離脱を希望することとなるからだ

大きな集團の結合

全世界的な社會は主權國家の自發的な結合でなければならぬ、世界的な政府となれば、現在のところ地球上二十億の住民から、法律を制定執行する權限を得る方法が考へられないから、世界的政府の體制をとることはできない、世界的な政府に統治權を世襲するといふことは考へられないし世界的な政府を選挙することもできない、例へば合衆國の人々は世界的な立法府に主權を委譲しないだらう、一國一票の基礎に立つて票決に付する場合、アジアの住民のために十對一で敗れるからだ、しかし如何なる道義的な原則に立つて米國人は自國の一票が他の人種の權票よりも値打が高いと主張することができようか、しかし世界的な協議機關を設置することはできる、人類を統治する世界的な政府ではなく、各國政府が相談し意見の一致を見出さうと努める協議機關である、民族國家が死活的に重要と看做す諸問題を票決に付してきめることはできない

一九三七年においては世界的組織に、獨自の代表權を主張できると認められる國が七十三ヶ國あつた、若し資格あるすべての國々が投票し、しかもすべての國が同意しなければならぬのであれば

苟も重要な紛争は決して票決によつて決定されぬことは明だ

國際聯盟では合衆國の一票に對し、英國は六票持つてゐるではないかとの不満、ソヴェト聯邦が十六の外務省を持ち、十六の共和國から構成されるに至つたとの公報に懸念を禁じ得ず首を振つたことを思ひだしさへすればいい、國際事件が政治的な機構によつて處理できると考へる多數の人は、今や合衆國もまた四十八票を要求すべきではないかと反問しだした、票數を數へることと世界社會を運営しようといふ考へをとれば、こんな馬鹿げた結論を誘致しよう

「權謀外交」(Power Politics) に基く變遷常なき同盟の弊害に對し、救済策を見出すのが喫緊の要務である、同盟の變動常ないのを救済するには同盟を安定させることが第一だ、局地主義は正にこの任務を果すこととならう、各國は夫々自國が一つの、しかして唯一つの大きな戰略的安全保障地帯に所屬することを認める、各國の陣列には疑問の餘地なく、陰謀や駆引の對象とはなり得ない

ウイルソン大統領の原則を逆にせねばならぬといふのが余の信念だ、民族自決主義に基いて現存の政治的國家を解體することではなく、これらを保全することに努め、民族國家の局地的集團を解散せずに完成することに努めねばならない

かうして全世界的な社會の眞の構成單位は、どれだけ澤山の原子に分裂するかも知れない、七十三の政治的分子ではない、全世界的な社會は人類の大きな集團の聯合である

われわれのみるところではこれら集團の一つが大西洋集團である、理論家が發明したからこの集團が存在してゐるのではなく、存亡の戦ひに際してわれわれがこれを組織化したから存在してゐるのである

以上の見解をとれば國家主義と國際主義との恐しい對立は解消する、何人も自身の國に對する忠誠を新たな全世界的な祖國に移すことを求められる譯ではない、善良な愛國者であればよい隣人に違ひなく、法律と慣行と全世界的な社會の要請に忠實であらう

ウイルソン大統領が企圖したやうに、全世界的

な社會をつつべんから下の方へ建設して行くことは出来ない、現存の民族國家と歴史的な社團とから段々拵へ上げて行かねばならない、これこそ國際聯盟の大實驗とその失敗とから、われわれが學ばねばならぬところだと思ふ

米國の命運

自分が育つた頃の米國と今日の米國とを比較すれば、自分が青年時代歴史の主題となつてゐる現實の諸問題に、如何に無關心であつたかに驚かされる、共和國の安全保障とか如何にしてこれを防衛しようかなどとは一切考へなかつた、生きがための抗争は既に久しい以前に、幸にも終りを告げたと考へてゐたのである

極く最近にいたるまで久しい間、誰しも合衆國には敵國がないとしか考へてゐなかつた、米國民は全く攻撃を受ける懸念なく、軍事費とか戰略上の警戒とか同盟とかに全然煩はされなかつたのである、以上なんらの努力を伴はない米國の安全保障を、通俗的な神話で説明してゐた大西洋は、餘りに廣漠としてゐるから、敵は横斷出来ない、太平洋の彼岸で何事がおこらうとも、われわれが干渉しななければ、われわれを煩はさない、そこで合衆國としては、自國の安全保障のため何らの施策をも必要としない、海洋の彼岸のことに捲き込まれぬやう差控へておればいい、といふのであつた、現世紀における二つの大戦争の二度目に及んで、初めて米國民は努力を強ひない全く獨自な米國の安全時代は終焉を告げ、米國もまた史上における他の諸大國と同様、外交と政治と武器とによつて防衛されねばならぬといふ事實を受容れるに至つた

宿命の致すところ米國は今や西方文明の最早へりに立つてゐるのではなく、中心に据ゑられるに至つた、われわれが使命を果すことが出来なければ西方の文明は解體し、ソヴェト聯邦と興隆するアジアの諸民族との周邊に衰へて了ふこととならう、しかし苟もわれらの命運を悟るならば、十分に任務を果すことが出来よう

昭和十九年十一月廿八日(火)
第三二五四號

同盟通信

海外電報

(272)

【目次】

ハル國務長官辭表を提出	二八六二
ボノミ首相途に投げ出す	二八六二
ベルギー政權も危機に立つ	二八六二
波政權最大の危機	二八六二
米特使マンズフィールド重慶到着	二八六二
ド・ゴール、エダプト王と會見	二八六二
【米 洲】	二八六三
波の國境保障を拒否	二八六三
ステチニアス獨處分案に關し言明	二八六三
マシヤル現役延長	二八六三
輕火器増産を急ぐ	二八六三
駐佛大使にカフリ	二八六三
戰線視察團ロンドン着	二八六三
ウルグアイ、亞の提案を支持	二八六三
叛亂首腦を處刑	二八六三
前罪國王アルゼンチンへ	二八六三
【反樞軸陣營】	二八六三
スバシツチ歸還	二八六三
【英 帝 國】	二八六四
加政情更に緊迫	二八六四
徵兵制反對運動擴大	二八六四
漆、米國に飛行機を大量注文	二八六四
南阿軍も對日戰に参加	二八六四
【アフリカ】	二八六四
エチオピア基督教傳道禁止	二八六四
米英エダプトでも競争	二八六四
【戰 局】	二八六五
前線に喰る流星彈	二八六五
【ド イ ツ】	二八六五
ゲッペルス宣傳相決意を語る	二八六五
【ソ 聯】	二八六五
各紙ド・ゴール攻撃	二八六五
フランコ統領を攻撃	二八六五
國防人民委員部次長任命	二八六五
【東 亞】	二八六五
リース北緯戰線を視察	二八六五
【歐 洲】	二八六六
ブラツセルで市街戰騒ぎ	二八六六
「スターリン」廣場一生	二八六六
對立激化でボノミ苦境に立つ	二八六六
スエーデン船觸雷沈没	二八六六
獨は關知せず	二八六六
駐獨スエーデン公使歸國	二八六六
【西 亞】	二八六七
イラン新内閣成立	二八六七
イラクと協定	二八六七
ソ聯西亞政策の支柱	二八六七
【軍事情報】	二八六九
距離の概念に修正	二八六九
發射基地爆撃は不可能	二八六九
【特 輯】	二八七〇
ルーズヴェルト四選の意義(上)	二八七〇
【資 料】	二八七三
米國海軍航空輸送隊	二八七三

米國務長官ハルが遂に辭職した、理由は病氣である、事實彼の健康はその老齡も手傳つて最近とかく勝れず、今年に入つてからも半分以上は轉地療養ないしは病氣引籠りで過してをり、現在も一ヶ月以上にわたつてワシントンの海軍病院に入院加療中で國務次官ステチニアスがハルの代理をつとめてゐた、米國戰時外交指導權の大半がルーズヴェルトの掌中におかれてゐるとはいへ、國務長官の地位は米國政府内でも最も樞要な一つである、かかる要地にある者がその大半を病院で過してゐたのでは米國の政治機能が非常な障礙をうけるのは當然だ、ハル辭職の原因が病氣にあることはたしかである、しかしこれが全部では決してない



ルーズヴェルトとハルとが外交上の問題でとかく圓滑を缺いてゐるといふ噂は從來も屢々傳へられたところだつた、ハルが表面的には米國外交の指導者としての地位を與へられながら、外交の實權を握るルーズヴェルトによつて除けものにされ時には煮え湯をのまされるやうな目にあはされたことも屢々だつた、しかるにこの傾向はハルの健康が勝れずとかく引籠り勝ちとなつてから特に顯著となり、過般のケベツク會談で對獨處分案の如き重要案件が協議された時も國務長官たるハルがこれに參畫せず代つて全くの門外漢たるモーゲンソーの如きが相談にあづかつてゐる

米國外交の指導勢力のうちでハルは明らかに保守的勢力を代表する人物であつた、彼の勢力が如何に衰へたりとはいへ奔馬の如き米國外交に相當のブレーキ的作用を與へてゐたことはたしかである、このブレーキが今度の彼の辭職で取除かれた、ルーズヴェルトの霸道外交は愈々積極化するであらう

ハル國務長官辭表を提出

(リスボン二十六日發) ワシントン來電ハ國務長官コーデル・ハルは健康勝れずとの理由で大統領ルーズヴェルトに辭表を提出した

ボノミ首相遂に投げ出す

(リスボン二十六日發) ローマ來電ハイタリア裏切政權は首相ボノミ司會のもとに二十五日夜聯立内閣の各派領袖會議を開催、内閣の改造について協議したが、共產黨並びに社會黨の要求に對し自由黨とカトリック黨が頑強に反對して遂に物別れとなり、ボノミは閣内不統一の責を負うて二十六日午前統監ウンベルト殿下に對し辭表を提出した辭表提出に先立ち英國大使ノエル・チャールズは特にボノミを訪問し密議を凝らした、内閣投げ出しに關する公報次の通り

聯立内閣の各派が政府の施策を各派の政策目標に向つて一段と推進させることを要求してゐるので、首相ノヴォイ・ボノミは各派の見解を確めるため各派領袖との交渉を開始した、以上の協議の結果並びにその他知り得た所に基つき首相は辭表を提出するのを適當と認め國統監に對して内閣の辭表を提出した

ボノミの辭表提出とともに統監ウンベルト殿下は二十六日朝來後繼首相の選定につきバドリオその他と協議を開始した

ベルギー政權も危機に立つ

(ストックホルム二十六日發) ベルギー首相ピエールローは二十五日ブリュッセル市内の衝突事件調査のため二十六日急遽別墅から首都に歸還、二十七日緊急閣議を開催して對策を協議する豫定だが市街戰の結果二十六日夜までに判明したところでも死者四名、負傷者三十八名を出してをり、防衛戰線團を中心とする左翼とピエール政權は全く正面衝突の状態にあり、内閣は重大な危機に當面してゐると解される

波 政 權

最大の危機

(ストックホルム二十五日發) 亡命ポーランド首相ミコライチク退陣の理由に關して

は早くも種々の臆測が流布されてをり、亡命政權側が一切言明を差し控えてゐるため、眞相は判然としないが、「デリー・メール」紙によればミコライチクはモスクワ會談で英國に見放された結果、米國に國境紛争に介入を泣きついたが、モスクワ駐劄米國大使ハリマンが歸任の途上ロンドンに立ち寄り、ルーズヴェルトからの親書の形でポーランド將來の國境を保障することを拒否したため、ミコライチクも匙を投げて桂冠を決意したといはれる、いづれにしても後繼内閣の組織を委嘱されたクワビンスキーがよくソヴェト政府の強壓に對抗して疾風怒濤を乗り切るとは考へられず特にミコライチクの主宰するポーランド農民黨が聯立内閣に反對してゐるため思はぬ難關に逢着した様子で、ロンドンからのAP電報も

クワビンスキーは社會、キリスト民主、國家民主諸黨の代表からなる聯立内閣の組織を圖つてゐるが、ソ聯の尻押しするルブリン政權に對抗出来るほどの強力な内閣を組織出来るかどうかは疑しいとみてゐる

米特使マンスフィールド重慶到着

政治經濟狀態を檢討

(リスボン二十六日發) 重慶來電ハルーズヴェルト特使ジョセフ・マンスフィールドは二十六日重慶に到着した、同特使は印度からレド公路を経てミートキーナに至り同地から空路昆明を経て重慶に到着したもので、その使命につき次の通り言明した

ルーズヴェルト大統領が余を重慶に派遣したのは米國と重慶の一層緊密な協力を實現する見地より重慶の政治的、經濟的狀態を検討するためである、余は蔣介石と會見し重慶には三週間滯留の豫定である

ド・ゴール、

エチプト王と會見

(リスボン二十六日發) カイロ來電ハフランス政權首班ド・ゴールはモスクワ訪問の途次、二十六日エチプト國王ファルーク一世を訪問した

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【米 洲】

波の國境 保障を拒否

(リスボン二十五日發) ワシントン來電 米國務次官ステチニアスは二十五日の記者團會見において亡命ポーランド政權の更迭に關し次の通り言明した

「ミコライチクの辭職は内政上の問題だから論評を加へることは出来ないが、米國政府は成行を極めて慎重に見守つてゐる

一、米國の傳統的政策は歐洲における特定の國境を保障することになりから米國政府がポーランド國境を保障するといふことは問題となり得ない

ステチニアス獨處 分案に關し言明

(リスボン二十四日發) ワシントン來電 國務次官ステチニアスは二十四日の新聞會見で次の通り述べた

歐洲諮問委員會の米英兩國代表はドイツ占領地の統治に關し十分検討された諸提案において意見の一致をみた、その所見については各自の政府に報告してその決定に俟つことになつてゐる最後のなドイツ管理案が出来上がるためには三國政府にフランス政府をも加へさらに意見を交換する必要がある

マーシヤル 現役延長

(リスボン二十四日發) ワシントン來電 米國上院陸軍委員會は来る十二月三十一日をもつて六十四歳の退役年齢に達する參謀總長ジョージ・マーシヤルの現役延長を二十四日全會一致可決した

輕 火 器 増 産を急ぐ

(リスボン二十四日發) ワシントン來電 戰時生産局長官クルーグは二十四日次の通り

言明した

歐洲侵攻反樞軸軍總司令官アイゼンハウアーは余に對し米軍は世人が想像してゐる約四倍の輕火器並びに彈藥を現在消費してゐる旨通告してきた、戰時生産局はこの要請に應ずべくこれら輕火器並びに彈藥の倍額増産計畫を樹てその實施を急ぐこととなつたが、これには七萬七千人

の勞働力補充が必要だ、右計畫は全國十三工場において遂行される豫定で、既に大部分は右計畫に基く生産に入つたが最近の産業轉換令の結果として未だ休止してゐる工場も若干ある

駐 佛 大 使 にカフリー

(リスボン二十四日) ワシントン來電 米國政府は二十四日ド・ゴール政權に對する米國外交代表ジェファアソン・カフリーをバリ駐劄大使に正式に任命した

戰線視察團 ロンドン着

(リスボン二十五日發) ロンドン來電 米國下院軍事委員十七名は二十五日歐洲戰線視察の途次ロンドンに到着した

ウルグアイ 亞の提案を支持

(リスボン二十五日發) アルゼンチン政府はかねて米洲諸國外相會議の開催を提唱し、同國政府の米洲における特異な立場の打開を企圖してゐるが、モンテヴィデオ來電によれば、ウルグアイ政府は以上アルゼンチン政府の提案を支持する旨二十五日發表すると同時に、米洲諸國に對し右に關する覺書を發したといはれる

叛 亂 首 腦 を 處 刑

(リスボン二十二日發) ラパス來電 去る十八日ボリヴィアの錫鑛中心地オルロに勃發した叛亂は即日鎮壓されたが、これに關しボリヴィア警察局は現在までに七名の高級將校及び政治家を叛亂に加擔した罪で極刑に處した旨二十二日發表した、また一情報によれば叛亂軍首領メリト・ブリト大佐は自殺したといはれる

前 羅 國 王 アルゼンチンへ

(リスボン二十日發) リオ・デ・ジャネイロ來電 前ルーマニア國王カール二世はルベスコ夫人同伴二十日朝「アルゼンチン」號でリオ・デ・ジャネイロに到着した

【反樞軸陣營】

ス バ シ ッ チ 歸 還

(ストックホルム二十五日發) タス通信の報道によれば、亡命ユーゴ政權首相兼外相スバシッチはスターリン議長との會見を終へて二十四日モスクワを出發したといはれる

【英 帝 國】

加 政 情

(リスボン二十四日發) カナダ首相マッケンジー・キング

更に緊迫

は二十三日徴兵制による國內防衛軍の一部を海外戦域に派遣する旨の緊急令を布告したが、右の措置は國內に異常な反響を喚起し政府黨である自由黨員中にも首相の方針に反対する者多く特にフランス系市民の多いケベック州の態度が強硬でロイター通信によれば同州の自由黨議員は二十四日緊急會議を開いた結果少くとも半数は政府支持から手を引く意向を表明したといはれる、さらにロイター通信はケベック市では二十四日夜七百名の市民が「徴兵制を撤廃せよ」との標語を掲げて市中行進を行ひ政府反対の態度を表明したと報じてをりキング内閣の危機はますます緊迫した模様である

徴兵制反対

(リスボン二十五日發) 海外

運動擴大

派遣軍一部徴兵制施行の緊急令布告を繞り、カナダ國內の

情勢は騒然としてゐるが、ロイター通信のオッタワ電によれば、ケベック市における徴兵制反対の示威運動は二十五日に至りさらに擴大、同市北方シクチミ市にも飛火し、數百名の青年が騒起して英國旗を引下すといふ騒動を演じ、暴動鎮壓のため警官隊が出勤するに至つたと傳へられる、同電報によれば首相マッケンジー・キングは徴兵制に反対の空相パウワーの辭表を考慮の餘地ありとして握つてゐるといはれるが、徴募兵の海外派遣に反対の自由黨員は首相を裏切者と呼んで非難し、ケベック州議員ウィルフレッド・ラクロワ以下三名は遂に自由黨脱退を宣言するに至つた、スイス紙「ベルナー・タークヴァハト」は二十五日右問題を評して「反樞軸側の戦争倦怠を表示する最初の大事件」であると述べてをり、キングの要請に基いて下院が二十七日行ふはずの政府信任投票の結果は各方面で注目されてゐる

濠、米國に飛行機

(リスボン二十三日發) ニューヨーク來電

を大量注文

中の濠洲空相ドレークフォードは濠洲政廳がダグラスDC4およびDC6型

輸送機を含み二百萬磅に上る飛行機を米國に注文

した旨二十二日言明した

南阿軍も

(リスボン二十五日發) ロイター通信社ヨハネスブルグ來

對日戰に参加

電によれば南阿聯邦首相スマツツ將軍は二十五日南阿軍を適當な時期に東亞戦域へ派遣する豫定である旨言明したと傳へられる

【アフリカ】

エチオピア

(リスボン二十二日發) 八月

基督教傳道禁止

二十七日附のエチオピア官報はハイレ・セラシエ國王のキリスト教傳道禁止に關する布告を載せてゐるが、これによれば從來住民の多數が非キリスト教徒から成る地方を「自由地域」と稱してキリスト教布教の自由を認め、エチオピア教會信徒の大多數を占める地方は「教會地域」として傳道を禁止することになつた

米英エジプト

(ストックホルム二十一日發)

でも競争

エジプトの工業王アクメド・イルブド・パシヤはエジプト

のアスアン發電所建設に關し米國の援助を求めるため過般來渡米してゐるが、二十二日スエーデン新聞の報道によると英國では右交渉において米國がエジプト市場獲得のため手段を選ばぬ態度に出てゐることを憤慨してゐるといはれる

【戦 局】

前線に喰る

(リスボン二十四日發) 米第

流星彈

一軍從軍のAP通信記者は二十四日西部戦線に猛威を揮ふ

V一號流星彈について次の通り報じてゐる

今日あたり米第一軍の戦線の頭上を喰りと共に飛んで行く流星彈の數は愈々増して來た、この流星彈はドイツ國內の祕密發射基地から發射されるのだ、過去二十四時間に飛來した彈數は莫大な數に上り、時には反樞軸軍の補給線を攻撃する流星彈の喰りがまるで編隊飛行の爆音のやうに感じられることさへある

一方前線補給基地の攻撃が激化しても英本土攻撃が中止されたわけではなく、ロンドンからのAP電報によれば二十四日未明にも南イングランドに流星彈が飛來して死傷者を生じたといはれる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

【ドイツ】

ゲッベルス宣傳 相決意を語る

(ベルリン二十五日) ゲッベルスドイツ宣傳相は最近反樞軸空軍の冒爆に曝された國境の一都市を見舞ひ市民の敢闘に對するヒトラー總統の感謝を傳達すると共に一軍需工場において次の通り演説した

今年夏から秋を通じてドイツ國民は今大戦中最大の困難に逢着した、しかしドイツ國民はよくこれを克服したばかりか、以前の防禦力を回復するに至つた、反樞軸諸國は以上をもつて「ドイツの奇蹟」と稱してゐるが、ドイツ國民はこれが決して奇蹟ではなく偏へにがん張り信念と意志の力の賜物であることを承知してゐる、ドイツは今日「不撓の戦線」といふべきものを持ち、諸々の力が銃後から前線へ、前線から銃後へと絶間なく交流を續けてゐる、ドイツ抗戰力の増強、近代兵器の増産ならびに多數國民擲彈兵師團の創設等は反樞軸軍に時に對する死物狂ひの戰を強ひる結果となつた、ドーヴァー海峡並びに大西洋沿岸のドイツ軍基地守備部隊が英雄的抗戰を續けてくれたお蔭でドイツ軍司令部は貴重な時を稼ぐことが出来たのであつた國內における根こそぎ動員も同様過去三ヶ月間に完全な戰鬪力と防禦力とを回復する上に偉大な貢獻をした、動員された力を最大限に利用する機會は日一日と増大してゐるが、更に國民擲彈兵師團は國民突擊隊の創設並びにこれが收めた初期の成功と相俟つて國土防衛における希望と力とを新たに波打たせるに至つた、またドイツ軍の技術並びに科學陣はある決定的戰區において反樞軸軍の機先を制するに至るものとして期待される、反樞軸空軍との空中戰は今日なほ熾烈に續けられてゐるが、ドイツ軍需工業は極めて活潑であり、特に空中戰關係の兵器生産において顯著である、従つてドイツ制空陣が素晴らしい成功を収めるのも遠い將來のことではあるまい、ドイツ國民は戦ひに戦ひ抜いて勝利の日に備へる以外なすべきことはないのだ

【ソ聯】

各紙ド・ゴール 攻撃

(ベルリン二十三日發) フランス臨時政權首班ド・ゴールは今日中にモスクワ訪問の途にのぼるといはれるが、その前夜二十二日ソ聯各紙はブラウダを先發として一齊にフランスおよびベルギー政府を「偽裝ファシスト政權」であるとして攻撃を開始したといはれる、去る十一月十一日チャーチルのパリ訪問の直前はソ聯捕虜の取扱問題についてド・ゴール政府に嚴重抗議し、チャーチル退去後は直ちにド・ゴールをモスクワに招待し今また俄かにド・ゴール政權攻撃に乘出したソ聯の態度には端睨すべからざるものがあり、西歐聯合問題を繞つて英ソ兩國がフランスの去就に重大關心を有する今、ソ聯のこの態度には意味深長なものが察しられぬ

フランコ

(ストックホルム二十五日發)

統領を攻撃

モスクワ來電によれば、モスクワのラジオ解説者ヴィクトロフ氏は、スペインの「アリバ」紙が過般戰後平和會議にスペインの參加を要求したことに反對し二十五日次の通り述べたといはれる

自由を愛好する諸國家はスペインのやうな政府の活動に對しては他の平和愛好國に對するとは全く異つた態度を採るであらう、フランコ將軍は當然戰爭犯罪人として取扱はれねばならない國防人民委員部 (モスクワ二十一日發) 聯邦人民委員會議は二十一日ニコライ・アレクサンドロヴィッチ

次長任命

チ・ブルザニン軍大將を國防人民委員部次長に任命した、同大將は去る八月ルブリン政權に對する外交代表に任命され、最近軍大將に昇進した

【東亞】

リース北綫

(リスボン二十三日發) 重慶

戰線を視察

中央社の北ビルマ前線報道によれば最近東南アジア反樞軸陸上軍司令官に就任した中將オリヴァ・リースは過去三日間にわたり北ビルマで戰鬪中の英印軍及び重慶軍を訪問激勵し、印緬戰域米軍司令官中將ダニエル・サルタンと會見、戰線を視察したといはれる

【歐 洲】

ブラッセルで市街戦騒ぎ

(ストツクホルム二十五日發) ベルギー首相ビエルローの國內武裝團體解散令は左翼各派の猛烈な反對に遭遇ここ數日來異常に緊迫した空氣を孕んでゐたが、二十五日遂に爆發した、ブラッセル來電によればベルギー遊撃隊は二十五日示威行進を組織して鎮壓の警官隊と衝突、遂に發砲沙汰に及んで流血の慘事をみるに至つた模様でロイター特派員デニス・マーチンは次の通り報じてゐる

ベルギー解放以來最初の流血の不祥事がブラッセルで發生した、同國の主要地下團體「防衛戦線團」は二十五日武裝團體解散令に反對する示威行進を開始、行列が官廳街のいはゆる「中立地帯」に差しかかるや「ビエルローを追ひ出せ」「暗殺者ビエルローを仕せ」の叫びを擧げて不穩の形勢を示した、これに對し警備の警官隊は矢庭に發砲「防衛戦線」側も應戰して市街戦を現出し警官側一名、示威行進側二十名の負傷者を出して漸く鎮壓された

ビエルローは事態の惡化に狼狽して二十六日緊急閣議を開催、對策を鳩首協議することとなつたといはれる

「スターリン

(ストツクホルム二十日發)

廣場」生る

ブラッセル市内の最も美しい一廣場が二十日「スターリン廣場」と命名されたといはれる、消息通はベルギー政府が共產黨に讓歩したものとみてゐるが、右觀測は政府が共產黨彈壓に積極的になり出してゐる現状と全く矛盾する

對立激化でボノ

(リスボン二十五日發) ローマ來電によればイタリア政權

ミ苦境に立つ

首相ボノミは左右兩派の對立

抗争を一時的にもせよ休戦せしめて統一戦線を樹立するため、二十五日夜各政黨首腦よりなる會議を開催したが、反つて藪蛇の形となり各紙の集中攻撃を受けて憤然席を蹴つて退場、ボノミ最後の希望たる統一戦線樹立は今や全く不可能視されるに至つたと傳へられる、ボノミ政權内部における左右兩派の抗争は同政權を危機に迫ひやるもので

ボノミ自身も幾度か政權を投げ出さうとした、それだけに今回の各派合同會議はボノミ政權存亡を決するものだが、會議の席上自由黨、カトリック黨代表は共產、社會兩黨の諸要求を一々採り上げボノミ政權をこつ酷く嘲刺したため、左右兩派の對立は反つて激化、結局ボノミ政權の瓦解はもはや必至とみられるに至つた

スエーデン

(ストツクホルム二十四日發)

船觸雷沈没

スエーデン汽船「ハンサ」號は二十四日未明スエーデン東海岸とゴットランド島の間で機雷に觸れて沈没し乗組員二十二名、船客約七十名のうち僅か二名が救助された、なほ右箇處はドイツ軍最近の聲明で戦域外とされてゐた水域である

獨 知 ぜ ず

(ストツクホルム二十五日發)

スエーデン汽船「ハンサ」號の沈没事件の原因はまだ不明だが、海軍當局ではバルト海の浮流機雷に衝突したとの意見に落着いたやうだ、スエーデン新聞、「エキスプレツセン」紙は一般に魚雷攻撃によるとの意見が擴まつてゐると報道してゐるが、當局からまだ原因に關し公表されてゐないので一般の新聞は觸雷説をとつてゐる、他方米英兩國宣傳機關は獨瑞關係に楔を打ち込むため獨潜水艦の所業だと騒ぎ立ててゐるが、ベルリン來電によればドイツ外務省當局は二十五日次の通り公式に否定したといはれる

駐獨スエーデン

(ストツクホルム二十五日發)

公 使 歸 國

ベルリン駐劄スエーデン公使

リツケルド氏は本國政府に報告のため二十五日歸國した、但し短期間の滞在後再びベルリンに歸任する豫定といはれる、過般のドイツのバルト海作戦區域編入に對するスエーデン政府の抗議、並びにドイツ軍のスエーデン北部越境事件を繞り獨瑞關係が險惡な雲行を示してゐる折から、今回のリツケルト公使突然の歸國は去る十六日のストツクホルム駐劄ドイツ公使トムゼン氏の急遽歸國と關聯して關心を集めてゐる

【西 亞】

イ ラ ン

新内閣成立

た、新内閣の顔觸れ次の通り

首相 バイ・バヤート

商相 ケマル・ヘダヤート

蔵相 アマナラ・アグラム

文相 イツサン・サデイグ

法相 ムス・タファ・アドル

交通相 ナルラ・エンテサン

外相 モセン・ライス

陸相 イバヒム・センド

保健相 サイド・マレツクス

内相 モハメト・スラリ

逓信相 ナズル・ブラステ

イ ラ ク と

協 定

(リスボン二十四日發) テヘラン來電「イラン政府は二十四日イラク政府との間に國境地帯における遊牧民クルト族の取締りに關する協定を締結した

ソ聯西亞政策の支柱

「エコノミスト」誌社説

(ストックホルム二十四日發) 英國はイランに對するソ聯の石油利權要求は中東における米英、特に英國勢力に對する最大脅威とみて極度の不安と危機に捉へられてゐるが、英國財界を代表する週刊誌「エコノミスト」の十月二十一日號は「ソ聯と中東」と題する社説を掲げ、ソ聯西亞政策の主流を帝政ロシア時代の再現と解して歐洲のみならず西亞問題に關しても英ソ兩國の和解を要望してゐる、同論説の全文次の通り

帝政ロシアの政策を踏襲

今次戦争を通じてソ聯の外交政策を一貫して支配するものは國家の安全保障を求めることであつた、たとへばソ聯東歐洲政策の底流をなすものは戰略國境線の確保即ちソ聯領土の安全を保障し得

る基地乃至影響圏を手に入れようとするにある、この國土安全保障の追求は別の目的即ち帝政時代の世襲財産の回復と大いに合致する、歐洲大戰勃發當時ロシアの偉大な亡命史家で自由主義者のミリュエコフが「ロシアの目的は舊ロシア帝國の遺産を回復するにある」と喝破したのは後者の目的を指すものだ、今日までソ聯が占領した地域のうちバルト三國、ベツサラビア、ポーランド東部は舊ロシア帝國の版圖に含まれてゐたが、プロヴィナと東部ガリシアは含まれてをらず、更に會てロシアの支配下にあつたポーランド中部とフィンランドについてはソ聯は領土要求ををかけてゐない國土安全保障の追求と舊帝國領土の回復といふ兩政策が合致する事實を裏書するものは、ツアールの政策においても戰略國境及び勢力圏の確保が決定的な動機をなしてゐたことだ

中東に對する傳統的關心

ソ聯外交政策の歴史的形式が歐洲に再現してゐることは以上によつて明瞭だが、それならばロシアの傳統的に利害關係を有する他の地域においてはどうかといふことが問題となる、現在ドイツの脅威と赤軍の進撃が歐洲におけるソ聯の關心を擡つてゐるが、歴史的にみれば歐洲だけがロシアの利害關係にとつて唯一の對象ではない、多年の間十九世紀の世界は固睡をのんで東方問題を見守つてきた、東方問題とは要するに黒海、ドナウ流域及びダーダネルス海峡に對するロシア勢力の伸張だ、イランとアフガニスタンは荒れ狂ふ恐怖と興味の風の中心となつた、もしも歴史が繰り返されるならば中東においてかかる事態が再び出現しないといへるだらうか、中東におけるロシアの歴史的な利害關係が再現すると考へられる明白な理由が二つある、一は地理的事實が昔も今も變らないといふことだ、堅固な戰略國境の背後に安全を求めることは數百年前と同様今日においてもソ聯にとつて喫緊の要務にほかならない、バックーやバツームは依然ソ聯領の最端部にむき出しのまま横はつてゐる、カスピ海は依然ソ聯領土の心臓部に伸びてゐる

南部國境の安全

更に問題を切迫化してゐるのは長距離爆撃機の存在だ、一九三九年のソ芬戦争當時五十萬を算するウエーガン將軍麾下のフランス軍がシリアに集結した際、ソ聯がいかに戦慄したかを想起するがよい、かうした深刻な印象はさう簡単に消えうせるものではない、過去十年間に中東に對するソ聯の關心は一段と昂まつた、この十年間にソ聯の工業中心は漸次東方に移つてゐるが、獨ソ戦の勃發によつてこの東進運動は著しく拍車をかけられてゐる、ソ聯領中央アジアには今や廣大な新工業地域が誕生してゐるがソ聯はすくなくとも過去においてウクライナの安全を心配したと同程度に中央アジアの安全を心配しなければならなくなつてゐる

イラン石油問題

以上はソ聯が中東に對して利害關係を有する理由を説明するものだが、中東に對して勢力を擴大する手段にも缺けてゐない、一九二〇年代にソ聯をして中東から劇的退場を餘儀なくさせた理念上の原則はも早ソ聯の政策を決定することが出来ない、かかる事情が今回ソ聯のイラン北部における石油利權要求として具體化したのである、ソ聯の要求はイラン政府によつて拒否されたが、ソ聯が直ちにイランの輿論に訴へてイラン政府に反對させたところからみてもソヴェト政府がイランに對する新行動を飽くまでも推し進めようと決意してゐることは疑問の餘地がない、ソ聯が他の資本主義乃至帝國主義國と共に外國の石油利權を手に入れようとしてとつた措置は革命期には夢想だに出来ぬことであらうが、革命後のソ聯政策が内政から外交へ擴大されてゐる程度を示唆するものとして注目に値する、變化は理念上の領域だけでなく從來の自給自足政策からの脱脚を意味するものだが自給自足政策からの脱脚は即時行はれはしないであらうし、極めて迅速に實現することもなからうが、今後二十年間に中東におけるソ聯勢力は經濟上の基礎を確保することとなり、トランスコーカサス、カサクスタンその他國境の諸共和國における工業地域は極めて優秀といへぬまでも中東に最も近い工作場と化すであらう

ソ聯は南方隣接諸國がソ聯と友好關係を維持し敵意を抱く第三國によつて侵略基地として使用されぬやうこれら經濟、宗教、政治上の勢力扶植手段の一切を大いに利用するに相違ない、もしもこの防衛第一線が崩れたならばソ聯の兵器庫にはまた他の武器が藏つてある、もしも重大脅威に曝されるやうな事態に立ち至つたならばソ聯は中東政治に積極的に干渉して領土保全を圖るであらう

この際最も都合の良い武器はアルメニア、アゼルバイジ、ヤン、タジク、キルギスなどのソ聯國境共和國である、ウクライナ、白ロシア兩共和國はすでに別個の外務、國防人民委員部を有し必要とあれば無數の國境衝突事件をでつち上げて帝政時代の遺産を解決することが出来るわけだ、十月革命以來國境には事實上何らの發火もみられなかつたが本年夏に新疆、キルギス、カザク共和國間に勃發した紛争は國境問題がまだ最後の決定をみてゐないことを示すものだ

國境南進の意圖

西部ではタジク民族はアフガニスタンの民衆と緊密な關係をもつてをり、將來「合併」を企圖しないと斷することが出来ない、イラン、アゼルバイジャンが他國民族併合運動の本據と化し、ソヴェト聯邦、アゼルバイジャン共和國との合併を要求しないとも限らない、ソ聯は一九二一年トルコと條約を締結アルメニアの兩市エルゼム、トレビゾンドをトルコ領として認めたが、ソヴェト聯邦アルメニア共和國が何時以上のカルス條約の改訂を要求しないものでもない、現在トルコ東部におけるアルメニア人居住民の數は極めて少ないが、同地方にたいするソ聯の策動は汎ツラン主義運動に對する防壁の形を採るにいたるかもしれない

汎ツラン主義は西亞回教諸國の大同團結を目的とし、將來ソ聯から回教徒諸地方を分離させやうと試みることは當然豫想されるところだ

トルコ政府がドイツに尻押しされたトルコの汎ツラン主義運動の活動を弾壓するため漸く強硬な措置を採らねばならなくなつたのは本年夏になつたことだが、ソ聯南部國境に沿ふ併合運動はソ聯アジア民族の生活様式が南方隣國よりも物質的にも文化的にも比較にならぬほど水準が高い事實によつて大いに促進されよう

歐洲と西亞

戦後には恐らくソ聯はその國力と地理的に近接してゐる事實によつて必要とされる限り西亞に對して平和的な勢力伸長を行はうと企圖するであらう歐洲は恐らく依然としてソ聯の主な戰略的關心の對象となり歐洲に平和と安全が確保されたならばそれは西亞にとつても同じやうに決定的要因をなすものと考へられる、一般に帝政ロシアの西亞政策は傍系的なものとみられてきた、帝政ロシアは西亞において支配的地位を占める英國の政策に影響を與へようとするやうに努めてきた、曾つてロシアの政治家スゴベレーフが公然と指摘したやうに「中央アジアにおいてロシアが強くなればなるほど、印度における英國の勢力は弱くなり、結局歐洲においても譲歩を旨としなければならなくなるであらう」今日以上の政策は轉倒した形で効果を發揮するであらう、英國及びある程度まで米國は西亞における支配的國家だ、米英兩國が歐洲においてソ聯との關係を改善すればするほどソ聯は中東における自國の安全を危惧する必要がなくなる、他のいろんな問題と同じやうにこの問題でも平和的關係を維持する鍵は米英ソ三國政府にある、もしも三國が歐洲の重要な圈において特に意見の一致をみるならば、安定と進歩が来るべき世代において中東の支柱とならぬ筈がない

【軍事情報】

距離の概念に修正

(ベルリン二十三日發) ドイツ軍當局はV兵器作戦に關し二十三日次の通り言明した

現在までにV一號は百三十日、V二號は三十日以上攻撃を行つた、特にV兵器の攻撃目標となつた地域の變化は注目値するものがある、最初は

反樞軸軍最高司令部の所在地たり多數部隊の他に重要な交通上の諸施設を有するロンドンの主要諸地區が攻撃を蒙り、ついでこれより小さいながら一層重要なアントワープ地區の攻撃となつたが、アントワープに對してはV二號攻撃も行はれた

V兵器攻撃の第三の主要目標地區はパリで、第四はリエージュである、これはまづ反樞軸軍の集結點乃至交通補給中心地としての重要性のためであり、更に反樞軸軍最高司令部がそこに存在するためでもある

また技術上の改良により新しいV兵器の出現の可能性が増した結果、流星彈のごとき現在では前線の餘り重要なならざる目標物に對しても使用して差支へない状態になつた、ドイツ軍の兵器は殆んど「空飛ぶ砲兵隊」にならうとしてゐる、戦線の東方移動にも拘らず依然V兵器の發射が中斷されないといふ事實は、ドイツ軍が重要な軍事目標をいかなる地點からでも砲撃しうるやうになつたことを示してゐる、ドイツ軍の新長距離兵器の威力の前には最早や距離は事實上の意義を失ひ、その發射基地をロンドンから四百キロの北海沿岸とみよるが、ロンドンまで四百五十キロの北オランダとしよるが、或ひはまたロンドンまで四百五十乃至五百キロのドイツ本土東北部と考へやうが、それは本質的には問題でなくなつたのである

發射基地爆

(ベルリン二十三日發) ロイ

撃は不可能

ター電報は英空軍がV二號發射基地を爆撃したと稱してゐるが、これに關してドイツ軍當局は二十三日次の見解を發表した

空爆によつてV二號の發射基地を破壊することは全く不可能だ、V二號の發射技術はV一號の場合と全然ちがふ、V一號の彈道は比較的平ら

なのにたいしV二號の彈道は肉眼では確認されない位だ、敵自ら「成層圏爆彈」なる名稱を與へてゐるではないか、V二號の發射裝置にみる效率は、この長距離兵器自體に劣らず革命的である、V二號の發射基地を空中から發見するとは決して出来る筈がない

特輯

ルーズヴェルト四選の意義(上)

木下秀夫

選挙の結果

今年の米國大統領選挙戦は遂にルーズヴェルトの勝利に終つた、これによつては彼は米國史上正に前代未聞の四期大統領就任といふ破天荒な覇業を實現したが、今度の選挙では大統領選挙で民主党が勝利をさめたばかりでなく、これと同時に行はれた聯邦議員選挙、各州知事選挙でも民主党が共和黨を撃破してゐる、先づ選挙の綜合的結果をみよう

選挙の最終的結果は未だ判明してゐない、これは今年の選挙では約四百萬に上ると推定される出征將兵有権者による不在投票があり、この開票がおくれて州によつては十一月下旬でないと開票が行はれないからである、この結果兩黨の獲得した正確な得票數がわからないばかりか兩黨の候補が非常な接戦を演じてゐる選挙區では、將兵投票の開票があるまではその當選、落選さへも未定のまま残されてゐる、左は現在までに判明した各選挙の結果である

大統領選挙

一般投票	州別票數	選挙人票數
ルーズヴェルト	二四、二二一、六九六	三六、四三二
デューイ	二一、一五五、六六七	一二、九九
その他	三、〇六六、〇二九	二四、三三三

上院議員選挙

選挙前	選挙後
民主黨議席數	五八
共和黨	三七
進歩黨	一
未決定	二

民主、共和黨の差

註、今回改選されたのは全議席九十六のうち三十五議席

で、その内譯は民主黨に屬した議席二十二、共和黨十三だつたが民主黨の當選者二十名、共和黨十三名となつた、未決定の二議席はベンシルヴァニア及びミズー

リー兩州の分だが、兩黨候補が現在までに獲得した票數の差が極めて僅少で、將兵投票の開票があるまではその當落が決定しない

下院議員選挙

選挙前	選挙後
民主黨	二一四
共和黨	二二二
その他小黨	四
議員	五
未決定	一
民主、共和兩黨の差	二
註、未決定の分はカリフォルニア、ミズーリー兩州である	五三

知事選挙

選挙前	選挙後
民主黨	二二
共和黨	二五
共和黨	二八
共和黨	二三

註、今回知事改選が行はれたのは全米四十八州中三十二州だつたが、選挙前には共和黨出身知事が過半数の州を支配してゐたのに今度の選挙が民主黨の勝利に歸したためこの地位は逆轉した

投票の差は僅少

選挙前における米國政界の豫想は、幾分かルーズヴェルトに歩があるものの、今年の選挙は稀にみる接戦となるだらうといふのが一致した見解であつた、更にたとひ大統領選挙では民主黨に凱歌があがるにせよ、この他の選挙では共和黨の勝利に歸するだらうとの観測が有力だつた、しかるに選挙の結果は大統領選挙が民主黨の勝利に終つたばかりでなく、議員、知事選挙でも共に民主黨が勝利をさめ、ただ上院の議席においてのみ共和黨の地位が選挙前に比し若干改善される如くだがこれまた現實の當選者數では民主黨が共和黨を壓した

かくの如く今度の選挙では民主黨が壓的に共和黨に勝ちを占めた、しかしながら今少し選挙の内容に立入つてその結果を検討してみると、民主黨の勝利がそれほど壓力的でないことが判明するこれを最も具體的に示してゐるのが、大統領選挙における一般投票の票數であつて、州別及び選挙

人票數ではルーズヴェルトとデューイとの間に非常な懸隔を生じたが、一般投票ではその差は極めて僅少である、左に最近の大統領選挙において民主、共和兩黨が獲得した一般投票數を掲げよう

民主黨候補

共和黨候補

一九三二年	二二、八二一、八五七	一五、七六一、八四一
差	七、〇六〇、〇一六	
一九三六年	二七、四七六、六七三	一六、六七九、五八三
差	一〇、七九七、〇九〇	
一九四〇年	二七、二四三、四六六	二二、三〇四、七五五
差	四、九三八、七一	
一九四四年	二四、二二一、六九六	二一、一五五、六六七
差	三、〇六六、〇二九	

即ち、ルーズヴェルトが一九三二年第一回の選挙戦で共和黨のフーヴァを敗つて以来今度の選挙が彼にとつては一番の苦戦だつたことを明らかに示してゐる、兩黨候補の得票數の差が僅か三百萬程度に過ぎなかつたといふのは、ただにルーズヴェルトが大統領選挙戦に打つてでて以来のことではなく、實に一九一六年かのウイルソンが辛勝を博して以來のことである、この見地からする時は、選挙前の一一般の豫想は決して的外れだつたのではなく、一九一六年以來の大接戦とみたのは正に極めて正確な豫想であつた

國內相剋は繼續せん

今度の選挙においてルーズヴェルトがかかる僅少の差をもつて辛勝したといふことは、米國內における彼の反對勢力は依然として強大であり、少くとも國內政治問題をめぐつては、米國の政情は必ずしも安定せず、ルーズヴェルト政權の前途には依然多難な道程が約束されてゐることを豫示するものとみてよからう、右に關しては、ルーズヴェルトが支持を受けたのは戦争遂行及び外交政策の點であり、一度び國內問題になると彼の地位は必ずしも安定したものでないとの観測が、選挙直後の米國政界を支配する見解の如く、たとへば重慶中央電訊社のワシントン特派員も次の通り打電してゐる

ルーズヴェルトが米國政治史の上でも稀にみる接戦をもつて再選されたといふことは、大部分

の米國民は行政當局を變へなければならぬ時期が到來したとは思ひつとも、なほ且つ米國の前途に控へてゐる重大な事業を未熟、未経験のデューイには委せきれず、やむなくルーズヴェルトを選出したと解釋すべきだらう、稀有の接戦を演じただけにこの選挙戦を通じて民主、共和兩黨の對立は豫想外に深刻なものとなり、再選されたルーズヴェルトのすぐ目の前に控へてゐる問題は、この選挙戦によつて激發された兩黨の對立と敵意とを選挙が終つたからといつて、國家的統一の大乗の見地からあつさり洗ひ流し得るか否かといふことだ、今一つの重大問題はルーズヴェルトが果して議會と仲好くやつてゆけるか否かの問題で、今度の選挙によつて新議會における民主、共和兩黨の勢力分野には大きな變化はあつたが、議會の支配權を握るのは依然として民主黨内のニューディール反對派と共和黨との合流勢力であることを示してゐる

UP通信の見解

同様の見解はUP通信社によつても傳へられてゐるのであつて、即ち曰く

ルーズヴェルトの勝利に終つた今度の選挙の結果をみる時、次の明らかな結論が導き出されるそれは今後の米國政治の上には極めて複雑な動きが必ず發生してくるだらうといふことで、この動きのうちにおいて米國の二黨體制は廣汎な修正を受けることとならう、具體的にいへば民主、共和兩黨共に右翼の保守派と左翼の急進派との對立が激化して、深刻な内的抗争に直面しなければならぬまい、これは特に民主黨陣營に於て著しく、下院における民主黨の勢力増大及び上下兩院の孤立主義者達が肅正されたことはたしかにルーズヴェルトの地位を強化したが、なほ且つ彼は民主黨内の内部抗争を如何に調和してゆくかといふ困難な仕事に直面してゐる、南部の民主黨保守派が近年共和黨議員となれ合ひを行つて彼らの好まない法案の成立を如何に効果的に妨害したかはわれわれの記憶に新しいところだ、この民主共和兩黨の合流勢力は新議會においても必ず猛烈な活動を行ふだらう

彼を支持する諸勢力

この點に關しては、われわれは更に今度の選舉でルーズヴェルトを支持した勢力は米國の如何なる階層であつたかを分析する必要がある、先づ再びUP通信のウィルソン記者の報道を紹介しよう。四選を確保したルーズヴェルトに挑戦してゐる困難な事業は米國近代史の上で最も廣汎な政治的合流勢力、即ち右は南部の民主黨保守派から左は北部、東部の共產主義者に及ぶ異分子勢力を如何にまとめてゆくかである、選舉の結果が明らかに示す如く、ルーズヴェルトが勝利を収め得たのは、民主黨のニューデイル派が事實上米國政界の左翼と合體したにも拘らず、なほ從來の民主黨の地盤たる南部の保守勢力の支持をも失はなかつたためである。

アール・ブラウダーの率ゐる米國共產主義政治教育聯盟(舊米國共產黨)或ひは共和黨側からは米國共產主義者の中心勢力とさへ呼ばれるシドニー・ヒルマンの産業別組織會議政治行動委員會がルーズヴェルトのために猛烈な選舉運動をやつたことは今度の選舉戦を特徴づける顯著な現象の一つだつた。

かくの如く、一般投票の上ではルーズヴェルトとデユイとの差は極めて僅少だつた上に、ルーズヴェルトの支持勢力は動搖常なき寄合世帯である、特に民主黨内の内訌並びに議會における反ルーズヴェルト派の活動は直ちに具體的な形をもつて米國政界の表面に現れ出づべく、對内政策問題をめぐつて米國の政界が、ルーズヴェルトの四選を契機として、一路安定に赴くだらうとみるのは當らない。

孤立主義の没落

孤立主義が決定的に没落し、少くとも米國政治の表面からは完全に抹殺されたことは、今度の選舉の結果が示した最も顯著な現象といふべきであらう、事實、從來から孤立主義者と呼ばれ、乃至はルーズヴェルトの干涉主義外交に反對の態度を示して來た議員連の大半はこの選舉で枕を並べて討死してゐる、いま今議會の終了と共に議會を去

ることとなつた孤立主義者乃至はルーズヴェルト反對派と目されてゐた主な議員を挙げれば、まづ上院民主黨議員では陸軍委員長ロバート・レーノルズを初めベネット・クラーク、ワリス・クラーク、グイ・ジレット、エリソン・スミス、ハティ・キヤラウエー等あり、共和黨議員ではルーフス・ホルマン、ジョン・ダナハー、ジェラルド・ナイジエームス・デーヴィス等がある、下院民主黨議員ではデイルウエーグ、共和黨議員ではスチーグン・デイ、メルヴィン・マリス、ハミルトン・フィッシュに最後まで眞珠灣問題で政府に食ひ下つたチャールス・デユイ等が數へられる、勿論これらの全部が今度の選舉で落選したわけではなくある者は自ら政界引退を決定して選舉に出馬せずまたある者は既に豫備選舉において敗れ去つたものだが、いづれにせよ、ルーズヴェルトにとつてはたしかに議會の肅正である。

以上のうちグイ・ジレットとハミルトン・フィッシュとはそれぞれ上下兩院を代表する米國議會における共和黨孤立主義者の双壁と目されてゐた人物だけにその落選の意義は特に深く、就中フィッシュの如きは政敵から米國におけるファシストの親玉とさへいはれてゐたにも拘らず、開戦後四面楚歌のうちにあつて依然として孤立主義的立場を棄てず、米國の政界で特異な存在を主張してゐたが遂に今度の選舉で一敗地に塗れ、十三期の長きにわたつて占めてきた議席を敵黨民主黨の候補に明け渡した。

マラリヤで二十四萬以上死亡

(リスボン二十二日發) カルカッタ來電。ベンゴール州政府は二十二日次の通り發表した。一九四四年度の最初の三ヶ月間にベンゴール州で二十四萬三千三百七十五名がマラリヤで死亡した、昨年同期における死亡者は十萬一千百五十四名であつた、また本年度の最初の五ヶ月間に天然痘で死亡したものは三萬九千四百二十五名で昨年同期には八千四百二十六名であつた。

資料

米國海軍の航空輸送隊

米誌「フライング」六月號

海軍航空輸送隊の業績

海軍航空輸送隊の飛行機は米國の大艦隊の後を追つて前進する、世界到るところの海洋と陸地に張り廻らされた六萬五千哩に及ぶ輸送網に、少くとも十飛行隊の操縦士と乗組員が重要資材と人員を運んで、前線と銃後の間を往復してゐる、眞珠灣攻撃後に創設された海軍航空輸送隊が、現在既に平時には夢想すらされなかつた龐大な組織にまで發達した事實は、米國人の創意と生産力を證明してゐる

海軍航空輸送隊の主たる業績は次の通りである
一、重要補給品、資材、人員を迅速に輸送し、世界到るところの水域で作戦中の米國艦隊に最大の能率を發揮させた

二、雲母、タンタル石、天然ゴムその他の重要軍需品を米本國に輸送した

三、民間航空會社と協力して輸送技術の改良並びに新技術の採用を行つた、それは戦後の航空輸送にも貢獻するところ大であらう

四、戦前飛行機の飛んだことのない地域の氣象及び地勢につき情報を提供した

五、荷造りの方法を改良し、積載高の限られてゐる航空機に最大限の貨物を積めるやうにした

以上は陸軍における航空輸送本部の如き役割を海軍において遂行してゐる海軍航空輸送隊の規模と發展振りについて注目される點をほんの二、三挙げたに過ぎない、兩者の機能には殆んど差違がないが、ただ海軍航空輸送隊の方が規模が小さく且つ専門化してゐる、航空輸送本部の方が規模がずつと大きいのは、陸軍が海軍より大きい上に反樞軸各國政府への多量の武器貨物資を扱つてゐるからである、これに反して海軍航空輸送隊の任務は海軍に直接關係のある範圍に限られてゐる、加ふるに最近のマーシャル作戦の際の如く艦隊が

全然新しい戦線に移動する場合に備へて輸送ルートを迅速に変更し得る柔軟な組織を必要とする
海軍航空輸送隊の任務がどの位重大であるかは同隊が毎月平均二千五百名の優先旅客と八百三十萬ポンドの貨物及び郵便物を輸送してゐる事實のみによつても知られる、現在海軍の航空輸送組織は二百機以上の飛行機と八千名の人員を有し、月平均三百六十萬哩の輸送飛行を行つてゐる、同隊の活動は昨年下半年期において上半期に比し七割増し、その後も活動を増大すると同時に、ペンシルヴァニア・セントラル航空會社、アメリカ航空會社、アメリカン・エクスポート航空會社、ユナイテッド航空輸送會社との契約によつて訓練計畫を擴大してゐる、海軍當局の言明によれば、海軍航空輸送隊は諸種の困難と戦時飛行に伴ふ危険にも拘らず、戦前の民間航空と同じ程度の能率と安全性に達したといはれる

民間航空施設の使用

海軍航空輸送隊は自己の有する十飛行隊のほか契約によつて汎米航空會社及びアメリカン・エクスポート航空會社の施設を使用してゐる、汎米航空會社は大西洋、太平洋並びに米國からアラスカ及び南米に到る航路において、海軍航空輸送隊の計畫に従つて飛行機を動かしてゐる、アメリカン・エクスポート航空會社との契約は大西洋の諸航路、並びにアラスカ及び南米に到る航路を含んでゐる、民間航空會社は開戦後數箇月間に技術要員や施設を海軍に提供し貨物輸送の迅速化を圖つたが、現在海軍航空輸送隊が有する能率的な組織はこれに負ふところ大である、航空輸送の經驗を有する豫備飛行士は「航空輸送將校」に任命され海軍航空輸送隊の關係する海軍施設の大部分に配屬されてゐる、その他民間航空會社の熟練飛行士中には作戦部の操縦士や技術部要員として活動してゐる者もある

海軍は更に飛行事務兵なるものを新たに設け、輸送中の各飛行機に勤務せしめてゐる、飛行事務兵は貨物の積入れ積下しを監督し、各飛行毎に旅客貨物の目録作成に必要な事務を擔當し飛行中は給事の役を勤める、各飛行隊は顯著な功績のある飛行事務兵に特に海軍兵士としての階級を與へる

現行制度の下においては、海軍飛行隊には三名の航空司令が存在し、大西洋、西部沿岸、太平洋の三方面をそれぞれ擔當してゐる、更に今一名の航空司令が海軍航空機輸送司令部の司令官として新進飛行機を工場から訓練所に運び、そこで前線向けに仕立てる任務を受持つてゐる、海軍當局の言明によれば大西洋航空司令の任務は米國東部沿岸から英國、アイスランド、南米、アフリカへの輸送であり、西部沿岸航空司令は東部沿岸からサンフランシスコ並びに西部沿岸から西北アラスカアリユーションに到るすべての大陸横斷輸送を擔當する、最大の任務を課せられてゐるのは太平洋航空司令で、西部沿岸からハワイを経て中部、南部、西南太平洋の各戦線並びに濠洲、ニュージールランドへの輸送を行ふ

主要 航空 路

海軍航空輸送隊の現在使用してゐる主要航空路は次の通りである

一、カリフォルニア州アラメダから眞珠灣を経て西南濠洲に到る太平洋飛行艇空路、海軍航空隊は現在この空路を三日で飛んでゐる、主要空路の輸送量は今のところ軍機に屬してゐる

二、アラスカ、アリユーションに到る陸上機空路
氣象及び地域の危險性に對して訓練を受けた飛行士が、防寒その他特別の裝置を施したダグラスのスカイ・トレイン及びスカイ・マスターを操縦して、シアトルの海軍航空基地とコヂヤツク並びにさらに前方のアリユーションの基地との間を往復する

三、國內陸上機空路はオークランド、アラメダ、サンディエゴの海軍航空基地からパツクセント河及びニューヨークに到り、そこで東部沿岸海軍基地からの空路と連絡する、東部沿岸の陸上機空路はニューファウンドランドからボストン、ニューヨーク、フィラデルフィア、ワシントン市、ノーフォーク、チャールストン、ジャクソンヴィル、ペンサコーラ、ニューオーリンズを経てコーパス・クリスチに到る、夏期には同空路はグリーンランド、アイスランドに延びる、今一つの東部沿岸空路はノーフォークから南下し

てキューバのグアンタナモ、プエルトリコのサンホアンに到る

四、今一つの新空路は米國東部沿岸から南米に向ひナタールを経てリオデジヤネイロに達してゐる

五、更にまたニューヨーク、パツクセント河、マイアミを起點としてバハマ諸島のグレート・エフーマ島、キューバのグアンタナモ、ジャマイカのポートランド灣、パナマ運河地帯コ・ソロ、プエルトリコのサン・ホアンに到る

六、更に新設空路の中には米國から南米を経て南部大西洋を横斷してアフリカに到るものがある、以上すべての空路から多數の支線が出てをり、特に太平洋とカリブ海ではその數が多い、海軍航空輸送司令部の有する主要な輸送空路はリンチバーク、ナツシユヴィル、リトルロツク、フォートウアリス、エルパソ、タスコンを通過する

優 先 制 度

軍用、民間を問はず、すべての航空輸送に優先制度を實施して緊急輸送を迅速化し、爾餘は重要性の順序に従つて取扱はねばならなかつた、航空優先制度の運用には陸海兩軍が共同で當つてゐるすなはち海軍は國內、カリブ海、南米等における海軍航空輸送隊の優先制度を運営し、陸軍は國內民間航空の全部並びにカリブ海、南米における汎米航空會社の優先順序を決定する、汎米航空會社の有するその他すべての空路及びアメリカン・エクスポート航空會社の大西洋横斷空路全體の優先制度が海軍の權限内にある、陸海軍の航空輸送部は個々の行先にそれぞれ適當な線を選んで、互に連絡を保ちながら優先順序を決定しあらゆる點において唇齒輔車の如く協力してゐる

海軍航空輸送隊の輸送機は海外から米國軍需工業に必要な戰略物資を積んで歸る、その中主なものには工業用金剛石、雲母、綠柱石、ゴム、石英、水晶、白金、キニーネ、滑石等が無電裝置、寫眞機、レンズ、照準器、その他多數の醫療、電氣、化學軍用品の生産に不可欠のものである、戦時生産局の優先貨物空輸部の推計によれば、昨年中になつて以上の貨物は航空輸送によつて海上輸送よりも六倍早く二十倍の安全性を以て運ばれた由である、戰略的輸送路の大部分において海軍航空輸送隊は平均殆んど百パーセントの貨物輸送能率を擧げてゐる

使用されてゐる機種

海軍航空輸送隊の現在使用してゐる機種は次の通りである

一、R—一、R—四、D—一(一以上はダグラス D—三の四十七番型及び五十一番型陸軍機である)

一、四發ダグラス・R—五、スカイマスター

一、四發コンソリデーター・PH二—三コロネ

ード改造の輸送機

一、四發ヴォート・シコルスキーJRS—一(海軍でエツキスカリバーと呼んでゐるもの)

一、双發鷗翼型マーチンPDN—三改造輸送機

一、ボーイング・クリツパー

一、カーチス・R—五コマンド

一、マリン・マルスJRN—五超大型機

一、その他民間航空會社の提供した數種の雜種機

一、以上の他に海軍はマルス型二十臺、コンソリデーテッド・RY—一リベレーター急行輸送機若干

バッド航空機製作會社の新型不銹鋼輸送機RB—一二五若干を發注してゐる、マルス及び新型RB—一二五は戦後の貨物輸送機がどんなものになるかを最もよく示す先觸れであらう、マルスは元來「空の戦艦」として設計されたが、その後海軍の輸送機として採用された

荷造り法に新機軸

このほか海軍航空輸送隊が陸軍の航空輸送司令部及び民間航空會社と協力して擧げた今一つの功績は空輸貨物の荷造り法に新起軸を出したことがある、海軍當局では海軍の採用した新荷造り法によつて米國は年に二十億弗の節約が出来たといつてゐる、空輸貨物はトラック、鐵道、船舶で輸送される貨物よりはずつと丁寧に取扱はれる點に着目した海軍では、通常工場から物資を容れて運搬して来る重い容器を除いて軽い荷造りを行ふことにした、その結果前線に輸送される緊急物資の量及び輸送速度が増し、貨物一箇當りの輸送費がかなり廉くなつた、空路の起點及び終點に配屬される將兵はウイスクンシン州タディソンの森林生産研究所で荷造り法、附印法、腐蝕防止法、貨物の扱ひ方等を教へられる、豫備訓練が終ると彼等は

荷造りの不必要な重量を除く任務を與へられる、工場側は商品が壊れて居てはいけぬといふので品物よりもずつと大きい重い本箱を用ひるが、この餘分の容積を何とか除去するのである、例へばある空路の起點に船舶用ビストン八箇が二吋板の箱二箇に容れられて届けられたとする、これを一時のプライウッドで荷造り仕直せば四十四ポンドの重量節約となり、それによつて緊急に必要な航空機用小部品を同時に積込めるやうになる、さらに今一つの例を擧げるならば、航空用タイヤ二本が老大な本箱に容れられて搬入されたことがある、タイヤだけ取出し鋼鐵の縮金で荷造りした結果、重量は數百ポンド減じた、八千ポンドの貨物を積載しても、荷造りの重量が貨物の五割を占めるならば、實際に輸送される貨物は四千ポンドしかないのは自明である

動搖の防止

今一つの新技术は飛行中に貨物の動搖を防止するため貨物の周圍に特別の網を廻らすことである、最近海上輸送にも陸上機の使用される場合が多くなつたが、海軍航空輸送隊將校の旅はやはり飛行艇でなければ出来ない特殊の任務があるさうである、若干の戦線、特に太平洋上の小島には大型陸上輸送機を收容し得る飛行場はないが、水上機ならば環礁中に樂々と着陸出来る、飛行機に發動機の故障といふものなくならない限りは、重要貨物及び人員輸送における水上機の價値は喪はれないであらう、水上に不時着した場合陸上機が水上に留り得るのは數秒間に過ぎない、陸上機及び水上機の併用の最も良い例は、數機の飛行機と數名の飛行士から世界的組織にまで發達した海軍航空輸送隊に見られる、米國海軍が南洋委任統治領の小島内深く進入するにつれて飛行艇は益々役に立つやうにならう

既に簡単に觸れたやうに海軍航空輸送隊はこの外更に訓練所への航空機輸送である、海軍航空機輸送司令部は現在毎月約三千機を海軍に送り届けてゐる、同司令部には三飛行隊あり、夫々ニューヨーク、コロンバス、サンフランシスコを基地としてゐる、さらに一輸送飛行隊と若干の輸送部隊が國內航空機輸送空路に配置されてゐる

同司令官の司令官はジョン・H・キング海軍大佐で昨年十二月一日海軍航空輸送隊の航空司令の地位を與へられてゐる

もともと航空機輸送隊は専ら新造機を契約工場から東部及び西部沿岸の海軍學校に引渡す係りとして設置され、今までのところ同隊の輸送はすべて米本國內で行はれてきた、しかし戦争が進捗しリベレーターその他の大型機が大量に引渡されるやうになるにしたがひ海軍では航空機輸送が海外にまで發展するものと豫想してゐる、航空機輸送上の宿泊地では、陸軍の施設と人員を使用してゐる

搭乗員の養成

海軍航空輸送隊創設の當初、熟練操縦士、航空士、機關士その他の技術要員の獲得は至難であつたが、現在ではアメリカン航空會社の經營するデキサス州フォート・ウアースの臨時訓練學校、ペンシルヴァニア・セントラル航空會社の有するヴァージニア州ローノークの訓練學校で操縦士の訓練が行はれてゐる、訓練中の操縦士の大部分は既にジョージア州アトランタの海軍計器飛行教官學校で計器飛行の課程を終へてきてゐる、現在海軍初等飛行教官及び海軍中等訓練卒業生の大部分がアトランタの學校で訓練され、更に新しい部署に赴くのである、一方リロリダ州ホリウツド・ビーチの海軍航空士學校では航空士が養成されてをり機關士の養成はラガーディア飛行場の海軍訓練學校において汎米航空會社の飛行士の手で行はれてゐる、更に技師、無電士の學校もある

空輸隊の功績

海軍航空輸送隊は、戦後豫想される世界的商業航空網建設の競争に際し、米國の出足を一番早くするための設計圖としての役割を勤めてゐる、議會が航空輸送の重要性を認めてゐることは、海軍航空輸送組織と海軍の設備中戦後商業航空に利用し得るものを併せて、施設の擴張を圖るため四千萬弗の豫算を可決した事實をみてわかる、海上及び上陸作戦における米軍の勝利の多くは海軍航空輸送隊なしには不可能である、嘗て海軍の或る

艦艇が南米に向ふ途中、クランク・シャフトが壊れて高速を出し得なくなつたことがあつた、海軍兵器局が通告を受けてから七十二時間後には新しい二千ボンドのクランク・シャフトと技師の一隊が右の艦艇のところに到着した、また或る時には一潜水艦に漏雷によつて火災が起り、主要潜水器及び送電線を取換へる必要が生じた、そのために一萬八千トンの部分品が入用であつた、第一報到着後三十六時間で全資材は既に修理その他に向つて空中を飛んでをり、ワシントンから一萬哩の地點に送り届けられたが、修理には十分間に合つた更に或る時は新鋭潜水艦が前線に向ふ途中でエンジンに重大な故障を起し、豫定コース上の中間基地に修理用部分品を送るやうに頼んできたが、要求された部分品は全部潜水艦が中間基地に到着する前に届いてゐた、その他同じやうな實例が枚擧に遑のない程であるが、以上の數例をみただけでも、前線に重要補給品を輸送する上に海軍航空輸送隊がどれ位大切な任務を遂行してゐるか計り知られよう

海軍航空輸送隊の操縦士が他の任務にも役立つた例は多々ある、彼らが豫定コースを飛行中に樞軸潜水艦を發見してその位置を沿岸警備隊に報告したことも數回あり、また撃沈船舶の生存者を發見急報した例もある、かくして海軍航空輸送隊とその重要一部門たる航空機輸送司令部は極く貧弱な出發點から史上最大の戦争に速度と合せて老大組織にまで成長したのである

大型病院機衝突

(リスボン二十日發) ロンドン來電「ダコタ」大型病院機は十九日夜西部戦線から米軍傷兵を後送中、イングランド南部、ブライトン、リウイース間の丘陵に衝突し、搭乗者二十四名は即死、救出された負傷兵のうち二名も附近の病院で死亡した

昭和十九年十一月廿九日(水)
第三二五五號

同盟通信

海外電報

(273)

米英ソ三國は歐洲の被壓迫民族を解放すること

ことを旗幟としてゐるが、所謂解放された國
國から相次いで傳へられる情報に反樞軸軍が
自由の名において桎梏を、救済の看板のもと
に貧窮を民主主義の羊頭を掲げて狗肉を賣つ
てゐることを端的に示してゐるではないか、
フランス國內における血の肅清は規模こそ違
へ恐怖時代(レン・オヴ・テラ)の再現であ
る、ベルギー國內の混沌たる状態は遂にブリ
ュッセル市内の血腥い市街戦にまで發展した
イタリア國內の政情は反樞軸軍のローマ占領
以來既に半歳、しかもいささかも安定する様
子はない、國王の退位に續いていはゆる國民
解放聯盟が出来たが左右の抗争は依然として
止まず、イタリア國民はUP特派員の言葉を
借りれば「戦ひに疲れ失業に苦しみ飢餓に悩
んで」安き日とはな
い、ボノミ首相の進退
を繞る政局の危機は要
するに盟邦を裏切り、
國論を無視した政権が
必然的に直面せねばな
らぬ末期的症狀である
赤軍の支配下に入つてゐるフィンランド、ル
ーマニア、ブルガリア各國の内情については
米英兩國ですら真相が分らないといふので大
分文句が出てゐる位だが、断片的に傳へられ
るところは、要するに頻繁な内閣の改造乃至
更迭と要人の罷免職首、逮捕監禁であり、各
國の裏切り政権が休戦によつて豫期してゐた
ところとはおよそ縁遠い結果を示してゐるこ
とだけは間違ひない、就中哀れを止めたのは
亡命ポーランド政権だ、英佛兩國政府におだ
てられ廻廊とダンチツヒ自由市とに執着して
歐洲戦争の口火を切つたポーランド政権は、
今やカーゾン線以東の割譲を苦難と亡命五年
有半の代償として押付けられようとしてゐる
自由と民主主義との齟らすところ比々正にか
くの如し



目次

米、新國務長官にステチニヤスを任命	二八七八
ハイレイを重慶駐劄大使に任命	〃
ボノミ再組閣の形勢	〃
ド・ゴール、イラン國王と會見	〃
勃、國立銀行の理事を逮捕	〃
東南アジア軍參謀長更迭	〃
V二號近く最前線に出現	二八七九
報復攻撃熾烈	〃
對ソ和協は絶望	〃
【英 帝 國】	
陸軍首腦異動	二八八〇
【米 洲】	
ハル後任下馬評	〃
海軍損害	〃
クルーグ彈藥不足を強調	〃
伯、對米五十億弗借款か	〃
【歐 洲】	
洪、武裝國民警察を組織	〃
下・ゴール、法王廳使節を拒否	二八八一
南米に使節團派遣	〃
イタリア駐ソ公使、大使に昇格	〃
【東 亞】	
日本防衛線の強靱	〃
スチムソン比島攻略を豪語	二八八二
東京の防空體制固しと發表	〃
ハンセル、空襲失敗を認む	〃
蔣、ハイレイの大使就任を受諾か	〃
支那戦域米軍參謀長	〃
ビルマ公路啓開成れば米軍は徹収	〃
【軍事情報】	
米英の焼夷彈	二八八三
モスキートに七十五耗砲	〃
米海軍の鮫除け装置	〃
【特 輯】	
ド・ゴールの獨樂	二八八四
【資 料】	
英國艦隊空軍	二八八八
西歐上陸に使用された上陸用舟艇	二八九一

米、新國務長官に

ステチニアスを任命

(リスボン二十七日發) ワシントン來電 白雲館當局は二十七日大統領ルーズヴェルトが國務長官ハルの辭表を受理、その後任に現國務次官エドワード・ステチニアスを任命した旨發表した、これより先ルーズヴェルトは二十七日臨時新聞記者團會見を開きハルの辭表受理を發表すると共にハルが國務長官辭職後も依然外交問題に關する大統領の顧問として重大役割を果すこととならうと言明した、新國務長官ステチニアスは一九〇〇年生れ財界出身でU・S・スチール會社、メトロポリタン生命保險會社などの重役をつとめたが、ルーズヴェルトの政權獲得以來政治方面にも乗出しニューデイル政策にも一役買ひ更に開戦後は武器借與の運営に當つてゐた、前國務次官ウエルズがハルと衝突して辭職するやその後を襲つて國務次官に就任したが、ハルが病氣引籠り勝ちのため最近ハル國務長官代理として事實米國戰時外交當面の責任者であつた

ハーレーを重慶

(リスボン二十七日發) ガウ

駐劄大使に任命

ス大使の辭任以來米國政府は重慶駐劄後任大使の選任につ

き特に慎重に構へ重慶政權のアグレマンを待つてゐたがワシントン來電によればルーズヴェルトは二十七日陸軍少將バトリック・ハーレーを同大使に指名する案を上院に提出したと傳へられる、上院には何ら反對なく同案を確認すると豫想されるがハーレーはフーヴァー大統領時代の陸軍長官で後ニュージールランド駐劄公使となり現に特使としてドナルド・ネルソンと共に重慶に滞在してゐる

ボノミ再組閣の形勢

(リスボン二十七日發) 傀儡イタリア首相イヴノ・エ・ボノミが組閣以來約半歳で二十六日正午過ぎ統監ウンベルト殿下に辭表を提出するとともにいはゆる「イタリア國民解放委員會」を構成する六政黨の代表はローマのマレチアリ宮において緊急會議を開催對策を協議したが結局ボノミに再組閣を要請するに決定、アルチド・デ・カスベリ、無

任所相ムチオ・ルイニ、社會黨總務ビエトロ・ネンニが代表としてボノミを訪問し次の決議案を手交した

國民解放委員會を構成する六政黨の代表は首相の辭任につき協議した結果政情と國家の利益とが現聯立内閣の存續を要求するといふに意見一致した

以上の決議案をボノミは「各政黨が容認するともに反軸樞軍の同意ある唯一の人物」として所謂國民解放委員會が現内閣を信認したと解し再組閣に着手したと傳へられ、一方ウンベルト殿下は元首相オルランド、國會議長デラ・トレツタらと協議を重ねてゐるが、先づボノミに再組閣を委嘱、ボノミが失敗した場合に後繼首相を考慮する意圖と解される

ド・ゴール

(リスボン二十七日發) テ

イラン國王と會見

ヘラン來電 フランス政權首班ド・ゴールはモスクワ

訪問の途、外相ビドー、參謀總長アルフォンゼ・ジュアン、パリ駐劄ソヴエト大使アレキサンドル・ボゴモロフ等と共に二十七日テヘランに到着イラン國王ザー・モハメド・バラヴィイと會見した

勅、國立銀行の

(リスボン二十七日發) ソフ

理事を逮捕

イヤ來電 ブルガリア國立銀行理事會の全構成員は「總額

四百二十億リラに達するドイツとの不正取引により國家經濟に損害を及ぼした」責任を問はれ悉く逮捕された

東南アジア軍參謀長更迭

副參謀長の後任も決る

(リスボン二十七日發) カンデイ來電 東南アジア反樞軸軍司令部は二十七日同司令部參謀長サー・ヘンリー・パウナル中將が病氣のため辭任し、後任として英本國綜合作戰部次長フレデリック・アーサー・モンターギュー・ブラウニング中將が任命され、さきに支那戰域米軍司令官に轉出した東南アジア軍副參謀長ウエデマイヤー少將の後任として米陸軍少將ホレス・フューラーが副參謀長に任命された旨發表した、新參謀長ブラウニング中將は本年九月西部戰線アルンヘムにおいて英第一空挺師團を指揮してゐた

V二號近く最前線に出現

(ベルリン二十七日發) ドイツ軍當局は二十七日次の通り言明した

英國の「サンデー・デイスパッチ」紙はV二號のベルギーに對する攻撃の影響は南イングランドにおけるより大なるものと告白してゐるがこれはドイツ軍のこの長距離兵器が益々戦局に大きな意義をもつに至つたことの證左だ、V兵器の生産は計畫通り順調に進んでをり、毎日の發射彈數は増す一方だ、V二號が英本土攻撃や補給基地攻撃ばかりでなく、最前線の軍隊集結點、戰車集團、その他戰術的要點に集中されて長距離砲以上の戦果を擧げるのも極めて短時日の問題だらう、前線兵器としてのV二號は

一、空からも地上からもこれを攻撃する道がない
一、その超速度のために待避する餘裕がない
などの特長を有する、V二號の速度には三段階の變化がある、第一には目に見える發射、第二は成層層における目にも止らぬ速度、第三は落下時の殆んど夢幻的な速度だ、照準の精度並びに爆發效果については從來の經驗が完全に生かされ改良が加へられつつある、目標がロンドンからパリ、アントワープ、リエージュに移つた過程は極めて迅速だつた、ドイツ軍の長距離秘密兵器の發達の次の段階は期待さるべきであり、敵に十分思ひ知らせることが出来るだらう

報復攻撃

撃 熾 烈

(リスボン二十七日發) V二號による英本土攻撃は連日熾烈を極め南イングランド一帯の銃後生活を混亂のどん底に陥れて反樞軸空軍のテロ攻撃に對する報復の目的を完全に果してゐる模様で、二十七日ロンドンからのロイター電報は次の通り報じてゐる

V爆彈は最近南イングランド某市の市場街に命中し、多數の即死者を出したほか多くの重傷者が病院に收容されてから死亡した、女子供の死人も少くはなく、中には母の腕に抱かれたまま死んだ幼児もあつた、爆彈が落下したのは商賣の眞盛りの時間で、商店は黒山の人だつた、爆

風は廣範圍に亘つて店舗住宅を破壊、町役場の内部にも相當な損害を生じた

對ソ和協は絶望

(ストックホルム二十七日發) ミコライチクが挂冠のどさくさ紛れに主宰する農民黨をして亡命ポーランド政權の各派聯立政策に反對せしめた結果新首相ヤン・クワピンスキーは忽ち組閣難に陥つたばかりか彼の反ソ的態度からしてソヴェト政府との和協は絶望視されるに至り、今や亡命政權はソ聯との國交斷絶以來最大の危機に達着してゐるが、英國言論界の反響は極めて悲觀的でソ波關係の最後を既に觀念してゐる模様で、たとへば二十六日の「オブザーヴァ」紙は次の通り述べてゐる
ミコライチクの辭職はソ波關係の一段の惡化を意味するものだ、彼の辭職意圖は政權關係のうち誰一人事前に打ち明けられてゐた者がなかつたため青天の霹靂の如き衝動を與へ、名狀すべからざる混亂を捲き起した、ミコライチクをして辭職を決意せしめるに至らしめた主な動機は副首相ヤン・クワピンスキーとの意見の衝突でクワピンスキーは從來ミコライチクの對ソ護歩方針を事々に非難してきたのである、クワピンスキーの對ソ態度は疑惑と反目に終始し、時には敵意とすらみられることもあり、戦前の國境線については如何なる讓歩も肯んぜぬといふ強硬な態度をとつてゐるため、今後ミコライチクと同じ線に沿つて對ソ交渉を進めることを彼に期待するのは不可能だ

また「サンデー・タイムズ」も

農民黨が新政權を支持し、ミコライチクが再入閣したらいざ知らず、クワピンスキー獨力ではソ聯との協定に到達することは不可能だと全く匙を投げてゐる實狀だ、ヤン・クワピンスキーは元來ポーランド社會黨員でその生涯は極めて波瀾に富む、一九〇五年から七年までポーランドの革命運動に活躍逮捕されて死刑を宣告され後に徴役十五年に減刑された、ロシア革命が勃發した時釋放されポーランドに歸り、勞働組合議長兼農民組合議長になつたが、彼のロシアに對する敵意はソヴェト政權樹立後、一段と深刻となつたといふ

【英 帝 國】

陸 軍 首 腦

(ストツクホルム二十六日發) ロンドン來電 英國陸軍

異 動

省は二十六日次の異動を發表

した

地中海方面軍最高司令官

メーランド・ウイルソン

任 ワシントン駐劄米英合同參謀本部英國首席代表

イタリア派遣反樞軸軍司令官

ハロルド・アレキサンダー

任 地中海方面軍最高司令官

因みにウイルソンの任命は過般ワシントンで死亡したジョン・デイルの後任である

【米 洲】

ハ ル 後 任

(リスボン二十六日發) ワシントン來電 國務長官ハルは二十六日遂に大統領ルーズヴ

エ ル ト 評

エルトに對して辭表を提出したが、その後任としては現在のところ戰時動員局長官ジェームス・パインズが最も有力視されてゐる、その他下馬評に上つてゐるのは副大統領ウォレス、國務次官ステチニアス、國務次官補バール、駐英大使ワイナント、前國務次官ウエルズ等である

海 軍

(リスボン二十六日發) ワシントン來電 米國海軍省は開戦以來の海軍海兵隊及び沿岸

損 害

警備隊の損害が七萬五千三名に達した旨二十六日發表した、内譯次の通り

合 計

七五、〇〇三名

戰 死

二九、二九〇名

戰 傷

三一、九〇二名

行 方 不 明

九、三二五名

俘 虜

四、四八六名

クルーグ、彈藥

(リスボン二十六日發) ワシントン來電 戰時生産局長官クルーグは二十六日次の通り

不足を強調

述べた

アイゼンハウアーは反樞軸軍が目下計畫してゐる大攻勢を行ふためには米國の軍需生産をその

最高限度にまで動員しなければなるまいといつてきたが、前線にある米國軍が現在最も不足を感じてゐるのは彈藥、就中小火器用の彈藥である、小銃、機關銃等の彈藥は現在より約二倍とする必要あり、また曲射砲彈丸も大いに増産しなければならぬ、政府は既に最近閉鎖された彈藥製造三工場を再開するに決定したが、これ等の措置により民需生産再開が遅延するのは當然のことである

伯、對米五十億

(リスボン二十六日發) 「ニ

弗 借 款 か

ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙十一月六日のリ

オデジャネイロ特電によれば、ブラジル大統領ヴァルガスは同國政府機關商工業政策會議の建議による米國との間の十年を期間とする經濟協定締結並びに五十億弗の借款申入れの提案を承認したといはれる、右五十億弗のうち半分は十年計畫で電力及び鐵道哩數の二倍延長、鐵道ゲージの統一、鐵道設備の近代化を含む交通機關の發達のために用ひ、残り半分は農工業を擴張、現在の年平均産業生産總額十億弗を七十億弗に引上げるために使用される豫定である、右計畫の立案者であるブラジル經濟界の權威者ロベルト・シモンゼンは次の通り述べてゐる

經濟協定の目的は現在のブラジル國民一人當りの所得年平均五十弗を四倍の二百弗に引上げるにある、當初は右事業を個人的借款によるべきだとの意見が有力だったが、現在ではかかる融資は米國政府によつてのみ可能だとの意見に傾いた

但し右借款交渉は未だ米伯兩國政府間には正式には開始されてゐない模様である

【歐 洲】

洪、武裝國民警

(ブダペスト二十五日發) ハ

察を組織か

兵隊のほかは武裝國民警察を組織、ラカトス内閣當時創設された國民警備團に代へることになつた、武裝國民警察の幹部は内相の推薦に基づき首相が任命し、隊員は勤務の時だけ武器を携へることになつてをり、憲兵と同様の特權を與へられてゐる

ド・ゴール

(リスボン二十六日發)パ

法王廳使節を拒否

リ來電ロド・ゴール政權當局は二十五日新任バリ駐割

法王廳使節ヴァレリーの承認を拒否した、理由は
同人が現在までヴィシー政府に使節として駐割し
てゐたためである

南米に

(リスボン二十五日發)パリ

使節團派遣

來電ロド・ゴール政權は南米
諸國とフランスとの通商關係

を確立するため南米諸國に特別使節團を派遣する
に決定、ルイ・パスツールの孫に當るヴァレリー
・ラドー・パスツールを大使の肩書で使節團長に
任命した

イタリア駐ソ

(リスボン二十二日發)ミラ

公使大使に昇格

ノ來電ロイタリアのボノミ政
權外務省は二十二日、ソヴェ

ト政府がボノミ政權の駐ソ公使グアローニの大使
昇格を承認した旨發表した

【東亞】

日本防衛線の強靱

「エコノミスト」誌論説

(ストツクホルム二十六日發) 英週刊誌「エコノ
ミスト」の十月二十八日號は「日本の内線地帯」
と題する論説を掲げ重慶軍敗戦の反樞軸太平洋戰
略に及ぼす悪影響を詳細に分析した後日本防衛力
の強靱性を指摘して對日戰の困難を強調してゐる
要旨次の通り

重慶敗戦の影響

米英兩國内では對日戰が豫想以上に早く済むと
いふ考へ方がみられるが反樞軸軍が手を伸せば容
易に勝利を掴むことが出来るといふことは絶対に
出来ない、以上の事實を眞先に裏書するものは重
慶の敗戦だ、支那戦線の悪化が太平洋戦局にいか
に重大な影響を及ぼすかを知るためには地圖を一
瞥しただけで十分だ、現在行はれてゐるマウント
バツテン軍のビルマ作戦とニミッツ、マツカーサ

ーの比島作戰にいかにも努力しようとも日本を撃破
するために決定的な一歩を踏み出したといふこと
は出来ない、日本は一九四一年當時と同じ地位を
占めてゐるだけだ、しかるに兩者の作戰の要をな
すのは支那大陸であり、將にこの要に對して日本
軍が打撃を與へてゐるのである、ビルマ作戦と日
本々土攻撃を結ぶ糸はビルマ公路の啓開と支那へ
の侵攻路の開拓である、米軍は福建、廣西省に空
軍基地の建設を圖り桂林を活動の中心地としたが
日本軍の新攻勢はこの空軍基地を遮斷した、他方
太平洋攻勢と日本々土攻勢を結ぶ糸は支那海岸で
ある、支那海岸に橋頭堡を確保すれば日本爆撃の
強固な基地が保障されるばかりでなく、日本々土
に對する最後の攻撃に出る機會を確保出来るわけ
だ、しかるに現在の状況では日本軍の新攻勢の結
果、米軍が南支海岸に上陸した場合出迎へるのは
ほかならぬ日本軍といふことになる

日本防衛線の強靱性

日本の防禦線は極めて強靱であり、この防禦線
を強化するに更に豊富な資源を有してゐる、ビル
マと佛印は主要米作地だが、日本自身米その他穀
物の生産を大々的に發展させてゐる、また蘭印は
龐大な自然石油資源を有するが、内線における人
工石油の生産は軍事上高度の優位を占めてゐる、
更に蘭印はボーキไซด์を生産するが、日本はむ
しろ北支および滿洲のアルミニウムに依存してを
り最後に日本は世界中の殆んど全部のゴム生産を
手中に収めてゐる實情だ、しかして日本軍は莫大
な人的資源を有してゐるばかりでなく、優秀な兵
器を豊富に裝備してをり、且つ大量の軍需品を蓄
積してゐる、日本に缺けてゐるのは船腹だが、こ
れとても戦團が内線防衛線に移つたならばさして
多くの船舶を必要としない筈だ、反樞軸軍は航空
兵力において優位を占めてゐるが艦載機の長足の
進歩にもかかわらず日本内線防衛線に決定的打撃
を加へるには基地が足りない、しかも日本軍は東
支の基地群を風潰しに芟除してゐる實情だ、以上
の事實は日本に對する攻撃の足場を奪ふばかりで
なく、反樞軸軍の支那海岸上陸作戰までも極めて
困難とするものである

スチムソン 比島攻略を豪語

會見で次の通り述べた

（リスボン二十三日發）ワシントン來電〓陸軍長官スチムソンは二十三日の新聞記者團
レイテ島における過去二週間の戦局から判断すると日本軍は全力を傾注して比島を確保せんとしてゐるやうだが、これはわれわれにとつて寧ろ好都合で、米國軍はフィリピンといはず如何なる戦場でも日本軍を撃破するであらう、しかしながら支那大陸における戦局は重大化の一途を辿りつつあり、われわれは日本軍の行動に常に關心を寄せなければならぬ、日本軍は更に南下して印度支那と連絡をつけるか或はビルマ公路の再開に備へて貴陽を占領するかいづれかの作戦をとるものと思はれる、今後の日本軍の脅威に備へるためわれわれは南支における日本の勝利はこれを率直に認めてかからなければならぬまい

東京の防空 體制固しと發表

（リスボン二十六日發）東京に來襲した米國爆撃隊は帝都の防空組織が極めて強靱なことを身を以て味はつたやうだが、ワシントン來電によると米國戦時情報局は二十六日特に聲明を發表して東京空襲が難事であることを強調東京空襲の報に有頂天となつてゐる米國民に警告を發したといはれる、聲明要旨次の通り

東京がたきつけのごとき木造家屋から成り最初の焼夷弾で簡単に灰燼に歸してしまふだらうなどといふ一般の見解は最も誤つた考へ方である陸軍からの報告によると東京の防火組織は極めて能率的であり、さらに全世界のいづれの都市にも遜色なき程度に防空體制が完備してゐるやうだ、東京全市は針鼠の如く高射砲によつて防衛されその周囲は多數の飛行場をもつて圍繞されてゐる、東京がベルリンやケルンの如く熾烈な爆撃に堪へるだらうことは十分に豫想し得るところである、日本人にとつては火事が最大の脅威でありそれだけに防火組織も完備し特に大震災後の東京の都市再建工作で大きな道路が全市に縦横に張りめぐらされ、これが有効な防火機能を發揮してゐる、しかも日本にはドイツの

諸都市に對する爆撃の經驗を十分研究する機會が惠まれ、この結果東京は物質的にも心理的にも大規模爆撃に對する準備が出来上つてゐる

ハンセル

空襲失敗を認む

（リスボン二十六日發）サンフランシスコ來電によれば第二十一爆撃隊司令官ハンセルは二十六日サイパン島の基地において東京空襲の失敗を認め次の通り述べたといはれる

二十四日の東京空襲にあたりこれに参加したB29の一部は密雲に妨げられて豫定した爆撃目標を發見出来なかつた、従つてわれわれの期待した如き戦果をあげることが出来なかつたが、ただ爆撃戦果のみに限定せず廣い見地から今度の爆撃をみるときたしかに相當の効果をあげたといふことが出来る

蔣、ハイレイの

大使就任受諾か

（リスボン二十六日發）ルイ・ズヴェルトは曩に重慶駐劄大使クラレンス・ガウスの後任大使を選定し、重慶のアグレマンを求めてゐる旨言明したが、UP通信の重慶電報は信すべき情報として、目下重慶に滯留中の大統領特使パトリック・ハイレイ少將が新大使として蔣介石の受諾を得た旨傳へてゐる

支那戰域

米軍參謀長

（リスボン二十六日發）ワシントン來電〓米國陸軍省は陸軍少將ロバート・マクルーアを支那戰域米軍參謀長に任命した旨二十六日發表した、マクルーアは現在まで西南太平洋の前線にあつたもので、前任參謀の陸軍少將トーマス・ハインは新任務に就くため米國へ向け歸還の途にあるといはれる

ビルマ公路啓開

成れば米軍は撤收

（ベルリン二十六日發）ロイター通信ワシントン特派員エルトン・フエイは二十六日の報道で米軍はビルマ公路が萬一打通された場合にはこの方面の派遣軍を他に引揚げて後事を英軍側に託す肚である旨次の通り報道してゐる
AP通信の二十五日報道によると米國はビルマ公路が啓開された場合には印度及びビルマに駐屯する比較的少數の派遣部隊を引揚げける意圖だといはれる、米國は東南部印度戰域は主として英國の利益圏だと考へてゐる

【軍事情報】

米英の焼夷彈

「インター・エイヴィア」誌所載

(ストックホルム二十六日發) 國際航空雜誌「インター・エイヴィア」九月號は「防空並びに空襲對策」と題する文中次の通り論じてゐる

ドイツ諸都市並びに工業地帯に對する反樞軸軍の空襲を見るに、損害の大部分は高性能爆彈の作用よりもむしろ廣汎な地域に延焼する火災のためであり、火災は先づテルミットの焼夷棒(英國製は一・三珣、米國製は一・八珣)によつて惹起されるが、これは落下と同時に小範圍に火を噴くだけで制壓も比較的容易である、廣い地域に火事を延焼させる爲には同時に多量の焼夷棒を投下して防火陣を忙殺する、その後英空軍は人口稠密な地區に大火災を起させる手段を發明した、即ち液體または膠狀の粘性焼夷劑を充填した大型彈(約十三珣半)で黃燐により自動的に發火し火勢の及ぶ範圍が廣く、建築物に命中すれば數階を貫徹するので防火が困難である、米軍航空隊は黃燐焼夷彈を使用せず、少くとも大規模に用ゐたことは全くない、中央部に充填した火藥で點火する膠狀燒夷液の鋼鐵側燒夷彈(四十五珣乃至二十九珣)を多く使用する、どういふ理由か英空軍は最近黃燐彈の使用を中止した模様で、現在では少量の高性能爆藥によつて液體充填物の炎を飛散させるやうな燒夷彈を投下してゐる

火焰噴射彈と六九燒夷彈

その他英國の燒夷彈の中には十三珣程度の液體充填の特殊燒夷彈も最近現はれてゐる、ドイツ人はこの燒夷彈を火焰噴射砲(フラーメン・シュートラー・ボンベ)と呼んでゐるがこれには落下傘がついてゐて、落下速度を減するやうになつてをり、長さ約五十三珣、直徑約十四珣の鋼鐵製容器にメタンの加壓ガソリン溶液が入つてゐる、この燒夷彈は中央の雷管が内部のテルミットに點火し

テルミットの燃焼はメタンのガソリン溶液に對する壓迫を増加する結果燐が開いて液體は彈底から噴出する、噴出口の附近の開孔からは燃焼するテルミットの炎が出てそれにより點火された液體は長さ四米半、直徑六十珣の炎となつて周圍を焼く英當局の發表によるとこの火焰噴射彈は約二分間燃え續けるといふが、ドイツ側では四分足らず燃えると述べてゐる、この燒夷彈は航空機生産省の代表者や科學者からなる特別委員會の指導の下に製作された、また米軍は小型燒夷彈の長所(同時に多量撒布し得る)をもつと效果的な液體充填の燒夷彈に兼有させやうと努力した、即ちスタンダード石油會社は膠狀燒夷藥を充填した小型彈を製作したが、英國で實地試験を行つたところ満足な結果が得られずこれを米陸軍化學戰部隊がだんだんに改良して「六九燒夷彈」になつた、この燒夷彈は相當好成績であるといはれる、重量は英國のテルミット燒夷棒と同様約一・三珣、横斷面は六角形をなし、同時に數個一組で投下される、爆彈の下降中は織物の旗のやうなものが開いて命中速度が減するやうになつてゐる、彈着後數秒にして爆藥が破裂し膠狀内容物は三十米乃至九十米飛び擴がつて五分乃至六分間燃え續けるのである

モスキートに

(リスボン二十三日發) ロン

七十五耗砲

ドン來電 英國空軍省に二十二次の通り發表した

快速を誇る英空軍の木製モスキート機はドイツ潜水艦その他船舶攻撃用として六封度加農砲を裝備してゐる、このことは今まで極秘に附せられてゐたが、右加農砲は太平洋戰線の米ノースアメリカンB25「ミツチエル」機型爆撃機の七十五耗砲と似てゐるが裝備個所は機首ではなく胴體の下面である

米海軍の

(リスボン二十四日發) ワシ

鯨除け裝置

ントン來電 米海軍當局は二十三日次のやうに發表した、

海軍艦目下鯨除け裝置を考案してゐるが實驗結果は極めて良好である、裝置は小さな包で救命胴衣に附着してをり、海水に浸るとインキ狀の液を擴散して鯨を追放ふ

ド・ゴールの獨樂

——政治不安の禍因探究——

井上 勇

パリ電によればフランス諮問會議は十一月七日から開催されたいが、その議事の進行振りについてはなんらの情報もつたへられてゐない、判つてゐるのはアルジェのコンスタンチヌからの上院議員ポール・クツトリが議長席について、ド・ゴールを「フランスの指導者」と形容して喝采を得たこと、言論の自由、トラストの排撃、國家の中に國家を作る凡ゆる團體の解散を要求する開會の辭をのべたこと、ド・ゴールが演説して、現在の臨時政府が國內、國外において國家を代表する權利を有すること、諮問會議はフランスの國策決定に重要役割を有し、十分政府と協力して、その任務達成に當られたい旨を希望したこと、その翌日八日、諮問會議が 一、青年訓育指導 二、戰爭捕虜國外追放者問題處理 三、肅清 四、アルザス・ロレーヌ問題の四委員會を設置したことで、詳しいことはなにも判らない

元來、諮問會議は臨時政府が民主政治のカモフラージュとして作上げたもので、根元を洗つてみれば自薦、官選の獵官者流の烏合體で、これを民意の代表體とみるのはナンセンスである、ド・ゴールはアルジェ時代の諮問會議の構成を擴大して一應、國民各層の代表を網羅したつもりであるらしいが、いくら議員を増してみたところで、諮問は諮問であり、官選は官選で、民意の正當な代表機關と稱し得ない根本にはなんの變りもない

諮問會議の構成

十月十三日發表された新諮問會議の構成要綱は次のやうなものである

一、總定員を二四八名とする、その内一四八名は抗戰諸團體代表に割當てる、抗戰團體代表はアルジェ時代は四九名だつたが、今度は、そのほ

かに國民抗戰會議代表一七名、その他新團體の代表四八名、その他本國以外の各地の抗戰代表も二一名から二八名に増員された、舊上、下院議員代表は二〇名から六〇名(一説には五五名)に増員され、それには外屬領代表が一九名總計が二四八といふことになつてゐる

上、下院議員で諮問會議員に任命された大部分は一九四〇年秋、ヴィシーの國民議會でベタン元帥反對の投票を行つた八十名の議員中から選ばれたもので、その中にはジャン・ポール・ボンクール、テオドル・ステイグの元首相のほか元大臣が十八名、その内社會黨のアンドレ・フリツプ、アンドレ・ルトロケ、抗戰派代表のエマニユエル・ダスチエ、共產黨のフェルナン・グルニエなどは、ド・ゴール第一次内閣の閣員である、

抗戰派代表の中には婦人議員が六名あり、その一人マルテール・シマール夫人はカナダの「戦ふフランス」代表である

二、政府は五億法以上の豫算、借款、個人の自由公權の組織、國家の社會的、經濟的機構に關聯する凡ゆる問題は、これを諮問會議に付議する義務を有する、諮問會議が以上の案件につき十日以内に決定に至らない場合は、政府はその投票を待たずして、戰時特別令として法律を施行し得る

三、政府は諮問會議三分の二以上の發議賛成に基いて緊急事態を宣言し得る

四、諮問會議は國家の利害に關する如何なる問題たりとも討論し得、政府に報告を要求し得る

これで政府の諮問會議にたいする責任の範圍はほぼ決定されてゐるわけで、諮問會議が國民投票によつて成立したものでない以上微力なものも致し方がないところだらう、同時にド・ゴール政權自身も同じ理由によつて微力なわけだ

第三共和制の亡靈

ド・ゴールは各國からの承認を機會に、政權の強化工作に懸命で、チャーチル、ルーズヴェルト、スターリン等にもバリへの招待狀を發送、内外に威勢を誇示せんとしてゐるのも目的はそこにある

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

何としても、ド・ゴール政權の弱味は、天降り政府であることで「解放」の功績をいくら自讃しても、それだけでは國民の信仰は得るわけには行かない、彼はそこで政府の合法性確立に色々腐心してゐるわけであるが、始末に困るのは第三共和制である、どうしたら合理的に第四共和制へ推移せしめ得るか、その過渡期の齒車に、ド・ゴール政權の合法性を生みさせ得るかが問題なのだ、ルブラン大統領が十月十一日、グルノーブルの片田舎からパリにまかり出たのは「タイムズ」紙によればド・ゴールが招いたわけではなく、ルブランから押掛けたものださうであるが、ド・ゴールの公言する通り第三共和國の憲法が存命中とあらば、ルブランがエリゼ宮に住みたくなつたのももつともである

ルブランとド・ゴールの會見が如何なる経路を経て、大統領の辭職決定といふところまで行つたか明白でないが、假令ルブラン大統領が辭職を申出たにしても、ド・ゴールが一人勝手に、この辭職を受理するわけには、少くとも第三共和國の憲法が生きてゐる限りは不可能なのだ

選挙は、來年二月から行ふといふ話であるからそれが済んで新議會が、ルブラン大統領辭任を承認するまでは、ルブランの生きた幽霊は何時までもド・ゴール政府の空に宙に迷ふわけである

邪魔になる反対派

ド・ゴールの邪魔は憲法ばかりではない、現實の力として、ド・ゴール政府の反対派には、フランスは今持つてゐる最も有力な政黨三つ、共產黨、社會黨、基督教民主黨の全部を數へることが出来る、抗戰派諸團體もまた、必ずしもド・ゴールの支持者ではない、否大いに反対派でさへある、今は抗戰派は政府の施策に重要な影響力を有し、ある意味では政府を左右してゐるので、政府との間も曲りなりに結ばれて行つてゐるが、國民軍解散令以後の彼等の態度は、これを反政府的と斷定するのが正しい位だ、抗戰派を牛耳る共產系青年層の望むところはフランスに一黨獨裁政治を樹立するにあり、今はただド・ゴールを使つてその準備工作をしてゐるに過ぎぬとみるものもある、「デ

ーリ・ヘラルド」はド・ゴールを評して「大きな能力をもつた人物だが弱點が一つある、民衆運動を理解し得ぬことだ、彼は自分の競争者になりさうな人物を嫉視してこれを排斥し、只管に運命が與へてくれた自分の使命といふものを盲目的に信仰してゐる」といつてゐるが「運命の人」ナポレオンが、ド・ゴールに轉身するかどうかは極めて疑問といはざるを得ない、今、反對黨として三つの政黨の名を擧げたが、これは嚴密にいつて政黨の名に値するのは共產黨のみのやうである、舊政黨の全部は既に戰爭の渦中に泡沫と消え去つて民衆の内への組織も影響力も失つてしまつた、古い傳統的政黨はドイツ占領軍の重壓と、ヴァイシー政府の彈壓によつて消滅し去り、再建のための新しい十分の力を未だ集め得てをらず、再出發出来るかどうか疑問である、フランスで今、政黨とかりに稱する政治の分野はつぎのやうなものである

一、基督教民主黨 この系統の分子は抗戰段階において相當重要な役割を演じたが、特にその經濟政策について指導者間に大いなる意見の相格があり、若し「黨」を結成するとすれば、現在の支持者の大部分は四散するものとみられてゐる、カトリックの信仰のみが共通な紐帯にすぎないからだ、彼等は極めて急進的な指導理論、計畫を有してをり、國家の經濟生活の廣汎な國有化を主張してをり、ド・ゴール政府内に指導的立場をもつてゐる、彼等の運動自體は今のところ決して「革命的」ではないが、その標語は「合理的革命」であり、流血革命に反對であるとは決していつてゐない

二、社會黨 レオン・ブルームを失つて以來(彼はポーランドの猶太人收容所で爆死したといはれる)ヴァンサン・オリオールが代表的役割をつとめてゐるが、ドイツ軍の占領期間中、多くの黨員を失ひ、いまは徐々に再建途上にある、しかし、彼等の抗戰スローガンが、その本質において超黨派的であり、非政治的だつたため、同情者を多くは共產黨に奪はれ、再建工作は遅延として進まず、青年層間には共產黨との合流案も有力である、十一月九日から十一日まで、パリで大會を開いたが、その席上ヴァンサン・オリオールは共產黨との合同を公けに提唱したといはれるが、その結果はわかつてゐない

いまのところ、表面化してゐないが、長年の地盤からいつて、急進社會黨の方が、再建可能性は一層濃厚だとみられてゐる

三、保守系諸政派 保守派の有力者の多くは、ヴィンシー政府に吸収されたが、なほ抗戰期間中重要役割を演じたことは争へない、しかし、元來が小黨分立の彼らがまとまつた勢力としてカム・バックし得るかどうかは疑問だ

四、共產黨 フランスで今のところ、最も強力な政治運動を展開してゐるのは共產黨である、現在彼らはトレーズ・モスクワよりの歸還を待つてゐるが、曾つての脱走兵はいまでは「國民的英雄」に變貌しつつある、フランス國內の混亂がこれ以上に深刻化すれば、共產黨は革命を強行する機會を掴むかも知れない、ド・ゴール政府は、かかる情勢に壓倒されて、その地位強化のため日々左傾しつつあるが、何時おいてけぼりを喰はないものでもない危険があるやうだ、新聞も「ユマニテ」が壓倒的勢力を有し、他の全紙をあはせた以上の發行部數を出してゐる

複數の權力

政黨の方はそれでよいとして、政府が二つも三つも、それ以上もあるのは困りものである、第一は無論ド・ゴール政府であるが、その次には聯合國歐洲派遣軍總司令官ドワイト・D・アイゼンハウワーの軍政府がある、その上に少くとも四つの大地方ではド・ゴールの政治力も、アイゼンハウワーの武力も無力である、そこにはただ國內軍の絶對的地方勢力があるばかりだ、彼らは名こそ知られてゐないが、要するに勇氣と決斷とは一人前以上に持合せて、パリ政府の權威などは問題にしてゐない、彼らは相互には何の連絡もなく、獨立して、別々の旗印の下に勝手な政治をしてゐるわけだ

そこで、ド・ゴール政權が初夜の花嫁のやうに怖いやうな、うれしいやうな二月の選舉を待つやうな待たぬやうな態度に出てゐるのである、これによつて全國的統一が、ド・ゴールの旗の下に出來上ればよし、若し反對の場合は臨時政府などは一朝にして泥土に委してしまふ危険があるのだ、政府ばかりではない政黨も「怖いものみたし」の

觀をまぬかれぬ

ロンドンから觀測する

十月二十四日のロンドン「デリー・ウーカーズ」は、そこで、かう報じてゐる

政黨も抗戰諸團體も二月の選舉を前にして、その政策を決定し、問題の論議をつくさねばならぬ羽目になつてゐる、抗戰團體及び諸政黨の統合意志の表現機關である國民抗戰會議がその衝に當るであらう、國民抗戰會議は先づ、共產黨をも含めて抗戰團體の多くが參加組織してゐる「國民戰線」の提案からして審議しなくてはならない

國民戰線（フロン・ナシヨナル）はフランスの現段階では國家的統一が最重要な案件だと考へ、各地方の解放委員會をして、あらゆる市町村で民衆大會を開かしめ候補者を任命させる案を提唱してゐる、かうすれば抗戰諸運動は一つの全體として候補者が選出出來て、各黨派間の候補者分立による競争を回避出來るといふのがその主張である

この選舉休戰案にたいして今のところ賛成してゐるのは共產黨のみである、共產黨の見解では選舉は敵の第五部隊に利用される恐れなしとしないし、反民主的要素が選舉の混亂につけ入つて抗戰組織の分裂を策するかも知れぬ、その觀點からすれば選舉休戰は至極名案で、休戰は戰爭終結まで續けるべきものであるといふ、カトリック抗戰派の指導者フランシス・モオリアツクは「フィガロ」紙上で、この選舉休戰案を批判し「小農、中産階級は現在フランスに繼起してゐる事態、特に肅清事件に不安を感じてゐる現在の肅清は正に恐怖政治である、この際、自由選舉によつて彼等が何を考へてゐるかを知ることには有益である」といつてゐる

現在の見透しでは選舉休戰案は成立至難とみるほかはない、社會黨はどこまでも自黨独自の候補者を押立てる決意でゐると解されるし、基督敎民主黨も同様である

休戰反對の理由の背後にあるものは、民衆大會で選ばれる候補者は不可避的に「左翼」分子であり、共產黨の勢力助長以外の何ものでもないとの見解である

この見方は現在の地方抗戦委員會(これは地方抗戦運動の共同戦線の表現だ)が、各地方の大衆の感情を明白に反映し全面的に左翼的色彩を有してゐる點から出發したものである、また一部では競争選挙を行つて共産黨と分離して臨めば、共産黨の勢力を弱め得るかも知れぬといふ希望を抱いてゐる

大勢は以上の如くだが、國論統一への要望は全國的に強力であり、勢ひの赴くところ選挙延期といふことで問題は一時的に解決するかも知れぬ、戦争は二月に終る見込みはないし、選挙人名簿の作製は豫想外に困難なことが判り始めたからだ

四面これ楚人の歌

ド・ゴール政府を脅やかすものは、かくみるときは、ド・ゴール自身を除いては、悉く、その閣員をまで含めて周圍みな假想敵といふことになりド・ゴール自身は廻轉してやまぬ獨樂の軸にすぎないといふことになるやうだ、噂によれば、アンリ・ジロオ將軍もアルジェ時代からの宿縁いまだ解けず、有力な反ド・ゴール勢力の中心だと解されてゐるやうで、彼は十一月初旬來スイスにあるがこれはアメリカ側と通謀して、再舉の旗上げ準備のためであるとす説と、否ド・ゴールの委嘱を入れてスイス駐在フランス代表となるためだとの兩説があるやうであるが、眞偽のほどは明白でない、十一月十五日のパリ情報では、ジロオ派と目せられるアンカラ駐在フランス代表タルド・ド・サンクルドウアンが電報一本で免職され、その後任には元アテネ駐劄公使だつたガストン・モオグラが任命されるだらうと傳へてゐるので、ド・ゴールの反ジロオ熱がまだ冷え切つてゐないことは確かなやうだ

閣内では、國內軍解散問題を繞つて共産黨出の空相シャルル・テイロンと保健相フランソア・ピルウが辭任するだらうといはれてゐるし、獅子身中の蟲を驅除するのも仲々ではない、ついでのことに藏相アンドレ・ル・ベルクが自動車事故で死んだ結果、ド・ゴールは十一月十五日、その後任は拓相のルネ・プレヴァン就任、拓相には食糧相

のポール・ジャコビが就任、食糧相には抗戦會議派の諮問會議議員ポール・ラマディエが新しく入閣内閣の一部改造が行はれた、もう一つついでに人事異動を附記すれば、國民抗戦會議派出身諮問會議議員はその議長に十四日ジャン・ポール・ボンクウルを選挙したさうである

緊迫せるパリの空氣

十一月七日のストックホルム電によれば、パリの空氣は極めて緊迫してをり、國內軍解散令の餘彼の及ぶところ政府部内の共産派の態度如何によつては何時なんどき爆發の危険をみるか豫斷を許さず、社會黨側では、若し政府が更に今一度共産黨彈壓の手段に出る場合は、共産黨は勿論、全自由主義諸派は生死の關頭に立つて去就を決しざるを得ないだらうとみてゐるといふ

ド・ゴール現在の心境は、抗戦各派は至上命令的に政府の決定に従ふべきであるとしてゐるらしくこれは國內軍解散決定の經緯によつても察しられる

寒いクリスマス

政治の混亂を背景として、社會事情も益々窮迫を告げてゐるやうだ、ロイターのハロルド・キングは十一月五日次の電報を打つてゐる

パリ市民は灰色な、悲しい、そして寒さに凍へるクリスマスを迎へねばならぬことが公けに告知された、現在の運輸狀態では石炭の配給は不可能で、電氣瓦斯用、聯合軍の軍需を満たすことも辛うじて行はれてゐる程度だ、勞働力も民需生産に廻し得る時期に達してゐない、それに生産絶對量も不足で、北佛の炭坑はいまだ極めて小部分しか動いてゐない、燃料不足と運輸麻痺はフランス國內の酸鼻の中心的原因となつてゐるが、食糧の問題も極めて深刻である、聯合國の占領以來、失業も次第に増加傾向で、パリだけで三十萬人の失業者があると推定されてゐる賃金はしかも法定の七割五分程度で、物價は三倍四倍になつてゐる、ヴィシー時代から賃金は法制的には凍結されてをり、八月に至り四割増が決定されたが、實際は失業の増加で法定以下の安賃金でみんな働いてゐる

民心惡化の一路

同じくロイターは六日のパリ電報で、フランスの物價高をつたへ、普通の革靴一足は七十弗もしてゐるといひ、BBCのエドワード・マアロウは政府は種々手をつくして食糧の供出を農家に要請してゐるが、農家は金では物を賣らうとしない、金を持つてみたところで値打ちは毎日下がるばかりだからだ、闇は至るところ全盛で、軍隊のガソリンまで、民需に流れ出てゐる、いまのパリ市民の氣持ちはミュンヘン會議當時によく似てゐる、このまま冬に入れば民心の惡化のほどが思ひやられる

と告げ、かかる生活の不安から、フランスの最も怖れる出產率の低下と死亡率の増加が最近は特に目立つてきてゐる、諮問會議議員のガストン・デシエは十一月十三日ラジオ放送で「フランスの人口は最近急速に減少してをり、死亡率は上昇の一途を辿つてゐる、このまま推移すれば、外國人の氾濫と併せてフランス存立の基礎が危くなる」と警告を發してゐる、十一月七日當時の食糧相ポール・ジャコビの報告では小麦は向ふ三週間、油脂類は向ふ四週間しかないが、これでも以前よりは條件はよくなつてゐるのださうだ

遂に赤化の運命か

強盜、窃盜の横行は自然の勢ひで、軍服、警官の制服を着用した押込み強盜がもつとも流行し、これはパリのみでなく、全國的な現象となりつつある、かうした悲惨な反面、スイスの「タート」紙の報道によれば映畫館、劇場は何時も満員で、小屋の前は行列の絶間がなく、オペラも十一日初旬から開場し千客萬來であるといふ、しかし、その大部分はアメリカの將兵で、フランス兵など藥にしたいくらゐしか街上には見當らぬとは同紙の言である

食糧がなく、燃料がなく、仕事のないフランスに唯一のあるものとして、インフレが増大してゐることは、國內危機を招來せざるを得ない、中立國筋の觀測が「フランスに残された途は共產革命のみであらう」と結論するのも宜なりである

資料

英國艦隊空軍

「フライリグ」誌六月號

米國空軍との聯繫

英國海軍航空隊は、米空軍と非常に似た組織をもち、英帝國海軍の缺くべからざる一部をなすものである、この英國艦隊空軍は、ワシントン英國大使館付空軍武官カスパー・Z・ジョン大佐が最近

英國海軍飛行機搭乗員中全員の三分の一は目下米國において訓練をうけ裝備を施されてゐる旨を聲明して以來、一般米國人にとつては單なる名稱以上の存在となつた、ジョン大佐の言明によれば、一九四〇年以來英國の青年達は米國において、米國の飛行機に乗つて、米國人教官について十二ヶ月の飛行訓練をうけて來たのである、かれらは訓練終了と同時に直ちに米國製飛行機を操縦して戰闘地域に飛び、英國兵の乗組む米國建造の航空母艦に配屬されることになつてゐる、一方、英國海軍航空隊士官は多數米國に駐在し、米國航空局長官ジョン・S・マツケイン少將と緊密な連絡を保つてゐる、まことにジョン大佐の言葉を藉りれば「現在米國にあるものは全く英國艦隊空軍の縮刷版であつて、われわれが英國でやつてゐることは一事が萬事米國式の方法と聯繫」してゐるのである

いはゆる「艦隊空軍」本稱英國海軍航空隊は英帝國海軍の缺くべからざる一部をなすものである、そもそも「艦隊空軍」なる名稱は、英國海軍航空隊が海軍と空軍の二重の管轄下におかれてゐた當時に溯るものである、しかし、一九三八年以來海軍航空隊は英國海軍省の單一指揮下に屬することとなつた、もつとも、英國空軍沿岸警備司令部は海上任務に従事する海軍航空隊所屬飛行艇の協力を得ることになつてゐる

「英本土の戰闘」繼續中は器材の優先權は擧げて英國空軍にあたへられることになつてゐたので、

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

英國海軍航空隊は當時航空機に不足を來してゐた最初その主力を形成してゐたのはフェアリー・ソオドワイツシュ、あの速力の鈍い、がつちりした複葉機であつた、ソオドワイツシュ機の性能は

九汽笛、六九〇馬力星型發動機、最大時速一五四哩、巡航時速一三一哩

であつて、十八吋魚雷一箇乃至數箇の爆彈を搭載する、開戦以來同機はすでに敵船舶五十萬トン以上を撃沈してをり、またイタリア軍港タラント襲撃及びドイツ戦艦ビスマルク號追跡にも参加してゐる

スーパーマリン・シーファイアは元來陸上戦闘機として使用されてゐたものを海上戦闘機として轉用するに至つたものである、つまり、これはかの有名なスピットファイア戦闘機に洋上戦闘用の脚を裝備したものである、すなはち、艦載機としてカタパルト用卷框、甲板着艦鉤その他折疊翼など特殊装置をもつてゐる、その性能はロールス・ロイス・マリーリン液冷發動機、高度二萬一千五百呎において時速三七五哩、〇・三〇三吋機關銃四及び二〇ミリ機關砲二

さらに、フェアリー・バラクーダ機がある、同機の性能は、マリーリン發動機裝備、高度八千七百五十呎において一二六〇馬力、翼長四九呎であつて、搭乗員二乃至三名、最大爆彈搭載量二千封度雷装の場合は魚雷一箇を外部に裝置する

その他英國艦隊空軍が引渡しを受けた米國製航空機中には、ヴォート・コルセア、グラマン・ワイルドキャット、ヘルキャット及びアヴェンジャーなどが數へられ、この中アヴェンジャーは英國當局から「恐らく世界最上の雷撃機」との讃辭を呈されてゐる

空母任務の轉換

英國の航空母艦は、開戦後最初の六ヶ月間は開戦前行はれてゐた通説に従つて、空母は敵の基地空軍から遠く離れた海洋上で使用されるに最も適するとの想定に基づいて使用され、船團の護衛及び艦隊との協同をその主たる任務としてゐた、艦隊との協同動作をなすに當つては更に敵艦隊をも攻撃し得るといふ必要も生じてきた、しかし、當時は空母のかかる攻撃任務は敵に致命的な打撃を

與へるものでなく、單に敵艦隊の速力を減殺することによつて英國海上艦艇の敵艦隊捕捉を容易ならしめる程度のものと考へられてゐた

ノルウェー侵攻作戦はこの情勢を全く一變せしめるに至つた、この作戦は、空母から發着しうる高性能の單座式戦闘機を具備した航空母艦がさらに多數必要なことを明らかにした、これらの艦載戦闘機は航空母艦のみならず、艦隊の他の諸艦艇をも護衛しなければならなかつたのである

偵察と索敵

偵察は艦艇空軍の初期における任務の一つであつたが現在においてもなほその最も重要な任務の一つとなつてゐる、艦隊空軍當局者の指摘するところによれば、空中偵察は海戦の諸法則を變革せしめたものではなく、却て海戦の規模を非常に擴大するに至つたといふのである、すなはち、報告接受と同時に艦隊空軍は直ちに行動を開始する、そして、艦隊から二百哩前方まで飛翔してこの報告の眞偽を確かめ或ひは敵船舶を搜索する、時とするとこれは、ドイツ袖珍戦艦グラフンペー號の場合のやうに、數ヶ月を要することもあり、或ひはまた英國空母アークロイアル號の偵察機がドイツ戦艦ビスマルク號を追尾した時のやうに極めて短時間の急速な搜索に終ることもある

偵察と密接に關係のある他の任務は、地上および海上の目標物には射撃を加へないで、味方艦隊のために索敵を行ふことである、これは長期の作戦行動をとる場合には特に重要である、航空機の協同により艦艇は直接その火力を用ひずして有利に行動し得る、必要な場合には、索敵機に戦闘機の護衛をつけることもある、索敵機は夜間ならば目標物を照し出すために照明彈を投下する

航空母艦が地中海において擧げた戦果は特に目覺しいものがある、地中海一帯は一年中大部分空が晴れてゐるので、海上艦艇は甚大な損害を蒙る場合が多かつたが、英國海軍はその航空母艦を巧みに操作し、もつて中亞を敵の攻撃から救ふのに多大の寄與をなしたのである、英國の空母はその使用し得る艦載戦闘機が廢物乃至廢物同様の舊式なものでしかなかつた場合でさへ船團をしてモルタを無事通過せしめる上に重大な役割を演じた

英國艦隊空軍が偵察及び索敵の任務において果たしたところはまた頗る顯著なものがある、その最も目覺しい索敵行の一つは一九四一年三月英空母アークロイナル號を飛びたつたソオドフィッシュ機が、ドイツ戦艦シャルンホルスト號及びグナイゼナウ號によつて拿捕された英國船サンカシミロ號及びビナンカ號を捕獲したことだつた、兩船とも結局自沈はしたが、ドイツ側に捕へられてゐた英國船員はドイツ側の拿捕船廻航員とともに英艦レナウンによつて奪還された、更に海軍航空機による偵察が大規模の作戦の成功に寄與した例の最も顯著なものに、ドイツ戦艦ビスマルク號及び重巡洋艦ブリッツ・オイゲンがノルウエーのベルゲン港を出航したのを探知した偵察行がある、この情報は殆んど飛行不可能にちかい悪天候と熾烈な敵對空砲火を冒して得られたものであつたが、結局これがもととなつて右ドイツ二艦は英艦隊に追撃され、遂に撃沈されることとなつたのである

搭乗員の訓練狀況

英國海軍航空部隊は、英帝國海軍に所屬する全艦載機の作戦を擔當することになつてゐる、これら艦載機の活動は、米國海軍と同じく、海軍士官と兵員によつて行はれる、英國においては、初等及び中等の操縦科訓練は英國空軍管轄の飛行學校において實施されてゐる、これによつて英國の航空機搭乗員はすべて共通の基本的教程を與へられる、基本訓練の後、海軍航空隊操縦練習生は戰術學校の過程を経て、更に戰闘において使用する飛行機と同一の型の飛行機を用ひて専ら空母甲板發着訓練を行ふことになつてゐる、これらの訓練過程は海軍當局がその航空部隊において實施してゐる、更にまた経験を積んだ英國の操縦員が英國海軍航空部隊操縦練習生の訓練に當つてゐる米國內の各航空部隊に配屬されてゐる、この結果米英兩海軍當局は、訓練及び戰術應用に關して相互に協力し意見を交換しうる利便をもつてゐる、操縦科練習生は高等の訓練過程に入ると同時に各自その年齢によつて任官されることになつてゐる、任官の階級は、英國海軍志願豫備役特任海軍航空少尉候補生、同特任海軍航空少尉補および同特任海軍航空少尉などである、英國海軍志願豫備役なる名

稱は現役海軍士官と區別するために附せられたものである、米國に派遣されてゐる英國海軍飛行操縦練習生中操縦員たるの適格はあつても將來士官たる素質がないと認められたものは、操縦訓練完了後直ちに英國に召還されることになつてゐる

練習生の滯米生活

米國に來てゐる英國海軍航空隊操縦練習生は英國社會のあらゆる階層から選拔された青年達である、彼等は先づ米國の風俗習慣についてひと通りの講義を受ける、これは米國の現役兵が英國の生活様式について講義を受けるのと大體似通つたものだ、これら英國の青年達には米國新聞の連載漫畫とココカラ（米國で最も普及してゐる一種の清涼飲料）が一番人氣がある、彼等が米國に渡つて來て米國の新聞が莫大な紙面を漫畫に割いてゐるのを見て面白がつてゐるのはほんの當座の間のことだ、間もなく米國の一般讀者と同様これら漫畫の猛烈なファンになるのが常である、同様に彼等は忽ちにしてソオダ・ファウンテンの常連になつてココカラが人氣を凌つてしまふ、これら英國青年中のココカラ黨の一人などは航空隊の食堂に段々顔を出さなくなつたので軍醫が不審に思つて調べたところこの青年は毎日缺かさず二十杯もココカラを飲用しその上暇さへあれば餘分に愛飲してゐた、といつたやうな例さへある

練習生は艦隊の必要および各個人の適性に應じて特殊の訓練を施される、この特殊訓練は米國海軍當局が監着して實施するので、例へば、雷撃訓練はフォート・ロウダーデイル（フロリダ州）急降下爆撃はヴェロ・ビーチ（フロリダ州）艦載戰鬥機はマイアミ（フロリダ州）等で行はれる、特殊訓練完了後練習生はリウイストン（メイン州）航空隊に送られて最後の個人的指導を受ける、ここでは英國人教官を根幹とする英國海軍航空隊が設けられ練習生に米英兩軍の航空技術の差違を教へる、訓練過程の最後の段階は俗に仕上げと呼はれる三ヶ月の分隊訓練であり、戰闘機隊及び急降下爆撃隊はブランドスウィック（メイン州）雷撃隊はスコンタム（マサチューセッツ州）でそれぞれ仕上げを行ふ、これで練習生達は何時でも出陣の用意ができたわけだ

彼等は米國から直接戦闘地域に配屬され、多くは英國海軍將兵の乗込む米國建造の航空母艦に乗り他の英國搭乗員とともに完全な分隊を編成して米國製の飛行機で出撃するのである

徽章と階級

英國艦隊空軍將兵の徽章は金色の双翼に中央の花環が鎖を卷いた錨を圍みその上に赤と金色の王冠を配したものである、この双翼の徽章は、紺色制服着用の場合、左袖の階級を示す金筋の一番上部の線のすぐ上に佩用する、夏季カーキ及び白色制服着用の際は、米國海軍將兵と同じく、これを胸部左側に佩用する

なほ英國海軍航空部隊員の階級は、米海軍の少尉(Ensign)をSub-Lieutenantと稱し、海軍中尉(Lieutenant Junior Grade)の中間進級制度のなす點などを除くは他は悉く米國海軍航空隊員のそれと全然同一である、しかしその任務と編成には若干の差違がある、例へば、英國艦隊空軍にあつては海軍偵察員は航空機搭乗員の一部に編入されてをり、航空術爆撃照準、無電航空術、戦闘任務中の敵情その他無電通信の案文作成、暗號組立、送信等の専門的任務を擔當する、米國海軍においてはこれらの任務は操縦員が擔當する、しかし英國側では近代航空戦においては極めて複雑多岐な機械操作と頭腦的訓練を必要とするので一人の操縦員にこれらの任務を擔當させるのは負擔が重過ぎるとされてゐる、偵察員は通常専門の技術學校において訓練を受けた士官で、航空術、爆撃照準、可動銃座操作、索敵、暗號電文、戦闘中使用される無電装置の操作等の教育を施されてゐる、これら偵察員の佩用する双翼章は、操縦員の徽章の双翼が左右に張つてゐるに反し、その兩翼が上部に擴つてゐる特殊のものである、王冠と錨の模様は操縦員の徽章の場合と異らない

英國は目下その海軍航空隊の人員、航空機及び艦艇の擴張を圖つてゐる、上に述べたやうな英國海軍航空隊員養成に對する米國側の協力は英國のかかる擴張計畫進展に多大の寄與をなしてをりまた米國假裝航空母艦並びに米國製の新鋭航空機のため對英讓渡は、英國本土防衛及びドイツ爆撃のため

に要する直衛戦闘機隊整備のため多大の努力を割くことを餘儀なくされてゐる英國にとつて少からざる貢獻をなして來たものである

西歐上陸に使用された上陸用舟艇

「エンジニア」誌八月二十五日號

最近のノルマンディ上陸作戰では多種多様の特殊上陸用舟艇(Landing Barge)と大型上陸用舟艇(Landing Craft)を使つて成功を収めた、これらの舟艇の一部は英國國內河川沿岸の舟艇建造所で一部は米國各地で建造されたものである

上陸用舟艇の各種

上陸用舟艇は一般的にいふと、テムズ河を上下する平底船の形をとつたもので、船體は鐵製で嵌込みの渡し板があり、車輛や資材の輸送に使用される、そのうちの一つ車輛上陸用舟艇——BLV(Landing Barge Vehicle)は全長七十五呎乃至八十五呎、全幅十八呎乃至二十二呎、推進機關はクライスラー・ロイヤル發動機、百四十ブレイキ馬力、發動機の最高速度は二千八百回轉分、正常速度分轉二千回轉分、巡航速度分轉千八百回轉分二・五二の減速齒輪によつて推進機を動かす

本上陸用舟艇は良好な天候の下で時速五節で航續距離二百五十哩、ツーリン貨物自動車二臺、十三ハンドレツドウェイト積貨物自動車二臺、十四ハンドレツドウェイト積貨物自動車一臺合計五臺或ひは三トン積貨物自動車二臺、十五ハンドレツドウェイト積貨物自動車三臺合計五臺を積めるやうになつてゐる

修理用の特別非常修理用上陸用舟艇——LBE(Landing Barge Emergency Repair Craft)は前述の車輛上陸用舟艇と同じやうな構造だが、唯貨物自動車修理施設、萬力付ベンチ二臺、電氣熔接器、アセチレン截斷器などを備へてゐる點が異なる

その他燃料用石油或ひは水の輸送に設計された上陸用舟艇もあるが、これらの舟艇は全長八十呎乃至九十呎、積載量四十トンである

更に庖厨用上陸用解舟もあつて、LBK (Landing Barge Kitchen) と呼ばれてゐる、形はLBVよりやや大きく、料理用具、料理材料を積み込み、約八百人分の調理が出来るやうになつてゐる、通常の料理用具以外に冷凍装置も備へ付けてある

多種多様の上陸舟艇

上陸用舟艇は實に種類が多く、あるものは將兵上陸用に、あるものは車輛乃至戰車上陸用に造られてゐる、人員上陸用舟艇—LCP (Landing Craft Personnel) —一號及び二號は中でも最小のものである、LCPは木材、主として落葉松で製造され、一號は全長二十呎、全幅六呎、重量一トンで二號に曳航される、二號は全長二十五呎、全幅六呎三吋、重量二トンで、推進機關はフォード五八發動機である、二號の速力は單獨航行の際には十節、一號一隻また曳航の際には五節半、一號二隻曳航の際は四節八である、一號二號双方共兵十八名を乗せるやうになつてをり航續距離約三十哩これより大型の上陸用舟艇としては車輛上陸用舟艇—LCV (Landing Craft Vehicle) がある、全長三十六呎、全幅十呎、後部吃水三呎、推進機關はグレイ重油發動機二百二十五ブレイキ馬力、發動機の最高速度二千四百回轉分、平常速度千八百回轉分、巡航速度千六百回轉分である、本上陸用舟艇のうちにはハドソン・インヴェイダー發動機を取付けてゐるものもある、速力は十一哩から十四哩、航續距離八十哩

LCPとLCVの間には多數の型があるが、そのうち、中型上陸用舟艇—LCM (Landing Craft Medium) —及び援護上陸用舟艇—LCS (Landing Craft Support) 等が代表的なものであらう、このほか今一つ大型のものを挙げると、大型人員上陸用舟艇—LCD—L (Landing Craft Personnel Large) であるが、同型は全長三十八呎八吋、全幅十呎十吋、前部吃水一呎六吋、後部吃水三呎六吋、重量六トンで兵士二十五名を搭乗せしめ得る、發動機の種類によつて百五十から二百五十ブレイキ馬力まであり、これに従ひ速力も九節から十四節の間で變化する、この型の上陸用舟艇は航續距離百二十哩あり、武裝はルイス

式輕機關銃一門である

その他更に攻撃用上陸用舟艇—LCA (Landing Craft Assault) があり、全長四十一呎、全幅十呎、前部吃水一呎六吋、後部吃水二呎六吋、重量九トン、定員三十五名、推進機關は推進機二箇を備付け、約六十五馬力のソーニクロフト・パーソンあるひはスクリツプス五八型の發動機二臺を使用する、速力は七節、航續距離は五十乃至六十哩である、この型の上陸用舟艇には三隻に一名の割合で將校を配し、一隻毎に四名の下士を乗せる、これらの上陸用舟艇中あるものは一部に裝甲を施した木材で造られてゐるから、輕火器の砲火には耐へられる

米國製大型上陸用舟艇

米國で設計製作される大型上陸用舟艇は大型歩兵上陸用舟艇—LCI—L (Landing Craft Infantry Large) —で全長百五十六呎、全幅二十三呎八吋、海洋航行時の吃水は前部三呎、後部六呎に達する、重量二百六十トンで、甲板下に二百名甲板上に四十乃至五十名を積載し得る、船體は鋼鐵製で前部に幅四十二吋の渡し板二箇を備へてゐる、側面及び防壁は防彈鋼で作られ、發動機はゼネラルモーターズの推進機二箇付のもので、約九百ブレイキ馬力である、大型石油槽を備付けてゐる結果航續距離は長い、この型の上陸用船には將校二名、下士二十一名を配してゐる、武裝はエルリコン砲四門である

更に同種の上陸用舟艇中新型のものは床架に百八十六名を乗せられるやうになつてゐる、この型の上陸用舟艇は五種あり、夫々大きさが異つてゐる、そのうち第三號の性能を挙げると、全長百五十九呎十一吋、全幅三十四呎、チャーチル戰車積載時の吃水前部三呎六吋、後部七呎、輕裝時の重量約三百四十九トン、推進機關は五百ブレイキ馬力の海軍「V」型減速齒輪使用發動機二箇、速力十節半、航續距離約二千七百哩、防禦武器は二斤砲二門、エルリコン砲二門で、チャーチル戰車五臺乃至ヴァレンタイン戰車多數、あるひは資材三百トンを積載し得る、その他更にチャーチル戰車六臺乃至ヴァレンタイン戰車九臺、または貨物自動車十臺、あるひは資材三百五十トン積載し得る大型のものもある

昭和十九年十一月三十日(木)
第三二五六號

同盟通信

海外電報

(274)

【目次】

英國の破産白書

地下彈藥庫爆發死者無數……………二八九四
眞相はV二號の大攻撃か……………二八九五
徵兵案に兵士の反對……………
波新政權四面楚歌に悩む……………

【米 洲】

戰時權限法延長案……………二八九六
水島に米經濟使節……………
マレー再選さる……………
エセックス級新空母就役……………

【英 帝 國】

加内閣信任討議開始……………
漆州にユダヤ人部落案……………
アレキサンダー元帥に昇級……………
埃及駐屯英軍司令官更迭……………

【歐 洲】

瑞西は終始獨伊の壓迫に抵抗……………
チトー、工場、銀行を接収……………二八九七
マンレスコ逮捕さる……………
洪、更に動員強化……………

【西 亞】

土、對英政策再檢討か……………

【東 亞】

顧維鈞援助不足を訴ふ……………

【反樞軸陣營】

反樞軸第十五集團司令……………
歐洲戰況概観……………二八九八

【特 報】

リスボン使り……………二九〇〇

【資 料】

反樞軸諸國の對伊關係……………二九〇五
第二十一爆撃隊の成立……………二九〇六
グルーの新作「駐日十年を」評す……………二九〇七

イタリア共產黨旗制定

(リンボン二十五日發) ローマ來電「イタリア共產黨は新たにイタリア共產主義運動の旗を制定した旨二十五日發表した、意匠は赤地に金の星を左隅に付け中央に槌鑕、その下に「イタリア共產黨」の文字を入れ、旗の上には緑、白、赤のリボンがついてゐる、黨の布告によれば赤旗およびイタリア國旗と同時に掲揚することになつてゐる



東の地域に何時までも戀々としてゐるならば亡命政權をぶつ潰すぞと威嚇したことをいへば十分であらう、ここで哀れを止めたのはミコライチクである、彼は米英ソ三國の要求に屈服して新國境線を承認しなければ、ポーランドの主權と獨立などは七里骨灰となることを知つてゐるのだが、ラチキエヴィツチ、ソシンコフスキーと並んで反ソ派の三羽鳥の一人クワビンスキーとその一黨が猛烈に反對した、それやこれやでミコライチクも嫌氣が差し、亡命政權を投げ出してルブリン政權に鞍替へしようとしたと思はれるが、滑稽なのはクワビンスキー一派だ、彼らは一九三九年九月以來戦争はそつち除けて政争に憂身を費し、レーチ・ボスボリータの光がとうの昔に消えたのも御存知なしで大ポーランド帝國の再建を夢に見、米英兩國の尻押しを當てにして結局寢冷え風邪をひいた形である

英國の破産白書

(ストックホルム二十八日發) イングランド銀行理事ケーンズ卿は去る九月以來ワシントンに乘込み英國の財政難を訴へていはゆる「貸與協定の續篇」締結に躍起の仕事を續けてゐるが、ロンドン來電によれば英國政府はケーンズ卿の工作掩護の趣旨で二十八日白書の形式をもつて歐洲戰爭開始以來英國が蒙つた損害ならびに死傷に關する總計を明らかにしたと傳へられる、白書の發表に當り情報相ブランドンブラツケンは特に記者團と會見し

英國は今回の戰爭で國富の大半を犠牲に供した一九四四年八月までに國內五千五百餘の工場がドイツ軍の攻撃で破壊され、開戰當時米國內で保有してゐた老大な金準備は悉く費消してしまつた、巷間英國の戰爭努力について失當な批判を聞くがかかる批判を反映するため今回白書を發表した

と述べたが、白書に掲げられたる主要な數字次の通り

△英國人の死傷

戰死 一七六、〇〇〇 戰傷 三八七、〇〇〇

(一九四四年九月末日現在) 市民の死者 五七

二九八 市民の傷者 七八、八一八 商船隊員

の死者 二九、六二九 抑留 四、一七三(一

九四四年八月末現在)

△家屋の全壊乃至破損

四百五十萬戸(全國の戸數一千三百萬戸だから

大體三戸につき一戸の割合)

△資本の喪失

海外投資十億六千五百萬鎊を軍需品買入れ資金として引渡し、他に外債二十三億鎊を負擔した、輸出貿易額は一九三八年の年額四億七千百萬鎊から一九四三年には二億三千二百萬鎊に減少、五ヶ年を通じて輸出額の減少は七〇%に達する

△戰爭努力

現在の武裝兵力の兵員は男子四百五十萬、女子五十萬他に男女各七百萬が軍需工業または防護團に参加し百七十五萬の男子が豫備兵力として控へてゐる、従つて全人口四千七百萬が殆んど百パー

セント戰爭努力に動員されたに等しく、家庭を持つてゐる既婚婦人、病人並びに六十四歳以上の男子が戰爭努力の圏外に立つてゐるに過ぎない、飛行機の生産數十萬二千機、内重爆は一萬一千八百臺でさらにそのうち二千三百八十九臺は一九四四年上半期の生産數字である、戰車生産數二萬五千臺、機關銃約四百萬挺、海軍艦艇建造數は大型艦船七百二十二隻、その他の艦艇五千二十二隻、商船六百七十五萬重量トン、現在戰團機の月産高は九百四十臺である、一九四三年現在の商船保有トン數は一千三百五十萬總トンで一九三九年に比し二九%減、耕地面積は一千三百萬エーカーから一千九百萬エーカーに増加

地下彈藥庫大爆發

村落埋沒、死者無數

(ストックホルム二十八日發) 二十七日英國中部の都會バートン・オン・トレント(ロンドン西北方約百八十キロ、トレント河畔)から程遠からぬ地下彈藥庫に大爆發が起り全世界を驚かした、即ちバートン・オン・トレントからのロイター電報はかう報じてゐる

二十七日當地から數哩の英空軍地下彈藥庫に大爆發が起り爆風は六十哩の遠くまで感じられた地面には深さ三百呎の大穴が開けられ、周邊地區一帯には爆彈が飛んでさらに爆發を起し、廣大な範圍に被害を及ぼした、事務所も農園も一瞬に消え去り、無數の牛馬が殺された、死者の數については或る方面では二百二十人以上と稱してゐる

また別なロイター電によると彈藥庫は二回に互り大爆發を起し、その死者數は百人といひ二百五十人といひ、全く一定しない、バートン市警察當局はこれに關しから述べてゐるといはれる

まだ死者數など發表するどころではない、われわれは死者名簿を作らうとして一晩中働いたが行方不明といふ者も非常に多い、彈藥庫附近一帯は沙漠と化し隣接する二村落は残つてゐるとはいふものの爆風のため滅茶々になつて了つた

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

真相はV二號の大攻撃か

(ベルリン二十八日發) 英空軍地下彈藥庫大爆發の報は中立國を通じて直ちに傳へられたが消息筋の言によると爆發した彈藥の量は價格に直して數百萬磅に上る見込でドイツに對し大規模空襲數百回を行ひ得る量だといはれる、原因は明らかでないが直ぐ考へられるのは或ひはV二號の爆發だけではないかといふことだ、この爆發がV二號のためだといふ可能性があるとみれば、爆發の事情をV二號の効果と比較することは極めて興味深い

特に注目されるのは英國側報道に現れてゐる次の諸點だ

一、爆發は今大戦空前の激しさで全地域が數時間絶間なく爆撃を食つたやうな状態を呈してゐる

一、農園や農家が完全に姿を消して無數の家畜が殺された

一、附近の工場や建築物が簡単に空中に消し飛び數哩離れた建築物も破壊された

かうした被害状況のほかに特に興味を感じるのはV二號の場合でも今度でも埋没した犠牲者の發掘といふことが盛に報じられてゐる事實だ

徴兵案に

(リスボン二十八日發) オツ

兵士の反對

タワ來電〓カナダ政廳の徴兵海外出征案に反對し、國內防

衛軍の兵士約百名は二十七日夜オツタワ市で示威運動を起し、更に英領コロンビヤ州のプリンス・ルーパートでは、防衛軍三ヶ聯隊は即時歸休を要求、ケベックに歸して呉れるまで「坐り込み」戦術に出てゐる

波新政權四面楚歌に悩む

——三度モスクワ行きも豫想——

(ストックホルム二十八日發) 亡命ポーランド政權首相ヤン・クワピンスキーの組閣工作はミコライチクの主宰する農民黨が新政權に不参加を表明したため難航を餘儀なくされてゐるが、ロンドンからのロイター電報によればクワピンスキーは農民黨を除く各派聯立内閣の組織を二十八日中に

完了、顔觸れを發表する筈といはれる、但し新内

閣は農民黨が願意する場合を豫定して、同黨代表に對する閣僚の椅子を空けておいてゐるやうだがAP電報によればクワピンスキーの社會黨は農民黨の協力を要請するため二十七日農民黨首脳と會見、ミコライチク、ロメルの新内閣参加を求めたといはれるが、會談の結果は失望に終つた模様だまた大統領ラチキエヴィツチも二十八日ミコライチク、ロメルと會見、クワピンスキー内閣に對する協力を要請したが、更にチャーチルは同日兩者を招致、イーデンを交へて種々懇談を遂げたといはれ、亡命ポーランド側の一部は依然として希望を棄ててゐない、しかし各方面の慰留工作にも拘らずミコライチクの肚は極まつてゐる様子で、モスクワからのAP電報はミコライチクが三度モスクワを訪問してスターリン議長と會見、場合によつてはルブリン政權に参加することも考へられると豫想してをり、萬一かかる事態が発生したならばロンドンの亡命政權は存在價值すら喪ふこととならう、他方農民黨のクワピンスキー内閣反對に加ふるにキリスト教民主黨も態度決定を留保してをり「デリー・テレグラフ」紙のごときは

ポーランドの最大政黨たる農民黨が代表せず且つ當初からソ聯の反對を浴びてゐる新政權を米英兩國が承認するかどうかは大いに疑問だと不吉な觀測を行つてをり「タイムズ」紙も社説において次の通り警告を發してゐる

亡命政權の一部ではソ聯との交渉を遷延すればするほど有利となるといふ謬見を抱いてゐるがこれほど危険で思ひ上つた考へはない、過去二ヶ年間に亘る亡命政權の怪からぬ「活動」といふよりは「不活動」は、米英兩國の政權支持への道を閉してゐることに彼等は氣付いてゐないやうだ

また「マンチエスタ・ガーディアン」紙もミコライチクの政權投げ出しは亡命ポーランド陣營の破局を意味するにほかならない、クワピンスキーがミコライチクとは別の方式でソ聯に對抗できると考へてゐるならば、それは同政權の自殺だ

【米 洲】

戰時權限

法延長案

(リスボン二十七日發) ワシントン來電ニ下院法制委員會は二十七日日本年末をもつて満期となる戰時權限法の一年延長案を可決した、權限法は戰時生産局、戰時食糧局、國防運輸局、物價管理局をはじめその他の戰時非常機關の基礎をなす法律だが、委員會を通過した延長案には戰時生産局及び物價監理局が物資配給優先制度の下で行ふ民間商社に對する物資配給停止命令は裁判所の承認を要するとの修正條項が附加されてゐる

氷島に米

經濟使節

(リスボン二十七日發) 「デーリー・メール」紙の報道によれば米國の民間經濟團體を代表する使節團一行が最近アイスランドを訪問したといはれる目的は機械類、自轉車、ラジオ機械その他家庭用品の賣込みにある模様だが「デーリー・メール」紙は從來これらの商品はいづれも英國から賣込まれてゐたことを指摘して米國による英國市場の侵略に不安を表明してゐる

マレー

再選さる

(リスボン二十七日發) シカゴ來電ニシカゴで年次大會開催中の産業別組織會議は二十七日日ワイリツプ・マレーを第五期議長に再選、更に會計委員にジェームズ・ケアレーを再選した

エセックス級

新空母就役

(リスボン二十七日發) ブルツクリン來電ニ去る四月進水した米海軍の新空母「ボンノム・リチャード」は二十六日就役した、同艦は排水量二萬七千トンで開戦後進水した十三番目のエセックス級空母で搭載機數八十機、最高時速三十ノット以上、艦長は大佐アドリアン・ルールである

【英 帝 國】

加内閣信任

討議開始

(リスボン二十七日發) カナガ政界は首相マッケンジー・キングの海外派遣軍一部徴兵令の緊急令布告を繞り、緊張を續けてゐるがオッタワ來電によれば下院は愈々二十七日キングの要請に基いて現内閣信任投票に關する討議を開始したと傳へられる、討議開始にあたりキングは

議會が現内閣を支持し政策遂行に協力しなければカナダは無政府状態に陥る恐れがある
と述べたといはれる

濠洲にユダ

ヤ人部落案

(リスボン二十七日發) 「タイムズ」紙キャンベラ特電によれば濠洲在住ユダヤ人は濠洲政廳に對し西オーストラリア州北部の主要金産地キンバレイにユダヤ人部落を建設することを要求したが、關係當局は二十七日濠洲國內に多人數の外人部落を設置すれば他の外人に影響するところ大であるとの理由で右要求の拒否を政廳に建言したと傳へられる

アレキサンダー

元帥に昇級

(リスボン二十七日發) ロンドン來電ニ英國陸軍省は地中海方面反樞軸最高司令官大將ハロルド・アレキサンダーが元帥に昇級した旨發表した

埃及駐屯英軍

司令官更迭

(リスボン二十七日發) カイロ來電ニ前イタリア派遣英軍司令官中將チャールス・オールフレイはエジプト駐屯英軍司令官に任命された旨二十七日發表された、前任者中將ロバート・ストーンンの轉出先は不明である

【歐 洲】

瑞西は終始獨伊

の壓迫に抵抗

(チューリツヒ二十六日發) スイス陸相カール・コベルトは二十六日一場の演説を試み外國軍隊並びに市民の入國要求に對するスイス將來の態度につき次の通り示唆した

スイスは現在二十ヶ國以上の避難民約十萬を收容してゐるが、萬一外國軍隊がスイス國境に逃げ込んできた場合スイスは國際法に準據して入國を許可乃至拒否する權利を留保する、さもないとスイスは戰爭に捲き込まれることとならう
ついで外交政策に關しては次の重大聲明を行つた
ソ聯はスイスの國交修復希望を拒絶したが、スイスは終始一貫ナチ及びファシストの壓迫に抗して歐洲新秩序に参加することを斷乎拒否した事實を想起すべきだ、スイスは今後また公明正大な道を進み、ソ聯との間に正當で友好的な關係を樹立するため努力するであらう

同盟通信

海外電報

(第三類郵便物)

チトー、工場

(リスボン二十七日發) ベル
グラード來電「ユーゴ國民解

銀行を接收

放委員會(チトー政權)工業

委員部は國內の工場、商社二千、銀行數行、農場
三萬を國家管理下に接收する旨の布告を二十七日
發表した

マノレスコ

(リスボン二十七日發) プカ
レスト來電によればルーマニ

逮捕さる

ア政府は愈々政界親獨派領袖

の大々的な檢舉を開始、二十七日にはまづ元首相
ギウルツ及び元外相マノレスコが逮捕された、ミ
ハイ・マノレスコは一九四〇年九月「ウイーン調
停」に調印して南トランシルヴァニアをハンガリ
ーに割譲した廉による

洪、更に動

(ブタペスト二十七日發) ハ
ンガリー政府は二十六日ベレ

員を強化

スキー國防相の名において特

別動員令を公布しこれまで召集を免除された大ブ
ダペスト市内に住む豫備將校、下士官及び特殊訓
練をうけた兵士の動員を命じた

【西 亞】

土、對英政策を

(リスボン二十七日發) トル
コを繞る英ソ兩國勢力の均衡

再検討か

はモスクワ會議以來微妙な動

きを示してゐるが、イスタンブールからのエクス
チエンジ電報は二十七日次の通り報じてゐる

ロンドン駐劄トルコ大使ユナイデンはトルコ外
務省の會議に出席するため近くアンカラに歸還
するが、各種情報を綜合すれば、ドイツと斷交
した後英土關係の改善を希望したトルコ政界は
痛く失望してゐるやうだ、理由は英國が目的を
達したためトルコに對する態度を著しく控へ目
にするに至つたことと、トルコ外務省が英土關
係を促進してまでソ聯との關係を惡化させるこ
とを嫌つてゐるためである、以上の事情はトル
コ言論界の動向に明確に反映し、最近の新聞は
バルカン問題に觸れることを極力回避してゐる
たとへばルーマニア、ブルガリアに對するソ聯
の政策は當然トルコの關心を牽かねばならぬの

に新聞は一切論評を避けてゐるばかりでなく、
赤軍が國境のトラキア地方に進駐したといふや
うな重大事實すら默殺してゐる實情だ、元來ト
ルコの指導部は英國の尻押しでソ聯に對抗して
ゐたのだが、イーデンがモスクワ會議後トルコ
を訪問せず、大統領イノニエーにモスクワ會議
の経緯を説明する勞すら怠つたことはトルコ政
府に相當深刻な影響を與へた模様で、トルコ外
務省はロンドン駐劄大使を呼んで報告を聴取し
た上で、對英政策に再検討を加へることに決意
したものとみられる

【東 亞】

顧維鈞援助

(リスボン二十七日發) ロン
ドン來電によればロンドン駐

不足を訴ふ

割重慶大使顧維鈞は二十七日

マンチエスター午餐クラブにおける演説で左の如
く支那大陸の戰略的重要性を強調し重慶援助の不
足を訴へたといはれる

日本艦隊だけを撃滅しても日本を屈服させるこ
とは出来ない、今やアジア大陸に強力に立て籠
つた日本陸軍を潰滅することも同時に必要だ、
重慶は海外から受取つた補給物資をもつて有効
に活用すべきだとか、この物資を將來の内亂に
使用する目的で貯藏するやうなことはせず共產
軍と頒つべきだと稱する者は事實を完全に知つ
てはゐない、空輸補給は最近増量したが重慶軍
に割當てられたものはその僅か一割にすぎず、
本年五月までに受渡された數量は七個師の兵力
が一週間未満の戦闘に要する裝備を施しうるに
過ぎないであらう、重慶は最近數ヶ月にわたり
最も重大な事態に直面したが海外の或る方面で
時折危惧されるやうな重慶崩壞の危険はない

【反樞軸陣營】

反樞軸軍

(リスボン二十六日發) ナボ
リ來電「反樞軸地中海方面最

第十五集團司令

高司令部は二十六日イタリア

派遣米第五軍司令官中將マーク・クラークをイタ
リア派遣反樞軸第十五集團軍司令官に任命した旨
發表した

歐洲戰況概観

白熱化する西部要塞攻防戦

アンゼンハウアーが麾下のほとんど全軍をあげて行つてゐる西部要塞に對する總攻撃は既に十二日を經過し戦鬪は刻一刻白熱化しつつある、これまで西部要塞線の遙か前面で展開されてゐた中、南部地區の戦鬪も米第三軍、米第七軍及びフランス第一軍の迅速な進撃により今や漸く西部要塞の前哨陣地に移るに至つた、全般的にみて現在の作戦はレール河流域、ザール、アルザスの三地區に分けられ、オイベン東方の丘陵地帯からルクセンブルグ東方のトリールに到る地域を除き戦線は極度の緊張を呈してゐる、現在の戦況において先づ注目されるのは最重要戦區であるレール河流域の戦鬪が動きに乏しく中、南部特に南翼のアルザスでは流動状態にあることだが同時にこの數日來天候が回復すると共に反樞軸空軍の戦術空襲が熾烈化してきたことも見逃せない、攻防兩軍の力の均衡を空からの攻撃によつて破るのは反樞軸軍の常套戦法であり反樞軸軍が目下西部要塞の攻略にその總力を傾け盡さうとしてゐる氣配がこれによつて窺はれよう、二十七日のアイゼンハウアー司令部の戦況公報について空軍の活動状況をみるならば「オランダにおいては地上部隊と協力中の戦鬪機並びに戦鬪爆撃機隊はドイツ軍の砲兵陣地抵抗據點を攻撃し、また中型並びに戦鬪爆撃機隊はオランダ北部東部及びドイツ國境地區の飛行場兵站線を爆撃、ガイレンキルヘン地區では戦鬪爆撃機隊はドイツ軍機甲部隊並びに密集部隊に攻撃を加へ更にユーリツヒ南方ではドイツ軍機甲部隊の反撃は戦鬪爆撃機隊によつて撃退された、右爆撃機隊はさらにデュレン、レングヴェの兩地及び兩地域におけるドイツ軍の砲兵陣地、兵員を爆撃、戦線後方の兵站線、輸送網も攻撃目標となつた、レイト（グラドバツハ附近）の操車場も中型爆撃機隊の攻撃をうけザール戦線の要塞化された諸都市も戦鬪爆撃機隊によつて爆撃された」といふ有様でこれが二十六日における反樞軸空軍の前線における動きである、地上戦鬪の状況も以上の中に反映さ

れてをり反樞軸軍が最も前進に困難を來たすと同時にドイツ軍の反撃が最も強いガイレンキルヘンからユーリツヒ南方にかけて直協機隊の出撃が著るしいのが注目されよう、さてクリスマス以前にライン兩岸地區でドイツ軍の主力に決定的打撃を與へようと焦つてゐる反樞軸軍の進出状況を概観しよう

英軍ヴェンローへ

北部戦區はオランダ東部マース河岸のヴェンローからガイレンキルヘンに到る二十五哩の線とガイレンキルヘンからデュレン西南方のヒュルトゲン森に到る約三十五哩の線とに二分される、ガイレンキルヘン北方の戦鬪は未だ準備作戦の域を脱せずデンブシーの指揮する英第二軍の一部がこれに當り目下國境都市ヴェンローを當面の作戰目標としマース河を挟んでドイツ軍と對峙してゐるが既にデンブシー軍はヴェンローを招呼の間に望む地點まで迫つてゐるといはれる、ドイツ軍當局でもこの方面の作戰を比較的に重視し英第二軍が全面的にドイツ國境へ到達すれば北部戦區の作戰は決定的段階に入ることにならうと述べてゐるほどで、同方面の戦鬪をもつて單にガイレンキルヘンデュレン地區に布陣する反樞軸軍の側面を防禦する目的をもつに過ぎないとみるのは當らない、英第二軍の一部及び米第九、第一軍の二個軍團半の大兵力を以てアイゼンハウアーが攻撃の重點をおいてゐるレール流域の作戰は現在最高潮にあり、反樞軸側の情報によればドイツ軍もまたケルン、デュッセルドルフの前面に極めて有力な部隊を集結してゐる様子で、二十四日アンゼンハウアー司令部の發表したところによればガイレンキルヘン地區だけでドイツ軍は戦車三箇師戦車擲強兵一箇師歩兵二乃至三箇師獨立大隊二を擁しリンニツヒからユーリツヒに到る正面で英第二軍並びに米第九軍に對し眞向から反撃を加へてをり、またケルン前面にも略々同程度の兵力を集積してゐるといはれる同方面における反樞軸軍の第一の目標はエルケレンツ、ユーリツヒ、デュレンにあり英第二軍のエルケレンツ進撃が最も遅れてゐる

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

英第二軍はガイレンキルヘン占領後去る二十一日ヴルム溪谷でジグフリード線の主陣地に接觸するに至つたが、その後兵力の不足のためか全く足踏み状態を續けてゐる様子である

レール河流域の激戦

これに反し米第九軍は最も進出し既にレール河西岸に前進ユリツヒ西方三軒のコスラルを繞つてドイツ軍との間に一進一退の激戦を展開米第一軍はアーヘン、ケルン公路上の要衝フイスワイラー及びヒュルトゲン森林の東北方からそれぞれレール河東岸のデュレンを目標してひた押しに前進深さ六呎巾二十六呎に達するといはれる戦車壕、地雷原等に加ふるにドイツ軍の反撃に悩まされながらも徐々にデュレンへ接近してゐるといはれる二十七日戦闘はデュレン西方五哩のラングヴェ南方の高地で最も熾烈を極め、またフルトゲン森林地區では米第一軍の別働隊は漸く同森林の東端に達し漸進を續けてゐるが同部隊の先陣をつとめてゐるのは九月十一日ドイツ國境を最初に突破した米第四師團であると傳へられる

米第三軍の作戦はこの地區は從來ロレーヌ戦線と呼稱されてゐたが戦線の現状からみて既にロレーヌ戦線の名は適當でなく二十五日の前線報道のごときは今將にザール攻防戦が開始されようとしてゐる旨報じてゐる、同地區の戦闘はルクセンブルグ東方モーゼル河岸のレミツヒからザール河岸のメルチヒに至る正面と、ブーゾンヴァイルから大體マジノ線に沿つてザールブリュッケン南方メーデルヒンゲン東方のザールユニオンに至る線に大別される、中部地區において注目すべきは二十七日米軍がザールブリュッケン前面のマジノ線における強力な據點であるサン・アヴオルドを占領した事實で右部隊はサン・アヴオルド占領後既にドイツ國境へ四哩の地點に到達したといはれる

ライン兩岸の激戦

さらに中南部地區の境界をなすザールブルグ東方では過去一週間來戦況に著るしい變化が生ずるに至つた、ヴォーージュ山脈の北端に位するサヴェルヌ關門の突破がそれで米第三軍及びフランス第一二軍は二十二日サヴェルヌを抜いて一氣にアルザス平原へ突入ライン・マルヌ運河に沿つてアルザ

スの主都ストラスブールへ雪崩れ込むに至つた、反樞軸側の諸情報頻りにストラスブールを以て「ラインのスターリンググラーブ」だと稱してゐるが同地がスターリンググラーブほどの戦略的重要性を有するかどうかは別として既にストラスブールでは市街戦が行はれ、目下ドイツ軍はライン河岸の街區に據つて頑強に敵の完全占領を阻止してゐる状態である

反樞軸軍は一部を以てストラスブール攻略に當てると共に他の有力部隊を二分してストラスブールから南北へそれぞれ進撃を企圖してゐる模様でアルザス北部のドイツ軍はこれに對し二十六日來十哩餘りのサヴェルヌ、ストラスブール回廊の遮斷作戦を開始したと傳へられ、右作戦の推移はアルザス戦線の今後を左右するものとして看過し得ない

ストラスブールへ突入した部隊と呼應して、米第七軍の主力は目下西方からヴォーージュ山脈の峠越しにアルザスへ滲透しつつあるが、このうちサン・デイ北方からプロイン溪谷沿ひに東進中の部隊がシルメツクを抜きアルザス平原へ進出しかかつてゐるのはアルザス戦線の現況から見てドイツ軍にとり、少からぬ脅威を與へるのではないかと見られる、一方ベルフォールを迂回してラインの線に進出し目下アルトキルヒ、ムルーズを経て北上しようとしてゐるフランス第一軍は、いまだにベルフォール關門を確保してゐないため逆にドイツ軍によりベルフォール、デル間の回廊を攻撃されてをり必ずしも西部戦線最南翼の戦況は決定してつたわけではない、いはば同方面における戦闘は現在ベルフォール關門の爭奪戦であり、もし反樞軸軍が同關門を制壓することになればアルザス戦線のプラスコヴァイツチ軍は北西南の三方向からラインに向つて壓迫されることになり、ライン東岸への全面的撤收を餘儀なくされることとならう、以上は二十七日までにおける西部戦線の戦況概観であるが二十七日にはライン上流の東方四十哩の地點に反樞軸空挺隊が着陸したとの報道もあり、十二月を迎へると共にアイゼンハウアー軍の總攻撃は愈々急調子を示すものとみられる

リスボンだより

—— 早くも經濟戰の序幕 ——

十一月二十五日 日本特派員

英國の夢破るV二號

マンシヨンハウスにおけるチャーチル首相の演説で歐洲戰爭の見透しが決して坦々たる大道に白駒を驅るやうに簡單容易でないことは英國人の間にもはつきりしたが、ドイツ軍當局が矢繼早にV二號の發動を發表したので英國人は三度——ドイツ空軍の大爆撃から夏の流星彈攻撃と都合三度だ——不安のどん底に陥るに至つた、十月上旬からの「タイムズ」紙その他を拾ひ讀みすれば英國人が専ら戰後復興の夢を追つてゐたことが明らかだが、それだけに今度は失望と焦燥とが一層深刻だ。十月十日の「タイムズ」紙には郷土軍（ホーム・ガーズ）に關する次の陸軍省發表が出てゐる

英國政府はホーム・ガーズが最早現役任務を果たす必要がないとの決定を下した、従つて同軍は十一月一日から待機の状態に入る、但しホーム・ガーズ解體の決定はまだなく、今後も情勢に應じ再び召集されることがあらう

さらに十月二十三日の「タイムズ」紙は次の内務省令を掲載してゐる

既に英本國の他の諸部分で實施されてゐる民防衛一般任務削減がロンドン、東部、南部、東南部各地區に亘り十月二十二日から施行される、ロンドン地區では民防衛團の正規團員數は半減、その他の地區では三分の一から三分の二に削減、さらに一部地域では正規團員のうち極く少數の中核體だけを維持する、同時に時間極め勤務の團員の服務時間は最大限四週間につき二十四時間に縮減する

滑稽なのはロンドン市内の住宅修復事業だ、十二月二十八日の「デーリー・テレグラフ」紙は次の通り報道してゐる

二十七日下院における討議で議員の間からロンドン市内の住宅復舊工事が捗取らないといふ文句が出たところ、保健相ウイルニクは爆撃で破壊された家屋の修理に既に三千萬磅から三千五百萬磅の經費をかけてゐる旨を述べ、過去四週間に總數八十萬戸の内十萬戸までは可成り住心地よい程度にまで修理したが、右修理の進度を促進する方針だと付け加へた

十一月八日には議事堂再建委員會が約七十八萬四千磅で下院の再建計畫を發表し、九日にはモリソン内相がロンドン市内の街燈照明をあかるくする旨下院で述べてゐる

V二號についてはチャーチル首相が十一月十日下午院で恐るべき性能を報告した以外英國政府は一切秘密主義で、特に被害狀況など極力秘匿してゐるが、今にドイツ軍が大量にV二號を叩き込み出したらロンドンでは文字通りの廢墟と化してしまふだらう、英語で「青空からの稻妻」といふが、白晝卒然として成層圏から降つてくる一トン爆彈にロンドン市民は既に生色を失つてゐるに違ひない

頭痛の種は戰後の財政

次に英國國民の深刻な悩みは戰後における財政上の工面だ「フアイナンシャル・ニュース」紙が十月二十八日の紙上で「ハーバース・マガジン」誌に出たジョン・フィツシャヤの論文を引用してゐるが、英國人からみればこの論文は随分痛いところに觸れてゐるに違ひない

戰爭が濟んだ時には英國の經濟體制はすっかり血を吐いて蒼くなつて了はう、貿易豫算のうち毎年十億弗乃至以上の不足を一體英國はどうして賄つて行くのだらう、四つの方法があるだけだ、第一には輸入を切下げるか、第二には不足をうめるだけ外國から借金するか、第三には現在の輸出貿易を即時倍に増加する全面的仕事を始めるか、第四に米國が三、四ヶ年の過渡期を通じ毎年英國に一億弗位宛食糧木材その他の原料品を補給するとだ

米國からの物資に對して英國は何で支拂ふか？

金では解答にならない、英國の不動産が唯一つの解決だ、ある戰略的諸基地を英國が提供する代りに、米國が戦ひに疲弊した英國人に食はせ且つ住まはせるお手傳ひをするといふのが兩國にとつて健全な取引だらう

米國人は物量に物をいはせて同盟國の英國からさへ戰略要衝を奪ひ取らうといふのだが、英帝國の清算はチャーチル首相を初め英國人の最も嫌ふところだ、戦後の貿易についてシテイの各商社代表に質問を出した結果についてロイター電報は九日次の通り報道してゐる

戦後輸出市場において米國との競争を豫期するか？　しかり七五%、否一二%

輸出市場園について戦後米國との取極めを希望するか？　賛成六〇%、反對二六%

原料資源について米國との取極めを希望するか？　賛成五九%、反對二五%

ブレトン・ウヅの提案　支持六六%、反對七%

米國に對する貸與債務の處分案　棒引き五一%
物資による償還二五%　領土割譲による清算二%
回答拒否八%

但し物資による償還を主張する向きも果して米國が物資を受けとるかどうかにについては疑問を抱いてゐる

ある會社は「米國人が近代社會の動向について成長した觀念を抱くに至るまで、米英兩國間に經濟的合作はありえない」と回答してゐる

米英間の重大懸案

貸與債務の處分は恐らく米英兩國間の重大な懸案として、今後色々な問題を惹き起こすに違ひなく、「マンチェスター・ガーディアン」紙は十月十七日の紙上で次の通り述べてゐる

「ニューヨーク・タイムズ」紙の報道によれば貸與法に基く食料の供給は嚴格に軍事上に必要な限度に削減されたといふが事實らしい、過去一ヶ年間の貸與物資は段々削減され、貸與制から遂次 (cash and carry) 制に移されてゐる、しかし工業原料品が移されるなら、英國の工業界も一部輸出を復

活出来る譯だ、最近まで英國の工業界には、輸出を目當てに生産を増加する餘力は餘りなかつたが問題は今では明かに重大となるに至つた、例へば貸與法に基く鐵と鋼鐵とがこなくも、英國の工業界は今では十分やつて行けるといふ意見を聞くが實際に削減されてゐる貸與物資は、ほとんど専ら食糧品その他製造品の輸出とは何等關係のない煙草のやうな物資だけだ、ニューヨークからの報道によればキューバ産の砂糖も貸與物資表から削除されたといふから、英國としては今後砂糖の買入に弗貨を支拂ふか、乃至磅貨園でもつと砂糖を買入れねばなるまい

現にイングラント銀行理事ケーンズ卿がワシントンで米國政府との間に貸與追加協定案について交渉してゐるといふが、當初チャーチル首相はテベック會談で、六十五億弗の貸與物資でうち三十五億弗までは、軍需以外の物資で英國が再輸出してもよいといふ協定案を提出した、ルーズヴェルト大統領は原則上異議ない旨を答へたといふので英國代表團では大體話が纏つたと思ひ込んだらしいが「ニューヨーク・タイムズ」紙の報道では米國議會が決定權を持つてゐるので實際にはまだ何ら話合ひが出来てをらず、英國代表は再輸出量を總額二十五億弗に引下げた上で交渉を進めてゐるらしい

經濟戰爭の序幕

貸與協定の更新に關する交渉は、いふまでもなく米英兩國間の經濟戰爭の序幕だ、「ファイナンシャル・ニューヨーク」紙などは最近殆んど連日右交渉の経緯を傳へてゐる、先づ十一月一日付の同紙は「ユナイテッド・マガジン」紙の報道を傳へて曰く

歐洲戰爭が片付けば貸與協定に基く英國への援助は徹底的に削減されるか、或ひは更に全的に廢止されるかも知れない、一度米國の産業界が平時生産に切り替へた後には、競争相手國に工業製品を呉れてやるにしても、その基準を決定することがむづかしい、歐洲戰爭終了後日本軍との戰爭の期間については、二つの對策が現在考慮されてゐる

第一は貸與協定を繼續すること、第二は東亞反攻作戰に對する英國の寄與に對する代償として英國に一ヶ年二十五億弗乃至三十億弗の物資を贈與することだ、英國は現在歐洲と太平洋兩戰線における戰爭に貸與協定が寄與してゐると同じ額を、日本軍に對する戰爭についての支援として要望してゐる、しかし米國が自國産業の一部を割愛して英國に軍需品を提供し、そのお蔭で英國の産業界が輸出向けの平和物資の生産に立ちかへるといふ點に困難が潜んでゐる、問題の根本は米國の弗貨が英國の勝利だけでなく、英國の回復にも寄與しなければならぬかどうかだ、この點は結局議會の決定に俟つ他はない

「ニューヨーク・タイムズ」の報道

同紙のニューヨーク特電は十一月四日さらに次の通り報道してゐる

「ニューヨーク・タイムズ」紙のワシントンに電報によれば、ケーンズ卿を首班とする英國代表團はルーズヴェルト大統領並びに顧問連と貸與協定の「續編」が出来るかどうか交渉してゐるといはれる、チャーチル首相は過般ケベック會談でルーズヴェルト大統領に對し、英國の輸出貿易を建て直すため非軍事物資少くとも二十五億弗を米國から入手し再輸出し度い旨を提案した、もつともルーズヴェルト大統領は三日記者團との會見で右協定が成立したとの報道を極力否定した、しかし同時に外國經濟院當局は歐洲戰爭の終了から日本軍との戰闘が済むまでの期間について、目下英國との間に交渉が進められてゐることを認めてゐる、協定案によれば「直接購入によつて米國から入手した」英國の輸出品については貸與協定に基く再輸出制限が緩和されるといふのだが「直接購入」といふ言葉の意味については説明がない、大統領の否認も選舉を兩三日後に控へての「外交的否認」だと解されてゐる「ニューヨーク・タイムズ」紙の報道によれば、財務長官モーゲンソーはドイツ處分に關する自分の意見に、英國政府の支持を受けるため餌として、貸與協定の考へをケベック會談で持ち出したといふが、右處分案は公にされて脚光を浴び、且つ國務省の反對で一應沙汰止みの

有様となつた、しかし現在米英兩國間の交渉において全般的な原則として取上げられてゐるのは米國の産業が平時生産に切替へるのを統制して英國が米國のため引き離されて了はぬやうに配慮すること

であり、目標は

歐洲戰爭の終了から東亞反攻作戰が済むまでの過渡期間英國の經濟が米國の經濟と足並みを揃へるやうにすること

だ、ケベック會談に貸與協定を扱つてゐる外國經濟院の代表は一人も参加しなかつたが、これが經濟院の典型的な遣り口といつてよからう

「デリー・ヘラルド」紙の報道によれば、英國政府はケーンズ卿のワシントンにおける交渉を掩護するため近く「破産白書」——つまり英國が今度の戰爭で民主主義の前哨として國力を消耗した實狀をぶちまける豫定だといふが、歐洲戰爭と太平洋戰爭とを目前に控へながら米英兩國が經濟戰爭に乗り出したことは明らかだ、テキサス州選出の前下院議員ローランド・モウリー・マヴェエリツクといふ男は最近英國を視察してワシントンに歸り

英國にはチコレイトやソーダやいい珈琲を賣るドラッグストア約一萬軒ばかりが必要だ、米國の小實業家連にとつては絶好の機會だからデリーばかりのんでゐる英國人をドラッグストアの恩恵に浴させねばならないと語つてゐるが、米國人がチェイン・ストア主義で英國の小商人を脅ひやかしたら、事態は一段と紛糾するに違ひない

ソ聯市場を戰場として

米英兩國の經濟戰爭は先づソヴェト聯邦の市場に展開される形勢だ、最近ソヴェト通商代表部のボリユシエンコ氏がモスクワに赴き本省と協議した後ロンドンに歸任したが、ソヴェト貿易人民委員部としては、長期のクレヂットでトラクターや電氣機械類を英國から輸入し、木材、ファ(毛)や特殊鑛を輸出したい肚だ、米國の貿易業界は毎日のやうにソヴェト各紙に廣告を出してゐるし、米國の銀行界はどんな貿易業界に長期クレヂットを提供してゐるのに、商相ヒュー・ドールトンを始め國務省は一體何をダズグズしてゐるんだ、といふのが英國實業界の不平の種だ

「デーリー・メール」紙が十一月一日の紙上で報道してゐるところによれば、ソヴェト労働組合のクズネツォフ委員長は、最近チャーチル首相と會見した後で、こんなお世辭を並べたといふ

ソヴェト聯邦としては今度の戦争で鍛え上げられた友好關係に基き、大量の英國品を買入れる用意あり、特に重製造品が必要だが英國の製鐵製鋼業界としては十分ソヴェト聯邦の需要に應ずることが出来るよう、タービンとか熔鑛爐とかがソヴェト聯邦が經濟單位として復興するためには大量に必要だし英國の工業界は立派にこれらの品目を製造出来るよう

一面貸與一面競争といふ英國の産業界は仲々老獪だがそれだけにケーンズ卿の交渉は仲々簡單には片付かないのだらう

印度遠征兵士の歸休問題

英國人のいはゆる過渡期——戦争から平和へといふ意味においても、歐洲戦争から東亞反攻作戦へ移るといふ意味でも、彼らは今過渡期に臨んでゐるといふ考へだ——には内政上乃至國民生活の部面においても種々問題が絶えないやうだが、一番當局を手古摺らせてゐるのが、印度戰線における出征兵士の歸休問題だ、斷片的に英國の各紙で散見するに過ぎないが「應召」といふやうな觀念のない英國人——特に女性にとつては、三年も四年も夫が「密林の疾病」と戦ひながら歸國しないのは大變な問題に違ひない、英國各地の女性——ロイター電報は東亞に出征してゐる兵士の若い妻君連と傳へてゐる——一千人が署名して最近陸相サ・I・ジェームズ・グリッグに請願書を出したところ、陸相は十一月十三日付で次の通り回答したといふ

服務期間が満了せぬ内に東亞の戰線から兵士を呼び戻すことは、徒らに戦争を引き延ばす結果とならう、一度出征兵士の歸國を妨げる障礙は明確に船腹であつた、船團は遠く喜望峯を迂回せねばならず、かつ嚴重に護衛を付けねばならなかつた、しかもドイツ潜水艦による損害は甚大であつた、現在では地中海が啓開され、障礙は船腹から人的資源に移つた、英國軍のうちでも空軍やそれから米軍と違つて英國陸軍は訓練を

うけた人的資源の豫備は決して豊富でない、従つて海外服務期間を思ひ切つて短縮すれば、戦争が長期化するといふのが儼然たる事實だ、徒らに戦争を長びかすためだと知つたら出征兵士諸君は欣然として服務期間の短縮要求を撤回すると確信する、事態の改善を約束したいのは山だが現在のところ約束は出来ない

こんな返事で口やかましい英國の女性が満足するとは考へられず、今後益々深刻な社會問題として發展して行くに違ひない

卒き門——燃料と食糧

もう一つ英國人の生活を脅かしてゐるのが燃料問題だ、燃料省では最近次の通り發表してゐる

十一月一日から一月三十一日まで家庭用石炭並びにコライイトの配給量は、イングランド南部で十五CWT、イングランド北部、ウェルス地方並びにスコットランドでは一トンとする、家庭用石炭の配給は依然として極度に困難で、この冬はあらゆる種類の石炭使用について嚴重な節約を實施することが絶対必要である

ニューカッスル・オン・タインからの「タイムズ」紙の報道によれば、出炭量の減少と同時に一千トン前後の石炭船の不足が、英國内における燃料問題の隘路になつてゐるらしい、特にイングランドの南岸東岸においてはドイツ軍のため撃沈された沿岸用船舶は相當なトン數に上つてをり、しかも歐洲侵寇作戦と佛白蘭各國の「解放」とで従來英國が沿岸海運に流用してゐたスカンデナヴィヤ各國並びに佛白蘭各國の船舶は、大半大陸との海運に轉用されるに至り、沿岸用船舶は急激に減少するに至つたといふ、戦時交通相のレザース卿は最近窮餘の一策として造船統制を緩和し平時用の小型貨物船の建造を許可したが、造船費が戦前より八〇%乃至一〇〇%上つてゐるので實際どの程度まで新船が出来るかは疑問だ

食糧物價も新豫算案による助成金の撤廢で或る程度騰つてゐる様子で「フアイナンスヤル・ニュース」紙によれば大藏省のアシュトン次官は十月二十四日次の通り説明してゐる

失業洪水の惡夢

いはゆる過渡期を前にして除隊兵員の復業と軍需工場の縮減に基く失業洪水が今英國人を脅かす夢魔だ、「タイムズ」紙は十一月二日の紙上で次のやうに傳へてゐる

航空機製作省管下のイングランド西北都市の或る會社が最近工員に對し一切の契約が來年四月で終りを告げ、工場は七月になると閉鎖すると通達した、この會社といふのがブレンハイム、ボーフォート、ハリファックス等各種軍用機の機體を製作し、工場施設だけで二百萬磅の資本を投下してゐるといふが、六千人乃至八千人といふ従業員は最近契約の打ち切りで漸次従業員が削減されて行くのに少からず不安だ、従業員達は市民の署名を集めて出来るだけ現在の住所の近くでまた就職出来るやうとの請願書を用意してゐる

勞働市場の重大脅威は今後の戦争であらゆる部面に進出した女子勤勞層だ、「デーリー・スケッチ」紙によれば、女子勞働組合會議の全國評議會が十月二十七日レスタールで開催された際、委員長のエビー・エドワーズは次の通り述べたといふ

戦争が片付けば五百萬人の女性が勞働市場で男子と競争することになるだらうが、飽くまで平等の地歩を確保するため十分な組織を持つことが必要である、現在十四歳以上六十四歳までの婦人少女約八百萬人が國家勞働に服してゐるが一度復員が始まる場合以上の一大娘子軍をどう處理するかは重大問題だ、戦争が済む時には英國では女子の数が男子の数よりも三百萬多く、殊に二百萬人の未婚の女性にはどうしても職を見付けてやらねばならない

失業洪水に關する不安は既に各方面に現れてをり、十一月三日の「ニューズ・クロニクル」紙によれば數百といふロンドンの飛行機工場代表が下院に押しかけて議員團に詰め寄り、或る大都市の市長が「われらの將來はどこにあるか？」といふ請願書を用意、近く閉鎖される飛行機工場のために一肌ぬいだところ市民が押すな押すなで署名したといふ

現行の値段を生産業者並びに分配業者に拂ひながら食糧助成金を撤廢した結果、小賣物價は助成金の額だけ騰貴した、生活費指數は現在一九三九年九月の水準に比べ三〇%上つてゐるが、今後は四六%上ることならう

食糧問題で最近明かにされたことは、英國政府がダンケルクの敗退後ドイツ軍の上陸作戰に備へ特に海岸地帯に食糧を貯藏してゐたことだ、「デーリー・メール」紙は十一月一日の紙上で次のやうに述べてゐる

食糧省はドイツ軍の上陸作戰に備へて貯藏した食糧二萬四千トン「動員解除」して一般の分配に繰込むこととなつた、配給に當るため當時二萬人の非常時配給係長を祕密裡に任命してをつたが、配給品目は肉の罐詰、スープ、シチュエー、ビーフ、牛乳、ビスケット、砂糖、マーガリン紅茶だ、特にビスケットとスープは専門家の考案に基き食糧省で用意した

罷業による喪失勞働日の増大

以上の社會相を反映してゐる譯でもあるまいが「ニューズ・クロニクル」紙の報道によれば罷業による勞働日の喪失が今年比去年よりずっと多い

勞働省發表罷業統計

	一九四四年一月 から九月末まで	一九四三年同期
罷業件數	一、六二七	一、二八九
參加勞働者數	七〇〇、九〇〇	三九七、九〇〇
勞働日喪失	三、二九一、〇〇〇	一、一五三、〇〇〇
炭坑業	五二〇、九〇〇	三二二、〇〇〇
機械工業	二〇一、六〇〇	五二五、〇〇〇
造船業	一〇二、〇〇〇	四九六、〇〇〇
運輸業	七六、八〇〇	二四〇、〇〇〇
	三三、六〇〇	三一三、〇〇〇
	二二、九〇〇	九五、〇〇〇
	一九、二〇〇	四四、〇〇〇
	四七、三〇〇	一五五、〇〇〇

以上の統計に明らかな通り、運輸業以外各部門に亘つて情勢は悪化してゐる、「ニューズ・クロニクル」紙によれば、農業漁業部門は流石に成績よく百萬人以上の勞働人員を擁してゐながら九月間に爭議は僅か六件、参加人員七百名で勞働日喪失は二千日となつてゐる

勿論軍需工業の轉換で各商社は勞務員の縮小乃至賃銀の切り下げを考へるだらうが「デーリー・エクスプレス」紙の報道によれば勞働相サー・アーネスト・ベヴィンは

一、歐洲戰爭の終了後一ヶ年間現行の賃銀水準を維持する

一、戰爭の全面的終了まで罷業を禁止する
といふ法案を近く下院に提出する豫定といはれる

空軍の密輸事件

以上落付かぬ世相を反映したのが英國空軍の密輸事件だ、十一月二日の「デーリー・エクスプレス」紙は次の通り報道してゐる

ミドランド地方のRAF基地に特別税關監視隊が最近手入れた、スイスの時計や寶石類が空輸で密輸された嫌疑が濃厚だからだ、時計は士官の寢室の抽出しから出た、足どりを辿つてゆくと佛西兩國の國境からポルトガルを経、ダンジール港から英國に空輸されてゐる、他に金その他の物資も西アフリカから英國に空輸されてゐる

「デーリー・スケッチ」紙その他の報道を綜合すれば、相當長期に亘り毎週三百個の時計が戰闘機の補助油槽で密輸されてゐたといふから、事件は相當大がかりだ、空軍省はスコットランド・ヤードの援助を得て徹底的調査に着手したが、同時にジブラルタル軍港や地中海の諸港でも調査が進められてゐる、勿論密輸團の利益は莫大な金額に上り、一ヶ月二百萬磅のボーイ儲けをあげてゐたといふ評判さへ立つてゐる位だ、事件の結果英國空軍の或る高官は、一氣に空軍大尉に位を下げられ作戦任務から他に轉任させられて了つた

資料

反樞軸諸國の對伊關係

十月二十六日「タイムズ」紙外交記者

英國當局はローマ駐劄英國代表を近く大使に昇格同時にイタリア側はロンドン駐劄代表を任命することに決定、英伊兩國の外交關係は一層正式な

基礎の上に立つに至つた、ワシントン當局はローマ駐劄米國代表を既に大使に昇格済みでイタリアとの外交關係を全的に回復すべく決定してをりその點英國より一步進んでゐる、ローマ駐劄英國大使に任命されるチャールス・ドンは本年四月英國の駐伊高等辦務官に任命されて以來、イタリアに關する綿密な知識に併せ、眞の民主的國家の誕生に對する熱望と共に伊國民の間に絶大な信頼と名聲を獲得してゐる

十月二十七日「デイリー・テレグラフ」紙

ロンドン駐劄イタリア外交代表にはカランデイーニが十日以内に任命される筈である、カランデイーニはイタリア解放委員會に自由黨代表として積極的な役割を務めた人物でボノミ政權の無任所相である、スフォルツァに對するワシントン駐劄イタリア代表任命は既にワシントン政府の承認を待つて發令されるばかりになつてゐる、同任命が遅延した理由はスフォルツァがファシスト犯罪懲罰委員長の地位にあつたため右外交代表任命受諾を躊躇したからである、しかし彼の後任が決定した現在ではワシントン行きを承諾してゐる

英米二國の例に倣つて他の諸國も急遽相次いでイタリアとの外交關係回復策を講じてをり從來外交關係を續けてゐたアルゼンチンを除くラテンアメリカ各國こぞつてすでにイタリアに對して外交關係復活の正式通牒を傳達済みである

ソ聯代表コステイレフは大使に昇格しイタリアのソヴェト駐劄代表にも同様待遇を與へることがすでに正式に通牒されてゐる、ロンドン駐劄イタリア大使に任命されたカランデイーニは次の通り述べてゐる

余がロンドンで困難な任務に直面するだらうことは覺悟の上だ、余はあらゆる意味で敗殘諸國を代表することにならう、余の第一の任務が英伊兩國の情報聯絡であるとすれば第二はイタリアを廣い國際貿易の流れに打ち込んで反樞軸國の側に立つて全力を盡さしめることだ

第二十一爆撃隊の成立

(リスボン二十六日發) ワシントン來電「米國陸軍省は二十四日、東京を爆撃せる第二十一爆撃隊の誕生した内情について次の通り發表した

從來發表されないでゐた第二十航空隊第二十一爆撃隊は現在マリアナ諸島にあるが、その創設は一九四四年三月八日のことで、それから數週間後にはカンザス州サリーナのスモーク・ヒール陸軍航空基地に部隊が編成され訓練も開始された、その訓練計畫の全責任は陸軍第二航空隊がとり、隊員の大部分は他の爆撃機で戦闘の経験を重ねた老巧者だつた

六月には第二十一爆撃隊本部はコロラド・スプリングのピーターソン・フィールドに移り、代將ロージャー・M・レイミルが司令官代理に就任した

第二十爆撃隊が六月の第一回日本本土攻撃により覆面を脱いでから二週間の後、第二十一爆撃隊の先遣隊(主として技術者)は當時まだ日本軍の手中にあつた太平洋の諸島嶼に向つて出發した、だが彼らの到着までに島嶼は米軍の手に入り、超要塞機のために必要な大飛行場の建設工事は始められてゐた

八月二十九日、第二十航空隊の編成に際しヘンリー・アーノルドを助け、その初代參謀長たりし代將ヘイウッド・S・ハンセルはレイミーに代つて第二十一爆撃隊司令官となり、レイミーはその下に參謀長となつた、ハンセルの就任と共に海外派遣部隊が編成され最初の派遣戦闘部隊はマリアナの新基地が完成するまでハワイに假部隊本部をおくことになつた

一方中將ミラー・F・ハーモンの第二十航空隊副司令官就任は、ハーモンが太平洋方面陸軍航空隊司令長官の要職にあるだけに、第二十航空隊の全世界爆撃隊としての重味を加へた、第二十航空隊は陸軍大將ヘンリー・アーノルド(米陸軍航空本部長兼任)を司令官としてワシントンの統合參謀本部の直接指揮下にある、ハーモンは第二十航空隊副司令官として太平洋方面に關する限り新

爆撃隊の共同作戰を調整するのである

最初の全世界航空隊たる第二十航空隊の機能は多少とも海軍作戰と關聯し、共同作戰にも參加するし、必要あらばどこにでも出撃する、その爆撃隊は全く獨立した航空部隊で、ワシントンの司令部に直屬する

首 腦 部 の 横 顔

ハーモンは陸軍航空界では最も著名な人物の一人だ、元西南太平洋陸軍航空隊最高指揮官の任にあり、ソロモン諸島の戦闘では空軍を指揮し、一九四二年の一月から六月までは航空參謀長だつたこともある、ウェスト・ポイント士官學校一九二二年度卒業生だから、生粹の陸軍々人で航空方面の先驅者だ、一九一六年にはメキシコ國境で空中哨戒任務につきバーシング將軍のメキシコ遠征に際しては無恰好なライト複葉機を操つて空から從軍した、前大戰には操縦士としてフランス戦闘機隊に加つてゐた、以後二十年間、彼は航空部隊關係で種々の要職を歴任し、今次大戰初期にはオブザーヴァーとして英國に派遣され、その後太平洋方面陸軍航空隊司令官に就任したのである

東京爆撃において劇的な就任發表をみたハンセルは前第二十航空隊參謀長であり、昨年B 29計畫が立てられた時アーノルドに拔擢されて全世界航空隊の編成に當つたのだつた、ドイツに對する米軍の空中戰方式となつた戰略爆撃の基礎形式を定める時も參畫し、第八航空隊第一爆撃隊長としては屢々爆撃行を指揮して殊勳銀星航空十字章をかちえた、六月十五日九州を爆撃した第一次B 29作戰にはワシントンの司令部から指揮をとつた

代將レイミーは元西南太平洋第五爆撃隊司令の任にあり、第二十一爆撃隊の創設を助けて數ヶ月間その司令官代理を勤めた

第二十一爆撃隊の作戰及び訓練における參謀次長は大佐ジョン・R・モントゴメリーだ、彼は一九四三年八月ジョージア州でB 29の最初の乗員訓練が開始された當時からB 29計畫と生死を共にしてゐる

グルーの新著「駐日十年」を評す

「ニュー・ステイツマン・エント・
ネイション」誌十月二十八日號

あまりにも慎重な執筆態度

前駐日米國大使ジョセフ・C・グルーは日本の生活を頗るチャイミングだと観じた、しかも彼が日本においては自由主義者は到底狂信的な軍國主義者達には對抗し得ない、との鋭い觀察を下すまでにはさして長い時日を要しなかつた、しかし、日本の外交政策の背後に潜む諸勢力の解明を本書に探し求めても、われわれはその瞥見さへも與へられない、工場や軍隊における一般日本人乃至民政黨、政友會更にその後を生れた社會大衆黨等の崩壊などについては本書は全然觸れてゐない、これは恐らくグルーが執筆に當り餘りにも慎重だつたためと思はれる、發表された限りでは、彼の日記は、この著者が大使としては珍らしく良心的且つ精勵恪勤であり、またものの觀方はリベラルではあつたが、曾ての駐獨米國大使ドッドと同様、その雰囲気は溶け込んで共に感じるといふ點でいささか缺ける憾みがあつたので、全體主義的な表面のみをみてその背後に動いてゐる社會的諸要素を觀察出来なかつたことを示してゐる

聯盟脫退は積極派の勝利

グルーは一九三三年二月日本の國際聯盟脫退決定をもつて日本における積極行動派の完全な勝利とみ、この一派の意圖は恐らく「極東モンロー主義」の確立にあつたとしてゐる、しかし、事ここに到つては「もはや忍耐をもつて日本の御機嫌をとらうとしても無駄だつた」のである、日本がとつたこの行動をもつて著者は、日本が慎重考慮の結果西洋と袂を別つたものと解釋し「倨傲にして完全に自信を強めた」軍部「いよいよ好戰的になりつつある」海軍、さらに軍國的宣傳に煽られた一般社會、とかう三拍子揃つた以上日本が將來「その拂ふべき犠牲などは考慮に入れずして、何らか極端な行動」に出る可能性あることを當時すでに豫言してゐる

一九三四年陸海軍當局が最後(二月)の攻撃をうけた當時の、比較的穩健だつた齋藤、岡田兩内閣が短命に終つた以後は、日本の情勢は急速に進展して行つた、一九三六年の二・二六事件、日獨同盟——これについてはグルーは、東京の外務當局が知らぬ間にベルリンにおける武官が折衝して成立したのだ、との説明をうけてゐる——さらに一九三七年七月の支那事變勃發と情勢は動いて行つたのである

對日制裁に反對

支那事變に關しては米、英兩國大使とも見解を同じくしてゐたものごとく、兩大使は當時ブリュッセルにおいて開催中の九ヶ國會議米英兩國代表ノーマン・トーマス、アンソニー・イーデンに對しそれぞれ、嚴正中立を勧告し「紛争の起因並びにその責任に關する斷定」を下すことを回避するやう慫慂した同文の電報を打電したが、兩者とも右の措置をもつて頗る機宜を得たものと考へたのであつた、當時の駐日フランス大使もまた米英兩大使の電文と同趣旨の電報を本國政府に打電することに同意を表明した、當時グルーは戦争を回避するにはこれ以外に方法はないと信じてゐたのであつて、一九三八年十二月五日——即ちバネイ號爆沈事件及び日本が米國の輸出に對し差別的措置をとつた後である——においてすら當日の日記に、蔣介石に對する米英筋の如何なる財政的援助及び對日經濟壓迫手段に對しても反對なる旨を記入してゐる、かれは更に次のやうに誌してゐる

後者に關しては、日本が現在米國並びに極東にある米國諸權益に對してなしてゐることに對して、報復手段に訴へることが望ましいと余個人としては考へても、かかる報復手段の論理的結論——それは實に戦争を意味するかも知れない——を甘受する覺悟がわれわれにない限り、余はかやうな手段をとることにはあくまで反對である旨を勧告して來た、制裁手段はその歸するところ常に戦争を誘發する可能性を包藏してゐるからに他ならない

實にグルーは一九三九年十月末に至るまで日本に對して公然と警告を發することは適當でないと考えてゐたのである

米國の反日感情

時偶々グルーは米本國から日本に歸任したが、かれは米國に休暇滞在中國内に強烈な反日感情の底流が渦巻いてゐるのを感じたのであつた、當時日米關係は頗るあぶなげではあつたがなほ外交的基礎の上に置かれてゐた、しかし一九四〇年七月かの「颱風的な」松岡洋右が近衛内閣の外相に就任するに及んで、グルーは松岡外相が調印した樞軸國同盟こそ、日本が英國の對獨敗北を前提としたものであることを看取したのである

爾後グルーは「日本の軍部が一般から不信任を受け——しかもかうした事態は日本の軍事力が甚しく弱められない限り招來されない——ない限り」極東に平和はあり得ないと信ずるに至つた、そして、かれはここに到つて遂に蔣介石が勝つことを希望するに至つたのである、その結果、米國の權益がたとへ如何なる状態におかれようと、現に日本の制壓下において惹起されつつある事態よりは悪からう筈がない、と考へた、そこでグルーは、戦争はもはや單に時間の問題に過ぎない、と信ずるに至つたのである、現にかれは一九四一年一月二十七日附で次のやうにその日記に記入してゐる

日米國交斷絶の場合、日本は大舉して眞珠灣に奇襲を敢行するだらう、といつたやうな風説が頻りに行はれてゐる

かうした風説がやがて現實になるまでの數ヶ月間、かれの日記は外交界の往來をもつて充されてゐるが、これらに關してグルーは本書において極めて興味ある文獻を發表してゐる、就中注目に値するのは四月二十二日の記入であつて、かれは、當時ベルリン、モスクワの旅行から歸還した松岡外相とスタインハート書記官との會見の要點を記載してゐる

また八月十八日附の項では、米國の對日資金凍結斷行後、豐田外相が提出した妥協條件の要點が記入されてゐる、これによれば豐田外相の提出し

た條件は二つあつて、一は支那に關するものであり、他は一九四一年十月十六日を期し、ルーズヴェルトと近衛内閣の代表者とが太平洋の一地點において會談することを提案したものであつた

開戦前夜の日米交渉

一九四一年十月中ワシントンにおいては野村大使との間に會談が續行され、同時に戦争を回避するための諸種の措置が講ぜられた、チャーチルは「もし米國が日本と交戦状態に入つた場合、英國は一時間を出でずして對日宣戰布告をなすであらう」との聲明を發表した、同時に米國政府は極東における全般的情勢調整に關する十ヶ條よりなる試案を發表した

さらに十二月六日ルーズヴェルトは日本に對し「日本が佛印から陸海軍部隊を一兵残らず撤退せしむることを條件として」蘭領東印度、馬來、タイ及び支那諸政府からそれぞれ佛印侵入の意圖なしとの保證を確保するやう斡旋すべきことを提案した電報を發した、しかし、時既に遲きに失した一九四一年十二月七日外交折衝の進行中、日本の陸海空軍は行動を開始した、戦端は既に開かれたとしてグルー以下の米國大使館員は一九四二年五月に到るまで日本に抑留されることとなつた、グルーの日記の最後の記入の一項目はシンガポール陥落後日本國內の慶祝状況の叙述に充てられ「あらゆる戦時宣傳にも拘らず、日本人の間には何等根本的な對米憎惡感はないやうにみえる」旨を附言してゐる、米國に歸國後、グルーは太平洋問題に關する遊說家中の筆頭にあげられ、その後國務省極東局の局長に任命されるに至つたが、現在かれはその職にあつて日本打倒戰の遂行に重要な役割を演じてゐる

英天文学者死去 (ストツクホルム二十三日發)

ロンドン來電「ケンブリッヂ天文臺長サー・アーサー・スタンレー教授は二十二日死去した、享年六十一、彼は天文学の權威で多數の著書あり「宇宙は何時かラジオ電波に解體するだらう」と豫告して大衝撃を與へたことがある